取扱説明書

FOMA® M702iG '07.1

FOMA M702iGをお買い上げのお客様へ

この度は、FOMA M702iGをお買い上げ頂き誠に有り難う御座います。
以下をご一読いただき、FOMA M702iGをご利用いただけますように宜しくお願い申し上げます。

ダウンロードファイルについて

・ダウンロードするファイルによっては、異なるデータであっても同じファイル名の場合があります。
なお、保存する際には、上書きせず、名前を変更して保存するようにご注意願います。

・ダウンロードファイルの最大保存件数は 1000 件です。
最大保存件数を超えても、ダウンロードはできますが、保存はできませんので、事前に不要なファイルの削除を行ってください。

2006年11月

6809507A37

もっともっと、いいケータイへ。

FOMA M702iG

国際ローミングサービス〈WORLD WING〉

ご利用にあたって

このたびは、FOMA M702iGをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本FOMAは1台で日本だけではなく、海外でもご利用いただけるNTTドコモの国際ローミングサービス（WORLD WING）に対応しております。海外でのご利用にあたっては、本紙に掲載の設定方法やご注意について必ずご確認ください。

国際ローミングサービス（WORLD WING）の概要

国際ローミングサービス（WORLD WING）とは、提携する海外の通信事業者のネットワークを利用して、国内で使用している電話番号のまま海外でも通話や通信ができるサービスです。
国際ローミング中に利用できるサービスについて詳しくは「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」をご覧ください。また、ドコモの国際サービスホームページでは、国際サービスに関する最新の情報が見られるほか、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」の最新版をダウンロードできます。

ドコモの国際サービスホームページ	http://www.nttdocomo.co.jp/service/world/

■WORLD WINGはお申込み手続きなしでご利用になれます。

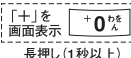
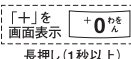
お申込み手数料、月額使用料　無料

ただし、2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申込みいただいていないお客さまおよび、2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」のお申込みをご希望されなかったお客さまは、初回のみお申込みが必要です。

〈お申込み方法〉

iモード	Menu ▶ 料金&お申込・設定 ▶ ドコモeサイト	パソコン	My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種手続き（ドコモeサイト）
お電話	〈DoCoMo インフォメーションセンター〉 ●ドコモの携帯電話、PHSからの場合 （局番なし）151（無料）※一般電話などからはご利用になれません。 受付時間／午前9:00～午後8:00　※番号をよくお確かめの上、おかけください。※日本からのご利用の場合に限ります。		●一般電話などからの場合 0120-800-000 ※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
全国のドコモショップ	お近くのドコモショップへ	ドコモワールドカウンター	成田国際空港／関西国際空港／中部国際空港 ※時間に余裕を持って、ご来店ください。

渡航先から日本にかける場合

03-××××-××××にかける場合	「＋」を画面表示 ＋0 長押し（1秒以上）	8 1 日本の国番号	3 × × × × × × × × 最初の0を除きます。	開始ボタン
090-××××-××××にかける場合	「＋」を画面表示 ＋0 長押し（1秒以上）	8 1 日本の国番号	9 0 × × × × × × × × 最初の0を除きます。	開始ボタン

※電話帳に登録された番号を発信する場合、「国番号」の「自動付加設定」を「ON」に設定すれば、海外でもそのまま電話帳を利用してかけることができます。

出発前の準備

■海外利用設定

海外ローミング中に、iモードサイトを閲覧するには、まず海外利用設定を行ってください。

	日本で
無料	Menu ▶ 料金&お申込・設定 ▶ オプション設定 ▶ 海外利用設定

	海外で
有料	Menu ▶ 海外利用設定

※iモードサイトは、情報サービス提供者により、一部利用できない場合があります。
※海外からアクセスした際は、日本国内で無料となっている通信を含め、すべてパケット通信料がかかります。
※海外からiモードサイトにアクセスした際でも日本時間が適用されます。月末・月初のマイメニュー登録や削除の際にはご注意ください。

■遠隔操作設定　日本国内で設定してください。日本国内での設定は通話料が無料です。

海外で留守番電話・転送でんわを使うために、出国前に遠隔操作設定を行います。

〈FOMA M702iGで〉

◉ ▶ ネットワークサービス ▶ 遠隔操作設定 ▶ 遠隔操作開始「はい」

〈お電話で〉

無料	1 5 9 ◎ ▶ 1 （遠隔操作開始）

現地での設定

お買い上げ時の海外で利用できるネットワークの初期設定は、自動で利用できるネットワークを検索し、設定する「通信方式＝自動」「タイプ＝オート」に設定されています。初期設定のままであれば、自動的に最適なネットワークを検出いたしますので、海外でも特別な操作は不要です。

■海外のネットワークとご利用いただけるサービス

ご利用になれる海外のネットワークには、3G、GPRS、GSMネットワークがあります。

ご利用のネットワークによって、ご利用になれるサービスが以下の表のように異なります。

ネットワーク	アイコン	音声通話	iモード	SMS	パケット通信	テレビ電話
3G	3G	○	○	○	○	○
GPRS	2.5	○	○	○	○	×
GSM	2G	○	×	○	×	×

●ご利用中の海外通信事業者や地域によっては、上表で「○」となっている通信サービスであっても、ご利用になれない場合があります。
※各国・地域でご利用できるサービスについて、詳しくはドコモの国際サービスホームページをご確認ください。http://www.nttdocomo.co.jp/service/world/

■ネットワーク設定

利用する通信方式の指定が可能です（下記参照）。

1. ◉ ▶ 設定 ▶「ネットワーク設定」▶「ネットワーク設定」
2. 次の操作を行う

通信方式　検索するネットワークの通信方式を指定します。

自動　：通信方式に関係なく、利用できるすべてのネットワークを検出します。（初期設定 推奨 ）
3G　：3Gネットワークのみ検索します。（主な対応地域：アジア、ヨーロッパ等）
GSM 900／1800：周波数帯域が900／1800MHzのGSMネットワークのみ検索します。（主な対応地域：アジア、ヨーロッパ等）
GSM 1900　：周波数帯域が1900MHzのGSMネットワークのみ検索します。（主な対応地域：アメリカ、ハワイ、カナダ等）

タイプ　利用するネットワークの選び方を設定します。

オート　：3G／GSMの設定を自動で行います。
マニュアル：3G／GSMの設定を手動で行います。

3. ［完了］

帰国後の設定

ネットワークをお買い上げ時の初期設定（「通信方式＝自動」「タイプ＝オート」）のままでご利用いただけば、帰国時に自動的にFOMAネットワークに接続されるので便利です。

- 「ネットワーク設定」がGSM等に変更されていると、帰国してもFOMAネットワークに切り替わりません。その場合は、「ネットワーク設定」の「通信方式」が「自動」、「タイプ」が「オート」に設定されているか、確認してください。

■ご注意

1. エリア情報は必ずご確認ください

通信事情によりエリア内でもご利用いただけない場合があります。ご出発前に必ず渡航先の不通情報をドコモの国際サービスホームページ（http://www.nttdocomo.co.jp/service/world/）でご確認ください。

2. 充電について

海外で充電を行う場合は、海外兼用ACアダプタが必要です。お持ちのアダプタが海外兼用のものか、ご確認願います。
【FOMA海外兼用アダプタ01】をオプション品としてご用意しております。

3. iチャネルのご利用について

- 渡航先でiチャネル初回更新時に自動更新の停止を自動的に行います。その際、パケット通信料がかかります。渡航先でご利用する場合は、iモードの海外利用設定、iチャネルの自動更新設定を行っていただくことにより再開が可能です。その場合、自動更新毎に渡航先に応じたパケット通信料がかかり、そのパケット通信料はiチャネルの利用料には含まれません。
- 渡航先では利用せず帰国後に日本国内でご利用される場合も、自動更新は停止しているため、同様に自動更新設定が必要です。
- 国際ローミング利用中にiチャネルをご利用されない場合は、事前に日本国内にて自動更新停止の設定を行っていただくことを推奨いたします。その際、パケット通信料はかかりません。

■通話・通信料について

国際ローミング時は、日本とは料金体系が異なります。

【着信に料金がかかります】

国際ローミング中は、日本の携帯電話番号を使うため、かかってくる電話は日本宛となり、これを渡航先に転送するので、着信側には「着信料」がかかります。
※「着信料」には「国際転送」料が含まれます。

【パケットの通信課金方法が異なります】

1アクセス毎の最低料金（事業者により50円〜、100円〜）がかかる等、国内のパケット料金と異なりますのでご注意ください。

- 国内で無料となっている通信を含め、全てのパケット通信に対し、パケット通信料がかかります。
- 本サービスの通話・通信料は、「パケ・ホーダイ」およびFOMAデータプランに含まれる無料通信分およびその他割引サービスの適用対象外となります。

【つながらなくても料金がかかる場合があります】

一部の渡航先と通信事業者によっては、通信事情等により、相手につながらない場合でも、通話・通信料が発生することがあります。

【フリーダイヤル等にも課金されます】

渡航先の通信事業者によっては、コレクトコール、フリーダイヤル、クレジットコール、プリペイドカードコールの通信でも、滞在国内通話料が発生する場合があります。

■利用停止目安額

WORLD WINGでは、月間利用額の累積額が一定額以上となったときに、本サービスを停止することとなる目安の額（利用停止目安額）を設定しています。利用停止目安額を超えたことを確認する際は、海外の通信事業者から送られてくる料金データを使用しますが、このデータは最大30日程度遅れることがあるため、ご請求金額が利用停止目安額を上回ることがあります。
このため、利用停止目安額を、お客さまのご利用を一定額内で停止する目的として利用することはできませんので、ご注意ください。
また、盗難・紛失時の不正利用による被害拡大を防止することを目的として、1日あたりの利用額に応じて、利用を停止させていただく場合がありますので、ご注意ください。

■トラブルの際のお問い合わせ（海外渡航時）

携帯電話の紛失・盗難・故障には、日本語の電話によるサポートを24時間行っています。

紛失・盗難などにあわれたら

紛失、盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

◎FOMAカードの紛失・盗難
◎WORLD WING海外専用カードの紛失・盗難
◎海外レンタルケータイの紛失・盗難
◎利用累積額精算など

〈DoCoMo インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1） **-800-0120-0151**

※携帯電話でかけた場合は滞在国内通話料がかかります。

●左記ユニバーサルナンバーがご利用になれない場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表2） **-81-3-5366-3114**

※日本向け通話料がかかります。

●一部の国・地域から、局番なしの短縮ダイヤルがご利用になれます。

1 5 1 **※日本向け通話料がかかります。**※短縮ダイヤルが利用可能な国・地域についてはドコモの国際サービスホームページをご確認ください。

WORLD WINGをお申込みいただいているFOMAカードや海外専用カードは海外用携帯電話（国際ローミング機能付のGSM方式またはW-CDMA方式で、通信事業者を限定する設定をされていない携帯電話）に差替えて海外でも利用できる場合があります。そのため、海外で携帯電話、FOMAカード、海外専用カードを紛失・盗難された場合には、速やかにご連絡のうえ、利用中断の手続きをおとりください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客さまのご負担となりますのでご注意ください。

故障かな、と思ったら

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1） **-800-5931-8600**

※携帯電話でかけた場合は滞在国内通話料がかかります。

●左記ユニバーサルナンバーがご利用になれない場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表2） **-81-3-6718-1414**

※日本向け通話料がかかります。

●一部の国・地域から、局番なしの短縮ダイヤルがご利用になれます。

1 1 3 **※日本向け通話料がかかります。**※短縮ダイヤルが利用可能な国・地域についてはドコモの国際サービスホームページをご確認ください。

※お客さまが購入されたドコモのWORLD WING対応ケータイ本体に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表1）

ご 利 用 地 域	国際識別番号	ご 利 用 地 域	国際識別番号
あ		**た**	
アイルランド	00	タイ	001
アメリカ合衆国	011	台湾	00
アルゼンチン	00	中国	00
イギリス	00	デンマーク	00
イスラエル	014	ドイツ	00
イタリア	00	**な**	
オーストラリア	0011	ニュージーランド	00
オーストリア	00	ノルウェー	00
オランダ	00	**は**	
か		フィリピン	00
カナダ	011	フィンランド	990
韓国	001	フランス	00
コロンビア	009	ブラジル	0021
さ		ベルギー	00
シンガポール	001	香港	001
スイス	00	**ま**	
スウェーデン	00	マレーシア	00
スペイン	00	**ら**	
		ルクセンブルク	00

※一部ご利用できない場合があります。
※ユニバーサルナンバーは、ユニバーサルナンバー用国際識別番号（上記参照）に記載のある国のみご利用可能です。
※携帯電話でかけた場合、滞在国内通話料がかかります。
※ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客さまのご負担となります）。ホテル側にご確認されてから、ご利用ください。
※表1、表2の番号は変更になる場合があります。

主要国の国際電話アクセス番号（表2）

ご 利 用 地 域	アクセス番号	ご 利 用 地 域	アクセス番号
あ		**な**	
アイルランド	00	ニュージーランド	00
アメリカ合衆国	011	ノルウェー	00
アラブ首長国連邦	00	**は**	
イギリス	00	ハンガリー	00
イタリア	00	フィリピン	00
インド	00	フィンランド	00
インドネシア	001		990
オーストラリア	0011	フランス	00
オランダ	00	ブラジル	0041
か			0021
カナダ	011		0023
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
さ		ポーランド	00
シンガポール	001	ポルトガル	00
スイス	00	香港	001
スウェーデン	00	**ま**	
スペイン	00	マカオ	00
た		マレーシア	00
タイ	001	モナコ	00
台湾	002	**ら**	
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810
デンマーク	00		
ドイツ	00		
トルコ	00		

■ドコモの国際サービスについて、詳しくは

ドコモの国際サービスホームページ

◎iモード　Menu ▶ お知らせ ▶ サービス・機能 ▶ 国際サービス
◎パソコン　**http://www.nttdocomo.co.jp/service/world/**

ホームページ上で国際サービスのお申込みや、各種手続きのご案内も行っております。

（本パンフレットの内容は平成18年6月現在のものです）2006.6

NTT DoCoMoグループ

6809503A24

ドコモ　W-CDMA、GSM/GPRS方式

このたびは、「FOMA M702iG」をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA M702iGは、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末永くご愛用ください。

FOMA 端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが5本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA、GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA 端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
■取扱説明書PDFデータ掲載ページURL
http://www.nttdocomo.co.jp/support/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書では、目的の機能やサービスを探しやすくするため、複数の検索方法を用意しています。また、FOMA端末の操作説明をわかりやすくするため、イラストやマークを使用して説明しています。

本書の引きかたについて

本書では、次の方法で目的の機能やサービスを検索できます。

索引から ▶P372
FOMA端末に表示される機能名や、利用するサービス名がわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から ▶P4
よく使う機能や、知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから ▶表紙
表紙のインデックスを使用して、本書をめくりながら探します。

次のページで詳しく説明しています。

目次から ▶P6
機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から P8
新機能や便利な機能など、FOMA M702iGの主な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

メニュー一覧から ▶P318
FOMA M702iGの機能の一覧表から探します。

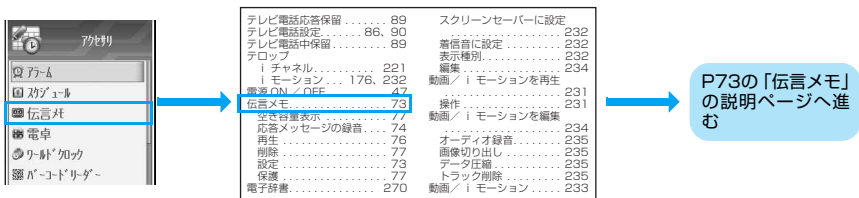
クイックマニュアルから ▶P378
基本的な機能について簡潔に説明しています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。

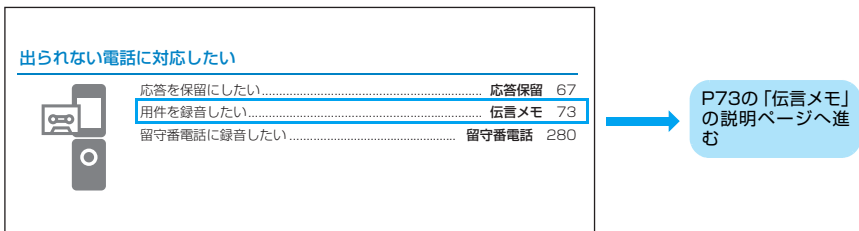
■ **お買い上げ時の設定について**
各機能のお買い上げ時の設定は、各機能説明のタイトル下（P3）と、メニュー一覧（P318）に記載しています。

- この『FOMA M702iG取扱説明書』の本文中においては、「FOMA M702iG」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカード→P248
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

「伝言メモ」の探しかたを例にして説明します。

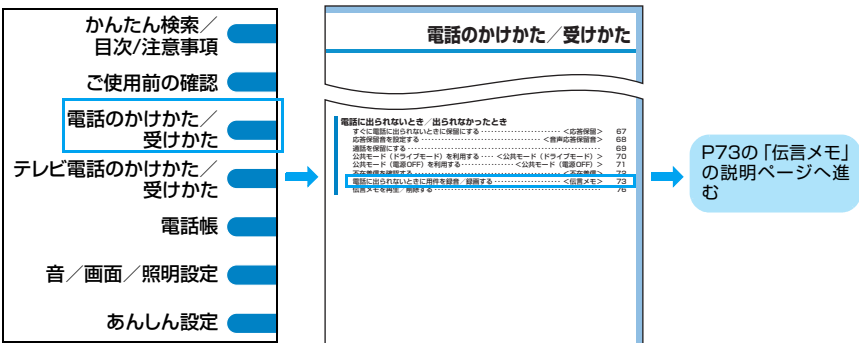
索引から ▶P372

FOMA M702iG のディスプレイに表示される機能名やサービス名を次のように探します。

かんたん検索から ▶P4

よく使う機能や、知っていると便利な機能を次のように探します。

表紙インデックスから ▶表紙

表紙インデックスから各章の章扉（章の最初のページ）を探し、章扉の詳しい目次から目的の機能やサービスの説明ページを探します。

※ 上記のページはサンプルです。

- 本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります。
- 本書では、主にお買い上げ時の状態で説明しています。設定の変更などによっては、表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

かんたん検索

知りたい機能から操作方法を調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話に対応したい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

こんなこともできます

・よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しております。→P378

目　次
Contents

FOMA M702iGの主な機能

FOMAとは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定された「W-CDMA方式」をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモードだからスゴイ！ →P156

ｉモードはｉモード端末のディスプレイを利用して、ｉモードメニューサイト（番組）やｉモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。
※お申し込みが必要な有料サービスです。

ｉモーション →P175

サイトやインターネットから映像や音楽をFOMA端末に取り込み、いつでも楽しむことができます。

ｉモードメール →P178

画像やメロディなどを添付して送信できます。FOMA端末には、受信メールを最大500件、送信メールを最大300件保存できます。

ｉショット →P180

FOMA端末で撮影した静止画をｉモードメールに添付して送信できます。

ｉモーションメール →P180

FOMA端末で撮影した動画や、サイトやインターネットから取り込んだｉモーションをｉモードメールに添付して送信できます。

ｉアプリ、ｉアプリDX →P208

様々なｉアプリをサイトから取り込んで活用したり、それらを待受画面に設定したりできます。
さらにｉアプリDXでは、電話帳やメールなどｉモード端末内の情報と連動することで、よりｉアプリの楽しみ方が広がります。

デコメール →P181

メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を本文中に挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。またテンプレートに対応しているので、送られてきたデコメールやサイトからダウンロードしたデコメールの様式を利用し、簡単にデコメールを作成できます。

ｉチャネル →P220

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を受信できます。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応キーを押すことでチャネル一覧を表示できます。更にチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。また、ｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料でおためしサービスを利用できます。
※お申し込みが必要な有料サービスです。

キャラ電 →P237

テレビ電話中に、自分の映像の代わりに内蔵キャラクタやダウンロードしたキャラクタを表示させることができます。キー操作によりキャラクタに表情や動きを付けられます。

豊富なネットワークサービス →P181、P280

留守番電話サービス（有料）

※お申し込みが必要なサービスです。

転送でんわサービス（無料）

※お申し込みが必要なサービスです。

マルチナンバー（有料）

※お申し込みが必要なサービスです。

キャッチホン（有料）

※お申し込みが必要なサービスです。

デュアルネットワークサービス（有料）

※お申し込みが必要なサービスです。

SMS（ショートメッセージ）（無料）

※お申し込みが不要なサービスです。

テレビ電話　→P80

離れている相手と顔を見ながら会話することができます。相手の声をスピーカーから聞こえるようにしたり、アウトカメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せることもできます。

カメラ機能　→P144

インカメラとアウトカメラの2つのカメラを利用して、静止画や動画を撮影できます。有効画素数約200万画素（記録画素数約190万画素）のアウトカメラでは、最大1200×1600ドットの静止画を撮影できます。

マルチアクセス／マルチタスク →P258

マルチアクセス機能を利用することで、音声電話中にｉモードを利用したり、メールを送受信したりできます。また、マルチタスク機能を利用して、複数の機能を同時に使用することもできます。

国際ローミング　→P306

デュアル方式（W-CDMA、GSM（900、1800、1900MHｚ）／GPRS）に対応し、3GネットワークやGSM／GPRSネットワークを利用している海外でも本FOMA端末を使用して通話や通信ができます。

- 国内で使用している電話番号で国際ローミングを利用できます。
- 利用可能なネットワークや通信事業者が自動的に認識されるので、滞在先の国や地域を気にせずに通信サービスを利用できます。
- 電話の発信時に、国際アクセス番号や国番号を付加して簡単に国際電話をかけられます（ダイヤルアシスト）。
- ワールドクロックを利用して３つの都市の時刻を表示できます。滞在先の時刻、これから移動する都市の時刻、日本の時刻などを同時に確認できるので、海外での滞在や移動時に活用できます。
- FOMA端末の電子辞書を使ってわからない単語を調べられます。英和辞典、和英辞典、国語辞典を利用できます。

赤外線通信／赤外線リモコン →P252

赤外線通信機能が搭載された機器との間で、赤外線通信を利用してデータの交換ができます。また、対応するテレビなどのリモコンとして使うこともできます。

Bluetooth　→P272

Bluetooth対応機器とワイヤレス接続し、データ通信やハンズフリー通話などができます。また、Bluetooth対応機器どうしで電話帳などのデータを交換できます。

電子辞書機能　→P270

３種類の辞書（英和、和英、国語）を利用し、国語辞書で言葉の意味を調べたり、海外で英和／和英辞書を使って単語の意味を調べたりできます。

イルミネーションランプ →P30、P124

電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに、イルミネーションランプを鮮やかに点滅させて着信や受信をお知らせします（着信イルミネーション）。
また、アラームの設定時刻や、スケジュール／ToDoの設定日時になったときにも、イルミネーションランプを点滅させることができます（イベントイルミネーション）。

バーコードリーダー　→P153

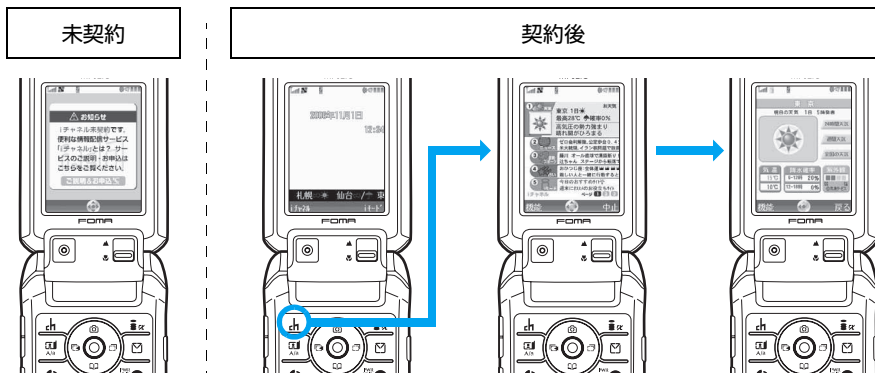
カメラを利用してバーコードやQRコードの情報（電話番号やメールアドレス、画像、メロディなど）を読み取り、電話帳への登録やｉモードメールの作成などができます。

microSDメモリーカード →P248

超小型の着脱可能なmicroSDメモリーカードを利用して、FOMA端末で撮影した画像などを保存したり、パソコンなど他の機器からmicroSDメモリーカードに記録したデータをFOMA端末にコピーしたりできます。

FOMA M702iGを使いこなす！

■ｉチャネル　→P220

自分で操作することなく、いろいろな情報を定期的に受信することができます。また、ｉチャネル対応キーを押すことでチャネル一覧を表示することができ、さらにリッチな詳細情報を取得することができます。

■テレビ電話　→P80

通話の相手とお互いの顔を見ながら会話ができます。また、キャラ電を利用して自分の映像の代わりにキャラクタの映像を相手に送信することで、キャラクタの動作や表情を操作しながら会話を楽しむこともできます。

テレビ電話中画面
（例：キャラ電を利用時の相手画面）
©BVIG

■国際ローミング　→P306

仕事や旅行で海外へ行くときにお客様のFOMA端末を一緒に持っていけば、日本国内で使用している電話番号のままで音声電話やテレビ電話の発着信ができます。また、日本国内と同様にｉモードメールやSMS（ショートメッセージ）の送受信、ｉモードの接続、ネットワークサービスのご利用も可能です。

■グローバルコミュニケーションをアシストする便利な機能

ワールドクロック →P269

3つの都市の日時を同時に確認できます。日本、滞在先、次の滞在先をワールドクロックに設定すれば、スケジュールを確認するときや滞在先の国以外へ連絡するときなど、時差の確認に便利です。自動時刻補正機能をONに設定している場合は、滞在先の日時に時計を自動で合わせることもできます。

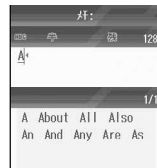
電子辞書 →P270

英和と和英の電子辞書を利用できます。滞在先でわからない英単語を調べたいときなどに便利です。

電卓 →P269

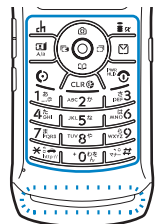
為替換算の機能を利用できます。滞在先の通貨や為替レートを設定しておけば、商品などの購入前に日本円に換算した値段が確認できて便利です。

英文入力機能 →P299

日本語の予測変換機能と同様に、英語の予測変換機能を利用できます。入力中のアルファベットから予測される単語や、入力の確定した単語に続くことが予測される単語などが変換候補に表示され、変換候補から選択して簡単に英文を入力できます。また、英字の先頭を自動的に大文字にしたり、入力を確定したとき自動的にスペースを挿入したりする機能も利用できます。

■Bluetooth通信 →P272

Bluetooth対応のヘッドセットやハンズフリー機器と接続すると、FOMA端末を持たずに会話をしたり、音楽を聴いたりできます。また、Bluetooth対応パソコンなどとワイヤレスで接続してデータ通信が可能です。

■イルミネーションランプ →P124

電話の着信時やメールの受信時、アラーム時刻になったときなど、イルミネーションランプが鮮やかに点滅してお知らせします。

■ビジュアルテーマ設定 →P122

スキン機能を利用して、画面表示をお好みのデザインに変更できます。

■スクリーンセーバー →P123

何も操作をしないでFOMA端末を一定時間放置しているときに、ディスプレイの焼きつきを防止するために画像や動画を表示できます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容	絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。		
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の６項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

●指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
電池パック M02　FOMA ACアダプタ 01
FOMA海外兼用ACアダプタ 01　FOMA DCアダプタ 01
FOMA乾電池アダプタ 01
※その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

●火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。

●水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

禁止

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

●機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

警告

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、ただちに次の作業を行ってください。

1.電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く

2.FOMA端末の電源を切る

3.電池パックをFOMA 端末から取り外す

●そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

禁止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

●プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

●電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

次のページへ続く

警告

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

●ショートによる火災や故障の原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

注意

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

●誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

●けがなどの原因となります。

指示

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、iモード、iアプリの繰り返しや長時間連続使用などの場合において FOMA 端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。

●温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる恐れがあります。FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

●故障の原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

●落下して、けがや故障の原因となります。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠ 警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

●電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

●電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

●心臓に影響を与える可能性があります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

●落雷、感電の原因となります。

指示

ヘッドホンで音楽などを聴くときは、音量を最大にしないでください。

●聴力障害の原因となります。

指示

以前に強い光の刺激や点滅を受けるなどして、癲癇や意識不明になるなどの経験がある場合は、FOMA端末でゲームなどをする前に必ず医師と相談してください。また、次のことに注意してください。

- 長時間使用するときは1時間ごとに約15分の休憩をとる
- ディスプレイを目から離して見る
- 部屋を明るくする
- 疲れた状態での使用を控える
- 使用中に痙攣や意識障害などの兆候がある場合はただちに使用を止めて医師の診察を受ける

●長期間におよぶ障害を引き起こす場合があります。

指示

FOMA端末の使用中に手や腕、肩、首などに疲れなどの症状がある場合は、使用を中止してください。

●症状が悪化する可能性があります。また、継続的に症状がある場合は、医師の診察を受けてください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

●難聴になる可能性があります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。

●視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

次のページへ続く ●●●

警告

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

●FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

●目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。

●2004年11月1日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

●エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

注意

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

●下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素　材	表面処理
Mロゴマーク（サブディスプレイ面）	ニッケル	クロムメッキ
Mロゴマーク（ディスプレイ面）	ニッケル	クロムメッキ
ダイヤルキー	りん青銅	ニッケル下地＋ スズコバルトメッキ
microSDメモリーカードスロット	りん青銅	ニッケルメッキ下地＋ 金メッキ
リアカバーラッチ	PC（ポリカーボネイト）	スズメッキ

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

●安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

●けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

⚠ 注意

指示

Bluetooth機能は日本国内で使用してください。

●FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

指示

FOMA端末の一部にはガラス素材が使用されています。万が一、落下などによりガラス素材が破損した場合は、切断面などに触れないでください。

●けがの原因となります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口やmicroSDメモリーカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

●火災、感電、故障の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

●キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

●本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■**電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠ 危険

指示

電池パック内部の液が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

●失明の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

次のページへ続く

危険

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。

●皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

●漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

●発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

アダプタ（充電器含む）の取り扱いについて

⚠ 警告

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットからプラグを抜いてください。
●感電、発煙、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
●感電、火災、故障の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
●誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ01を使用してください。
ACアダプタ：AC100V
FOMA海外兼用ACアダプタ
：AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ
：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示

ACアダプタをコンセントに差し込む時は、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
●感電、ショート、火災の原因となります。

指示

プラグについたほこりは、拭き取ってください。
●火災の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
●落雷、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
●感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
●火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
●感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
●感電、発熱、火災の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
●火災の原因となります。

次のページへ続く●●●

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

●誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

充電中は、充電器を安定した場所においてください。また、充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

●FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

⚠ 注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。

●感電の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。

●コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

●感電、火災の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

FOMAカード（IC部分）を取り外す際にご注意ください。

●手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠ 警告

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

●電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

●手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。

●病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。

●ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA 端末の電源を切ってください。

●医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

●自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

●電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

●電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意について

共通のお願い

■水をかけないでください。
FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- FOMA 端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。
多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

■電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

■極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
故障の原因となります。

■ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。
故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA 端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光に向けて放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

電池パックについてのお願い

■**電池パックは消耗品です。**
十分に充電しても使用状態などによっても異なりますが､使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■**充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■**初めてお使いのときや､長時間ご使用にならなかったときは､ご使用前に必ず充電してください。**

■**電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

■**電池パックの使用条件により､寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

■**直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。**
長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

■**充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■**次のような場所では、充電しないでください。**
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

■**充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。**

■**DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■**抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■**強い衝撃を与えないでください。また、充電端子、端子ガイドを変形させないでください。**
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■**FOMAカードの取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。**

■**ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。**

■**使用中、FOMA カードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。**

■**他の IC カードリーダライタなどに FOMA カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

■**IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

■**お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

■**お客様ご自身で、FOMA カードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても､当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■**環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

■**極端な高温、低温は避けてください。**

■**ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■**FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。

次のページへ続く ●●●

■**FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
故障の原因となります。

Bluetoothについてのお願い

Bluetoothとは携帯電話やパソコンなどのBluetooth対応機器どうしをワイヤレス接続する技術です。→P272

■**パスキー**
Bluetooth機器を他人に許可なく使われないためのパスワードです。半角英数字で16桁まで設定できますが、機器によってはあらかじめ設定され、変更できない場合があります。ワイヤレス接続するBluetooth機器とFOMA端末の両方に同じパスキーを入力する場合と、FOMA端末だけにパスキーを入力する場合があります。
安全のため、パスキーを設定する場合は16桁までのできるだけ長い桁数でのご使用をおすすめします。また、名前や誕生日など容易に推測できる言葉をパスキーに使わないようご注意ください。

■**良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。**

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
  特に、鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 他の機器（電気製品／AV機器／OA機器／デジタルコードレス電話機／ファックスなど）から2m以上離れて接続してください（特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎるときは、正常に接続できないことがあります。

■**無線LANとの電波干渉について**
Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 無線LANと、FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LANまたはFOMA端末とワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

■**FOMA端末は、Bluetoothを使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetoothを使用した通信を行う際にはご注意ください。**

■**Bluetooth を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

■FOMA端末では、以下のバージョンとプロファイルに対応したサービスを利用できます。

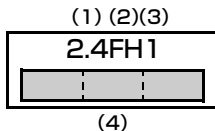
対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格Ver.1.2に準拠※1
出力	Bluetooth標準規格Power Class2
見通し通信距離※2	約10m以内
対応Bluetoothプロファイル※3	Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル） Dial-Up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） Headset Profile（ヘッドセットプロファイル） Hands-free Profile（ハンズフリープロファイル） Basic Printing Profile（ベーシックプリンティングプロファイル） Basic Imaging Profile（ベーシックイメージングプロファイル） File Transfer Profile（ファイルトランスファープロファイル） Advanced Audio Distribution Profile（オーディオプロファイル） Audio/Video Remote Control Profile（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）

※1：FOMA端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2：通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※3：Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

■周波数帯について

FOMA端末が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

（1）2.4 ：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

（2）FH ：変調方式がFH-SS方式であることを示します。

（3）1 ：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

（4） ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1.本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2.万が一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。

3.その他、不明な点やお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ先：0120-800-000　※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

次のページへ続く

カメラについてのお願い

お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

その他のお願い

NTTドコモでは、NTTドコモ以外の第三者が提供する機器、ネットワーク、ソフトウェアなどとの組み合わせによりお客様がFOMA端末の各種機能をご利用いただけない場合には責任を負いかねます。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「mova」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「ｉメロディ」「ｉエリア」「ｉモーション」「ｉモーションメール」「着モーション」「デコメール」「キャラ電」「ｉアニメ」「ｉショット」「mopera」「mopera U」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「ビジュアルネット」「Vライブ」「ｉチャネル」「ショートメール」「セキュリティスキャン」「メッセージF」「トクだねニュース便」「My DoCoMo」「マルチナンバー」「DoPa」「パケ・ホーダイ」および「FOMA」ロゴ、「i-mode」ロゴ、「i-αppli」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称およびフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- MOTOROLAおよび“Mロゴ”は米国特許商標庁に登録された商標です。(C) Motorola, Inc. 2007.
- The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, inc. and any use of such marks by NTT DoCoMo, Inc. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners. （Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。）
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。

- Quick Timeは、米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。

- 本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
  NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 1996-2007 ACCESS CO., LTD.
  NetFrontおよび**NetFront**®は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、および、Adobe Readerは米国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。
- microSDロゴは商標です。

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

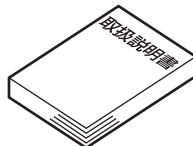
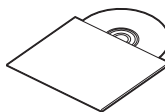
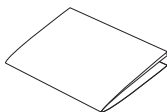
その他

- 本製品は、Adobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™テクノロジーを搭載しています。Flash、Flash LiteおよびMacromediaはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- Microsoft、MS、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows XP、2000のように併記する場合があります。

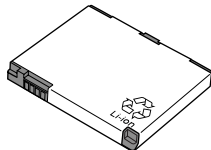
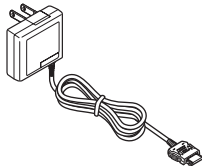
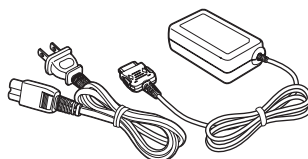
本体付属品および主なオプション品について

本体付属品

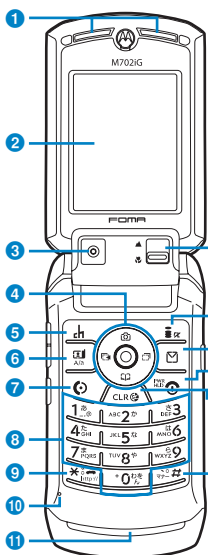
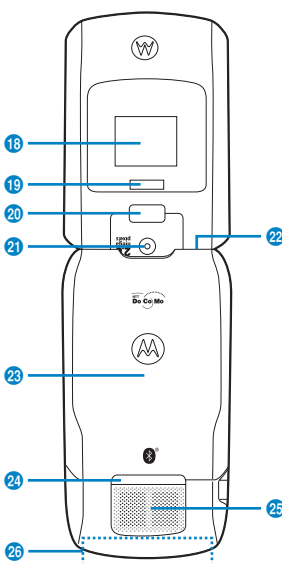
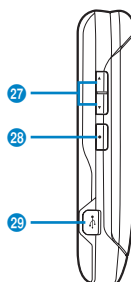
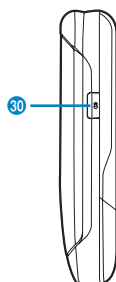
FOMA M702iG
（保証書、リアカバー M02を含む）

取扱説明書（本書）
※ P378にクイックマニュアルを記載しています。

FOMA M702iG用CD-ROM
※ PDF版「データ通信マニュアル」を収録しています。

国際ローミングサービス（WORLD WING）ご利用にあたって

FOMA miniUSB変換アダプタ M01
※ AC／DCアダプタ（別売）やFOMA USB接続ケーブル（別売）の接続時に利用します。→P45、P251

主なオプション品

電池パック M02
（取扱説明書付き）

FOMA ACアダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）

FOMA海外兼用ACアダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）

その他オプション品→P342

ご使用前の確認

各部の名称と機能

・FOMA端末のアンテナは本体に内蔵されています。

❶ **受話口**
- 通話中に相手の声が聞こえます。

❷ **ディスプレイ→P32**

❸ **インカメラ**
- カメラ／ビデオカメラで自分を撮影します。→P147、P148
- テレビ電話で自分を撮影します。→P86

❹ **マルチファンクションキー→P31**

❺ **i チャネル／左ソフトキー**
- 待受画面で押すと、チャネル一覧画面を表示します。→P221
- 左ソフトキーに表示されている操作を実行します。→P34

❻ **テレビ電話キー**
- テレビ電話をかけます／受けます。→P80、P83
- 待受画面で押すと、発信履歴一覧画面を表示します。→P54
- 文字入力画面で押すと大文字／小文字、1秒以上押すと全角／半角を切り替えます。→P296

❼ **開始／ネットワーク検索キー**
- 音声電話をかけます／受けます。→P52、P63
- テレビ電話を受けます。→P83
- 待受画面で押すと発信履歴一覧画面、1秒以上押すとネットワーク画面を表示します。→P54、P313
- 文字入力画面で押すと改行マーク、1秒以上押すとスペースを入力します。→P297

❽ **ダイヤルキー**
- 電話番号や文字を入力します。→P330
- 待受画面で1～9を1秒以上押すと、スピードダイヤルで電話をかけます。→P109
- 待受画面で0を1秒以上押すと、「+」を入力します。→P59

❾ **＊／公共モード（ドライブモード）キー**
- 「＊」／「*」を入力します。
- 待受画面で1秒以上押すと、公共モード（ドライブモード）を設定／解除します。→P70

❿ **送話口／マイク**
- 通話中に自分の声を相手に送ります。
- 動画や音声メモの録画／録音時に音声を録音します。→P148、P244

⓫ **着信／充電／イルミネーションランプ**
- 電話の着信時に点滅します。→P124
- 充電中に赤色で点灯します。
- メールの受信時、アラームやスケジュール／ToDoの設定時刻などのイベントが発生したときに点滅します。→P124

⓬ **接写切替スイッチ**
- アウトカメラを接写撮影モードに切り替えます。→P151

⓭ **i モード／右ソフトキー**
- 待受画面で押すと i モードメニュー画面、1秒以上押すと i アプリのソフト一覧画面を表示します。→P160、P210
- 右ソフトキーに表示されている操作を実行します。→P34
- 文字入力画面で押すと、文字入力モードを切り替えます。→P296

⑭ メールキー
- 待受画面などで押すと、メールメニュー画面を表示します。→P182
- 文字入力画面で押すと、絵文字、顔文字、記号を切り替えます。→P296

⑮ 電源／終了／応答保留キー
- 「シークレットデータ」を「表示」に設定中に待受画面で押すと、シークレットデータを「非表示」に設定できます。→P138
- 通話を終了します。
- 各機能を終了して待受画面に戻ります。
- 電源を入れます／切ります。→P47

⑯ クリアキー
- 操作を1つ前の状態に戻します。
- 入力した電話番号や文字を削除します。
- 待受画面で1秒以上押すと、セルフモードを設定／解除します。→P134
- ｉアプリ待受画面を設定中の場合は、待受画面で押すとｉアプリを操作できます。
- 各種通知画面の表示中に押すと、表示を消去します。

⑰ #／マナーモードキー
- 「#」を入力します。
- 待受画面で1秒以上押すと、マナーモードを設定／解除します。→P117

⑱ サブディスプレイ→P32

⑲ 赤外線ポート→P253

⑳ フォトライト
- 暗い場所で静止画／動画を撮影するときに使用します。→P148、P149

㉑ アウトカメラ
- カメラ／ビデオカメラで景色などを撮影します。→P147、P148
- テレビ電話で景色などを撮影します。→P86

㉒ ストラップ取付穴

㉓ リアカバー
- FOMAカードや電池パック、microSDメモリーカードを取り付ける／取り外すときにFOMA端末から取り外します。→P39、P42、P248

㉔ リアカバーラッチ→P42

㉕ スピーカー
- 着信音やアラーム音、メロディの再生音などが聞こえます。
- ハンズフリー通話中は相手の声が聞こえます。→P62、P83

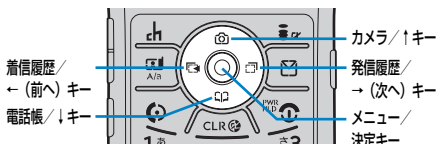
㉖ アンテナ部
- 通話／通信中は手などで覆わないようにしてください。

㉗ 音量調整キー
- 待受画面などで押すと、着信音量を調節します。
- 電話の着信中に押すと、着信音／バイブレータを停止します。
- 通話中に押すと、受話音量を調節します。
- メニューやリストを表示中に押すと、カーソルを上下に移動します（表示中の機能によっては、着信音量が調節される場合があります）。

㉘ スマートキー
- FOMA端末を開いている場合、待受画面で押すと動画撮影画面を表示します。
- 「サイドキーロック」を「ON」に設定してFOMA端末を閉じているときに1秒以上押すと、サイドキーロックを解除します。→P137
- 通話中に1秒以上押すと、通話を終了します。
- 静止画撮影画面で押すと静止画を撮影／保存、動画撮影画面で押すと動画を撮影／停止／保存します。
- メニューやリストを表示中に押すと、カーソルがあたっている項目などを選択／実行します。

㉙ 外部接続端子
- FOMA miniUSB変換アダプタ M01（付属品）を接続し、ACアダプタ（別売）、DCアダプタ（別売）、FOMA USB接続ケーブル（別売）などを接続します。
- miniUSBステレオヘッドセット M01（別売）を接続します。

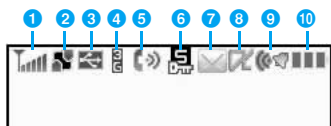
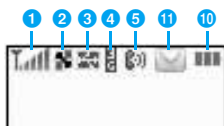
㉚ 音声メモキー
- 待受画面などで押すと、押している間音声メモを録音します。→P244
- 着信中に 1 秒以上押すと、伝言メモを起動します。→P76

マルチファンクションキーの操作と表記

操　作	本書の表記	主な操作の説明
メニュー／決定キーを押す	◉	• 待受画面で押すとメインメニューを表示 • 選択中の項目の実行 • 入力した文字の確定 • 静止画撮影画面で押すと静止画を撮影／保存 • 動画撮影画面で押すと動画を撮影／停止／保存
カメラ／↑キーを押す		• 待受画面で押すと静止画撮影画面を表示 • カーソルを上へ移動／画面を上へスクロール
電話帳／↓キーを押す		• 待受画面で押すと電話帳を表示 • カーソルを下へ移動／画面を下へスクロール
着信履歴／←（前へ）キーを押す		• 待受画面で押すと着信履歴一覧画面を表示 • カーソルを左へ移動／画面を左へスクロール
発信履歴／→（次へ）キーを押す		• 待受画面で押すと発信履歴一覧画面を表示 • カーソルを右へ移動／画面を右へスクロール

- 上下左右など複数のキーのいずれかを押す操作を示す場合の表記は、のようになります。

ディスプレイの見かた

ディスプレイやサブディスプレイの画面上部に表示されるマーク（アイコン）の意味は次のとおりです。

■ディスプレイ

■サブディスプレイ

❶
- セルフモードを「ON」に設定中→P134
- FOMAカード未挿入
- サービスエリア外または電波が届かない状態→P48
- 電波の受信レベル→P48

❷
- パケットデータの送受信中
- iモード通信中→P160
- iモード中→P160
- 公共モード（ドライブモード）を設定中→P70
- パケット通信中
- パケット通信の利用可能エリア内（位置登録されている）
- パケット通信の利用可能エリア外（位置登録されていない）

❸※1
- 「USBモード設定」を「通信モード」に設定してFOMA USB接続ケーブル（別売）を接続中
- 「USBモード設定」を「microSDモード」に設定してFOMA USB接続ケーブルを接続中
- 赤外線通信でデータの送受信中→P252
- 赤外線通信の接続中／待機中／赤外線リモコンの利用中→P252、P255
- ／ Bluetooth通信の接続中／待機中→P272

❹
- SSL対応ページの表示中→P161
- 海外のGSMネットワークに接続中→P308
- 海外のGPRSネットワークに接続中→P308
- 国内のFOMAネットワークに接続中→P309
- 海外の3Gネットワークに接続中→P308

❺※1
- 音声電話中→P52
- テレビ電話中→P80
- ／ リマインダを設定したスケジュール／ToDoあり→P261
- ／ 設定中のアラームあり→P259
- 「ダイヤル発信制限」を「ON」に設定中→P137
- 「機能ロック」を「ON」に設定中で、ロックしている機能あり→P135

❻※1
- 「シークレットデータ」を「表示」に設定中→P138
- ～ 留守番電話サービスの伝言メッセージあり（録音件数1～9件）→P280
- 留守番電話サービスの伝言メッセージあり（録音件数10件以上）→P280
- （赤） 伝言メモなどのメモリが残りわずか→P75
- （青） 新しい伝言メモあり→P75
- （青） 伝言メモを「ON」に設定中→P73

❼
- （赤） FOMA端末内のｉモードメールが一杯
- （赤） ｉモードセンターのｉモードメールが一杯
- （黄） ｉモードセンターにｉモードメールあり→P189
- （黄） 未読のｉモードメールあり→P188
- （赤） FOMAカード内のSMSが一杯
- （黄） 未読のSMSあり→P204
- （赤） FOMA端末内のメッセージRが一杯
- （黄） 未読のメッセージRあり→P172
- （赤） ｉモードセンターのメッセージRが一杯
- （黄） ｉモードセンターにメッセージRあり→P172
- （赤） FOMA端末内のメッセージFが一杯
- （黄） 未読のメッセージFあり→P172
- （赤） ｉモードセンターのメッセージFが一杯
- （黄） ｉモードセンターにメッセージFあり→P172

8　iアプリを起動中／待受画面に設定したiアプリを起動中→P210

iアプリ待受画面を表示中→P215

iアプリDX待受画面／メール連動型iアプリ待受画面を表示中→P215

待受画面に設定したiアプリDX／メール連動型iアプリを起動中→P215

iアプリの自動起動失敗

9※2　マナーモードを設定中→P117

「パターン選択」を「音パターン1」に設定中→P112

「パターン選択」を「音パターン2」に設定中→P112

「パターン選択」を「サイレント」に設定中→P112

「パターン選択」を「バイブ＆音」に設定中→P112

「パターン選択」を「バイブレータ」に設定中→P115

10　電池残量表示→P46

11※3
（赤）　FOMA端末内のiモードメールが一杯

（赤）　iモードセンターのiモードメールが一杯

（黄）　iモードセンターにiモードメールあり→P189

（黄）　未読のiモードメールあり→P188

（赤）　FOMAカード内のSMSが一杯

（黄）　未読のSMSあり→P204

（赤）　FOMA端末内のメッセージRが一杯

（黄）　未読のメッセージRあり→P172

（赤）　iモードセンターのメッセージRが一杯

（黄）　iモードセンターにメッセージRあり→P172

（赤）　FOMA端末内のメッセージFが一杯

（黄）　未読のメッセージFあり→P172

（赤）　iモードセンターのメッセージFが一杯

（黄）　iモードセンターにメッセージFあり→P172

（赤）　伝言メモなどのメモリが残りわずか→P75

（青）　新しい伝言メモあり→P75

（青）　伝言メモを「ON」に設定中→P73

※1：複数のアイコンが同時に表示される状況の場合は、優先度の高いアイコンが表示されます。優先度は、アイコンの掲載順が上になるほど高くなります。

※2：マナーモードを設定した場合は、マナーモードのアイコンが優先して表示されます。

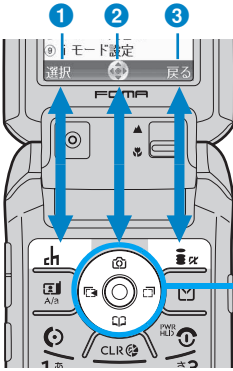
※3：メールやメッセージを受信した場合は、メールやメッセージのアイコンが優先して表示されます。

お知らせ

- ディスプレイやサブディスプレイに表示する文字や記号は、一部変形もしくは省略しているものがあります。
- ディスプレイやサブディスプレイに表示されるマークは、お買い上げ時の設定をもとにしています。お買い上げ後の設定変更により、FOMA端末の表示が取扱説明書と異なる場合があります。
- FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ディスプレイの特性により、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

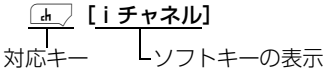
ソフトキーの表示について

画面下部には、表示中の画面でできる操作がソフトキーとして表示されます。ソフトキーの内容を実行するには、対応する次のキーを押して操作します。

- ソフトキーの表示は、機能や表示状況によって異なります。

1 [ch]で行う操作が表示されます。
2 [●]／[◎]でカーソルの移動や項目の選択が可能かどうかが表示されます。
※ iモード、メール、iチャネル機能利用時のみ表示されます。
・ キー操作が可能な方向は青く表示されます。
3 [iα]で行う操作が表示されます。

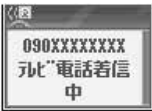
ソフトキー操作の表記について

本書では、ソフトキーの操作を次のように表記しています。

[ch] [iチャネル]
対応キー　　ソフトキーの表示

サブディスプレイの表示例

FOMA端末を閉じているときのサブディスプレイには、時計表示やFOMA端末の状態を知らせる各種情報が表示されます。

時計の表示中

音声電話の着信中

テレビ電話の着信中

メロディを再生中

アラームの設定時刻

スケジュールのリマインダの設定日時

メニューの選択方法

FOMA端末では、メインメニューや機能メニューなどのメニューから、機能の実行や設定、登録などの操作をします。

メインメニュー

■ メインメニューに表示されるアイコン

メニューアイコン	説　明
（ｉモード）	ｉモードを利用するときに選択します。ｉMenuに接続したり、ｉモードを利用するための各種設定やメッセージR/Fの確認などができます。
（ｉアプリ）	ｉアプリを利用するときに選択します。お買い上げ時に登録されているｉアプリやサイトからダウンロードしたｉアプリを表示できます。
（メール）	ｉモードメール、SMSを利用するときに選択します。ｉモードメール、SMSを利用するための各種設定も行えます。
（電話帳）	FOMA端末本体／FOMAカードに保存されている電話帳を利用するときに選択します。
（データBOX）	FOMA端末、microSDメモリーカードに保存されている静止画、動画／ｉモーション、メロディ、キャラ電、アニメーション（Flash）、音声メモのデータを利用するときに選択します。
（アクセサリ）	カメラ、バーコードリーダー、アラーム、スケジュール、電卓、電子辞書など生活に便利な機能を利用するときに選択します。
（接続設定）	赤外線受信、Bluetoothを利用するとき、FOMA USB接続ケーブル（別売）を接続したときのUSBモードを設定するときに選択します。
（ネットワークサービス）	留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービス、発信者番号通知などネットワークサービスを利用するときに選択します。
（設定）	FOMA端末から鳴る音や音量の設定、待受画面などの画面表示の設定、時計の設定、FOMA端末を安心して利用するためのセキュリティの設定などを行うときに選択します。

メインメニューから機能を選択する

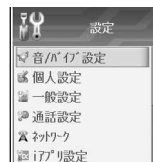
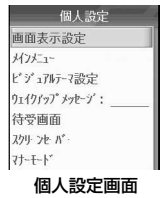
ここでは、待受画面からメインメニューを呼び出し、「スクリーンセーバー」の設定画面を表示するまでの操作を例に説明します。

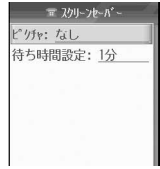
1 待受画面で●を押す

メインメニューが表示されます。

2 メインメニューで✣を押して（設定）にカーソルを移動し、［選択］／●を押す

設定メニュー

次のページへ続く

3 **設定メニューで[方向キー]を押して「個人設定」にカーソルを移動し、[ch]［選択］／[●]を押す**

個人設定画面

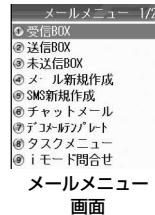
4 **個人設定画面で[方向キー]を押して「スクリーンセーバー」にカーソルを移動し、[ch]［選択］／[●]を押す**

スクリーンセーバー画面

■ メニュー番号で機能を選択する

iモードメニュー画面、メールメニュー画面内では、メニュー番号に対応するダイヤルキーを押すと、その機能をすばやく呼び出すことができます。

例：メールメニュー画面から受信BOX一覧画面を表示する

① 待受画面で[✉]を押します。
② メールメニュー画面で[1]を押します。

メールメニュー画面　受信BOX一覧画面

各種画面の基本操作

1つ前の画面／待受画面に戻るには

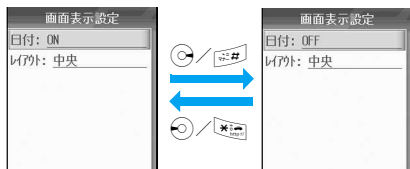
メニュー項目の選択を間違えて1つ前の画面に戻るときや、操作を中断／終了して待受画面に戻るときは、次のように操作します。

[CLR]：1つ前の画面に戻ります。
[電源/終話]：待受画面に戻ります。終了の確認画面が表示された場合は、[ch]［はい］を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- FOMA端末の操作状況によっては、[電源/終話]／[CLR]を押しても待受画面／前の画面に戻らない場合があります。

設定項目の選択操作について

設定画面に現在の設定が表示されている項目は、[左右キー]または[*キー]／[#キー]を押して設定を切り替えることができます。

お知らせ

- 選択操作ができるのは、項目を選択して[●]を押したとき、設定項目の一覧が表示される項目のみです。
- 項目によっては設定を切り替えられない場合や、切り替えたときに設定変更の確認画面などが表示される場合があります。

認証操作について

利用する機能やサービスによっては、認証のために各種暗証番号（P130）入力画面が表示されます。入力画面が表示された場合は、ダイヤルキーで暗証番号を入力して[ch]［OK］を押します。正しく入力されると、操作を完了させたり、操作を次に進めたりできます。

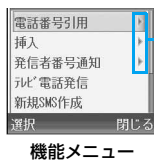
- 入力した暗証番号は「*」で表示されます。

暗証番号入力画面
（例：端末暗証番号入力画面）

機能メニューについて

ソフトキーに「機能」が表示された場合は、機能メニューを呼び出して各種操作ができます。

- 機能メニューの表示は、機能やFOMA端末の設定状況／登録状況などによって異なります。

電話番号入力画面　　機能メニュー

■一覧画面での機能メニューについて

一覧画面の機能メニューには、「1件削除」のようにカーソルがあたっている項目が対象となる項目や、「全件削除」のようにすべての項目が対象となる項目があります。1件の項目が対象となる操作を行う場合は、あらかじめ該当する項目にカーソルを移動してから[ch]［機能］を押してください。

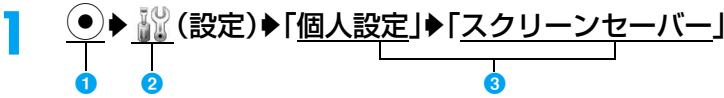
お知らせ

- 2階層目がある項目はカーソルを移動して[ch]［選択］／[●]／[右キー]を押すと2階層目を表示できます。
- 機能メニューを閉じるには、[i]［閉じる］／[CLR]を押します。

メニュー操作の表記について

本書では、主に待受画面からの操作で説明しています。また、原則として操作手順を次のように簡略化しています。

操作の記載例

1

❶ **待受画面を表示中に押すキーのイラストです。**

❷ **メインメニューのアイコンです。を押してアイコンにカーソルを移動し、［選択］／を押して選択します。**

❸ **メニュー項目の名称です。を押して項目にカーソルを移動し、［選択］／を押して選択します。**

機能メニューの記載例

機能メニューに表示される項目は、FOMA端末の設定状況や登録状況などの条件により異なる場合があります。

録音時間 ❶
音声電話での伝言メモの録音時間を設定します。❷
▶録音時間を選択▶［選択］ ❸

応答メッセージ
日本語　：応答メッセージを日本語に設定します。
英語　　：応答メッセージを英語に設定します。
録音データ：応答メッセージを録音データに設定します。 ❹

❶ **項目の名称です。を押して項目にカーソルを移動し、［選択］／を押して選択します。**

❷ **項目の機能説明です。**

❸ **項目の操作説明です。❶を選択した後に操作します。**

❹ **2階層目に表示される項目の名称、機能説明、操作説明です。**

お知らせ

- 発信履歴一覧画面と発信履歴詳細画面など複数の機能メニューをまとめて説明している場合は、設定内容や画面によって表示されない機能メニューが含まれている場合があります。

表記ルール

■ **待受画面以外から開始する操作文の表記について**

操作文の最初に「着信中」や「一覧画面」など、FOMA端末の状態や表示する画面を記載しています。

■ **「選択」操作における［選択］／の省略について**

「操作の記載例」（P38）❸のようにアイコンや一覧から目的の機能を選択するときは［選択］／などの確定操作を省略して記載しています。

同様に暗証番号の入力や文字の確定などの操作説明でも、［OK］／などの確定操作を省略しています。

■ **□を☑にする操作におけるの省略について**

□の付いた項目を選択し、を押して☑にする操作を、の操作を省略して「チェックを付ける」と記載しています。

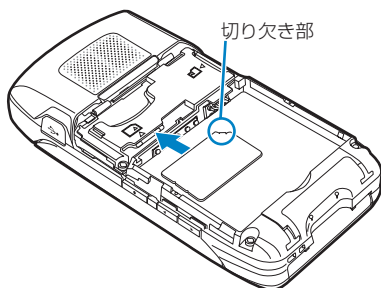
FOMAカードを使う

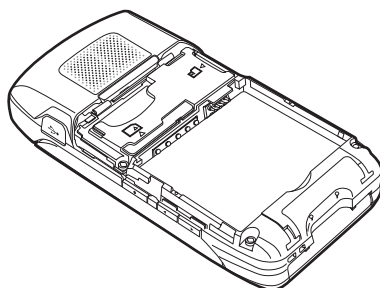
FOMAカードは、お客様の電話番号などの契約情報が記録されているICカードです。FOMA端末に取り付けることで、電話やメール、ｉモードなどの通信機能を利用できます。FOMAカードを他のFOMA端末に取り付けることで、用途に合わせてFOMA端末を使い分けることもできます。
取り扱いの詳細については、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

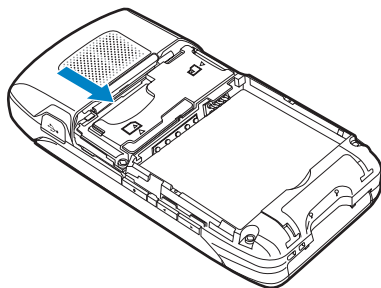
FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

- 電池パックを取り外してから、FOMAカードを取り付け、または取り外しを行ってください。→P43
- FOMA端末の電源を切り、閉じた状態で、手で持って行ってください。

取り付けかた

①FOMAカードのIC面を下にして、矢印の方向に差し込む

②FOMAカードをスライドさせて押し込む

- 固定されるまで押し込んでください。

取り外しかた

①矢印の方向に FOMA カードを押し出し、FOMAカードスロットから取り外す

お知らせ

- 無理に取り付けようとすると、FOMAカードが壊れることがあります。
- 取り外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。
- 異なるFOMAカードを取り付けると、発着信履歴が自動的に削除されます。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、「PIN1コード」と「PIN2コード」という2つの暗証番号を設定できます。
→P131

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータ／ファイルの保護機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。お客様がダウンロードなどして入手したデータ／ファイルには自動的にFOMAカード動作制限機能が設定され、データ／ファイル入手時のFOMAカードを取り付けている場合のみ、データ／ファイルの表示や再生、確認、メールへの添付、データ送信などの操作ができます。

- 制限の対象となるデータ／ファイルは次のとおりです。
  - サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像、メロディ、キャラ電、ｉアプリ、ｉモーションなど
  - 画面メモに含まれている画像やメロディなど
  - ｉモードメールに添付されている画像やメロディなど
  - メッセージR/Fに添付または貼り付けられている画像やメロディなど
  - デコメールの本文に挿入されている画像

お知らせ

- 本機能で制限されているデータ／ファイルを待受画面などに設定すると、他の FOMA カードが取り付けられた場合やFOMAカードが取り付けられていない場合は、一時的に設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリは本機能の制限の対象になりません。ただし、一度削除するなどしてサイトからダウンロードした場合は制限の対象になります。
- 次のデータ／ファイルは、本機能の制限の対象になりません。
  - 赤外線通信やBluetooth通信、microSDメモリーカード、データ通信を利用して入手したデータ／ファイル
  - 本FOMA端末で撮影／編集した画像
- データ／ファイルの入手時とは異なるFOMAカードが取り付けられている場合でも、本機能で制限されているデータ／ファイルの削除はできます。
- 他のFOMAカードを取り付けた場合、次の設定は取り付けたFOMAカードに登録されている設定に変更されます。
  - SMSメッセージ有効期限→P205　- PIN1コード→P132　- ユーザ証明書操作→P174
- 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えた場合、テロップが表示されなくなります。ch［ｉチャネル］を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信してテロップが表示されるようになります。

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには2種類のカードがあり、次のように機能が異なります。各機能をご利用の際はご注意ください。

機　能	FOMAカード（緑色／白色）	FOMAカード（青色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	26桁まで	20桁まで	P95
FirstPassを利用するためのユーザ証明書の操作	利用可	利用不可	P174
WORLD WINGの利用	利用可	利用不可	P306
サービスダイヤルの利用	利用可	利用不可	P284

WORLD WINGについて

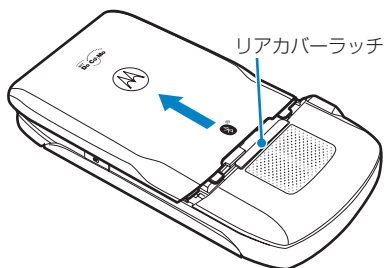
WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）をサービス対象のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

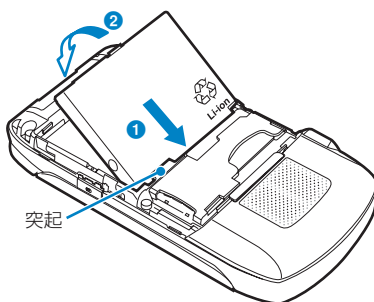
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- 万一、FOMAカード（緑色／白色）を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

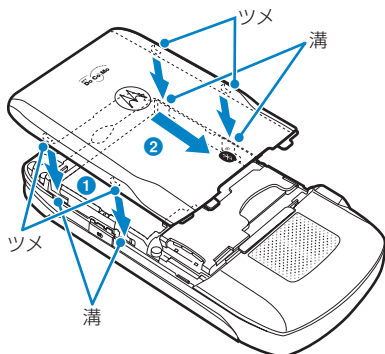
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

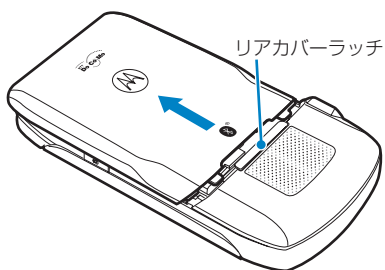
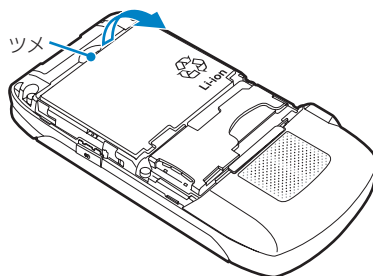
- FOMA端末の電源を切り、閉じた状態で、手で持って行ってください。

取り付けかた

①リアカバーラッチを押しながら、リアカバーを矢印の方向に約2mmスライドさせて外す

②電池パックの溝をFOMA端末の突起部分に合わせて矢印❶の方向に差し込み、矢印❷の方向に押してはめ込む

- 電池パックの商品名が印刷されている面を上にします。
- 電池パックをはめ込むときは、突起の下に押し付けるようにしてからはめ込んでください。

③リアカバーの4箇所のツメをFOMA端末の4箇所の溝に合わせて矢印❶の方向にはめ込み、矢印❷の方向に「カチッ」と音がするまでスライドさせる。

- リアカバーが「カチッ」と固定できない場合は、4箇所のツメと溝が正しく合っているか確認してください。

取り外しかた

①リアカバーラッチを押しながら、リアカバーを矢印の方向に約2mmスライドさせて外す

②電池パックのツメ部分に指をかけ、矢印の方向に持ち上げて取り外す

お知らせ

- FOMA カードが正しく取り付けられていない状態で電池パックを無理に取り付けようとすると、FOMA カードが壊れる場合があります。
- 電池パックを無理に取り付けようとすると、FOMA端末の端子が壊れることがあります。
- 取り扱いの詳細については、電池パック M02の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話を充電する

FOMA端末は、専用のACアダプタ（別売）またはDCアダプタ（別売）で充電してください。また、FOMA端末の性能を十分に発揮するために、専用の電池パック M02をご利用ください。

- 充電する際は、FOMA端末にFOMA miniUSB変換アダプタ M01（付属品）を取り付ける必要があります。

■ **電池パックの寿命**

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをお勧めします。また、電池パックの使用条件によって、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
  電池パックの寿命の目安は約1年です。ただし、短時間の充電／放電を繰り返したり高温になる環境で充電を行ったり、長時間充電状態を継続したりすると電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

■ **充電について**

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタまたはDCアダプタで充電するには、電池パックをFOMA端末に取り付けた状態でないと充電できません。電池パックを取り外したままで充電しようとすると、「充電できません」と表示され充電できません。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 通話中の場合でも、充電を開始すると受話口から充電開始音が聞こえます。
- 電池パックが空の状態で充電を開始すると、しばらくの間FOMA端末の電源が入らない場合があります。
- 充電中にテレビ電話などを長時間行ったりすると、FOMA 端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。その場合は、しばらくたってから再度充電してください。
- 電池パックが正しく取り付けられていない状態で充電を開始した場合や、充電器が接続されたFOMA端末に電池パックを取り付けた場合は、「指定以外の電池です」と表示され充電できない場合があります。この場合は、FOMA端末からACアダプタまたはDCアダプタを取り外し、電池パックを正しく取り付けてから充電し直してください。

■ **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください**

- 充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わった後、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに低電圧アラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ、DCアダプタから外して再度接続し直してください。

■ **電池パックの使用時間の目安**

使用時間は使用環境、電池の劣化度によって異なります。

ネットワーク	連続待受時間	連続通話時間
FOMA／3G	静止時：約340時間 移動時：約170時間	音声電話時：約120分 テレビ電話時：約90分
GSM	約270時間	900MHz：約200分 1800／1900MHz：約200分

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）、Bluetoothの使用などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面を起動、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画やメロディの再生などを行うと、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 滞在国のネットワーク状況によっては記載値より短くなることがあります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

■ 電池パックの充電時間の目安

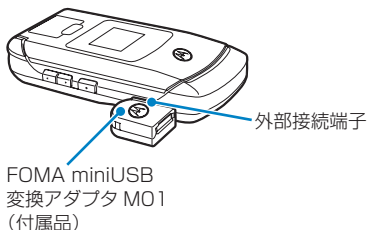
FOMA ACアダプタ 01	約140分
FOMA DCアダプタ 01	約140分

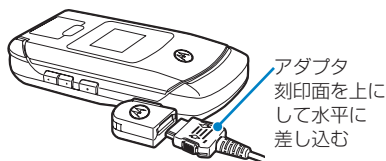
- 充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ACアダプタ／DCアダプタで充電する

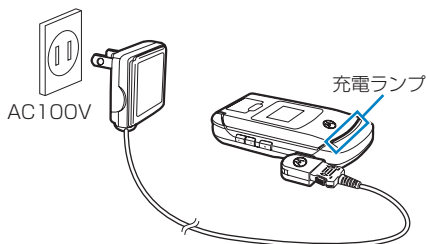
ここでは、ACアダプタ（別売）とDCアダプタ（別売）をまとめて「アダプタ」と表記しています。

①外部接続端子の端子キャップを開き、FOMA miniUSB変換アダプタ M01（付属品）を接続する

- FOMA端末とFOMA miniUSB変換アダプタ M01の間に2mm程度の隙間が空きますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

②アダプタのコネクタを、刻印面を上にしてFOMA miniUSB変換アダプタ M01に水平に差し込む

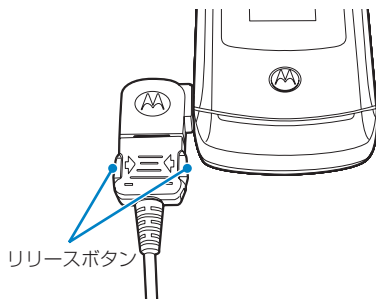
- 「カチッ」と音がするまでコネクタをしっかりと差し込んでください。

③アダプタのプラグをコンセント／車のシガーライタソケットに差し込む

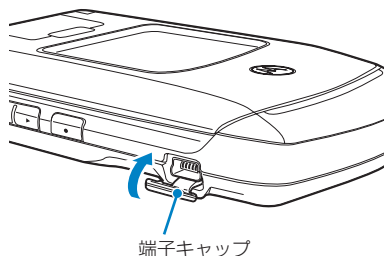
充電開始音が鳴り、充電が開始されます。

- 充電中は、画面上部の電池残量表示のアイコンが点滅し、「充電中」のメッセージが表示されます。また、充電ランプが赤色に点灯します。
- 充電が完了すると画面上部の ▮▮▮ が点灯し、「充電完了」が表示されます。

④充電が完了したらコンセント／車のシガーライタソケットからアダプタのプラグを抜く

次のページへ続く ●●●

⑤リリースボタンを押してアダプタのコネクタをFOMA miniUSB変換アダプタM01（付属品）から抜く

- アダプタのコネクタをFOMA miniUSB変換アダプタ M01から抜くときは、コネクタのリリースボタンを押しながら水平に抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

⑥FOMA端末からFOMA miniUSB変換アダプタ M01を抜き、外部接続端子の端子キャップを閉じる

- FOMA端末からFOMA miniUSB変換アダプタ M01を抜くときは、水平に抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

お知らせ

- 充電中に充電ランプを点灯させないように設定できます。→P127
- 電源を切って充電するとき、充電が開始されても充電ランプがすぐに点灯しない場合があります。
- 充電中は電池残量表示のアイコンが「→→→」の順に切り替わり、充電完了までの目安を確認できます。
- 海外でご利用になる場合は、滞在先の国・地域で利用できる電圧やプラグの形状を確認し、FOMA海外兼用ACアダプタ01（別売）と渡航先に適合した市販の変換プラグアダプタを使用して充電してください（海外旅行用の変圧器は使用しないでください）。

ACアダプタ／DCアダプタ

- 指定の電源、電圧で使用してください。誤った電圧で使用すると、火災や故障の原因となります。

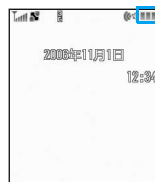
DCアダプタ

- DCアダプタはマイナスアース車（12V／24V）専用です。
- ヒューズ（2A）は消耗品です。ヒューズが切れて交換する場合は、お近くのカー用品店などでお買い求めください。
- 車のバッテリーの消耗を避けるため、エンジンを切った状態で使用しないでください。

電池残量

電池残量の確認のしかた

画面上部に電池残量（目安）を示すアイコンが表示されます。

（緑）： 電池残量は十分です。
（緑）： 電池残量が少なくなっています。
（黄）： 電池残量がほとんどありません。充電してください。
（赤）： 電池残量がほとんどありません。しばらくすると自動的に電源が切れます。充電してください。

電池残量を表示で確認する

電池残量（目安）を6段階の表示で確認できます。

1 ●▶ (設定)▶「情報表示」▶「電池残量」

- 6～5：電池残量は十分です。
- 4～3：電池残量が少なくなっています。
- 2～1：電池残量がほとんどありません。充電してください。
- 0　：電池残量がほとんどありません。しばらくすると自動的に電源が切れます。充電してください。

■ **電池が切れそうになると**

「ピコ」という低電圧アラームが約3分ごとに鳴ります。画面上部には が表示され、「充電してください」のメッセージが表示されます。低電圧アラーム鳴動後も操作はできますが、しばらくすると自動的に電源が切れます。通話中の場合は約30秒ごとに受話口から低電圧アラームが聞こえます。そのまま通話を継続できますが、しばらくすると自動的に電源が切れて通話が切断されます。

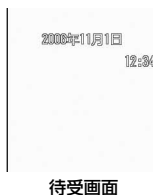
電源ON／OFF

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **電源が切れている状態で**

FOMA端末のキーパッドのライトが点灯し、バイブレータが振動します。その後、電源が入り、起動画面→ウェイクアップ画面→自局電話番号の表示画面の順に画面が切り替わった後、待受画面が表示されます。

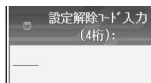
- 電波の状況によっては、待受画面が表示される前に、ネットワークの検索・登録画面が表示される場合があります。

待受画面

お知らせ

- FOMAカード（他のFOMAカード）を取り付けて初めて電源を入れるときは、自局番号の表示画面が表示されません。
- ウェイクアップ画面の表示後にメッセージを表示できます。→P123
- FOMAカードが取り付けられていない、または異常な場合は、FOMAカードが認識できない旨のメッセージが表示されます。
- が表示されている状態で移動せずに通話している場合でも、通話が切れる場合があります。
- 「パターン選択」を「バイブレータ」に設定している場合は、電源を入れた／切ったときにFOMA端末が振動します。
- メモリの使用状況によっては、待受画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 日付時刻の設定→P48
- 発信者番号通知の設定→P49
- 暗証番号の変更→P131

次のページへ続く

■「PINコード」を「ON」に設定しているときは
ウェイクアップ画面が表示された後、PIN1コード（P131）入力画面が表示されます。
PIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。

■「オールロック」の「電源ONロック」を「ON」に設定しているときは
ウェイクアップ画面が表示された後、設定解除コード（P130）入力画面が表示されます。
設定解除コードを入力すると、待受画面が表示されます。

■「セルフモード」の「起動時確認」を「ON」に設定しているときは
起動画面が表示された後、セルフモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。［はい］を押すとセルフモードが設定され、待受画面が表示されます。

■電源を切る前に公共モード（ドライブモード）を設定していたときは
自局電話番号の表示画面が表示された後、公共モード（ドライブモード）を解除するかどうかの確認画面が表示されます。［はい］を押すと公共モード（ドライブモード）が解除され、待受画面が表示されます。

■ｉアプリ待受画面を設定しているときは
待受画面が表示された後、ｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。［はい］を押すか、約2秒間何も操作をしないと、自動的にｉアプリ待受画面が表示されます。

■画面上部に圏外が表示されるときは
サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。電波の受信レベルを示すアイコンが表示される場所まで移動してください。アイコンは次のように5段階で表示されます。

→→→→

強 ←→ 弱

電源を切る

1 **電源が入っている状態で（2秒以上）**

終了画面が表示され、電源が切れます。

時計設定

日付・時刻を合わせる

お買い上げ時	タイムゾーン：東京（GMT+9:0）　表示形式：1999年12月31日 自動時刻補正：ON（時差補正なし）

タイムゾーンや日付の表示形式を変更できます。また、時刻を自動で補正するように設定できます。

1 **▶（設定）▶「一般設定」▶「時計設定」**

時計設定画面

2 **次の操作を行う**

hh:mm
「自動時刻補正」を「OFF」に設定している場合に、手動で時刻と表示形式を設定します。
▶で「時」「分」「表示方法」欄を選択▶／ダイヤルキーで時刻を入力

タイムゾーン
日付時刻のタイムゾーンを設定します。
▶タイムゾーンを選択▶［選択］▶［はい］

200X年XX月XX日　曜日
「自動時刻補正」を「OFF」に設定している場合に、手動で日付を設定します。2006/01/02〜2030/12/31の範囲で設定できます。

▶で「年」「月」「日」欄を選択▶／ダイヤルキーで日付を入力

表示形式
日付の表示形式を設定します。

▶「12／31／99」／「1999年12月31日」

自動時刻補正
ネットワークからの時刻情報をもとに、FOMA端末の時刻を補正するかどうかを設定します。

ON（時差補正あり）：日付・時刻を自動で補正します。タイムゾーンの異なる国・都市に移動した場合はタイムゾーンも自動補正します。
▶［はい］

ON（時差補正なし）：日付・時刻を自動で補正します。ただし、タイムゾーンは自動補正しません。

OFF：自動時刻補正をしません。

お知らせ

タイムゾーン

- タイムゾーンとは、世界の地域別標準時間帯を使用している地域を指します。標準時間は、基準となるグリニッジ標準時（GMT）からの時差で表現されます。日本の場合は、日本標準時がGMTより９時間進んでいるため、「GMT+9：0」と表示されます。

自動時刻補正

- 電波状況によっては時刻を補正できない場合があります。
- 海外でFOMA端末を使用する場合、利用するネットワークによっては時刻やタイムゾーンを補正できない場合があります。また、正しく時刻を表示できない場合があります。ワールドクロックで滞在先の時刻に設定してご利用ください。→P269
- ｉアプリ起動中は時刻が補正されません。
- FOMAカードが取り付けられていない場合は補正されません。
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。
- 「ON（時差補正あり）」に設定した場合、時差が補正されると、登録済みのスケジュール／ToDoの日時も自動的に補正されます。

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

発信者番号の通知／非通知の設定を、あらかじめネットワークに設定できます。

- お客様の発信者番号（電話番号）は大切な情報です。通知する際は十分にご注意ください。
- 圏外が表示されているときは、発信者番号通知を設定できません。

1 ▶（ネットワークサービス）▶「発信者番号通知」▶次の操作を行う

発信者番号通知設定
発信者番号を通知／非通知に設定します。

▶「通知する」／「通知しない」▶ネットワーク暗証番号を入力

番号通知設定確認
現在の設定状態を確認します。

お知らせ

- 発信者番号は、相手の電話機が表示できる場合にのみ有効です。
- 電話をかけるごとに発信者番号通知を設定できます。→P56

自分の電話番号を確認する

FOMAカードに登録されているお客様の電話番号（自局番号）を表示できます。

1

名前が登録されている場合は、名前も表示されます。

- ●を押してから約2秒以内に0を押してください。

■ **登録した詳細情報を表示する場合**

［機能］を押して「全データ表示」を選択し、端末暗証番号を入力します。

個人データ画面

お知らせ

- 「個人データ」で名前やメールアドレスなどの情報を登録できます。→P265

電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかける

1 電話番号を入力

電話番号入力画面

- 64桁まで入力できます。64桁を超えて入力すると、最初に入力した数字が超えた分だけ削除されます。
- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。
- [登録]:「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P97）へ進みます。

■ 一般電話にかける場合

市外局番－市内局番－電話番号

■ 携帯電話にかける場合

090－XXXX－XXXX／080－XXXX－XXXX

■ PHSにかける場合

070－XXXX－XXXX

2 ／●

音声通話中画面

受話口から呼出音が聞こえ、相手が電話に出るまで「発信中」と表示された発信中画面が表示されます。

- [タスクメニュー]:マルチタスク機能を利用します。→P258

3 通話が終了したら

- を１秒以上押しても、通話を終了できます。

お知らせ

- 番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知して電話をかけ直してください。
- 発信中に電波の状況などで相手の呼び出しができない場合、「発信できません」とメッセージが表示されます。[再発信］を押すとリダイヤルを行い、相手の呼び出しが開始されるとアラームが鳴ります。
- 本FOMA端末では、音声電話の通話中にテレビ電話に切り替えることはできません。
- 通話中にFOMA端末を閉じると、通話を終了します。ただし、miniUSBステレオヘッドセット M01（別売）や車載ハンズフリーなどと接続して通話している場合は、FOMA端末を閉じても通話は終了しません。
- 通話の相手が電話を切った場合は、受話口から「ピロロ」という通話終了音が聞こえます。
- 通話中に充電を開始すると、受話口から充電開始音が聞こえます。
- 通話中に電池残量が少なくなると、「ピコ」という低電圧アラームが約30秒ごとに受話口から聞こえます。そのまま通話を継続できますが、しばらくすると自動的に電源が切れて通話が切断されます。
- 「113」「114」「171」「1419」などの特番へ電話をかけた場合、本FOMA端末は次のように動作します。
  - ネットワークに接続されて音声ガイダンスが聞こえても、発信中画面が表示されたままになります。
  - ダイヤルキーを押してプッシュ信号（DTMF）を送信しても、入力した数字は画面に表示されません。
  - 操作が終了してネットワークから切断されると「発信できません」とメッセージが表示される場合があります。

■ **入力した電話番号を修正するには**

入力した数字を削除する場合は、で削除する数字の右側にカーソルを移動し、を押します。
数字を追加する場合は、で入力する位置にカーソルを移動し、ダイヤルキーで数字を入力します。

■ **発信中画面の表示について**

電話帳に登録されている相手に電話をかけると、登録した名前が表示されます。ただし、「シークレットデータ」を「非表示」に設定して電話帳をシークレットに設定している相手に電話をかけた場合は、電話番号が表示されます。

電話番号入力画面の機能メニュー

1 電話番号入力画面（P52）▶ [ch] [機能] ▶次の操作を行う

電話番号引用
電話帳や発着信履歴を引用して電話番号を入力します。

電話帳：電話帳から電話番号を引用して入力します。
▶電話帳を選択▶●

発信履歴：発信履歴から電話番号を引用して入力します。
▶履歴を選択▶●

着信履歴：着信履歴から電話番号を引用して入力します。
▶履歴を選択▶●

挿入
入力した電話番号の後ろに「p」／「w」／「n」を入力します。→P57

発信者番号通知
発信者番号の通知／非通知を設定して電話をかけます。→P56

テレビ電話発信
入力した電話番号にテレビ電話をかけます。

新規SMS作成
入力した電話番号を宛先にしてSMSを作成・送信します。→P203

マルチナンバー
発信番号を選択して電話をかけます。→P286

国際アクセス番号追加
入力した電話番号の先頭に国際アクセス番号を追加します。→P59

国番号追加
入力した電話番号の先頭に国番号を追加します。→P310

編集機能
通話中に機能メニューから「新規発信」を選択して電話番号入力画面を表示し、電話番号を入力している場合に文字編集の機能を利用します。→P298

登録中止
通話中に機能メニューから「新規発信」を選択して表示した電話番号入力画面を閉じます。

お知らせ

電話番号引用

- 電話帳を引用するとき、選択中の電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、◐を押して引用する電話番号を表示してから●を押します。
- 通話中に機能メニューから「新規発信」を選択して電話番号入力画面を表示中の場合は、「参照」と表示されます。

テレビ電話発信

- 通話中に機能メニューから「新規発信」を選択して電話番号入力画面を表示し、電話番号を入力してから本機能の操作をした場合は、通話中の電話を終了して発信するかどうかの確認画面が表示されます。[ch]［はい］を押すと、通話中の電話を終了して新たに入力した電話番号にテレビ電話をかけます。

音声通話中画面の機能メニュー

1 音声通話中画面（P52）▶ [ch] [機能] ▶次の操作を行う

タスクメニュー
キャッチホンを利用して通話中にマルチタスク機能を利用します。→P258

次のページへ続く

スピーカーホンON・スピーカーホンOFF
ハンズフリー通話を設定／解除します。ハンズフリー通話中は、相手の声がスピーカーから聞こえます。
→P62

個人データ
お客様の電話番号（自局番号）を表示します。

保留・再開
通話を保留／保留解除します。→P69

ミュート・ミュートOFF
ミュート（消音）を設定／解除します。ミュート（消音）中は、お客様の声は相手に送信されません。

Bluetooth・本体で接続
通話を接続中のBluetooth機器／FOMA端末に切り替えます。

新規発信
通話中の電話を保留して他の相手に電話をかけます。→P282

保留を終話
キャッチホンを利用して通話中に保留中の電話を切断します。

発信履歴
発信履歴一覧画面を表示します。

着信履歴
着信履歴一覧画面を表示します。

発信履歴

前にかけた相手にかけ直す

発信履歴には、音声電話やテレビ電話をかけた履歴が60件まで記録されます。履歴には、電話番号と発信日時、通話時間、発信者番号の通知／非通知の情報が記録されます。

- 60件を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

1

- 電話帳に登録されている相手の発信履歴には、名前と種別アイコン（P93）が表示されます。同じ電話番号を複数の名前で登録している場合は、最初にFOMA端末（本体）電話帳に登録された名前が表示されます。電話帳に登録されていない相手の場合は、電話番号と が表示されます。

発信履歴一覧画面

■ 発信履歴一覧画面のアイコン

アイコン	発信方法
／	音声電話／音声電話（不在発信）
／	音声電話／音声電話（不在発信） ※「マルチナンバー」の付加番号1で発信
／	音声電話／音声電話（不在発信） ※「マルチナンバー」の付加番号2で発信
／	テレビ電話／テレビ電話（不在発信）
／	テレビ電話／テレビ電話（不在発信） ※「マルチナンバー」の付加番号1で発信
／	テレビ電話／テレビ電話（不在発信） ※「マルチナンバー」の付加番号2で発信
／	データ通信／データ通信（不在発信）
／	データ通信／データ通信（不在発信） ※「マルチナンバー」の付加番号1で発信
／	データ通信／データ通信（不在発信） ※「マルチナンバー」の付加番号2で発信

2 履歴を選択▶●

❶ **電話帳に登録されている名前と種別アイコン**
電話帳に登録されていない場合はと「未登録」が表示されます。

❷ **相手の電話番号**

❸ **発信日時**

❹ **通話時間**
不在発信の場合は表示されません。

❺ **発信者番号通知の設定**
発信時に機能メニューの「発信者番号通知」で通知／非通知を設定したとき、「通知する」／「通知しない」が表示されます。

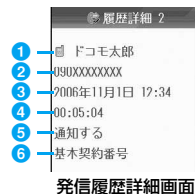
❻ **発信時の電話番号**
マルチナンバーをご契約いただき、発信時に機能メニューの「マルチナンバー」で発信番号を設定したとき、「基本契約番号」／「付加番号1」／「付加番号2」が表示されます（「マルチナンバー」で名前を変更している場合は、登録した名前が表示されます）。

履歴詳細 2
❶ ドコモ太郎
❷ 090XXXXXXXX
❸ 2006年11月1日 12:34
❹ 00:05:04
❺ 通知する
❻ 基本契約番号

発信履歴詳細画面

3 ／

履歴の電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。

4 ／●

■ **テレビ電話をかける場合**
を押します。

お知らせ

- 発信履歴一覧画面で履歴を選択して操作3以降を行っても、電話を発信できます。
- 「シークレットデータ」を「非表示」に設定している場合、電話帳をシークレットに設定している相手にかけた電話の履歴には、電話番号が表示されます。
- 50桁以上の電話番号に発信した場合は、最初の50桁が履歴に記録されます。
- 「ダイヤル発信制限」を「ON」に設定すると履歴は自動的に削除されます。設定後に電話帳を利用してかけた電話は履歴に記録され、記録された履歴を利用して電話をかけられます。
- 他のFOMAカードを取り付けると、それまで記録されていた発信履歴は消去されます。

発信履歴一覧画面／発信履歴詳細画面の機能メニュー

- 履歴が記録されている場合のみ機能メニューを利用できます。

1 発信履歴一覧画面(P54)／発信履歴詳細画面(P55)▶［機能］▶次の操作を行う

登録
選択中／表示中の履歴の電話番号が電話帳に未登録の場合、電話帳に登録します。「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P97）へ進みます。

テレビ電話発信
履歴の電話番号が入力された電話番号入力画面を表示し、テレビ電話をかけます。
▶●／

1件削除
選択中／表示中の履歴を削除します。
▶［はい］

全件削除
すべての発信履歴を削除します。
▶［はい］

次のページへ続く

発信者番号通知
発信者番号の通知／非通知を設定して電話をかけます。→P57

新規SMS作成
履歴の電話番号を宛先にしてSMSを作成・送信します。→P203

発信
履歴の電話番号が入力された電話番号入力画面を表示し、音声電話をかけます。
▶●／📞

マルチナンバー
発信番号を選択して電話をかけます。→P286

全てコピー
発信履歴詳細画面内のすべての文字情報をコピーします。

お知らせ

- 「ダイヤル発信制限」を「ON」に設定中は、「登録」「1件削除」「全件削除」「発信」は利用できません。

最後にかけた相手にかけ直す

最後に電話をかけた相手や電話番号入力画面で入力した電話番号を表示させて、すぐに電話をかけ直せます。

1 ●▶(アクセサリ)▶「通話履歴」▶「前回入力番号」

電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。

2 📞／●

■ **テレビ電話をかける場合**
📹を押します。

184／186

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

相手の電話番号の先頭に「184」／「186」を付ける方法と、電話番号入力画面で機能メニューを利用する方法があります。

184／186を付けて通知／非通知にする

1 「184」／「186」を入力▶電話番号を入力

■ **発信者番号を通知する場合**
相手の電話番号の前に「186」を入力します。

■ **発信者番号を通知しない場合**
相手の電話番号の前に「184」を入力します。

2 📞／●

■ **テレビ電話をかける場合**
📹を押します。

機能メニューを利用して通知／非通知にする

1 電話番号を入力▶ [ch] [機能]▶「発信者番号通知」▶「通知する」／「通知しない」

2 [発信]／●

■ テレビ電話をかける場合
[TV]を押します。

お知らせ

- 電話帳、発信履歴、着信履歴の一覧画面／詳細画面からも、同様に操作できます。
- 通知／非通知の設定を、あらかじめネットワークに設定できます。→P49

ポーズ機能

プッシュ信号を手早く送り出す

電話番号の後ろに「p」／「w」／「n」と番号を入力して音声電話をかけると、アルファベット以降の番号をプッシュ信号（DTMF）として送信できます。

- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

「p」を入力する

電話番号の後ろに「p」と番号を入力して電話をかけます。「p」以前の番号につながると、約3秒後に「p」以降の番号がプッシュ信号（DTMF）で送信されます。外線番号の後に続けて内線番号をダイヤルするときなどに便利です。

1 電話番号を入力▶ [ch] [機能]▶「挿入」▶「指定番号自動追加」▶送信する番号を入力▶ [発信]／●

電話がつながると自動的に「p」以降の番号が送信されます。

「w」を入力する

電話番号の後ろに「w」と番号を入力して電話をかけます。「w」以前の番号につながると「w」以降の番号が送信待機状態になり、送信の操作をするとプッシュ信号（DTMF）で送信されます。ポケットベルへのメッセージ送信、電話でのチケット予約、銀行の残高照会などを行うときなどに便利です。

1 電話番号を入力▶ [ch] [機能]▶「挿入」▶「指定番号手動追加」▶送信する番号を入力▶ [発信]／●

2 [ch] [OK]

「w」以降の番号が送信されます。

「n」を入力する

電話番号などの後ろに「n」を入力し、「n」の代わりに送信する番号を入力して電話をかけます。「n」以前の番号につながると、「n」の代わりとして入力した番号がプッシュ信号（DTMF）で送信されます。アクセス番号で接続してからクレジットカード番号、暗証番号、電話番号を入力する国際クレジットカード通話を利用するときに便利です。

1 **電話番号を入力▶[機能]▶「挿入」▶「未定番号手動追加」▶送信する番号を入力▶／●**

「n」の代わりに送信する番号の入力画面が表示されます。

2 **番号を入力**

電話がつながると入力した番号が「n」の代わりに送信されます。

WORLD CALL

国際電話を利用する

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し込みをされた方を除きます）。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料・月額使用料は無料です。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- WORLD CALLの詳細については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

国際電話ダイヤル手順の変更について

携帯電話などの移動体通信は、「マイライン」サービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」サービスをご利用いただけませんが、「マイライン」サービスの導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（下記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、下記ダイヤル方法の後にを押して発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

電話番号を入力して国際電話をかける

次の順番で電話番号を入力してください。

1 **「009130－010－国番号－地域番号（市外局番）－相手の番号」を入力**

- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。

2

■テレビ電話をかける場合
を押します。

「+」を利用して国際電話をかける

電話番号の先頭に「+」を入力して電話をかけると、「+」の代わりに国際アクセス番号が自動的に付加され、国際電話をかけられます。「+」は を1秒以上押して入力できます。

- お買い上げ時は、WORLD CALL(009130010)が自動的に付加されるように設定されています。→P60

1 **(1秒以上)▶「国番号-地域番号(市外局番)-相手の電話番号」を入力**

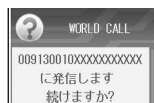
- 地域番号(市外局番)の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります)。

2 /

- 発信確認画面には、国際アクセス番号が付加された電話番号が表示されます。

■テレビ電話をかける場合
を押します。

発信確認画面

3 **[発信]**

- [元番号発信]:「+」を国際アクセス番号に変換しないで電話をかけます。

お知らせ

- FOMAネットワークのサービスエリア内でのみ利用できます。
- 電話番号の先頭に「+81」が入力されている場合、「+」は国際アクセス番号に変換されません。

登録されている国際アクセス番号を選択して国際電話をかける

機能メニューから、国際アクセス番号を選択して入力した電話番号に付加できます。

1 **「国番号-地域番号(市外局番)-相手の電話番号」を入力**

- 地域番号(市外局番)の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります)。

2 **[機能]▶「国際アクセス番号追加」▶国際アクセス番号を選択▶ [選択]**

入力した電話番号の先頭に国際アクセス番号が追加されます。

3 /

■テレビ電話をかける場合
を押します。

お知らせ

- お買い上げ時の国際アクセス番号には、WORLD CALLが登録されています。国際アクセス番号は「国際電話設定」で登録できます。→P60

簡単な操作で国際電話をかけられるようにする

国際アクセス番号の自動付加を設定する

お買い上げ時	自動付加：ON　国際アクセス番号：WORLD CALL（009130010）

電話番号の先頭に「＋」を入力して電話をかけたとき、「＋」の代わりに国際アクセス番号を自動的に付加するかどうかを設定できます。また、自動で付加する国際アクセス番号を指定できます。

1 ●▶（設定）▶「通話設定」▶「国際ダイヤル設定」▶「国際アクセス番号」▶「自動付加設定」▶次の操作を行う

自動付加
▶「ON」／「OFF」

国際アクセス番号
▶国際アクセス番号を選択▶ch［選択］

国際電話設定

国際アクセス番号を登録する

お買い上げ時	WORLD CALL（009130010）

国際アクセス番号は3件まで登録できます。

1 ●▶（設定）▶「通話設定」▶「国際ダイヤル設定」▶「国際アクセス番号」▶「国際電話設定」

- ●：選択した国際アクセス番号の登録内容を確認／修正します。

国際電話設定画面

2 「［新規登録］」▶次の操作を行う

名前
国際アクセス番号の名前を登録します。全角／半角を問わず、16文字まで入力できます。
▶名前を入力

国際アクセス番号
10桁まで登録できます。
▶国際アクセス番号を入力

3 ch［完了］

お知らせ

- 国際アクセス番号入力画面でch［機能］を押して次の操作ができます。
  - 「挿入」▶「指定番号自動追加」／「指定番号手動追加」／「未定番号手動追加」の順に選択すると、入力した番号の後ろに「p」／「w」／「n」を入力できます。→P57
  - 「編集機能」を選択すると、文字編集の機能を利用できます。→P298
  - 「登録中止」を選択すると、登録を中止できます。

国際電話設定画面の機能メニュー

1 国際電話設定画面（P60）▶ [ch] [機能] ▶次の操作を行う

編集
選択中の国際アクセス番号を修正します。「国際アクセス番号を登録する」の操作2（P60）へ進みます。

削除
選択中の国際アクセス番号を削除します。

新規
「国際アクセス番号を登録する」の操作2（P60）へ進みます。

お知らせ

編集
- お買い上げ時に登録されている「WORLD CALL」も修正できます。

削除
- 「自動付加設定」の「国際アクセス番号」に設定されている国際アクセス番号は削除できません。

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

お買い上げ時	ON

電話番号に「*」を入力したとき、「*」以降をサブアドレスとして識別させるかどうかを設定できます。サブアドレスは、ISDN回線に接続されている特定の機器を呼び出すときや、「Vライブ」でコンテンツを選択するときなどに利用します。

1 ● ▶ (設定) ▶「通話設定」▶「サブアドレス設定」▶「ON」／「OFF」

お知らせ

- 次の場合は、「*」はサブアドレスの区切りとして識別されません。
  - 電話番号の先頭に「*」が入力されている
  - 電話番号の先頭に「184」「186」など特定の番号が入力され、その直後に「*」が入力されている

通話タイマー設定

通話中の通話時間表示と通知アラームを設定する

お買い上げ時	表示：時間　通知アラーム：OFF

音声通話中画面やテレビ電話中画面に通話時間を表示するかどうかを設定できます。通話中に設定した時間が経過すると、通知アラームを鳴らしてお知らせするようにも設定できます。

1 ● ▶ (設定) ▶「通話設定」▶「通話タイマー設定」▶次の操作を行う

表示

時間：通話時間を表示します。
OFF：通話時間を表示しません。

次のページへ続く ●●●

通知アラーム

通知アラームを鳴らす間隔は1～999秒で入力します。

➡「60秒」／「OFF」➡時間を入力

- 「OFF」を選択した場合は通知アラームの設定が終了します。

お知らせ

通知アラーム

- マナーモードを設定中、または「パターン選択」を「バイブレータ」／「サイレント」に設定中でも、ボタン確認音量に関係なく通知アラームが鳴動します。
- アラーム間隔入力画面で[ch]［機能］を押して次の操作ができます。
  - 「編集機能」を選択すると、文字編集の機能を利用できます。→P298
  - 「登録中止」を選択すると、登録を中止できます。

ハンズフリーで通話する

通話中に相手の声をスピーカーから聞こえるように設定できます。

1 音声通話中画面(P52)➡[ch][機能]➡「スピーカーホンON」

音声通話中画面
(ハンズフリー通話中)

■ハンズフリー通話を解除する場合

[ch]［機能］を押して「スピーカーホンOFF」を選択します。

お知らせ

- ハンズフリー通話中は、FOMA端末との距離を約50cm以内にして通話することをおすすめします。
- 受話音量を「0」に設定すると、相手の声がスピーカーから聞こえなくなります（お客様の声は相手に送信されます）。
- テレビ電話中に操作するには→P83

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット 01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器とBluetoothで接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができなかったりする場合があります。
- Bluetooth接続でBluetooth対応のハンズフリー機器と接続する場合は、接続時に機器登録が必要になります。
- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でマナーモードを設定中や「着信音量」を「0」に設定中の場合でも、ハンズフリー対応機器から着信音が鳴る場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）を設定中の着信動作は、公共モード（ドライブモード）の設定に従います。
- 伝言メモを「ON」に設定中の呼出動作は、「伝言メモ」の設定に従います。
- 通話中にFOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- FOMAカードの電話帳のみ1番目と2番目に登録されたメモリ番号（クイックアクセス番号）を利用して発信することができます。本FOMA端末のFOMA端末（本体）電話帳にはメモリ番号がないため、メモリ番号を利用しての発信操作は利用できません。

Bluetooth機器を使って通話する

Bluetoothヘッドセットなど市販のBluetooth機器とFOMA端末を接続して通話できます。

- あらかじめ利用するBluetooth機器の機器登録・接続をしてください。→P273
- Bluetooth機器の操作については、各Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

1 Bluetooth機器を操作して電話をかける／受ける

お知らせ

- Bluetooth機器と接続中は、画面上部に が表示されます。

■ **通話中にBluetooth機器／FOMA端末に切り替えるには**

音声通話中画面（P52）／テレビ電話中画面（P81）で ［機能］を押し、「Bluetooth」／「本体で接続」を選択します。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信中画面

着信音が鳴ります。

- ／ :着信音や振動を停止します。
- ：応答を保留します。→P67

2 ／ [応答]

電話に出ます。

3 通話が終了したら

- を1秒以上押しても、通話を終了できます。

■ **電話の着信中画面の表示（発信者番号の通知あり）**

電話帳に登録されている相手の場合、名前と種別（P93）が表示されます。電話帳に画像または動画／ｉモーションが登録されている場合は、登録した画像または動画／ｉモーションが表示／再生されます。

- FOMA端末の設定状態や電話帳の登録状態により、電話帳に登録された動画／ｉモーションは再生されない場合があります。
- 「シークレットデータ」を「非表示」に設定中の場合、電話帳をシークレットに設定している相手から電話がかかってくると電話番号が表示されます。
- マルチナンバーの付加番号に電話がかかってきた場合は、「マルチナンバー」で設定した着信音が鳴り、着信中画面に次のアイコンが表示されます（電話をかけてきた相手が電話帳に登録され、画像が登録されている場合は、アイコンが表示されません）。

　／ : 音声電話着信　　／ : テレビ電話着信　　／ : データ着信

■ **電話の着信中画面の表示（発信者番号の通知なし）**

電話番号の代わりに発信者番号非通知理由が表示されます。→P138

お知らせ

- 「着信イルミネーション」を「なし」以外に設定している場合は、着信時にイルミネーションランプが点滅します。
- 「パターン選択」の設定や電話帳の登録状態により、着信音や振動などの着信動作が異なります。→P93、P112、P115

次のページへ続く

- マナーモードを設定している場合は着信音が鳴りません。また、公共モード（ドライブモード）を設定している場合は着信音が鳴らず、イルミネーションランプも点滅しません。
- 「オープン応答」を「ON」に設定中の場合は、FOMA端末を開いても電話に出られます。
- 通話中にFOMA端末を閉じると、通話を終了します。ただし、miniUSBステレオヘッドセット M01（別売）や車載ハンズフリーなどと接続して通話している場合は、FOMA端末を閉じても通話は終了しません。
- 通話の相手が電話を切った場合は、受話口から「ピロロ」という通話終了音が聞こえます。
- 通話中に充電を開始すると、受話口から充電開始音が聞こえます。
- 留守番電話サービス、キャッチホン、または転送でんわサービスをご契約いただいて、「着信動作選択」を「通常着信」、「通話中着信設定」を開始に設定している場合は、通話中に電話がかかってくると、「ププ･･･ププ･･･」という通話中着信音が聞こえます。通話中着信音が聞こえた場合は、各ネットワークサービスを利用できます。→P285
- 公共モード（ドライブモード）が設定されている場合は、着信音の鳴動やイルミネーションランプの点滅などの着信動作は行われません。また、ディスプレイの表示が消えているときに電話がかかってきても、ディスプレイのバックライトは点灯しません。
- 「呼出動作開始時間」を設定して、電話帳に未登録の相手からの着信動作をすぐに開始させないようにできます。
- 次の機能を利用して、電話帳に未登録の相手／特定の相手からの着信を拒否するようにできます。
  - 「電話帳登録外」を「拒否」に設定する
  - 電話帳の「着信拒否」を「はい」に設定する
- 本FOMA端末では、音声電話の通話中にテレビ電話に切り替えることはできません。

着信中画面の機能メニュー

1 着信中画面(P63)▶ch[機能]▶次の操作を行う

応答
着信中の電話に出ます。

現在通話終了＆応答
通話中の電話を切り、着信中の電話に出ます。

保留中通話終了＆応答
キャッチホンを利用して通話中に別の電話がかかってきたとき、保留中の電話を切って着信中の電話に出ます。

着信拒否
着信を拒否して電話を切ります。

音声応答保留
応答を保留します。

留守番電話
着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

転送でんわ
着信中の電話を指定した電話番号へ転送します。

お知らせ

現在通話終了＆応答／保留中通話終了＆応答
- キャッチホンをご契約いただいていない場合は利用できません。

留守番電話
- 留守番電話サービスをご契約いただいていない場合は利用できません。

転送でんわ
- 転送でんわサービスをご契約いただいていない場合や、転送先電話番号を指定していない場合は利用できません。

エニーキーアンサー

ダイヤルキーを押して電話に出られるようにする

お買い上げ時	OFF

音声電話がかかってきたとき、[応答]、以外のキーでも電話に出られるように設定できます。

1 ▶(設定)▶「通話設定」▶「着信アンサー設定」▶「エニーキーアンサー」▶「ON」／「OFF」

お知らせ

- 次のキーで電話に出られるようになります。
  ～、、、、、
- テレビ電話がかかってきた場合は本機能を利用できません。

オープン応答

FOMA端末を開いて通話を開始する

お買い上げ時	OFF

FOMA端末を閉じた状態で音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、FOMA端末を開くだけで電話に出られるように設定できます。

1 ▶(設定)▶「通話設定」▶「着信アンサー設定」▶「オープン応答」▶「ON」／「OFF」

お知らせ

- 本機能を「ON」に設定し、FOMA端末を閉じた状態で着信した場合は、応答保留の操作や着信中画面の機能メニューを利用できません。

着信履歴

着信履歴を利用する

着信履歴には、かかってきた音声電話やテレビ電話の履歴が60件まで記録されます。履歴には、電話番号と着信日時、通話時間、発信者番号の通知／非通知の情報が記録されます。

- 60件を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

1

- 電話帳に登録されている相手からの着信履歴には、名前と種別アイコン（P93）が表示されます。同じ電話番号を複数の名前で登録している場合は、最初にFOMA端末（本体）電話帳に登録された名前が表示されます。電話帳に登録されていない相手の場合は、電話番号とが表示されます。

着信履歴一覧画面

■ 着信履歴一覧画面のアイコン

アイコン	着信方法
／	音声電話／音声電話（不在着信）
／	音声電話／音声電話（不在着信） ※「マルチナンバー」の付加番号1で着信

次のページへ続く

アイコン	着信方法
／	音声電話／音声電話（不在着信） ※「マルチナンバー」の付加番号2で着信
／	テレビ電話／テレビ電話（不在着信）
／	テレビ電話／テレビ電話（不在着信） ※「マルチナンバー」の付加番号1で着信
／	テレビ電話／テレビ電話（不在着信） ※「マルチナンバー」の付加番号2で着信
／	データ通信／データ通信（不在着信）
／	データ通信／データ通信（不在着信） ※「マルチナンバー」の付加番号1で着信
／	データ通信／データ通信（不在着信） ※「マルチナンバー」の付加番号2で着信

2 履歴を選択▶●

着信履歴詳細画面

❶ **電話帳に登録されている名前と種別アイコン**
電話帳に登録されていない場合は と「未登録」、ネットワークから電話番号の情報が受信されなかった場合は「シークレット」が表示されます。

❷ **相手の電話番号**

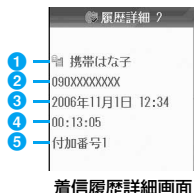
❸ **着信日時**
不在着信の場合は表示されません。

❹ **通話時間**

❺ **着信時の電話番号**
マルチナンバーをご契約いただいている場合、相手が発信した電話番号に従って「基本契約番号」／「付加番号1」／「付加番号2」が表示されます（「マルチナンバー」で名前を変更している場合は、登録した名前が表示されます）。

3 ／

履歴の電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。

4 ／●

■ **テレビ電話をかける場合**
を押します。

お知らせ

- 着信履歴一覧画面／着信履歴詳細画面からの機能メニューの操作は、発信履歴一覧画面／発信履歴詳細画面と同じです。→P55
- 着信履歴を選択して［機能］を押し、「新規SMS作成」を選択すると、SMSを作成して送信できます。→P203
- 音声電話の通話中にかかってきたテレビ電話や64Kデータ通信の着信は拒否され、着信履歴／不在着信履歴にも記録されません。
- 着信履歴一覧画面で履歴を選択して操作3以降を行っても、電話を発信できます。
- 発信者番号の通知がない電話の履歴には、発信者番号非通知理由が表示されます。→P138
- 「シークレットデータ」を「非表示」に設定している場合、電話帳をシークレットに設定している相手からかかってきた電話の履歴には、電話番号が表示されます。
- 「着信履歴表示」を「OFF」に設定した場合、「呼出動作開始時間」で設定した時間内に切れた電話は着信履歴に表示されません。
- 「ダイヤル発信制限」を「ON」に設定すると履歴は自動的に削除されます。設定後に着信した電話は履歴に記録されますが、記録された履歴を利用して電話をかけることはできません。
- 他のFOMAカードを取り付けると、それまで記録されていた着信履歴は消去されます。
- ダイヤルインを利用した電話の履歴は、実際の番号とは異なる番号が表示される場合があります。

受話音量

通話中に相手の声の音量を調節する

お買い上げ時	4

受話音量は、0～7の8段階で調節できます。

1 音声通話中画面(P52)▶▲／▼

- ▲:音量を上げます。
- ▼:音量を下げます。

お知らせ

- 調節した受話音量は、通話が終了しても保持されます。
- 受話音量を「0」に設定しても、相手の声は聞こえます。ただし、ハンズフリー通話中の場合は、相手の声がスピーカーから聞こえなくなります(お客様の声は相手に送信されます)。

着信音量

着信音の音量を調節する

お買い上げ時	5

着信音量は、0～7の8段階で調節できます。

- お買い上げ時の設定は、「パターン選択」の設定に従って変更されます。

1 ▲／▼

音量調節画面が表示され、▲／▼を押すごとに音量が変更されます。

- 約2秒間何も操作しないと音量調節画面が自動的に閉じ、音量が設定されます。
- 音量が「1」のときに▼を1回押すと「バイブレータ」、2回押すと「サイレント」に設定されます。

お知らせ

- マナーモードを設定中は操作できません。

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

1 着信中画面(P63)▶PWR HLD

応答保留中は、相手に「保留設定」の「音声応答保留音」で設定した保留音が流れます。テレビ電話の場合は、相手に「保留設定」の「テレビ電話応答保留」で設定した保留音と画像が送信されます。

音声応答保留中画面

テレビ電話応答保留中画面

2 電話に出られるようになったら◎

■ テレビ電話の場合

◎／◙を押すと、カメラ画像が相手に送信されます。iα［代替画像］を押すと、「代替画像」で設定した画像／キャラ電が相手に送信されます。

次のページへ続く

■ 電話を切る場合
[PWR/HLD]を押します。

お知らせ

- 応答保留中でも、相手には通話料金がかかります。
- 「オープン応答」を「ON」に設定し、FOMA端末を閉じた状態で着信した場合は、応答保留を操作できません。
- 留守番電話サービス／転送でんわサービスをご契約の場合は、着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続／指定した電話番号に転送できます。→P64、P84

音声応答保留音

応答保留音を設定する

音声電話を応答保留したときに相手に流す応答保留音（ガイダンス）を、日本語／英語から選択して設定できます。応答保留音を録音して設定することもできます。

応答保留音を指定する

お買い上げ時	日本語

1 **●▶ (設定)▶「通話設定」▶「保留設定」▶「音声応答保留音」▶次の操作を行う**

音声応答保留音画面

日本語
応答保留音を日本語に設定します。

英語
応答保留音を英語に設定します。

録音データ
応答保留音を録音データに設定します。

お知らせ

録音データ

- 応答保留音が録音されていない場合は、「録音データ」は「［新規］」と表示されます。
- 録音データを削除すると、応答保留音は「日本語」に戻ります。

■ **応答保留音について**
各応答保留音は次のように再生されます。

日本語
ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらく経ってからおかけ直しください。

英語
I can't take your call now. Please hold the line for a moment or call me back later. Thank you.

応答保留音を録音する

お客様の声などを最長30秒録音できます。

1 音声応答保留音画面(P68)▶「[新規]」を選択▶ ch [録音]

録音が開始されます。

- ●：録音を停止します。録音データの保存待ち状態になります。
- ch［一時停止］：録音を一時停止します。ch［再開］を押すと録音を再開します。
- i✉［中止］：録音を中止し、音声応答保留音画面に戻ります。

2 録音を停止したら●

音声応答保留音画面に戻ります。

- 録音が完了すると、「[新規]」が「録音データ」に変更されます。

お知らせ

- 録音データの保存待ち状態で ch［機能］を押して次の操作ができます。
  - 「プレビュー」を選択すると、録音データを確認できます。
  - 「再録音」を選択すると、録音データを録音し直します。
  - 「削除」を選択すると、録音データを削除して音声応答保留音画面に戻ります。

音声応答保留音画面の機能メニュー

1 音声応答保留音画面(P68)▶ ch [機能]▶次の操作を行う

設定
選択中の項目を応答保留音に設定します。

再生
選択中の項目を再生します。

再録音
録音データを録音し直します。
▶ ch［はい］▶30秒録音する／●▶録音を停止したら●

削除
録音データを削除します。

通話を保留にする

- キャッチホンをご契約の場合のみご利用になれます。

1 音声通話中画面(P52)▶ ch [機能]▶「保留」

保留中は、相手に「プルル…」という呼び出し音と「プー…」という話中音が繰り返し流れます。

2 電話に出られるようになったら ch [機能]▶「再開」

■ **電話を切る場合**

PWR/HLD／•（1秒以上）を押します。

お知らせ

- テレビ電話中に操作するには→P83

公共モード（ドライブモード）を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モードの設定／解除は、待受中のみできます（圏外が表示されているときでも可能です）。
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。

1 ＊（1秒以上）

着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。後ほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ **公共モード（ドライブモード）を設定すると**
お客様のFOMA端末に電話がかかってきても、着信音は鳴りません。画面には「×件の不在着信あり」と表示され、着信履歴に記録されます。
電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

■ **公共モード（ドライブモード）を解除するには**
待受画面を表示中に＊（1秒以上）を押します。

お知らせ

- 公共モードが設定されると、画面上部に が表示されます。
- 公共モード設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます（公共モードのガイダンスは流れません）。
- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モード（ドライブモード）の設定が優先されます。
- 公共モード設定中は、お客様が操作したとき以外の音（着信音やアラーム音など）は鳴りません。
- 公共モード設定中にメールを受信しても、着信音の鳴動やイルミネーションランプの点滅、FOMA 端末の振動などの着信動作は行われません。また、ディスプレイの表示が消えているときにメールやメッセージR/Fを受信しても、ディスプレイのバックライトは点灯しません。
- 公共モード設定中にFOMA端末を閉じると、サブディスプレイのバックライトは点灯しません（サイドキーを押すと点灯します）。また、FOMA端末を開くと、ディスプレイのバックライトは通常より暗めに点灯します。

ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード）設定中の着信動作

同時に設定中の動作は次のようになります。

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	相手に公共モードガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターに接続します。※	相手に公共モードの映像ガイダンスを表示せずに留守番電話サービスセンターに接続します。
キャッチホン	相手に公共モードガイダンスを流した後、切断します。	相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、切断します。
転送でんわサービス	相手に公共モードガイダンスを流した後、転送先に転送します。※ 公共モードガイダンスの有無は、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。	相手に公共モードの映像ガイダンスを表示せずに転送先に転送します。 転送先がテレビ電話に対応していない場合は切断します。

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話拒否登録している電話番号の場合、相手に着信拒否ガイダンスを流した後、切断します。 上記以外の場合、相手に公共モードガイダンスを流した後、切断します。	迷惑電話拒否登録している電話番号の場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示した後、切断します。 上記以外の場合、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、切断します。
番号通知お願いサービス	相手が電話番号を通知しない場合、相手に番号通知お願いガイダンスを流した後、切断します。 相手が電話番号を通知した場合、相手に公共モードガイダンスを流した後、切断します。	相手が電話番号を通知しない場合、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示した後、切断します。 相手が電話番号を通知した場合、相手に公共モードの映像ガイダンスを表示した後、切断します。

※：各ネットワークサービスの呼出時間を0秒に設定している場合は、公共モードガイダンスは流れず、着信履歴に記録されません。

公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 「*25251」を入力▶[発信]

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）を設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。後ほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モード（電源OFF）を設定すると
「*25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

■ 公共モード（電源OFF）を解除するには
「*25250」を入力して[発信]を押します。

■ 公共モード（電源OFF）の設定を確認するには
「*25259」を入力して[発信]を押します。

ネットワークサービスと公共モード（電源OFF）設定中の着信動作

同時に設定中の動作は次のようになります。

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	相手に公共モード（電源OFF）ガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターに接続します。※	相手に公共モード（電源OFF）ガイダンスを流さずに留守番電話サービスセンターに接続します。
転送でんわサービス	相手に公共モード（電源OFF）ガイダンスを流した後、転送先に転送します。※ 公共モードガイダンスの有無は、転送でんわサービスのガイダンス有無設定に従います。	相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示せずに転送先に転送します。 転送先がテレビ電話に対応していない場合は切断します。

次のページへ続く

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話拒否登録している電話番号の場合、相手に着信拒否ガイダンスを流した後、切断します。 上記以外の場合、相手に公共モード（電源OFF）ガイダンスを流した後、切断します。	迷惑電話拒否登録している電話番号の場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスを表示した後、切断します。 上記以外の場合、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、切断します。
番号通知お願いサービス	相手が電話番号を通知しない場合、相手に番号通知お願いガイダンスを流した後、切断します。 相手が電話番号を通知した場合、相手に公共モード（電源OFF）ガイダンスを流した後、切断します。	相手が電話番号を通知しない場合、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスを表示した後、切断します。 相手が電話番号を通知した場合、相手に公共モード（電源OFF）の映像ガイダンスを表示した後、切断します。

※：各ネットワークサービスの呼出時間を0秒に設定している場合は、公共モード（電源OFF）ガイダンスは流れません。

不在着信

不在着信を確認する

かかってきた電話に出られなかったとき､待受画面に不在着信があったことをお知らせする不在着信通知画面が表示されます。不在着信通知画面から、電話をかけてきた相手を確認できます。

1 かかってきた電話が切れる

不在着信の件数が表示されます。

- [終了]:不在着信通知画面を閉じます。

不在着信通知画面

2 [表示]

着信履歴一覧画面が表示されます。

- [終了]：着信履歴一覧画面を閉じます。

3 不在着信の履歴を選択▶●

着信履歴詳細画面が表示されます。

お知らせ

- 不在着信を確認すると、通知画面は表示されなくなります。
- 「着信履歴表示」を「OFF」に設定した場合、「呼出動作開始時間」で設定した時間内に切れた電話の不在着信通知画面は表示されません。
- 伝言メモが起動した場合は、不在着信通知画面は表示されません。

電話に出られないときに用件を録音／録画する

留守番電話サービスをご契約されていない場合でも、音声電話／テレビ電話をかけてきた相手に電話に出られない旨の応答メッセージを流し、相手の用件をFOMA端末に録音／録画できます。

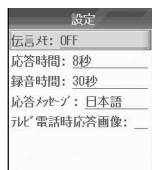
- 伝言メモと留守番電話サービスの違いは次のとおりです。

項　目	伝言メモ	留守番電話サービス
録音／録画時間	1件あたり最長60秒（音声電話）／最長30秒（テレビ電話）	1件あたり最長3分
保存場所	FOMA端末	留守番電話サービスセンター
保存件数	約1196件（音声電話）／約574件（テレビ電話）※	最大20件
保存期間	なし	最長72時間
再生条件	なし	ネットワーク圏内
録音条件	• ネットワーク圏内（電源が入っている場合のみ可能） •「伝言メモ」を「ON」に設定中	• ネットワーク圏内（電源が切れているときも可能） • 留守番電話サービスを開始に設定中

※： 音声電話／テレビ電話の伝言メモだけが録音／録画され、1件の録音／録画時間が30秒の場合の数値です。

伝言メモを設定する

お買い上げ時	伝言メモ：OFF　応答時間：8秒　録音時間：30秒　応答メッセージ：日本語　テレビ電話時応答画像：日本語

1 ●▶(アクセサリ)▶「伝言メモ」▶[機能]▶「設定」

設定画面

2 次の操作を行う

伝言メモ
伝言メモを設定／解除します。
▶「ON」／「OFF」

応答時間
電話を着信してから、伝言メモを起動するまでの時間を設定します。時間は0〜120秒で入力します。
▶／ダイヤルキーで時間を入力

録音時間
音声電話での伝言メモの録音時間を設定します。
▶録音時間を選択▶ [選択]

応答メッセージ
日本語　：応答メッセージを日本語に設定します。
英語　：応答メッセージを英語に設定します。
録音データ：応答メッセージを録音データに設定します。

次のページへ続く

テレビ電話時応答画像

日本語：応答画像を日本語に設定します。
英語　：応答画像を英語に設定します。

お知らせ

- 伝言メモを設定すると、画面上部に（青）が表示されます。ただし、次の場合はアイコンが表示されません。
  - 「シークレットデータ」を「表示」に設定しているとき
  - 留守番電話サービスの伝言メッセージが録音されたとき

応答時間

- 留守番電話サービス／転送でんわサービスの呼出時間よりも長く設定した場合は、各ネットワークサービスが優先して動作します。
- 「オート着信」と同じ時間に設定している場合は、「オート着信」が優先して動作します。ただし、設定されている着信音／バイブレータが設定時間前に2回繰り返して鳴った場合は、オート着信が動作します。
- 「呼出動作開始時間」で設定した時間よりも短く設定した場合は、呼出動作を行わずに伝言メモが起動します。

録音時間

- 設定後の設定内容確認画面に表示される「録音時間：XX秒」とは音声電話での伝言メモの録音可能時間、「録画時間：30秒」とはテレビ電話での伝言メモの録画可能時間です。
- 録音時間のみ設定できます。録画時間（30秒）は変更できません。

応答メッセージ

- 応答メッセージが録音されていない場合は、「録音データ」は「[新規]」と表示されます。
- 録音データを削除すると、応答メッセージは「日本語」に戻ります。

テレビ電話時応答画像

- お買い上げ時に保存されている伝言メモ用の画像のみ登録できます。
- 応答画像リスト画面で［機能］を押して次の操作ができます。
  - 「デフォルトに設定」を選択すると、選択中の項目を応答画像に設定できます。
  - 「プレビュー」を選択すると、選択中の応答画像を確認できます。

応答メッセージ

応答メッセージを録音する

お客様の声などを最長1分録音できます。

1 設定画面（P73）▶「応答メッセージ」

応答メッセージリスト画面

2 「[新規]」

録音が開始されます。

- ●：録音を停止します。録音データの保存待ち状態になります。
- ［一時停止］：録音を一時停止します。［再開］を押すと録音を再開します。
- ［中止］：録音を中止し、応答メッセージリスト画面に戻ります。

3 録音を停止したら●

応答メッセージリスト画面に戻ります。

- 録音が完了すると、「[新規]」が「録音データ」に変更されます。

お知らせ

- 録音データの保存待ち状態で［ch］［機能］を押して次の操作ができます。
  - 「プレビュー」を選択すると、録音データを確認できます。
  - 「再録音」を選択すると、録音データを録音し直します。
  - 「削除」を選択すると、録音データを削除して応答メッセージリスト画面に戻ります。

応答メッセージリスト画面の機能メニュー

1 **応答メッセージリスト画面(P74)▶［ch］[機能]▶次の操作を行う**

デフォルトに設定
選択中の項目を応答メッセージに設定します。

再生
選択中の応答メッセージを再生します。

編集
録音データを録音し直します。
▶1分録音する／●▶録音を停止したら●

1件削除
録音データを削除します。
▶［ch］[はい]

伝言メモを設定したときは

音声電話の場合は相手の音声が録音され、テレビ電話の場合は相手の音声と映像が録画されます。

1 **電話がかかってくる▶応答メッセージを再生**

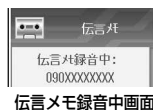
設定した応答時間が経過すると相手に応答メッセージを流します。テレビ電話の場合は応答画像も送信します。

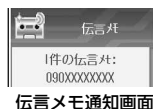
- ［ch］[応答]：応答メッセージを停止して電話に出ます。テレビ電話の場合は代替画像が送信されます。
- ［iα］[切断]：電話を切ります。

応答メッセージ再生中画面

2 **録音／録画が開始される**

- ［ch］[応答]：録音／録画を中止して電話に出ます。テレビ電話の場合は代替画像が送信されます。
- ［iα］[切断]：電話を切ります。

伝言メモ録音中画面

3 **録音／録画が終了する**

- ［ch］[再生]：伝言メモを再生します。
- ［iα］[終了]：伝言メモ通知画面を閉じます。

伝言メモ通知画面

■ **複数件の伝言メモが録音／録画されている場合**
伝言メモ通知画面に録音／録画件数が表示されます。［ch］［表示］を押すと伝言メモ一覧画面が表示されます。

次のページへ続く

お知らせ

- 伝言メモが録音／録画されると、画面上部にが表示されます。ただし、次の場合はアイコンが表示されません。
  - 「シークレットデータ」を「表示」に設定しているとき
  - 留守番電話サービスの伝言メッセージが録音されたとき
- 伝言メモを録音／録画できる件数はメモリ残量により異なります。伝言メモなどのメモリ残量を確認できます。→P77
- 圏外が表示されているとき、電源が切れているとき、公共モード（ドライブモード）を設定中は、伝言メモを録音／録画できません。
- 画面上部に（赤）が表示された場合、伝言メモなどのメモリ残量が少なくなったため録音できません。また、メッセージR/F、デコメールテンプレート、メール、ｉアプリ、データBOX（画像、動画／ｉモーション、メロディ、キャラ電、アニメーション、音声メモ）、ダウンロード辞書で大容量のメモリを使用している場合にも表示されますので、必要に応じて不要なデータを削除してください。→P77、P173、P187、P196、P197、P198、P211、P226 、P230、P232、P238、P241 、P246、P303
- 応答メッセージの再生中や伝言メモの録音／録画中に電話がかかってきた場合、着信は拒否され、着信履歴／不在着信履歴にも記録されません。
- 応答メッセージ再生中画面または伝言メモ録音中画面で／を押しても、電話に出ることができます。テレビ電話の場合はカメラ画像を送信します。
- 伝言メモ録音中画面でを押した場合、録音中の伝言メモは保存されません。

■ クイック伝言メモ

伝言メモを設定してない場合でも、手動で伝言メモを起動できます。伝言メモを起動するには、着信中画面で（1秒以上）を押します。

■ お願い

伝言メモの内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。万が一、FOMA端末の故障や修理などの取り扱いによって保存内容が消失してしまう場合があっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

伝言メモを再生／削除する

伝言メモを再生する

1 ●▶（アクセサリ）▶「伝言メモ」

- 電話帳に登録されている相手が録音／録画した場合は、名前が表示されます。

■ 伝言メモ一覧画面のアイコン

アイコン	説　明
／	未確認の音声電話／テレビ電話伝言メモ
／	確認済みの音声電話／テレビ電話伝言メモ
／	保護設定中の音声電話／テレビ電話伝言メモ

伝言メモ一覧画面

2 伝言メモを選択▶●

伝言メモが再生されます。

- ●／：一時停止します。再度押すと再生を再開します。
- ／：再生中に押し続けると、巻戻し／早送りします。一時停止中に押すと、再生を再開します。
- ：再生を停止します。
- ［戻る］：伝言メモ一覧画面に戻ります。

お知らせ

- 伝言メモ再生画面で［機能］を押して次の操作ができます。
  - 「再生」を選択すると、伝言メモ再生します。
  - 「情報表示詳細」を選択すると、詳細情報を確認できます。
  - 「終了」を選択すると、伝言メモ一覧画面に戻ります。

伝言メモ一覧画面の機能メニュー

1 伝言メモ一覧画面(P76)▶［機能］▶次の操作を行う

再生
選択中の伝言メモを再生します。

発信
選択中の伝言メモの電話番号に電話をかけます。
▶ ／

電話帳登録
選択中の伝言メモの電話番号が電話帳に未登録の場合、電話帳に登録します。「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P97）へ進みます。

1件削除
選択中の伝言メモを削除します。
▶［はい］

全件削除
すべての伝言メモを削除します。
▶［はい］

保護・保護解除
伝言メモを保護／保護解除します。

設定
伝言メモを設定します。「伝言メモを設定する」の操作2（P73）へ進みます。

空き容量表示
伝言メモなどのメモリの空き容量、使用容量、合計容量を確認します。

お知らせ

1件削除
- 保護されている伝言メモを選択中の場合は利用できません。

全件削除
- 保護されている伝言メモは削除されません。

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

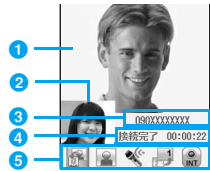
テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。

- ドコモのテレビ電話は「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。ドコモのテレビ電話と異なる方式を利用しているテレビ電話対応端末とは接続できません。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
　第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2：3G-324M
　第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。

- テレビ電話の通信速度には64K（64kbps）と32K（32kbps）の2種類がありますが、本FOMA端末では32Kによるテレビ電話は利用できません。
- 本FOMA端末は遠隔監視機能には対応しておりません。
- 本FOMA端末は、外部機器と接続してテレビ電話を使用することはできません。

テレビ電話中画面の見かた

1. **親画面**
2. **子画面**
3. **相手の電話番号／名前**
4. **通信状態／設定状態／通話時間の表示**
5. **操作アイコン**
   - ／：カメラ画像と代替画像を切り替える→P86
   - ／：通話を保留／保留解除する→P83
   - ／：ハンズフリー通話を設定／解除する→P83
   - ／：親画面と子画面を切り替える→P87
   - ／：インカメラとアウトカメラを切り替える→P86
   - ／：画面上部に表示されるアイコンを表示／非表示に設定する→P87
   - ：キャラ電のアクションモードとパーツアクションモードを切り替える→P85

テレビ電話をかける

1 電話番号を入力

電話番号入力画面

- 電話番号入力画面の機能メニュー→P53
- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

■一般電話にかける場合
市外局番 － 市内局番 － 電話番号

■携帯電話にかける場合
090－XXXX－XXXX／080－XXXX－XXXX

■PHSにかける場合
070－XXXX－XXXX

2

受話口から呼出音が聞こえ、相手が電話に出るまで「テレビ電話発信中」と表示された発信中画面が表示されます。

- 接続中画面が表示されてからデジタル通信料がかかります。
- ：カメラ画像を拡大／縮小します。
- ～：プッシュ信号（DTMF）を送信します。

接続中画面　テレビ電話中画面

3 **通話が終了したら**

お知らせ

- 通話中にFOMA端末を閉じると、通話を終了します。ただし、miniUSBステレオヘッドセット M01（別売）などと接続して通話している場合は、FOMA端末を閉じても通話は終了しません（相手には「代替画像」の設定に従って画像／キャラ電が送信されます）。
- 発信者番号の通知をお願いする映像が表示された場合は、発信者番号を通知してテレビ電話をかけ直してください。
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用できます。→P58
- テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話でも圏外や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合は発信が中止され、再発信の確認画面が表示されます。「音声で再発信」を選択すると音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64KやPIAFSの接続先、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2006年12月現在）、間違い電話をした場合などは、このような動作にならない場合があります。通信料金が発生する場合もございますので、ご注意ください。
- FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話で緊急通報したときに相手がテレビ電話に対応していない場合は、接続できない旨のメッセージが表示されて発信できません。その場合は「音声で再発信」を選択し、音声電話でかけ直してください。
- テレビ電話中に送信されてきたｉモードメールやメッセージR/Fは、ｉモードセンターに保管されます。SMSはテレビ電話中でも受信できます。
- 相手に代替画像を送信している場合でも、デジタル通信料がかかります。
- 「DTMF ON」に設定していない場合は、キャラ電を利用してテレビ電話中にダイヤルキーを押してプッシュ信号を送信できません。→P82
- 本FOMA端末では、テレビ電話の通話中に音声電話に切り替えることはできません。
- 通話中に充電を開始すると、受話口から充電開始音が聞こえます。ハンズフリー通話中はスピーカーから充電開始音が聞こえます。
- 通話中に電池残量が少なくなると、「ピコ」という低電圧アラームが約30秒ごとに受話口から聞こえます。そのまま通話を継続できますが、しばらくすると自動的に電源が切れて通話が切断されます。

■ テレビ電話が接続できなかったときは

接続できなかった理由を示す次のメッセージが表示されます。

- 電話をかけた相手の端末やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の状況とは異なるメッセージが表示される場合があります。

メッセージ	理　由
接続できませんでした 番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合に表示されます。
お話中です	相手が話し中、パケット通信中の場合に表示されます。 • 音声電話でかけ直す場合は「音声で再発信」を選択します。
接続できませんでした 電波の届かない所にいるか電源が切れています	相手が電波の届かないところにいます。
接続できませんでした	上記以外の場合に表示されます。 • 音声電話でかけ直す場合は「音声で再発信」を選択します。

接続中画面／テレビ電話中画面の機能メニュー

お買い上げ時	左右反転：OFF　照明設定：自動　明るさ：3

1 接続中画面(P81)／テレビ電話中画面(P81)▶ch[機能]▶次の操作を行う

タスクメニュー
マルチタスク機能を利用します。→P258

代替画像・自画像
相手に送信する画像をカメラ画像／代替画像に切り替えます。

通話保留
通話を保留します。

スピーカOFF・スピーカON
ハンズフリー通話を設定／解除します。ハンズフリー通話中は相手の声がスピーカーから聞こえます。

画面切替
親画面と子画面の表示を切り替えます。

アウトカメラに切替・インカメラに切替
カメラ画像をアウトカメラ／インカメラに切り替えます。

アイコン表示OFF・アイコン表示ON
テレビ電話中画面の画面上部に表示されるアイコンの表示／非表示を設定します。

設定
左右反転：カメラ画像の鏡像表示を設定／解除します。→P87
照明設定：撮影場所の光源に合わせて色合いを調節します。→P88

明るさ
通話中の画面の明るさを調節します。→P88

自局番号
お客様の電話番号（自局番号）を表示します。

Bluetooth・本体で接続
通話を接続中のBluetooth機器／FOMA端末に切り替えます。

発信履歴
発信履歴を表示します。

着信履歴
着信履歴を表示します。

DTMF ON・DTMF OFF
キャラ電を利用してテレビ電話中にプッシュ信号を送信できるように／できないようにします。

アクション一覧
キャラ電を利用してテレビ電話中にアクション一覧画面を表示し、アクションを選択してキャラクタを操作します。→P237
▶アクションを選択▶ch［選択］

アクション切替
キャラ電を利用してテレビ電話中に全体アクションモード／パーツアクションモードを切り替えます。
→P238

お知らせ

代替画像
- 相手に送信される代替画像は、「代替画像」の設定に従って画像／キャラ電が送信されます。

通話保留

- 保留中に / を押すと保留を解除してカメラ画像を、［代替画像］を押すと保留を解除して代替画像を相手に送信します。

通話を保留にする

操作アイコンを利用して、通話を保留／保留解除できます。

1 テレビ電話中画面（P81）▶で を選択▶［保留］

保留中は、相手に「保留設定」の「テレビ電話中保留」で設定した保留音と画像が送信されます。

- 保留を解除して相手にカメラ画像を送信する場合は / を押します。保留を解除して相手に代替画像を送信する場合は を押して を選択し、［代替画像］を押します。

テレビ電話中画面（通話保留中）

お知らせ

- テレビ電話中に を押しても通話を保留できます。

ハンズフリー通話に切り替える

操作アイコンを利用して、通話中に相手の声をスピーカーから聞こえるようにできます。

1 テレビ電話中画面（P81）▶で を選択▶［スピーカON］

- ハンズフリー通話を解除する場合は を押して を選択し、［スピーカOFF］を押します。

テレビ電話中画面（ハンズフリー通話中）

お知らせ

- お買い上げ時は、テレビ電話が接続されるとハンズフリー通話になるように設定されています。設定は「テレビ電話設定」の「スピーカーホン」で変更できます。
- ハンズフリー通話中は、FOMA端末との距離を約50cm以内にして通話することをおすすめします。
- 受話音量を「0」に設定すると、相手の声がスピーカーから聞こえなくなります（お客様の声は相手に送信されます）。

テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴ります。

- / ：着信音や振動を停止します。
- ：応答を保留します。→P67

テレビ電話着信中画面

次のページへ続く

2 [A/a]／[◎]

電話に出ます。

■相手に代替画像を送信して電話に出る場合

[iα]［代替画像］を押します。「代替画像」の設定に従って、相手に画像／キャラ電が送信されます。

3 通話が終了したら[PWR HLD]

お知らせ

- 「着信イルミネーション」を「なし」以外に設定している場合は、着信時にイルミネーションランプが点滅します。
- 伝言メモを設定している場合は、相手の用件を録画できます。→P73
- 「パターン選択」の設定や電話帳の登録状態により、着信音や振動などの着信動作が異なります。→P93、P112、P115
- マナーモードを設定している場合は着信音が鳴りません。また、公共モード（ドライブモード）を設定している場合は着信音が鳴らず、イルミネーションランプも点滅しません。
- 「オープン応答」を「ON」に設定中の場合は、FOMA端末を開いてもテレビ電話に出られます。
- 通話中にFOMA端末を閉じると、通話を終了します。ただし、miniUSBステレオヘッドセット M01（別売）などと接続して通話している場合は、FOMA端末を閉じても通話は終了しません（相手には「代替画像」の設定に従って画像／キャラ電が送信されます）。
- 「呼出動作開始時間」を設定して、電話帳に未登録の相手からの着信動作をすぐに開始させないようにできます。
- 留守番電話サービスを開始に設定している場合は、伝言メッセージが録音されるとSMSで録音されたことをお知らせします。
- 転送でんわサービスを開始に設定している場合でも、転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機器に設定されていない場合は、かかってきたテレビ電話は転送されません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- テレビ電話中に送信されてきたｉモードメールやメッセージR/Fは、ｉモードセンターに保管されます。SMSはテレビ電話中でも受信できます。
- 公共モード（ドライブモード）が設定されている場合は、着信音の鳴動やイルミネーションランプの点滅などの着信動作は行われません。また、ディスプレイの表示が消えているときに電話がかかってきても、ディスプレイのバックライトは点灯しません。
- 32Kによるテレビ電話の着信はできず、着信履歴にも記録されません。
- 通話中に充電を開始すると、受話口から充電開始音が聞こえます。ハンズフリー通話中はスピーカーから充電開始音が聞こえます。
- 本FOMA端末では、テレビ電話の通話中に音声電話に切り替えることはできません。

テレビ電話着信中画面の機能メニュー

1 テレビ電話着信中画面（P83）▶[ch]［機能］▶次の操作を行う

応答
テレビ電話を受けます。

着信拒否
着信を拒否してテレビ電話を切ります。

テレビ電話応答保留
応答を保留します。

転送でんわ
指定した電話番号へテレビ電話を転送します。

お知らせ

テレビ電話応答保留

- テレビ電話を応答保留すると、相手に「保留設定」の「テレビ電話応答保留」で設定した保留音と画像が送信されます。

転送でんわ

- 転送でんわサービスをご契約いただいていない場合や、転送先電話番号を指定していない場合は利用できません。

キャラ電を利用する

カメラ画像の代わりにキャラ電のキャラクタを相手に送信して通話できます。キャラクタは、キー操作で動かすことができます。

キャラ電で電話をかける

1 ●▶(データBOX)▶「キャラ電」▶フォルダを選択▶●

2 キャラ電を選択▶ch［機能］▶「キャラ電発信」▶次の操作を行う

キャラ電

テレビ電話中画面（キャラ電利用中）
©BVIG

直接入力
電話番号を直接入力して発信します。
▶電話番号を入力▶

電話帳
▶電話帳を選択▶●

着信履歴
着信履歴から電話番号を選択します。
▶履歴を選択▶●

発信履歴
発信履歴から電話番号を選択します。
▶履歴を選択▶●

キャラ電で電話を受ける

- あらかじめ「代替画像」を「キャラ電」に設定してください。

1 電話がかかってきたら［代替画像］

電話がつながり、相手にキャラ電のキャラクタが送信されます。

お知らせ

- 電話帳から電話番号を選択するとき、選択中の電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、を押して電話をかける電話番号を表示してから●を押します。
- テレビ電話中にch［機能］を押して「アクション一覧」を選択すると、アクション一覧画面が表示されます。アクションを選択してch［選択］を押すと、アクションを実行できます。
- テレビ電話中にch［機能］を押して「アクション切替」を選択するか、を押してを選択し、［パーツアクション］／［全体アクション］を押すと、全体アクションモード／パーツアクションモードを切り替えられます。
- テレビ電話中に0～9を押すと、キャラクタを操作できます。
- アクション一覧画面やキャラ電の操作、アクションモードなどの詳細については、「キャラ電とは」（P237）を参照してください。
- 「DTMF ON」に設定している場合は、ダイヤルキーを押してキャラ電を操作できません。

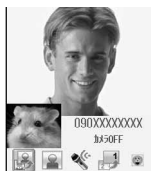
相手側に送信する映像について設定する

カメラ画像と代替画像を切り替える

1 テレビ電話中画面(P81)▶で を選択▶[代替画像]

相手に代替画像が送信されます。

- カメラ画像に切り替える場合はを押して を選択し、［自画像］を押します。

テレビ電話中画面（カメラ画像送信中）　テレビ電話中画面（代替画像送信中）

お知らせ

- を押しても、カメラ画像と代替画像を切り替えられます。
- 相手に送信される代替画像は、「代替画像」の設定に従って画像／キャラ電が送信されます。

インカメラとアウトカメラを切り替える

- 本機能は、相手にカメラ画像を送信中の場合のみ利用できます。

1 テレビ電話中画面(P81)▶で を選択▶[アウトカメラ]

相手にアウトカメラの映像が送信されます。

- インカメラに切り替える場合はを押して を選択し、［インカメラ］を押します。

テレビ電話中画面（インカメラ利用中）

テレビ電話中画面（アウトカメラ利用中）

お知らせ

- 変更した設定は、通話終了後は保持されません。

スピーカーホン

テレビ電話のハンズフリーについて設定する

お買い上げ時	ON

テレビ電話が接続されたとき、相手の声をスピーカーから聞こえるようにしてハンズフリー通話にするか、受話口から聞こえるようにするかを設定できます。

1 ▶(設定)▶「通話設定」▶「テレビ電話設定」▶「スピーカーホン」▶「ON」／「OFF」

テレビ電話中に表示される映像について設定する

親画面と子画面の表示を切り替える

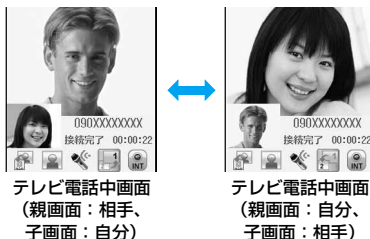
お買い上げ時	親画面：相手の映像　子画面：自分の映像

1 テレビ電話中画面(P81)▶ で を選択▶ [画面切替]

相手の映像が子画面に、自分の映像が親画面に表示されます。

- 親子画面の表示を元に戻す場合は を押して を選択し、 ［画面切替］を押します。

テレビ電話中画面
（親画面：相手、
子画面：自分）

テレビ電話中画面
（親画面：自分、
子画面：相手）

お知らせ

- 変更した設定は、通話終了後は保持されません。

画面上部のアイコンを表示／非表示にする

お買い上げ時	アイコンon

- 本機能は、応答保留中、通話保留中、または代替画像で画像を送信中の場合のみ操作できます。

1 応答保留中画面(P67)／通話保留中画面(P83)／代替画像送信中画面(P86)▶ で を選択▶ [アイコンoff]

画面上部のアイコンが消えます。

- アイコンを表示する場合は を押して を選択し、 ［アイコンon］を押します。

お知らせ

- 変更した設定は、通話終了後は保持されません。

カメラ画像を鏡像表示にする

お買い上げ時	OFF

設定を「ON」にすると左右が反転して表示（鏡像）され、相手に表示する映像も左右が反転して表示（鏡像）されます。

1 テレビ電話中画面(P81)▶ [機能]▶「設定」▶「左右反転」▶「OFF」／「ON」▶ [戻る]

テレビ電話中画面
（左右反転ON）

テレビ電話中画面
（左右反転OFF）

照明設定をする

お買い上げ時	自動

撮影場所の光源に合わせて画像を自然な色合いに調節できます。

1 テレビ電話中画面(P81)▶ch[機能]▶「設定」▶「照明設定」▶次の操作を行う

自動
自動で調整します。

晴れ
晴れた屋外に適しています。

曇り
曇りの屋外に適しています。

白熱灯
白熱灯が点灯する屋内に適しています。

蛍光灯
蛍光灯が点灯する屋内に適しています。

夜間
夜間に適しています。

2 iα[戻る]

画面の明るさを調節する

お買い上げ時	3

明るさは、0～6の7段階で調節できます。

1 テレビ電話中画面(P81)▶ch[機能]▶「明るさ」

明るさ調節画面が表示されます。

2 ／ダイヤルキーで明るさを調節

- 約2秒間何も操作しないと明るさ調節画面が自動的に閉じ、明るさが設定されます。

お知らせ

- 変更した設定は、通話終了後は保持されません。

テレビ電話応答保留

応答保留音と画像を設定する

お買い上げ時	テレビ電話応答保留音：日本語　テレビ電話応答保留画像：ah_img

テレビ電話を応答保留したときに流す応答保留音と、表示する画像を設定できます。

1 ●▶ (設定)▶「通話設定」▶「保留設定」▶「テレビ電話応答保留」▶次の操作を行う

テレビ電話応答保留音

日本語：応答保留音を日本語に設定します。

英語　：応答保留音を英語に設定します。

テレビ電話応答保留画像

▶画像を選択▶ [選択]

お知らせ

テレビ電話応答保留画像

- お買い上げ時に保存されている、応答保留／通話中保留用の画像のみ登録できます。

■ テレビ電話応答保留音について

各応答保留音は次のように再生されます。

日本語

ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらく経ってからおかけ直しください。

英語

I can't take your call now. Please hold the line for a moment or call back later. Thank you.

テレビ電話中保留

通話保留音と画像を設定する

お買い上げ時	テレビ電話中保留音：メロディ１　テレビ電話中保留画像：ch_img

テレビ電話の保留中に相手に流す保留音と、相手とお客様のFOMA端末に表示する画像を設定できます。

1 ●▶ (設定)▶「通話設定」▶「保留設定」▶「テレビ電話中保留」▶次の操作を行う

テレビ電話中保留音

▶「メロディ１」／「メロディ２」

テレビ電話中保留画像

▶画像を選択▶ [選択]

お知らせ

テレビ電話中保留画像

- お買い上げ時に保存されている、応答保留／通話中保留用の画像のみ登録できます。

テレビ電話の設定を変更する

代替画像／キャラ電を設定する

お買い上げ時	bunbun（Dimo）

代替画像に切り替えたときに相手に送信する映像を、画像またはキャラ電から選択して設定できます。

1 ●▶（設定）▶「通話設定」▶「テレビ電話設定」▶「代替画像」▶次の操作を行う

マイピクチャ
「マイピクチャ」に保存されている画像から選択します。
▶フォルダを選択▶●▶画像を選択▶●

キャラ電
「キャラ電」に保存されている画像から選択します。
▶フォルダを選択▶●▶キャラ電を選択▶●

お知らせ

- 設定されている画像やキャラ電はファイル名で表示されます。

マイピクチャ

- 設定できる画像のファイル形式はJPEGのみです。
- 再配布が禁止されている画像は設定できません。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

電話帳には、FOMA端末に保存するFOMA端末（本体）電話帳と、FOMAカードに保存するFOMAカード電話帳の2種類があります。それぞれの電話帳に登録／設定できる内容は次のとおりです。

- 登録内容は、1件の電話帳に登録できる内容です。

項　目			FOMA端末（本体）電話帳	FOMAカード電話帳
登録件数			約700件※1	最大50件
登録内容	名前／フリガナ		1つ入力可能	1つ入力可能
	ニックネーム		1つ入力可能	登録不可
	電話番号		7番号まで入力可能	1番号まで入力可能
		種別	9種類から選択	設定不可
		テレビ電話対応	設定可能	設定不可
	メールアドレス		3アドレスまで入力可能	1アドレスまで入力可能
		種別	5種類から選択	設定不可
	URL		2URLまで入力可能	登録不可
	住所		2つまで入力可能	登録不可
		種別	3種類から選択	設定不可
	グループ		10種類から選択※2	11種類から選択※2
	ピクチャーID		1つ登録可能	登録不可
	着信音		1つ登録可能	登録不可
	キャラ電		1つ登録可能	登録不可
	誕生日		1件登録可能	登録不可
	シークレット		設定可能	設定不可
	着信拒否		設定可能	設定不可
	メモ		1件登録可能	登録不可
スピードダイヤル			登録可能	登録不可

※1：すべての電話帳が各登録内容を最大値まで登録／設定している場合の件数の目安です。電話帳の登録状況により、保存できる件数は変わります（最大2000件）。

※2：お買い上げ時は、FOMA端末（本体）電話帳には4種類のグループ、FOMAカード電話帳には1種類のグループが登録されています。FOMA端末（本体）電話帳には10種類、FOMAカード電話帳には11種類まで追加登録できます。→P98

お知らせ

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットしても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

■ お願い

- 電話帳の内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。パソコンなどをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。
- ドコモショップなど窓口にて機種変更時などに新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 万が一、FOMA端末の故障や修理などの取り扱いによって保存内容が消失してしまう場合があっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

FOMA端末（本体）電話帳に登録する

1 ◎▶「[新規登録]」

- 「通常保存先」を「FOMAカード（UIM）」に設定している場合は、「保存先」▶「本体」の順に選択してから操作します。

電話帳登録画面

2 次の操作を行う

名前
漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナで入力します。全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。
▶**名前を入力**

フリガナ
必要な場合に入力／修正します。カタカナ、英数字、記号で入力します。半角で32文字まで入力できます。
▶**フリガナを入力**

ニックネーム
漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナで入力します。全角／半角を問わず、32文字まで入力できます。
▶**ニックネームを入力**

電話番号
26桁まで入力できます。
▶**電話番号を入力**

種別
電話番号の種別を設定します。
▶**種別を選択**▶ch［選択］

テレビ電話対応
入力した電話番号がテレビ電話に対応しているかどうかを設定します。
▶**「はい」／「いいえ」**

メールアドレス
英数字、記号で入力します。半角で50文字まで入力できます。
▶**メールアドレスを入力**

種別
メールアドレスの種別を設定します。
▶**種別を選択**▶ch［選択］

保存先
登録中の電話帳の保存先を指定します。ここでは「本体」を選択します。
▶**「本体」／「FOMAカード（UIM）」**

URL
英数字、記号で入力します。半角で128文字まで入力できます。
▶**URLを入力**

住所
「郵便番号」「都道府県」「市町村」「住所1」「住所2」「国」を入力します。「郵便番号」は英数字（半角のみ）、記号（半角のみ）で入力します。それ以外の項目は漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナで入力します。「郵便番号」は半角で32桁まで、「住所1」「住所2」は全角／半角を問わず、62文字まで入力できます。それ以外の項目は全角／半角を問わず、32文字まで入力できます。
▶**入力する項目を選択**▶●▶**住所などを入力**▶ch［完了］

次のページへ続く●●●

種別
住所の種別を設定します。
▶種別を選択▶ [選択]

グループ
▶グループを選択▶ [選択]

ピクチャーID
登録した相手から電話がかかってきたときの着信中画面に表示する画像または動画／ｉモーションを登録します。

マイピクチャ：「マイピクチャ」フォルダに保存されている画像から選択します。
▶フォルダを選択▶●▶画像を選択▶●

ｉモーション：「ｉモーション」フォルダに保存されている動画／ｉモーションから選択します。
▶フォルダを選択▶●▶動画／ｉモーションを選択▶●

なし：画像または動画／ｉモーションを表示しません。

着信音
登録した相手から電話がかかってきたときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを登録します。

ｉモーション：「ｉモーション」フォルダに保存されている動画／ｉモーションから選択します。
▶フォルダを選択▶●▶動画／ｉモーションを選択▶●

メロディ：「メロディ」フォルダに保存されているメロディから選択します。
▶フォルダを選択▶●▶メロディを選択▶●

音声メモ：「音声メモ」フォルダに保存されている音声メモから選択します。
▶「音声メモ（全て）」／「マイデータ」▶音声メモを選択▶●

バイブレータパターン：バイブレータを5種類のバイブレータパターンから選択します。→P117
▶バイブレータパターンを選択▶ [選択]

サイレント：着信音を鳴らさない／振動させないようにします。

なし：「パターン選択」の設定に従います。

キャラ電
キャラ電を利用してテレビ電話の通話を行うときのキャラ電の種類を登録します。

キャラ電：「キャラ電」フォルダに保存されているキャラ電から選択します。
▶フォルダを選択▶●▶キャラ電を選択▶●

なし：「代替画像」の設定に従ってキャラ電を表示します。

誕生日
▶で「年」「月」「日」欄を選択▶／ダイヤルキーで誕生日を入力

シークレット
シークレットに設定し、「シークレットデータ」を「非表示」に設定すると表示されないようにします。
▶「はい」／「いいえ」

着信拒否
登録した電話番号からの着信を拒否します。
▶「はい」／「いいえ」

メモ
漢字、ひらがな、絵文字、記号、英数字、カタカナで入力します。全角／半角を問わず、128文字まで入力できます。
▶メモを入力

3 [完了]

お知らせ

- 電話番号、メールアドレス、URL、住所の入力欄を追加するには、機能メニューから操作します。→P96
- 名前以外に電話番号、メールアドレス、URL、住所のいずれかの項目が入力されていない場合は、電話帳を登録できません。
- 登録中に電話を着信した場合、次の動作を行うと登録中のデータは保存されません。
  - 電話に出たとき　- 応答保留したとき　- 伝言メモが起動したとき

- 名前やメモなどの入力内容の途中で改行して電話帳を登録すると、赤外線やBluetooth経由で電話帳を送信したときに、改行以降の入力内容が表示されなくなる場合があります。

電話番号

- 電話番号入力画面で[機能]を押して次の操作ができます。
  - 「挿入」▶「指定番号自動追加」/「指定番号手動追加」/「未定番号手動追加」の順に選択すると、入力した電話番号の後ろに「p」/「w」/「n」を入力できます。→P57
  - 「編集機能」を選択すると、文字編集の機能を利用できます。→P298
  - 「参照」▶「着信履歴」/「発信履歴」/「電話帳」の順に選択すると、発着信履歴や電話帳から電話番号を選択して入力できます。
  - 「登録中止」を選択すると、登録を中止します。

テレビ電話対応

- 「はい」に設定すると、電話帳一覧画面や電話帳詳細画面でテレビ電話に対応した電話番号にが付きます。

メールアドレス

- 「@」が入力されていない場合は登録できません。
- メールアドレスにシークレットコード(P179)が登録されている場合は、「電話番号+シークレットコード@docomo.ne.jp」と入力するか、「電話番号@docomo.ne.jp」と入力して「シークレットコード」(P106)を登録してください。

ピクチャーID

- 登録されている画像データのサイズなどにより、表示に時間がかかる場合があります。
- 相手が電話番号を通知してこなかった場合は、電話の着信時に、登録されている画像または動画/iモーションは表示/再生されません。
- 設定できるファイル形式は次のとおりです(設定が制限されているファイルや、映像または音声のみが含まれるファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります)。
  JPEG、GIF(アニメーションGIFを含む)、MP4(Mobile MP4)
- 「着信音」に動画/iモーションが登録されている場合は、「iモーション」は表示されません。
- 画像が登録されている場合は、電話帳一覧画面や電話帳詳細画面、着信中画面に表示されます。動画/iモーションが登録されている場合は、電話の着信時に再生されます。

着信音

- 相手が電話番号を通知してこなかった場合は、登録されている着信音は鳴りません。
- 設定できるファイル形式は次のとおりです(設定が制限されているファイルや、映像または音声のみが含まれるファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります)。
  SMF、MFi、MP4(Mobile MP4)、AMR
- 「ピクチャーID」に動画/iモーションが登録されている場合は、本項目は選択できません。
- 動画/iモーションが登録されている場合は、電話の着信時に映像と音声が再生され、「ピクチャーID」に登録されている画像は表示されません。

シークレット

- 「シークレットデータ」が「非表示」に設定されている場合は、「シークレット」の設定欄は表示されません。

FOMAカード電話帳に登録する

1 電話帳登録画面(P93)▶「保存先」▶「FOMAカード(UIM)」

- 「通常保存先」を「FOMAカード(UIM)」に設定している場合は、「保存先」▶「FOMAカード(UIM)」の順に選択する操作は必要ありません。

電話帳登録画面

次のページへ続く

2 次の操作を行う

名前
漢字、ひらがな、記号、英数字、カタカナ（全角のみ）で入力します。全角で10文字、半角で21文字まで入力できます。
▶名前を入力

フリガナ
必要な場合に入力／修正します。カタカナ（全角のみ）、英数字（半角のみ）、記号（半角のみ）で入力します。全角で12文字、半角で25文字まで入力できます。
▶フリガナを入力

電話番号
FOMAカード（緑色／白色）の場合は26桁、FOMAカード（青色）の場合は20桁まで入力できます。
▶電話番号を入力

メールアドレス
英数字、記号で入力します。半角で50文字まで入力できます。
▶メールアドレスを入力

グループ
▶グループを選択▶ch［選択］

3 i［完了］

お知らせ

- FOMAカードに登録した電話帳には自動的にクイックアクセス番号（P101）が設定されます。
- 名前以外に電話番号、メールアドレスのどちらかの項目が入力されていない場合は、電話帳を登録できません。
- 登録中に電話を着信した場合、次の動作を行うと登録中のデータは保存されません。
  - 電話に出たとき　- 応答保留したとき　- 伝言メモが起動したとき
- 名前やフリガナをカタカナで入力する場合は、全角でのみ入力できます。
- 名前やメモなどの入力内容の途中で改行して電話帳を登録すると、赤外線やBluetooth経由で電話帳を送信したときに改行以降の入力内容が表示されなくなる場合があります。

名前／フリガナ

- 全角文字と半角文字を混在して入力すると、名前は10文字まで、フリガナは12文字までしか登録できない場合があります。

電話番号

- 電話番号入力画面でch［機能］を押して次の操作ができます。
  - 「挿入」▶「指定番号自動追加」／「指定番号手動追加」／「未定番号手動追加」の順に選択すると、入力した電話番号の後ろに「p」／「w」／「n」を入力できます。→P57
  - 「編集機能」を選択すると、文字編集の機能を利用できます。→P298
  - 「参照」▶「着信履歴」／「発信履歴」／「電話帳」の順に選択すると、発着信履歴や電話帳から電話番号を選択して入力できます。
  - 「登録中止」を選択すると、登録を中止します。

メールアドレス

- 「@」が入力されていない場合は登録できません。

電話帳登録画面の機能メニュー

1 電話帳登録画面（P93、P95）▶ch［機能］▶次の操作を行う

電話番号追加登録
電話番号の入力欄を追加します。

メールアドレス追加登録
メールアドレスの入力欄を追加します。

URL追加登録
URLの入力欄を追加します。

住所追加登録
住所の入力欄を追加します。

中止
電話帳の登録を中止します。

お知らせ

- 「保存先」を「FOMAカード（UIM）」に設定している場合は「中止」のみ表示されます。

着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する

履歴やメール、メッセージ、ブックマークの一覧画面や詳細画面など、電話番号、メールアドレス、URLの情報が記録されている画面から電話帳登録ができます。また、電話番号入力画面やサイトなど、入力中／表示中の電話番号なども登録できます。

1 登録する内容が表示されている画面を表示

■ **発信履歴一覧画面（P54）／発信履歴詳細画面（P55）／着信履歴一覧画面（P65）／着信履歴詳細画面（P66）から登録する場合**
[機能]を押し、「登録」を選択します。
- 発信履歴一覧画面／着信履歴一覧画面から登録する場合は、登録する履歴を選択してから操作してください。
- 履歴の電話番号が電話帳に登録済みの場合、「登録」は表示されません。

■ **電話番号入力画面から登録する場合**
[登録]を押します。

■ **データBOXの画像や動画／ｉモーションを登録する場合**
画像や動画／ｉモーションを選択して[機能]を押し、「設定」▶「電話帳」の順に選択します。

■ **メールの送信元や送信先のメールアドレスを登録する場合**
メール一覧画面／メール詳細画面で[機能]を押して「アドレス確認」を選択し、●を押して「電話帳登録」を選択します（メールアドレスが複数ある場合は登録するメールアドレスを選択してから操作します）。

■ **その他の画面から登録する場合**
項目や表示されている電話番号などを選択して[機能]を押し、「電話帳登録」を選択します。

2 次の操作を行う

- 「通常保存先」に設定している電話帳に1件も登録がない場合は、電話帳登録画面が表示されます。操作3へ進みます。

電話帳新規登録
新しく電話帳を登録します。操作3へ進みます。
- 登録内容が入力された電話帳登録画面が表示されます。

電話帳追加登録
登録済みの電話帳に項目を追加します。

▶追加登録する電話帳を選択▶●
- 登録内容が追加された電話帳登録画面が表示されます。
- FOMAカード電話帳に追加登録する場合は、上記操作を行うと上書きする項目が表示され、[選択]を押すと登録内容が上書きされた電話帳登録画面が表示されます。

次のページへ続く

電話番号上書き登録・メールアドレス上書き登録・URL上書き登録・ピクチャ上書き登録

登録済の電話帳の対応する項目に上書きします。

▶上書き登録する電話帳を選択▶◉▶上書きする電話番号／メールアドレス／URLを選択▶ch［選択］

- 「ピクチャ上書き登録」を選択した場合は、上書き登録する電話帳を選択して◉を押し、ch［はい］を押します。
- 対応する項目に、登録内容が上書きされた電話帳登録画面が表示されます。

3 電話帳を登録／修正▶ch［完了］／i［完了］

- 登録の操作については、「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」の操作2（P93）を参照してください。

お知らせ

- 電話帳登録画面に表示される項目は、電話帳に登録する項目（電話番号、メールアドレス、URL、画像、動画／iモーション）により異なります。
- 同じ項目（電話番号、メールアドレス、URL、画像）が登録された電話帳がある場合のみ、登録時に上書き登録を実行できます。例えば、以前にブックマーク一覧画面などからURLを電話帳に登録した場合、次回にメール本文などからURLの登録操作をすると、「URL上書き登録」の項目が表示されます。
- バーコードリーダーの読み取り結果画面からも、情報を電話帳に登録できます。→P154
- 操作2で「電話帳新規登録」以外を選択した場合、電話帳選択画面でch［機能］を押して次の操作ができます（電話帳の設定や登録内容により、表示される項目が異なります）。
  - 「検索」を選択すると、電話帳を検索できます。→P100
  - 「FOMAカード電話帳表示」を選択すると、FOMAカード電話帳に表示を切り替えます。
  - 「本体電話帳表示」を選択すると、FOMA端末（本体）電話帳に表示を切り替えます。
  - 「表示形式」▶「本体とFOMAカード（UIM）」／「本体電話帳」／「FOMAカード（UIM）」の順に選択すると、表示する電話帳の種類（本体／FOMAカード）を選択できます。
  - 「中止」を選択すると、操作を中止します。
- 登録可能文字数を超える内容を登録しようとすると、文字数制限を超えている旨のメッセージが表示され、超えた分の内容が削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。ただし、電話番号入力画面から登録可能桁数を超えている電話番号を登録しようとした場合、メッセージは表示されません。
- 「通常保存先」を「FOMAカード（UIM）」に設定している場合、FOMAカード電話帳に登録できない項目を登録しようとすると、FOMA端末（本体）電話帳に登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合はch［はい］を押します。

グループ編集

グループ名を登録／変更する

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳のグループを登録、修正、管理できます。FOMA端末（本体）電話帳には10件まで、FOMAカード電話帳には11件までグループを登録できます。

- お買い上げ時に登録されている「なし」は修正や削除ができません。
- FOMAカード電話帳の場合は、名前とメンバーの登録／変更のみできます。
- FOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカード電話帳のみを表示している場合は、あらかじめ「表示」で操作するグループの電話帳に表示を切り替えてください。

1 電話帳一覧画面（P102）／電話帳詳細画面（P102）▶ch［機能］▶「電話帳管理」▶「グループ編集」

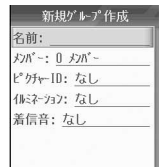
グループ画面
（例：FOMA端末（本体）電話帳）

■「表示」を「本体とFOMAカード（UIM）」にしている場合

ch［機能］を押し、「電話帳管理」▶「本体グループ編集」／「FOMAカード（UIM）グループ編集」の順に選択します。

■グループの登録内容を確認する場合

グループを選択して◉を押します。グループ詳細画面が表示され、設定した画像や着信音、登録されているメンバーを確認できます。

■登録済みのグループを編集／削除する場合

登録済みのグループを選択してch［機能］を押し、「グループ編集」／「グループ削除」を選択します。

- 「グループ編集」を選択した場合は、操作3へ進みます。
- 「グループ削除」を選択した場合は、[ch]［はい］を押すと削除されます。

2 「[新規グループ]」

新規ｸﾞﾙｰﾌﾟ作成
名前：
ﾒﾝﾊﾞｰ：0 ﾒﾝﾊﾞｰ
ﾋﾟｸﾁｬｰID：なし
ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝ：なし
着信音：なし

新規グループ作成画面
（例：FOMA端末（本体）電話帳）

3 次の操作を行う

名前
グループの名前を入力します。全角／半角を問わず、24文字まで入力できます。
▶名前を入力

メンバー
メンバー選択画面から電話帳を選択してメンバーに登録します。
▶登録する電話帳にチェックを付ける▶[i]［完了］

ピクチャーID
グループのメンバーから電話がかかってきたときの着信中画面に表示する画像または動画／ｉモーションを登録します。

マイピクチャ：「マイピクチャ」フォルダに保存されている画像から選択します。
▶フォルダを選択▶●▶画像を選択▶●

ｉモーション：「ｉモーション」フォルダに保存されている動画／ｉモーションから選択します。
▶フォルダを選択▶●▶動画／ｉモーションを選択▶●

なし：画像または動画／ｉモーションを表示しません。

イルミネーション
グループのメンバーから電話がかかってきたときに点滅するイルミネーションランプの色を設定します。
▶イルミネーションを選択▶[ch]［選択］
- 「なし」を選択した場合は、「着信イルミネーション」の設定に従います。

着信音
グループのメンバーから電話がかかってきたときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを登録します。

ｉモーション：「ｉモーション」フォルダに保存されている動画／ｉモーションから選択します。
▶フォルダを選択▶●▶動画／ｉモーションを選択▶●

メロディ：「メロディ」フォルダに保存されているメロディから選択します。
▶フォルダを選択▶●▶メロディを選択▶●

音声メモ：「音声メモ」フォルダに保存されている音声メモから選択します。
▶「音声メモ（全て）」／「マイデータ」▶音声メモを選択▶●

バイブレータパターン：バイブレータを5種類のバイブレータパターンから選択します。→P117
▶バイブレータパターンを選択▶[ch]［選択］

サイレント：着信音を鳴らさない／振動させないようにします。

なし：「パターン選択」の設定に従います。

4 [ch]［完了］

お知らせ

- グループ詳細画面の機能メニューからも「グループ編集」「グループ削除」ができます。

メンバー

- メンバー選択画面で[ch]［機能］を押して次の操作ができます。
  - 「検索」を選択すると、電話帳を検索できます。→P100
  - 「全選択」を選択すると、すべての電話帳を選択でき、「全選択解除」を選択すると、すべての選択を解除できます。

次のページへ続く●●●

- 「選択結果表示」を選択すると、選択した電話帳を一覧で表示して確認できます。
- 「中止」を選択すると、操作を中止します。

ピクチャー ID

- 相手が電話番号を通知してこなかった場合は、電話の着信時に、登録されている画像または動画／ｉモーションは表示／再生されません。
- 設定できるファイル形式は次のとおりです（設定が制限されているファイルや、映像または音声のみが含まれるファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります）。
  JPEG、GIF（アニメーションGIFを含む）、MP4（Mobile MP4）
- 「着信音」に動画／ｉモーションが登録されている場合は、「ｉモーション」は表示されません。
- 画像が登録されている場合は、グループ画面やグループ詳細画面、電話帳一覧画面、電話帳詳細画面、着信中画面に表示されます。動画／ｉモーションが登録されている場合は、電話の着信時に再生されます（「パターン選択」が「バイブレータ」に設定されている場合は再生されません）。

着信音

- 相手が電話番号を通知してこなかった場合は、登録されている着信音は鳴りません。
- 設定できるファイル形式は次のとおりです（設定が制限されているファイルや、映像または音声のみが含まれるファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります）。
  SMF、MFi、MP4（Mobile MP4）、AMR
- 「ピクチャー ID」に動画／ｉモーションが登録されている場合は、本項目は選択できません。
- 動画／ｉモーションが登録されている場合は、電話の着信時に「ピクチャー ID」に登録されている画像は表示されません（「パターン選択」が「バイブレータ」に設定されている場合は再生されず、「ピクチャー ID」で登録されている画像が表示されます）。

検索／表示種別／クイックアクセス番号

電話帳から電話をかける

- シークレットに設定されている電話帳も検索する場合は、あらかじめ「シークレットデータ」を「表示」に設定してください。

電話帳を検索して電話をかける

カタカナや数字、アルファベット、記号を入力して、電話帳を検索できます。

1 電話帳一覧画面（P102）▶ [機能]▶「検索」▶次の操作を行う

カタカナ
電話帳のいずれかの項目に含まれるカタカナを入力して検索します。8文字まで入力できます。
▶カタカナを入力

アルファベット
電話帳のいずれかの項目に含まれているアルファベットを入力して検索します。8文字まで入力できます。
▶アルファベットを入力

数字
電話帳のいずれかの項目に含まれる数字を入力して検索します。8文字まで入力できます。
▶数字を入力

記号
電話帳のいずれかの項目に含まれている記号を入力して検索します。
▶記号を選択▶ ［確定］▶

2 ／

電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。

■ 目的の電話帳が選択されていない場合
電話帳を選択し、／を押します。

■ 電話帳に複数の電話番号が登録されている場合
を押して電話をかける電話番号を表示し、／を押します。

3 (決定キー)

■ テレビ電話をかける場合
（テレビ電話キー）を押します。

お知らせ

- 操作 1 でカタカナ／アルファベット／数字／記号の入力欄が表示されているとき、（機能キー）［機能］を押して「入力モード選択」を選択すると、他の検索方法に切り替えることができます。
- 「ダイヤル発信制限」を「ON」に設定中は、操作2を行うと電話番号入力画面は表示されずに音声電話／テレビ電話を発信します。

電話帳の表示種別を指定して電話をかける

電話帳一覧画面の表示種別を切り替えて電話帳を検索できます。

- グループが登録／変更されている場合や、表示されている電話帳の種類（本体／FOMA カード）により表示名が異なります。

1 電話帳一覧画面(P102)▶（*キー）／（#キー）

電話帳	：すべての電話帳を表示します。
メールアドレス	：メールアドレスが登録されている電話帳のみを表示します。
なし	：グループがFOMA端末（本体）電話帳／FOMAカード電話帳の「なし」に設定されている電話帳のみを表示します。
グループ1	：グループがFOMA端末（本体）電話帳の「グループ1」に設定されている電話帳のみを表示します。
グループ2	：グループがFOMA端末（本体）電話帳の「グループ2」に設定されている電話帳のみを表示します。
グループ3	：グループがFOMA端末（本体）電話帳の「グループ3」に設定されている電話帳のみを表示します。

電話帳一覧画面（例：表示種別がメールアドレス）

2 電話帳を選択▶（決定キー）／（テレビ電話キー）

電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。

■ **電話帳に複数の電話番号が登録されている場合**
（左右キー）を押して電話をかける電話番号を表示し、（決定キー）／（テレビ電話キー）を押します。

3 （決定キー）

■ テレビ電話をかける場合
（テレビ電話キー）を押します。

お知らせ

- 電話帳一覧画面で（機能キー）［機能］を押し、「表示種別」を選択しても同様に表示を切り替えられます。
- 「ダイヤル発信制限」を「ON」に設定中は、操作2を行うと電話番号入力画面は表示されずに音声電話／テレビ電話を発信します。

クイックアクセス番号を利用して電話をかける

待受画面でクイックアクセス番号を入力して、FOMAカード電話帳を検索できます。

- クイックアクセス番号とは、FOMA カード電話帳を登録したときに自動的に設定される番号です。クイックアクセス番号は、FOMAカード電話帳の電話帳詳細画面（P102）で確認できます。

次のページへ続く

1 **クイックアクセス番号を入力▶#**

FOMAカード電話帳の電話帳詳細画面が表示されます。

2

■ **テレビ電話をかける場合**

テレビ電話キーを押します。

電話帳の登録内容を確認する

- 電話帳一覧画面の表示形式は、機能メニューの「設定」から変更できます。→P108

1 電話帳キー

❶ **電話帳の保存先**

FOMA端末アイコン：FOMA端末（本体）電話帳に保存※

FOMAカードアイコン：FOMAカード電話帳に保存

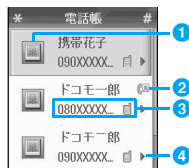
※：電話帳またはグループに画像が登録されている場合は、画像が表示されます。

❷ **電話番号がテレビ電話に対応**

❸ **1つ目の電話番号と種別アイコン**

電話番号が登録されていない場合は、登録されているその他の内容が表示されます。

❹ **複数の項目が登録されている場合に表示**

左右キーを押すと表示する項目を切り替えられます。

画像表示の電話帳一覧画面

1行表示の電話帳一覧画面

2 **電話帳を選択▶●**

- 電話帳またはグループに画像が登録されている場合は、名前の上に画像が表示されます。
- FOMAカード電話帳の電話帳詳細画面の最下行には、登録時に自動的に設定されたクイックアクセス番号（P101）が表示されます。

FOMA端末（本体）電話帳の電話帳詳細画面

FOMAカード電話帳の電話帳詳細画面

■ **電話帳一覧画面での操作**

電話帳を選択して通話キーを押すと、電話の発信、メールの送信、サイトへの接続ができます。操作は電話帳の表示によって次のようになります。

電話番号：電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。

メールアドレス：宛先が入力されたメール作成画面が表示されます。

URL：URLのサイトに接続されます。

- ▶が表示されている電話帳の場合は、左右キーを押して表示を切り替えてから目的の操作を実行してください。

■ **電話帳詳細画面での操作**

電話番号やメールアドレス、URLを選択して●を押すと、次の項目の選択画面が表示され、各種操作ができます。

「発信」：選択中の電話番号に音声電話をかけます。

「テレビ電話発信」：選択中の電話番号／メールアドレスにテレビ電話をかけます。

「新規SMS作成」：選択中の電話番号を宛先にしてSMSを作成・送信します。→P203

「新規メール作成」：選択中の電話番号／メールアドレスを宛先にしてメールを作成・送信します。→P182

「接続」：選択中のURLのサイトに接続します。

「ブックマーク登録」：選択中のURLをブックマークに登録します。

- 電話番号を選択して通話キー／テレビ電話キーを押しても、電話番号が入力された電話番号入力画面を表示できます。
- メールアドレスを選択して通話キーを押しても、メールを作成・送信できます。
- URLを選択して通話キーを押しても、サイトに接続できます。

電話帳一覧画面の機能メニュー

お買い上げ時	表示：本体電話帳　表示種別：全ての本体電話帳

- FOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカード電話帳のみを表示している場合は、あらかじめ「表示」で利用する電話帳に表示を切り替えてください。
- 「表示」の設定により、表示される項目が異なります。

1 電話帳一覧画面(P102)▶ch[機能]▶次の操作を行う

検索
電話帳を検索します。→P100

URL接続
選択中の電話帳に登録されたURLのサイトに接続します。
- 他の項目が登録されている場合は、◎を押して接続するサイトのURLを表示してから操作してください。

新規メール作成
- 複数の項目が登録されている場合は、◎を押して宛先にする電話番号／メールアドレスを表示してから操作してください。

メール：選択中の電話帳の電話番号／メールアドレスを宛先にしてｉモードメールを作成・送信します。→P182
SMS：選択中の電話帳の電話番号を宛先にしてSMSを作成・送信します。→P203

発信者番号通知
発信者番号の通知／非通知を設定して電話をかけます。→P57
- 複数の電話番号が登録されている場合は、◎を押して利用する電話番号を表示してから操作してください。

マルチナンバー
発信番号を選択して電話をかけます。→P286
- 複数の電話番号が登録されている場合は、◎を押して利用する電話番号を表示してから操作してください。

新規登録
「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」の操作2（P93）／「FOMAカード電話帳に登録する」の操作1（P95）へ進みます。

編集
選択中の電話帳を修正します。「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」の操作2（P93）／「FOMAカード電話帳に登録する」の操作1（P95）へ進みます。

スピードダイヤル登録・スピードダイヤル解除
選択中の電話帳の電話番号をスピードダイヤルに登録／解除します。登録には次の操作が必要です。
- 複数の電話番号が登録されている場合は、◎を押して登録／解除する電話番号を表示してから操作してください。

▶ダイヤル番号を選択▶ch［選択］

表示
電話帳一覧画面に表示する電話帳の種類（本体／FOMAカード）を選択します。
本体とFOMAカード（UIM）：すべての電話帳を表示します。
FOMAカード（UIM）：FOMAカード電話帳に登録されている電話帳のみ表示します。
本体電話帳：FOMA端末（本体）電話帳に登録されている電話帳のみ表示します。

表示種別
電話帳一覧画面の表示方法を指定します。
全件表示：すべての電話帳を表示します。
全ての本体電話帳：FOMA端末（本体）電話帳のすべての電話帳を表示します。
全FOMAカード電話帳：FOMAカード電話帳のすべての電話帳を表示します。
メールアドレス：メールアドレスが登録されている電話帳のみ表示します。
グループ：指定したグループに登録されている電話帳のみ表示します。
▶グループを選択▶ch［選択］

次のページへ続く

メール挿入

- 複数の項目が登録されている場合は、◎を押して入力する電話番号／メールアドレスを表示してから操作してください。

メール：選択中の電話帳の名前と電話番号／メールアドレスを本文に入力してｉモードメールを作成･送信します。→P182

SMS：選択中の電話帳の名前と電話番号／メールアドレスを本文に入力してSMSを作成・送信します。→P203

送信

赤外線：選択中の電話帳を赤外線経由で送信します。→P253

Bluetooth：選択中の電話帳をBluetooth経由で送信します。→P273

全件送信

赤外線：FOMA端末（本体）電話帳に登録されているすべての電話帳を赤外線経由で送信します。→P254

Bluetooth：FOMA端末（本体）電話帳に登録されているすべての電話帳をBluetooth経由で送信します。→P273

電話帳削除

選択中の電話帳を削除します。→P107

印刷

選択中の電話帳をBluetooth対応のプリンタで印刷します。→P274

複数選択

複数件の電話帳を選択して各種操作をします。複数選択の操作については「複数の電話帳を選択して削除する」（P107）を参照してください。

新規メール作成：ｉモードメールの宛先をまとめて指定します。選択操作をすると、複数の宛先が入力されたｉモードメール作成画面が表示されます。

削除：電話帳をまとめて削除します。

FOMAカード（UIM）にコピー

：電話帳をまとめてFOMAカード電話帳へコピーします。

本体へコピー：電話帳をまとめてFOMA端末（本体）電話帳へコピーします。

本体からFOMAカードへコピー

：電話帳をまとめてFOMAカード電話帳へコピーします。

FOMAカードから本体へコピー

：電話帳をまとめてFOMA端末（本体）電話帳へコピーします。

印刷：電話帳をまとめてBluetooth対応のプリンタで印刷します。→P274

電話帳管理

スピードダイヤル：スピードダイヤルの確認や登録、解除などの操作をします。→P109

グループ編集：FOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカード電話帳のグループを設定します。→P98

本体グループ編集：FOMA端末（本体）電話帳のグループを設定します。→P98

FOMAカード（UIM）グループ編集

：FOMAカード電話帳のグループを設定します。→P98

メモリ空き容量：FOMA端末（本体）電話帳のメモリの使用状況を確認します。→P108

FOMAカード（UIM）空き容量

：FOMAカード電話帳のメモリの使用状況を確認します。→P108

FOMAカード（UIM）にコピー・本体へコピー

選択中の電話帳を、FOMAカード電話帳／FOMA端末（本体）電話帳にコピーします。

発信前番号編集

選択中の電話帳の電話番号が入力された電話番号入力画面を表示します。→P52

- 複数の電話番号が登録されている場合は、◎を押して利用する電話番号を表示してから操作してください。

設定

電話帳一覧画面の表示形式や、電話帳に登録するときの保存先を設定します。→P108

DTMF送信

選択中の電話帳の電話番号をプッシュ信号（DTMF）で送信します。

お知らせ

編集

- 「ダイヤル発信制限」を「ON」に設定中は、電話帳を修正できません。

表示

- 「FOMAカード（UIM）」を選択した場合は、電話帳一覧画面に が表示されます。

FOMAカード（UIM）にコピー

- 複数の電話番号が登録されている電話帳をFOMAカード電話帳にコピーする場合、一番目に登録されている電話番号がコピーされます。
- 「名前」や「フリガナ」に半角のカタカナが入力されている場合は、全角のカタカナに変換されます。登録できる文字数を超えた場合は、超えた分が削除されて登録されます。

DTMF送信

- 通話中に ［タスクメニュー］を押してタスクメニュー画面を表示し、「電話帳」を選択して表示している場合のみ利用できます。

電話帳詳細画面の機能メニュー

- 表示中の電話帳詳細画面の種類（本体／FOMAカード）により、表示される項目が異なります。

1 電話帳詳細画面(P102)▶ ［機能］▶次の操作を行う

新規メール作成

メール：選択中の電話番号／メールアドレスを宛先にしてｉモードメールを作成・送信します。→P182

SMS　：選択中の電話番号を宛先にしてSMSを作成・送信します。→P203

URL接続

選択中のURLのサイトに接続します。

発信者番号通知

発信者番号の通知／非通知を設定して選択中の電話番号に電話をかけます。→P57

マルチナンバー

発信番号を選択して選択中の電話番号に電話をかけます。→P286

新規登録

「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」の操作2（P93）／「FOMAカード電話帳に登録する」の操作1（P95）へ進みます。

編集

表示中の電話帳を修正します。「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」の操作2（P93）／「FOMAカード電話帳に登録する」の操作1（P95）へ進みます。

スピードダイヤル登録・スピードダイヤル解除

選択中の電話番号をスピードダイヤルに登録／解除します。登録には次の操作が必要です。

▶ダイヤル番号を選択▶ ［選択］

メール挿入

メール：表示中の電話帳の名前と、選択中の電話番号／メールアドレスを本文に入力してｉモードメールを作成・送信します。→P182

SMS　：表示中の電話帳の名前と、選択中の電話番号／メールアドレスを本文に入力してSMSを作成・送信します。→P203

送信

赤外線　：表示中の電話帳を赤外線経由で送信します。→P253

Bluetooth：表示中の電話帳をBluetooth経由で送信します。→P273

電話番号削除・メールアドレス削除・URL削除・住所削除

選択中の電話番号／メールアドレス／URL／住所を削除します。

次のページへ続く

電話帳削除

表示中の電話帳を削除します。→P107

印刷

表示中の電話帳をBluetooth対応のプリンタで印刷します。→P274

電話帳管理

スピードダイヤル：スピードダイヤルの確認や登録、解除などの操作をします。→P109
グループ編集：FOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカード電話帳のグループを設定します。→P98
メモリ空き容量：FOMA端末（本体）電話帳のメモリの使用状況を確認します。→P108
FOMAカード（UIM）空き容量
：FOMAカード電話帳のメモリの使用状況を確認します。→P108

FOMAカード（UIM）にコピー・本体へコピー

表示中の電話帳を、FOMAカード電話帳／FOMA端末（本体）電話帳にコピーします。

発信前番号編集

選択中の電話番号が入力された電話番号入力画面を表示します。→P52

設定

電話帳一覧画面の表示形式や、電話帳に登録するときの保存先を設定します。→P108

シークレットコード

選択中の電話番号／メールアドレスにシークレットコード（P179）を登録します。

▶設定解除コードを入力▶シークレットコードを入力▶ ［保存］

DTMF送信

表示中の電話帳の電話番号をプッシュ信号（DTMF）で送信します。

お知らせ

電話番号削除／メールアドレス削除／URL削除／住所削除

- 複数の登録内容がある場合、1つ目を削除すると2つ目以降の順番が繰り上がって登録されます。

FOMAカード（UIM）にコピー

- 複数の電話番号が登録されている電話帳をFOMAカード電話帳にコピーする場合、一番目に登録されている電話番号がコピーされます。

シークレットコード

- シークレットコードを登録した電話番号／メールアドレスを選択して機能メニューを表示すると、「シークレットコード」の項目名に「✱」が表示されます。
- シークレットコードを解除する場合は、入力したシークレットコードを削除して保存し直します。
- FOMAカード電話帳には登録できません。
- 「電話番号＋シークレットコード @docomo.ne.jp」と登録されているメールアドレスにシークレットコードを登録すると、その相手から送信されてきたメールに返信できなくなります。

DTMF送信

- 通話中に ［タスクメニュー］を押してタスクメニュー画面を表示し、「電話帳」を選択して表示している場合のみ利用できます。

電話帳を削除する

1件削除する

1 電話帳一覧画面(P102)／電話帳詳細画面(P102)▶[機能]▶「電話帳削除」▶[はい]

選択中／表示中の電話帳が削除されます。

- 電話帳一覧画面から操作する場合は、削除する電話帳を選択してから操作してください。

複数の電話帳を選択して削除する

- FOMA端末（本体）電話帳、またはFOMAカード電話帳のどちらか一方を表示中の場合は、表示中の電話帳から削除します。

1 電話帳一覧画面(P102)▶[機能]▶「複数選択」▶「削除」

複数選択画面
（例：電話帳削除）

2 削除する電話帳にチェックを付ける▶[完了]

- 削除するすべての電話帳にチェックを付けてから［完了］を押します。

3 [はい]

選択した電話帳が削除されます。

複数選択画面の機能メニュー

- 「表示」の設定により、表示される項目が異なります。

1 複数選択画面(P107)▶[機能]▶次の操作を行う

検索
電話帳を検索します。→P100

全選択・全選択解除
すべての電話帳を選択／すべての選択を解除します。

選択結果表示
選択した電話帳を一覧で表示して確認します。

FOMAカード電話帳表示・本体電話帳表示・表示形式
FOMA端末（本体）電話帳／FOMAカード電話帳に表示を切り替えます。
- 「表示形式」を選択した場合は、「本体とFOMAカード（UIM）」／「本体電話帳」／「FOMAカード（UIM）」を選択して表示を切り替えます。

中止
操作を中止します。

設定

電話帳の詳細を設定する

お買い上げ時	表示形式：画像表示　通常保存先：本体

電話帳一覧画面の表示形式や、電話帳を登録するときの保存先を設定できます。

- 「表示」を「FOMAカード（UIM）」に設定している場合は、お買い上げ時の表示形式は「2行表示」に設定されています。

1 電話帳一覧画面(P102)／電話帳詳細画面(P102)▶ch[機能]▶「設定」▶次の操作を行う

表示形式

▶「1行表示」／「画像表示」

通常保存先

電話帳登録画面を表示したとき、あらかじめ「保存先」に表示される保存先を設定します。

▶「本体」／「FOMAカード（UIM)」▶ch［はい］

- 「本体」を選択した場合は確認画面は表示されずに設定されます。

お知らせ

表示形式

- 「表示」を「FOMAカード（UIM)」に設定している場合は、「1行表示」／「2行表示」を選択します。

メモリ空き容量／FOMAカード（UIM）空き容量

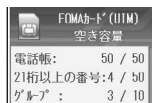
電話帳の登録状況を確認する

FOMA端末とFOMAカードのメモリの空き容量を確認できます。

1 電話帳一覧画面(P102)／電話帳詳細画面(P102)▶ch[機能]▶「電話帳管理」▶「メモリ空き容量」／「FOMAカード(UIM)空き容量」

■ **メモリ空き容量**
FOMA端末（本体）電話帳のメモリの使用状況が、0～6の7段階（1メモリで全メモリの約17%を使用）で表示されます。

■ **FOMAカード（UIM）空き容量**
FOMAカードに保存されている電話帳の空き容量が「登録件数／登録可能件数」で表示されます。

メモリ空き容量画面

FOMAカード（UIM）空き容量画面

電話帳　設定

スピードダイヤルで電話をかける

待受画面でダイヤルキーの1から9のいずれかを押すだけで、ダイヤルキーに割り当てられた電話番号に簡単に音声電話をかけられます。

- あらかじめダイヤルキーに電話番号を割り当てる必要があります。

1 1～9のいずれかのダイヤルキー(1秒以上)

音声電話がかかります。

■ **ダイヤルキーの割り当てを確認するには**

電話帳一覧画面(P102)／電話帳詳細画面(P102)で［機能］を押し、「電話帳管理」▶「スピードダイヤル」の順に選択します。スピードダイヤル画面が表示され、ダイヤルキーに割り当てられた電話番号を確認できます。

スピードダイヤル画面

ダイヤルキーに電話番号を割り当てる

スピードダイヤルで電話をかける電話帳の電話番号を、スピードダイヤルに登録できます。

- スピードダイヤルに登録できるのはFOMA端末(本体)電話帳のみです。
- 電話番号が登録されていない電話帳は、スピードダイヤルに登録できません。

1 電話帳一覧画面(P102)／電話帳詳細画面(P102)▶［機能］▶「スピードダイヤル登録」

スピードダイヤル画面が表示されます。

- 電話帳一覧画面から登録する場合は、電話帳を選択してから操作してください。

■ **電話帳に複数の電話番号が登録されている場合**

電話帳一覧画面の場合はを押して登録する電話番号を表示してから、電話帳詳細画面の場合は登録する電話帳を選択してから操作します。

2 登録するダイヤル番号を選択▶［選択］

■ **登録済みのダイヤル番号を選択した場合**

上書きの確認画面が表示されます。［はい］を押すと上書きします。

■ **スピードダイヤルを解除するには**

電話帳一覧画面(P102)から解除する場合は、スピードダイヤルに登録している電話帳を選択し、［機能］を押して「スピードダイヤル解除」を選択します。登録している電話番号が表示されていない場合は、を押して電話番号を表示してから操作します。

電話帳詳細画面(P102)から解除する場合は、スピードダイヤルに登録している電話番号を選択し、［機能］を押して「スピードダイヤル解除」を選択します。

スピードダイヤル画面の機能メニュー

1 スピードダイヤル画面(P109)▶[ch][機能]▶次の操作を行う

電話帳を指定
未登録のダイヤル番号に電話番号を割り当てます。
▶**電話帳を選択**▶[ch][**選択**]
• 複数の電話番号が登録されている場合は、◎を押して登録する電話番号を表示してから操作してください。

スピードダイヤル変更
割り当てた電話番号を変更します。
▶**電話帳を選択**▶[ch][**選択**]
• 複数の電話番号が登録されている場合は、◎を押して登録する電話番号を表示してから操作してください。

スピードダイヤル解除
ダイヤル番号に割り当てた電話番号を解除します。

全件解除
割り当てたすべての電話番号を解除します。
▶[ch][**はい**]

スピードダイヤルで利用する電話帳を指定する

お買い上げ時	本体メモリ

スピードダイヤルに登録できるのはFOMA端末(本体)電話帳のみです。設定は変更できません。

1 ●▶(設定)▶「一般設定」▶「スピードダイヤル」▶「本体メモリ」

音／画面／照明設定

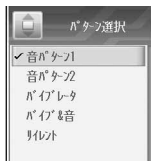
音の設定

画面／照明の設定

着信パターンを選択する

お買い上げ時	音パターン1

着信パターンを変更することで、各種着信音やアラーム音の種類、着信音量やキー操作の確認音量の設定を一括して変更できます。

1 ●▶ (設定)▶「音／バイブ設定」▶「パターン選択」

パターン選択画面

2 「音パターン1」／「音パターン2」／「バイブ&音」／「サイレント」

お知らせ

- 着信パターンにあらかじめ設定されている音の種類や音量は変更できます。→P113
- 各着信パターンが設定されると、画面上部に次のアイコンが表示されます。
  (音パターン1)　(音パターン2)　(バイブ&音)　(サイレント)
- 「バイブ&音」を選択した場合は、最初に振動で着信をお知らせしてから着信音が鳴ります。
- 「サイレント」を選択した場合は、待受画面の日付が表示される位置に、「サイレント」が表示されます。
- 待受画面が表示されている状態でFOMA端末を閉じている場合は、／を押してからを複数回押しても、着信パターンを変更できます。ただし、マナーモードを設定中は操作できません。
- 「バイブレータ」について→P115

■ 各着信パターンの設定内容

各着信パターンのお買い上げ時の設定は次のとおりです。

項　目	着信パターン			
	音パターン1	音パターン2	バイブ&音	サイレント
着信音量	5	2	4	—
電話着信	05.Solar	05.Solar	05.Solar	—
テレビ電話	19.Bells	19.Bells	19.Bells	—
メール着信※1	21.Triads	21.Triads	21.Triads	—
留守番電話着信	08.Fusion	08.Fusion	08.Fusion	—
メッセージR	20.Standard	20.Standard	20.Standard	—
メッセージF	20.Standard	20.Standard	20.Standard	—
スケジュールアラーム	19.Bells	19.Bells	19.Bells	サイレント
データ着信	20.Standard	20.Standard	20.Standard	—
ファイル転送	サイレント	サイレント	サイレント	—
チャットメール	20.Standard	20.Standard	20.Standard	—
指定着信音設定	ON	ON	ON	—
ボタン確認音量	2	2	2	—
リマインダ※2	OFF	OFF	OFF	OFF

※1：iモードメール、SMSを受信したときは、本項目の設定に従って着信動作が行われます。
※2：リマインダとは、伝言メモ通知画面や不在着信通知画面およびスケジュール（ToDo含む）確認画面が表示されたとき、約5分ごとにビープ音の鳴動／バイブレータの振動でお知らせする機能です。

携帯電話から鳴る着信音や音量を変える

お買い上げ時	「各着信パターンの設定内容」（P112）を参照してください。

着信パターンに設定されている各種の音を変更できます。また、電話帳に登録された着信音を鳴らさないように設定できます。

- あらかじめ、変更する着信パターン（「音パターン1」／「音パターン2」／「バイブ&音」／「サイレント」）を「パターン選択」に設定してください。
- 「パターン選択」を「サイレント」に設定中の場合は、「スケジュールアラーム」と「リマインダ」のみ変更できます。

1 ●▶（設定）▶「音／バイブ設定」▶「「（着信パターン名）」詳細設定」

- 「（着信パターン名）」には、「パターン選択」で設定したパターンの名前が表示されます。

「音パターン1」詳細設定
着信音量：5
電話着信：05.Solar
テレビ電話：19.Bells
メール着信：21.Triads
留守番電話着信：08.Fu…
メッセージR：20.Standard
メッセージF：20.Standard

詳細設定画面
（例：音パターン1）

2 次の操作を行う

着信音量
0〜7の8段階で調節できます。
▶◎／ダイヤルキーで音量を調節▶［OK］

電話着信
音声電話がかかってきたときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。

iモーション	：「iモーション」フォルダに保存されている動画／iモーションから選択します。 ▶フォルダを選択▶●▶動画／iモーションを選択▶●
メロディ	：「メロディ」フォルダに保存されているメロディから選択します。 ▶フォルダを選択▶●▶メロディを選択▶●
音声メモ	：「音声メモ」フォルダに保存されている音声メモから選択します。 ▶「音声メモ（全て）」／「マイデータ」▶音声メモを選択▶●
バイブレータパターン	：バイブレータを5種類のバイブレータパターンから選択します。→P117 ▶バイブレータパターンを選択▶［選択］
サイレント	：着信音を鳴らさない／振動させないようにします。

テレビ電話
テレビ電話がかかってきたときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

メール着信
iモードメールやSMSを受信したときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

留守番電話着信
留守番電話サービスの伝言メッセージが録音されたときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

メッセージR
メッセージRを受信したときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

メッセージF
メッセージFを受信したときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

次のページへ続く

スケジュールアラーム
スケジュール／ToDoのリマインダの設定時刻に鳴るアラーム音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

データ着信
データ着信したときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

ファイル転送
Bluetooth通信でファイルを受信したときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

チャットメール
チャットメールを受信したときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

指定着信音設定
電話帳に登録した相手から電話がかかってきたとき、電話帳に登録した着信音を鳴らすかどうかを設定します。

➧「ON」／「OFF」

ボタン確認音量
キーを押したときの確認音の音量を調節します。0～7の8段階で調節できます。

➧ⓞ／ダイヤルキーで音量を調節➧［OK］

リマインダ
伝言メモ通知画面や不在着信通知画面およびスケジュール（ToDo含む）確認画面が表示されたとき、約5分ごとにビープ音を鳴らして／振動させて知らせるように設定します。

ビープ音　：ビープ音を鳴らします。
バイブレータ：振動させます。
OFF　　　：何も動作させません。

お知らせ

- 設定されている着信音はファイル名で表示されます。
- 映像と音を含んだ動画／iモーションを着信音（着モーション）に設定した場合、着信時には「ピクチャーID」（P94）よりも優先して着モーションが再生されます。ただし、音声のみの動画／iモーションを設定した場合は、「ピクチャーID」で設定した画像が表示されます。
- 着信音／アラーム音に設定できるファイル形式は次のとおりです（設定が制限されているファイルや、映像または音声のみが含まれるファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります）。
  SMF、MFi、MP4（Mobile MP4）、AMR
- 複数の着信音が設定されている場合、次の優先順位（高→低）で設定した着信音が鳴ります。
  マルチナンバーの着信音→電話帳の着信音→電話帳のグループ着信音→通常の着信音
- 「留守番電話着信」「データ着信」「ファイル転送」「チャットメール」には、動画／iモーションを設定できません。
- 各着信音の音量は、個別に設定できません。

スケジュールアラーム

- スケジュール／ToDoの登録時に「アラーム」を「なし」以外に設定した場合は、スケジュール／ToDoの「アラーム」の設定に従ってアラーム音が鳴ります。
- 着信音が鳴る／バイブレータが振動する設定にしていても、ファイルを送信するBluetooth機器によっては、着信音／バイブレータが動作しない場合があります。

リマインダ

- 「パターン選択」を「サイレント」に設定中の場合は、「ビープ音」に設定できません。
- 伝言メモが録音された場合は、録音された伝言メモが確認されるまでリマインダが動作します。

■着信音／メロディ／アラーム音一覧（お買い上げ時）

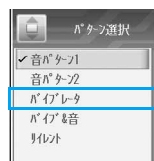
01.Ambient	12.Urban	23.Funky Break
02.Nocturne	13.Bossa	24.Wa
03.Flowers	14.Interlude	25.Space pingpong
04.Soaring High	15.Hellomoto	26.Moving up
05.Solar	16.Midnight	27.Katana
06.Beats	17.Ringer	28.Hello
07.Vapor	18.Alert	29.Cyberspace
08.Fusion	19.Bells	30.Watermark
09.Ultra Violet	20.Standard	31.Got a mail
10.Grooving	21.Triads	32.Morning wave
11.Digital	22.Provincial	33.Big Mama

バイブレータ

着信やアラームを振動で知らせる

お買い上げ時	パターン選択：音パターン1

電話の着信時やメールの受信時、スケジュールアラームの起動時などに、着信音やアラームの代わりに振動で知らせるように設定できます。

1 ●▶ (設定)▶「音／バイブ設定」▶「パターン選択」

パターン選択画面

2 「バイブレータ」

お知らせ

- 着信パターンにあらかじめ設定されている振動のパターンは変更できます。→P115
- バイブレータが設定されると、画面上部に が表示されます。

振動のパターンを設定する

お買い上げ時	電話着信：バイブレータ5　テレビ電話：バイブレータ3　メール着信：バイブレータ4 留守番電話着信：バイブレータ4　メッセージR：バイブレータ4　メッセージF：バイブレータ4 スケジュールアラーム：バイブレータ2　データ着信：バイブレータ1 ファイル転送：バイブレータ3　チャットメール：バイブレータ4　リマインダ：OFF

電話の着信時やメールの受信時、スケジュールアラームの起動時など、イベントごとに振動パターンを設定できます。

- あらかじめ「パターン選択」を「バイブレータ」に設定してください。

1 ●▶ (設定)▶「音／バイブ設定」▶「「バイブレータ」詳細設定」

次のページへ続く

電話着信
音声電話がかかってきたときに振動するバイブレータパターンを変更します。

バイブレータパターン：バイブレータを5種類のバイブレータパターンから選択します。→P117
▶バイブレータパターンを選択▶ch［選択］

サイレント：振動させないようにします。

テレビ電話
テレビ電話がかかってきたときに振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

メール着信
ｉモードメールやSMSを受信したときに振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

留守番電話着信
留守番電話サービスの伝言メッセージが録音されたときに振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

メッセージR
メッセージRを受信したときに振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

メッセージF
メッセージFを受信したときに振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

スケジュールアラーム
スケジュール／ToDoのリマインダの設定時刻に振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

データ着信
データ着信したときに振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

ファイル転送
Bluetooth通信でファイルを受信したときに振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

チャットメール
チャットメールを受信したときに振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

リマインダ
伝言メモ通知画面や不在着信通知画面およびスケジュール（ToDo含む）確認画面が表示されたとき、約5分ごとに振動させて知らせるように設定します。

バイブレータ：振動させます。

OFF：何も動作させません。

お知らせ

- 設定されている着信音はファイル名で表示されます。

リマインダ

- 伝言メモが録音されている場合は、録音された伝言メモが確認されるまでリマインダが動作します。

■バイブレータパターン一覧

パターン	動　作
バイブレータ1	「約2秒振動→約0.2秒停止」の繰り返し
バイブレータ2	「約1秒振動→約0.2秒停止→約2秒振動」の繰り返し
バイブレータ3	「約1秒振動→約0.2秒停止」の繰り返し
バイブレータ4	「約1秒振動→約0.2秒停止→約1秒振動→約0.1秒停止」の繰り返し
バイブレータ5	「約1秒振動→約0.2秒停止→約1秒振動→約0.2秒停止→約1秒振動→約0.2秒停止→約1秒振動→約0.1秒停止」の繰り返し

DTMF

プッシュ信号の音を設定する

お買い上げ時	ロング

プッシュ信号（DTMF）の長さを変更できます。鳴らさないようにも設定できます。

1 ●▶（設定）▶「一般設定」▶「DTMF」▶長さを選択▶ch［選択］

- 「OFF」を選択した場合は、ダイヤルキーを押してもプッシュ信号（DTMF）は送信されません。

イヤホン切替

イヤホンだけから着信音を鳴らす

お買い上げ時	イヤホン＋スピーカー

FOMA端末にminiUSBステレオヘッドセット M01（別売）を接続中に電話がかかってきたとき、着信音をヘッドセットのイヤホンとFOMA端末のスピーカーのどちらから鳴らすかを設定できます。両方から着信音を鳴らすようにも設定できます。

1 ●▶（設定）▶「イヤホン」▶「イヤホン切替」▶次の操作を行う

スピーカーのみ
着信音をスピーカーからのみ鳴らします。

イヤホンのみ
着信音をイヤホンからのみ鳴らします。

イヤホン＋スピーカー
着信音をスピーカーとイヤホンの両方から鳴らします。

お知らせ

- miniUSBステレオヘッドセット M01のコードをFOMA端末に巻きつけて使用しないでください。感度が落ちて通話がとぎれたり、雑音が入ったりすることがあります。

マナーモード

電話から鳴る音を消す

FOMA端末から聞こえる音を鳴らさないようにして、周囲の迷惑にならないようにします。

1 #（1秒以上）

次のページへ続く

■ マナーモードを解除するには
待受画面を表示中に[#]（1秒以上）を押します。

お知らせ

- マナーモードには、「サイレント」「マナーモード」「オリジナルマナーモード」の3種類のモードがあります。→P118
- マナーモードが設定されると、画面上部にが表示されます。
- マナーモードを設定中にメロディや動画／ｉモーションなどを再生しようとすると、再生の確認画面が表示されます。
- マナーモードを設定中でも、カメラのシャッター音は鳴ります。

モード

マナーモードを変更する

お買い上げ時	マナーモード

マナーモードの動作を「サイレント」「マナーモード」「オリジナルマナーモード」から選択します。

- オリジナルマナーモードの動作は変更できます。→P119

1 ●▶(設定)▶「個人設定」▶「マナーモード」▶「モード」▶モードを選択▶[ch][選択]

■ 各モードを設定中の動作

	サイレント	マナーモード	オリジナルマナーモード※
着信音量	0	0	「着信音量」に従う
電話着信	サイレント	バイブレータ5	「電話着信」に従う
テレビ電話	サイレント	バイブレータ3	「テレビ電話」に従う
メール着信	サイレント	バイブレータ4	「メール着信」に従う
留守番電話着信	サイレント	バイブレータ4	「留守番電話着信」に従う
メッセージR	サイレント	バイブレータ4	「メッセージR」に従う
メッセージF	サイレント	バイブレータ4	「メッセージF」に従う
スケジュールアラーム	サイレント	バイブレータ2	「スケジュールアラーム」に従う
データ着信	サイレント	バイブレータ1	「データ着信」に従う
ファイル転送	サイレント	バイブレータ3	「ファイル転送」に従う
チャットメール	サイレント	バイブレータ4	「チャットメール」に従う
指定着信音設定	OFF	OFF	「指定着信音設定」に従う
ボタン確認音量	0	0	「ボタン確認音量」に従う
リマインダ	OFF	OFF	「リマインダ」に従う
低電圧アラーム	–	–	「低電圧アラーム」の設定に従う
マイク感度UP	–	–	「マイク感度ＵＰ」の設定に従う

※：「オリジナルマナーモード詳細」の設定項目を示しています。

オリジナルマナーモードの動作を設定する

お買い上げ時	着信音量：0　電話着信：05.Solar　テレビ電話：19.Bells　メール着信：21.Triads 留守番電話着信：08.Fusion　メッセージR：20.Standard　メッセージF：20.Standard スケジュールアラーム：19.Bells　データ着信：20.Standard　ファイル転送：サイレント チャットメール：20.Standard　指定着信音設定：OFF　ボタン確認音量：0 リマインダ：OFF　低電圧アラーム：OFF　マイク感度UP：ON

オリジナルマナーモードの動作を変更できます。

- あらかじめ「モード」を「オリジナルマナーモード」に設定してください。

1 ●▶（設定）▶「個人設定」▶「マナーモード」▶「オリジナルマナーモード詳細」

オリジ゛ナルマナーモード詳細
着信音量：0
電話着信：05.Solar
テレビ電話：19.Bells
メール着信：21.Triads
留守番電話着信：08.Fu…
メッセージR：20.Standard
メッセージF：20.Standard

オリジナルマナーモード詳細画面

2 次の操作を行う

着信音量
0〜7の8段階で調節できます。
▶/ダイヤルキーで音量を調節▶［OK］

電話着信
音声電話がかかってきたときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。

iモーション	：「iモーション」フォルダに保存されている動画／iモーションから選択します。 ▶フォルダを選択▶●▶動画／iモーションを選択▶●
メロディ	：「メロディ」フォルダに保存されているメロディから選択します。 ▶フォルダを選択▶●▶メロディを選択▶●
音声メモ	：「音声メモ」フォルダに保存されている音声メモから選択します。 ▶「音声メモ（全て）」／「マイデータ」▶音声メモを選択▶●
バイブレータパターン	：バイブレータを5種類のバイブレータパターンから選択します。→P117 ▶バイブレータパターンを選択▶［選択］
サイレント	：着信音を鳴らさない／振動させないようにします。

テレビ電話
テレビ電話がかかってきたときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

メール着信
iモードメールやSMSを受信したときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

留守番電話着信
留守番電話サービスの伝言メッセージが録音されたときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

メッセージR
メッセージRを受信したときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

メッセージF
メッセージFを受信したときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

次のページへ続く

スケジュールアラーム
スケジュール／ToDoのリマインダの設定時刻に鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

データ着信
データ着信したときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

ファイル転送
Bluetooth通信でファイルを受信したときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

チャットメール
チャットメールを受信したときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを変更します。操作方法は「電話着信」を参照してください。

指定着信音設定
電話帳に登録した着信音を鳴らすかどうかを設定します。

➧「ON」／「OFF」

ボタン確認音量
キーを押したときの確認音の音量を調節します。0～7の8段階で調節できます。

➧／ダイヤルキーで音量を調節➧ [OK]

リマインダ
伝言メモ通知画面や不在着信通知画面およびスケジュール（ToDo含む）確認画面が表示されたとき、約5分ごとにビープ音を鳴らして／振動させて知らせるように設定します。

ビープ音　：ビープ音を鳴らします。

バイブレータ：振動させます。

OFF　：何も動作させません。

低電圧アラーム
電池残量が少なくなったときに低電圧アラームを鳴らすかどうかを設定します。

➧「ON」／「OFF」

マイク感度UP
小さな声でも相手に聞こえるようにマイクの感度を上げるかどうかを設定します。

➧「ON」／「OFF」

お知らせ

- 設定されている着信音はファイル名で表示されます。
- 着信音／アラーム音に設定できるファイル形式は次のとおりです（設定が制限されているファイルや、映像または音声のみが含まれるファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります）。
  SMF、MFi、MP4（Mobile MP4）、AMR
- 「留守番電話着信」「データ着信」「ファイル転送」「チャットメール」には、動画／ｉモーションを設定できません。
- 「着信音量」を0以外に設定した場合は、バイブレータが振動して各着信音が鳴動します。

リマインダ

- 伝言メモが録音されている場合は、録音された伝言メモが確認されるまでリマインダが動作します。

待受画面の表示を変える

お買い上げ時	ピクチャ：66.Liquid　レイアウト：画面全体に表示　スケジュール：OFF

1 ●▶ (設定)▶「個人設定」▶「待受画面」▶次の操作を行う

ピクチャ
待受画面に表示する画像を変更します。

マイピクチャ：「マイピクチャ」フォルダに保存されている画像から選択します。
▶フォルダを選択▶●▶画像を選択▶●

なし：画像を表示しないようにします。

レイアウト
「ピクチャ」で設定した画像の表示位置を設定します。

中央：画像を画面の中央に表示します。

並べて表示：画像を画面全体に並べて表示します。

画面全体に表示：画面のサイズに合わせて拡大／縮小して表示します。

スケジュール
待受画面にカレンダーを表示するかどうかを設定します。
▶「OFF」／「ON」

お知らせ

- ディスプレイの表示が消えているときや、スクリーンセーバーが表示されているときにキー操作を行った場合は、数字などの入力内容は画面に入力されません。

ピクチャ

- 設定されている画像はファイル名で表示されます。
- お買い上げ時に登録されている待受画面については、「お買い上げ時に登録されているデータ」を参照してください。→P326
- ｉアプリ待受画面を設定した場合は、ｉアプリ待受画面が優先して表示されます。→P215
- 設定できる画像のファイル形式は次のとおりです（設定が制限されているファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります）。
JPEG、GIF（アニメーションGIFを含む）
- 待受画面の表示サイズ（240×320ドット）よりも大きい／小さい画像は、拡大／縮小表示されます。
- アニメーションGIFを設定した場合、アニメーションは再生されません。

レイアウト

- 表示サイズ以上のサイズの画像を設定した場合は、「並べて表示」に設定しても画像は並べて表示されません。

スケジュール

- 待受画面のカレンダーは、前月や翌月への表示切り替えができません。また、休日は表示されません。

メインメニュー

メインメニューのデザインを変更する

お買い上げ時	表示：アイコン　並べ替え：（リスト表示の上から）ｉモード、ｉアプリ、メール、電話帳、データBOX、アクセサリ、接続設定、ネットワークサービス、設定

メインメニューの表示をアイコン表示／リスト表示に変更できます。また、表示順の変更もできます。

1 ●▶ (設定)▶「個人設定」▶「メインメニュー」▶次の操作を行う

表示

▶「アイコン」／「リスト」

アイコン表示

リスト表示

並べ替え

▶移動する機能を選択▶ ［移動］▶ で挿入する位置まで機能を移動▶ ［挿入］▶ ［完了］

ビジュアルテーマ設定

ビジュアルテーマを設定する

お買い上げ時	Scorpio

FOMA端末の画面表示のデザインを変更できます。

- デザインが変更される画面・機能は次のとおりです。
  - 待受画面
  - メインメニュー
  - 機能メニュー
  - 各種通知画面
  - 各種メッセージ画面
  - 充電中／充電完了画面
  - 電話の発着信中画面
  - 音声通話中／テレビ電話中画面
  - 「ｉモード」「メール」以外のメインメニュー項目から表示できる各種画面※

  ※：設定画面、ファイル表示／再生画面、音声メモ録音画面、静止画／動画撮影画面

1 ●▶ (設定)▶「個人設定」▶「ビジュアルテーマ設定」▶ビジュアルテーマを選択▶ ［選択］

Scorpio

Alkali

Techno

お知らせ

- ｉモード、メール、ｉチャネル機能や、ｉアプリ起動中の画面の場合は、画面の上部と下部のみが設定したデザインで表示されます。
- 本機能の設定を変更すると、次の設定は自動的に変更されます。
  - 「待受画面」の「ピクチャ」は、各テーマの画像（P327）に変更されます。
  - 「待受画面」の「レイアウト」は、「画面全体に表示」に変更されます。

- ビジュアルテーマの変更後に待受画面の画像を変更し、各テーマの画像に戻す場合は、本機能を設定し直してください。

ウェイクアップメッセージ

ウェイクアップメッセージを表示する

FOMA端末の電源を入れたとき、ウェイクアップ画面が表示された後にウェイクアップメッセージを表示できます。

1 ●▶(設定)▶「個人設定」▶「ウェイクアップメッセージ」▶メッセージを入力

- 全角／半角を問わず、32文字まで入力できます。

お知らせ

- ウェイクアップメッセージは、ウェイクアップ画面の表示後に約2秒間表示されます。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーを表示する

お買い上げ時	ピクチャ：なし　待ち時間設定：1分

何も操作しないで一定時間が経過すると、スクリーンセーバーを表示するように設定できます。

1 ●▶(設定)▶「個人設定」▶「スクリーンセーバー」▶次の操作を行う

ピクチャ

スクリーンセーバーの画像などを登録できます。

マイピクチャ　：「マイピクチャ」フォルダに保存されている画像から選択します。
▶フォルダを選択▶●▶画像を選択▶●

ｉモーション　：「ｉモーション」フォルダに保存されている動画／ｉモーションから選択します。
▶フォルダを選択▶●▶動画／ｉモーションを選択▶●

アニメーション：「アニメーション」フォルダに保存されているFlash画像から選択します。
▶フォルダを選択▶●▶Flash画像を選択▶●

なし　：スクリーンセーバーを表示しないようにします。

待ち時間設定

スクリーンセーバーが起動するまでの時間を設定します。

▶時間を選択▶[選択]

- 「OFF」を選択した場合は、スクリーンセーバーを表示しません。

お知らせ

- 動画／ｉモーション、Flash画像が設定されている場合、スクリーンセーバーが起動すると1分間だけ動画が再生されます。
- 次の場合、本機能は動作しません。
  - FOMA端末を閉じている
  - ｉモーション／キャラ電再生中
  - ｉアプリ起動中
  - 通話中
  - カメラ起動中
  - アラーム起動中

ピクチャ

- 設定されている画像や動画／ｉモーション、アニメーションはファイル名で表示されます。
- 設定できるファイル形式は次のとおりです（設定が制限されているファイルや、映像または音声のみが含まれるファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります）。
JPEG、GIF（アニメーションGIFを含む）、MP4（Mobile MP4）、Flash

次のページへ続く

- 設定したファイルに音声が含まれている場合は、スクリーンセーバーが起動すると音声も再生されます。ただし、マナーモードや公共モード（ドライブモード）が設定されている場合は、音声が再生されません。

待ち時間設定

- 「ディスプレイ節電設定」で設定されている時間以上の時間に設定した場合は、スクリーンセーバーは起動しません。ただし、充電中の場合は、スクリーンセーバーは起動します。

着信イルミネーション

着信イルミネーションを設定する

お買い上げ時	ノクターン

電話の着信時に、イルミネーションランプを点滅させるように設定できます。

1 **◉▶(設定)▶「音／バイブ設定」▶「着信イルミネーション」▶点滅色を選択▶ch[選択]**

- 点滅色を選択中は、選択した色でイルミネーションランプが点滅します。
- 「なし」に設定した場合は、着信イルミネーションは点滅しません。

イベントイルミネーション

イベントイルミネーションを設定する

お買い上げ時	OFF

メールの受信やアラームの鳴動などのイベントが発生したときに、イルミネーションランプを点滅させるように設定できます。

1 **◉▶(設定)▶「音／バイブ設定」▶「イベントイルミネーション」▶「ON」／「OFF」**

お知らせ

- 次のイベントが発生したときにイルミネーションランプが点滅します。
  - 留守番電話サービスの伝言メッセージや伝言メモが録音されたとき
  - メールやメッセージR/Fを受信したとき
  - アラームの設定時刻になったとき
  - スケジュール／ToDoのリマインダの設定日時になったとき
  - Bluetooth対応機器を接続／切断したとき
  - 赤外線通信でデータを送受信しているとき
- イルミネーションランプは、Bluetoothの利用時は青色、赤外線通信の利用時は赤色、それ以外の場合は水色で点滅します。

時計設定

通話中の画面に日付と時刻を表示する

お買い上げ時	日付表示：ON　時刻表示：ON

音声通話中画面に、日付と時刻を表示させるかどうかを設定できます。

1 **◉▶(設定)▶「通話設定」▶「時計設定」▶「日付表示」／「時刻表示」▶「ON」／「OFF」**

画面表示設定

時計の表示を設定する

お買い上げ時	時計：デジタル　日付：ON　レイアウト：中央

待受画面に表示する時計のデザインを変更したり、日付を表示するかどうかを設定したりできます。また、日付の表示位置を設定できます。

1 ●▶ (設定)▶「個人設定」▶「画面表示設定」▶次の操作を行う

時計

デジタル：時計をデジタル表示にします。

アナログ：時計をアナログ表示にします。

OFF　：時計を表示しません。

日付

日付を表示するかしないかを設定します。

▶「OFF」／「ON」

レイアウト

日付の表示位置を設定します。

▶「左詰め」／「中央」

お知らせ

時計

- ｉチャネルの「テロップ表示」が「OFF」に設定されている場合に本項目が表示されます。
- 「待受画面」の「スケジュール」が「ON」に設定されている場合は、設定を変更できません。また、「アナログ」に設定されているときに「待受画面」の「スケジュール」を「ON」に設定すると、待受画面の時計表示は自動的にデジタルになります。

ディスプレイ節電設定

ディスプレイを消灯する時間を設定する

お買い上げ時	2分

設定した時間内に何も操作しないと、節電のためにディスプレイの表示を消すように設定できます。

1 ●▶ (設定)▶「一般設定」▶「ディスプレイ節電設定」▶ディスプレイの表示が消えるまでの時間を選択▶ ch [選択]

- 「OFF」を選択した場合は、ディスプレイの表示は消えません。

お知らせ

- 充電中は、設定した時間が経過しても本機能は動作しません。

バックライト点灯設定

バックライトの点灯時間を設定する

お買い上げ時	10秒

設定した時間内に何も操作をしないと、節電のためにキーパッドのライト（各キーの境界部分）とディスプレイのバックライトを消すように設定できます。

- 設定した時間が経過すると最初にキーパッドのライトが消灯し、約10秒後にバックライトが消灯します。

1 ●▶（設定）▶「一般設定」▶「バックライト点灯設定」▶消灯するまでの時間を選択▶ [選択]

- 「OFF」を選択した場合は、キーパッドのライトとバックライトは消えたままになります。
- 「常時」を選択した場合は、キーパッドのライトとバックライトは点灯したままになります。

お知らせ

- 「常時」に設定されている場合でも、「ディスプレイ節電設定」で設定されている時間を経過すると、ディスプレイの表示が消えます。

スクロール

画面のスクロール方法を設定する

お買い上げ時	ループ

機能メニューなどの項目が縦に並んだ画面でのカーソルの動きを設定できます。

1 ●▶（設定）▶「一般設定」▶「スクロール」▶次の操作を行う

上下のみ
カーソルが一番上の項目にあるときに、または一番下の項目にあるときにを押すと、カーソルを移動できないようにします。

ループ
カーソルが一番上／一番下の項目にあるときにを押すと、カーソルを一番下／一番上へ移動できるようにします。

文字スクロール

文字のスクロール速度を設定する

お買い上げ時	低速

FOMA端末では、機能メニューなどで名称の一部が隠れている項目にカーソルを移動すると、名称をスクロール表示します。その速度を設定できます。

1 ●▶（設定）▶「一般設定」▶「文字スクロール」▶スクロール速度を選択▶ [選択]

- 項目を選択すると、選択中の速度で文字がスクロール表示されます。
- 「OFF」を選択した場合は、項目にカーソルを移動してもスクロール表示しません。

バイリンガル

画面を英語表示に切り替える

お買い上げ時	日本語

FOMA端末に表示される機能名やメッセージ（FOMA端末独自のもの）などを、日本語／英語の表示に変更できます。

1 ◉▶ (設定)▶「一般設定」▶「バイリンガル」▶次の操作を行う

自動
FOMAカードに記録された設定に従います。

日本語
日本語表示に変更します。

English
英語表示に変更します。

お知らせ

- 本FOMA端末では、本機能の設定はFOMAカードに記録されません。

自動

- 設定が記録されているFOMAカードを取り付けた場合に動作します。

■ 英語表示から日本語表示に切り替えるには
◉▶ (Settings) ▶「General Settings」▶「Language」▶「日本語」の順に選択します。

明るさ

ディスプレイの明るさを調節する

お買い上げ時	3

ディスプレイの明るさを、0〜6の7段階で調節できます。

1 ◉▶ (設定)▶「一般設定」▶「明るさ」▶ ／ダイヤルキーで明るさを調節▶ [OK]

充電ランプ

充電時に充電ランプを点灯する

お買い上げ時	ON

FOMA端末を充電中に充電ランプを点灯させるかどうかを設定できます。

1 ◉▶ (設定)▶「一般設定」▶「充電ランプ」▶「ON」／「OFF」

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか､ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気を付けください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号とは６桁の暗証番号です。端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000００」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P131

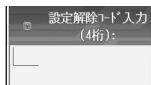
端末暗証番号入力画面が表示された場合は、６桁の端末暗証番号を入力し、ch ［OK］を押します。

- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「✱」で表示され、数字は表示されません。

設定解除コード

設定解除コードとは4桁の暗証番号です。設定解除コードは、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P131

設定解除コード入力画面が表示された場合は、４桁の設定解除コードを入力し、ch ［OK］を押します。

- 設定解除コード入力時はディスプレイに「✱」で表示され、数字は表示されません。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更できます。

- 「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります。
（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）
ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を

変更できます。ｉモードから変更される場合は、「ｉMenu」→「料金＆お申込・設定」→「オプション設定」→「ｉモードパスワード変更」から変更できます。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P132

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

PIN2コードは、発信通話料金／着信通話料金／全通話料金のリセット、積算通話料金のリセット、通話料金上限の設定、通貨設定、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

PIN1コード／PIN2コード入力画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、［OK］を押します。

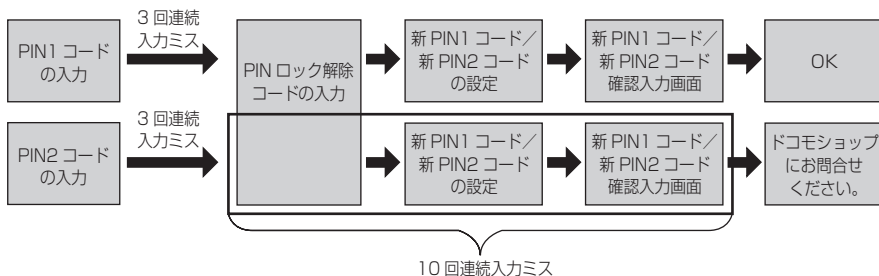
- PIN1コード／PIN2コード入力時はディスプレイに「＊」で表示され、数字は表示されません。
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PIN1コード入力画面

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。→P132

なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続で失敗すると、完全にロックされます。

お知らせ

- PIN1コードがロックされている状態でFOMA端末の電源を入れると、「FOMAカード認識不可　カードが認識できませんでした」というメッセージが表示されます。

暗証番号変更

暗証番号を変更する

お買い上げ時	設定解除コード（4桁）：0000　端末暗証番号（6桁）：000000

設定解除コードや端末暗証番号を変更できます。

1 ●▶（設定）▶「セキュリティ」▶端末暗証番号を入力▶「暗証番号変更」

次のページへ続く●●●

2 「設定解除コード(4桁)」/「端末暗証番号(6桁)」▶現在の設定解除コード/端末暗証番号を入力

新規設定解除コード入力画面/新規端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 新しい設定解除コード(4桁)/端末暗証番号(6桁)を入力

新規設定解除コード再入力画面/新規端末暗証番号再入力画面が表示されます。

4 操作3で入力した設定解除コード/端末暗証番号を再入力

PIN1コード/PIN2コード

PINコードを設定する

お買い上げ時	PIN1コード:ー　PIN2コード:ON

PIN1コード/PIN2コードを利用するように設定します。

PIN2コードの設定は変更できません。

- PIN1コードのお買い上げ時の設定は、FOMAカードに保存された情報により異なります。

1 ●▶(設定)▶「セキュリティ」▶端末暗証番号を入力▶「PIN1コード」/「PIN2コード」▶「ON」/「OFF」▶PIN1コード/PIN2コードを入力

PIN1コード/PIN2コードを変更する

ご契約時	PIN1コード:0000　PIN2コード:0000

- PIN1コードを変更する場合は、あらかじめ「PIN1コード」を「ON」に設定してください。

1 ●▶(設定)▶「セキュリティ」▶端末暗証番号を入力▶「暗証番号変更」

2 「PIN1コード」/「PIN2コード」▶現在のPIN1コード/PIN2コードを入力

新規PIN1コード/PIN2コード入力画面が表示されます。

3 新しいPIN1コード/PIN2コード(4~8桁)を入力

新規PIN1コード/PIN2コード再入力画面が表示されます。

4 操作3で入力したPIN1コード/PIN2コードを再入力

PINロックを解除する

PIN1コード/PIN2コードの入力を3回連続で間違えてPINロック画面が表示された場合は、PINロック解除コードを入力してロックを解除します。

- PINロック解除コードは、FOMA契約申込書(お客様控え)に記載されています。
- PINコードのロックを解除した場合は、新しいPIN1コード/PIN2コードを設定する必要があります。

1 **PINロック画面▶ [ch] [ロック解除]▶PINロック解除コード(8桁)を入力**

新PIN1コード/PIN2コード入力画面が表示されます。

2 **新しいPIN1コード/PIN2コード(4〜8桁)を入力**

確認用の再入力画面が表示されます。

3 **操作2で入力したPIN1コード/PIN2コードを再入力**

各種ロック機能について

ロック機能	説　明	参照先
オールロック	他の人にFOMA端末を操作されないように、FOMA端末をロックします。電源を入れたときにFOMA端末をロックするように設定することもできます。	P133
セルフモード	電話やメール、iモードなど、すべての通信機能を利用できないようにします。電源を入れたときにセルフモードを設定する確認画面を表示させるように設定することもできます。	P134
機能ロック	他の人に無断で操作されたくない機能を、指定してロックします。	P135
ダイヤル発信制限	他の人が無断で電話をかけたりメールを送信したりしないように、ダイヤルキーでの発信/送信操作を禁止します。	P137
サイドキーロック	FOMA端末を閉じて鞄などに入れているとき、サイドキーが押されても誤操作しないようにロックします。	P137
シークレットデータ	シークレットに設定した電話帳やスケジュール/ToDoを他の人に見られないようにします。	P138
着信拒否	電話帳に登録されている特定の相手の着信を拒否したり、電話番号が通知されていない電話の着信を拒否したりします。	P138
呼出動作開始時間	電話帳に登録されていない相手や、非通知設定の相手から着信があったとき、すぐに着信動作を行わないようにします。	P139
電話帳登録外	電話帳に登録されていない相手の着信を拒否します。	P140

オールロック

他の人が使用できないようにする

FOMA端末をロックし、設定解除コードを入力しないと使用できないようにします。オールロックには、すぐにロックする方法と、電源を入れたときに自動的にロックさせる方法があります。

- オールロックを設定中は、電源ON/OFF、オールロック解除以外の操作はできません。

すぐにオールロックを設定する

1 **●▶ (設定)▶「セキュリティ」▶端末暗証番号を入力▶「オールロック」**

オールロック画面

次のページへ続く

2 「今すぐロック」▶設定解除コードを入力

オールロック中の画面が表示され、オールロックが設定されます。

- オールロックが設定されると、設定解除コードの入力画面が表示されます。

電源を入れたときにオールロックを設定する

お買い上げ時	OFF

1 オールロック画面(P133)▶「電源ONロック」▶「ON」／「OFF」▶設定解除コードを入力

電源ONロックが設定されます。

- 「OFF」を選択した場合は電源ONロックの設定が終了します。

お知らせ

- オールロックを設定中に電話がかかってきた場合は着信中画面が表示されず、「パターン選択」の設定に従って着信音や振動で着信をお知らせします。「着信イルミネーション」が「なし」以外に設定されている場合は、イルミネーションランプが点滅してお知らせします。次の場合は着信音や振動の着信動作が行われません。
  - 「パターン選択」を「サイレント」に設定中
  - 公共モード（ドライブモード）を設定中
  - マナーモードを「サイレント」にして設定中
  - マナーモードを「オリジナルマナー」（各着信音が「サイレント」の場合）にして設定中
- オールロックを設定中にかかってきた電話に出る場合は、設定解除コードを入力してオールロックを解除してから操作します。

■ **オールロックを解除するには**

設定解除コードを入力します。

- 設定解除コードの入力を5回連続で間違えた場合は、FOMA端末の電源が自動的に切れます。電源を入れ直して正しい設定解除コードを入力すると、オールロックが解除されます。

セルフモード

発信や着信ができないようにする

お買い上げ時	セルフモード設定：OFF　起動時確認：OFF

電波の送受信を停止して、電話やメール、iモード、パケット通信、64Kデータ通信、Bluetooth通信、赤外線通信など、すべての通信機能を使用できないようにします。

1 ●▶ (設定)▶「セルフモード」▶次の操作を行う

セルフモード設定

セルフモードを設定／解除します。

▶「OFF」／「ON」

起動時確認

電源を入れたときにセルフモードを設定するかどうかの確認画面を表示します。

▶「OFF」／「ON」

お知らせ

- セルフモードが設定されると、画面上部に self が表示されます。また、待受画面には「セルフモードON」が表示されます。
- 待受画面を表示中にCLR（1秒以上）を押して ch ［はい］を押しても、セルフモードを設定／解除できます。
- 通話中や「赤外線受信」を開始しているときなど、他の機能を使用中は、セルフモードを設定できません。

• セルフモードを「ON」に設定中は、送信されてきたメールやメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。

機能ロック

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

お買い上げ時	OFF

「機能ロック設定」で指定した機能をロックし、設定解除コードを入力しないと利用できないようにしたり、利用を制限したりできます。

1 ●▶(設定)▶「セキュリティ」▶端末暗証番号を入力▶「機能ロック」▶設定解除コードを入力▶「ON」／「OFF」

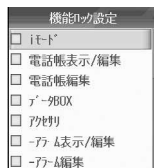
お知らせ

- 機能ロックが設定されると、画面上部にが表示されます。ただし、次の場合はアイコンが表示されません。
  - 「機能ロック設定」で利用できなくなる機能を指定していない
  - アラームやスケジュール／ToDoのリマインダを登録している
  - 「ダイヤル発信制限」を「ON」に設定している
- 「機能ロック設定」で「通話履歴」を選択している場合、本機能を「ON」に設定すると、発着信履歴が削除されます。
- 「機能ロック設定」で「ｉモード」を選択している場合、本機能を「ON」に設定すると、メッセージR/F、ｉモードメール、チャットメール、SMSの自動受信はできますが、受信中画面および受信結果画面は表示されず、着信音の鳴動など受信動作も行いません。

機能ロックで使用できなくなる機能を設定する

お買い上げ時	すべてチェックなし

「機能ロック」を設定したときにロックされる機能を指定できます。

1 ●▶(設定)▶「セキュリティ」▶端末暗証番号を入力▶「機能ロック設定」▶設定解除コードを入力

機能ロック設定画面

2 ロックする機能にチェックを付ける▶[完了]

• ロックするすべての機能にチェックを付けてから［完了］を押します。

お知らせ

- 機能ロック設定画面で機能名の先頭に「－」が表示されている項目は、「アクセサリ」または「設定」の2階層目の機能となっています。例えば「アクセサリ」にチェックを付けると、自動的に関係する機能すべてにチェックが付きます。
- 「電話帳表示／編集」と「電話帳編集」のように機能が同じで、ロック方法が異なる項目の場合は、どちらかの項目のみにチェックを付けられます。
- 機能ロック設定画面で［機能］を押して次の操作ができます。
  - 「全選択」を選択すると、すべての機能を選択できます。
  - 「全選択解除」を選択すると、すべての選択を解除できます。
- アラームやスケジュールをロックする機能に指定して「機能ロック」を「ON」に設定しても、登録内容の設定時刻になると通知画面が表示されてアラームが鳴ります。
- 「個人設定」や「通話設定」をロックする機能に指定して「機能ロック」を「ON」に設定しても、「待受画面」「ビジュアルテーマ設定」「スクリーンセーバー」「代替画像」の設定はお買い上げ時の状態に戻りません。

次のページへ続く

■ 各項目にチェックを付けて「機能ロック」を「ON」に設定したときの動作

機能ロック設定	説　明
ｉモード	• ｉモード、メール、ｉチャネル機能を利用できません。 •「ｉアプリ」を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。
電話帳表示／編集	• 電話帳を表示するときや、他の機能から電話帳にアクセスするときに設定解除コードの入力が必要です。 • 電話帳に登録している相手から電話の着信があっても名前が表示されず、電話帳に設定した画像や着信音なども表示／再生されません。
電話帳編集	電話帳の登録／修正／設定／削除を行うときや、他の機能から電話帳にアクセスするときに設定解除コードの入力が必要です。
データBOX	• データBOXを表示するときや、他の機能からデータBOXへアクセスするときに設定解除コードの入力が必要です。 • カメラ、ビデオカメラ、音声メモの起動時に設定解除コードの入力が必要です。
アクセサリ	• (アクセサリ)を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。 •「アラーム編集」以外のすべての項目を選択したときの動作になります(各項目を選択したときに設定解除コード入力画面は表示されません)。
- アラーム表示／編集	•「アラーム」を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。 • アラームの通知画面で［ロック解除］を押して設定解除コードを入力しないと、スヌーズを設定できません(「機能ロック」を「ON」に設定した後に登録したアラームの場合は通常の動作になります)。
- アラーム編集	アラームの登録／修正／設定／削除を行うときに設定解除コードの入力が必要です。
- スケジュール	•「スケジュール」を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。 • スケジュール／ToDoの通知画面で［表示］を押して設定解除コードを入力しないと、詳細画面を表示できません(「機能ロック」を「ON」に設定した後に登録したスケジュール／ToDoの場合は通常の動作になります)。
- 伝言メモ	•「伝言メモ」を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。 • 伝言メモが録音されたとき、設定解除コードを入力しないと伝言メモ通知画面が表示されません。
- 電卓	「電卓」を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。
- ワールドクロック	「ワールドクロック」を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。
- 通話履歴	• 通話履歴が自動的に削除されます(「機能ロック」を「ON」に設定した後に発着信した電話は通話履歴に記録されます)。 • 発着信履歴を表示するときや、他の機能から発着信履歴にアクセスするときに設定解除コードの入力が必要です。 •「通話履歴」を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。
設定	(設定)を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。
- 音／バイブ設定	•「音／バイブ設定」を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。 • FOMA端末を閉じた状態では／を押して「パターン選択」を変更できません。
- 個人設定	「個人設定」を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。
- 一般設定	「一般設定」を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。
- 通話設定	「通話設定」を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。
- ネットワーク	「ネットワーク」を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。
- イヤホン	「イヤホン」を選択したときに設定解除コードの入力が必要です。

機能ロック設定		説　明
設定		
	- 情報表示	「情報表示」を選択したときや、他の機能から個人データにアクセスするときに設定解除コードの入力が必要です。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

お買い上げ時	OFF

ダイヤルキーで電話番号を入力して電話をかける操作を禁止し、電話帳からのみ電話をかけられるようにできます。

1 **(●)▶ (設定)▶「セキュリティ」▶端末暗証番号を入力▶「ダイヤル発信制限」▶「ON」／「OFF」**

お知らせ

- ダイヤル発信制限が設定されると、画面上部に が表示されます。ただし、アラームやスケジュール／ToDoのリマインダを登録している場合はアイコンが表示されません。
- 本機能を設定すると、通話履歴が自動的に削除されます。それ以降に発着信した電話は通話履歴に記録され、発信履歴からは電話をかけることができます。
- 本機能を「ON」に設定しているときは
  - 電話帳の登録／修正やメールの宛先を直接入力できません。
  - 緊急通報の場合は、緊急番号（110、118、119）をダイヤルして発信できます。
  - 電話帳の電話番号に「n」が含まれている場合は、電話をかけられません。
  - パソコンなどに接続してデータ通信をしている場合は、電話帳に未登録の電話番号に発信できる場合があります。

サイドキーロック

サイドキーの誤操作を防止する

お買い上げ時	OFF

FOMA端末を閉じているとき、サイドキー（／／／）をロックして使用できないように設定できます。

1 **(●)▶ (設定)▶「セキュリティ」▶端末暗証番号を入力▶「サイドキーロック」▶「ON」／「OFF」**

お知らせ

- FOMA端末を閉じているときに（1秒以上）を押すと、サイドキーを一時的にロック／解除できます。

サイドキーロックのヘルプを確認する

FOMA端末を閉じているときにサイドキーロックを解除する方法を確認できます。

1 **(●)▶ (設定)▶「セキュリティ」▶端末暗証番号を入力▶「サイドキーロックヘルプ」**

操作方法の説明画面が表示されます。

シークレットデータ

シークレット設定されている情報を表示する

お買い上げ時	非表示

シークレットに設定した電話帳やスケジュール／ToDoを表示するかどうかを設定できます。

1 ●▶（設定）▶「セキュリティ」▶端末暗証番号を入力▶「シークレットデータ」▶「非表示」／「表示」▶ [OK]

お知らせ

- シークレットデータを「表示」に設定すると、画面上部にが表示されます。設定中に待受画面でを押して［OK］を押すと、「非表示」に設定することができます。

指定した電話番号からの電話を受けない

電話帳に登録した特定の相手からの電話を拒否するように設定できます。電話帳の登録時／修正時に設定できます。

- 本機能は、相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合のみ有効です。
- 番号通知お願いサービスを同時に設定することをおすすめします。

1 電話帳登録画面(P93)／電話帳編集画面▶「着信拒否」▶「はい」／「いいえ」▶ [完了]

電話帳の登録／修正が完了します。

お知らせ

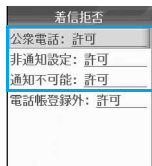
- 拒否設定した相手から電話がかかってきた場合、着信動作は行われずに不在着信履歴が記録されます。相手には「プー…」という話中音が流れます。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。
- 「機能ロック設定」の「電話帳表示／編集」または「電話帳編集」にチェックを付け、「機能ロック」を「ON」に設定している場合でも、拒否設定した相手から電話がかかってきた場合は本機能が動作します。

着信拒否

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時	公衆電話：許可　非通知設定：許可　通知不可能：許可

電話番号が通知されていない電話の着信を、非通知理由ごとに許可／拒否するように設定できます。

1 ●▶（設定）▶「通話設定」▶「着信拒否」▶設定解除コードを入力

着信拒否画面

2 次の操作を行う

公衆電話
公衆電話などから発信された電話について設定します。
▶「許可」／「拒否」

非通知設定
発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信された電話について設定します。
▶「許可」／「拒否」

通知不可能
海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信された電話について設定します（経由する電話会社などによっては、発信者番号が通知されることがあります）。
▶「許可」／「拒否」

お知らせ

- 拒否設定に該当する相手から電話がかかってきた場合、着信動作は行われずに不在着信履歴が記録されます。相手には「プー…」という話中音が流れます。
- 留守番電話サービス／転送でんわサービスを開始に設定中でも着信を拒否します。ただし、呼出時間を0秒に設定している場合は各ネットワークサービスが起動します。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。
- 「電話帳登録外」について→P140

非通知設定

- 番号通知お願いサービスを開始に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、相手には番号通知お願いガイダンスが流れます。

呼出動作開始時間
電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時	呼出動作開始時間：0秒

電話帳に登録されていない相手や、発信者番号が非通知の相手から電話がかかってきたとき、着信音などの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。呼出時間が短い「ワン切り」などの迷惑電話対策として有効です。

1 **(●)▶(設定)▶「通話設定」▶「呼出動作開始時間」▶次の操作を行う**

呼出動作開始時間
着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。
▶(◎)／ダイヤルキーで時間を入力
- 0秒に設定すると、呼出動作開始時間は解除されます。

着信履歴表示
「呼出動作開始時間」で設定した時間内に切れた電話の不在着信履歴を表示するかどうかを設定します。
▶「ON」／「OFF」

お知らせ

- 本機能を設定中に該当する相手から電話がかかってきた場合、設定した時間内は着信音などの呼出動作は行われませんが、着信中画面は表示されます。
- 「電話帳登録外」を「拒否」に設定中は、電話帳に未登録の相手から電話がかかってきた場合でも本機能は動作しません。また、「着信拒否」の「非通知設定」を「拒否」、または番号通知お願いサービスを開始に設定中は、発信者番号が非通知の相手から電話がかかってきた場合でも本機能は動作しません。
- 「シークレットデータ」を「非表示」に設定しているとき、電話帳をシークレットに設定している相手から電話がかかった場合でも本機能が動作します。

次のページへ続く●●●

呼出動作開始時間

- 留守番電話サービス／転送でんわサービスの呼出時間よりも長く設定した場合は、呼出動作を行う前に各ネットワークサービスが起動します。
- 「伝言メモ」の応答時間よりも長く設定した場合は、呼出動作を行わずに伝言メモが起動します。

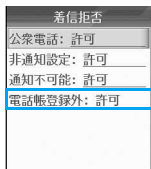
電話帳登録外

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時	許可

電話帳に登録されていない相手からの電話を拒否するように設定できます。

- 本機能は、相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合のみ有効です。
- 番号通知お願いサービスと「着信拒否」を同時に設定することをおすすめします。

1 ●▶ (設定)▶「通話設定」▶「着信拒否」▶設定解除コードを入力

着信拒否画面

2 「電話帳登録外」▶「許可」／「拒否」

お知らせ

- 拒否設定に該当する相手から電話がかかってきた場合、着信動作は行われずに不在着信履歴が記録されます。相手には「プー…」という話中音が流れます。
- 留守番電話サービス／転送でんわサービスを開始に設定中でも着信を拒否します。ただし、呼出時間を0秒に設定している場合は各ネットワークサービスが起動します。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。

その他の「あんしん設定」について

本章で説明した機能のほかに、次のような機能やサービスを利用できます。

目　的	機能名／サービス名	参照先
災害時にｉモードを利用して安否情報を登録／確認する	「ｉモード災害用伝言板」サービス	『ご利用ガイドブック（ｉモード＜FOMA＞編）』をご覧ください。
メールアドレスを変更する	アドレス変更	
メールアドレスを忘れてしまったときなどに確認する	アドレス確認	
指定したドメインからのメールを受信／拒否したい	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	
ｉモードどうしのメールだけを受信／拒否したい		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否したい		
SMSを受信したくない	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
1日に1台のｉモード対応携帯電話から送信される200通目以降のｉモードメールを受信しない	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
一方的に送られてくる広告メールを受信しない	未承諾広告※メール拒否	
メール機能の設定状況を確認する	設定状況確認	
受信するメールのサイズを制限する	メールサイズ制限	
メール機能を一時的に停止する	メール機能停止	
電子認証サービスを利用して、安全で信頼性のあるデータ通信をする（FirstPass対応のサイトに限ります）	FirstPass	P174
メールを選択して受信する	メール選択受信	P188
いたずら電話などの「迷惑電話」の電話番号を登録して着信を拒否する	迷惑電話ストップサービス	P283
発信者番号が非通知の電話を着信しない	番号通知お願いサービス	P283
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新する	ソフトウェア更新	P359
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る	スキャン機能	P363

カメラ

カメラをご利用になる前に

撮影するときのご注意

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線がある場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA 端末を暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては静止画や動画の色合いが異なることがあります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となります。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- 速く動いている被写体を撮影すると、撮影した時に画面に表示されていた位置とは若干ずれた位置で撮影されたり、画像がぶれる場合があります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。電池残量を確認してから撮影してください。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- インカメラを使って撮影／録画を行うと、正像表示（保存）されます。鏡像表示（保存）する場合はカメラの設定を「左右反転：ON」に変更（P152）してください。
- シャッター音はマナーモード設定中でも一定の音量で鳴ります。また、FOMA 端末に miniUSB ステレオヘッドセット M01（別売）を取り付けている場合でも、スピーカーからシャッター音が鳴ります。
- アウトカメラで撮影しているときはフォトライトが点滅します。点滅は消せません。

■ お願い

FOMA端末の故障･修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万が一に備え、FOMA端末に保存した内容は、microSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管できます。

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

静止画／動画の保存形式について

	静止画ファイル		動画ファイル
ファイル形式	JPEG		MP4（Mobile MP4）
解像度	アウトカメラ	待受（240×320） VGA（480×640） 1.3M（1024×1280） 2.0M（1200×1600）	SQCIF（128×96） QCIF（176×144）
	インカメラ	QCIF（176×144） CIF（352×288）	
符号化方式	−		映像：H263 音声：AMR-NB
拡張子	.jpg		.3gp
ファイル名	撮影した年月日時分が自動的に付けられます。 例：2006年11月1日10時10分に撮影した場合 「01-11-06_1010」		
最大ファイルサイズ	約500Kバイト（目安）		約3Mバイト

静止画の保存件数について

本FOMA端末またはmicroSDメモリーカードに保存できる件数は、解像度、画質の設定や撮影状態、被写体により異なります。

■ アウトカメラ

解像度	画　質	登録件数※1	
		M702iG（本体）	microSDメモリーカード※2
待受（240×320）	通常画質	約5200件	約6400件
	高画質	約2600件	約3200件
	最高画質	約1700件	約2000件
VGA（480×640）	通常画質	約1700件	約2000件
	高画質	約870件	約1000件
	最高画質	約580件	約680件
1.3M（1024×1280）	通常画質	約400件	約480件
	高画質	約200件	約240件
	最高画質	約130件	約160件
2.0M（1200×1600）	通常画質	約330件	約400件
	高画質	約160件	約200件
	最高画質	約100件	約120件

※1：本FOMA端末で表示できる件数は最大1500件までです。
※2：64MバイトのmicroSDメモリーカード（別売）を使用した場合

次のページへ続く

■インカメラ

解像度	画　質	登録件数※1	
		M702iG（本体）	microSDメモリーカード※2
QCIF（176×144）	通常画質	約10000件	約13200件
	高画質	約5200件	約6600件
	最高画質	約3400件	約4000件
CIF（352×288）	通常画質	約5200件	約6400件
	高画質	約2600件	約3200件
	最高画質	約1700件	約2000件

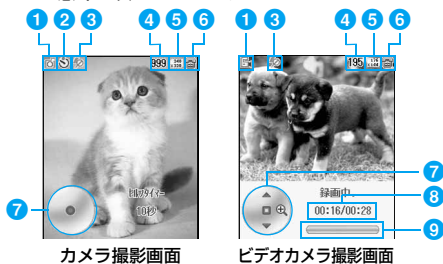
※1：本FOMA端末で表示できる件数は最大1500件までです。
※2：64MバイトのmicroSDメモリーカード（別売）を使用した場合

動画の録画時間について

本FOMA端末またはmicroSDメモリーカードに保存するときに1回に録画できる目安です。動画の撮影時間は、動画容量、画質の設定や撮影状態、被写体により異なります。

解像度	動画容量	動画画質	録画時間
SQCIF（128×96）	ｉモードメール（小）	通常画質	約30秒
		高画質	約20秒
		最高画質	約15秒
	ｉモードメール（大）	通常画質	約60秒
		高画質	約40秒
		最高画質	約30秒
	最大	通常画質	約6分
		高画質	約4分
		最高画質	約3分
QCIF（176×144）	ｉモードメール（小）	通常画質	約30秒
		高画質	約20秒
		最高画質	約15秒
	ｉモードメール（大）	通常画質	約60秒
		高画質	約40秒
		最高画質	約30秒
	最大	通常画質	約6分
		高画質	約4分
		最高画質	約3分

撮影画面の見かた

カメラ／ビデオカメラ撮影画面に表示されるアイコンの意味は次のとおりです。

カメラ撮影画面　ビデオカメラ撮影画面

❶ **カメラモード→P147、P148**
- カメラ
- ビデオカメラ

❷ **セルフタイマー撮影→P151**
- セルフタイマーON

❸ **ライト→P148、P149**
- ライトOFF
- ライトON

❹ **撮影可能枚数**
撮影可能枚数は、撮影の設定状況に応じて変わります。

❺ **解像度→P152（静止画）、P152（動画）**
- 240×320 待受（240×320）
- 480×640 VGA（480×640）
- 1.3M 1.3M（1024×1280）
- 2M 2.0M（1200×1600）
- 128×96 SQCIF（128×96）
- 176×144 QCIF（176×144）
- 352×288 CIF（352×288）

❻ **保存先→P152**
- 本体
- microSD

❼ **コントロールキー**
操作可能なマルチファンクションキーを示しています。
- 画面に表示されていない場合はなどを押すと表示できます。
- 屋外など光が強いところでは見えづらい場合があります。

❽ **撮影経過時間／最大撮影時間**
撮影経過時間／最大撮影時間を表示

❾ **撮影経過バー**
撮影経過をバーで表示

静止画撮影

静止画を撮影する

- 撮影した静止画はFOMA端末本体の「データBOX」内「マイピクチャ」の「カメラ」フォルダに保存されます。保存先をmicroSDメモリーカードに変更する場合は「保存先変更」（P152）で設定します。

1

静止画撮影画面

■ **撮影待機中のキー操作**

キー	説　明
● / •	シャッター
＊	ライトON／OFF（アウトカメラ撮影のみ）
#	インカメラ／アウトカメラへ切り替え
	ズーム、照明設定、明るさ設定を切り替え
	ズーム、照明設定、明るさを調節

2 カメラを被写体に向ける▶●／•

静止画が撮影され、静止画撮影終了画面が表示されます。

- CLR：撮影した静止画を削除して、静止画撮影画面に戻ります。
- ［送信］：撮影した静止画をメール、赤外線、Bluetoothで送信します。→P182、P253、P273

3 ●／•

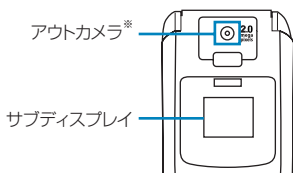
静止画撮影画面に戻ります。

カメラ　静止画撮影

次のページへ続く

■ FOMA端末を閉じて撮影する

撮影待機中にFOMA端末を閉じると、サブディスプレイに撮影画像が表示されます。サブディスプレイに表示される画像を確認しながら撮影します。

- 撮影した静止画は自動的に保存されます。
- 動画撮影では利用できません。
- セルフタイマー撮影は利用できません。

※：図のように、アウトカメラが上側になるようにFOMA端末を縦にして撮影してください。

■ FOMA端末を閉じた場合のサイドキー操作

キー	説　明
／	ズーム（望遠／広角）
	シャッター

お知らせ

- 撮影した静止画を削除したい場合は、静止画撮影終了画面で を押してください。 を押して終了させても静止画は削除されません。
- 撮影画面で何も操作を行わないと、約2分後にカメラは終了します。撮影した静止画は自動的に保存されます。
- 撮影時にはマナーモード設定中でもシャッター音が鳴ります。
- 撮影中に電話がかかってきた場合は、撮影を中断して通話ができます。通話終了後は撮影画面に戻ります。ただし、1分以上通話した場合は、カメラは自動的に終了し、撮影した静止画は保存されます。
- 撮影中にメールを受信した場合は、撮影を中断して受信結果画面を表示します。メール機能終了後は撮影画面に戻ります。ただし、約1分以上メールを表示していた場合は、カメラが自動的に終了し、撮影した静止画は自動的に保存されます。
- 静止画撮影時はフレームを設定できません。撮影した静止画にフレームを設定したい場合は、静止画編集で設定してください。→P148、P228

静止画撮影画面の機能メニュー

お買い上げ時	ライト：ライトOFF

1 静止画撮影画面（P147）▶ [機能]▶次の操作を行う

ピクチャー一覧

「マイピクチャ」の「カメラ」に保存されている画像を確認できます。

機能切替

ムービーモードまたはバーコードリーダーに切り替えます。

▶「ムービーモード」／「バーコードリーダー」

インカメラに切替・アウトカメラに切替

インカメラ／アウトカメラに切り替えます。

ライトON・ライトOFF

ライトをON／OFFに切り替えます。

- アウトカメラに設定しているときのみライトをONに設定できます。ライトをONに設定すると、フォトライトを補助光として点灯させ、カメラ起動中は常に点灯します。

セルフタイマー撮影

シャッターを押してから撮影されるまでの秒数を設定します。→P151

カメラ設定

解像度や画質、シャッター音を設定します。→「カメラの設定」（P152）

保存先変更

撮影した画像の保存先を設定します。→P152

空き容量

microSDメモリーカード、FOMA端末本体の保存領域の状態を表示します。

静止画撮影終了画面の機能メニュー

1 静止画撮影終了画面（P147）▶ [機能]▶次の操作を行う

保存

撮影した静止画を保存します。

削除

撮影した静止画を削除します。

設定

撮影した静止画を待受画面や電話帳などに設定します。

待受画面：待受画面に設定します。

スクリーンセーバー：スクリーンセーバーに設定します。

電話帳：電話帳に設定します。「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の 操作2（P97）へ進みます。

代替画像：テレビ電話の代替画像に設定します。

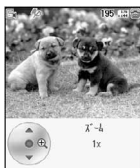
編集

撮影した静止画を保存し、静止画編集画面を表示します。→P228

動画撮影

動画を撮影する

- 撮影した動画はFOMA端末本体の「データBOX」内「ｉモーション」の「カメラ」フォルダに保存されます。保存先をmicroSDメモリーカードに変更する場合は「保存先変更」（P152）で設定します。

1 •

動画撮影画面

■ 撮影待機中／撮影中のキー操作

キー	説　明
● •	撮影開始／停止
＊	ライトON／OFF（撮影待機中、アウトカメラ撮影のみ）
#	インカメラ／アウトカメラへ切り替え
↕	ズーム、照明設定、明るさ設定を切り替え
↔	ズーム、照明設定、明るさを調節

2 カメラを被写体に向ける▶●／•

撮影を開始します。

- ch［一時停止］／［再開］：撮影を一時停止／再開します。
- i［中止］：撮影した動画を保存せずに、撮影を中止します。

動画撮影中画面

3 ●／•

撮影が終了し、動画撮影終了画面が表示されます。

- CLR：撮影した動画を削除して、動画撮影画面に戻ります。
- i［送信］：撮影した動画をメール、赤外線、Bluetoothで送信します。→P182、P253、P273

4 ●／•

動画撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 撮影した動画を削除したい場合は、動画撮影終了画面でCLRを押してください。終話キーを押して終了させても動画は削除されません。
- 撮影画面で何も操作を行わないと、約2分後にビデオカメラは終了します。撮影した動画は自動的に保存されます。
- 撮影中にFOMA端末を閉じると、撮影した内容を保存してビデオカメラを終了します。
- 撮影開始時、終了時には、マナーモード設定中でもシャッター音が鳴ります。
- 撮影中に電話がかかってきた場合は、シャッター音が鳴り自動的に撮影が終了します。通話終了後、撮影したところまでを自動的に再生し、撮影画面に戻ります。ただし、1分以上通話した場合は、ビデオカメラは自動的に終了し、撮影した動画は保存されます。
- 撮影中にメールを受信した場合は、シャッター音が鳴り自動的に撮影を終了して受信結果画面を表示します。メール機能終了後は撮影画面に戻ります。ただし、約1分以上メールを表示していた場合は、ビデオカメラが自動的に終了し、撮影した動画は自動的に保存されます。
- シャッター音が鳴り終わってから録音が開始されます。

動画撮影画面の機能メニュー

お買い上げ時	ライト：ライトOFF

1 動画撮影画面（P149）▶ch［機能］▶次の操作を行う

動画一覧
「i モーション」の「カメラ」に保存されている動画を確認できます。

機能切替
カメラモードまたはバーコードリーダーに切り替えます。
▶「カメラモード」／「バーコードリーダー」

インカメラに切替・アウトカメラに切替
インカメラ／アウトカメラに切り替えます。

ライトON・ライトOFF
ライトをON／OFFに切り替えます。
- アウトカメラに設定しているときのみライトをONに設定できます。ライトをONに設定すると、フォトライトを補助光として点灯させ、ビデオカメラ起動中は常に点灯します。

動画設定
画質や容量、解像度などを設定します。→「動画の設定」（P152）

保存先変更
撮影した動画の保存先を設定します。→P152

空き容量
microSDメモリーカード、FOMA端末本体の保存領域の状態を表示します。

動画撮影終了画面の機能メニュー

1 動画撮影終了画面（P149）▶ch［機能］▶次の操作を行う

保存
撮影した動画を保存します。

次のページへ続く

削除
撮影した動画を削除します。

プレビュー
撮影した動画を再生します。
- ：一時停止／再生します。
- ：押している間映像を早送り／巻戻しします。
- ：再生を停止します。
- ：動画を保存します。

設定
撮影した動画をスクリーンセーバーや電話帳などに設定します。

スクリーンセーバー
：スクリーンセーバーに設定します。
着信音：音声電話の着信音に設定します。
電話帳：電話帳に設定します。「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P97）へ進みます。

編集
撮影した動画を保存し、動画編集画面を表示します。
→P234

撮影時の設定を変える

撮影状況に合わせてカメラを設定します。

ズームを使う

お買い上げ時　静止画／動画：1×

画像のズーム倍率を設定します。

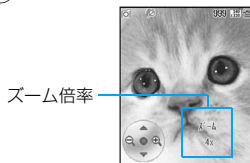
■ ズーム倍率について
静止画撮影時のズーム倍率は、アウトカメラで最大８倍※、インカメラで最大２倍まで調節できます。動画撮影時では、アウトカメラ／インカメラともに最大2倍まで調節できます。設定した倍率によっては自動的に解像度（サイズ）を変更して保存します。倍率ごとの解像度の変化については次のとおりです。
※：解像度を保持した状態での最大倍率は4倍です。

アウトカメラ撮影時（静止画／動画）

解像度	ズーム倍率			
	1X	2X	4X	8X
待受（240×320）	240×320	240×320	240×320	120×160
VGA（480×640）	480×640	480×640	240×320	120×160
1.3M（1024×1280）	1024×1280	480×640	240×320	120×160
2.0M（1200×1600）	1200×1600	480×640	240×320	120×160
QCIF（176×144）	176×144	176×144	－	－
SQCIF（128×96）	128×96	128×96	－	－

インカメラ撮影時（静止画／動画）

解像度	ズーム倍率	
	1X	2X
QCIF（176×144）	176×144	176×144
CIF（352×288）	352×288	176×144
SQCIF（128×96）	128×96	128×96

1 **静止画撮影画面（P147）／動画撮影画面（P149）／動画撮影中画面（P149）▶でズーム倍率を選択できる状態に切り替える▶でズーム倍率を選択**

ズーム倍率
**ズーム設定
（例：静止画撮影画面）**

照明設定をする

お買い上げ時　静止画／動画：自動

撮影場所の光源に合わせて画像を自然な色合いに調整します。

1 **静止画撮影画面（P147）／動画撮影画面（P149）／動画撮影中画面（P149）▶で照明設定を選択できる状態に切り替える▶で次の操作を行う**

自動　：自動で調整します。
晴れ　：晴れた屋外での撮影に適しています。
曇り　：曇った屋外での撮影に適しています。
白熱灯：白熱灯の下での撮影に適しています。
蛍光灯：蛍光灯の下での撮影に適しています。
夜間　：夜間の撮影に適しています。

**照明設定
（例：静止画撮影画面）**
照明の設定項目

明るさを調節する

お買い上げ時	静止画／動画：0

画像の明るさ（露出）を調節します。明るさは－2～0～＋2まで調節できます。

1 静止画撮影画面（P147）／動画撮影画面（P149）／動画撮影中画面（P149）▶◎で明るさが補正できる状態に切り替える▶◎で明るさの補正値を選択

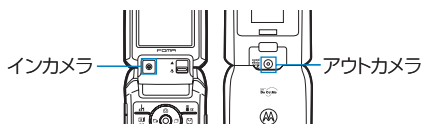
明るさ設定
（例：静止画撮影画面）

インカメラ／アウトカメラを切り替える

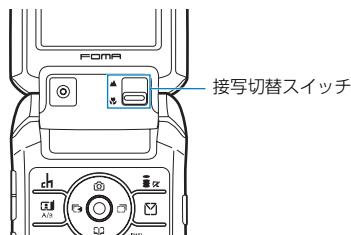
お買い上げ時	静止画／動画：アウトカメラ

撮影スタイルに合わせて、インカメラ／アウトカメラを切り替えます。

1 静止画撮影画面（P147）／動画撮影画面（P149）／動画撮影中画面（P149）▶

#を押すごとに、インカメラ／アウトカメラに切り替わります。

近くのものを撮影する

被写体に近づいて撮影するときやバーコードリーダーを利用するときは、接写切替スイッチを🌷に切り替えて撮影します。

- 🌷（マクロ）に切り替えた場合の被写体との最適距離は約10cmです。

お知らせ

- マクロ撮影が終了したら、接写切替スイッチを▲の位置に切り替えてください。🌷のままで通常撮影をすると、適切なピントが得られません。

セルフタイマーを設定する

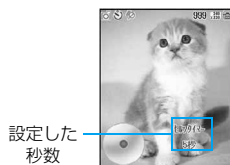
シャッターを押してから撮影されるまでの秒数を設定します。

- 動画撮影では、セルフタイマーは設定できません。

1 静止画撮影画面（P147）▶ch［機能］▶「セルフタイマー撮影」

2 「5秒」／「10秒」

画面上部に⏱が表示されます。

- ［中止］：セルフタイマーを解除します。

セルフタイマー撮影画面

3 ch［開始］

セルフタイマーが作動します。作動中は確認音が鳴り、設定した秒数経過後に撮影します。

- ch［撮影］：撮影を開始します。
- ［中止］：セルフタイマーを解除します。

お知らせ

- セルフタイマー作動中に電話がかかってきたり、メールを受信したりした場合は、セルフタイマーは一時中断されます。それぞれの操作終了後はセルフタイマー撮影画面に戻ります。

カメラ設定

カメラの設定を変える

解像度や画質、撮影時のシャッター音などを設定します。

カメラの設定

お買い上げ時	解像度（アウトカメラ／インカメラ）：待受（240×320）／CIF（352×288） 画質：高画質 シャッター音：シャッター音５ 左右反転：OFF

1 静止画撮影画面（P147）▶ [機能]▶「カメラ設定」▶次の操作を行う

解像度
解像度を設定します。

▶解像度を選択▶ [選択]

- 解像度については、「静止画の保存件数について」（P145）を参照してください。

画質
画質を設定します。

通常画質：最も低い画質です。ファイルサイズは小さくなります。

高画質　：標準的な画質です。

最高画質：最も高い画質です。ファイルサイズは大きくなります。

シャッター音
シャッターを押したときに鳴る音を選択します。

▶シャッター音を選択▶ [選択]

左右反転
インカメラで撮影するときに画面に表示される画像を反転表示します。

▶「ON」／「OFF」

動画の設定

お買い上げ時	動画画質：高画質 動画容量：ｉモードメール（小） 解像度（アウトカメラ／インカメラ）：QCIF（176×144） 録音機能：ON 左右反転：OFF シャッター音：シャッター音５

1 動画撮影画面（P149）▶ [機能]▶「動画設定」▶次の操作を行う

動画画質
画質を設定します。

通常画質：最も低い画質です。ファイルサイズは小さく、撮影時間は最も長くなります。

高画質　：標準的な画質です。

最高画質：最も高い画質です。ファイルサイズは大きく、撮影時間は最も短くなります。

動画容量
撮影した動画を保存するときのサイズを制限します。

ｉモードメール（小）
：約290Kバイトまで保存できます。ｉモーションメールとして送信するのに適しています。

ｉモードメール（大）
：約490Kバイトまで保存できます。大容量のｉモーションメールとして送信するのに適しています。

最大：ファイルサイズを制限しません。最大約6分まで撮影できます。

解像度
解像度を設定します。

▶解像度を選択▶ [選択]

- 解像度については、「動画の録画時間について」（P146）を参照してください。

録音機能
動画撮影時に音声を録音するかどうかを設定します。

▶「OFF」／「ON」

左右反転
インカメラで撮影するときに画面に表示される画像を反転表示します。

▶「ON」／「OFF」

シャッター音
シャッターを押したときに鳴る音を選択します。

▶シャッター音を選択▶ [選択]

お知らせ

シャッター音
- シャッター音の音量は固定されています。音量を調節したり、音を消したりすることはできません。また、ダウンロードしたメロディはシャッター音に設定できません。

左右反転
- 「ON」に設定した場合は、左右が反転した状態で保存されます。

撮影した画像／動画の保存先を設定する

お買い上げ時	静止画／動画：本体

撮影した画像の保存先をFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードに設定します。

1 静止画撮影画面（P147）／動画撮影画面（P149）▶ [機能]▶「保存先変更」

2 「microSD」／「本体」

- [ch] ［詳細］：選択中の保存先の保存領域の状態を表示します。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

FOMA端末のカメラを使ってJANコードやQRコードに含まれている情報を読み取ります。読み取った情報からｉモードメールを作成したり、インターネットへ接続することができます。また、読み取った情報、画像、メロディを保存、再生することもできます。

- 分割されたQRコードは16枚まで読み取れます。
- 読み取った情報は最大5件保存できます。

■ JANコードとは
太さや間隔の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取ります。
- 次のJANコードをFOMA端末で読み取ると「4942857113273」と表示されます。

■ QRコードとは
縦、横方向の模様で英数字、漢字、カナ、絵文字などの文字列を表現している二次元コードの1つです。また、画像やメロディを扱っているQRコード、1つのデータが複数のQRコードに分かれているものもあります。
- 次のQRコードをFOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

コードを読み取る

- バーコードリーダーを利用する前に、カメラの接写切替スイッチを[接写]に合わせてください。→P151
- コードからカメラを約10cm以上離して読み取ってください。

1 [●]▶[アクセサリアイコン]（アクセサリ）▶「バーコードリーダー」

数秒後にバーコードリーダー画面が表示されます。
- 読み取りデータがある場合は、保存した読み取りデータが一覧表示されます。

バーコードリーダー画面

2 「［コード読み取り］」

画面上部に[アイコン]が表示されます。
- [ch] ［点灯］／［消灯］：フォトライトを点灯／消灯します。

読み取り開始画面

3 [●]

コードを読み取ります。読み取りが完了すると完了音が鳴り、読み取ったデータを表示します。
- [i] ［中止］：読み取りを中止します。
- 読み取りを開始してから約30秒経過してもコードが読み取れない場合は、メッセージ表示後、読み取り開始画面に戻ります。

4 読み取りデータを選択▶[●]▶次の操作を行う

- 読み取りデータの種類によって、表示される項目は異なります。
- 読み取りデータを後で利用する場合は、必ず「保存」してください。

[画像アイコン]（画像）
表示：画像を表示します。
▶[ch] ［はい］
保存：読み取ったデータを保存します。

[メロディアイコン]（メロディ）
再生：メロディを再生します。
▶[ch] ［はい］
・メロディ再生方法→P239
保存：読み取ったデータを保存します。

ブックマーク登録
URLをブックマークに登録します。
▶[ch] ［はい］▶[i] ［OK］▶フォルダを選択▶[ch] ［選択］▶ファイル名を入力

サイト接続
選択中のURLに接続します。
▶[ch] ［はい］

メール作成
選択中のアドレスや件名などを引用して、ｉモードメールを作成します。→P182
▶[ch] ［はい］▶ｉモードメールを作成する

カメラ　バーコードリーダー

次のページへ続く

電話帳登録
名前や電話番号などの情報を電話帳に登録します。

➡ [はい]

新規登録：新たに電話帳を作成して登録します。→P93、P95
➡「本体」／「FOMAカード（UIM）」➡電話帳を登録する

追加登録：既存の電話帳に追加登録します。→P93、P95
➡「本体」／「FOMAカード（UIM）」➡電話帳を選択➡●➡電話帳を修正する

音声発信
選択中の電話番号に音声電話をかけます。

➡ [はい] ➡ ／●

テレビ電話発信
選択中の電話番号にテレビ電話をかけます。

➡ [はい] ➡ ／●

ｉアプリ起動
ｉアプリを起動します。

➡ [はい]

コピー
読み取り結果画面で選択中のURL、電話番号、アドレスなどをコピーします。→P301

全てコピー
読み取り結果画面に表示されている内容をすべてコピーします。→P301

保存
読み取ったデータを保存します。

■ 分割されたQRコードを読み取る

①「コードを読み取る」（P153）の操作1～3を行う
②「次のデータを読みとってください」のメッセージ表示後、次のコードを読み取る
③ 操作②を繰り返す

■ 読み取った情報のファイル名

読み取った情報のファイル名は、年月日時分秒が自動的に付けられます。ファイル名は変更できません。
例：2006年11月1日10時10分36秒に撮影した場合
JANコード：「20061101101036.jan」
QRコード：「20061101101036.qr」

お知らせ

共通
- JANコードとQRコード以外のバーコード、二次元コードは読み取れません。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射の具合によっては正しく読み取れない場合があります。
- バーコードの種類やサイズ、QRコードのバージョンによっては読み取れない場合があります。
- 読み取ったデータをmicroSDメモリーカードに保存することはできません。

メール作成
- 宛先に入力できない文字が含まれている場合、宛先には何も入力されません。

音声発信／テレビ電話発信
- 発信できる文字は数字と記号（#、✱、+、−、P、「(」、「)」）です。これら以外の文字が含まれている場合は発信できません。

ｉアプリ起動
- 「バーコードから起動」（P213）を「許可しない」に設定している場合は、読み取りデータからｉアプリを起動できません。

保存
- 読み取りデータが既に5件保存されている場合は、古いデータを削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。 [OK] ➡読み取りデータを選択➡●➡「削除」➡ [はい] を押してください。

保存したデータを利用する

1 バーコードリーダー画面（P153）➡読み取りデータを選択➡●➡「表示」

■ 保存した読み取りデータを削除する場合
削除する読み取りデータを選択➡●➡「削除」➡ [はい] を押します。

2 （画像）／（メロディ）／URL／電話番号／メールアドレスなどを選択➡●

- 以降「コードを読み取る」の操作4（P153）を参照してください。

i モード／ i モーション

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

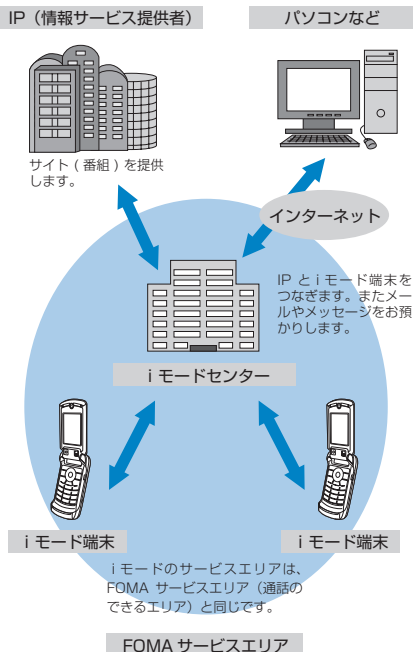
■ サイト（番組）接続
ｉモードメニューから「メニュー／検索」を選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

■ インターネット接続
ｉモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、ｉモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

■ ｉモードメール
ｉモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5,000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

サービスのしくみ

お知らせ

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 新規で FOMA サービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- mova サービス（ｉモードをご契約）から FOMA サービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引継がれないサイトもございますので、その場合は、再登録をお願いします。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、ｉMenu内「お知らせ」でご確認できます。
- ｉモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本書では、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金などにつきましては、ｉモードご契約時にお渡しいたします『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- ｉモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なキー操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。たとえば銀行の残高照会や振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなど、様々なオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

ｉモードセンターに接続すると、最初にｉMenuが表示されます。ここから、各サイト（番組）や「週刊ｉガイド」などにアクセスします。

- サイトの表示方法→P160

ｉMenu

1 マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。→P163 ｉMenu 内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。

2 メニュー／検索	「メニュー／検索」内の検索BOXにキーワードを入力することで、目的のサイトを検索することができます。さらに、さまざまな検索サイトと連携し、一般サイト検索を行うことができます。
3 週刊 iガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。また、ミュージックとゲームの特集コーナーも用意されています。
4 とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます（提供：D2コミュニケーションズ）。
5 楽オク -オークション-	簡単に入札したり、出品ができるオークションサイトです。 また、オークションに出品している商品から、おすすめ商品などの情報も提供しています（提供：楽天オークション）。
6 iエリア -周辺情報-	今いる場所やその周辺に関する天気、地図、タウン情報などを簡単にご利用になれます。
7 マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
8 料金＆お申込・設定	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができるほか、iモードメールの設定やiモードパスワードの変更などを行います。
■ お知らせ	ドコモからのお知らせやiモードの利用方法、ご利用規則を掲載しています。
■ TOPICS	最新のトピックスを紹介しています。
English iMenu	iMenuを英語表記に変更できます。

- 画面はイメージです。設定によっては表示が異なる場合があります。

お知らせ

- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（iモード有料サイト）があります。
- IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- が点滅していても、iモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、iMenu画面などが一部異なります。

こんなこともできます

■ iチャネル

ニュースや天気などのグラフィカルな情報を、ドコモまたはIP（情報サービス提供者）がiモード端末に配信するサービスです。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、を押すことで見られるチャネル一覧に表示されます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

- 対応機種…iチャネル対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ iモーション

iモードのサイトから映像や音をiモード端末で取得し、再生したり、スクリーンセーバーとして楽しむことができます。

- iモーションを取得する→P176
- iモーションを再生する→P231
- iモーションを自動再生設定する→P176

■ 着モーション／着うた®

iモードのサイトからiモーションをiモード端末に取得し、着信音や着信中画面に設定できます。メロディだけではなく、お好きな歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます。ただし、一部の対応していないiモーションは着モーションに設定できません。

- 着モーションを設定する→P113
- 「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■ iアプリ

iアプリをサイトからダウンロードすることにより、iモード端末をより便利に活用いただけます。たとえばiモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のiアプリをダウンロードして、株価を定期的に自動チェックしたりできます。さらに、地図のiアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールができます。

- iアプリをダウンロードする→P209
- iアプリを起動する→P210
- iアプリを自動起動する→P214

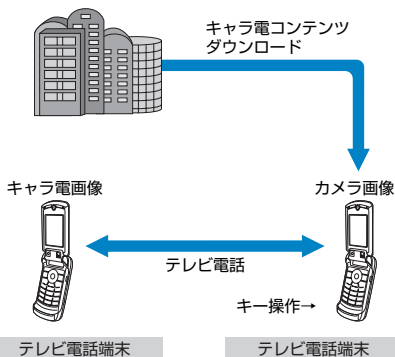
■ ｉアプリ待受画面
ｉアプリ待受画面では、ｉアプリを待受画面として利用でき、そのままメールを受信したり、電話をかけることもできます。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示したり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることもできます。

- ｉアプリ待受画面を設定する→P215

■ ｉアプリDX
ｉアプリDXは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ｉ アプリをより便利に楽しく利用できます。

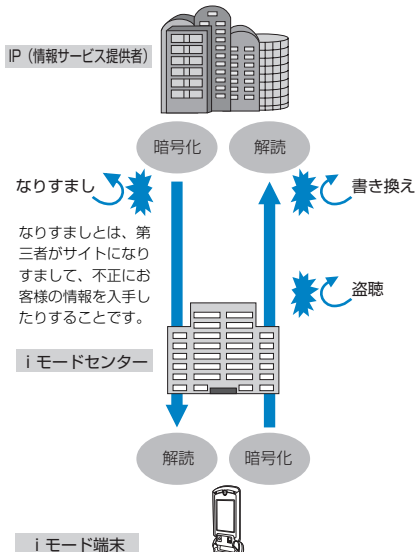
- ｉアプリDX→P208

■ キャラ電
テレビ電話利用時に、相手のテレビ電話端末に、自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キー操作でキャラクタを動作させたりできます。

- キャラ電をダウンロードする→P169
- キャラ電の確認→P237
- キャラ電を設定する→P85
- キャラクタの操作方法→P237

■ 赤外線通信機能
赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと、電話帳やメール、ブックマークなどを送受信できます。※
また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。たとえば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用できます。
※：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

- 赤外線通信モードにする→P252

■ SSL通信
SSLとは認証技術と暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴やなりすまし、書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。SSL通信には、ｉモード端末からの特別な操作なしに、端末内のSSL証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと2つあります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。

- ｉモード端末に保存されているSSL証明書を利用する→P174
- FirstPassのユーザ証明書を利用する→P174

■ FOMAカード動作制限機能
お客様情報（電話番号、電話帳（一部）など）を格納しているFOMAカードを、ｉモード端末に挿入することによって、サイトからダウンロードしたり、メールで取得したメロディ、静止画、動画などのファイルの動作を制限します。また、別のFOMAカードを差し替えたり、または未挿入の状態で電源を入れたりした場合、取得したファイルの再生、表示を不可にする機能です。

- カメラ機能によりお客様が撮影した静止画や動画、外部メモリからｉモード端末内に保存したファイルは、本機能の対象外となります。
- 着信音や待受画面設定などをｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がお買い上げ時の状態になります。

■ ｉメロディ
サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。→P168

■ ｉアニメ
サイトからお好みのアニメーション画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面や着信中画面に表示できます。→P168

■ Flash®
Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を利用した画像をｉモード端末にダウンロードし、スクリーンセーバーに設定できます。Flash画像によっては、お客様のｉモード端末の端末情報データを参照できるものがあります。利用する登録データには次のものがあります。
- 電池残量　- 受信レベル　- 時刻情報
- 動画／ｉモーション、メロディ音量
- バイリンガル設定　- 機種情報

■ メッセージサービス
メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

メッセージR（リクエスト）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージF（フリー）	パケット通信料が無料で届けられるメッセージです。

- メッセージサービスの受信方法→P172
- メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月1日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申し込みの場合は、メッセージF設定の初期設定が「受信する」になっています。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様自身で「受信しない」に設定を変更していただく必要がありますので、ご了承ください。
  - 上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめ料金＆お申込・設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」に設定されています。
- お客様のｉモード端末の電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードセンターでのメッセージR/Fの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管件数、最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージから順に削除されます。

メッセージ名	最大保管件数	最大保管期間
メッセージR	300件	72時間
メッセージF	300件	72時間

- ｉモードセンターに保管されたメッセージR/Fは、「ｉモード問合せ」により受信できます。→P172

■ トクだねニュース便
メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。
- メッセージRの画面の見かた→P172

■ ｉモードパスワード
マイメニューの登録・削除、ｉモードメールの設定などを行うときにはｉモードパスワードが必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。
ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。
- ｉモードパスワードの変更→P164

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示できます。

- 表示方法→P163
- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。ｉモード対応のホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが半角で256文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

■ ｉモードのご使用にあたって
- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失する場合がありますので、重要なデータは控えを取っておくことをおすすめします。万が一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード、ｉアプリ、ｉモーションでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってサイトからダウンロードした静止画、ｉモーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディ）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容はお買い上げ時の状態になります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。

iモードメニュー

iモードメニューを表示する

iモードメニューからiモードの各機能を利用できます。

1

iモードメニュー画面

2 次の操作を行う

i Menu
iモードセンターに接続します。→P160

Bookmark
ブックマークフォルダ一覧画面を表示します。→P164

Internet
URLを直接入力してインターネットに接続します。→P163

画面メモ
画面メモフォルダ一覧画面を表示します。→P166

ラストURL
最後に表示したiモードのサイトやインターネットホームページを表示します。→P163

メッセージR
受信したメッセージRの一覧を表示します。→P172

メッセージF
受信したメッセージFの一覧を表示します。→P172

iモード問合せ
iモードセンターにiモードメールやメッセージR/Fが保管されているかどうかを問い合わせます。→P172

iモード設定
iモードに関するFOMA端末の機能を設定します。→P170

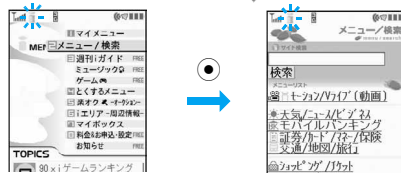
タスクメニュー
電話帳、スケジュールなど他の機能を呼び出します。→P258

サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスを利用します。

- IP（情報サービス提供者）により、サービス内容が異なります。また、別途お申し込みが必要な場合があります。

1 iモードメニュー画面(P160)▶「i Menu」▶「メニュー／検索」

iモード通信中は画面上部に が表示されます。

- ページ取得中に中止するときは［中止］を押します。

2 項目(リンク先)を選択▶●

- ［戻る］：前の画面に戻ります。
- ：iモードを終了します。［はい］を押します。

お知らせ

- リンク先を示す項目の前に番号が表示されている場合は、その番号と同じダイヤルキーを押して直接リンク先に接続できます。ただし、サイトによっては接続できない場合があります。
- 接続先のサイトによっては、ご利用になるために「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」の送信が必要な場合があります。
送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を認識し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツがお客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりお客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

サイト表示画面の機能メニュー

1 サイト表示中▶［機能］▶次の操作を行う

i Menu
i Menuを表示します。

Bookmark登録
表示中のサイトのURLをBookmarkに登録します。「ブックマークに登録する」の操作2（P164）へ進みます。

Bookmark一覧
Bookmarkフォルダ一覧画面を表示します。→P164

画面メモ
表示中のサイトを画面メモに保存します。「画面メモを保存する」の操作2（P166）へ進みます。

画像保存
表示中のサイトに含まれている画像を保存します。「サイトやメッセージから画像を取得する」の操作2（P168）へ進みます。

Internet
URLを入力、またはURL履歴を選択してインターネットホームページを表示します。→P163

URL表示／コピー
表示中のサイトのURLを表示します。
- [OK]：元の画面に戻ります。
- [コピー]：URLをコピーします。コピーできるのは半角で最大256文字です。

メール作成
表示中のサイトのURLを本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P182）へ進みます。

SMS作成
表示中のサイトのURLを本文に貼り付けてSMS（ショートメッセージ）を作成します。「SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する」の操作2（P203）へ進みます。

電話帳登録
表示中のサイトに反転表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の 操作2（P97）へ進みます。

画像表示設定
表示中のサイトに含まれている画像を表示するかどうかを設定します。

➧「表示する」／「表示しない」

再読み込み
表示中のサイトが更新されていれば、サイトの内容を最新の情報に更新します。

証明書表示
表示中のサイトがSSL対応の場合、SSL証明書の内容を表示します。

リトライ
表示中のサイトに含まれているFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

効果音設定
Flash画像の効果音を再生するかどうかを設定します。
→P170

文字コード変換
文字が正しく表示されていないときに、文字コードを変えて表示し直します。

タスクメニュー
電話帳、スケジュールなど他の機能を呼び出します。
→P258

お知らせ

画像表示設定
- 「表示する」に設定しても、正しく表示されない場合があります。その場合は が表示されます。

文字コード変換
- 正しく表示されない場合は、操作を繰り返してください。ただし、4回操作を行うと元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されない場合があります。
- 変換した文字コードは、表示中のサイトに対してのみ有効です。

■ SSLページを取得するときは
SSLに対応したサイトを取得すると右の画面が表示されます。取得が完了するとSSLページが表示され、画面上部に が表示されます。

■ 通常のサイトに戻るには
SSLに対応していないサイトに戻る場合、右の画面が表示されます。 [はい] を押すと通常のサイトが表示され、 が消えます。

お知らせ
- SSL証明書が期限切れになっている場合、サポートしていない場合など、接続先の安全性を確認できないことを知らせるメッセージが表示される場合があります。接続するときは [はい] を押してください。ただし、お客様の個人情報（クレジットカード番号、連絡先など）を安全に送信できない可能性がありますのでご注意ください。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

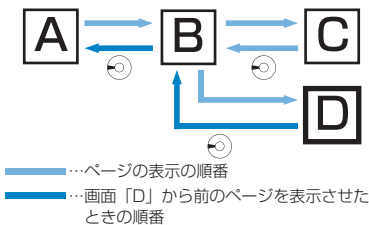
前のページに戻る／進む

FOMA端末は、直前に表示していたサイトの画面データをキャッシュに記憶しています。
キャッシュとは、表示した画面データを一時的に記憶する端末内の場所です。(ナビ)を押して通信を行わずにキャッシュに記憶された画面を表示できます。ただし、キャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示するときは通信を行います。

- サイトなどで入力した文字や設定は、キャッシュに記憶されません。
- ｉモードを終了すると、キャッシュは削除されます。

◀(ブルー)：1つ前の画面を記憶しています。(ナビ)を押すと１つ前の画面に戻ります。
▶(ブルー)：次の画面を記憶しています。(ナビ)を押すと次の画面に進みます。

例：画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させた場合
下図のように「A」→「B」→「C」の順にサイトを表示し、「B」に戻った後で「D」を表示すると「B」→「C」の履歴は削除され、「B」→「D」の履歴が記憶されます。

…ページの表示の順番
…画面「D」から前のページを表示させたときの順番

お知らせ

- Flash画像が表示されている場合は、表示動作が通常のサイト表示とは異なる場合があります。

リンク先や項目先を選択する

ｉモード接続中に、サイトによっては次の操作が必要となる場合があります。詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

名　称	表示例	内　容
ラジオボタン	○（非選択状態） ◉（選択状態）	選択肢の中から1つだけ選択できます。
チェックボックス	□（非選択状態） ☑（選択状態）	選択肢の中から複数の項目を選択できます。
テキストボックス		文字を入力します。テキストボックスを選択して(●)を押すと文字入力画面が表示されます。
プルダウンメニュー	東京都 東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県 栃木県 群馬県	選択肢の一覧から項目を選択します。プルダウンメニューを選択して(●)を押すと選択肢一覧が表示されます。

お知らせ

テキストボックス

- FOMA 端末の電話帳に登録されている電話番号を入力する場合は、(ソフトキー)［機能］▶「引用」▶「電話帳」から選択できます。ただし、電話帳に登録されているメールアドレスは引用できません。

Flash画像の表示について

FOMA端末では、絵や音を利用したアニメーション技術を用いたFlash画像の表示に対応しており、多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像をダウンロードし、スクリーンセーバーに設定することもできます。

お知らせ

- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- Flash画像によっては、お客様のFOMA端末の端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するには、「登録データ利用設定」を「利用する」に設定してください。
- Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は「効果音設定」を「再生しない」に設定してください。

- バイブレータが設定されている Flash 画像を再生した場合、FOMA端末の「音／バイブ設定」の設定に関わらず振動します。
- 「画像表示設定」を「表示しない」に設定すると、Flash画像は表示されません。
- Flash画像によっては画像を保存したり、画面メモに保存しても、画像の一部が表示されないなど、サイトでの見えかたと異なる場合があります。

ラストURL

最後に表示したページに再接続する

ｉモードを終了すると、最後に表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。ラストURLを使って最後に表示したページに再接続します。

1 ｉモードメニュー画面(P160)▶「ラストURL」

- [機能]：URLをコピー／削除します。削除する場合は[はい]を押します。

2 ●

Internet接続

インターネットホームページを表示する

URLを入力して、インターネットホームページを表示します。URLは半角の英数字や記号で入力します。

1 ｉモードメニュー画面(P160)▶「Internet」

Internet画面が表示されます。

2 「[新規入力]」▶URLを入力▶●

- 半角で512文字まで入力できます。

お知らせ

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は、正しく表示されない場合があります。
- 履歴に記録されているURLと同じURLを入力して接続した場合は、上書き保存され、最新のURL履歴として一番上に表示されます。

URL履歴を使って表示する

入力したURLは、URL履歴として10件まで記録されます。URL履歴を利用してインタネットホームページを表示します。

1 ｉモードメニュー画面(P160)▶「Internet」

Internet画面が表示されます。

2 表示したいURLを選択▶●▶●

お知らせ

- 履歴が10件を超えた場合、古いものから順に自動的に上書きされます。
- 利用した履歴は、最新の URL 履歴として一番上に表示されます。

Internet画面の機能メニュー

1 Internet画面(P163)▶URL履歴を選択▶[機能]▶次の操作を行う

URL表示／コピー

選択中の履歴のURLを表示します。
- [接続]：表示されているURLのサイトに接続します。
- [コピー]：URLをコピーします。コピーできるのは半角で最大256文字です。

Bookmark登録

選択中の履歴のURLをBookmarkに登録します。「ブックマークに登録する」の操作2（P164）へ進みます。

電話帳登録

選択中の履歴のURLを電話帳に登録します。「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の 操作2（P97）へ進みます。

削除

1件削除：選択中の履歴を1件削除します。▶[はい]

選択削除：複数の履歴を選択して削除します。▶削除する履歴にチェックを付ける▶[実行]▶[はい]

全件削除：登録されている履歴をすべて削除します。▶端末暗証番号を入力▶[はい]

マイメニュー

マイメニューに登録する

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。

- マイメニューは45件まで登録できます。
- マイメニューに登録できないサイトもあります。

1 登録したいサイトを表示▶「マイメニュー登録」

次のページへ続く

2 ｉモードパスワードのテキストボックスを選択▶◉▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」

- 入力したｉモードパスワードは「✱」で表示されます。
- ｉモードパスワード→P159

お知らせ

- 「メニュー／検索」内の有料サイトに申し込まれると、自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューからサイトを表示する

1 ｉモードメニュー画面（P160）▶「ｉMenu」▶「マイメニュー」▶接続したいサイトを選択▶◉

ｉモードパスワード変更

ｉモードパスワードを変更する

マイメニューの登録／解除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定をするときは、「ｉモードパスワード」（4桁）が必要になります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自のｉモードパスワードに変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分ご注意ください。

1 ｉモードメニュー画面（P160）▶「ｉMenu」▶「料金＆お申込･設定」▶「オプション設定」▶「ｉモードパスワード変更」

2 「現在のパスワード」のテキストボックスを選択▶◉▶ｉモードパスワード（4桁）を入力

3 「新パスワード」のテキストボックスを選択▶◉▶新しいｉモードパスワード（4桁）を入力

4 「新パスワード確認」のテキストボックスを選択▶◉▶新しいｉモードパスワード（4桁）を入力

5 「決定」

お知らせ

- ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口で確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

ブックマーク

ホームページやサイトを登録して素早く表示する

よく見るサイトやインターネットホームページをブックマークに登録しておくと、見たいページをすぐに表示できます。

ブックマークに登録する

- ブックマークはフォルダ全体で最大 200 件登録できます。

1 サイト表示中▶［機能］▶「Bookmark登録」

- 既に登録済みの URL を登録しようとした場合は、上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。［はい］を選択します。

2 登録したいフォルダを選択▶［選択］▶ブックマークの名前を入力

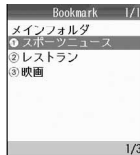
お知らせ

- ブックマークに登録できる URL の文字数は、半角で256文字までです。
- ブックマークのタイトルは全角12文字まで、半角24文字まで登録できます。
- ブックマークが最大保存件数まで保存されている場合は、上書き保存するかどうかを確認する画面が表示されます。上書き保存する場合は［はい］▶フォルダを選択▶［選択］▶上書きするブックマークを選択◉▶［はい］▶ブックマークの名前を入力します。

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 ｉモードメニュー画面（P160）▶「Bookmark」

Bookmark
フォルダ一覧画面

2 フォルダを選択▶●

Bookmark
一覧画面

3 表示したいブックマークを選択▶●

Bookmarkフォルダ一覧画面の機能メニュー

1 Bookmarkフォルダ一覧画面(P164)▶ [機能]▶次の操作を行う

フォルダ作成

新規フォルダを作成します。新規に作成できるフォルダは7個までです。

▶フォルダ名を入力

フォルダ名編集

選択中のフォルダの名前を編集します。

▶フォルダ名を編集

フォルダ並べ替え

フォルダを並べ替えます。

▶並べ替えたいフォルダを選択▶ [選択]▶ で移動先を選択▶ [確定]

- 続けて他のフォルダを並べ替える場合は、同じ操作を繰り返します。並べ替えを終了する場合は [戻る]を押します。

フォルダ削除

選択中のフォルダを削除します。

▶端末暗証番号を入力▶ [はい]

Bookmark全件表示

登録されているブックマークすべてを一覧表示します。

全件送信

登録されているブックマークすべてを全件送信します。

赤外線：赤外線通信で送信します。「データを全件送信する」の操作2(P254)へ進みます。

Bluetooth：Bluetoothで送信します。
▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶ [はい]
「Bluetooth機器を登録して接続する」の操作2(P273)へ進みます。

お知らせ

フォルダ名編集／フォルダ並べ替え／フォルダ削除

- お買い上げ時に登録されている「メインフォルダ」は、フォルダ名の変更や移動、削除はできません。

Bookmark一覧画面の機能メニュー

1 Bookmark一覧画面(P165)▶ブックマークを選択▶ [機能]▶次の操作を行う

URL表示／コピー

選択中のブックマークのURLを表示します。

- [接続]：表示されているURLのサイトに接続します。
- [コピー]：URLをコピーします。コピーできるのは半角で最大256文字です。

タイトル編集

選択中のブックマークの名前を編集します。

▶ブックマークの名前を編集

フォルダ移動

ブックマークを別のフォルダへ移動します。

1件移動：選択中のブックマークを1件移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶ [選択]▶ [はい]

選択移動：複数のブックマークを選択して移動します。
▶移動するブックマークにチェックを付ける▶ [実行]▶移動先のフォルダを選択▶ [選択]▶ [はい]

フォルダ内全件移動
：フォルダ内のブックマークをすべて移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶ [選択]▶ [はい]

メール作成

選択中のブックマークのURLを本文に貼り付けてiモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」の操作2(P182)へ進みます。

電話帳登録

選択中のブックマークのURLを電話帳に登録します。「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の 操作2(P97)へ進みます。

赤外線／Bluetooth

赤外線：赤外線通信で1件送信します。

Bluetooth：Bluetoothで送信します。「Bluetooth機器を登録して接続する」の操作2(P273)へ進みます。

削除

1件削除：選択中のブックマークを1件削除します。
▶ [はい]

選択削除：複数のブックマークを選択して削除します。
▶削除するブックマークにチェックを付ける▶ [実行]▶ [はい]

フォルダ内全件削除
：フォルダ内のブックマークをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶ [はい]

画面メモ

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存できます。画面メモに保存したページは、ｉモードに接続せずに表示できます。

画面メモを保存する

- 画面メモは最大30件保存できます。ただし、データ量により実際に保存できる件数が少なくなることがあります。
- 1件あたり約100Kバイトまでのページを保存できます。

1 サイト表示中▶[機能]▶「画面メモ」

2 保存したいフォルダを選択▶[選択]▶画面メモの名前を入力

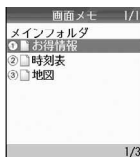
お知らせ

- 画面メモが最大保存件数まで保存されている場合は、上書き保存するかどうかを確認する画面が表示されます。上書き保存する場合は［はい］▶フォルダを選択▶［選択］▶削除する画面メモにチェックを付ける▶［実行］▶［はい］▶画面メモの名前を入力します。

画面メモを表示する

1 ｉモードメニュー画面(P160)▶「画面メモ」

画面メモフォルダ一覧画面

2 フォルダを選択▶●

画面メモ一覧画面

3 表示したい画面メモを選択▶●

画面メモ詳細画面が表示されます。

お知らせ

- 画面メモに保存されているページは保存したときの情報です。最新のページの情報と異なる場合があります。
- 保存したページにタイトルがない場合は、画面メモ一覧画面で「無題」と表示されます。

画面メモフォルダ一覧画面の機能メニュー

1 画面メモフォルダ一覧画面(P166)▶[機能]▶次の操作を行う

フォルダ作成
新規フォルダを作成します。新規に作成できるフォルダは7個までです。
▶フォルダ名を入力

フォルダ名編集
選択中のフォルダの名前を編集します。
▶フォルダ名を編集

フォルダ並べ替え
フォルダを並べ替えます。
▶並べ替えたいフォルダを選択▶［選択］▶で移動先を選択▶［確定］
- 続けて他のフォルダを並べ替える場合は、同じ操作を繰り返します。並べ替えを終了する場合は［戻る］を押します。

フォルダ削除
選択中のフォルダを削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

画面メモ全件表示
登録されている画面メモすべてを一覧表示します。

お知らせ

フォルダ名編集／フォルダ並べ替え／フォルダ削除
- お買い上げ時に登録されている「メインフォルダ」は、フォルダ名の変更や移動、削除はできません。

画面メモ一覧画面の機能メニュー

1 画面メモ一覧画面(P166)▶画面メモを選択▶[機能]▶次の操作を行う

タイトル編集
選択中の画面メモの名前を編集します。
▶画面メモの名前を編集

保護・保護解除
選択中の画面メモを保護または保護を解除します。
- 保護を解除する場合は次の項目を選択します。

1件保護解除：選択中の画面メモの保護を解除します。
全件保護解除：フォルダ内の画面メモの保護をすべて解除します。
▶ch［はい］

フォルダ移動
画面メモを別のフォルダへ移動します。
1件移動：選択中の画面メモを1件移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶ch［選択］▶ch［はい］
選択移動：複数の画面メモを選択して移動します。
▶移動する画面メモにチェックを付ける▶i［実行］▶移動先のフォルダを選択▶ch［選択］▶ch［はい］
フォルダ内全件移動
：フォルダ内の画面メモをすべて移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶ch［選択］▶ch［はい］

ソート
保存日時、タイトルなど、条件を設定して画面メモを並べ替えます。
保存日時（新→旧）：保存した日時の新しい順に並べ替えます。
保存日時（旧→新）：保存した日時の古い順に並べ替えます。
タイトル（昇順）：タイトルを昇順に並べ替えます。
タイトル（降順）：タイトルを降順に並べ替えます。
保護／非保護順：保護→非保護の順に並べ替えます。
非保護／保護順：非保護→保護の順に並べ替えます。

URL表示／コピー
選択中の画面メモのURLを表示します。
- ch［OK］：画面メモ一覧画面に戻ります。
- i［コピー］：URLをコピーします。コピーできるのは半角で最大256文字です。

情報表示
選択中の画面メモのタイトル、保存日時、サイズ、URLを表示します。

削除
1件削除：選択中の画面メモを1件削除します。
▶ch［はい］
選択削除：複数の画面メモを選択して削除します。
▶削除する画面メモにチェックを付ける▶i［実行］▶ch［はい］
フォルダ内全件削除
：フォルダ内の画面メモをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶ch［はい］

お知らせ

ソート
- 「タイトル（昇順）」を選択した場合は、次の順番（「タイトル（降順）」を選択した場合は昇順の逆順）で並び替わります。
  ① 半角記号を含む半角英数字（ASCII順）
  ② 全角記号を含む全角文字（Shift-JIS順）
  ③ 半角カタカナ
  ④ 絵文字
  ⑤ 無題

画面メモ詳細画面の機能メニュー

1 画面メモ詳細画面（P166）▶ch［機能］▶次の操作を行う

タイトル編集
表示中の画面メモの名前を編集します。
▶画面メモの名前を編集

保護・保護解除
表示中の画面メモを保護または保護を解除します。

情報表示
表示中の画面メモのタイトル、保存日時、サイズ、URLを表示します。

削除
表示中の画面メモを削除します。
▶ch［はい］

Bookmark登録
表示中の画面メモをブックマークに登録します。「ブックマークに登録する」の操作2（P164）へ進みます。

Bookmark一覧
ブックマークフォルダ一覧画面を表示します。→P164

画像保存
画面メモに含まれている画像を保存します。「サイトやメッセージから画像を取得する」の操作2（P168）へ進みます。

URL表示／コピー
表示中の画面メモのURLを表示します。
- ch［OK］：画面メモ詳細画面に戻ります。
- i［コピー］：URLをコピーします。コピーできるのは半角で最大256文字です。

メール作成
画面メモのURLを本文に貼り付けて、iモードメールを作成します。「iモードメールを作成して送信する」の操作2（P182）へ進みます。

電話帳登録
画面メモに反転表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の 操作2（P97）へ進みます。

証明書表示
表示中の画面メモがSSLに対応している場合は、SSL証明書を表示します。

次のページへ続く

リトライ
表示中の画面メモに含まれているFlash画像やアニメーションを最初から再生します。

効果音設定
表示中の画面メモに含まれているFlash画像の効果音を再生するかどうかを設定します。→P170

文字コード変換
文字が正しく表示されていないときに、文字コードを変えて表示し直します。

お知らせ

保護
- 保護できる画面メモは最大15件です。保護できる件数は画面メモのデータ量によって異なります。

削除
- 保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

画像保存
サイトやメッセージから画像を取得する

表示中のサイト、メッセージR/Fや画面メモに含まれている画像をFOMA端末に保存します。
- 取得した画像は、「データBOX」内「マイピクチャ」の「ｉモード／その他」フォルダに保存されます。

1 サイト表示中／画面メモ詳細画面(P166)▶[ch][機能]▶「画像保存」

取得できる画像は点線で囲まれます。

2 取得する画像を選択▶[ch][保存]▶[ch][はい]▶「保存」▶「microSD」／「本体メモリ」▶ファイル名を入力

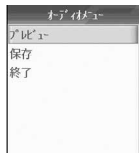
お知らせ
- 「画像表示設定」を「表示しない」に設定している場合は、保存できません。
- サイト上では表示されていても、FOMA端末に保存すると表示されない場合があります。
- 取得した画像は正しく表示されない場合があります。
- 横または縦の最大が176ドットを超えるプログレッシブJPEG形式の画像、総ドット数が176×144ドットを超えるプログレッシブJPEG形式※の画像は保存できません。

※：プログレッシブ JPEG 形式は、サイトやインターネットホームページなどで広く利用されている画像形式のひとつで、最初は画像全体が粗く表示され徐々に鮮明に表示されます。

■ お願い
FOMA端末の故障･修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万が一に備え、FOMA端末に保存した内容は、microSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管できます。

ｉメロディ
サイトからメロディをダウンロードする

- ダウンロードしたメロディは、「データBOX」内「メロディ」の「ｉモード／その他」フォルダに保存されます。

1 サイト表示中▶メロディを選択▶●
- プレビューを選択するとメロディを再生します。メロディ再生中の操作→P239

2 「保存」▶ファイル名を入力
- ファイル名の入力欄には、ダウンロードするメロディのファイル名が表示されます。

お知らせ
- 接続するサイトによっては、ダウンロードできない場合があります。
- ダウンロードしたメロディは正しく再生できない場合があります。
- ダウンロードしたメロディには、あらかじめ再生部分が指定されている場合があります。そのようなメロディは、再生するときはメロディのすべての部分が再生されますが、着信音などに設定したときは、指定部分だけが再生されます。

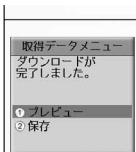
■ お願い
FOMA端末の故障･修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万が一に備え、FOMA端末に保存した内容は、microSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管できます。

テンプレートダウンロード

サイトからテンプレートをダウンロードする

- ダウンロードしたテンプレートは、「テンプレート一覧」(P186)に保存されます。

1 サイト表示中▶テンプレートを選択▶●

- プレビューを選択するとテンプレートを表示します。

2 「保存」▶ch[はい]▶ファイル名を入力

辞書ダウンロード

サイトから辞書をダウンロードする

- 最大10件保存できます。ただし、使用できる辞書は5件です。

1 サイト表示中▶辞書データを選択▶●

「ダウンロード辞書」に自動的に登録されます。

お知らせ

- 下記メーカーサイトから辞書をダウンロードできます。
http://motomobile.jp/
- ダウンロード辞書の使いかた→P302

キャラ電ダウンロード

サイトからキャラ電をダウンロードする

- ダウンロードしたキャラ電は、「データBOX」内「キャラ電」の「iモード/その他」フォルダに保存されます。

1 サイト表示中▶キャラ電を選択▶●

2 「保存」▶ファイル名を入力

- ファイル名の入力欄には、ダウンロードするキャラ電のファイル名が表示されます。

Phone To/Mail To/Web To/iアプリTo機能

Phone To/Mail To/Web To/iアプリTo機能を使う

サイトのページやメールなどに、電話番号、メールアドレス、URLが反転表示されている場合、これらを利用して簡単な操作で電話をかけたり、iモードメールの送信、インターネットホームページを表示したりできます。

Phone To/AV Phone To機能

サイトやメールに反転表示されている電話番号へ音声電話(Phone To)/テレビ電話(AV Phone To)をかけます。

1 電話番号を選択▶●▶ch[はい]

- ●/☎:音声電話をかけます。
- ●/📹:テレビ電話をかけます。

Mail To機能

サイトやメールに反転表示されているメールアドレスへiモードメールを送ります。

1 メールアドレスを選択▶●

- 「iモードメールを作成して送信する」の操作3(P182)へ進みます。

Web To機能

サイトやメールに反転表示されているURLのサイトに接続します。

1 URLを選択▶●▶ch[接続]

iアプリTo機能

サイトやiモードメールに反転表示されているURLからiアプリを起動します。

- iアプリの「ソフト設定」(P213)で、「ブラウザから起動」「メールから起動」「赤外線から起動」「バーコードから起動」を「許可しない」に設定している場合は、iアプリは起動しません。

1 iアプリの情報を選択▶●▶ch[はい]

お知らせ

共通

- パソコンなどから送信されたメールでは、Phone To、AV Phone To、Mail To、Web To機能を利用できない場合があります。

Phone To／AV Phone To機能

- サイトによっては、Phone To／AV Phone To機能を利用できない場合があります。

Mail To機能

- サイトによっては、Mail To機能を利用できない場合があります。
- メールアドレスが正しく入力されていないときは、正しいメールアドレスに修正してからメールを送信してください。

Web To機能

- サイトによっては、Web To機能を利用できない場合があります。
- URLの表示はサイトによって異なります。
- URL以外の反転された情報を使ってWeb To機能を利用できる場合があります。

iアプリTo機能

- iアプリTo機能でサイトからすぐに起動するソフトには、保存できないものがあります。

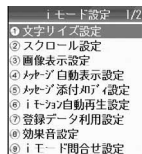
iモード設定

iモードの設定を行う

お買い上げ時	文字サイズ設定（iモード／メッセージ）：標準 スクロール設定：1行 画像表示設定：表示する 登録データ利用設定：利用する 効果音設定：再生する

iモードやメッセージR/Fの機能を設定します。

1 iモードメニュー画面(P160)▶「iモード設定」

iモード設定 1/2
① 文字サイズ設定
② スクロール設定
③ 画像表示設定
④ メッセージ自動表示設定
⑤ メッセージ添付メロディ設定
⑥ iモーション自動再生設定
⑦ 登録データ利用設定
⑧ 効果音設定
⑨ iモード問合せ設定

iモード設定画面

2 次の操作を行う

文字サイズ設定
サイト、画面メモ、メッセージR/Fの本文に表示される文字サイズを設定します。
▶「iモード」／「メッセージ」▶「大きめ」／「標準」／「小さめ」

スクロール設定
サイト、画面メモ、メッセージR/Fの本文で画面をスクロールするときの行数を設定します。
▶「1行」／「3行」／「5行」／「1/2ページ」／「1ページ」

画像表示設定
サイトや画面メモなどに含まれている画像やFlash画像を表示するかどうかを設定します。
▶「表示する」／「表示しない」

メッセージ自動表示設定
メッセージR/Fの自動表示のしかたを設定します。
→P172

メッセージ添付メロディ設定
メッセージR/Fを表示したときにメロディを自動再生するかどうかを設定します。→P172

iモーション自動再生設定
サイトやメールからiモーションを取得したとき、iモーションを自動再生するかどうかを設定します。→P176

登録データ利用設定
サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する場合、FOMA端末の情報を利用する場合があります。その場合に、端末情報データを利用するかどうかを設定します。
▶「利用する」／「利用しない」

効果音設定
サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際、効果音を鳴らすかどうかを設定します。
▶「再生する」／「再生しない」

iモード問合せ設定
「iモード問合せ」をするときに、問い合わせる項目（メール、メッセージR/F）を選択します。
▶問い合わせたい項目にチェックを付ける▶i [完了]

接続待ち時間設定
サイトが混み合っていて応答がなかったときなど、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。→P171

接続先設定
iモード（ドコモ）以外のサービスを受けるときに使う接続先（APN）の設定をします。登録した接続先に変更したときはiモードが利用できなくなります。→P171

証明書センター接続先設定
ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。→P175

証明書設定
SSL証明書の内容を確認したり、有効／無効を設定します。→P174

ユーザ証明書操作
ユーザ証明書の発行申請からダウンロードするまでの操作をします。→P174

ｉモード設定確認
ｉモード設定の設定内容を確認します。

ｉモード設定リセット
ｉモード設定の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
▶端末暗証番号を入力▶[はい]

お知らせ

画像表示設定
- 「表示する」に設定しても、正しく表示されない場合があります。その場合は が表示されます。

登録データ利用設定
- 「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、着信音量設定、バイリンガル設定、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

効果音設定
- 「再生する」に設定しても、Flash 画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

ｉモード設定リセット
- リセットすると、「接続先設定」で設定した接続先は解除され、「ｉモード（FOMAカード）」に設定されます。
- ｉモード通信中は設定できません。

接続待ち時間設定
接続待ち時間を設定する

お買い上げ時	60秒間

サイトが混み合っていて応答がなかったときなど、自動的に接続を中止するまでの時間を設定します。

1 ｉモード設定画面（P170）▶「接続待ち時間設定」

2 「60秒間」／「90秒間」／「無制限（設定なし）」
- 「無制限（設定なし）」に設定すると自動的には中止しません。

お知らせ
- 「無制限（設定なし）」に設定しても、電波状況などにより切断される場合があります。
- ｉモード通信中は設定できません。

接続先設定
ｉモードから接続先を変更する

お買い上げ時	ｉモード（FOMAカード）

ドコモのｉモードサービスを利用する場合、設定を変更する必要はありません。
ｉモード（ドコモ）以外のサービスを受けるときに使う接続先（APN）の設定をします。登録した接続先に変更したときはｉモードやｉモードメールは利用できなくなります。

接続先を登録する

1 ｉモード設定画面（P170）▶「接続先設定」

2 「[未登録]」▶[編集]▶端末暗証番号を入力▶次の操作を行う

接続先名称
接続先の名称を、全角10文字、半角20文字以内で入力します。
▶ 接続先の名称を入力

接続先番号
接続先の番号を、半角英数字99文字以内で入力します。
▶ 接続先番号を入力

接続先アドレス1
接続先のアドレスを、半角英数字30文字以内で入力します。
▶ 接続先のアドレスを入力

接続先アドレス2
「接続先アドレス1」に入力したアドレスが自動的に入力されます。ｉチャネルの接続先を変更する場合は、半角英数字38文字以内で入力します。
▶ 接続先のアドレスを入力

3 [完了]

接続先を変更／削除する

1 ｉモード設定画面（P170）▶「接続先設定」

■ **接続先を削除する場合**
削除する接続先を選択し、[削除]▶端末暗証番号を入力▶[はい]を押します。

■ **接続先を変更する場合**
変更したい接続先を選択し、●を押します。

次のページへ続く

お知らせ

- ｉモード通信中は設定できません。
- 「ｉモード」以外の接続先に接続した場合のパケット通信はパケ･ホーダイの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- 接続先を変更した場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。情報が自動更新されるか、待受画面で[ch]［ｉチャネル］を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- 設定中の接続先を削除すると、「ｉモード（FOMAカード）」が接続先に設定されます。

メッセージ受信

メッセージを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メッセージR、メッセージFがｉモードセンターから自動的に送られてきます。メッセージR/Fを受信すると画面表示や着信音、バイブレータなどでお知らせします。

- メッセージRは最大20件、メッセージFは最大15件保存できます。ただし、保存可能件数はデータ量により異なります。

新着メッセージを表示する

メッセージR/Fが届くと、最新の1件が自動的に表示されます。

- メッセージR/Fを受信した後に、詳細画面を自動表示するかどうかなどを「メッセージ自動表示設定」で変更できます。→P172

1 メッセージR/Fが届くと、自動的に受信する

- メッセージR受信中は[R]（黄色）、メッセージF受信中は[F]（黄色）が点滅します。
- 受信完了後、メッセージR/Fの受信結果が表示されます。
- 何も操作しないで約15秒経過すると、元の画面に戻ります。

メッセージ自動表示設定

メッセージを自動的に表示する

お買い上げ時	メッセージR優先

メッセージR/Fを受信したときの自動表示のしかたを設定します。

1 ｉモード設定画面(P170)➡「メッセージ自動表示設定」➡次の操作を行う

メッセージR優先：メッセージR/Fを同時に受信したときに、メッセージRを自動表示します。

メッセージRのみ：メッセージRのみ自動表示します。

メッセージF優先：メッセージR/Fを同時に受信したときに、メッセージFを自動表示します。

メッセージFのみ：メッセージFのみ自動表示します。

自動表示しない：自動表示しません。

メッセージ添付メロディ設定

メッセージ表示時のメロディの自動再生を設定する

お買い上げ時	自動再生する

メッセージR/Fを表示したときにメロディを自動再生するかどうかを設定します。

1 ｉモード設定画面(P170)➡「メッセージ添付メロディ設定」➡「自動再生する」／「自動再生しない」

ｉモード問合せ

メッセージがあるかどうか問い合わせる

FOMA端末が圏外などで受信できなかったメッセージは、ｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに問い合わせると、保管されているメッセージを受信できます。

- FOMA端末が圏外のときは、問い合わせできません。
- ｉモードセンターに問い合わせる項目（メール、メッセージR/F）は、「ｉモード問合せ設定」（P199）で設定できます。

1 [✉]を2回連続で押す

問い合わせが完了すると、受信結果画面が表示されます。

2 「メッセージR」／「メッセージF」

お知らせ

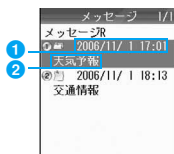
- ｉモードセンターで保管されるメッセージR/Fの保管件数、保管期間→P159
- 次のような場合にメッセージR/Fを受信したときは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源OFFのとき
  - テレビ電話中
  - セルフモード設定中
  - 圏外のとき
  - FirstPassセンター接続中
  - FOMA端末のメッセージR/Fが一杯のとき

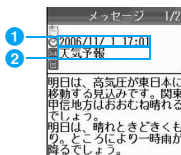
メッセージR／メッセージF

メッセージBOXのメッセージを表示する

ｉモードセンターからメッセージR/Fが届くと、画面の上部に[R]（黄色）、[F]（黄色）が表示されます。

1 iモードメニュー画面(P160)▶「メッセージR」／「メッセージF」

- [ソート]：メッセージを並び替えて表示します。→P173

例：メッセージR一覧画面

2 メッセージを選択▶●

例：メッセージR詳細画面

❶受信した日時
❷件名

■メッセージR/F一覧画面／詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
	未読のメッセージR/F
	既読のメッセージR/F
	FOMAカード動作制限機能が設定されている添付ファイル
	画像が添付されているメッセージR/F
	メロディが貼り付けられている、または添付されているメッセージR/F
	保護されているメッセージR/F

メッセージR/Fを並べ替える

1 メッセージR/F一覧画面(P173)▶ [ソート]

受信日時（新→旧）
受信した日時の新しい順に並べ替えます。

受信日時（旧→新）
受信した日時の古い順に並べ替えます。

件名（昇順）
件名を昇順に並べ替えます。

件名（降順）
件名を降順に並べ替えます。

お知らせ

- 「件名（昇順）」を選択した場合は、次の順番（「件名（降順）」を選択した場合は昇順の逆順）で並び替わります。
  ① 半角記号を含む半角英数字（ASCII順）
  ② 全角記号を含む全角文字（Shift-JIS順）
  ③ 半角カタカナ
  ④ 絵文字

メッセージR/F一覧画面の機能メニュー

1 メッセージR/F一覧画面(P173)▶メッセージを選択▶ [機能]▶次の操作を行う

検索
条件を設定してメッセージを検索します。
未読検索：未読のメッセージのみ検索します。
既読検索：既読のメッセージのみ検索します。
保護検索：保護されているメッセージのみ検索します。
添付あり検索
：ファイルが添付されているメッセージのみ検索します。
- 再検索／検索状態を解除する場合は、検索後の一覧画面で [機能]▶「検索」を選択します。

保護・保護解除
メッセージを保護または保護を解除します。
- 保護を解除する場合は次の項目を選択します。

1件保護解除：選択中のメッセージの保護を解除します。
全件保護解除：メッセージの保護をすべて解除します。
▶ [はい]

削除
1件削除：選択中のメッセージを削除します。
▶ [はい]
選択削除：複数のメッセージを選択して削除します。
▶削除するメッセージにチェックを付ける▶ [実行]▶ [はい]
全件削除：メッセージ一覧のメッセージをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶ [はい]

メッセージR/F詳細画面の機能メニュー

1 メッセージR/F詳細画面(P173)▶ [機能]▶次の操作を行う

保護・保護解除
表示中のメッセージを保護または保護を解除します。

画像保存
メッセージに含まれている画像を保存します。「サイトやメッセージから画像を取得する」の操作2（P168）へ進みます。

添付ファイル確認
表示中のメッセージに添付されているファイルを一覧表示します。→P190

画像再読み込み
取得に失敗した画像を再読み込みします。

次のページへ続く

電話帳登録

メッセージに反転表示されているURLや電話番号、メールアドレスを電話帳に登録します。「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の 操作2（P97）へ進みます。

削除

表示中のメッセージを削除します。

▶ [はい]

お知らせ

保護

- メッセージRは最大20件、メッセージFは最大15件まで保護できます。

画像再読み込み

- 再読み込みをしても、画像を表示できない場合があります。

削除

- 保護されているメッセージは削除できません。

証明書設定

SSL証明書を操作する

お買い上げ時	すべて有効

SSL証明書の内容を確認したり、有効／無効を設定します。

1 iモード設定画面（P170）▶「証明書設定」

証明書設定画面

2 有効に設定したい証明書にチェックを付ける

- [詳細]：選択中の証明書の内容を表示します。

3 [完了]

■ SSL通信で使用する証明書について

証明書

認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。

ドコモ証明書

FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色／白色）内に保存されています。

ユーザ証明書

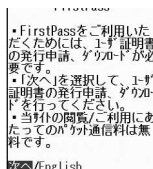
iモードメニュー内「iモード設定」の「ユーザ証明書操作」を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード（緑色／白色）内に保存されます。

ユーザ証明書操作

FirstPassの設定を行う

FirstPassセンターに接続してユーザ証明書の発行やダウンロードができます。
ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスをご契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、クライアント認証に対応しているサイトでご利用になれます。

- FOMAカード（青色）ではご利用になれません。
- FirstPassセンターに接続するには、日付、時刻設定が必要です。→P48
- FirstPass センターで表示されている画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信、メッセージR/Fの受信はできません。
- 海外では、FirstPassはご利用になれません。

1 iモード設定画面（P170）▶「ユーザ証明書操作」

ユーザ証明書操作画面

2 内容を確認▶「次へ」

3 「証明書発行」▶●

■ **失効申請をする場合**

「その他」を選択し、「証明書失効」を選択します。PIN2コードを入力し、画面の指示に従って操作します。

4 内容を確認▶「実行」▶●▶PIN2コードを入力

5 メッセージを確認▶「ダウンロード」▶内容を確認▶「実行」

- すぐにユーザ証明書をダウンロードしない場合は「メニュー」を選択します。SSLページを終了するかどうかを確認する画面が表示されます。[はい]を押して「FirstPassセンターのサイト画面」に戻ります。

ユーザ証明書操作画面の機能メニュー

1 ユーザ証明書操作画面（P174）▶[ch][機能]▶次の操作を行う

証明書表示
SSL通信で取得した証明書を表示します。

文字コード変換
文字が正しく表示されていないときに、文字コードを変えて表示し直します。

お知らせ

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- FirstPass対応サイトへのアクセスに発生するパケット通信料はパケ・ホーダイに含まれます。
- ユーザ証明書を新規で発行する場合も、更新で発行する場合も、必ず発行申請をした後にダウンロードを行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。
- ユーザ証明書の失効申請が完了すると、そのユーザ証明書が必要なFirstPass対応サイトを表示できなくなります。

証明書センター接続先設定

証明書発行接続先を変更する

お買い上げ時	ドコモ

通常は設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

1 iモード設定画面（P170）▶「証明書センター接続先設定」

- 登録済みの接続先に設定したい場合は「ユーザー指定接続先」を選択します。

■ 登録済みの接続先を削除する
「ユーザー指定接続先」▶[iα]［削除］▶端末暗証番号を入力▶[ch]［はい］を押します。

2 「[未登録]」▶[ch][編集]▶端末暗証番号を入力▶次の操作を行う

接続先名称
接続先の名称を、全角で49文字、半角99文字以内で入力します。
▶接続先の名称を入力

接続先アドレス
接続先のアドレスを、半角英数字100文字以内で入力します。
▶接続先のアドレスを入力

3 [iα][完了]

お知らせ

- iモード通信中は設定できません。

■ FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証ができます。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。
  PIN2コード入力後になされたすべての行為はお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に不正に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行えます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関して保証するものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

iモーションとは

iモーションとは映像と音が含まれる動画データです。iモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み、再生したり、保存してスクリーンセーバーや着信音などに設定できます。

iモーションのタイプ

iモーションには、大きく分けて次の2つのタイプがあります。本FOMA端末は標準タイプのiモーションにのみ対応しています。ストリーミングタイプのiモーションは取得できません。

■ 標準タイプ
標準タイプには次の2つの形式があります。
① 取得後に再生可能な形式（最大500Kバイトまで）
② 取得しながら再生可能な形式（最大500Kバイトまで）

- iモーションによっては、標準タイプでも保存できない場合があります。

次のページへ続く

■ ストリーミングタイプ（本FOMA端末では対応していません。）
データを取得しながら同時に再生するタイプで、最大2Mバイトのｉモーションを再生できます。再生が終了したデータは破棄されるため、FOMA端末に保存できません。

お知らせ

- 取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式です。ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。
- ｉモーション再生中に早送り／巻戻しをすると、音声のみ再生され画像が正しく表示されない場合があります。

ｉモーション取り込み

サイトからｉモーションを取得する

ｉモーションは最大1000件まで保存できます。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。

- 取得したｉモーションは、「データBOX」内「ｉモーション」の「ｉモード／その他」フォルダに保存されます。

1 サイト表示中▶ｉモーション を選択▶◉

- 「ｉモーション自動再生設定」を「自動再生する」に設定している場合は、取得した後に自動的にｉモーションが再生します。再生終了後ｉモーションメニューが表示されます。再生中の操作→P231

再生・プレビュー：ｉモーションを再生します。
保存：ｉモーションを保存します。操作2へ進みます。
情報表示詳細：ｉモーションの名前やサイズ、種別などの情報を表示します。→P234
終了：サイト表示画面に戻ります。

2 「保存」

■「ｉモーション自動再生設定」を「自動再生する」に設定している場合
[はい]▶「microSD」／「本体メモリ」を選択します。取得したｉモーションのファイル名で保存されます。

■「ｉモーション自動再生設定」を「自動再生しない」に設定している場合
「microSD」／「本体メモリ」▶ファイル名を入力します。
- ファイル名の入力欄にはダウンロードするｉモーションのファイル名が表示されます。

お知らせ

- 接続するサイトやｉモーションによっては、取得またはデータ取得中の再生ができない場合があります。
- データを取得しながら再生する場合、電波状況などにより再生が停止したり、画像が乱れたりすることがあります。
- ｉモーションによっては、取得したデータをFOMA端末に保存できない場合があります。
- ｉモーションには再生制限が設定されているものがあります。再生回数、再生期間、再生期限のいずれかに制限があるｉモーションは が表示されます。再生できる期間が制限されているｉモーションは、期間前や期間後には再生できません。
- 取得したｉモーションによっては、正しく再生できない場合があります。
- FOMA端末の保存容量が不足している場合は、保存されているファイルを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。[はい]▶フォルダを選択▶[選択]▶削除するファイルにチェックを付ける▶[完了]▶[はい]を押します。

■ お願い
FOMA端末の故障･修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万が一に備え、FOMA端末に保存した内容は、microSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管できます。

テロップに反転表示がある場合

テロップが設定されているｉモーションの場合、再生中にテロップが表示されます。反転表示されている電話番号、メールアドレス、URLを選択してPhone To、AV Phone To、Mail To、Web To機能を利用できます。

1 ｉモーション再生終了後▶[はい]

■ ｉモーション再生中に利用する場合
ｉモーションを一時停止してPhone To、AV Phone To、Mail To、Web To機能を利用します。ｉモーション再生中▶◉／Ⓞ／▶◉▶[はい]を押します。

ｉモーション自動再生設定

ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する

お買い上げ時	自動再生する

サイトやメールからｉモーションを取得したとき、ｉモーションを自動再生するかどうかを設定します。

1 ｉモード設定画面（P170）▶「ｉモーション自動再生設定」▶「自動再生する」／「自動再生しない」

メール

ｉモードメール／デコメールを作成する

ｉモードメールを受ける・操作する

メールBOXを操作する

メールの設定を行う

チャットメールを使う

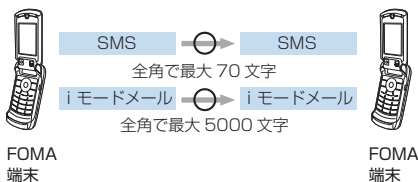
SMS（ショートメッセージ）を使う

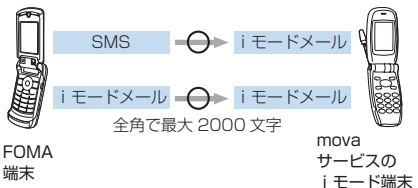
FOMA端末のメール機能について

FOMA端末では、ｉモードメール、SMSの2種類のメール機能を利用できます。

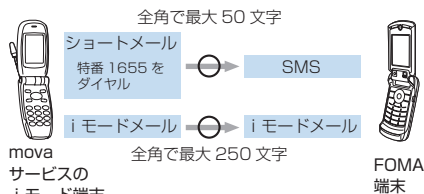
- ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
- SMSは、ｉモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

メールの送受信について

FOMA端末→FOMA端末へ

FOMA端末→movaサービスのｉモード端末へ

FOMA端末から送信したSMSは、movaサービスのｉモード端末でｉモードメールとして受信されます。

- 「SMS送達通知設定」を「ON」に設定している場合は、movaへ送信できません。

movaサービスのｉモード端末→FOMA端末

movaサービスのｉモード端末から送信したショートメール※は、FOMA端末のSMSで受信できます。

※：ショートメールとは、movaサービスの携帯電話で文字メッセージをやりとりできるサービスです。

ｉモードメールとは

ｉモードを契約すると、ｉモード端末（mova端末含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。ｉモードご契約時のメールアドレスは次のとおりです。

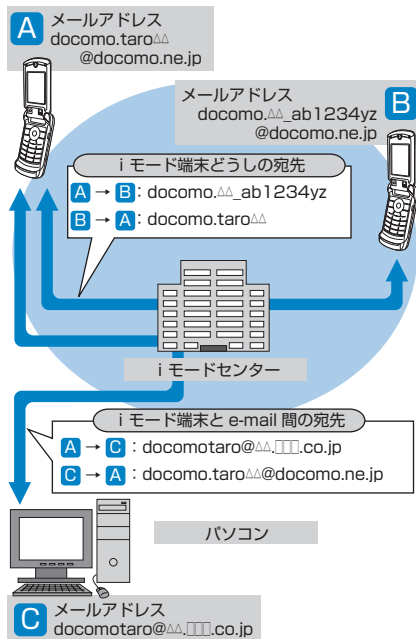
<新規にｉモードをご契約の場合>

@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっています。ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。

（例）abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

お客様のメールアドレスの確認方法

「ｉMenu」→「料金＆お申込・設定」→「メール設定」→「アドレス確認」

- ｉモード端末（mova端末含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信できます。
- パソコンなどからFOMA端末にメールを送信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。

- メールの送信方法→P182
- メールの受信方法→P188

■ メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除したりすることができます。→P188

メール設定を行う

次の各種設定ができます。
<設定方法>

「i Menu」→「料金＆お申込・設定」→「メール設定」→【各設定】

- 詳細は i モードご契約時にお渡しいたします『ご利用ガイドブック（i モード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ メールアドレス変更【メールアドレス設定（アドレス変更）】
たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの@マークより前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。

■ メールアドレス確認【メールアドレス設定（アドレス確認）】
現在設定されているメールアドレスを確認できます。

■ シークレットコード登録【メールアドレス設定（その他設定）→シークレットコード登録】
「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のメールアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードが付いたメール以外は受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ メールアドレスリセット【メールアドレス設定（その他設定）→アドレスリセット】
メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

■ 迷惑メール対策
次のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

① 受信／拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）→受信／拒否設定】
- ドコモ、au、ソフトバンク、ツーカー、ウィルコムのうち、指定する会社からのメールを受信できます。
- 上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインまたはアドレスから受信できます（インターネットからの携帯、PHSドメインになりすましたメールを拒否することができます）。

② SMS拒否設定【メール受信設定（迷惑メール対策）→SMS拒否設定】
- 受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMS及び国際SMS拒否」の4つの中からいずれか1つを選択できます。また、設定の状況を確認できます。

③ i モードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定（その他設定）→ i モードメール大量送信者からのメール受信制限】
- 1日に1台の i モード端末（mova端末含む）から送信される200通目以降の i モードメールを拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

④ 未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）→ 未承諾広告※メール拒否】
- 受信者の同意なしに一方的に広告、宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません（送信者はメール件名欄の最前部に「未承諾広告※」（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています）。

■ メールサイズ制限【メール受信設定（メールサイズ制限）】
あらかじめ指定したサイズによって、受信する i モードメールを制限できます。

■ 設定状況確認【メール受信設定（設定状況確認）】
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■ メール機能停止【メール機能停止】
メール機能を利用しない場合、i モードセンターでのメール機能停止ができます。

送受信できる文字数

i モードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
件名	15文字	30文字
宛先	−	50文字
本文	5000文字	10000文字

お知らせ

- i モードメールの本文は全角最大5000文字（10000バイト）送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数は少なくなります。
- i モードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- mova端末へ i モードメールを送信する場合、本文として送信できるのは全角で最大2000 文字です。また、i ショット、i モーションメールはURLが記載されたメールとして送信され、それ以外の添付ファイルは削除されます。
- 件名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- 他の携帯電話会社（au／ソフトバンク／ツーカー）に絵文字入りの i モードメールを送ると、自動的に送信先の類似絵文字に変換されます。
  - 送信先の携帯電話の機種、機能により、正しく表示されない場合があります。
  - 送信先に該当する絵文字がない場合は、文字または「=」に変換されます。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合やｉモード圏外などで受信できないときは、メールはｉモードセンターに保管されます。
ｉモードセンターに保管されたメールは、一定の時間をおいて最大3回再送されます。また、メール選択受信設定により、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを選択して受信できます。

- ｉモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

	最大保管件数	最大保管期間
ｉモードメール	207～1000件（約10Mバイトまで）	720時間

- 保管期間が過ぎたメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。最大保管件数を超えた場合、ｉモード端末には（赤色）が表示されます。このときｉモードセンターではメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。メール選択受信設定が「ON」に設定されている場合でも、最大保管件数を超えると（赤色）が表示されます。
- ｉモードセンターに保管されているメールは、「ｉモード問合せ」「メール選択受信」により受信できます。また、新しいメールが届いたときは、保管されている他のメール、メッセージも合わせて受信できます。
- メールを受信するとｉモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはｉモード端末に保存されます。→P188
- 極端に容量の大きいメールはｉモードセンターで受け付けない場合があります。

こんなこともできます

■ ファイル添付メール

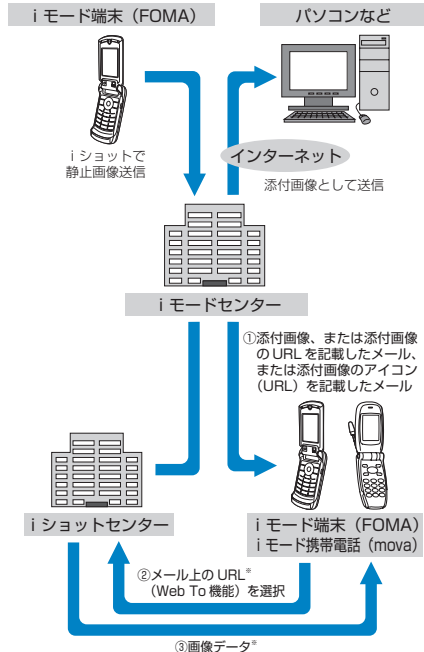
メロディ添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます。ただし、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディファイルは送信できません。
送信する→P187　受信したとき→P191

画像添付メール

サイト、インターネットホームページまたは外部メモリから取得した静止画ファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます。ただし、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。
送信する→P187　受信したとき→P190

■ ｉショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画を添付ファイルとして、ｉモード端末（mova端末含む）およびパソコンや他社携帯電話との間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式、または画像閲覧用URL（またはアイコン）に画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを選択することで画像を取得できます。
movaサービスのｉモード端末に送信できるメール本文は、全角で184文字（369バイト）までです。複数のファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ送信されます。
送信する→P187　受信したとき→P190

※：添付画像のURLを記載したメールを受信した場合

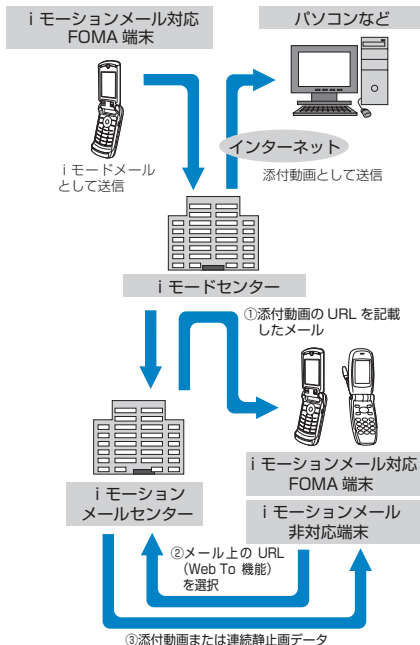
- ｉショットセンターでは最大10日間画像が保管され、保管期間を過ぎると自動的に削除されます。
- ｉモード端末が送信できるのは、最大500Kバイトの静止画です。20Kバイトより大きい画像を添付してｉモード端末に送信した場合、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

■ ｉモーションメール

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画や、サイトから取得した動画をｉモーションメール対応端末、パソコン、他社携帯電話との間で送受信できます。ただし、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません。
送信する→P187　受信したとき→P191

サービスのしくみ

- ｉモーションメールに添付された動画ファイルは、ｉモーションメールセンターに送信され、保存されます。送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます。ｉモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを選択して動画を取得できます。

- ｉモーションメール非対応端末に送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLが記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選択し、連続静止画を取得します。

- ｉモーションメールセンターでは最大 10 日間動画が保管され、保管期間を過ぎると自動的に削除されます。
- ｉモーションメール対応端末が受信できるのは、最大500Kバイトの動画です。取得した動画は、ｉモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

■ デコメール

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信できます。ただし、パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります。デコメールを非対応端末に送信した場合は、URLが記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを選択し、デコメールを閲覧できます。

編集・送信方法→P184

- 対応機種・・・デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

■ メール同報送信

同じｉモードメールを、一度に複数の宛先（最大5件）に送信できます。→P182

- 通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。

■ CC、BCC送受信

パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTo、Cc、Bccから選択できます。ただし、Toが1件もないメールは送信できません。

→P183

■ チャットメール

複数の相手と会話をするような感覚でメールを交換できます。→P201

- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、メール同報送信の場合と同じです。

SMS（ショートメッセージ）について

ｉモードを契約しなくても、携帯電話番号のみで文字メッセージを送受信できます。

送信方法→P203　受信方法→P204　問い合わせ方法→P204

SMS（ショートメッセージ）の宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

- ドコモ以外の海外通信事業者とお客様との間で送受信を行う場合の宛先は、ドコモのホームページをご覧ください。

送受信できる文字数

SMSで送受信できる文字数は次のとおりです。

宛先	20文字（「＋」を含む）
SMS本文入力設定	全角入力（70文字）
	半角英数入力（160文字）
	半角カタカナ入力（70文字）
	全角／半角混在入力（70文字）

SMS（ショートメッセージ）を受信できないとき

SMSセンターに届いたSMSは、すぐにお客様のFOMA端末に送信されます。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで受信できないときは、SMSセンターに保管されます。

お知らせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。発信元が保管期間を指定することもできます。→P199
- 保管期間が過ぎたSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、「SMS問合せ」により受信できます。→P204
- SMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。

メールメニュー

メールメニューを表示する

1 [メールキー]

メールメニュー画面

2 次の操作を行う

受信BOX
受信BOX一覧画面を表示します。→P191

送信BOX
送信BOX一覧画面を表示します。→P192

未送信BOX
未送信BOX一覧画面を表示します。→P192

メール新規作成
iモードメールを新規に作成します。→P182

SMS新規作成
SMS（ショートメッセージ）を新規に作成します。→P203

チャットメール
チャットメール画面を表示します。→P202
- チャットメンバーが設定されていない場合は、メンバー設定画面が表示されます。→P201

デコメールテンプレート
テンプレートの新規作成画面、保存されているテンプレートの一覧を表示します。→P186

タスクメニュー
電話帳、スケジュールなど他の機能を呼び出します。→P258

iモード問合せ
iモード問い合わせを行って、iモードセンターに保管されているiモードメールを受信します。→P189

SMS問合せ
SMS問い合わせを行って、SMSセンターに保管されているSMSを受信します。→P204

メール選択受信
iモードセンターに保管されているiモードメールの題名などを確認し、受信するiモードメールを選択したり、受信前にiモードセンターでiモードメールを削除できます。→P188

メール設定
メール機能を設定します。→P199

iモードメール作成／送信

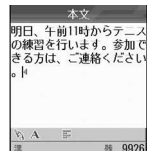
iモードメールを作成して送信する

1 メールメニュー画面(P182)▶「メール新規作成」

iモードメール作成画面

2 [To][宛先]欄を選択▶[●]▶宛先を入力
- 半角で50文字まで入力できます。
- 宛先を入力すると、新しい[To][宛先]欄が自動的に追加され、複数の相手に送信できます。宛先は5件まで入力できます。
- [To][宛先]欄を選択▶[ch]［機能］を押して、電話帳や送信グループから宛先を入力できます。→P183

3 [Sub][件名]欄を選択▶[●]▶件名を入力
- 全角で15文字、半角で30文字まで入力できます。

4 [本文][本文]欄を選択▶[●]▶本文を入力
- 全角で最大5000文字、半角で最大10000文字入力できます。

メール本文入力画面

5 [iα][送信]

お知らせ

- 本文をデコレーションしたい場合→P184
- ファイルを添付して送信したい場合→P187
- 本文編集中に改行ができます。改行は全角1文字分としてカウントされます。
- スペースを挿入した場合、半角1文字分としてカウントされます。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- iモード端末どうしのメールのやりとり以外では、半角カタカナ、絵文字を使用すると、正しく表示されない場合があります。
- シークレットコードが設定されている宛先を入力した場合は、送信するときに自動的にシークレットコードが追加されます。ただし、送信したメールの宛先には追加されたシークレットコードは表示されません。

- 送信BOX、未送信BOXに保存されているメールが最大保存件数まで保存されているときにｉモードメール作成画面を表示すると、保護されていない日付の古い送信済みメールから順番に上書きされます。
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。

ｉモードメール作成画面の機能メニュー

1 ｉモードメール作成画面(P182)▶[機能]▶次の操作を行う

電話帳引用
宛先を電話帳から選択します。
▶で電話帳を選択▶で設定したいメールアドレスを選択しチェックを付ける▶[完了]

送信グループ引用
宛先を送信グループから選択します。
▶でグループを選択▶設定したい宛先にチェックを付ける▶[完了]

直接入力
宛先を直接入力します。
▶メールアドレスを入力

送信
メールを送信します。

保存
作成中、編集中のメールを未送信BOXに保存します。
▶[はい]

テンプレート選択
テンプレートを読み込んでデコメールを作成します。
→P186

Toに変更
選択中の宛先をToに変更します。通常の宛先で、入力したメールアドレスは送信相手に表示されます。

Ccに変更
選択中の宛先をCcに変更します。直接の送信相手以外にメール内容を知らせたいときに指定します。Ccに入力したメールアドレスは、他の送信相手に表示されます。
- 受信側の端末や機器、メールソフトによっては、メールアドレスが表示されない場合があります。

Bccに変更
選択中の宛先をBccに変更します。他の送信相手に知られたくないときに指定します。Bccに入力したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。

宛先削除
選択中の宛先を削除します。
▶[はい]

お知らせ

送信グループ引用
- 「メールアドレスを送信グループに登録する」→P200

テンプレート選択
- 既に本文が入力されている場合は、本文を削除するかどうかを確認する画面が表示されます。テンプレートを挿入する場合は[はい]を押します。

Toに変更／Ccに変更／Bccに変更
- 一番上に表示されている宛先、メールアドレスが入力されていない宛先は変更できません。

メール本文入力画面の機能メニュー

1 メール本文入力画面(P182)▶[機能]▶次の操作を行う

デコレーション
パレットを表示します。→P185

デコレーション全解除
すべてのデコレーションを解除します。
▶[はい]

テンプレート
テンプレートを利用してデコメールを作成します。
→P186

コピー
本文中の文字やデコレーションを選択してコピーします。
→P301

切り取り
本文中の文字やデコレーションを選択して切り取ります。
→P301

貼り付け
「コピー」「切り取り」した文字などを本文に貼り付けます。
→P301

元に戻す
文字の入力や削除、貼り付け、デコレーションなどを1つ前の状態に戻します。

引用

署名：署名を本文に入力します。
▶署名を選択▶●

電話帳引用
：電話帳からメールアドレスを選択し、本文に入力します。
▶で電話帳を選択▶で設定したいメールアドレスを選択しチェックを付ける▶[完了]

自局情報引用
：個人データから自局番号を本文に入力します。
▶端末暗証番号を入力▶[挿入]

Bookmark引用
：Bookmarkに登録されているURLをメール本文に入力します。
▶フォルダを選択▶●▶ブックマークを選択▶●

次のページへ続く

定型文
定型文を選択して、本文に入力します。

▶定型文を選択▶ [選択] ▶文章を選択▶ [選択] ▶ [選択]

入力モード選択
入力モードを切り替えます。→P296

入力設定
予測変換機能、文字入力の設定を行います。

日本語予測：日本語の予測変換（ワード予測／つながり予測）機能を設定します。→P299
英語入力設定：英語の入力方法と予測変換（ワード予測／つながり予測）機能を設定します。→P299
自動カーソル：文字を自動で確定するかどうかを設定します。→P299
全角／半角設定：全角／半角を切り替えます。→P300
初期設定：文字入力モードの初期設定を変更します。→P300

英語入力機能
「入力設定」の「英語入力設定」を一括してON／OFFに設定します。

▶「ON」／「OFF」

プレビュー
本文のプレビュー画面を表示します。
- [OK]：本文編集画面に戻ります。
- [保存]：デコメールテンプレートとして保存します。 [はい] ▶ファイル名を入力します。

お知らせ

プレビュー
- デコレーションが設定されていない場合は、デコメールテンプレートとして保存できません。

デコメール

デコメールを作成して送信する

iモードメールの本文編集では、文字の大きさや色、背景色を変更したり、画像を挿入するなどの装飾（デコレーション）を行って、オリジナルメールを作成できます。

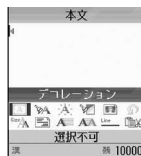
カーソルがあたっている箇所に設定されているデコレーション
本文入力画面

1 メールメニュー画面（P182）▶「メール新規作成」

2 宛先、件名を入力

- 宛先、件名の入力方法→「iモードメールを作成して送信する」の操作2、3（P182）

3 [本文]欄を選択▶●▶ [機能]▶「デコレーション」

- [本文入力]／[デコレーション]：パレットの操作と本文入力の操作を切り替えます。

パレット表示画面

4 パレットを操作して本文をデコレーションする

■デコレーションを選択してから文字を入力する場合
操作方法については「本文をデコレーションする」（P185）を参照してください。

■文字を入力してからデコレーションを設定する場合
操作方法については「デコレーションを変更する」（P185）を参照してください。

5 [閉じる]

■デコメールの内容を確認する場合
[機能] ▶「プレビュー」を選択します。

■作成したデコメールをテンプレートとして保存する場合
[機能] ▶「プレビュー」▶ [保存] ▶ [はい] ▶ファイル名を入力します。

■設定したデコレーションをすべて解除する場合
[機能]▶「デコレーション全解除」▶ [はい] を押します。

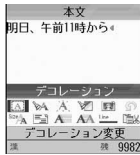
6 ●▶ [送信]

お知らせ

- デコメール対応 iモード端末以外とデコメールを送受信すると、デコレーションが正しく表示されない場合があります。
- デコレーションを設定した文字を削除しても、デコレーションデータのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。デコレーションの解除を行ってから文字を削除してください。CLRを1秒以上押して文字を削除した場合は、デコレーションデータも含めて文字が削除されます。
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを利用すると、画像が削除される場合があります。

本文をデコレーションする

1 メール本文入力画面(P182)▶ [機能]▶「デコレーション」▶次の操作を行う

- [本文入力]／[デコレーション]：パレットの操作と本文入力の操作を切り替えます。

(デコレーション変更)

デコレーションを設定する文字の範囲を選択します。
→P185

- 本文に文字が入力されていない場合は選択できません。

(文字色)

文字の色を設定します。

▶色を選択▶●▶文字を入力

(点滅開始)

文字を点滅表示させせます。

▶文字を入力

- 点滅を終了するには、 [デコレーション]▶ (点滅終了) を選択します。

(背景色)

メール本文の背景色を設定します。

▶色を選択▶●

(画像挿入)

「マイピクチャ」に保存されている画像をメール本文に挿入します。

▶フォルダを選択▶●▶画像を選択▶●

(元に戻す)

設定したデコレーションを1つ前の設定に戻します。

(文字サイズ)

文字のサイズを設定します。

▶ (大) ／ (標準) ／ (小)

(文字位置)

入力する文字、挿入する画像の位置を設定します。

▶ (左寄せ) ／ (センタリング) ／ (右寄せ)

(テロップ開始)

文字を右から左へテロップ表示します。

▶文字を入力

- と 間に入力した文字がテロップ表示します。
- テロップを終了するには、 [デコレーション]▶ (テロップ終了) を選択します。

(スウィング開始)

文字を左右にスウィング表示します。

▶文字を入力

- と 間に入力した文字がスウィング表示します。
- スウィングを終了するには、 [デコレーション]▶ (スウィング終了) を選択します。

Line (ライン挿入)

メール本文にラインを挿入します。

(コピー／切り取り／貼り付け)

(コピー)：範囲を指定して文字や画像、ラインなどをコピーします。
▶ で始点を選択▶ [始点] ▶ で終点を選択▶ [終点]

(切り取り)：範囲を指定して文字や画像、ラインなどを切り取ります。
▶ で始点を選択▶ [始点] ▶ で終点を選択▶ [終点]

(貼り付け)：コピー／切り取りしたデータをカーソルの後に貼り付けます。

お知らせ

デコレーション変更／コピー／切り取り

- 「テロップ」「スウィング」が設定されている文字を選択して「コピー」「切り取り」をしても、「テロップ」「スウィング」の設定は反映されません。

文字色

- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。通常の色に戻したい場合は、文字色設定で「指定なし」を設定してください。

点滅

- 設定した点滅を、プレビュー画面やｉモードメール作成画面などで表示した場合、一定の時間が経過すると点滅表示は終了します。

背景色

- デコメールの背景色によっては、画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なり、URLが見えない場合があります。

画像挿入

- メール本文と画像の合計が10000バイトまでとなるJPEGまたはGIF画像を10件まで挿入できます。
- 同じ画像を複数挿入した場合は、挿入件数を1件として扱います。ただし、残バイト数が挿入した画像のファイルサイズよりも小さい場合は挿入できません。
- 画像サイズが、QVGA（320×240）以上の画像は挿入できません。

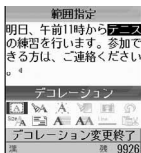
デコレーションを変更する

1 メール本文入力画面(P182)▶ [機能]▶「デコレーション」▶ (デコレーション変更)を選択

2 で始点を選択▶ [始点]

- [全選択]：全文を選択します。 [はい] を押します。
- [戻る]：始点を選択し直します。

次のページへ続く

3 で終点を選択▶ [終点]▶次の操作を行う

(デコレーション変更終了)
デコレーション変更を終了します。

(文字色)
範囲を指定した文字の色を設定します。
▶色を選択▶

(点滅設定・点滅解除)
範囲を指定した文字を点滅設定／点滅解除します。

(元に戻す)
設定したデコレーションを1つ前の設定に戻します。

(文字サイズ)
範囲を指定した文字のサイズを設定します。
▶(大)／(標準)／(小)

(文字位置)
範囲を指定した文字の位置を設定します。
▶(左寄せ)／(センタリング)／(右寄せ)

(テロップ設定・テロップ解除)
範囲を指定した文字をテロップ設定／テロップ解除します。

(スウィング設定・スウィング解除)
範囲を指定した文字をスウィング設定／スウィング解除します。

テンプレート

テンプレートを利用してデコメールを作成する

テンプレートとは、文字の大きさや画像挿入などのデコレーションが既に指定されているデコメール用のひな形データです。お買い上げ時に保存されている以外に、サイトからダウンロードしたテンプレートなども設定できます。

- お買い上げ時に登録されているテンプレート→P327

1 メール本文入力画面(P182)▶ [機能]▶「テンプレート」

- メール本文に文字が入力されている場合は、入力した文字を削除してテンプレートを挿入します。テンプレートを挿入する場合は [はい] を押します。

2 テンプレートを選択▶ [選択]

選択したテンプレートが本文に挿入されます。

- テンプレート挿入後も本文を編集できます。

テンプレートを新規に作成する

オリジナルのテンプレートを作成します。作成したテンプレートは「テンプレート一覧」に保存されます。

1 メールメニュー画面(P182)▶「デコメールテンプレート」▶「テンプレート新規作成」

テンプレート作成画面

2 テンプレートを作成する

- デコレーションの操作→P185

3 テンプレート作成後▶▶ [はい]▶ファイル名を入力

お知らせ

- 本文がデコレーションされていない場合は、テンプレートとして保存できません。

テンプレートを編集する

オリジナルのテンプレートや作成したテンプレートを編集します。

1 メールメニュー画面(P182)▶「デコメールテンプレート」▶「テンプレート一覧」

テンプレート一覧画面

2 テンプレートを選択▶ [機能]▶「テンプレート編集」▶テンプレートを編集する

- デコレーションの操作→P185

3 テンプレート編集後▶●

上書き保存：編集元のテンプレートに上書き保存します。

新規保存：編集したテンプレートを新規に保存します。
▶ファイル名を編集

テンプレート一覧画面の機能メニュー

1 テンプレート一覧画面(P186)▶テンプレートを選択▶ch[機能]▶次の操作を行う

テンプレート編集
テンプレートを編集します。→P186

メール作成
選択中のテンプレートをメール本文に挿入して、デコメールを作成します。→P184

プレビュー
選択中のテンプレートを表示します。

ファイル名変更
ファイル名を変更します。
▶ファイル名を変更

一件削除
選択中のテンプレートを削除します。
▶ch［はい］

全件削除
テンプレート一覧に保存されているテンプレートをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶ch［はい］

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているテンプレートを削除した場合は、「メール設定リセット」を行うと元に戻ります。→P199

添付ファイル

ファイルを添付する

ｉモードメールに画像やメロディを添付して送信します。

■添付可能なファイル

ファイルの種類	添付可能な最大件数
メロディ	合計10件※1
10000バイト以下の画像(JPEG、GIF)	
10000バイトを超える画像(JPEG)	どちらか1件※2
動画／ｉモーション	

※1：メロディと画像、本文をあわせたデータ量が10000バイト（全角5000文字分）までで最大10件です。ファイルのデータ量によって変動します。

※2：最大 500K バイトの画像もしくは動画／ｉモーションのどちらか1件のみ添付できます。メロディ、10000バイト以下の画像とは別に1件として数えます。

- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。
- 10000バイトを超えるJPEG形式の画像もしくはｉモーションを添付すると、本文に入力できる文字数が全角100文字分（半角200文字分）少なくなります。デコレーションしている場合は、全角200文字分（半角400文字分）少なくなります。

1 ｉモードメール作成画面(P182)▶ [添付]▶●▶次の操作を行う

イメージ添付
「マイピクチャ」に保存されている画像を選択します。
▶フォルダを選択▶●▶画像を選択▶●

ｉモーション添付
「ｉモーション」に保存されている動画／ｉモーションを選択します。
▶フォルダを選択▶●▶動画／ｉモーションを選択▶●

メロディ添付
「メロディ」に保存されているメロディを選択します。
▶フォルダを選択▶●▶メロディを選択▶●

フォト撮影
静止画を撮影して添付します。
▶静止画を撮影▶ch［挿入］
- iα［撮り直し］：静止画を撮影し直します。

ムービー撮影
動画を撮影して添付します。
▶動画を撮影▶ch［挿入］
- iα［撮り直し］：動画を撮影し直します。

お知らせ

イメージ添付
- GIF画像はmovaサービスのｉモード端末では受信できません。
- 500Kバイトを超える画像は添付できません。

ｉモーション添付
- 500Kバイトを超える動画／ｉモーションは添付できません。「データ圧縮」でメールに添付できるサイズに変更してから添付してください。→P235
- 受信側の端末によっては、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。
- ｉモーションによっては、添付できない場合があります。

メロディ添付
- 添付されたメロディはmovaサービスのｉモード端末では受信できません。

次のページへ続く●●●

フォト撮影／ムービー撮影
- ファイルが添付されている状態で「フォト撮影」「ムービー撮影」を選択すると、添付済みのファイルを解除することを知らせるメッセージが表示されます。「フォト撮影」「ムービー撮影」を続ける場合は、[ch]［はい］を押します。

添付したファイルを削除／変更する

1 **ｉモードメール作成画面（P182）▶添付ファイルを選択▶●**

再生／表示：ファイルを再生／表示します。
変更：ファイルを変更します。「ファイルを添付する」の操作1（P187）へ進みます。
情報表示：ファイルの情報を表示します。
解除：ファイルを解除します。▶[ch]［はい］

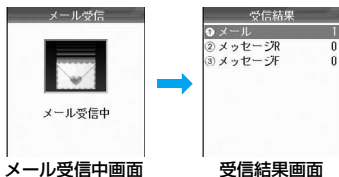
メール自動受信

ｉモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、ｉモードセンターから自動的にｉモードメールが送られてきます。

1 **ｉモードメールを受信すると✉（黄色）が点滅し、「メール受信中」と表示される**

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。

メール受信中画面　受信結果画面

- 受信結果画面で何も操作をしないで約30秒経過すると、受信する前の画面に戻ります。

2 **「メール」**

受信BOX一覧画面が表示されます。

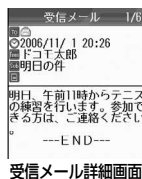
お知らせ

- 新しいｉモードメールが届いたときは、ｉモードセンターに保管されている他のｉモードメールやメッセージR/Fも受信します。
- ｉモードメールを選択受信するように設定すると、送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。センターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認してから選択して受信できます。→P188
- 受信メールの最大保存件数を超えた場合は、古い受信メールから順に上書きされます。ただし、未読、保護されている受信メールは上書きされません。
- To、Cc、Bccを設定できる端末からメールが送信された場合、自分がTo、Cc、Bccのどれにあてはまるかをdue FOMA端末で確認できます。→P193
- ｉモードメールではメロディや動画、静止画を添付ファイルとして受信できます。対応していない添付ファイルはｉモードセンターで自動的に削除されます。添付ファイルが削除された場合は、本文に「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。
- メールに添付されているメロディや画像を受信するかどうかを「添付ファイル受信設定」で設定できます。→P199
- 受信メールのデータ量が、「ｉMenu」→「料金＆お申込・設定」→「メール設定」→「メールサイズ制限」で設定した文字数（データ量）を超えた場合、添付ファイル、貼り付けデータはｉモードセンターで削除され、再度受信することはできません。
- 次のような場合にメールを受信したときは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源OFFのとき　- テレビ電話中
  - セルフモード設定中　- 圏外のとき
  - FirstPassセンター接続中
  - 「メール選択受信設定」を「ON」に設定しているとき
  - 受信BOXが保護や未読メールで満杯のとき
- 複数のｉモードメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージR/Fに設定されている着信音が鳴ります。

新着ｉモードメールを表示する

1 **受信結果画面（P188）▶「メール」**

2 **フォルダを選択▶●▶表示したいメールを選択▶●**

受信メール詳細画面

メール選択受信

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定する必要があります。ただし、「ON」に設定した場合は自動的にｉモードメールを受信できません。→P199
- ｉモードセンターにメールが保管されている場合は、画面上部に✉（黄色）が表示されます。

1 メールメニュー画面(P182)▶「メール選択受信」

2 メールごとに項目を選択▶●

受信：選択したメールを受信します。

削除：選択したメールを削除します。

保留：選択したメールはそのまま i モードセンターで保管されます。

- 添付ファイルがある場合は、次のアイコンが表示されます。

アイコン	ファイルの種類
	画像が添付されています。
	i モーションが添付されています。
	メロディが添付されています。

- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（i モード<FOMA>編)』の手順に従って操作してください。

お知らせ

- メール選択受信は「i Menu」からも行えます。「i Menu」→「メニュー／検索」→「メール選択受信」を選択します。
- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定している場合でも、「i モード問合せ」を利用するとすべてのメールを受信します。受信したくない場合は、問い合わせたい項目から「メール」を外してご利用ください。→P199
- メール選択受信画面からメールを受信したり、「i モード問合せ」を行うと、画面上部に表示されている（黄色）は消えます。また、FOMA端末の電源を切った場合も消えます。

i モード問合せ

i モードメールがあるかどうかを問い合わせる

FOMA端末が圏外のときなど、受信できなかった i モードメールは i モードセンターに保管されます。i モードセンターに問い合わせると、保管されている i モードメールを受信できます。

- i モードセンターにメールが保管されている場合は、画面に（黄色）が表示されます。
- 問い合わせる項目（メール、メッセージR/F）は、「i モード問合せ設定」（P199）で選択できます。
- 圏外のときは、問い合わせできません。

1 [メール]を2回連続で押す

問い合わせが完了すると、受信結果画面が表示されます。

お知らせ

- i モードセンターに i モードメールが保管されている場合でも、FOMA端末の電源が入っていないときなどにセンターに届いた場合は、画面に（黄色）が表示されない場合があります。

- 受信メールの最大保存件数を超えた場合は、古い受信メールの順に上書きされます。ただし、未読、保護されている受信メールは上書きされません。

i モードメール返信

i モードメールに返事を出す

i モードメールの送信元に返信します。返信は新たに本文を入力する方法と受信した i モードメールの本文を引用する方法があります。

1 受信メール一覧画面(P192)／受信メール詳細画面(P192)▶[機能]▶「返信」／「引用返信」

- 受信メール詳細画面では、[i]［返信］を押しても返信できます。
- 自分以外に同報先がある場合は、「送信元」または「全員」を選択できます。

2 件名、本文を入力▶●

- 件名には、「Re:」が追加されます。
- 引用返信の場合は、引用した本文の頭に「>」が付きます。
- 件名、本文の編集方法→「i モードメールを作成して送信する」（P182）

3 [i][送信]

お知らせ

- 送信BOXの保存容量を超えた場合は、返信できません。送信BOXに保存されているメールを削除してから返信してください。
- 受信したデコメールを引用返信した場合、デコレーションや画像はそのままの状態で本文に入力されます。ただし、FOMA端末外への出力が制限されている画像、反転表示されているURLは入力されません。

i モードメール転送

i モードメールを他の宛先に転送する

受信した i モードメールを他の人に転送します。

1 受信メール一覧画面(P192)／受信メール詳細画面(P192)▶[機能]▶「転送」

2 宛先を入力▶●

- 題名には、「Fw:」が追加されます。
- 宛先、本文の編集方法→「i モードメールを作成して送信する」（P182）

3 [i][送信]

次のページへ続く

お知らせ

- 転送するｉモードメールにメールへの添付や本FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付または貼り付けられているときは、それらのファイルや情報は削除されます。
- 送信BOXの保存容量を超えた場合は、転送できません。送信BOXに保存されているメールを削除してから転送してください。
- 受信したデコメールを転送した場合、デコレーションや画像はそのままの状態で本文に入力されます。ただし、FOMA端末外への出力が制限されている画像、反転表示されているURLは入力されません。

メールアドレス／電話番号を電話帳に登録する

送信元、同報先のアドレスを電話帳に登録する

受信したメールの送信元、同報先のアドレスや電話番号を登録します。

1 受信メール一覧画面（P192）／受信メール詳細画面（P192）▶［機能］▶「アドレス確認」

- メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。メールアドレスを確認したい場合は［詳細］を押します。

アドレス確認画面

2 電話帳に登録したいアドレスを選択▶●▶「電話帳登録」

「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P97）へ進みます。

お知らせ

- アドレス確認画面では、次の項目も設定できます。
  - メール作成→P182
  - 自動振り分け設定→P200
  - 送信グループ登録→P200
  - アドレスコピー

本文に表示されているアドレスや電話番号、URLを電話帳に登録する

1 受信メール詳細画面（P192）▶電話帳に登録したいメールアドレス、電話番号、URLを選択▶［機能］▶「電話帳登録」

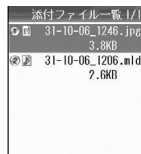
「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の 操作2（P97）へ進みます。

ｉモードメールから添付ファイルを再生／保存する

ｉモードメールやメッセージR/Fに添付または貼り付けられている画像やメロディ、動画／ｉモーションを再生、保存します。

画像を表示／保存する

1 受信メール詳細画面（P192）／メッセージR/F詳細画面（P173）▶［機能］▶「添付ファイル確認」

- ●：選択中の添付ファイルを表示します。

添付ファイル一覧画面

2 添付ファイルを選択▶［保存］▶「保存」▶「microSD」／「本体メモリ」▶ファイル名を入力

「データBOX」内「マイピクチャ」の「ｉモード／その他」に保存されます。

- 10000バイトを超える画像の場合は、ソフトキーに［保存］は表示されません。

■ **10000バイトを超えるJPEG画像を受信したとき**

10000バイトを超えるJPEG画像が添付されたｉモードメールを受信すると、画像は自動的に「マイピクチャ」の「ｉモード／その他」に保存されます。

- 電波状況などにより 10000 バイトを超える画像を受信できなかった場合は、受信メール詳細画面に画像を取得するためのURLが表示されます。URLを選択▶●▶［接続］を押します。

- 20000 バイトを超える画像を受信した場合は、自動的に画像サイズを圧縮して受信します。

お知らせ

- 画像のサイズがディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。

メロディを再生／保存する

1 **受信メール詳細画面（P192）／メッセージR/F詳細画面（P173）▶[機能]▶「添付ファイル確認」**

- ●：選択中の添付ファイルを再生します。

2 **添付ファイルを選択▶[保存]▶「保存」▶「microSD」／「本体」▶ファイル名を入力**

「データBOX」内「メロディ」の「ｉモード／その他」に保存されます。

お知らせ

- 複数のデータが貼り付けられている場合は、貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。
- 「メロディ自動再生設定」「メッセージ添付メロディ設定」を「自動再生する」に設定している場合は、ｉモードメール、メッセージR/F取得時に自動的にメロディが再生します。

添付ファイル一覧画面の機能メニュー

1 **添付ファイル一覧画面（P190）▶[機能]▶次の操作を行う**

設定

プレビュー：添付されているメロディを再生します（メロディのみ）。

保存：添付されているファイルを保存します。
▶「microSD」／「本体メモリ」▶ファイル名を入力

終了：添付ファイル一覧画面に戻ります。

情報表示

選択中の添付ファイルの情報を表示します。

削除

選択中の添付ファイルを削除します。
▶[はい]

お知らせ

設定

- 10000 バイトを超える JPEG 画像の場合は、「保存」は表示されません。

動画／ｉモーションを再生／保存する

ｉモードメール、メッセージR/Fに反転表示されているURLを選択して、ｉモーションセンターに保管されているｉモーションを取得します。

1 **受信メール詳細画面（P192）／メッセージR/F詳細画面（P173）▶URLを選択▶●▶[接続]**

ｉモーションの取得が開始します。「ｉモーション自動再生設定」が「自動再生する」に設定されている場合は、取得後に自動的にｉモーションが再生されます。

再生：ｉモーションを再生します。

保存：ｉモーションを保存します。操作2へ進みます。

情報表示詳細：ｉモーションの名前やサイズ、種別などの情報を表示します。→P234

終了：サイト表示画面に戻ります。

2 **「保存」▶[はい]▶「microSD」／「本体メモリ」**

「データBOX」内「ｉモーション」の「ｉモード／その他」に保存されます。

お知らせ

- ｉモーションメールをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。

受信BOX／送信BOX／未送信BOX

受信／送信／未送信BOXのメールを表示する

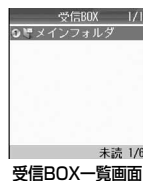
- セキュリティが設定されたフォルダ内を表示するときは、端末暗証番号を入力します。

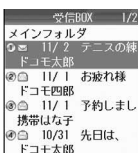
受信BOXのメールを表示する

- 受信 BOX に保存できる件数は、ｉモードメールとSMSを合わせて最大500件です。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。

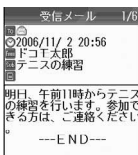
1 **メールメニュー画面（P182）▶「受信BOX」**

受信BOX一覧画面

次のページへ続く

2 フォルダを選択▶●

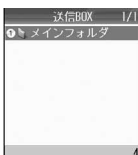
- ⊖:ページが複数ある場合は、前後のページを表示します。
- [ソート]:メールを並べ替えて表示します。→P192

受信メール一覧画面

3 メールを選択▶●

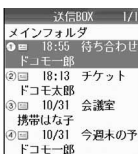
- ⊖:前後のメールを表示します。
- [返信]:送信元、同報宛先に返信します。→P189

受信メール詳細画面

送信BOXのメールを表示する

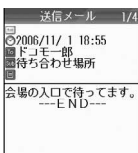
- 送信 BOX に保存できる件数は、i モードメールとSMS、未送信メールを合わせて最大300件です。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。

1 メールメニュー画面(P182)▶「送信BOX」

送信BOX一覧画面

2 フォルダを選択▶●

- ⊖:ページが複数ある場合は、前後のページを表示します。
- [ソート]:メールを並べ替えて表示します。→P192

送信メール一覧画面

3 メールを選択▶●

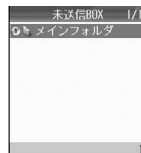
- ⊖:前後のメールを表示します。
- [編集]:i モードメール作成画面、SMS作成画面を表示します。→P182、P203

送信メール詳細画面

お知らせ

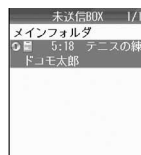
- 他の FOMA 端末で FOMA カードに保存した送信SMSは、本FOMA端末では確認できません。

未送信BOXのメールを表示する

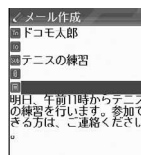
- 未送信BOXに保存されているメールは、送信BOXの最大保存件数に含まれます。

1 メールメニュー画面(P182)▶「未送信BOX」

未送信BOX一覧画面

2 フォルダを選択▶●

- ⊖:ページが複数ある場合は、前後のページを表示します。
- [ソート]:メールを並べ替えて表示します。→P192

未送信メール一覧画面

3 メールを選択▶●

- [送信]:i モードメール、SMSを送信します。

未送信メール詳細画面

受信/送信/未送信メール一覧のメールを並べ替える

日付の新しい順/古い順など、条件を設定してメールを並べ替えます。

1 受信メール一覧画面(P192)/送信メール一覧画面(P192)/未送信メール一覧画面(P192)▶[ソート]

受信日時(新→旧)・送信日時(新→旧)・保存日時(新→旧)
受信、送信、保存日時の新しい順に並べ替えます。

受信日時(旧→新)・送信日時(旧→新)・保存日時(旧→新)
受信、送信、保存日時の古い順に並べ替えます。

件名(昇順)
件名を昇順に並べ替えます。

件名(降順)
件名を降順に並べ替えます。

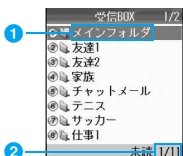
送信元（昇順）・送信先（昇順）
送信元、送信先アドレスを昇順に並べ替えます。

送信元（降順）・送信先（降順）
送信元、送信先アドレスを（降順）に並べ替えます。

お知らせ

- 送信／受信メール、送信／受信SMSの日時は、送受信した地域の日時になります。そのため時差の異なる地域で送受信したものは、送受信した順番で並ばない場合があります。
- 「件名（昇順）」を選択した場合は、次の順番（「件名（降順）」を選択した場合は昇順の逆順）で並び替わります。
  ① 半角記号を含む半角英数字（ASCII順）
  ② 全角記号を含む全角文字（Shift-JIS順）
  ③ 半角カタカナ
  ④ 絵文字
  ⑤ 無題

受信／送信／未送信メール画面の見かた

受信／送信／未送信BOX一覧画面

例：受信BOX画面

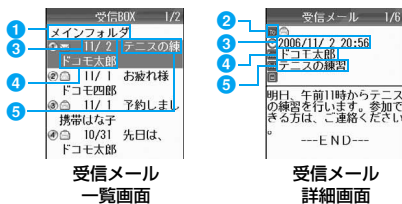
❶ **フォルダ名**
❷ **未読メール数／全メール数**

■ **受信／送信／未送信 BOX 画面に表示されるアイコン**

アイコン	説　明
（グレー）	メインフォルダ（お買い上げ時に登録されているフォルダ）
（青）	ユーザ作成フォルダ※1
	未読メールあり※2
	セキュリティ設定中
	ｉアプリメール用フォルダ

※1：未送信BOXでは、フォルダは作成できません。
※2：送信BOX／未送信BOXでは表示されません。

受信メール一覧画面／受信メール詳細画面

受信メール一覧画面　受信メール詳細画面

❶ **表示中のフォルダ名**
❷ **宛先タイプ**
受信した宛先タイプ（To、Cc、Bcc）を表示します。
❸ **受信した日時**
受信メール一覧画面では、前日までに受信したメールは日付が表示され、当日受信したメールは時刻が表示されます。
❹ **送信元の電話番号／メールアドレス**
電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。
❺ **件名**
SMSでは表示されません。

■ **受信メール一覧画面／受信メール詳細画面に表示されるアイコン**

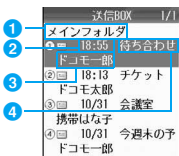
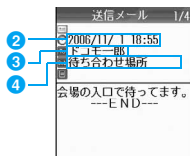
アイコン	説　明
	未読のメール
	既読のメール
	未読のSMS
	既読のSMS
	保護されているメール
	保護されているSMS
	返信したメール／SMS
	転送したメール／SMS
	FOMAカード（UIM）に保存されているSMS
	FOMAカード動作制限機能が設定されている添付ファイル
	取得済みの添付ファイル（画像／10000バイトを超える画像／メロディ）
	「添付ファイル確認」で削除したファイル
	メール連動型ｉアプリ

次のページへ続く

■ 受信メール詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
To	Toで届いたメール
Cc	Ccで届いたメール※
Bcc	Bccで届いたメール※
	受信した日時
From	送信元の電話番号／メールアドレス
Sub	件名※
	本文

※：SMSでは表示されません。

送信メール一覧画面／送信メール詳細画面

送信メール
一覧画面

送信メール
詳細画面

❶ **表示中のフォルダ名**

❷ **送信した日時**
送信メール一覧画面では、前日までに送信したメールは日付が表示され、当日送信したメールは時刻が表示されます。

❸ **送信先の電話番号／メールアドレス**
電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

❹ **件名**
SMSでは表示されません。

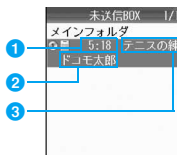
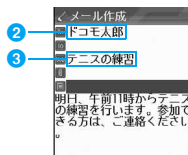
■ 送信メール一覧画面／送信メール詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
	送信済みのメール
	送信済みのSMS
	保護されているメール
	保護されているSMS
	FOMAカード動作制限機能が設定されている添付ファイル
	添付したファイル（画像／10000バイトを超える画像／メロディ／ｉモーション）

■ 送信メール詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
	送信した日時
To	Toで送信したメール
Cc	Ccで送信したメール※
Bcc	Bccで送信したメール※
Sub	件名※
	本文

※：SMSでは表示されません。

未送信メール一覧画面／未送信メール詳細画面

未送信メール
一覧画面

未送信メール
詳細画面

❶ **保存した日時**
未送信メール一覧画面では、前日までに保存したメールは日付が表示され、当日保存したメールは時刻が表示されます。

❷ **送信先の電話番号／メールアドレス**
電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。

❸ **件名**
SMSでは表示されません。

■ 未送信メール一覧画面／未送信メール詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
	保存されているメール
	保存されているSMS
	FOMAカード動作制限機能が設定されている添付ファイル
	添付したファイル（画像／10000バイトを超える画像／メロディ／ｉモーション）
	送信に失敗したメール
	送信に失敗したSMS

■ 未送信メール詳細画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
To	Toに設定した電話番号／メールアドレス
Cc	Ccに設定したメールアドレス※
Bcc	Bccに設定したメールアドレス※
Sub	件名※
	添付したファイル（画像／10000バイトを超える画像／メロディ／ｉモーション）※
	本文

※：SMSでは表示されません。

受信BOX／送信BOX／未送信BOX一覧画面の機能メニュー

1 受信BOX一覧画面（P191）／送信BOX一覧画面（P192）／未送信BOX一覧画面（P192）▶ [機能]▶次の操作を行う

フォルダ作成※
フォルダを作成します。
▶フォルダ名を入力

フォルダ名編集※
選択中のフォルダの名前を編集します。
▶フォルダ名を編集

自動振り分け設定※
メールを指定のフォルダに自動的に保存するように設定します。→P200

フォルダ並べ替え
フォルダを並べ替えます。
▶並べ替えたいフォルダを選択▶ ［選択］▶ で移動先を選択▶ ［確定］▶ ［完了］

セキュリティ設定・セキュリティ解除
選択中のフォルダにセキュリティを設定／解除します。セキュリティを設定すると、フォルダを表示するときに端末暗証番号の入力が必要になります。
▶端末暗証番号を入力

フォルダ削除※
選択中のフォルダを削除します。
▶端末暗証番号を入力▶ ［はい］

フォルダ内全件表示
選択中のフォルダ内を表示します。

受信メール一括削除・送信メール一括削除・未送信メール一括削除
受信BOX／送信BOX／未送信BOX内のメールをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶ ［はい］

全件送信
すべての受信メール／送信メール／未送信メールを赤外線送信、Bluetoothで送信します。

赤外線：赤外線通信で送信します。「データを全件送信する」の操作2（P254）へ進みます。

Bluetooth：Bluetoothで送信します。
▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードの入力▶「Bluetooth機器を登録して接続する」の操作2（P273）へ進みます。

※：未送信BOXでは利用できません。

お知らせ

フォルダ名編集／自動振り分け設定／フォルダ並べ替え／フォルダ削除
- お買い上げ時に登録されているメインフォルダでは利用できません。

フォルダ削除
- フォルダ内に保護されたメールが含まれている場合は、フォルダを削除できません。
- 対応するメール連動型ｉアプリがある場合、ｉアプリメール用フォルダは削除できません。ｉアプリがない場合はｉアプリメール用フォルダを削除できますが、受信BOX／送信BOX／未送信BOX一覧に作成されたフォルダがともに削除されます。

受信メール一括削除／送信メール一括削除／未送信メール一括削除
- 保護されているメール、FOMAカード内に保存されているSMSは削除されません。セキュリティが設定されているフォルダは、削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。 ［はい］を押すと削除します。

全件送信
- FOMAカードに保存されたSMSのみの場合には全件送信できません。

受信メール一覧画面の機能メニュー

1 受信メール一覧画面（P192）▶メールを選択▶ [機能]▶次の操作を行う

返信
返信します。→P189

引用返信
受信メール本文の内容を引用して返信します。→P189

転送
転送します。→P189

検索
条件を設定して受信メールを検索します。

未読検索：未読メールのみ検索します。

既読検索：既読メールのみ検索します。

保護検索：保護されているメールのみ検索します。

添付あり検索
：ファイルが添付されているメールのみ検索します。

- 再検索／検索状態を解除する場合は、検索後の一覧画面で ［機能］▶「検索」を選択します。

保護・保護解除
メールを保護または保護を解除します。
- 保護を解除する場合は次の項目を選択します。

1件保護解除：選択中のメールの保護を解除します。

全件保護解除：メールの保護をすべて解除します。
▶ ［はい］

フォルダ移動
メールを他のフォルダに移動します。

1件移動：選択中のメールを他のフォルダへ移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶[選択]▶[はい]

選択移動：複数のメールを選択して他のフォルダへ移動します。
▶移動するメールにチェックを付ける▶[実行]▶移動先のフォルダを選択▶[選択]▶[はい]

フォルダ内全件移動
：フォルダ内のメールをすべて他のフォルダへ移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶[選択]▶[はい]

表示切替
受信メール一覧画面に表示する情報を選択します。
▶「日時／件名／送信元」／「日時／送信元」／「件名／送信元」

アドレス確認
選択中の受信メールの送信元アドレス、同報アドレスを表示します。→P190

赤外線／Bluetooth
選択中のメールを赤外線送信、Bluetoothで送信します。
▶[はい]

赤外線：赤外線で1件送信します。
Bluetooth：Bluetoothで送信します。「Bluetooth機器を登録して接続する」の操作2（P273）へ進みます。

FOMAカード（UIM）操作
選択中のSMSをFOMAカード／FOMA端末本体へコピー、移動します。

FOMAカードへ移動
：SMSをFOMAカードへ移動します。
▶[はい]

FOMAカードへコピー
：SMSをFOMAカードへコピーします。
▶[はい]

本体へ移動：SMSを本体へ移動します。
▶[はい]

本体へコピー：SMSを本体へコピーします。
▶[はい]

削除

1件削除：選択中のメールを1件削除します。
▶[はい]

選択削除：複数のメールを選択して削除します。
▶削除するメールにチェックを付ける▶[実行]▶[はい]

フォルダ内全件削除
：フォルダ内のメールをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶[はい]

受信メール詳細画面の機能メニュー

1 受信メール詳細画面（P192）▶[機能]▶次の操作を行う

返信
返信します。→P189

引用返信
受信メール本文の内容を引用して返信します。→P189

転送
転送します。→P189

コピー
表示中の受信メールの内容をコピーします。

アドレス：宛先をコピーします。同報アドレスがある場合は、受信メールアドレス確認画面から宛先をコピーします。→P190
件名：件名をコピーします
本文：本文の内容を選択してコピーします。→P301

保護・保護解除
表示中のメールを保護または保護を解除します。

スクロール設定
スクロールする行数を設定します。→P199

文字サイズ設定
文字のサイズを設定します。→P199

テンプレートへ保存
デコメールをテンプレートとして保存します。
▶[はい]▶ファイル名を入力

フォルダ移動
表示中のメールを別のフォルダに移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶[選択]▶[はい]

アドレス確認
表示中の受信メールの送信元アドレス、同報アドレスを表示します。→P190

画像確認
表示中のメールに含まれている画像を保存します。画像を選択後「サイトやメッセージから画像を取得する」の操作2（P168）へ進みます。

添付ファイル確認
表示中のメールに添付されているファイルを一覧表示します。→P190

赤外線／Bluetooth
表示中のメールを赤外線送信、Bluetoothで送信します。
▶[はい]

赤外線：赤外線で1件送信します。
Bluetooth：Bluetoothで送信します。「Bluetooth機器を登録して接続する」の操作2（P273）へ進みます。

FOMAカード（UIM）操作
表示中のSMSをFOMAカード／FOMA端末本体へコピー、移動します。

FOMAカードへ移動
：SMSをFOMAカードへ移動します。
▶ [はい]

FOMAカードへコピー
：SMSをFOMAカードへコピーします。
▶ [はい]

本体へ移動：SMSを本体へ移動します。
▶ [はい]

本体へコピー：SMSを本体へコピーします。
▶ [はい]

削除
表示中のメールを削除します。

▶ **[はい]**

電話帳登録
表示中のメールに反転表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。→P190

URL表示
ｉモードメールに貼り付けられている10000バイトを超える画像のURLを表示します。
- [コピー]：URLをコピーします。

お知らせ

保護
- 保護できるのは最大250件です。

テンプレートへ保存
- デコメールに添付されている大容量静止画ファイルやメロディファイルは、テンプレートへ保存するときに削除されます。

削除
- 保護されているメールは削除できません。

送信メール一覧画面の機能メニュー

1 送信メール一覧画面（P192）▶メールを選択▶ [機能]▶次の操作を行う

編集
送信したメールを編集して送信します。→P182、P203

検索
条件を設定して送信メールを検索します。

保護検索：保護されているメールのみ検索します。

添付あり検索：添付ファイルがあるメールのみ検索します。

- 再検索／検索状態を解除する場合は、検索後の一覧画面で [機能]▶「検索」を選択します。

保護・保護解除
メールを保護または保護を解除します。
- 保護を解除する場合は次の項目を選択します。

1件保護解除：選択中のメールの保護を解除します。

全件保護解除：メールの保護をすべて解除します。
▶ [はい]

フォルダ移動
メールを他のフォルダに移動します。

1件移動：選択中のメールを他のフォルダへ移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶ [選択]
▶ [はい]

選択移動：複数のメールを選択して他のフォルダへ移動します。
▶移動するメールにチェックを付ける▶ [実行]▶移動先のフォルダを選択▶ [選択]▶ [はい]

フォルダ内全件移動
：フォルダ内のメールをすべて他のフォルダへ移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶ [選択]
▶ [はい]

表示切替
送信メール一覧画面に表示する情報を選択します。

▶**「日時／件名／送信先」／「日時／送信先」／「件名／送信先」**

アドレス確認
選択中の送信メールの送信元アドレス、同報アドレスを表示します。→P190

赤外線／Bluetooth
選択中のメールを赤外線送信、Bluetoothで送信します。

▶ **[はい]**

赤外線：赤外線で1件送信します。

Bluetooth：Bluetoothで送信します。「Bluetooth機器を登録して接続する」の操作2（P273）へ進みます。

FOMAカード（UIM）操作
- 送信BOXでは利用できません。

削除
1件削除：選択中のメールを1件削除します。
▶ [はい]

選択削除：複数のメールを選択して削除します。
▶削除するメールにチェックを付ける▶ [実行]▶ [はい]

フォルダ内全件削除
：フォルダ内のメールをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶ [はい]

送信メール詳細画面の機能メニュー

1 送信メール詳細画面（P192）▶[ch][機能]▶次の操作を行う

コピー
表示中の送信メールの内容をコピーします。

アドレス：宛先をコピーします。同報アドレスがある場合は、送信メールアドレス確認画面から宛先をコピーします。→P190

件名：件名をコピーします。

本文：本文の内容を選択してコピーします。→P301

保護・保護解除
表示中のメールを保護または保護を解除します。

スクロール設定
スクロールする行数を設定します。→P199

文字サイズ設定
文字のサイズを設定します。→P199

テンプレートへ保存
デコメールをテンプレートとして保存します。
▶[ch]［はい］▶ファイル名を入力

フォルダ移動
表示中のメールを別のフォルダに移動します。
▶移動先のフォルダを選択▶[ch]［選択］▶[ch]［はい］

アドレス確認
表示中の送信メールの送信元アドレス、同報アドレスを表示します。→P190

画像確認
表示中のメールに含まれている画像を保存します。画像を選択後「サイトやメッセージから画像を取得する」の操作2（P168）へ進みます。

添付ファイル確認
表示中のメールに添付されているファイルを一覧表示します。→P190

赤外線／Bluetooth
表示中のメールを赤外線送信、Bluetoothで送信します。
▶[ch]［はい］

赤外線：赤外線で1件送信します。

Bluetooth：Bluetoothで送信します。「Bluetooth機器を登録して接続する」の操作2（P273）へ進みます。

FOMAカード（UIM）操作
- 送信BOXでは利用できません。

電話帳登録
表示中のメールに反転表示されている電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。→P190

削除
表示中のメールを削除します。
▶[ch]［はい］

お知らせ

保護
- 保護できるのは最大150件です。

テンプレートへ保存
- デコメールに添付されている大容量静止画ファイルやメロディファイルは、テンプレートへ保存するときに削除されます。

削除
- 保護されているメールは削除できません。

未送信メール一覧画面の機能メニュー

1 未送信メール一覧画面（P192）▶メールを選択▶[ch][機能]▶次の操作を行う

検索
条件を設定して未送信メールを検索します。

送信失敗検索：送信に失敗したメールのみ検索します。

未送信検索：未送信のメールのみ検索します。

添付あり検索：添付ファイルがあるメールのみ検索します。

- 再検索／検索状態を解除する場合は、検索後の一覧画面で[ch]［機能］▶「検索」を選択します。

フォルダ移動
- 未送信メール一覧画面では利用できません。

表示切替
未送信メール一覧画面に表示する情報を選択します。
▶「日時／件名／送信先」／「日時／送信先」／「件名／送信先」

アドレス確認
選択中のメールの送信先アドレス、同報アドレスを表示します。→P190

赤外線／Bluetooth
選択中のメールを赤外線送信、Bluetoothで送信します。
▶[ch]［はい］

赤外線：赤外線で1件送信します。

Bluetooth：Bluetoothで送信します。「Bluetooth機器を登録して接続する」の操作2（P273）へ進みます。

FOMAカード（UIM）操作
- 未送信BOXでは利用できません。

削除

1件削除：選択中のメールを1件削除します。
▶[ch]［はい］

選択削除：複数のメールを選択して削除します。
▶削除するメールにチェックを付ける▶[i]［実行］▶[ch]［はい］

フォルダ内全件削除
：フォルダ内のメールをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶[ch]［はい］

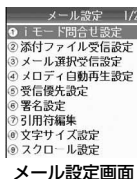
メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

お買い上げ時	ｉモード問合せ設定：すべてチェックあり 添付ファイル受信設定：画像とメロディ メール選択受信設定：OFF メロディ自動再生設定：自動再生する 受信優先設定：受信通知優先 引用符編集：> 文字サイズ設定：標準 スクロール設定：1行

1 メールメニュー画面(P182)➧「メール設定」

メール設定 1/2
❶ｉモード問合せ設定
②添付ファイル受信設定
③メール選択受信設定
④メロディ自動再生設定
⑤受信優先設定
⑥署名設定
⑦引用符編集
⑧文字サイズ設定
⑨スクロール設定

メール設定画面

2 次の操作を行う

ｉモード問合せ設定
「ｉモード問合せ」をするときに、問い合わせる項目を設定します。

➧問い合わせたい項目にチェックを付ける➧ ［完了］

添付ファイル受信設定
メール、メッセージR/Fなどを受信する際に、取得する添付ファイルを設定します。

画像とメロディ：画像とメロディを取得します。
画像：画像のみ取得します。
メロディ：メロディのみ取得します。
受信しない：添付ファイルは取得しません。

メール選択受信設定
メールの選択受信をするかどうかを設定します。

ON：メールを自動受信しません。
OFF：メールを自動受信します。

メロディ自動再生設定
メロディが添付または貼り付けられているメールを受信した場合、受信メール詳細画面を表示したときに自動的にメロディを再生するかどうかを設定します。

➧「自動再生する」／「自動再生しない」

受信優先設定
FOMA端末操作中に、メール、メッセージR/Fを受信したときに、受信中画面や受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

受信通知優先：受信中画面、受信結果画面を表示します。
ユーザ操作優先：受信中画面、受信結果画面を表示せず、FOMA端末の操作を優先します。

署名設定
メール本文に挿入する署名を設定します。→P200

引用符編集
引用返信するときに、受信メールから引用したことを表す記号を設定します。

➧引用符を入力

文字サイズ設定
メール表示画面の本文の文字サイズを設定します。

➧「大」／「標準」／「小」

スクロール設定
メール詳細画面、メール作成画面で画面をスクロールするときの行数を設定します。

➧「1行」／「3行」／「5行」／「1/2ページ」／「1ページ」

送信グループ登録
メールアドレスをグループごとに登録します。グループに登録した複数のメンバーへ同時にメールを送ることができます。→P200

SMS送達通知設定
SMS送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。→P205

SMSメッセージ有効期限
送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を設定します。→P205

SMSセンター設定
SMSセンターの接続先を設定します。→P205

メール設定確認
「メール設定」で設定した内容を確認します。

メール設定リセット
「メール設定」で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

➧端末暗証番号を入力➧ ［はい］

お知らせ

添付ファイル受信設定
- 受信しない設定にしている添付ファイルを受信した場合は、ｉモードセンターで添付ファイルが削除され、本文に「添付ファイル削除」のメッセージが追加されます。削除されたファイルは、再度受信できません。

メール選択受信設定
- 「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、画面に（黄色）が表示されます。

メール設定リセット
- メール設定をリセットすると、削除したお買い上げ時に登録されているデコメールテンプレートが元に戻ります。

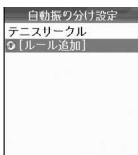
自動振り分け設定

送受信メールを自動的にフォルダに振り分ける

条件を設定して、メールを指定のフォルダに自動的に保存するように設定します。

- お買い上げ時に登録されている「メインフォルダ」には設定できません。

1 受信BOX一覧画面(P191)／送信BOX一覧画面(P192)▶フォルダを選択▶[ch][機能]▶「自動振り分け設定」

■ **振り分け条件を変更する**
条件を選択▶●▶[ch]［はい］▶操作2へ進みます。

自動振り分け設定画面

2 「ルール追加」▶次の操作を行う

送信元アドレス・送信先アドレス
メールアドレスを条件に設定して振り分けます。

電話帳引用：電話帳から選択して設定します。
▶で電話帳を選択▶で設定したいメールアドレス／電話番号を選択しチェックを付ける▶[i]［完了］

送信グループ引用
：送信グループから選択して設定します。
▶でグループを選択▶設定したい宛先を選択

直接入力：メールアドレスを直接入力して設定します。
▶メールアドレスを入力

件名
メールの件名を条件に設定します。
▶件名を入力

全受信メール・全送信メール
選択中のフォルダにすべての受信メール／送信メールを振り分けます。

3 [i][完了]

お知らせ

- 他のフォルダに設定されている振り分け条件と同じ条件は設定できません。

振り分け条件を削除する

1 自動振り分け設定画面(P200)▶削除する振り分け条件を選択▶[ch][削除]▶次の操作を行う

1件削除
選択中の振り分け条件を削除します。
▶[ch]［はい］

全件削除
選択中のフォルダに設定した振り分け条件をすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶[ch]［はい］

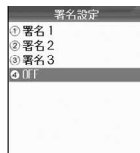
署名設定

メールに署名を付ける

お買い上げ時	OFF

メール本文に挿入する署名を設定します。

1 メール設定画面(P199)▶「署名設定」

■ **署名のタイトルを変更する場合**
署名を選択▶[ch]［タイトル編集］▶署名のタイトルを入力します。

署名設定画面

2 署名を選択▶●▶署名を入力

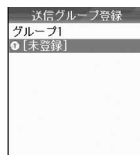
送信グループ登録

メールアドレスを送信グループに登録する

メールアドレスをグループごとに登録します。1グループに5件までのメールアドレスを登録できます。グループに登録した複数のメンバーへ同時にメールを送ることができます。

1 メール設定画面(P199)▶「送信グループ登録」

送信グループ一覧画面

2 グループを選択▶●

送信グループ登録画面

3 「[未登録]」▶次の操作を行う

電話帳引用
電話帳から選択して登録します。
▶で電話帳を選択▶で設定したいメールアドレスを選択しチェックを付ける▶［完了］

送信グループ引用
• 送信グループ登録では利用できません。

直接入力
メールアドレスを直接入力します。
▶メールアドレスを入力

4 ［完了］

送信グループ一覧画面の機能メニュー

1 送信グループ一覧画面(P200)▶グループを選択▶［機能］▶次の操作を行う

グループ名編集
グループ名を編集します。
▶グループ名を入力

削除
選択中のグループに保存されているアドレス、グループ名を削除します。
▶［はい］

グループに登録したアドレスを削除する

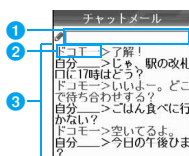
1 送信グループ登録画面(P200)▶アドレスを選択▶［削除］▶次の操作を行う

1件削除
選択中のアドレスを1件削除します。
▶［はい］

全件削除
グループ内に登録されているアドレスをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶［はい］

チャットメール作成／送信

チャットメールを作成して送信する

チャットメールは、1つの画面で複数の相手とメールのやりとりができます。チャットメール画面は次のように表示されます。

❶ **入力ボックス**
全角で250文字、半角で500文字まで入力できます。

❷ **メンバー名**
設定したニックネームと表示色でメンバーを表示します。
• ニックネームを登録していない場合は、メールアドレスを表示します。
• 送信に失敗した場合は、メンバー名に「送信失敗」と表示されます。

❸ **チャットメール履歴**
履歴は50件まで表示されます。50件を超えた場合は古い順に上書きされます。

チャットメンバー設定

チャットメンバーを設定する

チャットメールを行うには、あらかじめチャットメンバーに相手のメールアドレスを登録しておく必要があります。
• チャットメンバーは5人登録できます。

1 メールメニュー画面(P182)▶「チャットメール」

メンバー設定画面

2 ［機能］▶「新規作成」▶次の操作を行う

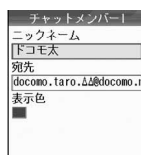
電話帳検索
メンバーを電話帳から選択します。
▶で電話帳を選択▶でメールアドレスを選択し、チェックを付ける▶［完了］

直接入力
メンバーのメールアドレスを直接入力します。
▶メールアドレスを入力

グループ参照
送信グループからメンバーを選択します。
▶［はい］▶で送信グループを選択し、設定したいメンバーにチェックを付ける▶［完了］
• 操作7へ進みます。

3 「ニックネーム」▶ニックネームを入力

全角4文字、半角8文字以内で設定してください。

次のページへ続く

4 「宛先」▶メールアドレスを入力

- 「電話帳検索」「直接入力」で設定したアドレスが自動的に表示されます。

5 「表示色」▶表示色を選択▶ch[選択]

6 ch[完了]

チャットメールを送信したいメンバーにチェックを付けます。

■ **設定したメンバーを削除する場合**
ch［機能］▶「削除」を選択します。

■ **設定したメンバーを編集する場合**
ch［機能］▶「編集」を選択し、操作3を行います。

■ **自分のニックネーム／表示色を設定する場合**
「自分」▶ch［機能］▶「編集」を選択し、操作3を行います。

7 i[完了]

お知らせ

グループ参照

- グループ参照からメンバーを選択すると、設定済みのメンバーはすべて削除されます。グループ参照から新しいメンバーを設定する場合はch［はい］を押します。

メンバーを編集／削除する

メンバー設定画面でメンバーの追加や編集、削除ができます。

1 チャットメール画面(P202)▶ch[機能]▶「メンバー設定」

メンバー設定画面が表示されます。

2 メンバーを選択▶ch[機能]▶次の操作を行う

新規作成
チャットメンバーを新規に設定します。「チャットメンバーを設定する」の操作2（P201）へ進みます。

編集
メンバーのニックネーム、メールアドレス、表示色を編集します。「チャットメンバーを設定する」の操作3（P201）へ進みます。

削除
設定したメンバーを削除します。

1件削除：選択中のメンバーを削除します。
▶ch［はい］

全件削除：設定したメンバーをすべて削除します。
▶端末暗証番号を入力▶ch［はい］

お知らせ

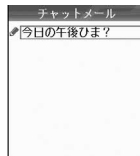
- 既に登録されているメンバーと同じメールアドレスは登録できません。

チャットメールを作成して送信する

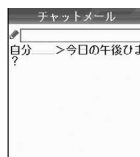
- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定している場合は、チャットメールを利用できません。「メール選択受信設定」を「OFF」に設定してください。

1 メールメニュー画面(P182)▶「チャットメール」

チャットメール画面

2 ●▶文字を入力

チャットメール
文字入力画面

3 i[送信]▶ch[OK]

送信したチャットメールは、画面の一番上に表示されます。

チャットメール
送信後画面

4 チャットメールを受信

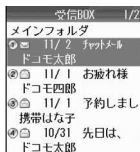
受信したチャットメールは、画面の一番上に表示されます。操作2～4を繰り返してチャットメールをやりとりします。

5 ch[機能]▶「チャットメール終了」

- ch［はい］：チャットメールを削除して、終了します。
- i［いいえ］：チャットメールを受信BOXに保存して終了します。

チャットメールを受信する

チャットメールを受信すると、画面上部に✉（黄色）が表示され、受信結果画面（P188）が表示されます。受信したチャットメールは受信BOXに保存されます。

1 受信BOX一覧画面(P191)▶フォルダを選択▶●

2 「チャットメール」を選択▶●

■ **送信元がチャットメンバーに登録されている場合**

チャットメールを起動するかどうかを確認する画面が表示されます。起動する場合はch［はい］を押します。i«［いいえ］を押すと、iモードメールとして表示します。

■ **送信元がチャットメンバーに登録されていない場合**

チャットメンバーに登録するかどうかを確認する画面が表示されます。登録する場合はch［はい］を押します。i«［いいえ］を押すと、iモードメールとして表示します。

お知らせ

- 次の場合、チャットメールと認識します。
  - 送信元や宛先のアドレスが、チャットメンバーに登録されている場合
  - 件名に「チャットメール」が含まれている場合
- チャットメール画面で受信したチャットメールは、受信BOXでは既読となります。
- 受信したチャットメールに添付ファイルが付いていた場合は、チャットメール画面では本文のみ表示されます。
- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。

チャットメール画面の機能メニュー

1 チャットメール画面(P202)▶ch［機能］▶次の操作を行う

送信
チャットメールを送信します。

更新
チャットメールを受信します。

最新メール宛先確認
最新メールの宛先を確認します。
- i«［設定］：メンバーを設定します。設定するメンバーにチェックを付ける▶ch［完了］を押します。

メンバー設定
メンバー設定画面を表示します。メンバーの追加や編集、削除を行います。→P202

チャットメール削除
チャットメールを削除します。
▶ch［はい］

チャットメール終了
チャットメールを終了します。
- ch［はい］：チャットメールを削除して、終了します。
- i«［いいえ］：チャットメールを受信BOXに保存して終了します。

文字サイズ切り替え
チャットメールに表示する文字サイズを、小さい文字／標準文字に切り替えます。

お知らせ

更新
- 「更新」した場合にiモードメールやSMSを受信したときは、受信結果画面は表示されません。受信BOXに保存されます。

SMS作成／送信

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国、海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

1 メールメニュー画面(P182)▶「SMS新規作成」

SMS作成画面

2 To［宛先］欄を選択▶●▶電話番号を入力

- 電話帳、受信アドレス履歴、送信アドレス履歴、個人データから電話番号を選択して入力する →P204

3 ▤［本文］欄を選択▶●▶本文を入力

4 i«［送信］

次のページへ続く

お知らせ

- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「+」(0を1秒以上押す)、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる番号は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます(受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください)。
- 電波状況により、相手に文字が正しく送信されない場合があります。
- 本文が半角英数字のみのSMSや空白のみのSMSを送信し、相手側がそのSMSに返信などを行った場合、半角英数字しか入力できない場合があります。
- 海外通信事業者を利用している相手にSMSを送信したとき、本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。
- 「発信者番号通知設定」を「通知しない」に設定していても、送信相手には発信者番号が通知されます。
- FOMA 端末に保存した送信メールが最大保存件数を超えた場合は、送信メールのうち古いメールから順に上書きされます。ただし、保護されているメールは上書きされません。
- 送信元が公衆電話、通知不可能のSMSには返信できません。

SMS作成画面の機能メニュー

1 SMS作成画面(P203)▶[機能]▶次の操作を行う

電話帳引用
宛先を電話帳から選択します。
▶電話帳を選択▶●

送信グループ引用
- SMS作成画面では利用できません。

自局情報引用
宛先に自局番号を入力します。
▶端末暗証番号を入力▶[挿入]

直接入力
宛先を直接入力します。
▶電話番号を入力

送信
SMSを送信します。

保存
作成中や編集中のSMSを未送信BOXに保存します。
▶[はい]

送達通知設定
SMSを送信したときにSMS送達通知を要求するかどうかを設定します。→P205

メッセージ有効期限
送信したSMSがSMSセンターに保管される期間を設定します。→P205

SMS受信

SMS(ショートメッセージ)を自動的に受信する

FOMA端末が圏内にあるときは、自動的にSMSが送られてきます。

- 受信したSMSは、iモードメールと合わせて最大500件保存できます。ただし、データ量により保存できる件数は異なります。

1 SMSを受信すると、(黄色)が点滅し「SMS受信中」と表示される

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。
- 何も操作しないで30秒経過すると、待受画面に戻ります。

受信結果画面

お知らせ

- 受信メールの最大保存件数を超えた場合は、古い受信メールの順に上書きされます。ただし、未読、保護されている受信メールは上書きされません。

新着SMSを表示する

1 受信結果画面(P204)▶「メール」▶フォルダを選択▶●

2 表示したいSMSを選択▶●

受信メール詳細画面

SMS問合せ

SMS(ショートメッセージ)があるかどうかを問い合わせる

FOMA端末が圏外のときなど、受信できなかったSMSはSMSセンターに保管されます。SMSセンターに問い合わせると、保管されているSMSを受信できます。

- 圏外のときは、問い合わせできません。

1 **メールメニュー画面(P182)▶「SMS問合せ」**

受信が完了すると、受信結果画面が表示されます。

お知らせ

- 受信メールの最大保存件数を超えた場合は、古い受信メールの順に上書きされます。ただし、未読、保護されている受信メールは上書きされません。

SMS設定

SMS(ショートメッセージ)の設定を行う

SMS送達通知設定

お買い上げ時	OFF

SMSの送信時に、SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。「ON」に設定すると、SMSが相手に届いたことをお知らせするメールが届きます。

1 **メール設定画面(P199)▶「SMS送達通知設定」▶「ON」/「OFF」**

お知らせ

- お知らせメールには、送信時間と送信相手の番号が表示されます。

SMSメッセージ有効期限

お買い上げ時	3日

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保管される期間を設定します。

- 「0日」を設定すると一定時間経過後に再送し、SMSセンターから削除します。

1 **メール設定画面(P199)▶「SMSメッセージ有効期限」▶有効期限を選択▶[ch][選択]**

SMSセンター設定

お買い上げ時	ドコモ

SMSセンターの接続先を設定します。

通常は設定を変える必要はありません。

1 **メール設定画面(P199)▶「SMSセンター設定」**

ドコモ:SMSセンターへの接続先をドコモに設定します。

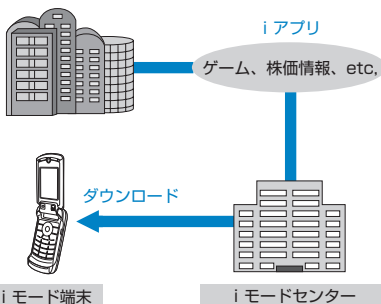
その他:接続先アドレスを入力します。

お知らせ

- 「Type of Number」を「International」に設定したい場合は、アドレスの頭に「+」を入力してください。入力したアドレスに「✱」「#」が含まれている場合は、「International」に設定できません。

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）を便利に活用いただけます。たとえば、ｉモード端末にさまざまなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックしたりできます。さらに、地図のｉアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズにスクロールできます。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存、画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

- ｉアプリをダウンロードする→P209
- ｉアプリを起動する→P210
- ｉアプリを自動起動する→P214

お知らせ

- ｉアプリによってはｉモード端末の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」を利用する場合があります。
- ｉアプリによっては起動時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。→P213

■ 登録データを利用する

ｉアプリのソフトには、お客様のｉモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存

ｉアプリDXとは

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

■ 登録データを利用する

ｉアプリDXのソフトでは、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像）に加えて、メール、発信履歴、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- ｉモードメール作成画面利用
- 最新の発信履歴参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- メロディ保存
- 着信音変更（電話、メール、メッセージ）
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存
- 画面設定の変更（待受画面）

お知らせ

- ｉアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- ｉアプリDXを起動するには、日付時刻設定が必要です。→P48

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリは、ｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。

- メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

こんなこともできます

■ ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面では、ｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることもできます。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知ら

せてくれたり、より便利な待受画面にできます。
→P215

- ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリで利用できる機能です。

■ ｉアプリの自動起動
時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。→P214

■ カメラ撮影
ｉアプリからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。

- カメラ撮影機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。

■ 赤外線通信
ｉアプリから赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。→P252

- 赤外線通信機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ 赤外線リモコン
ｉアプリから赤外線リモコンに対応した家電機器など、各種機器を操作できます。→P255
例えばお買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したテレビリモコンとして利用できます。→P213

- 赤外線リモコン機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。相手の機器に対応したｉアプリが必要です。

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからソフトをダウンロードして、FOMA端末に保存します。

- ダウンロードしたソフトは最大60件登録できます。ただし、ソフトのデータ量によって保存可能件数は少なくなる場合があります。

1 サイト表示中▶ソフトを選択▶●

- ｉ\[中止\]：ダウンロードを中止します。

2 ダウンロード完了後▶ch[OK]

■ ソフトの設定画面が表示された場合
ソフトの初期設定を行います。
▶設定項目を選択▶ch［変更］▶設定内容を選択▶ch［選択］▶ｉ［戻る］

- 各設定は「ソフト設定」からも設定できます。→P213
- ソフトによっては変更できない項目があります。

3 ch[はい]
ダウンロードしたソフトが起動します。

■ メール連動型ｉアプリのダウンロード
メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、受信／送信／未送信BOX一覧にｉアプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリのタイトルになり、変更できません。

- 受信BOX／送信BOX内に作成できるフォルダ数は、「フォルダ作成」で作成したフォルダとあわせて、それぞれ最大24個までです。既にフォルダが24個ある場合は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。

■ メール連動型ｉアプリの再ダウンロード

- メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに、利用するメールフォルダのみが残っている場合は、そのフォルダを利用できます。フォルダ名がダウンロードしたｉアプリ名と異なる場合は、ダウンロードしたｉアプリ名に変更されます。フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除して新規フォルダを作成できます。ただし、新規フォルダを作成しない場合はメール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- フォルダにセキュリティが設定されている場合は、ダウンロード時に端末暗証番号の入力が必要です。

お知らせ

- ダウンロード時に、「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」を送信するかどうかを確認する画面が表示される場合があります。ch［はい］を押すとダウンロードを開始します。この場合、お客様の端末情報データはインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- ダウンロード時に、「端末情報データ（登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号）」を利用することを通知する画面が表示される場合があります。ch［ダウンロード］を押すとダウンロードを開始します。利用する端末情報データの詳細を確認したい場合はｉ［詳細］を選択して確認してください。
- 異なるFOMAカードでダウンロード済みのソフトを再ダウンロードする場合、上書きするかどうかを確認する画面が表示されます。ch［はい］を押すとダウンロードを開始します。ただし、「ソフト情報表示」が「ON」に設定されている場合は、ch［はい］を押すとソフトのバージョンやサイズなどを確認する画面が表示されます。ダウンロードする場合はch［ダウンロード］を押してください。
- ソフトが最大保存件数まで保存されている場合や、メモリの空き容量が不足している場合は、ダウンロードできません。保存されているソフトを削除するなどしてからダウンロードしてください。
- ダウンロード時に電波状況などの理由により、ダウンロードに失敗した場合は、そのソフトは未登録となります。

次のページへ続く

- ダウンロード時に、FOMA端末のメモリの空き容量が不足したため古いソフトを削除した後で、電波状況などによりダウンロードが失敗しても、古いソフトは復活できません。

iアプリを起動する

1 （1秒以上）

ソフト一覧画面

■ ソフト一覧画面のアイコン

アイコン	説　明
	通常のｉアプリ
	ｉアプリDX
	メール連動型ｉアプリ
	自動起動が設定されているｉアプリ
	SSL対応ページからダウンロードしたｉアプリ
	待受画面に設定可能なｉアプリ
	待受画面に設定中のｉアプリ

2 ソフトを選択▶●

- 「ソフト設定」の「通信設定」が「起動ごとに確認」に設定されている場合は、通信を許可するかどうかを確認する画面が表示されます。［はい］／［いいえ］を選択します。

■ ｉアプリを終了する
- ▶「終了」を押します。

■ ソフトから他のソフトを起動するには
ソフトによっては、指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧画面に戻ることなくソフトを楽しめます。起動させるソフトがあらかじめ指定されているものと、指定されていないものがあります。

起動するソフトが指定されている場合
ｉアプリ起動中に、指定されたソフトを起動するかどうかを確認する画面が表示されます。ｉアプリ起動中ソフトを選択▶●▶［はい］を押します。

起動するソフトが指定されていない場合
ｉアプリ起動中にソフト一覧を表示するかどうかを確認する画面が表示されます。［はい］▶ソフトを選択▶［選択］を押します。

■ セキュリティエラーが起こったときは
ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとすると、セキュリティエラーが表示され、その内容が「セキュリティーエラー履歴」に記録されます。セキュリティエラーの内容を確認、または履歴を削除する→P216

■ ソフトに異常があったときは
ソフトに異常があった場合は、その内容をトレース情報で確認できます。→P216

ｉアプリ作成者の方へ
ソフトを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。

お知らせ

- ソフト一覧画面に表示される使用メモリ容量は、分母にFOMA端末内の共有メモリ使用可能容量を表示し、FOMA端末内で使用するメモリが増えると数値は減ります。分子には、ｉアプリで使用しているメモリ総量を表示し、ｉアプリをダウンロードすると数値が増えます。
- ソフトによっては、起動中に通信を行う場合があります。自動的に通信を行わないようにするには「ソフト設定」の「通信設定」で設定できます。→P213
- ソフト起動中に音声電話、テレビ電話がかかってきた場合、ソフトを中断して応答することができます。通話を終了すると元の画面に戻ります。
- ソフト起動中でもメールやメッセージR/Fを受信できます。ソフトは継続され、画面上部にが表示されます。受信したメールやメッセージR/Fを確認する場合はソフトを終了させてください。
- ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
  ※：ｉアプリで利用する画像とは、カメラ連携（動画）アプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像、ｉアプリがデータBOXから取得した画像などです。
- ｉアプリ起動時に、最新ソフトにバージョンアップするかどうかを確認する画面が表示される場合があります。［はい］／［いいえ］を選択します。
- 異なるFOMAカードでダウンロードしたソフトは起動できません。
- ｉアプリDXのソフトによっては、「通信設定」を「通信しない」に設定しても、有効性を確認するために通信する場合があります。通信する回数やタイミングは、ソフトにより異なります。
- ｉアプリ起動中に一定時間内の通信回数が極端に多い場合は、通信を継続するかどうかを確認する画面が表示されます。［続行］を押すと通信を継続します。［終了］を押すとｉアプリを終了します。
- ｉアプリによっては音の鳴らないものもあります。
- 「自動時刻補正」を「ON」に設定している場合でも、ｉアプリ起動中は自動時刻補正されません。

ソフト一覧画面の機能メニュー

1 ソフト一覧画面（P210）▶ソフトを選択▶[ch][機能]▶次の操作を行う

バージョンアップ
選択中のソフトをバージョンアップします。
▶[ch]［はい］

削除
ソフトを削除します。→P216

自動起動
選択中のソフトを自動的に起動させる日時などを設定します。→P214

ｉアプリ待受画面
選択中のソフトをｉアプリ待受画面に設定します。
→P215

ソフト情報
選択中のソフトの名前、バージョン、サイズなどの情報を表示します。

ソフト設定
選択中のソフトの動作条件件を設定します。→P213

お知らせ

バージョンアップ
- バージョンアップ時に、「携帯電話／FOMA カード（UIM）の製造番号」を送信するかどうかを確認する画面が表示される場合があります。[ch]［はい］を選択するとダウンロードを開始します。この場合、お客様の端末情報データはインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- メールフォルダにセキュリティが設定されている場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

お買い上げ時に登録されているソフト

お買い上げ時には次のｉアプリが登録されています。

ゲームソフト	Hungry Fish
	OpeItOut
その他のソフト	Gガイド番組リモコン

- ｉアプリのタイトルは、画面の表示と異なる場合があります。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、次のメーカーサイトURLからダウンロードできます。
  http://motomobile.jp/

Hungry Fish

自分より大きな魚に食べられないように気をつけながら、自分より小さな魚を食べて成長していく食物連鎖ゲームです。たくさんの魚を食べて体を大きくしていきます。

1 ソフト一覧画面（P210）▶「Hungry Fish」▶◉

メニュー画面が表示されます。

2 次の操作を行う

ゲーム
ゲームを開始します。
はじめから：ゲームを開始します。
▶〇で背景を選択▶[ch]［開始］
つづきから：保存したところからゲームを開始します。
▶〇でレコードを選択▶[ch]［選択］▶[iα]［再開］

オプション
ゲーム中の動作を設定します。
▶次の項目を設定▶[ch]［保存］
バイブレータ：自分より大きな魚に捕食されたときにFOMA端末が振動するように設定します。
▶〇で「OFF」／「ON」を選択
BGM：ゲーム中にBGMを再生するかどうかを設定します。
▶〇で「OFF」／「ON」を選択
サウンド：ゲーム中に効果音を鳴らすかどうかを設定します。
▶〇で「OFF」／「ON」を選択

バージョン情報
ソフトのバージョン情報を表示します。

ルール説明
ゲームの内容や操作方法を表示します。

終了
ソフト一覧画面に戻ります。

ゲームの操作について

ゲーム中画面

❶ライフタイム
自分の魚（自分の操作する魚）のライフタイム（存続時間）を示します。ライフタイムが短くなると骨が現れ、すべて骨になった場合は体が1段階小さくなります。自分の魚が最小サイズのときはゲームオーバーです。

次のページへ続く

また、自分の魚より小さい魚を捕食すると、ライフタイムは長くなります。
- 「はじめから」を選択してゲームを開始した直後が最小サイズの状態です。

❷ **最大サイズの魚**
最大サイズの魚です。自分の魚もこの魚と同じ大きさまで成長できます。

❸ **自分の魚**
自分の魚より大きな魚に接触しないように気をつけながら、自分の魚より小さな魚を追いかけて捕食します。ライフタイムがの状態のときに捕食すると1段階大きく成長しますが、成長するごとに動きは遅くなります。
- 自分の魚より大きな魚に接触すると捕食され、骨となって海底に沈みます。ライフタイム内であれば、何度捕食されても自分の魚は再生します。
- 自分の魚と同じ大きさの魚に接触しても、捕食されません。

❹ **スコア**
自分の魚が捕食した魚の数を示します。

❺ **捕食された魚**

■ **自分の魚の動かしかた**

キー	説　明
(4／6)	左へ移動／右へ移動
(2／8)	上へ移動／下へ移動
1	左上へ移動
3	右上へ移動
7	左下へ移動
9	右下へ移動

■ **ゲームを途中で中断／再開するには**
ゲーム中画面で[ポーズ]／[再開]を押します。

■ **ゲームの内容を保存する**
プレイ中のゲームの内容を保存します。
① ゲーム中画面（P211）▶ ［メニュー］▶「セーブ」
②「新規作成」▶ ［選択］
- ゲームの内容を既に3件保存している場合は、保存済みのレコードを選択して上書き保存してください。レコードには保存した日時が表示されます。

■ **保存したところからゲームを開始する**
メニュー画面（P211）▶「ゲーム」▶「つづきから」▶レコードを選択▶ ［選択］を押してください。
ゲーム中の場合
［メニュー］▶「つづきから」▶レコードを選択▶ ［選択］を押してください。

OpeItOut

動くボールに当たらないようにカーソルを移動させ、隠された絵を出現させるゲームです。

1 ソフト一覧画面（P210）▶「OpeItOut」▶
メニュー画面が表示されます。

2 次の操作を行う

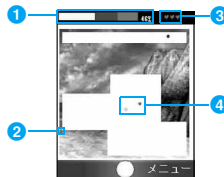
ゲーム
ゲームを開始します。
はじめから：ゲームを開始します。
▶でレベルを選択▶ ［開始］
つづきから：保存したところからゲームを開始します。
▶でレコードを選択▶ ［選択］

オプション
ゲーム中の動作を設定します。
▶次の項目を設定▶ ［保存］
スピード　：カーソルとボールのスピードを設定します。
▶で「低」／「中」／「高」を選択
サイズ　：カーソルとボールの大きさを設定します。
▶で「小」／「大」を選択
サウンド　：ゲーム中に音声を鳴らすかどうかを設定します。
▶で「OFF」／「ON」を選択
バイブレータ：ボールがラインに触れたときにFOMA端末が振動するように設定します。
▶で「OFF」／「ON」を選択

バージョン情報
ソフトのバージョン情報を表示します。

ルール説明
ゲームの内容や操作方法を表示します。

終了
ソフト一覧画面に戻ります。

ゲームの操作について

ゲーム中画面

❶ **インジケーター**
隠された絵をどのくらい表示したかをバーとパーセントで表示します。

❷ **カーソル**
カーソルを移動させると隠された絵が現れてきます。

❸ **ライフ数**
がすべて無くなるとゲームオーバーです。
は次のとき1つ減ります。
- カーソルやカーソルで引いたラインに動くボールがあたったとき
- 移動中のカーソルを進行方向から逆方向へ戻したとき

- カーソルで引いたラインにカーソルが触れたとき

❹動くボール
レベルが上がるとボールの数が増えていきます。

■カーソルの動かしかた

キー	説　明
(4／6)	左へ移動／右へ移動
(2／8)	上へ移動／下へ移動

■ステージをクリアするには
それぞれのステージに隠された絵を出現させると、ステージをクリアして次のステージに進むことができます。隠された絵を次の表示率まで出現させるとステージをクリアできます。

ステージ	ボールの数	絵の表示率
レベル1	1個	86%以上
レベル2	2個	81%以上
レベル3	3個	76%以上
レベル4	5個	66%以上
レベル5	7個	61%以上

- ラインを引き終わった後は、隠された箇所（動くボールが無いエリア）が消えて絵が表示されます。ただし、ラインを挟んで両方に動くボールがあった場合は、どちらのエリアも絵は表示されません。

■ゲームの内容を保存する
プレイ中のゲームの内容を保存します。
①ゲーム中画面（P212）▶［メニュー］▶「セーブ」
②「追加」▶［選択］
- ゲームの内容を既に3件保存している場合は、保存済みのレコードを選択して上書き保存してください。レコードには保存した日時が表示されます。

■保存したところからゲームを開始する
- 「Hungry Fish」の「保存したところからゲームを開始する」（P212）を参照してください。

Gガイド番組表リモコン

- 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とテレビリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報を簡単に取得できます。お住まいの地域に応じたテレビ局の番組タイトル、番組内容、開始／終了時間、Gコード®を知ることができます。
気になった番組があったら、すぐにお友達に番組のタイトル、番組の放送スケジュールなどをメールでお知らせできる「おすすめメール」機能があります。また、お使いのテレビのリモコン操作ができます（ただし、一部対応していない機種もあります）。

- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。
- 赤外線リモコンについては「赤外線リモコン機能を利用する」（P255）を参照してください。

iアプリの動作条件を設定する

ソフトごとに動作条件を設定します。ソフト起動中に自動的に通信するように設定したり、サイトやメール、赤外線通信などからiアプリを起動するかどうかを設定したりします。

- ソフトによって変更できない項目があります。

1 **ソフト一覧画面（P210）▶ソフトを選択▶［機能］▶「ソフト設定」▶次の操作を行う**

通信設定
ソフト起動中に通信するかどうかを設定します。
▶「通信する」／「通信しない」／「起動ごとに確認」

待受画面通信
iアプリ待受画面起動中に通信するかどうかを設定します。
▶「通信する」／「通信しない」

アイコン情報
ソフトを起動したときにiモードメール、メッセージR/F、圏内／圏外、電池残量、マナーモードのアイコン情報の利用を許可するかどうかを設定します。
▶「利用する」／「利用しない」

ブラウザから起動
サイトからソフトを起動させるかどうかを設定します。
▶「許可する」／「許可しない」

メールから起動
メールからソフトを起動させるかどうかを設定します。
▶「許可する」／「許可しない」

赤外線から起動
赤外線通信からソフトを起動させるかどうかを設定します。
▶「許可する」／「許可しない」

バーコードから起動
バーコードリーダーからソフトを起動させるかどうかを設定します。
▶「許可する」／「許可しない」

次のページへ続く

着信音／画像変更
ソフトを起動したときに、着信音や待受画面などに設定されている画像やメロディを自動的に変更するかどうかを設定します。
▶「許可する」／「許可しない」／「変更ごとに確認」

電話帳／履歴参照
ソフトを起動したときに、電話帳、着信履歴の参照を許可するかどうかを設定します。
▶「許可する」／「許可しない」

お知らせ

共通
- 「ソフト設定」の設定によっては、ソフトからのネットワーク接続（未読メール、電池残量など）の利用ができなくなります。

通信設定
- 「通信しない」に設定すると、ソフトが起動しない場合やタイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- 「通信する」に設定すると、ソフトが自動的にネットワークに接続します。接続したときはパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

待受画面通信
- 「通信する」に設定すると、ソフトが自動的にネットワークに接続します。接続したときはパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

アイコン情報
- 「利用する」に設定すると、未読のメール、メッセージ、電池残量、マナーモード、圏内、圏外のアイコンの有無がお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

自動起動

ｉアプリを自動起動する

- ｉアプリを自動起動するには、日付・時刻の設定が必要です。→P48

自動起動するかどうかを設定する

お買い上げ時	ON

ソフトを自動的に起動するかどうかを設定します。

1 ●▶ (設定)▶「ｉアプリ設定」▶「自動起動」

ON ：自動起動を許可します。
OFF：自動起動を許可しません。

起動日時を設定する

お買い上げ時	OFF

ソフトを自動的に起動する日時を設定します。ソフトごとに起動日時を設定したり、あらかじめソフトに設定されている自動起動機能を利用します。

1 ソフト一覧画面（P210）▶ソフトを選択▶[機能]▶「自動起動」▶次の操作を行う

- 「日付」「曜日」「時間」は「ユーザ設定」の内容に従って表示されます。

ユーザ設定
自動起動の繰り返しパターンを選択します。
▶次の繰り返しパターンを選択▶[選択]
毎日：毎日指定した時刻に自動起動します。
毎週：毎週指定した曜日の指定した時刻に自動起動します。
毎月：毎月指定した日付の指定した時刻に自動起動します。
毎年：毎年指定した日付の指定した時刻に自動起動します。
1回のみ
：指定した日付、時刻に1回だけ自動起動します。
OFF：自動起動しません。

日付
自動起動する日付を設定します。
▶「年」「月」「日」を選択し、／ダイヤルキーで数字を入力▶[OK]

曜日
自動起動する曜日を設定します。
▶曜日を選択[選択]

時間
自動起動する時間を設定します。
▶「時間」「分」「表示形式」を選択し、／ダイヤルキーで数字／表示形式を選択▶[OK]

ソフト設定
ソフトに設定されている自動起動を許可するかどうかを設定します。
▶「ON」／「OFF」▶[選択]

2 [完了]

お知らせ

- 次の場合、ソフトは自動起動しません。
  - FOMA端末の電源がOFFのとき
  - 通話中、通信中
  - 他の機能を起動しているとき
  - 「オールロック」の「今すぐロック」を設定中（設定解除コード入力画面表示中も含む）
  - 「オールロック」の「電源ONロック」を「ON」に設定し、電源を入れ直したときに表示される設定解除コード入力画面表示中

- 自動起動の設定時刻を「アラーム」「スケジュール」「ToDo」のアラーム設定時刻と同じ時刻に設定した場合は、「スケジュール」→「ToDo」の順でアラーム設定が優先されます。「スケジュール」→「ToDo」のアラーム音を停止すると、ｉアプリは起動せず、ｉアプリ起動失敗アイコンが画面に表示されます。
- 他のソフトに設定されている自動起動時刻の前後10分未満は、自動起動を設定できません。起動時刻を修正するかどうかを確認する画面が表示されます。修正する場合は［編集］を押します。
- 自動起動時刻に他のソフトを起動していた場合、ソフトは起動しません。
- 自動起動に失敗すると画面上部にが表示されます。アイコンを削除する場合は、待受画面▶●▶（ｉアプリ）を選択すると、画面に「自動起動失敗」のメッセージが表示されます。［詳細］▶［機能］▶「全件削除」を選択してください。ただし、を削除しても起動失敗履歴は削除されません。起動失敗履歴の削除→P216

ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面を設定する

ｉアプリ待受画面には、対応しているソフトを1つのみ設定できます。待受画面に設定できるソフトにはが表示されます。

1 **ソフト一覧画面（P210）▶ソフトを選択▶［機能］▶「ｉアプリ待受画面」**

ON ：ｉアプリ待受画面に設定します。

OFF：ｉアプリ待受画面の設定を解除します。

■ **ｉアプリ待受画面に設定したソフトを操作する場合**

ｉアプリ待受画面表示中にを押します。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面を設定している場合は、電源を入れたときにｉアプリ待受画面を起動するかどうかを確認するメッセージが表示されます。起動する場合は［はい］を、起動しない場合は［いいえ］を選択します。
- ｉアプリ待受画面表示中に「オールロック」の「今すぐロック」を設定すると、ｉアプリ待受画面は終了します。「今すぐロック」を解除するとｉアプリ待受画面は表示されます。
- ｉアプリ待受画面表示中にｉチャネルの「テロップ表示」を「ON」に設定すると、ｉアプリ待受画面を解除して待受画面にテロップが表示されます。ｉアプリ待受画面を表示したい場合は、「ｉアプリ待受画面」を「ON」に設定し直してください。
- ｉアプリ待受画面に設定できないソフトもあります。
- ｉアプリ待受画面からWeb To機能は利用できません。
- 通信するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。
- 「待受画面通信」を「通信しない」に設定している場合、タイムリーな情報提供を受けられない場合があります。

ｉアプリ待受画面を解除する

ｉアプリ待受画面の設定を解除して、通常の待受画面に戻します。

1 **ｉアプリ待受画面起動中▶**

再開：ソフト起動中画面に戻ります。

終了：ｉアプリ待受画面の設定を解除せずに、ｉアプリ待受画面を一度終了して再表示します。

待受設定解除

：ｉアプリ待受画面の設定を解除します。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面がエラーなどで解除された場合、エラー発生日時などの履歴が異常終了履歴に記録されます。→P216

ｉアプリ設定

ｉアプリを管理する

お買い上げ時	ソート：名前 ソフト情報表示：OFF 照明：端末設定に従う バイブレータ：ソフト設定に従う

FOMA端末に保存したソフトを設定／管理します。

1 **●▶（設定）▶「ｉアプリ設定」▶次の操作を行う**

ソート

名前、サイズなど条件を設定してソフトを並べ替えます。

名前　：ソフトの名前を昇順に並べ替えます。

サイズ　：ソフトのサイズが大きい順に並べ替えます。

ダウンロード日時

：ダウンロードした日時の新しい順に並べ替えます。

使用日時：ソフトを使用した日時の新しい順に並べ替えます。

自動起動

ソフトを自動的に起動させるかどうかを設定します。→P214

ソフト情報表示

ダウンロード時にソフトの情報を表示するかどうかを設定します。

▶「ON」／「OFF」

照明

ソフト起動中の照明を設定します。

端末設定に従う　：「バックライト点灯設定」に従います。

ソフト設定に従う：ソフトの設定に従います。

バイブレータ

ソフト起動中のバイブレータ動作の方法を設定します。

端末設定に従う　：「音／バイブ設定」に従います。

ソフト設定に従う：ソフトの設定に従います。

次のページへ続く

起動失敗履歴
自動起動に失敗したソフトの起動失敗履歴を表示します。
- 起動失敗履歴を削除する場合は、[機能]▶「全件削除」を選択します。

異常終了履歴
ｉアプリ待受画面の異常終了履歴を表示します。
- 異常終了履歴を削除する場合は、[機能]▶「全件削除」を選択します。

セキュリティーエラー履歴
セキュリティーエラーによって終了したソフトのエラー履歴を表示します。
- セキュリティーエラー履歴を削除する場合は、[機能]▶「全件削除」を選択します。

トレース情報
ソフトのトレース情報を表示します。
- トレース情報を削除する場合は、[機能]▶「全件削除」を選択します。

お知らせ

ソート
- 「名前」を選択した場合は、次の順番で並び替わります。
  ① 半角記号を含む半角英数字（ASCII順）
  ② 全角記号を含む全角文字（Shift-JIS順）
  ③ 半角カタカナ
  ④ 絵文字

異常終了履歴
- ｉアプリ待受画面が正常に終了した場合は、異常終了履歴には記録されません。

トレース情報
- トレース情報がない場合は、トレース情報は表示されません。

ｉアプリを削除する

1 **ソフト一覧画面（P210）▶ソフトを選択▶[機能]▶「削除」▶次の操作を行う**

1件削除
選択中のソフトを削除します。
▶[はい]

選択削除
複数のソフトを選択して削除します。
▶**削除するソフトにチェックを付ける▶**[OK]▶[はい]

全件削除
保存されているソフトをすべて削除します。
▶**端末暗証番号を入力▶**[はい]

お知らせ
- メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかを確認する画面が表示されます。フォルダも削除する場合は[はい]を押します。ソフトのみを削除する場合は[いいえ]を押します。ソフトのみを削除した場合は、メール本文のみ見ることができます。
- メール連動型 ｉ アプリ用フォルダに保護メールが含まれている場合は、ソフトのみ削除されます。

ｉアプリのさまざまな機能を利用する

ｉアプリ起動中にサイトに接続したり、FOMA端末の機能を使うことができます。
- 対応した ｉ アプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリによっては操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

ｉアプリからサイトを表示する

1 **ｉアプリ起動中にURLを選択▶[はい]**

起動中のソフトを終了して、サイトを表示します。

ｉアプリからカメラを利用する

起動中のｉアプリからカメラ機能を利用できます。
- 撮影した画像は「データBOX」内「マイピクチャ」の「ｉモード／その他」フォルダに保存されます。
- 撮影した画像はソフトの一部として利用されます。

1 **ｉアプリ起動中にカメラを起動する**

静止画撮影画面が表示されます。
- カメラの使いかた→P147

2 **カメラを被写体に向ける▶◉／•**

静止画が撮影されます。

ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

起動中のｉアプリからバーコードリーダーを利用できます。
- 読み取り結果は、ソフトで利用／保存される場合があります。
- JANコード／QRコードを読み取るときは、カメラの接写切替スイッチを🌷に合わせ、コードからカメラを約10cm離して読み取ってください。→P151

1 ｉアプリ起動中にバーコードリーダーを起動する

読み取り開始画面が表示されます。

- バーコードリーダーの使いかた→P153

2 JANコード／QRコードを確認▶●

コードを読み取ります。

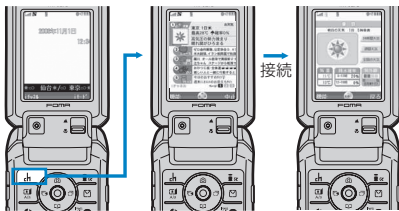
ｉチャネル

iチャネルとは

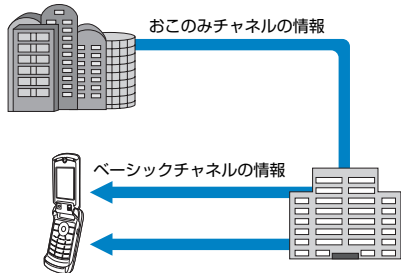
ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がiチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、chを押すことでチャネル一覧に表示されます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

- チャネル一覧の表示方法→P221
- iチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

未契約

契約後

❶ iチャネルをご契約いただいていない場合
❷ iチャネルをご契約いただいた後、情報を受信したタイミング、もしくはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。
❸ chを押すとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。
❹ 各チャネルを選択すると、それぞれの詳細情報画面が閲覧できます。
※ 各画面はイメージです。実際の画面とは異なります。

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があります。
「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますので、iチャネルの利用開始時からすぐに利用できます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、iチャネルのサービス利用料に含まれます。
「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、iチャネルのサービス利用料には含まれません。
なお、待受画面にテロップとして流すことができるのは、「ベーシックチャネル」の情報のみとなります。

IP（情報サービス提供者）

- iチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはiモード契約が必要です）。
- 操作方法→P221
- 対応機種：iチャネル対応機種でご利用いただけます。詳しくは『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

お知らせ

- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP（情報サービス提供者）に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
- 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、iチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。

おためしサービス

iモードをご契約の上、iチャネル対応端末を利用しているお客様で、iチャネル対応端末を利用している契約者回線についてiチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。
おためしサービスは、原則としてFOMAカードを挿入してiチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、chを押すことで開始できます。
おためしサービスを利用できるのは、1つのご契約者回線につき1回のみです。おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また、途中で終了したい場合の操作方法については、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

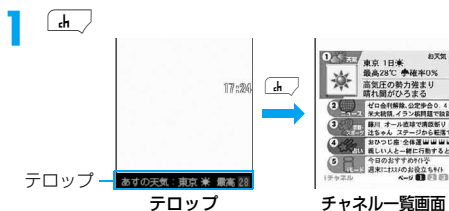
- おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、『ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）』をご覧ください。

iチャネルを使う

iチャネルを契約した場合、情報を受信したタイミングで待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。

- テロップを自動的に表示するには「テロップ表示」を「ON」に設定してください。→P221
- 公共モード（ドライブモード）設定中は、テロップは表示されません。

1 ch

テロップ　チャネル一覧画面

2 チャネル項目を選択▶●

サイトに接続し、詳細情報が表示されます。

- ◯：チャネル一覧画面に戻ります。

お知らせ

- 情報を受信しても、着信音、バイブレータは鳴動しません。また、着信ランプも点灯／点滅しません。
- 端末の電源がOFF、もしくは圏外であった場合や、電波状況が良くないときは、情報を受信できない場合があります。chを押し情報を受信すると、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。また、お買い上げ時の状態のままでは情報を受信できない場合があります。その場合は、chを押すと情報を受信し、待受画面のテロップに自動的に情報が流れます。
- ご利用の状況により、チャネル一覧を表示したタイミングで情報を受信する場合があります。
- 「iモード設定」の「接続先設定」で接続先を変更した場合は、iチャネルの接続先も変更されます（通常は設定を変更する必要はありません）。
- iチャネル解約後などは、自動的に表示されなくなります。
- テロップ表示中に「iアプリ待受画面」を「ON」に設定すると、テロップ表示は解除されます。テロップを表示する場合は、「テロップ表示」を「ON」に設定し直してください。
- 次の場合、チャネル情報が取得できなかったというメッセージが表示されることがあります。
  - iチャネルの接続先を変更した場合
  - 「端末初期化」をした場合
  - FOMAカードを差し替えた場合

iチャネル設定

iチャネルの設定を行う

お買い上げ時	テロップ表示：ON テロップ速度：通常 テロップ設定：文字色（緑）／背景色（黒）

待受画面にテロップを表示するかどうかや、テロップの表示スタイルを設定します。

1 チャネル一覧画面(P221)▶ch［機能］▶次の操作を行う

テロップ表示
待受画面にチャネル情報をテロップ表示するかどうかを設定します。
▶「ON」／「OFF」

テロップ速度
テロップの流れる速度を設定します。
▶「低速」／「通常」／「高速」

テロップ設定
文字色：テロップに表示される文字の色を設定します。
▶文字の色を選択▶ch［選択］
背景色：テロップの背景の色を設定します。
▶背景の色を選択▶ch［選択］

タスクメニュー
電話帳、スケジュールなど他の機能を呼び出します。
→P258

お知らせ

テロップ表示

- iチャネル解約前にiモードサービス解約を行った場合、「テロップ表示」の設定はそのままになりますが、テロップの表示は自動的に表示されなくなります。

テロップ設定

- 文字の色、背景の色を「指定なし」に設定した場合は、お買い上げ時に設定されている色が表示されます。

データ表示／編集／管理／音楽再生

データBOXについて

データBOXには次のような項目とフォルダがあります。サイトやｉモードメールから取得したデータなどが、種類に合わせて各フォルダに保存されます。

マイピクチャ	
ピクチャ（全て）	マイピクチャ内に保存されているすべての静止画
カメラ	カメラで撮影した静止画
ｉモード／その他	サイトやメール、データ通信で取得した静止画など
プリインストール	お買い上げ時に登録されている静止画
ピクチャアルバム	表示回数ランキング
	ユーザ作成ピクチャアルバム
ｉモーション	
ｉモーション（全て）	ｉモーション内に保存されているすべての動画／ｉモーション
カメラ	ビデオカメラで撮影した動画
ｉモード／その他	サイトやメール、データ通信で取得した動画／ｉモーションなど
プリインストール	お買い上げ時に登録されている動画
ｉモーションアルバム	表示回数ランキング
	ユーザ作成ｉモーションアルバム
メロディ	
メロディ（全て）	メロディ内に保存されているすべてのメロディ
ｉモード／その他	サイトやメール、データ通信で取得したメロディなど
プリインストール	お買い上げ時に登録されているメロディ
プレイリスト	再生回数ランキング
	ユーザ作成プレイリスト
キャラ電	
キャラ電（全て）	キャラ電内に保存されているすべてのキャラ電
ｉモード／その他	サイトから取得したキャラ電など
プリインストール	お買い上げ時に登録されているキャラ電
アニメーション	
アニメーション（全て）	アニメーション内に保存されているすべてのFlash
ｉモード／その他	サイトから取得したFlashなど
プリインストール	お買い上げ時にはFlashは保存されていません。
音声メモ	
音声メモ（全て）	音声メモ内に保存されているすべての音声メモ
マイデータ	ユーザ作成カテゴリ

お知らせ

- ファイルをジャンルやフォルダごとに分けて管理したい場合は、ピクチャアルバム、ｉモーションアルバム、プレイリスト、マイデータを利用して管理できます。それ以外のお買い上げ時に登録されているフォルダ内では、フォルダを追加したり、ファイルを別のフォルダに移動することはできません。
- サイトやメール、データ通信で取得した着うた、音声のみのｉモーションは、「メロディ」の「ｉモード／その他」フォルダに保存されます。
- お買い上げ時に登録されているファイルは削除できません。
- データBOXで表示できるファイル数は、お買い上げ時に登録されているファイルを除いて最大1500件までです。
- サイトからダウンロードしたファイルは最大1000件まで保存できます。ダウンロードしたファイルが既に1000件保存されている場合は、保存されているダウンロードファイルを削除してからダウンロードしてください。
- 「マイピクチャ」「ｉモーション」内のファイルをFOMA端末本体、またはmicroSDメモリーカードに移動／コピーした場合は、「ｉモード／その他」フォルダに保存されます。
- データBOXに保存されるファイルは、保存した年月日時分が自動的に付けられます。また、ファイル名は29文字まで登録できます。
  例：2006年11月1日10時10分に保存した場合「01-11-06_1010」※
  ※：「時計設定」の「表示形式」で設定した表示形式によって、ファイル名の付けかたは異なります。

■ お願い
FOMA端末の故障·修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万が一に備え、FOMA端末に保存した内容は、microSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用してパソコンに保管できます。

データBOX画面の機能メニュー

1 ●▶（データBOX）▶ [機能]▶次の操作を行う

再生中表示
バックグラウンドで再生しているメロディの再生画面を表示します。→P242

microSD名称変更
microSDメモリーカードの名前を設定します。
▶ファイル名を入力

microSDフォーマット
microSDメモリーカードを初期化します。
▶[ch]［はい］

メモリ容量
FOMA端末本体、microSDメモリーカード内の保存領域の状態などを表示します。

非表示
バックグラウンドでメロディを再生したままメインメニューを表示します。→P242

ピクチャビューア

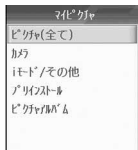
画像を表示する

撮影した静止画、サイトやｉモードメールから取得した静止画などを表示します。

■ 表示可能なファイル形式について

ファイル形式※	JPEG、GIF
画素数	JPEG：1200×1600ドット以下 GIF：640×480ドット以下
拡張子	jpg、gif

※：対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

1 ●▶（データBOX）▶「マイピクチャ」

マイピクチャ画面

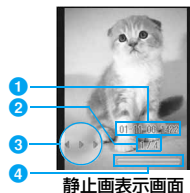
2 フォルダを選択▶●

静止画ファイル一覧画面

❶選択中のファイル名
❷選択中のファイルの保存先

■ 静止画ファイル一覧画面に表示されるアイコン

アイコン	説　明
[icon]	本FOMA端末では認識／表示できないファイル
[icon]	制限が設定されているファイル
[icon]	FOMA端末本体に保存されているファイル
[icon]	microSDメモリーカードに保存されているファイル
[icon]	保存ファイルなし

3 ファイルを選択▶●

静止画表示画面

❶ファイル名
❷通し番号／保存件数
フォルダ内に保存されているファイルの通し番号／保存件数を表示します。
❸コントロールキー
操作可能なマルチファンクションキーを示します。
❹バー表示
通し番号をバーで表示します。

■ 静止画表示画面のキー操作

キー	説　明
[key]	前のファイル／次のファイルを表示
[key] [key]	ソフトキー表示などを消して画像全体を表示※／元の表示サイズへ戻す
● [key]	フォルダ内のファイルをスライドショー表示
[key]	表示中の画像をメール、赤外線、Bluetoothで送信します。→P182、P253、P273

※：「ピクチャ設定」の「全画面表示」で設定した向きで表示されます。

お知らせ

- コントロールキーが画面に表示されていない場合は、[key]などを押すと表示できます。
- 静止画表示画面に表示されるファイル名やコントロールキーは、屋外など光が強いところでは見えづらい場合があります。

マイピクチャ画面の機能メニュー

1 マイピクチャ画面（P225）▶[ch]［機能］▶次の操作を行う

再生中表示
バックグラウンドで再生しているメロディの再生画面を表示します。→P242

新規作成
カメラを起動します。
- カメラの使いかた→P147

▶「ピクチャ」

ピクチャ設定
スライドショーの再生方法と、画像を全体表示するときの角度を設定します。→P227

次のページへ続く

非表示
バックグラウンドでメロディを再生したままメインメニューを表示します。→P242

静止画ファイル一覧画面の機能メニュー

1 静止画ファイル一覧画面(P225)▶ファイルを選択▶ [機能]▶次の操作を行う

再生中表示
バックグラウンドで再生しているメロディの再生画面を表示します。→P242

表示
選択中のファイルを表示します。

アルバムに追加
選択中のファイルをアルバムに登録します。
▶アルバムを選択▶●
- 「[新規作成]」を選択した場合はアルバム名を入力します。

編集
選択中のファイルを編集します。→P228

新規作成
カメラを起動します。
- カメラの使いかた→P147

▶「ピクチャ」

表示種別
ファイルの保存場所を指定して一覧表示します。
▶「保存場所」
全て：FOMA端末本体／microSDメモリーカードに保存されているファイルをすべて表示します。
本体メモリ：FOMA端末本体に保存されているファイルのみ表示します。
microSD：microSD メモリーカードに保存されているファイルのみ表示します。

送信
メールで送信：ファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P182）へ進みます。
赤外線で送信：赤外線通信で1件送信します。
Bluetoothで送信
：Bluetoothで送信します。「Bluetooth機器を登録して接続する」の操作2（P273）へ進みます。

設定
選択中のファイルを待受画面やスクリーンセーバーなどに設定します。
待受画面：待受画面に設定します。
電話帳：電話帳に設定します。「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の 操作2（P97）へ進みます。
スクリーンセーバー
：スクリーンセーバーに設定します。
代替画像：テレビ電話の代替画像に設定します。設定できるのはJPEG形式のファイルのみです。

ファイル管理
名称編集：選択中のファイルの名前を変更します。
▶ファイル名を入力
1件削除：選択中のファイルを削除します。
▶ [はい]
移動：選択中のファイルをFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードに移動します。
コピー：選択中のファイルをFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードにコピーします。

複数選択
アルバムに追加
：複数のファイルを選択してアルバムに登録します。
▶アルバムに登録するファイルにチェックを付ける▶ [完了] ▶アルバムを選択▶●
- 「[新規作成]」を選択した場合はアルバム名を入力します。

削除：複数のファイルを選択して削除します。
▶削除するファイルにチェックを付ける▶ [完了] ▶設定解除コードを入力▶ [はい]
移動：複数のファイルを選択して、FOMA 端末本体／microSDメモリーカードへ移動します。
▶移動するファイルにチェックを付ける▶ [完了] ▶「microSD」／「本体」
コピー：複数のファイルを選択して、FOMA 端末本体／microSDメモリーカードへコピーします。
▶コピーするファイルにチェックを付ける▶ [完了] ▶「microSD」／「本体」

詳細
選択中のファイルの名前やサイズ、種別などの情報を表示します。→P227

ピクチャ設定
スライドショーの再生方法と、画像を全体表示するときの角度を設定します。→P227

非表示
バックグラウンドでメロディを再生したままメインメニューを表示します。→P242

静止画表示画面の機能メニュー

1 静止画表示画面(P225)▶ [機能]▶次の操作を行う

再生中表示
バックグラウンドで再生しているメロディの再生画面を表示します。→P242

全画面表示
ソフトキー表示などを消して画像全体を表示します。画像は「ピクチャ設定」の「全画面表示」で設定した向きで表示されます。
- CLR：全体表示を元の表示へ戻します。
- ：次の画像／前の画像を表示します。

編集
表示中のファイルを編集します。→P228

新規作成
カメラを起動します。
- カメラの使いかた→P147

➧「ピクチャ」

送信
メールで送信：ファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P182）へ進みます。
赤外線で送信：赤外線通信で1件送信します。
Bluetoothで送信
：Bluetoothで送信します。「Bluetooth機器を登録して接続する」の操作2（P273）へ進みます。

設定
表示中のファイルを待受画面やスクリーンセーバーなどに設定します。
待受画面：待受画面に設定します。
電話帳：電話帳に設定します。「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の 操作2（P97）へ進みます。
スクリーンセーバー
：スクリーンセーバーに設定します。
代替画像：テレビ電話の代替画像に設定します。設定できるのはJPEG形式のファイルのみです。

ファイル管理
1件削除：表示中のファイルを削除します。
➧［はい］
移動：表示中のファイルをFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードに移動します。
コピー：表示中のファイルをFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードにコピーします。

ズーム
全画面表示：画像を全体表示します。
元のサイズ：保存されている実際のサイズで表示します。で上下左右に移動できます。

詳細
表示中のファイルの名前やサイズ、種別などの情報を表示します。→P227

ピクチャ設定
スライドショーの再生方法と、画像を全体表示するときの角度を設定します。→P227

非表示
バックグラウンドでメロディを再生したままメインメニューを表示します。→P242

お知らせ

ファイル管理
- ファイルをFOMA端末本体、またはmicroSDメモリーカードに移動／コピーすると、「ｉモード／その他」フォルダに保存されます。

画像の情報を表示する

1 **静止画ファイル一覧画面（P225）／静止画表示画面（P225）／Flashファイル一覧画面（P230）／Flash再生画面（P230）➧［機能］➧「詳細」／「情報表示」➧「情報表示詳細」**

■ 情報表示詳細画面に表示される情報
- 情報がない場合は「不明」と表示されます。

項　目	情報内容
ファイル名	ファイル名を表示
サイズ	ファイルサイズを表示
種別※	ファイル形式を表示
解像度※	解像度を表示
保存日時	保存日時を表示
転送可能※	本FOMA端末外への転送が可能かどうかを表示
適用可能	待受画面やスクリーンセーバーなどに設定できるかどうかを表示
ファイル制限	ファイル制限が設定されているかどうかを表示

※：Flashファイルでは表示されません。

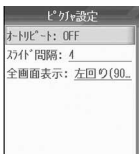
静止画の再生方法を設定する

お買い上げ時	オートリピート：OFF スライド間隔：4 全画面表示：左回り（90゜）

スライドショーの再生方法と、画像を全体表示するときの角度を設定します。

データ表示／編集／管理／音楽再生　ピクチャビューア

次のページへ続く

1 **静止画ファイル一覧画面(P225)／静止画表示画面(P225)▶[ch][機能]▶「ピクチャ設定」**

2 **次の操作を行う**

オートリピート
スライドショー再生をオートリピートするかどうかを設定します。
OFF：フォルダ内のファイルを1回スライドショー再生します。
ON：フォルダ内のファイルを繰り返しスライドショー再生します。

スライド間隔
スライドショー再生するときの間隔を1～999秒の間で設定します。
▶**秒数を入力**

全画面表示
画像を全体表示するときの画像の角度を設定します。
▶「左回り（90°）」／「右回り（90°）」

ファイル制限を設定する

ファイル制限を設定します。メールに添付して送信した場合、送信先のFOMA端末では送信、転送できなくなります。

1 **ファイル制限を設定したいファイルを選択▶[ch][機能]▶「詳細」／「情報表示」▶「情報表示詳細」**
情報表示詳細画面が表示されます。

2 **[ch][機能]▶「ファイル制限」／「制限解除」**

静止画編集

静止画を編集する

静止画を編集します。編集した静止画は、編集元のファイルが保存されているフォルダに保存されます。

- お買い上げ時に登録されているファイルは編集できません。
- 編集できるファイルはJPEGファイルのみです。ただし、ファイルによっては編集できない場合があります。
- 静止画の編集を繰り返し行うと、画質が劣化したり、ファイルサイズが大きくなったりする場合があります。

1 **静止画ファイル一覧画面(P225)／静止画表示画面(P225)▶ファイルを選択▶[ch][機能]▶「編集」**

静止画編集画面
（例：明るさ編集）

2 **[◎]で次の編集項目を選択**

明るさ
画像の明るさを設定します。
▶**[◎]で明るさを調節**

コントラスト
画像のコントラストを設定します。
▶**[◎]でコントラストを調節**

ぼかし／シャープ
画像のシャープネスを設定します。
▶**[◎]でシャープネスを調節**

回転
画像を回転させる角度を設定します。
▶**[◎]で角度を選択**

反転
画像を反転する角度を設定します。
▶**[◎]で「未選択」／「水平方向」／「垂直方向」を選択**

フレーム
画像にフレームを設定します。
▶**[◎]でフレームを選択**

画像エフェクト
画像の効果を設定します。
▶**[◎]で次の設定項目を選択**
未選択：画像エフェクトを設定しません。
白黒：白黒に変換します。
ネガ：ネガ調に変換します。
セピア：セピア調に変換します。
ソラリゼーション：ソラリゼーション調に変換します。
赤基調：赤色を強調します。
緑基調：緑色を強調します。
青基調：青色を強調します。

3 **[i][適用]**

■ **編集を元に戻す場合**
[ch][機能]▶「元に戻す」を選択します。

■ **保存せずに編集を終了する場合**
[ch][機能]▶「終了」を選択します。

■ **上書き保存する場合**
[ch][機能]▶「保存」▶[ch][はい]を押します。

4 [新規保存]

5 「ファイル名」▶ファイル名を入力

- ファイル名は全角／半角を問わず29文字までで入力してください。30文字以上入力はできますが、確定後は自動的に削除されます。

6 「保存場所」▶「本体」／「microSD」

7 [完了]

お知らせ

フレーム

- 編集元の画像サイズが60×60ドット未満の場合は、フレームは設定できません。
- サイトからダウンロードしたり、赤外線通信やｉモードメールなどで取得したりしたフレームは設定できません。

画像の一部を切り出す

1 静止画編集画面（P228）▶ [機能]▶「トリミング」

2 で切り出す範囲に黒枠を移動

- [機能]を押して機能メニューの「トリミングモード切替」より下に表示されているサイズを選択すると、トリミングサイズを変更できます。
- [機能]▶「サイズ変更」を選択するとで黒枠のサイズを変更できます。
- 「静止画を編集する」の操作3（P228）へ進みます。

お知らせ

- 編集元の画像サイズが60×60ドット未満の場合は、画像を切り出しできません。

画像サイズを変更する

編集元の画像サイズによって変更できるサイズは異なります。変更可能なサイズは次のとおりです。

編集元ファイルの画像サイズ※	変更可能な画像サイズ
待受（240×320）	120×160、60×80
VGA（480×640）	240×320、120×160、60×80
1.3M（1024×1280）	512×640、256×320、128×160、64×80
2.0M（1200×1600）	600×800、300×400、150×200、75×100
QCIF（176×144）	88×72
CIF（352×288）	176×144、88×72

※：本FOMA端末で撮影した静止画の解像度の場合

1 静止画編集画面（P228）▶ [機能]▶「サイズ変更」

2 画像サイズを選択▶ [はい]

- 「静止画を編集する」の操作3（P228）へ進みます。

お知らせ

- 編集元の画像より大きいサイズには変更できません。
- 編集元の画像と縦横比が異なるサイズには変更できません。
- 編集元の画像サイズが120×120ドット未満の場合は、サイズ変更できません。

スタンプを貼り付ける

1 静止画編集画面（P228）▶ [機能]▶「スタンプ貼り付け」

2 でスタンプを選択▶で貼り付ける位置を選択

■ **スタンプのサイズを変更する場合**

[機能]▶「サイズ変更」▶でスタンプのサイズを変更します。

■ **別のスタンプを貼り付ける場合**

[機能]▶「スタンプ貼り付け」▶でスタンプを選択▶で貼り付ける位置を選択します。

- スタンプが複数ある場合は、[機能]▶スタンプの名前を選択してフォーカスを切り替えることができます。

■ **貼り付けたスタンプを削除する場合**

[機能]▶「中止」／「グラフィック削除」を選択します。

3 静止画を保存する

- 「静止画を編集する」の操作3（P228）へ進みます。

お知らせ

- 編集元の画像サイズが60×60ドット未満の場合は、スタンプを貼り付けできません。
- お買い上げ時のスタンプについて→P329

文字を貼り付ける

1 静止画編集画面（P228）▶ [機能]▶「テキスト貼付」

2 「テキスト」▶貼り付ける文字を入力する

3 「文字サイズ」▶貼り付ける文字の大きさを選択する

次のページへ続く

4 「文字色」➧貼り付ける文字の色を選択する

5 [ch][完了]

6 ✧で貼り付ける位置を選択

■ **貼り付け中のテキストを変更する場合**
[ch]［機能］➧「テキスト編集」を選択し、操作2〜6を行います。

■ **別のテキストを貼り付ける場合**
[ch]［機能］➧「テキスト貼付」を選択し、操作2〜6を行います。

- テキストが複数ある場合は、[ch]［機能］➧テキストの名前を選択してフォーカスを切り替えることができます。

■ **貼り付けたテキストを削除する場合**
[ch]［機能］➧「中止」／「テキスト削除」を選択します。

7 静止画を保存する

- 「静止画を編集する」の操作3（P228）へ進みます。

お知らせ

- 編集元の画像サイズが60×60ドット未満、640×480ドットより大きい場合は、テキストを貼り付けできません。

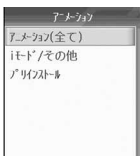
Flash画像を表示する

サイトなどから取得したFlash画像を表示します。

■ **表示可能なファイル形式について**

ファイル形式※	Flash
画素数	240×196ドット以下
ファイルサイズ	100Kバイト
拡張子	swf

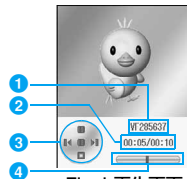
※：対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

1 ●➧🔍（データBOX）➧「アニメーション」

アニメーション画面

2 フォルダを選択➧●

- 画面の見かたについては「画像を表示する」の操作2（P225）を参照してください。

Flashファイル一覧画面

3 ファイルを選択➧●

Flash再生画面

❶ **ファイル名**
❷ **再生経過時間／最大再生時間**
❸ **コントロールキー**
操作可能なマルチファンクションキーを示します。
❹ **再生経過バー**
再生経過をバーで表示します。

■ **Flash再生画面のキー操作**

キー	説　明
● ◎ ▯	一時停止／再生
◎	停止
◎	前のファイル／次のファイルを再生
▯／▯	音量を上げる／下げる

Flashファイル一覧画面の機能メニュー

1 Flashファイル一覧画面（P230）➧ファイルを選択➧[ch]［機能］➧次の操作を行う

再生中表示
バックグラウンドで再生しているメロディの再生画面を表示します。→P242

再生
選択中のファイルを再生します。

設定
選択中のファイルをスクリーンセーバーに設定します。
➧「スクリーンセーバー」

ファイル管理
選択中のファイルを削除します。
➧「1件削除」➧[ch]［はい］

複数選択
複数のファイルを選択して削除します。

▶「削除」▶削除するファイルにチェックを付ける▶ [完了] ▶設定解除コードを入力▶ [はい]

詳細
選択中のファイルの名前やサイズなどの情報を表示します。→P227

非表示
バックグラウンドでメロディを再生したままメインメニューを表示します。→P242

Flash再生画面の機能メニュー

1 Flash再生画面(P230)▶ [機能]▶次の操作を行う

設定
再生中のファイルをスクリーンセーバーに設定します。

▶「スクリーンセーバー」

ファイル管理
再生中のファイルを削除します。

▶「削除」▶ [はい]

情報表示
再生中のファイルの名前やサイズなどの情報を表示します。→P227

動画画質
再生中のファイルの画質を設定します。

通常画質：最も低い画質です。
高画質　：標準的な画質です。
最高画質：最も高い画質です。

再生
ファイルを最初から再生します。

動画／ｉモーションプレーヤー

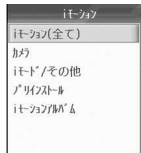
動画／ｉモーションを再生する

撮影した動画、サイトやｉモードメールから取得したｉモーションなどを再生します。

■ 表示可能なファイル形式について

ファイル形式※1	MP4（Mobile MP4）
符号方式	MP4ファイル 映像：MPEG-4、H.263 音声：AMR、AAC
拡張子※2	mp4、3gp、3ga

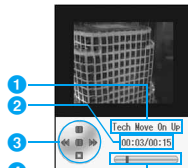
※1：対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。
※2：拡張子がmp4、3gp、3gaの場合でも、音声のみのファイルの場合は「メロディ」に保存されます。

1 ●▶ (データBOX)▶「ｉモーション」

ｉモーション画面

2 フォルダを選択▶●

- 画面の見かたについては「画像を表示する」の操作2（P225）を参照してください。

ｉモーション
ファイル一覧画面

3 ファイルを選択▶●

ｉモーション再生画面

❶ **ファイル名**
❷ **再生経過時間／最大再生時間**
❸ **コントロールキー**
操作可能なマルチファンクションキーを示します。
❹ **再生経過バー**
再生経過をバーで表示します。

■ ｉモーション再生画面のキー操作

キー	説　明
● ○ ▯	一時停止／再生
○	再生を停止
○ ＊	前のファイルを再生
○ ＃	次のファイルを再生
○ ＊（押し続ける）	押している間映像／音声を巻戻し
○ ＃（押し続ける）	押している間映像／音声を早送り
▯／▯	音量調節

データ表示／編集／管理／音楽再生
動画／ｉモーションプレーヤー

次のページへ続く

■ テロップに反転表示がある場合
ｉモーション再生が終了すると、Phone To／AV Phone To／Web To／Mail To機能を利用するかどうかを確認する画面が表示されます。[ch]［はい］を押してください。
- ｉモーション再生中に利用したい場合は、●／◎／・➡●を押します。

お知らせ

- 長期間電池パックを外していると､FOMA端末に設定されている日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限設定されているｉモーションは再生できなくなります。

ｉモーション画面の機能メニュー

1 ｉモーション画面(P231)➡[ch][機能]➡次の操作を行う

再生中表示
バックグラウンドで再生しているメロディの再生画面を表示します。→P242

新規作成
ビデオカメラを起動します。
- ビデオカメラの使いかた→P148

➡「ｉモーション」

ｉモーション設定
動画／ｉモーションの再生方法を設定します。→P234

非表示
バックグラウンドでメロディを再生したままメインメニューを表示します。→P242

ｉモーションファイル一覧画面の機能メニュー

1 ｉモーションファイル一覧画面(P231)➡ファイルを選択➡[ch][機能]➡次の操作を行う

再生中表示
バックグラウンドで再生しているメロディの再生画面を表示します。→P242

再生
選択中のファイルを再生します。

アルバムに追加
選択中のファイルをアルバムに登録します。

➡アルバムを選択➡●
- 「［新規作成］」を選択した場合はアルバム名を入力します。

編集
選択中のファイルを編集します。→P234

新規作成
ビデオカメラを起動します。
- ビデオカメラの使いかた→P148

➡「ｉモーション」

表示種別
指定した保存場所のファイルを一覧表示します。

➡「保存場所」

全て：FOMA端末本体／microSDメモリーカードに保存されているファイルをすべて表示します。

本体メモリ：FOMA端末本体に保存されているファイルのみ表示します。

microSD：microSDメモリーカードに保存されているファイルのみ表示します。

送信

メールで送信：ファイルを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P182）へ進みます。

赤外線で送信：赤外線通信で1件送信します。

Bluetoothで送信
：Bluetoothで送信します。「Bluetooth機器を登録して接続する」の操作2（P273）へ進みます。

設定
選択中のファイルをスクリーンセーバーや着信音などに設定します。

電話帳：電話帳に設定します。「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の操作2（P97）へ進みます。

電話着信音：音声電話の着信音に設定します。

テレビ電話着信音：テレビ電話の着信音に設定します。

メール着信音：メール、SMSを受信したときの着信音に設定します。

メッセージR着信音：メッセージRを受信したときの着信音に設定します。

メッセージF着信音：メッセージFを受信したときの着信音に設定します。

スケジュールアラーム
：スケジュール、ToDoのアラーム音に設定します。

スクリーンセーバー：スクリーンセーバーに設定します。

ファイル管理

名称編集：選択中のファイルの名前を編集します。
➡ファイル名を入力

1件削除：選択中のファイルを削除します。
➡[ch]［はい］

移動：選択中のファイルをFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードに移動します。

コピー：選択中のファイルをFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードにコピーします。

複数選択

アルバムに追加
: 複数のファイルを選択してアルバムに登録します。
▶アルバムに登録するファイルにチェックを付ける▶[i] [完了] ▶アルバムを選択▶●
• 「[新規作成]」を選択した場合はアルバム名を入力します。

削除 : 複数のファイルを選択して削除します。
▶削除するファイルにチェックを付ける▶[i] [完了] ▶設定解除コードを入力▶[ch] [はい]

移動 : 複数のファイルを選択して、FOMA 端末本体／microSDメモリーカードへ移動します。
▶移動するファイルにチェックを付ける▶[i] [完了] ▶「microSD」／「本体」

コピー : 複数のファイルを選択して、FOMA 端末本体／microSDメモリーカードへコピーします。
▶コピーするファイルにチェックを付ける▶[i] [完了] ▶「microSD」／「本体」

詳細

選択中のファイルの名前やサイズ、種別などの情報を表示します。→P234

i モーション設定

動画／i モーションの再生方法を設定します。→P234

非表示

バックグラウンドでメロディを再生したままメインメニューを表示します。→P242

i モーション再生画面の機能メニュー

1 **i モーション再生画面(P231)▶[ch] [機能]▶次の操作を行う**

Bluetooth・本体で接続

再生中の動画／i モーションの音声を、接続中のBluetooth機器／FOMA端末から鳴るように切り替えます。

編集

再生中の動画／i モーションを編集します。→P234

新規作成

ビデオカメラを起動します。
• ビデオカメラの使いかた→P148

▶「i モーション」

送信

メールで送信 : ファイルを添付して i モードメールを作成します。「i モードメールを作成して送信する」の操作2(P182)へ進みます。

赤外線で送信 : 赤外線通信で1件送信します。

Bluetoothで送信
: Bluetoothで送信します。「Bluetooth機器を登録して接続する」の操作2(P273)へ進みます。

設定

再生中のファイルをスクリーンセーバーや着信音などに設定します。

電話帳 : 電話帳に設定します。「着信履歴や発信履歴などから電話帳に登録する」の操作2(P97)へ進みます。

電話着信音 : 音声電話の着信音に設定します。

テレビ電話着信音 : テレビ電話の着信音に設定します。

メール着信音 : メール、SMS を受信したときの着信音に設定します。

メッセージR着信音 : メッセージRを受信したときの着信音に設定します。

メッセージF着信音 : メッセージFを受信したときの着信音に設定します。

スケジュールアラーム
: スケジュール、ToDoのアラーム音に設定します。

スクリーンセーバー : スクリーンセーバーに設定します。

ファイル管理

名称編集 : ファイルの名前を変更します。
▶ファイル名を入力

1件削除 : 再生中のファイルを削除します。
▶[ch] [はい]

移動 : 再生中のファイルをFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードに移動します。

コピー : 再生中のファイルをFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードにコピーします。

詳細

再生中のファイルの名前やサイズ、種別などの情報を表示します。→P234

i モーション設定

動画／i モーションの再生方法を設定します。→P234

ズーム

全画面表示 : 動画を全画面表示します。

元のサイズ : 保存されている実際のサイズで表示します。
✥で上下左右に移動できます。

お知らせ

設定

• 次の動画／i モーションは、着モーションや着信中画面に設定できません。
  - 赤外線通信やデータリンクソフトなどを使用して、パソコンや他のFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻した場合
  - microSD メモリーカードから、FOMA 端末本体にコピーまたは移動した場合(FOMA端末本体からmicroSD メモリーカードにコピーまたは移動してから、もう一度FOMA端末本体にコピーまたは移動した場合も含まれます。)

ファイル管理

• ファイルをFOMA端末本体、またはmicroSDメモリーカードに移動／コピーすると、「i モード／その他」フォルダに保存されます。

動画／ｉモーションの再生方法を設定する

お買い上げ時	オートリピート：OFF 全画面表示：OFF

1 ｉモーション画面(P231)／ｉモーションファイル一覧画面(P231)／ｉモーション再生画面(P231)▶[ch][機能]▶「ｉモーション設定」

2 次の操作を行う

オートリピート
ｉモーションを再生するときにオートリピート再生するかどうかを設定します。
OFF：オートリピート再生しません。
ON：同じファイルを繰り返し再生します。

全画面表示
ｉモーションを再生するときに、映像を画面サイズに合わせて表示するかどうかを設定します。
▶「OFF」／「ON」

お知らせ

全画面表示
- テキストが含まれた動画／ｉモーションを全画面表示した場合、テキストは表示されません。

動画／ｉモーションの情報を表示する

1 ｉモーションファイル一覧画面(P231)／ｉモーション再生画面(P231)▶[ch][機能]▶「詳細」▶「情報表示詳細」

■ 情報表示詳細画面に表示される情報
- 情報がない場合は「不明」と表示されます。

項　目	情報内容
タイトル	ファイルの初期タイトルを表示
ファイル名※	ファイル名を表示
作成者	作成者情報を表示
保存日時※	保存日時を表示
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示
コピーライト	著作権情報を表示
説明	ファイルの説明を表示
種別※	ファイル形式を表示
トーン※	音声形式を表示
解像度※	解像度を表示
着信音設定	着信音に設定可能かどうかを表示
着信画面設定	着信中画面に設定可能かどうかを表示
ファイル制限	ファイル制限が設定されているかどうかを表示

※：ｉモーション再生中は表示されません。

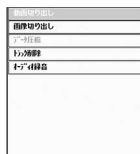
動画／ｉモーション編集

動画／ｉモーションを編集する

動画／ｉモーションを編集します。編集した動画／ｉモーションは、編集元のファイルが保存されているフォルダに保存されます。
- お買い上げ時に登録されているファイルは編集できません。
- ファイルによっては編集できない場合があります。
- ｉモーションに表示されるテロップ情報は編集できません。

動画の一部を切り出す

動画／ｉモーションの一部を切り出します。

1 ｉモーションファイル一覧画面(P231)／ｉモーション再生画面(P231)▶[ch][機能]▶「編集」

動画／ｉモーション編集画面

2 「動画切り出し」
[◎]を押して、動画／ｉモーションを再生します。

3 切り出す始点を選択▶[ch][停止]▶[ch][選択]▶次の操作を行う

始点より前を切り出し
選択した始点までの映像を切り出して保存します。

始点より後を切り出し
選択した始点より後の映像を切り出して保存します。

終点選択
切り出す終点を選択します。
▶Ⓞを押して動画／ｉモーションを再生▶切り出す終点を選択▶[ch]［停止］▶[ch]［選択］▶[ch]［はい］

始点より後をｉモードメール（小）で切り出し
選択した始点より後の映像を、290Kバイト以下に切り出して保存します。

始点より後をｉモードメール（大）で切り出し
選択した始点より後の映像を、490Kバイト以下に切り出して保存します。

4 編集内容を保存する

■ 上書き保存する場合
「上書き保存」▶[ch]［はい］を押します。

■ 別のファイルとして保存する場合
「名前を付けて保存」を選択し、操作5へ進みます。

5 「ファイル名」▶●▶ファイル名を入力

- ファイル名は全角／半角を問わず29文字までで入力してください。30文字以上入力はできますが、確定後は自動的に削除されます。

6 「保存先」▶●▶「本体」／「microSD」

7 [ch]［完了］

動画の一部を静止画として切り出す

動画／ｉモーションを静止画として切り出します。切り出した画像は「マイピクチャ」の「ｉモード／その他」フォルダに保存されます。

1 動画／ｉモーション編集画面（P234）▶「画像切り出し」

Ⓞを押して、動画／ｉモーションを再生します。

2 静止画として切り出す画像を選択▶[ch]［停止］▶[ch]［選択］

■ 編集内容を解除する場合
[iα]［中止］を押します。

3 [ch]［保存］▶[ch]［はい］

4 編集内容を保存する

- 「動画の一部を切り出す」の操作5（P235）へ進みます。

動画を圧縮する

ｉモードメールに添付できるサイズにファイルを圧縮します。

- 290Kバイト以下のファイルでは設定できません。

1 動画／ｉモーション編集画面（P234）▶「データ圧縮」

ｉモードメール（小）
：290Kバイト以下に圧縮します。

ｉモードメール（大）
：490Kバイト以下に圧縮します。

2 編集内容を保存する

- 「動画の一部を切り出す」の操作４（P235）へ進みます。

動画から音声や映像などを削除する

1 動画／ｉモーション編集画面（P234）▶「トラック削除」

ビデオトラック
：映像のみ削除します。

オーディオトラック
：音声のみ削除します。

テロップ：テロップのみ削除します。

2 編集内容を保存する

- 「動画の一部を切り出す」の操作４（P235）へ進みます。

お知らせ

- 動画／ｉモーションから映像を削除したファイルは、「メロディ」の「ｉモード／その他」フォルダに保存されます。

動画の音声を録音する

1 動画／ｉモーション編集画面（P234）▶「オーディオ録音」▶次の操作を行う

新規録音
新規に音声を録音します。
▶[ch]［はい］▶Ⓞを押して録音を開始▶Ⓞを押して録音を停止

既存オーディオファイル利用
FOMA端末に保存されているメロディを録音します。
▶メロディを選択▶[ch]［選択］▶[ch]［はい］▶[ch]［新規保存］

- 吹き替え後Ⓞ：ｉモーションを再生して確認できます。→P231
- 吹き替え後[iα]［中止］：保存せずに終了します。

2 編集内容を保存する

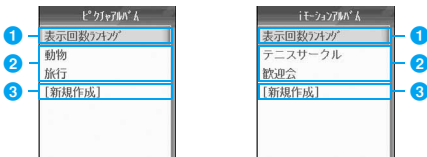
- 「動画の一部を切り出す」の操作４（P235）へ進みます。

ピクチャアルバム／iモーションアルバム

アルバムを利用する

マイピクチャ、iモーションに保存されているファイルをアルバムに登録して管理できます。

アルバムを作成する

1 マイピクチャ画面(P225)／iモーション画面(P231)▶「ピクチャアルバム」／「iモーションアルバム」

ピクチャアルバム一覧画面

iモーションアルバム一覧画面

❶ **表示回数ランキング**
表示／再生回数が多い上位20ファイルが表示されます。

❷ **ユーザ作成アルバム**
作成したアルバム名が表示されます。

❸ **新規作成**
アルバムを新規作成します。

2 「[新規作成]」▶フォルダを選択▶◉

3 アルバムに登録したいファイルにチェックを付ける

- [機能]▶「全選択」を選択すると、フォルダ内のファイルすべてにチェックが付きます。チェックをすべて外すときは「全選択解除」を選択します。

ピクチャ追加画面

iモーション追加画面

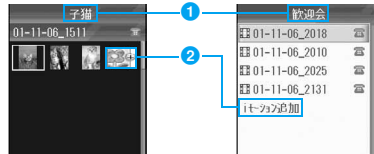
❶ **フォルダ選択画面に戻ります。**

4 [完了]▶アルバム名を入力

■ **アルバム内のファイルをスライドショー再生する**
ピクチャアルバム内の画像をスライドショーで再生したり、iモーションアルバム内の動画／iモーションを順に再生したりできます。
① ピクチャアルバム一覧画面(P236)／iモーションアルバム一覧画面(P236)でアルバムを選択し、[機能]を押す
② 「表示」／「再生」を選択する
アルバム内のファイルが順に再生されます。

アルバムを編集する

アルバムにファイルを追加する

1 ピクチャアルバム一覧画面(P236)／iモーションアルバム一覧画面(P236)▶アルバムを選択

ピクチャアルバムファイル一覧画面

iモーションアルバムファイル一覧画面

❶ **アルバム名**

❷ **(ピクチャ追加)／iモーション追加**
選択中のアルバムにファイルを追加するときに選択します。
- 「表示回数ランキング」を選択している場合は表示されません。

2 (ピクチャ追加)／「iモーション追加」▶フォルダを選択▶◉

3 アルバムに追加するファイルにチェックを付ける▶[完了]

アルバムからファイルを削除する

- アルバムからファイルを削除しても、データBOXからはファイルは削除されません。

1 ピクチャアルバムファイル一覧画面(P236)／iモーションアルバムファイル一覧画面(P236)▶ファイルを選択▶[機能]

■ **ファイルを1つ削除する場合**
「ファイル管理」▶「削除」を選択します。

■ **複数のファイルをまとめて削除する場合**
「複数選択」▶「削除」▶削除するファイルにチェックを付ける▶[完了]を押します。

アルバム名を変更する／アルバムを削除する

1 ピクチャアルバム一覧画面(P236)／iモーションアルバム一覧画面(P236)▶アルバムを選択▶[機能]▶「ファイル管理」

■ アルバム名を変更する場合
「名称編集」➧アルバム名を入力します。

■ アルバムを削除する場合
「1件削除」➧[ch] [はい] を押します。

ピクチャアルバム一覧画面／ｉモーションアルバム一覧画面の機能メニュー

1 ピクチャアルバム一覧画面(P236)／ｉモーションアルバム一覧画面(P236)➧アルバムを選択➧[ch][機能]

- ピクチャアルバム一覧画面の機能メニュー
「表示」：選択中のアルバム内のファイルをスライドショー表示します。→P236
「新規作成」➧「アルバム」：「アルバムにファイルを追加する」（P236）を参照。
「ファイル管理」：「アルバム名を変更する／アルバムを削除する」（P236）を参照。
上記以外の項目については、「マイピクチャ画面の機能メニュー」（P225）を参照。
- ｉモーションアルバム一覧画面の機能メニュー
「再生」：選択中のアルバム内のファイルを順に再生します。→P236
「新規作成」➧「アルバム」：「アルバムにファイルを追加する」（P236）を参照。
「ファイル管理」：「アルバム名を変更する／アルバムを削除する」（P236）を参照。
上記以外の項目については、「ｉモーション画面の機能メニュー」（P232）を参照。

ピクチャアルバムファイル一覧画面／ｉモーションアルバムファイル一覧画面の機能メニュー

1 ピクチャアルバムファイル一覧画面(P236)／ｉモーションアルバムファイル一覧画面(P236)➧[ch][機能]

- ピクチャアルバムファイル一覧画面の機能メニュー
「ファイル管理」：「アルバムからファイルを削除する」（P236）を参照。
「複数選択」➧「ピクチャ追加」：「アルバムにファイルを追加する」（P236）を参照。
上記以外の項目については、「静止画ファイル一覧画面の機能メニュー」（P226）を参照。
- ｉモーションアルバムファイル一覧画面の機能メニュー
「ファイル管理」：「アルバムからファイルを削除する」（P236）を参照。
「複数選択」➧「ｉモーション追加」：「アルバムにファイルを追加する」（P236）を参照。
上記以外の項目については、「ｉモーションファイル一覧画面の機能メニュー」（P232）を参照。

キャラ電

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話を利用するときに、自分のカメラ映像を送る代わりに代替画像として送信するキャラクタです。ダイヤルキーを押してキャラクタを動かしたりすることができます。

■ お買い上げ時に登録されているキャラ電

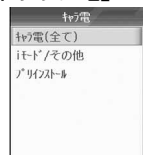
DeeJ

Dimo

■ お買い上げ時に登録されているキャラ電の操作
- お買い上げ時に登録されているキャラ電にはパーツアクションはありません。

キー	DeeJ	Dimo
1	Happy!	喜ぶ
2	Angry	反省
3	Cry	あっかんべ
4	Wow!	LOVE
5	Thanks	寝る
6	Sorry	酔っぱらい
7	Bye	ラッパー
8	Yes!	悲しみ
9	No!!	ムンクの叫び

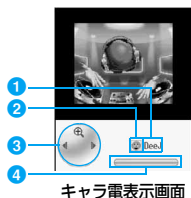
キャラ電を表示して操作する

1 ●➧(データBOX)➧「キャラ電」

キャラ電画面

2 フォルダを選択➧●

- 画面の見かたについては「画像を表示する」の操作2（P225）を参照してください。

キャラ電ファイル一覧画面

3 キャラ電を選択▶●

キャラ電表示画面

1 ファイル名

2 アクションモード
: 全体アクションモード
キャラクタが身体全体でアクションを表現します。
: パーツアクションモード
キャラクタが身体の一部でアクションを表現します。

3 コントロールキー
操作可能なマルチファンクションキーを示します。

4 バー表示
フォルダ内に保存されているファイルの通し番号をバーで表示します。

■キャラ電表示画面のキー操作

キー	説 明
◎(左右)	前のファイル/次のファイルを表示
◎(上下)	画像を拡大/元の表示サイズへ戻す
●	情報表示詳細画面を表示→P239

■キャラクタの操作について
ダイヤルキーを押して、キャラクタを動かすことができます。キャラクタの動作には、全体アクションモード/パーツアクションモードがあります。
- アクションの切り替えかた→「アクション切替」(P238)

キャラ電ファイル一覧画面の機能メニュー

1 キャラ電ファイル一覧画面(P237)▶キャラ電を選択▶ch[機能]▶次の操作を行う

再生中表示
バックグラウンドで再生しているメロディの再生画面を表示します。→P242

再生
選択中のキャラ電を表示します。

キャラ電発信
選択中のキャラ電を代替画像にしてテレビ電話をかけます。→P85

設定
選択中のキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。
▶「代替画像」

ファイル管理
選択中のキャラ電を削除します。
▶「1件削除」▶ch[はい]

複数選択
複数のキャラ電を選択して削除します。
▶「削除」▶削除するキャラ電にチェックを付ける▶i [完了]▶設定解除コードを入力▶ch[はい]

詳細
選択中のキャラ電の名前やサイズ、種別などの情報を表示します。→P239

非表示
バックグラウンドでメロディを再生したままメインメニューを表示します。→P242

キャラ電表示画面の機能メニュー

1 キャラ電表示画面(P238)▶ch[機能]▶次の操作を行う

キャラ電発信
表示中のキャラ電を代替画像にしてテレビ電話をかけます。→P85

代替画像設定
表示中のキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定します。

情報表示
表示中のキャラ電の名前やサイズ、種別などの情報を表示します。→P239

削除
表示中のキャラ電を削除します。
▶ch[はい]

表示サイズ変更
キャラ電画像の表示サイズを変更します。
- ◎(上):拡大表示します。
- ◎(下):元の表示サイズへ戻します。

キャラ電アクション
アクション切替:パーツアクションモード/全体アクションモードに切り替えます。
アクション一覧:キーに割り当てられているキャラクタのアクションを一覧表示します。

キャラ電の情報を表示する

1 **キャラ電ファイル一覧画面(P237)／キャラ電表示画面(P238)▶ch[機能]▶「詳細」／「情報表示」▶「情報表示詳細」**

■ 情報表示詳細画面に表示される情報
- 情報がない場合は「不明」と表示されます。

項　目	情報内容
タイトル	ファイルの初期タイトルを表示
ファイル名	ファイル名を表示
サイズ	ファイルサイズを表示
種別	「キャラ電」を表示
取得元	取得元を表示
解像度	解像度を表示
保存日時	保存日時を表示
転送可能	本FOMA端末外への転送が可能かどうかを表示
適用可能	テレビ電話の代替画像に設定可能かどうかを表示
ファイル制限	ファイル制限が設定されているかどうかを表示

メロディプレーヤー

メロディを再生する

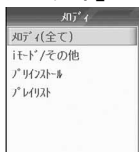
お買い上げ時に登録されているメロディや、サイトなどから取得したメロディを再生します。

- メロディ再生中に他の音声付Flashを再生すると、メロディが正しく再生されない場合があります。

■ 再生可能なファイル形式について

ファイル形式※1	SMF、MFi、AAC
拡張子	mid、midi、mld、mp4※2、3gp※2、3ga※2

※1：対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。
※2：動画が含まれている場合は、「iモーション」に保存されます。

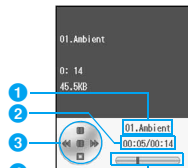
1 **●▶ (データBOX)▶「メロディ」**

メロディ画面

2 **フォルダを選択▶●**

- 画面の見かたについては「画像を表示する」の操作2（P225）を参照してください。

メロディファイル一覧画面

3 **ファイルを選択▶●**

選択中のフォルダ内のメロディが順に再生されます。

メロディ再生画面

❶ **ファイル名**
❷ **再生経過時間／最大再生時間**
❸ **コントロールキー**
操作可能なマルチファンクションキーを示します。
❹ **再生経過バー**
再生経過をバーで表示します。

■ メロディ再生画面のキー操作

キー	説　明
● ◎	一時停止／再生
◎	メロディ再生を停止
◎ ＊	前のファイルを再生
◎ #	次のファイルを再生
◎ ＊（押し続ける）	押している間メロディを巻戻し
◎ #（押し続ける）	押している間メロディを早送り
／	音量調節

データ表示／編集／管理／音楽再生

メロディプレーヤー

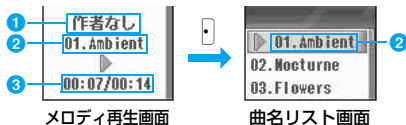
次のページへ続く

■ FOMA端末を閉じてメロディを聞く

メロディ再生中にFOMA端末を閉じると、再生中のメロディのアーティスト名や曲名などがサブディスプレイに表示され、続けて音楽再生を楽しむことができます。

FOMA端末を閉じたときの操作

メロディ再生中にFOMA端末を閉じるとメロディ再生画面が表示されます。曲名リスト画面を表示したい場合は[•]を押します。

- 曲目リスト画面は、約5秒経過するとメロディ再生画面に戻りますが、メロディを一時停止した場合は、メロディ再生画面には戻りません。メロディ再生画面を表示したい場合は、メロディを再生してください。

メロディ再生画面

曲名リスト画面

① アーティスト名
　アーティスト名が登録されていない場合は、「作者なし」と表示されます。

② 曲名／ファイル名

③ 再生時間／最大再生時間

■ メロディ再生画面のキー操作

キー	説　明
[•]	曲名リスト画面を表示
[↑]／[↓]	音量調節

■ 曲名リスト画面のキー操作

キー	説　明
[•]	一時停止／再生
[↑]／[↓]	前のファイル／次のファイルを再生

メロディ画面の機能メニュー

1 メロディ画面(P239)▶[ch][機能]▶次の操作を行う

再生中表示
バックグラウンドで再生しているメロディの再生画面を表示します。→P242

メロディ設定
フォルダ内のメロディを繰り返し再生するかどうかを設定します。

▶「オートリピート」

OFF ：フォルダ内のメロディを1回再生します。
ON ：フォルダ内のメロディを繰り返し再生します。

非表示
バックグラウンドでメロディを再生したままメインメニューを表示します。→P242

メロディファイル一覧画面の機能メニュー

1 メロディファイル一覧画面(P239)▶ファイルを選択▶[ch][機能]▶次の操作を行う

再生中表示
バックグラウンドで再生しているメロディの再生画面を表示します。→P242

再生
選択中のメロディを再生します。

プレイリストに追加
選択中のメロディをプレイリストに登録します。

▶プレイリストを選択▶[●]

- 「［新規プレイリスト］」を選択した場合はプレイリスト名を入力します。

表示種別
指定した保存場所のメロディを一覧表示します。

▶「保存場所」

全て ：FOMA端末本体／microSDメモリーカードに保存されているメロディをすべて表示します。
本体メモリ ：FOMA端末本体に保存されているメロディのみ表示します。
microSD ：microSDメモリーカードに保存されているメロディのみ表示します。

送信

メールで送信 ：メロディを添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P182）へ進みます。
赤外線で送信 ：赤外線通信で1件送信します。
Bluetoothで送信
：Bluetoothで送信します。「Bluetooth機器を登録して接続する」の操作2（P273）へ進みます。

設定
選択中のメロディを着信音などに設定します。

電話着信音 ：音声電話の着信音に設定します。
テレビ電話着信音 ：テレビ電話の着信音に設定します。
メール着信音 ：メール、SMSを受信したときの着信音に設定します。
メッセージR着信音 ：メッセージRを受信したときの着信音に設定します。
メッセージF着信音 ：メッセージFを受信したときの着信音に設定します。
スケジュールアラーム
：スケジュール、ToDoのアラーム音に設定します。

ファイル管理

名称編集：選択中のメロディの名前を編集します。
▶ファイル名を入力

1件削除：選択中のメロディを削除します。
▶［はい］

移動：選択中のメロディをFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードに移動します。

コピー：選択中のメロディをFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードにコピーします。

複数選択

プレイリストに追加
：複数のメロディを選択してプレイリストに登録します。
▶プレイリストに登録するメロディにチェックを付ける▶［完了］▶プレイリストを選択▶●
- 「［新規プレイリスト］」を選択した場合はプレイリスト名を入力します。

削除：複数のメロディを選択して削除します。
▶削除するメロディにチェックを付ける▶［完了］▶設定解除コードを入力▶［はい］

移動：複数のメロディを選択して、FOMA 端末本体／microSDメモリーカードへ移動します。
▶移動するメロディにチェックを付ける▶［完了］▶「microSD」／「本体」

コピー：複数のメロディを選択して、FOMA 端末本体／microSDメモリーカードへコピーします。
▶コピーするメロディにチェックを付ける▶［完了］▶「microSD」／「本体」

詳細

選択中のメロディの名前やサイズ、種別などの情報を表示します。→P242

メロディ設定

フォルダ内のメロディを繰り返し再生するかどうかを設定します。

▶「オートリピート」

OFF：フォルダ内のメロディを1回再生します。

ON：フォルダ内のメロディを繰り返し再生します。

非表示

バックグラウンドでメロディを再生したままメインメニューを表示します。→P242

メロディ再生画面の機能メニュー

1 メロディ再生画面(P239)▶［機能］▶次の操作を行う

Bluetooth・本体で接続

再生中のメロディを接続中のBluetooth機器／FOMA端末から鳴るように切り替えます。

送信

メールで送信：メロディを添付して i モードメールを作成します。「i モードメールを作成して送信する」の操作2（P182）へ進みます。

赤外線で送信：赤外線通信で1件送信します。

Bluetoothで送信
：Bluetoothで送信します。「Bluetooth機器を登録して接続する」の操作2（P273）へ進みます。

設定

再生中のメロディを着信音などに設定します。

電話着信音：音声電話の着信音に設定します。

テレビ電話着信音：テレビ電話の着信音に設定します。

メール着信音：メール、SMS を受信したときの着信音に設定します。

メッセージR着信音：メッセージRを受信したときの着信音に設定します。

メッセージF着信音：メッセージFを受信したときの着信音に設定します。

スケジュールアラーム
：スケジュール、ToDoのアラーム音に設定します。

ファイル管理

名称編集：再生中のメロディの名前を編集します。
▶ファイル名を入力

1件削除：再生中のメロディを削除します。
▶［はい］

移動：再生中のメロディをFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードに移動します。

コピー：再生中のメロディをFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードにコピーします。

詳細

再生中のメロディの名前やサイズ、種別などの情報を表示します。→P242

メロディ設定

フォルダ内のメロディを繰り返し再生するかどうかを設定します。

▶「オートリピート」

OFF：フォルダ内のメロディを1回再生します。

ON：フォルダ内のメロディを繰り返し再生します。

バックグラウンド再生

バックグラウンドでメロディを再生したままメインメニューを表示します。→P242

メロディの情報を表示する

1 メロディファイル一覧画面(P239)／メロディ再生画面(P239)➧[機能]➧「詳細」➧「情報表示詳細」

■ 情報表示詳細画面に表示される情報
- 情報がない場合は「不明」と表示されます。
- ファイル形式によって表示される情報が異なります。
- メロディファイル一覧画面、メロディ再生画面では表示される情報が異なる場合があります。

項　目	情報内容
タイトル	初期タイトルを表示
ファイル名	ファイル名を表示
作成者	作成者情報を表示
保存日時	保存日時を表示
再生時間	再生時間を表示
サイズ	ファイルサイズを表示
ビットレート	ビットレートを表示
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示
コピーライト	著作権情報を表示
説明	ファイルの説明を表示
種別	ファイル形式を表示
トーン	音声形式を表示
解像度	解像度を表示
着信音設定	着信音に設定可能かどうかを表示
着信画面設定	着信中画面に設定可能かどうかを表示
ファイル制限	ファイル制限が設定されているかどうかを表示

メロディを再生しながら他の機能を利用する

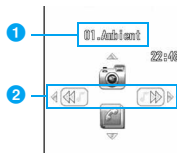
バックグラウンドでメロディを再生しながら、FOMA端末のその他の機能を操作します。

- バックグラウンドでメロディ再生中は、Bluetooth、赤外線受信は利用できません。

1 メロディ再生画面(P239)➧[機能]➧「バックグラウンド再生」

再生中のメロディをバックグラウンド再生に切り替えて、メインメニューを表示します。

■ 待受画面からメロディを操作する

メインメニュー画面で[終了]を押すと待受画面が表示され、再生中のメロディの曲名や、操作キーが表示されます。

❶ **曲名**
再生中のメロディの曲名を表示します。

❷ **操作キー**
：前のファイル／次のファイルを再生

2 メニューを選択➧●

それぞれのメニューから操作したい項目を選択します。

■ バックグラウンドでメロディ再生中に次の操作を行ったときは

音声電話／テレビ電話がかかってきた場合
着信音が鳴りメロディは停止します。通話が終了すると、メロディは自動的に再生されます。

カメラを起動した場合
メロディはそのまま再生されます。ただし、シャッターを押したときはシャッター音が鳴ります。撮影が終了するとメロディが自動的に再生されます。
連続再生中の場合は、その時点で再生が終了しますが、カメラ撮影画面をまたは[終了]を押して閉じると、連続再生が再開されます。

ビデオカメラを起動した場合
メロディは停止します。ビデオカメラを終了すると、メロディは自動的に再生されます。

ｉアプリを起動した場合
ｉアプリに設定されている音声が優先されます。ｉアプリの音声が終了すると、メロディが自動的に再生されます。ただし、ｉアプリに設定されている音声を鳴らないように設定している場合は、ｉアプリ起動中でもメロディが再生されます。

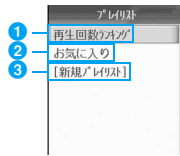
動画／ｉモーションを再生した場合
メロディは停止します。動画／ｉモーションを終了すると、メロディは自動的に再生されます。

プレイリスト

プレイリストを利用する

お気に入りのメロディをまとめたプレイリストを作成できます。

プレイリストを作成する

1 メロディ画面(P239)▶「プレイリスト」

プレイリスト画面

❶ **再生回数ランキング**
再生回数が多い上位20ファイルが表示されます。

❷ **ユーザ作成プレイリスト**
作成したプレイリスト名が表示されます。
[機能]▶「再生」を選択するとプレイリスト内のメロディを再生します。

❸ **新規プレイリスト**
プレイリストを新規作成します。

2 「[新規プレイリスト]」▶フォルダを選択▶●

3 プレイリストに登録したいメロディにチェックを付ける

- [機能]▶「全選択」を選択すると、フォルダ内のメロディすべてにチェックが付きます。チェックをすべて外すときは「全選択解除」を選択します。

メロディ追加画面

❶ フォルダ選択画面に戻ります。

4 [完了]▶プレイリスト名を入力

プレイリストを編集する

プレイリストにメロディを追加する

1 プレイリスト画面(P243)▶プレイリストを選択▶●

プレイリスト一覧画面

❶ プレイリスト名

❷ **メロディ追加**
選択中のプレイリストにメロディを追加するときに選択します。
- 「再生回数ランキング」を選択している場合は表示されません。

2 「[メロディ追加]」▶フォルダを選択▶●

3 プレイリストに追加するメロディにチェックを付ける▶ [完了]

プレイリストからメロディを削除する

- プレイリストからメロディを削除しても、データBOXからは削除されません。

1 プレイリスト一覧画面(P243)▶メロディを選択▶ [機能]

■ **メロディを1つ削除する場合**
「ファイル管理」▶「削除」を選択します。

■ **複数のメロディをまとめて削除する場合**
「複数選択」▶「削除」▶削除するファイルにチェックを付ける▶ [完了]を押します。

プレイリスト一覧のメロディを並べ替える

1 プレイリスト一覧画面(P243)▶ [機能]▶「ファイル管理」▶「並べ替え」

2 並べ替えたいメロディを選択▶ [移動]▶移動先を選択▶ [挿入]▶ [完了]

プレイリスト名を変更する／プレイリストを削除する

1 プレイリスト画面(P243)▶プレイリストを選択▶ [機能]▶「ファイル管理」

■ **プレイリスト名を変更する場合**
「名称編集」▶プレイリスト名を入力します。

■ **プレイリストを削除する場合**
「1件削除」▶ [はい]を押します。

プレイリスト画面の機能メニュー

1 プレイリスト画面(P243)▶ [機能]

- 「新規作成」▶「プレイリスト」:「プレイリストにメロディを追加する」(P243)を参照。
上記以外の項目については、「メロディファイル一覧画面の機能メニュー」(P240)を参照。

プレイリスト一覧画面の機能メニュー

1 プレイリスト一覧画面（P243）▶メロディを選択▶ [機能]

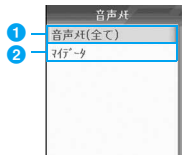
- 「ファイル管理」▶「並べ替え」：「プレイリスト一覧のメロディを並べ替える」（P243）を参照。
  「ファイル管理」▶「削除」：「プレイリストからメロディを削除する」（P243）を参照。
  「複数選択」▶「メロディ追加」：「プレイリストにメロディを追加する」（P243）を参照。
  上記以外の項目については、「メロディファイル一覧画面の機能メニュー」（P240）を参照。

音声メモ

音声メモを利用する

音声を録音する

待受中や音声通話中に自分の声を録音できます。

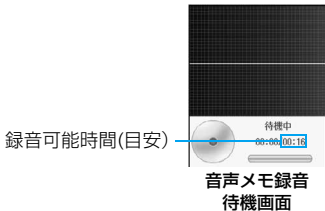
1 ●▶ （データBOX）▶「音声メモ」

音声メモ画面

❶ **音声メモ（全て）**
録音したすべての音声メモを一覧表示します。

❷ **マイデータ**
録音した音声メモをカテゴリ別に表示します。

2 [機能]▶「新規作成」▶「音声メモ」

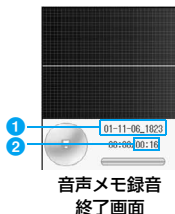
音声メモ録音待機画面

3 ●

録音を開始します。

- [一時停止／再開]：録音を一時停止／再開します。
- [中止]：録音を中止します。

4 ●

録音を終了します。

- ：録音した音声メモを削除して、音声メモ録音待機画面に戻ります。
- 「自動保存」を「ON」に設定している場合は、録音が終了すると自動的に保存されます。→P245

音声メモ録音終了画面

❶ **ファイル名**
❷ **録音した時間**

5 [登録]

■ **すぐに音声を録音したいときは**
FOMA端末を開いた状態で を押し続けると音声を録音できます。
- FOMA端末を閉じている場合は利用できません。

① FOMA端末を開いた状態のとき、 を押している間音声を録音します。
② を離すと録音を終了します。
③ ［登録］を押して保存します。

お知らせ

- 録音中にFOMA端末を閉じたり、 を押したりすると、録音したところまでを保存して音声メモを終了します。
- 録音した音声メモを削除したい場合は、音声メモ終了画面で を押してください。 を押して終了させたり、FOMA端末を閉じたりしても音声メモは削除されません。
- 録音した音声メモのファイル名は、年月日時分が自動的に付けられます。
  例：2006年11月1日10時10分に録音した場合「01-11-06_1010」

音声メモ画面の機能メニュー

1 音声メモ画面（P244）▶ [機能]▶次の操作を行う

再生中表示
バックグラウンドで再生しているメロディの再生画面を表示します。→P242

新規作成
音声を録音します。
▶「音声メモ」
- 「音声を録音する」の操作3（P244）へ進みます。

非表示
バックグラウンドでメロディを再生したままメインメニューを表示します。→P242

音声メモ録音待機画面の機能メニュー

お買い上げ時	音声メモ設定（録音時間）：メール添付用 音声メモ設定（自動保存）：OFF 保存先変更：本体

1 音声メモ録音待機画面（P244）▶[機能]▶次の操作を行う

音声メモ一覧
録音した音声メモを一覧表示します。

音声メモ設定
録音時間：録音時間を設定します。
▶「メール添付用」／「最大」
自動保存：録音した音声メモを自動的に保存するかどうかを設定します。「ON」に設定すると、音声メモ録音終了画面（P244）は表示されず、自動的に保存されます。
▶「OFF」／「ON」

保存先変更
音声メモの保存先を設定します。
▶「microSD」／「本体」

空き容量
FOMA端末本体、microSDメモリーカード内の保存領域の状態などを表示します。

音声メモ録音終了画面の機能メニュー

1 音声メモ録音終了画面（P244）▶[機能]▶次の操作を行う

削除
録音した音声メモを削除します。

プレビュー
録音した音声メモを再生します。

着信音に適用
録音した音声メモを音声電話の着信音に設定します。

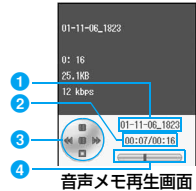
録音した音声メモを再生する

1 音声メモ画面（P244）▶「音声メモ(全て)」

- 画面の見かたについては「画像を表示する」の操作2（P225）を参照してください。

音声メモ（全て）一覧画面

2 ファイルを選択▶●

音声メモ再生画面

❶ファイル名
❷再生経過時間／最大再生時間
❸コントロールキー
操作可能なマルチファンクションキーを示します。
❹再生経過バー
再生経過をバーで表示します。

■ 音声再生画面のキー操作

キー	説　明
● ○ ・	一時停止／再生
○	音声メモの再生を停止
○ ＊	前のファイルを再生
○ ＃	次のファイルを再生
○ ＊（押し続ける）	押している間音声メモを巻戻し
○ ＃（押し続ける）	押している間音声メモを早送り
・／・	音量調節

音声メモ（全て）一覧画面の機能メニュー

1 音声メモ(全て)一覧画面(P245)▶ファイルを選択▶[機能]▶次の操作を行う

再生中表示
バックグラウンドで再生しているメロディの再生画面を表示します。→P242

再生
選択中の音声メモを再生します。

カテゴリに追加
選択中の音声メモをカテゴリに登録します。
▶カテゴリを選択▶●
- 「[新規カテゴリ]」を選択した場合はカテゴリ名を入力します。

新規作成
音声を録音します。
▶「音声メモ」
- 「音声を録音する」の操作3（P244）へ進みます。

次のページへ続く

表示種別
指定した保存場所の音声メモを一覧表示します。

▶「保存場所」

全て：FOMA 端末本体／microSD メモリーカードに保存されている音声メモをすべて表示します。

本体メモリ：FOMA 端末本体に保存されている音声メモのみ表示します。

microSD：microSDメモリーカードに保存されている音声メモのみ表示します。

設定
選択中の音声メモを着信音や電話帳に設定します。

電話着信音：音声電話の着信音に設定します。

テレビ電話着信音：テレビ電話の着信音に設定します。

メール着信音：メール、SMS を受信したときの着信音に設定します。

メッセージR着信音：メッセージRを受信したときの着信音に設定します。

メッセージF着信音：メッセージFを受信したときの着信音に設定します。

スケジュールアラーム
：スケジュール、ToDoのアラーム音に設定します。

ファイル管理

名称編集：選択中の音声メモの名前を編集します。
▶音声メモの名前を入力

1件削除：選択中の音声メモを削除します。
▶[ch][はい]

移動：選択中の音声メモをFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードに移動します。

コピー：選択中の音声メモをFOMA端末本体またはmicroSDメモリーカードにコピーします。

複数選択

カテゴリに追加
：複数の音声メモを選択してカテゴリに登録します。
▶カテゴリに登録する音声メモにチェックを付ける▶[i][完了]▶カテゴリを選択▶●
• 「[新規カテゴリ]」を選択した場合はカテゴリ名を入力します。

削除：複数の音声メモを選択して削除します。
▶削除する音声メモにチェックを付ける▶[i][完了]▶[ch][はい]

移動：複数の音声メモを選択して、FOMA 端末本体／microSDメモリーカードへ移動します。
▶移動する音声メモにチェックを付ける▶[i][完了]▶「microSD」／「本体」

コピー：複数の音声メモを選択して、FOMA 端末本体／microSDメモリーカードへコピーします。
▶コピーする音声メモにチェックを付ける▶[i][完了]▶「microSD」／「本体」

詳細
選択中の音声メモの名前やサイズ、種別などの情報を表示します。→P246

非表示
バックグラウンドでメロディを再生したままメインメニューを表示します。→P242

音声メモ再生画面の機能メニュー

1 音声メモ再生画面(P245)▶[ch][機能]▶次の操作を行う

Bluetooth・本体で接続
再生中の音声メモを接続中のBluetooth機器／FOMA端末から鳴るように切り替えます。

新規作成
音声を録音します。

▶「音声メモ」
• 「音声を録音する」の操作3（P244）へ進みます。

設定
再生中の音声メモを音声電話の着信音に設定します。

▶「電話着信音」

ファイル管理

名称編集：再生中の音声メモの名前を編集します。
▶ファイル名を入力

1件削除：再生中の音声メモを削除します。
▶[ch][はい]

詳細
再生中の音声メモの名前やサイズ、種別などの情報を表示します。→P246

音声メモの情報を表示する

1 音声メモ(全て)一覧画面(P245)／音声メモ再生画面(P245)▶[ch][機能]▶「詳細」▶「情報表示詳細」

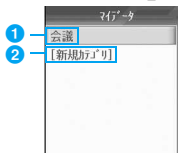
■ **情報表示詳細画面に表示される情報**
• 情報がない場合は「不明」と表示されます。

項　目	情報内容
タイトル	ファイルの初期タイトルを表示
ファイル名	ファイル名を表示
作成者	ファイルの作成者情報を表示
保存日時	保存日時を表示
再生時間	最大再生時間を表示
サイズ	ファイルサイズを表示
ビットレート	ビットレートを表示
種別	ファイル形式を表示
ファイル制限	ファイル制限が設定されているかどうかを表示

音声メモを管理する

音声メモをマイデータ画面で管理できます。音声メモを種類別に分けてカテゴリを作成します。

カテゴリを作成する

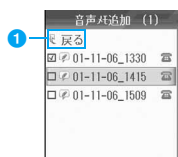
1 音声メモ画面(P244)▶「マイデータ」

マイデータ画面

❶ **ユーザ作成カテゴリ**
作成したカテゴリ名が表示されます。

❷ **新規カテゴリ**
カテゴリを新規作成します。

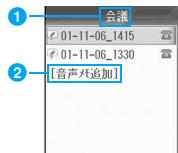
2 「[新規カテゴリ]」▶「音声メモ(全て)」

3 カテゴリに登録したい音声メモにチェックを付ける

- [機能]▶「全選択」を選択すると、フォルダ内の音声メモすべてにチェックが付きます。チェックをすべて外すときは「全選択解除」を選択します。

❶ 1つ前の画面を表示します。

4 [完了]▶カテゴリ名を入力

カテゴリに音声メモを追加する

1 マイデータ画面(P247)▶カテゴリを選択▶●

カテゴリ一覧画面

❶ **カテゴリ名**

❷ **音声メモ追加**
選択中のカテゴリに音声メモを追加するときに選択します。

2 「[音声メモ追加]」▶「音声メモ(全て)」

3 カテゴリに追加したい音声メモにチェックを付ける▶[完了]

カテゴリから音声メモを削除する

- カテゴリから音声メモを削除しても、データBOXからは削除されません。

1 カテゴリ一覧画面(P247)▶音声メモを選択▶[機能]

■ **音声メモを1つ削除する場合**
「ファイル管理」▶「削除」を選択します。

■ **複数の音声メモをまとめて削除する場合**
「複数選択」▶「削除」▶削除する音声メモにチェックを付ける▶[完了]を押します。

カテゴリの音声メモを並べ替える

1 カテゴリ一覧画面(P247)▶[機能]▶「ファイル管理」▶「並べ替え」

2 並べ替えたい音声メモを選択▶[移動]

3 で移動先を選択▶[挿入]▶[完了]

カテゴリ名を変更する／カテゴリを削除する

1 マイデータ画面(P247)▶カテゴリを選択▶[機能]▶「ファイル管理」

■ **カテゴリ名を変更する場合**
「名称編集」▶カテゴリ名を入力します。

■ **カテゴリを削除する場合**
「1件削除」▶[はい]を押します。

マイデータ画面の機能メニュー

1 マイデータ画面(P247)▶[機能]▶次の操作を行う

再生中表示
バックグラウンドで再生しているメロディの再生画面を表示します。→P242

再生
選択中のマイデータ内の音声メモを順に再生します。

新規作成

音声メモ：音声を録音します。「音声を録音する」の操作3（P244）へ進みます。

カテゴリ：新規カテゴリを作成します。「カテゴリを作成する」の操作2（P247）へ進みます。

次のページへ続く

ファイル管理

名称編集：カテゴリの名前を編集します。
▶カテゴリの名前を入力

1件削除：選択中のカテゴリを削除します。
▶[ch]［はい］

非表示
バックグラウンドでメロディを再生したままメインメニューを表示します。→P242

カテゴリ一覧画面の機能メニュー

1 カテゴリ一覧画面(P247)▶音声メモを選択▶[ch][機能]

- 「ファイル管理」▶「並べ替え」:「カテゴリの音声メモを並べ替える」(P247)を参照。
「ファイル管理」▶「削除」:「カテゴリから音声メモを削除する」(P247)を参照。
「複数選択」▶「音声メモ追加」:「カテゴリに音声メモを追加する」(P247)を参照。
上記以外の項目については、「音声メモ（全て）一覧画面の機能メニュー」(P245)を参照。

microSDメモリーカードについて

microSDメモリーカードをFOMA端末に取り付け、外部メモリとして利用できます。microSDメモリーカードは小型、軽量で大きな記憶容量を持つ、着脱可能な外部記録メディアの1つです。

- FOMA M702iGは、1GバイトまでのmicroSDメモリーカード（市販品）に対応しています（2006年12月現在)。サンディスク、東芝、Kingmax社製について動作確認しています。ただし、各社のmicroSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- microSDメモリーカードおよびmicroSDメモリーカードアダプタは、家電量販店などでお買い求めいただけます。

microSDメモリーカード使用時のご注意

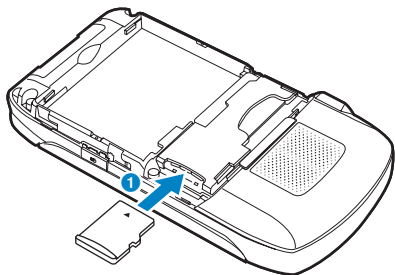
- パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDメモリーカードは、使用できない場合があります。FOMA M702iGでフォーマットしたものを使用してください。→P249
- microSDメモリーカードは、事故や故障によってデータを消失または変形してしまうことがあります。大切なデータは控えを取っておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 転送するデータ量によっては通信に時間がかかる場合があります。また、データをコピーできない場合があります。
- データの読み込みや書き込み中に、FOMA端末の電源を切らないでください。
- データの読み込みや書き込み中、microSDメモリーカードのフォーマット中に、FOMA USB接続ケーブル（別売）を抜かないでください。データ消失などの原因となります。
- microSDメモリーカード内のデータを表示したり、保存容量を確認したりするときなど、microSDメモリーカード利用中は、絶対にmicroSDメモリーカードを抜かないでください。
- ラベルやシールなどを貼って使用しないでください。ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因になることがあります。
- 端子部分には手や金属などで触れたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- microSDメモリーカードを取り外したあとは、乳幼児の手の届く場所には放置しないでください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
- microSDメモリーカードを取り付け／取り外しを行うとき、指を急に離すとカードが飛び出すことがありますので、顔などを近づけないでください。また、特に小さなお子様には触らせないでください。けがの原因となります。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光の当たる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所

microSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

- microSDメモリーカードの取り付け／取り外しは、FOMA端末の電源を切り、電池パックを取り外した状態で行ってください。

取り付けかた

電池パックのリアカバーや電池パックを取り外してから行います。**→P43**

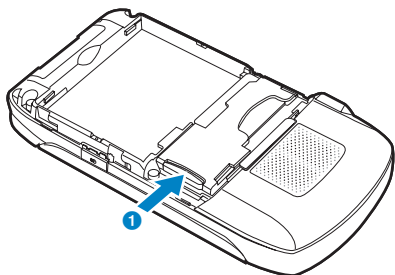
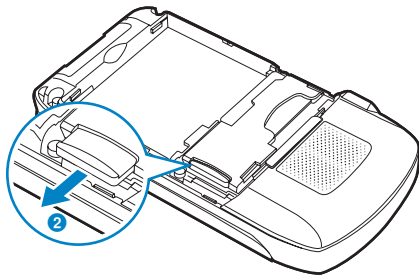
1 microSDメモリーカードのおもて面を上にして矢印❶の方向に「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込む

お知らせ

- microSD メモリーカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとmicroSDメモリーカードを利用できません。

取り外しかた

電池パックのリアカバーや電池パックを取り外してから行います。→P43

1 microSDメモリーカードを矢印❶の方向へ軽く押し込む

microSDメモリーカードが少し飛び出します。

2 microSDメモリーカードを矢印❷の方向へまっすぐに取り出す

お知らせ

- microSD メモリーカードを取り外すときは、無理に引き抜かないでください。

microSD メモリーカードを使う

FOMA 端末に保存されている画像や動画／ｉモーションなど、データBOX内のファイルをmicroSDメモリーカードに保存したり、パソコンからmicroSD メモリーカードに保存したファイルをFOMA端末本体で表示することができます。

- FOMA端末内の電話帳、スケジュール、ToDo、メールのデータはmicroSDメモリーカードにコピー／移動できません。また、他のFOMA端末からmicroSDメモリーカードに電話帳、スケジュール、ToDo、メールのデータを保存しても、本FOMA端末では表示できません。

microSDメモリーカードをフォーマットする

microSDメモリーカードをフォーマット（初期化）してFOMA端末で使用できるようにします。

1 データBOX画面(P224)▶［ch］[機能]▶「microSDフォーマット」

すべてのデータが削除されることを知らせるメッセージが表示され、フォーマットを実行するかどうかを選択します。

2 ［ch］[はい]

お知らせ

- フォーマットは必ず本 FOMA 端末で行ってください。
- microSDメモリーカードをフォーマットすると、保存されているファイルはすべて削除されます。誤って大切なデータを削除することのないようにご注意ください。
- フォーマット中は、音声電話／テレビ電話を着信できません。

microSDメモリーカード内のファイルを表示／再生する

「データBOX」で、FOMA端末内にあるファイルと同じように表示／再生ができます。

- 「画像を表示する」→P225
- 「動画／ｉモーションを再生する」→P231
- 「メロディを再生する」→P239

次のページへ続く●●●

お知らせ

- 「データBOX」内の一覧画面でmicroSDメモリーカード内のファイルが確認できないときは、機能メニューから「表示種別」➡「保存場所」➡「全て」／「microSD」を選択してください。
- ファイルによっては、表示／再生ができない場合があります。

FOMA端末⇔microSDメモリーカード間でファイルをコピー／移動する

「データBOX」で、FOMA端末内にあるファイルと同じようにコピー／移動ができます。

- 「静止画ファイル一覧画面の機能メニュー」／「静止画表示画面の機能メニュー」の「ファイル管理」→P226、P227
- 「iモーションファイル一覧画面の機能メニュー」／「iモーション再生画面の機能メニュー」の「ファイル管理」→P232、P233
- 「メロディファイル一覧画面の機能メニュー」／「メロディ再生画面の機能メニュー」の「ファイル管理」→P241

お知らせ

- ファイルによっては、コピー／移動できない場合があります。
- 本FOMA端末に保存されているFlash、キャラ電は、microSDメモリーカードにコピー／移動できません。

microSDメモリーカードのフォルダ構成

FOMA端末からmicroSDメモリーカードにファイルを移動／コピーしたときや、カメラで撮影した静止画や動画を直接microSDメモリーカードに保存したときなど、そのファイルに対応したフォルダがmicroSDメモリーカードに自動的に作成されます。

- パソコンなどからmicroSDメモリーカードにファイルを書き込む場合も、次のようなフォルダ構成にする必要があります。

mobile
- picture……静止画保存フォルダ（JPEG、GIFファイル）
  - capturecontent※1
  - imode※2
- video……動画／iモーション保存フォルダ
  - capturecontent※1
  - imode※2
- audio……メロディ、音声メモ保存フォルダ
  - capturecontent※4
  - imode※2
- avatar※3……キャラ電保存フォルダ
  - imode
- animation※3……アニメーション保存フォルダ（Flash）
  - imode
- voicenotes※5……音声メモ保存フォルダ
  - capturecontent

※1：FOMA M702iGで撮影／録音したファイルが保存されます。
※2：サイトやメール、データ通信で取得したファイルが保存されます。
※3：パソコンなどから書き込んだキャラ電、Flashは、本FOMA端末では表示できません。
※4：「保存先変更」を「microSD」に設定して、音声メモを録音した場合に音声メモファイルが保存されます。
※5：本FOMA端末からmicroSDメモリーカードにコピー／移動した音声メモファイルが保存されます。

■ microSDメモリーカードに保存できる件数

- microSDメモリーカードに保存できる件数は、ご使用になるmicroSDメモリーカードの容量によって異なります。
- microSDメモリーカードに保存できる容量は、「メモリ容量」「メモリ確認」で確認できます。→P225、P276

ファイル	フォルダ	保存可能件数（64Mバイトの場合）
静止画	picture	すべてのフォルダを含め最大約640件※まで保存可能 ※：すべて100Kバイトのファイルを保存した場合の件数
動画／iモーション	video	
メロディ、音声メモ	audio	
キャラ電	avatar	
アニメーション	animation	
音声メモ	voicenotes	

お知らせ

- 本FOMA端末で使用したmicroSDメモリーカードは、FOMA M702iSでもご利用になれます。ただし、その他のFOMA端末とはフォルダ構成が異なるため、そのまま他のmicroSDメモリーカード対応のFOMA端末に差し込んでもご利用できません。

FOMA端末をmicroSDメモリーカードリーダライタとして使う

microSDメモリーカードを本FOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDメモリーカード内のデータを読み込み／書き込みできます。

- microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。
- リーダライタとして利用できる対応OSは、Windows XP、Windows 2000（各日本語版）のみです。それ以外のOSでの動作は保証しておりません。
- FOMA端末をmicroSDメモリーカードリーダライタとして使うには、USBモードの設定が必要です。USBモードを設定するときは、FOMA USB接続ケーブル（別売）を外した状態で設定してください。

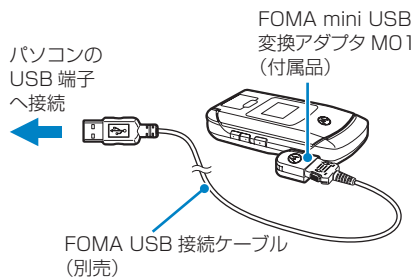
1 **●▶（接続設定）▶（USBモード設定）▶「接続モード」**

■通信モード
外部接続端子をケーブル接続によるデータ転送用として使います。

■microSDモード
外部接続端子をmicroSDメモリーカードのリーダライタとして使います。

USBモード設定画面

2 **本FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続する**

お知らせ

- パソコンから microSD メモリーカードや FOMA USB接続ケーブルを抜くときは、パソコンのタスクトレイから「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を必ず行ってください。操作をしないでmicroSDメモリーカードやFOMA USB接続ケーブルを抜くと、データ消失などの原因となります。
- 設定したUSBモードを切り替える場合は、一度FOMA USB接続ケーブルを外してからUSBモードを切り替えてください。FOMA端末とFOMA USB接続ケーブルが接続されている状態でUSBモードを切り替えても、USBモードは切り替わりません。

■ お願い
本FOMA端末とパソコンが正しく接続されているか十分確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われる場合があります。

外部機器で作成した音楽データをFOMA端末で再生する

購入したCDの楽曲などを、パソコンなどを利用してmicroSDメモリーカードに保存し、FOMA端末で再生することができます。
microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要となります。microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求め頂けます。

- microSDメモリーカードに保存した楽曲は、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。
- ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
- microSDメモリーカード内に保存した楽曲は、パソコンなど他の媒体に複製または移し替えをしないでください。

1 **購入したCDの楽曲などを、AAC（3gp、3ga、mp4）形式に変換できる市販のソフトなどを利用して変換し、パソコンに保存する**

- ソフトウェアの使用方法など詳細については、ソフトウェア提供各社ホームページなどでご確認ください。

次のページへ続く

2 microSDメモリーカードをパソコンに挿入し、楽曲ファイルを「mobile」フォルダ内の「audio」にコピーする

操作1で作成したファイルは半角で29文字以内に変更してください。

■「audio」フォルダがない場合
FOMA端末にmicroSDメモリーカードを挿入すると、自動的にフォルダが作成されます。その状態でFOMA端末から取り外し、再度パソコンに挿入してください。

3 microSDメモリーカードをFOMA端末に挿入(P248)し、待受画面で●▶(データBOX)▶「メロディ」▶「メロディ(全て)」

microSDメモリーカードに保存した楽曲をプレイリストを使って再生します。

- プレイリストの作成→P242
- メロディを再生→P239

お知らせ

- FOMA端末を閉じても音楽再生は継続されます。→P240
- miniUSBステレオヘッドセット M01(別売)を接続すれば、ヘッドホンで音楽を聞くことができます。

赤外線通信

赤外線通信を利用する

赤外線通信機能を持つ機器との間で、電話帳やスケジュール、ブックマークなどを送受信できます。

■ データ転送で送受信できるデータ

データの種類	受信の可否		送信の可否		保存件数
	1件	全件	1件	全件	
電話帳(個人データ)	○	○	○	○	P92を参照
スケジュール※1	○	×	○	×	350件まで※3
ToDo※2	○	×	○	×	350件まで※3
受信メール	○	○	○	○	500件まで
送信メール	○	○	○	○	300件まで
未送信メール	○	○	○	○	
画像ファイル※4	○	×	○	×	制限なし※6
動画ファイル※4	○	×	○	×	制限なし※6
メロディ※5	○	×	○	×	制限なし※6
ブックマーク	○	○	○	○	200件まで

※1：終了したスケジュールは送信できません。
※2：アラームが設定されている ToDo を受信した場合、アラーム設定は登録されず「リマインダ：OFF」になります。ToDoにアラームを設定したい場合は、本FOMA端末でリマインダを設定してください。
※3：スケジュール、ToDoを合わせた保存件数です。
※4：送受信できるデータの容量は、ファイル1件につき最大300Kバイトまでです。
※5：送受信できるデータの容量は、ファイル1件につき最大100Kバイトまでです。
※6：送受信できるデータの件数に制限はありません。FOMA端末の空き容量により異なります。

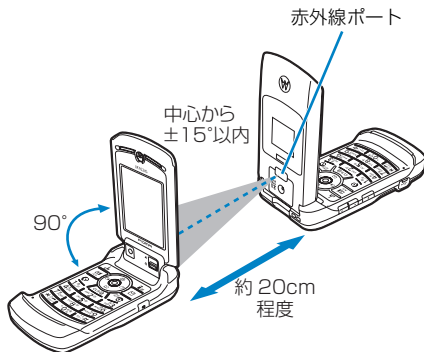
■ 赤外線通信で受信したデータの保存先

データの種類	保存先	保存順
電話帳	電話帳	名前の50音順→アルファベット順→数字順に保存
スケジュール	スケジュール	スケジュールの開始日に保存
ToDo	スケジュール	ToDoの開始日に保存
受信メール	メインフォルダ	メールを受信した日時順に保存
送信メール	メインフォルダ	メールを送信した日時順に保存
未送信メール	メインフォルダ	メールを保存した日時順に保存
静止画	「データBOX」内「マイピクチャ」の「iモード/その他」フォルダ	ファイルの名前順に保存(数字→アルファベット→50音順)
動画	「データBOX」内「iモーション」の「iモード/その他」フォルダ	ファイルの名前順に保存(数字→アルファベット→50音順)
メロディ	「データBOX」内「メロディ」の「iモード/その他」フォルダ	ファイルのタイトル順に保存(数字→アルファベット→50音順)※
ブックマーク	メインフォルダ	一番上に保存

※：メロディにタイトルが設定されていない場合は、名前順(数字→アルファベット→50音順)に保存されます。

■ お願い
FOMA端末の故障・修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失してしまう場合があります。当社としては責任を負いかねますので、万が一に備え、FOMA端末に保存した内容は、microSDメモリーカードを利用して保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル(別売)を利用してパソコンに保管できます。

赤外線通信を行うには

- 赤外線通信を行うときは、次の図のように本 FOMA 端末を90度にしてください。
- 赤外線通信距離は約20cm程度でご利用ください。
- 赤外線通信中は、データ送受信が終わるまで FOMA 端末を動かさないでください。
- FOMA端末を手に持って赤外線通信を行う場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。

データ転送するときのご注意

- 送信する相手の FOMA 端末の状態によっては、データ転送できない場合があります。また、相手の機種によって、受信メールやブックマークのフォルダ分けの設定や電話帳のグループ設定などが反映されなかったり、デコメールの内容などが正常に登録できない場合があります。
- FOMA M702iG以外の赤外線通信機器との通信では、データが正しく受信されないことや受信側でデータが正しく表示されない場合があります。
- 転送するデータ量によっては、通信に時間がかかる場合があります。また、受信できない場合があります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、その影響により正常に通信できない場合があります。
- ｉモードメール本文に貼り付けデータがある場合は、貼り付けデータは引用できません。
- ｉモードメールにファイルが添付されている場合は、添付ファイルも転送されます。ただし、添付ファイルの種類によっては転送されない場合があります。
- メールの本文などに絵文字や記号を使用している場合、対応機種以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると、受信側で絵文字や一部の記号が正しく表示されない場合があります。
- オールロック、機能ロック、セルフモード設定中は、赤外線通信は利用できません。
- 他の機能が動作しているときは、赤外線通信は利用できません。

データを1件ずつ送受信する

データを1件ずつ送信する

- あらかじめ、受信側の機器を赤外線受信状態にしてから送信してください。

1 **送信したいデータの一覧画面▶[ch][機能]▶「送信」**

2 **「赤外線」／「赤外線で送信」**

赤外線通信を開始します。

お知らせ

- 送信相手が見つからない場合は、メッセージが表示されます。相手との距離や角度などを再確認してください。

データを1件ずつ受信する

1 **(●)▶(接続設定)▶(赤外線受信)▶[ch][開始]**

- 送信側の機器で赤外線送信操作を行います。
- [ch]［停止］：赤外線通信モードを終了します。

2 **[ch][承認]**

赤外線通信を開始します。

3 **データを保存する**

■ **メール、ブックマークを受信した場合**
受信したデータは自動的に保存されます。

■ **電話帳を受信した場合**
[ch]［登録］▶[iα]［完了］を押します。

■ **スケジュール／ToDoを受信した場合**
[ch]［機能］▶「登録」を選択します。

■ **画像を受信した場合**
[iα]［登録］▶「保存」▶ファイル名を入力します。

■ **動画／ｉモーションを受信した場合**
[ch]［機能］▶「保存」▶[ch]［はい］▶「microSD」／「本体メモリ」を選択します。

■ **メロディを受信した場合**
[ch]［機能］▶「保存」▶[ch]［はい］▶「microSD」／「本体メモリ」を選択します。

4 **データ保存後▶[ch][停止]**

赤外線通信モードを終了します。

次のページへ続く

お知らせ

- 受信できる電話帳の容量は1件につき65Kバイトまでです。65Kバイトを超える電話帳を受信した場合は、サイズが大きすぎることを知らせるメッセージが表示され、保存できません。
- 受信メールをM702iG以外の機種から赤外線で受信した場合は、受信メール詳細画面で宛先のアイコン To Cc Bcc が正しく表示されない場合があります。

受信画像表示画面の登録メニュー

1 受信画像表示画面(P253)▶[iα][登録]▶次の操作を行う

メール送信
受信した画像を添付してｉモードメールを作成します。「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2（P182）へ進みます。

保存
画像を保存します。
▶ファイル名を入力

待受に設定
待受画面に設定します。

スクリーンセーバーに設定
スクリーンセーバーに設定します。

代替画像に設定
テレビ電話の代替画像に設定します。設定できるのはJPEG形式のファイルのみです。

受信画像表示画面の機能メニュー

1 受信画像表示画面(P253)▶[ch][機能]▶次の操作を行う

削除
受信した画像を削除します。
▶[ch][はい]

詳細
受信した画像の名前やサイズ、種別などの情報を表示します。→P227

空き容量表示
FOMA端末本体、microSDメモリーカード内の保存領域の状態などを表示します。

受信動画／ｉモーション再生画面の機能メニュー

1 受信動画再生画面(P253)▶[ch][機能]▶次の操作を行う

再生
受信した動画を再生します。

保存
受信した動画を保存します。
▶[ch][はい]▶「microSD」／「本体メモリ」

情報表示詳細
受信したファイルの名前やサイズ、種別などの情報を表示します。→P234

終了
動画再生画面を終了し、動画を保存します。
▶[ch][はい]▶「microSD」／「本体メモリ」

受信メロディ再生画面の機能メニュー

1 受信メロディ再生画面(P253)▶[ch][機能]▶次の操作を行う

再生
受信したメロディを再生します。

保存
受信したメロディを保存します。
▶[ch][はい]▶「microSD」／「本体メモリ」

情報表示詳細
受信したメロディの名前やサイズ、種別などを表示します。→P242

終了
オーディオメニューを終了し、メロディを保存します。
▶[ch][はい]▶「microSD」／「本体メモリ」

赤外線全件送信／赤外線全件受信

データを全件送受信する

パソコンや他のFOMA端末との間でデータをまとめて転送します。

- 全件送受信では、送信側と受信側のFOMA端末を正確に認識するために、認証パスワードを使用します。認証パスワードは、送信／受信をはじめる前にお好きな1～25桁の番号を決めておき、送信側と受信側で同じ番号を入力します。

データを全件送信する

- あらかじめ、受信側の機器を赤外線受信状態にしてから送信してください。

1 全件送信したいデータの一覧画面▶[ch][機能]▶「全件送信」▶「赤外線」

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

赤外線通信を開始します。

お知らせ

- 送信相手が見つからない場合は、メッセージが表示されます。相手との距離や角度などを再確認してください。

データを全件受信する

- 全件受信をすると、受信したデータによりFOMA端末のデータは上書きされ、登録されていたデータは保護メールなども含めてすべて削除されます。全データの送受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。

1 ●▶ (接続設定)▶ (赤外線受信)▶ [開始]

2 端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力

3 [承認]

赤外線通信を開始します。

4 [はい]

5 データ保存後▶ [停止]

赤外線通信モードを終了します。

お知らせ

- 受信メールをM702iG以外の機種から赤外線で受信した場合は、受信メール詳細画面で宛先のアイコン To Cc Bcc が正しく表示されない場合があります。

赤外線リモコン機能を利用する

FOMA端末を赤外線リモコン対応機器のリモコンとして利用できます。iアプリが赤外線を利用してリモコン信号を送信します。

- リモコン機器を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。リモコンのキー操作はソフトにより異なります。
- 機器によっては操作できない場合もあります。
- 対応機器や周囲の明るさにより、通信に影響がある可能性があります。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコンを利用できません。

赤外線リモコン操作について

FOMA端末の赤外線ポートをテレビなどのリモコン受信部の正面に向けて、4m以内の距離から操作してください。ただし、対応機器や周囲の明るさによって通信に影響がある場合があります。

その他の便利な機能

マルチアクセス

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSの3回線を同時に使用できる機能です。

音声電話	1回線
パケット通信（iモード、iアプリ、iモードメール、パソコンなどをつないだパケット通信）	1回線
SMS	1回線

お知らせ

- マルチアクセスの組み合わせ→P340
- マルチアクセス中は、それぞれの通信に対して通信料金がかかります。
- テレビ電話や64Kデータ通信を利用中は、SMSの受信以外はマルチアクセスを利用できません。

パケット通信中に音声電話をかける

iモードなどのパケット通信中に、音声電話をかけられます。

＜例：iモード中に音声電話をかける＞

1 iモード中の画面(P160)▶[ch][機能]▶「タスクメニュー」▶「新規発信」

電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力▶[発信]／[●]

お知らせ

- iモード中の画面に戻るには、音声通話中画面(P52)で[i]［タスクメニュー］を押し、「起動中iモード」を選択します。

パケット通信中に音声電話を受ける

iモードなどのパケット通信中に、音声電話を受けられます。

＜例：iモード中に音声電話を受ける＞

1 電話がかかってくる

着信中画面が表示されます。

2 [発信]／[i][応答]

お知らせ

- iモード中の画面に戻るには、音声通話中画面(P52)で[i]［タスクメニュー］を押し、「起動中iモード」を選択します。

音声電話中に他の通信を使用する

音声電話中にメールを送受信したり、iモードに接続したりできます。

メールを送信する

1 音声通話中画面(P52)▶[i][タスクメニュー]▶「メール」▶「メール新規作成」／「SMS新規作成」

2 メールを作成･送信

お知らせ

- メールの作成・送信→P182、P203

メールを受信する

画面上部にメールの受信をお知らせするアイコン（P32）が表示されます。

音声通話中画面

iモードに接続する

1 音声通話中画面(P52)▶[i][タスクメニュー]▶「iモード」

お知らせ

- 音声通話中画面に戻るには、iモードメニュー画面（P160）で「タスクメニュー」▶「音声通話表示」の順に選択するか、iモード中の画面（P160）で[ch]［機能］を押し、「タスクメニュー」▶「音声通話表示」の順に選択します。

マルチタスク

マルチタスクについて

本FOMA端末では、2つの機能を同時に起動して操作できるマルチタスク機能を利用できます。マルチタスク機能を利用するには、表示中の画面からタスクメニュー画面を呼び出し、起動する機能を選択します。

- 次の画面からタスクメニュー画面を表示できます。
  - 音声通話中画面
  - iモード中の画面
  - テレビ電話中画面
  - チャネル一覧画面

その他の便利な機能　マルチアクセス

- ｉモードメニュー画面　- メールメニュー画面

1 各機能を利用中にタスクメニュー画面を表示

■ 音声通話中画面（P52）から表示する場合
[タスクメニュー] を押します。

■ テレビ電話中画面（P81）／ｉモード中の画面（P160）／チャネル一覧画面（P221）から表示する場合
[機能] を押して「タスクメニュー」を選択します。

タスクメニュー画面（例：メールメニュー画面からの表示）

■ ｉモードメニュー画面（P160）／メールメニュー画面（P182）から表示する場合
「タスクメニュー」を選択します。

2 次の操作を行う

- 表示される項目は、利用中の機能や操作状況により異なります。

新規発信
電話番号入力画面を表示します。

音声通話表示※・テレビ電話表示※
音声通話中画面／テレビ電話中画面を表示します。

電話帳
電話帳一覧画面を表示します。

メール・起動中メール※
メールメニュー画面を表示します。

ｉチャネル・起動中ｉチャネル※
チャネル一覧画面を表示します。

ｉモード・起動中ｉモード※
ｉモードメニュー画面／ｉモード中の画面を表示します。

スケジュール
スケジュールのカレンダーを表示します。

※：既に起動している機能です。

お知らせ

- マルチタスクの組み合わせ→P341
- タスクメニュー画面を表示できない機能に切り替えた場合は、さらに他の機能に切り替えたりすることはできません。
- チャネル一覧画面を表示中はタスクメニュー画面に「起動中ｉチャネル」が表示されますが、チャネル一覧画面からチャネル項目を選択してサイトに接続中はタスクメニュー画面に「起動中ｉモード」が表示されます。

機能を終了する

表示中の機能を終了して、切り替える前に起動していた機能の画面を表示します。

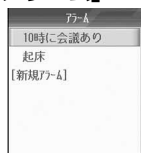
1 各機能を利用中▶／[終了]／[戻る]

- 終了する機能を表示してから操作してください。
- すべての機能を終了するときは、この操作を繰り返してください。

アラーム

指定した時刻にアラームで知らせる

FOMA端末を目覚まし時計として利用できます。アラームは5件まで登録できます。

1 ●▶(アクセサリ)▶「アラーム」

アラーム画面

2 「[新規アラーム]」

アラーム詳細画面

3 次の操作を行う

名前
全角／半角を問わず、24文字まで入力できます。
▶名前を入力

時刻
▶で「時」「分」「表示方法」欄を選択▶／ダイヤルキーで時刻を入力

次のページへ続く

アラーム音

アラームの起動時に鳴るアラーム音／振動するバイブレータパターンを変更します。

iモーション：「iモーション」フォルダに保存されている動画／iモーションから選択します。
▶フォルダを選択▶●▶動画／iモーションを選択▶●

メロディ：「メロディ」フォルダに保存されているメロディから選択します。
▶フォルダを選択▶●▶メロディを選択▶●

音声メモ：「音声メモ」フォルダに保存されている音声メモから選択します。
▶「音声メモ（全て）」／「マイデータ」▶音声メモを選択▶●

バイブレータパターン
：バイブレータを5種類のバイブレータパターンから選択します。→P117
▶バイブレータパターンを選択▶ch［選択］

音量

0～7の8段階で調節できます。

▶**◎／ダイヤルキーで音量を調節▶ch［OK］**

4 ch［完了］

お知らせ

名前

- 入力しない場合は、通知画面に設定時刻が表示されます。

アラーム音

- 設定できるファイル形式は次のとおりです（設定が制限されているファイルや、映像または音声のみが含まれるファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります）。
SMF、MFi、MP4（Mobile MP4）、AMR

アラーム画面の機能メニュー

1 アラーム画面(P259)▶ch［機能］▶次の操作を行う

設定・解除

選択中のアラームを設定／解除します。設定するとアラーム画面に⏰が表示され、設定時刻にアラームが鳴ります。

新規

「指定した時刻にアラームで知らせる」の操作3（P259）へ進みます。

編集

登録済みのアラームを修正します。「指定した時刻にアラームで知らせる」の操作3（P259）へ進みます。

1件削除

選択中のアラームを削除します。

▶ch［はい］

全件削除

すべてのアラームを削除します。

▶ch［はい］

お知らせ

設定・解除

- アラームを設定すると、画面上部に⏰が表示されます。

編集

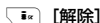
- 編集したアラームは自動的に設定されません。設定する場合は、アラーム画面でch［機能］を押して「設定」を選択し、アラーム画面に⏰を表示させてください。

■ 設定時刻になると

通知画面が表示され、アラームが鳴ります。「アラーム音」と「音量」を変更した場合は、その設定に従って動作します。

- 「パターン選択」やマナーモードなどの設定状況によっては、アラームが鳴らない場合があります。
- スヌーズを設定中のアラームがあるときに別のアラームが起動した場合、ch［スヌーズ］／i［解除］を押すとスヌーズを設定中のアラームが起動して通知画面が表示されます。i［OK］を押すと最初のアラームは解除されます。
- 設定時刻にメールを受信した場合は、メール着信音が優先して鳴ります。
- 音声通話中／テレビ電話中の場合は、通話を終了するとアラームが起動します。

■ 通知画面での操作

▲／▼
：アラームを停止し、スヌーズを設定します。

i［解除］
：アラームを解除して通知画面を閉じます。

ch［スヌーズ］／FOMA端末を閉じる
：スヌーズを設定します。

- アラームの起動後、約3分間何も操作をしないと、自動的にスヌーズが設定されます。
- スヌーズを設定すると、画面上部の⏰が点滅します。約8分ごとに通知画面が表示され、アラームが鳴ります。
- スヌーズを解除する場合は、アラーム画面（P259）でスヌーズを設定中のアラームを選択してch［機能］を押し、「解除」を選択します。

■ 電源が切れているときに設定時刻になると

「自動電源ON」（P265）を「ON」に設定している場合は、自動的に電源が入って通知画面が表示され、アラームが鳴ります。電源を切る場合は⌂／i［電源OFF］を押します。電源を入れたままにする場合はch［機能］を押して「電源ON」を選択し、ch［はい］を押します。

スケジュール／ToDoを管理する

新規スケジュール登録

スケジュールを登録する

会議や約束などの予定を登録できます。リマインダを設定すると、予定の日時前にアラームの鳴動と通知画面の表示でお知らせします。スケジュールは最大500件（あらかじめ登録されている祝日を含む）登録できます。

1 ●➡（アクセサリ）➡「スケジュール」

2 登録する日を選択➡●➡「[新規スケジュール登録]」

新規スケジュール画面

3 次の操作を行う

件名
全角／半角を問わず、128文字まで入力できます。

➡件名を入力

場所
場所などの情報がある場合に入力します。全角／半角を問わず、64文字まで入力できます。

➡場所を入力

種別
プライベートや休暇など、スケジュールの種別を選択します。

➡種別を選択➡ch［選択］

終日スケジュール
スケジュールを終日にするかどうかを設定します。

➡「はい」／「いいえ」

開始時刻
スケジュールの開始時刻を入力します。

➡で「時」「分」「表示方法」欄を選択➡／ダイヤルキーで時刻を入力

終了時刻
スケジュールの終了時刻を入力します。

➡で「時」「分」「表示方法」欄を選択➡／ダイヤルキーで時刻を入力

開始日
スケジュールの開始日を入力します。

➡で「年」「月」「日」欄を選択➡／ダイヤルキーで日付を入力

終了日
スケジュールの終了日を入力します。

➡で「年」「月」「日」欄を選択➡／ダイヤルキーで日付を入力

メモ
全角／半角を問わず、128文字まで入力できます。

➡メモを入力

リマインダ
設定した開始時刻の前にアラームを鳴らして知らせるかどうかを設定します。

➡リマインダの起動時間を選択➡ch［選択］
- 「カスタム」を選択した場合は、／ダイヤルキーで時間を入力します。
- 「OFF」を選択した場合は、リマインダは起動しません。

アラーム
リマインダが起動したときに鳴らすスケジュールアラーム／振動するバイブレータパターンを変更します。

iモーション：「iモーション」フォルダに保存されている動画／iモーションから選択します。
➡フォルダを選択➡●➡動画／iモーションを選択➡●

メロディ：「メロディ」フォルダに保存されているメロディから選択します。
➡フォルダを選択➡●➡メロディを選択➡●

音声メモ：「音声メモ」フォルダに保存されている音声メモから選択します。
➡「音声メモ（全て）」／「マイデータ」➡音声メモを選択➡●

バイブレータパターン：バイブレータを5種類のバイブレータパターンから選択します。→P117
➡バイブレータパターンを選択➡ch［選択］

サイレント：リマインダの起動時にスケジュールアラームを鳴らさない／振動させないようにします。

なし：「パターン選択」の設定に従います。

繰り返し

なし：繰り返しを設定せず、1回のみのスケジュールにします。

毎日：毎日スケジュールを繰り返します。

毎週：毎週同じ曜日にスケジュールを繰り返します。

毎月指定曜日：毎月同じ週の曜日にスケジュールを繰り返します。

毎月指定日：毎月同じ日にスケジュールを繰り返します。

毎年指定曜日：毎年同じ週の曜日にスケジュールを繰り返します。

毎年指定日：毎年同じ日にスケジュールを繰り返します。

次のページへ続く

シークレット
シークレットに設定し、「シークレットデータ」を「非表示」に設定すると表示されないようにします。

▶「はい」／「いいえ」

4 [完了]

お知らせ

- 繰り返しを設定したスケジュールは1件として数えられます。
- 入力した日時と重なるスケジュールが登録済みの場合、操作4を行うと登録の確認画面が表示されます。修正する場合は［編集］、そのまま保存する場合は［はい］を押します。
- 登録中に電話を着信した場合、次の動作を行うと登録中のデータは保存されません。
  - 電話に出たとき - 応答保留したとき
  - 伝言メモが起動したとき

アラーム

- 設定できるファイル形式は次のとおりです（設定が制限されているファイルや、映像または音声のみが含まれるファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります）。
  SMF、MFi、MP4（Mobile MP4）、AMR

シークレット

- 「シークレットデータ」を「非表示」に設定している場合は、「シークレット」の設定欄は表示されません。

新規ToDoリスト登録
ToDoを登録する

実行しなければならない用件などを登録できます。リマインダを設定すると、用件の期日前にアラームの鳴動と通知画面の表示でお知らせします。ToDoは最大400件登録できます。

1 ●▶（アクセサリ）▶「スケジュール」

2 登録する日を選択▶●▶「[新規ToDoリスト登録]」

ToDoリスト作成画面

3 次の操作を行う

ToDoリスト
ToDoの名前を入力します。全角／半角を問わず、128文字まで入力できます。

▶名前を入力

状態
用件の状態を「予定」「完了」「了承済み」「依頼済み」「仮予定」「確認済み」「拒否済み」「委任済み」から選択します。

▶状態を選択▶［選択］

種別
ビジネスや会議など、用件の種別を選択します。

▶種別を選択▶［選択］

優先度
用件の優先度を「高」「標準」「低」から選択します。

▶優先度を選択▶［選択］

開始日
用件の開始日を入力します。

▶で「年」「月」「日」欄を選択▶／ダイヤルキーで日付を入力

期日
用件の期日を入力します。

▶で「年」「月」「日」欄を選択▶／ダイヤルキーで日付を入力

終了日
用件の終了日を入力します。

▶で「年」「月」「日」欄を選択▶／ダイヤルキーで日付を入力

メモ
全角／半角を問わず、128文字まで入力できます。

▶メモを入力

リマインダ
期日にアラームを鳴らして知らせるかどうかを設定します。

▶「ON」／「OFF」

リマインダ時間
リマインダを期日の何時に起動させるかを設定します。

▶で「時」「分」「表示方法」欄を選択▶／ダイヤルキーで時刻を入力

アラーム
リマインダが起動したときに鳴らすスケジュールアラーム／振動するバイブレータパターンを変更します。

iモーション：「iモーション」フォルダに保存されている動画／iモーションから選択します。
➡フォルダを選択➡●➡動画／iモーションを選択➡●

メロディ：「メロディ」フォルダに保存されているメロディから選択します。
➡フォルダを選択➡●➡メロディを選択➡●

音声メモ：「音声メモ」フォルダに保存されている音声メモから選択します。
➡「音声メモ（全て）」／「マイデータ」➡音声メモを選択➡●

バイブレータパターン：バイブレータを5種類のバイブレータパターンから選択します。→P117
➡バイブレータパターンを選択➡[選択]

サイレント：リマインダの起動時にスケジュールアラームを鳴らさない／振動させないようにします。

なし：「パターン選択」の設定に従います。

シークレット
シークレットに設定し、「シークレットデータ」を「非表示」に設定すると表示されないようにします。

➡**「はい」／「いいえ」**

4 [完了]

お知らせ

- 登録中に電話を着信した場合、次の動作を行うと登録中のデータは保存されません。
  - 電話に出たとき
  - 応答保留したとき
  - 伝言メモが起動したとき

状態

- 「完了」に設定すると、「リマインダ」を「ON」に設定してもリマインダは動作しません。

優先度

- 「高」を選択した場合は❗、「低」を選択した場合は⬇が日表示画面に表示されます。ただし、「状態」を「完了」に設定した場合は表示されません。

アラーム

- 設定できるファイル形式は次のとおりです（設定が制限されているファイルや、映像または音声のみが含まれるファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります）。
  SMF、MFi、MP4（Mobile MP4）、AMR

シークレット

- 「シークレットデータ」を「非表示」に設定している場合は、「シークレット」の設定欄は表示されません。

■ **設定したリマインダの日時／期日になると**
通知画面が表示され、スケジュールアラームが1回鳴ります。「アラーム」を変更した場合は、その設定に従って動作します。

- 通知画面を表示したままにすると、約5分ごとに「パターン選択」で設定したビープ音またはバイブレータが1回鳴り、「リマインダ表示時間」（P265）で設定した時間が経過すると通知画面が自動的に閉じます。
- 「パターン選択」やマナーモードなどの設定状況によってはアラームが鳴りません。
- 音声通話中／テレビ電話中の場合や、パソコンと接続してデータ通信中の場合は、スケジュールアラームが鳴りません。

■ **通知画面の操作**

／：スケジュールアラームを停止します。
[終了]：通知画面を閉じます。
[表示]：詳細画面を表示します。

- FOMA端末を閉じている場合は、を押すと詳細情報を表示でき、／を押して画面をスクロールできます。

■ **電源が切れているときに設定したリマインダの日時／期日になると**
「自動電源ON」（P265）を「ON」に設定している場合は、自動的に電源が入って通知画面が表示され、スケジュールアラームが鳴ります。

- 電源を切る場合は／[電源OFF]、詳細画面を表示する場合は[表示]を押します。
詳細画面で電源を切る場合は／／[電源OFF]を押します。電源を入れたままにする場合は[機能]を押して「電源ON」を選択し、[はい]を押します。
- 詳細画面の機能メニューから「次項」を選択すると画面のスクロール、「全てコピー」を選択すると画面内の文字情報のコピーができます。

スケジュール／ToDoを確認する

スケジュールやToDoの確認はカレンダーから行います。カレンダーには1ヶ月単位で表示する月表示画面と、1週間単位で表示する週表示画面があります。

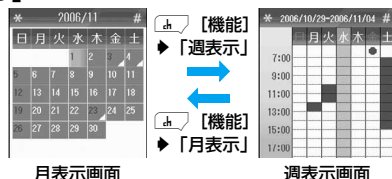
- お買い上げ時は、カレンダーは月表示画面で表示されます。
- カレンダーは2006年1月2日から2030年12月31日まで表示できます。

1 ●➡（アクセサリ）➡「スケジュール」

月表示画面　　週表示画面

- ／：前／次の月または週に表示を切り替えます。

その他の便利な機能　スケジュール

次のページへ続く

- 月表示画面では曜日表示と当日の枠、週表示画面では当日の列とスケジュールが登録されている時間帯の枠に色が付きます（「ビジュアルテーマ設定」の設定により、表示される色は異なります）。
- 月表示画面のスケジュールが登録されている日には、枠の右下に◿が表示されます。
- 週表示画面の終日スケジュールが登録されている日には、曜日表示の下に●が表示されます。

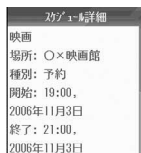
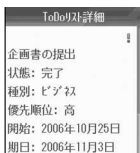
2 確認する日を選択▶●

- ＊／＃：前／次の日に表示を切り替えます。

日表示画面

■ 日表示画面のアイコン

アイコン	説　明
⏰	リマインダが設定されたスケジュール／ToDo
●	終日スケジュール
!	「優先度」が「高」のToDo
↓	「優先度」が「低」のToDo
✓	「状態」が「完了」のToDo

3 確認するスケジュール／ToDoを選択▶●

スケジュール詳細画面

ToDoリスト詳細画面

お知らせ

- 休日は赤色で表示されます。
- 祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉の一部を改正する法律（平成13年法律第59号）」に基づいています。また春分の日、秋分の日の日付は2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2006年12月現在）。
- 月表示画面／週表示画面には、登録したToDoの有無を確認できるアイコンなどは表示されません。
- 「時計設定」の「自動時刻補正」を「ON（時差補正あり）」に設定している場合、時刻が補正されると、登録済みのスケジュールやToDoの時刻が自動的に補正されます。

日表示画面

- スケジュールとToDoが同じ日に登録されている場合、上からスケジュール（開始時刻の早い順）→ToDo（「ToDoリスト」に入力された名前がShift-JISの順）の順番で表示されます。

■ お願い
- スケジュール／ToDoの内容は、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。
- ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へコピーする際は、仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 万が一、FOMA端末の故障や修理などの取り扱いによって保存内容が消失してしまう場合があっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

月表示画面／週表示画面／日表示画面／詳細画面の機能メニュー

1 月表示画面(P263)／週表示画面(P263)／日表示画面(P264)／詳細画面(P264)▶[機能]▶次の操作を行う

週表示・月表示
カレンダーを週表示／月表示に切り替えます。

新規スケジュール登録
「スケジュールを登録する」の操作3（P261）へ進みます。

新規ToDoリスト登録
「ToDoを登録する」の操作3（P262）へ進みます。

今日へ移動
当日にカーソルを移動します。または、当日の画面に切り替えます。

編集
選択中／表示中のスケジュール／ToDoを修正します。「スケジュールを登録する」の操作3（P261）／「ToDoを登録する」の操作3（P262）へ進みます。

削除
選択中／表示中のスケジュール／ToDoを削除します。
▶[はい]

コピー
選択中／表示中のスケジュール／ToDoをコピーします。
▶[はい]▶で「年」「月」「日」欄を選択▶／ダイヤルキーで日付を入力
- 以降は「スケジュールを登録する」の操作3（P261）／「ToDoを登録する」の操作3（P262）へ進みます。

印刷
スケジュール／ToDoをBluetooth対応のプリンタで印刷します。→P274

送信

赤外線 : 選択中のスケジュール／ ToDo を赤外線経由で送信します。→P253

Bluetooth : 選択中のスケジュール／ToDo を Bluetooth 経由で送信します。→P273

登録

Bluetooth や赤外線経由で受信したスケジュール／ToDoをカレンダーに登録します。

全てコピー

詳細画面内のすべての文字情報をコピーします。

設定

スケジュールの詳細を設定します。→P265

お知らせ

削除

- 繰り返し設定のスケジュールの場合は、削除方法の選択画面が表示されます。「このスケジュールのみ」を選択すると、選択したスケジュールのみ削除します。「繰り返しスケジュール」を選択すると、選択したスケジュールの繰り返しスケジュールをすべて削除します。

スケジュールの詳細を設定する

お買い上げ時	通常表示：月表示 開始時刻：7:00 リマインダ表示時間：OFF 過去アイテム削除設定：2週間前まで 自動電源ON：OFF

カレンダーの表示や、新規登録画面に表示される開始時間、リマインダの表示時間など、スケジュールの詳細を設定できます。

1 月表示画面（P263）／週表示画面（P263）／日表示画面（P264）／詳細画面（P264）▶ [機能] ▶「設定」

2 次の設定を行う

通常表示

カレンダーを月表示画面／週表示画面に切り替えます。

▶「月表示」／「週表示」

開始時刻

新規登録画面にあらかじめ表示される開始時刻を設定します。

▶ で「時」「表示方法」欄を選択▶ ／ダイヤルキーで時刻を入力

リマインダ表示時間

通知画面が表示されてから自動的に閉じるまでの時間を設定します。

▶表示時間を選択▶ ［選択］

- 「OFF」に設定した場合は、閉じる操作をしないと通知画面が表示されたままになります。

過去アイテム削除設定

設定した日時／期日から一定期間を過ぎた登録内容を自動で削除するように設定できます。

▶期間を選択▶ ［選択］

- 「OFF」に設定した場合は自動で削除されません。

自動電源ON

電源が切れているときに設定日時になった場合に、自動的に電源を入れて通知画面を表示するかどうかを設定します。

▶「ON」／「OFF」

個人データ

自分の名前や画像を登録する

FOMA端末にお客様の個人情報を登録できます。登録できる内容は名前とフリガナ、ニックネーム、電話番号（6番号まで）と種別、メールアドレス（3アドレスまで）と種別、URL（2URLまで）、住所（2つまで）と種別、画像、誕生日、メモです。

1 ▶ （設定）▶「情報表示」▶「個人データ」

個人データ画面

2 [機能] ▶「全データ表示」▶端末暗証番号を入力

個人データ詳細画面

3 [機能] ▶「編集」

4 情報を登録▶ [完了]

- 登録の操作については、「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」の操作2（P93）を参照してください。

お知らせ

- iモードでメールアドレスを変更した場合、本機能に登録したメールアドレスは自動的に更新されません。
- 個人データ画面で ［機能］を押して「コピー」を選択すると、個人データ画面内のすべての文字情報をコピーできます。

次のページへ続く

■ 個人データ詳細画面での操作
登録した電話番号やメールアドレス、URLを選択して◉を押すと、次の項目を選択して各種操作ができます。

発信：選択中の電話番号に音声電話をかけます。
テレビ電話発信：選択中の電話番号にテレビ電話をかけます。
新規SMS作成：選択中の電話番号を宛先にしてSMSを作成・送信します。→P203
新規メール作成：選択中の電話番号／メールアドレスを宛先にしてｉモードメールを作成・送信します。→P182
接続：選択中のURLのサイトに接続します。
ブックマーク登録：選択中のURLをブックマークに登録します。

- 登録した電話番号を選択して◎／📖を押しても、電話番号が入力された電話番号入力画面を表示できます。
- メールアドレスを選択して◎を押しても、メールを作成・送信できます。
- URLを選択して◎を押しても、サイトに接続できます。

個人データ詳細画面の機能メニュー

1 個人データ詳細画面(P265)▶ch[機能]▶次の操作を行う

新規メール作成
メール：選択中の電話番号／メールアドレスを宛先に入力してｉモードメールを作成・送信します。→P182
SMS：選択中の電話番号を宛先に入力してSMSを作成・送信します。→P203

発信者番号通知
発信者番号の通知／非通知を設定して電話をかけます。→P57

マルチナンバー
発信番号を選択して電話をかけます。→P286

URL接続
選択中のURLのサイトに接続します。

編集
登録済みの個人データを修正します。「自分の名前や画像を登録する」の操作4（P265）へ進みます。

メール挿入
メール：名前と選択中の電話番号／メールアドレスを本文に入力してｉモードメールを作成・送信します。→P182
SMS：名前と選択中の電話番号／メールアドレスを本文に入力してSMSを作成・送信します。→P203

送信
赤外線：個人データを赤外線経由で送信します。→P253
Bluetooth：個人データをBluetooth経由で送信します。→P273

電話番号削除・メールアドレス削除・URL削除・住所削除
選択中の電話番号／メールアドレス／URL／住所を削除します。

発信前番号編集
選択中の電話番号が入力された電話番号入力画面を表示します。→P52

シークレットコード
シークレットコード（P179）を登録します。
▶設定解除コードを入力▶シークレットコードを入力▶ch［保存］

リセット
個人データの登録情報をすべて削除します。
▶ch［はい］

DTMF送信
選択中の登録した電話番号をプッシュ信号（DTMF）で送信します。

お知らせ

シークレットコード
- シークレットコードを登録した電話番号／メールアドレスを選択して機能メニューを表示すると、「シークレットコード」の項目名に「✱」が表示されます。

DTMF送信
- 通話中にch［機能］を押して「個人データ」を選択し、登録した電話番号を選択している場合のみ利用できます。

通話時間・料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算開始）が表示されます。

※ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示できません(FOMAカードには蓄積されています)。

- 表示される通話時間および通話料金はリセットできます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまでも目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

お知らせ

- ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）』をご覧ください。

通話時間

通話時間を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間を確認できます。

- 表示される通話時間には、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話＋64Kデータ通信）が含まれた通話時間の目安を表示します。発信、着信どちらの通話でも通話時間を表示します。

1 (●)▶ (アクセサリ)▶「通話履歴」▶「通話時間」▶次の操作を行う

直前通話
直前の通話時間を表示します。

発信通話
発信での通話時間の合計を表示します。

着信通話
着信での通話時間の合計を表示します。

全通話
リセットしてから現在までの「発信通話」と「着信通話」の時間の合計を表示します。

積算通話
お買い上げ時から現在までの通話時間の合計を表示します。

お知らせ

- 「直前通話」と「積算通話」は、99時間59分59秒を超えると0秒に戻ってカウントされます。
- 着信中や発信中の時間はカウントされません。
- ｉモードおよびパケット通信にかかった時間は通話時間に含まれません。

■「発信通話」「着信通話」「全通話」をリセットするには
各項目を選択して[選択]を押し、[リセット]を押して[はい]を押します。
- 通話時間が「0」の場合は「リセット」が表示されません。

通話料金

通話料金を確認する

通話料金は、発信時と着信時の両方がカウントされます。

1 (●)▶ (アクセサリ)▶「通話履歴」▶「通話料金」▶次の操作を行う

利用可能残量
「通話料金上限」で上限を設定した場合、料金から積算通話料金を引いた金額が表示されます。

直前通話
直前の通話料金を表示します。

発信通話
発信での通話料金の合計を表示します。

着信通話
着信での通話料金の合計を表示します。

全通話
「積算通話料金リセット」を実行してから現在までの通話料金の合計を表示します。

お知らせ

- 「通話料金」を選択したときに表示される通話料金画面で[機能]を押して「通話料金設定」を選択すると、通話料金設定画面（P267）を表示できます。

■「発信通話」「着信通話」「全通話」をリセットするには
各項目を選択して[選択]を押し、[リセット]を押してPIN2コードを入力します。
- 通話料金が「0」の場合は「リセット」が表示されません。

積算通話料金をリセットする

1 (●)▶ (設定)▶「通話設定」▶「通話料金設定」

通話料金設定画面

2 「積算通話料金リセット」▶PIN2コードを入力

通話料金上限

通話料金の上限を設定する

お買い上げ時	OFF

積算通話料金の上限となる数値を登録し、上限を超えると電話をかけられないようにします。

1 ●▶ (設定)▶「通話設定」▶「通話料金設定」▶「通話料金上限」▶PIN2コードを入力

通話料金上限画面

2 「0.00 YEN」▶上限の数値を入力

- 1～9999999.00で設定します。
- 「OFF」を選択した場合は、通話料金上限が解除されます。

お知らせ

- 数値の単位は「通貨設定」で登録できます。
- 「通貨設定」の「単位毎料金」の設定により、通話料金上限の最大値は変更されます。
- 「0.99」以下を入力した場合は「0.00」に設定され、「OFF」と同じ通話料金上限が解除された状態になります。待受画面には「0.00（単位）」が表示されますが、電話をかけることができます。
- 数値入力画面で[機能]を押して次の操作ができます。
  - 「編集機能」▶「クリア」の順に選択すると、入力した数値を削除します。
  - 「登録中止」を選択すると、登録を中止します。

■上限を設定すると

待受画面の日付が表示される位置に、設定した上限から積算通話料金を引いた数値が表示されます。音声通話中画面には残りの数値がカウントされ続け、限度額が近づくとメッセージとアラームでお知らせします。

- 音声電話／テレビ電話の通話終了時にも、残りの数値が表示されます。
- テレビ電話中も残りの数値はカウントされ続けますが、テレビ電話中画面には表示されません。

■上限を超えると

電話をかけようとすると利用限度を超えたため接続できない旨のメッセージが表示され、電話をかけられません。

- 通話中に上限を超えた場合は通話が継続されるため、設定した上限を超える場合があります。

利用可能残量を確認する

「通話料金上限」で設定した上限までの通話料金の利用可能残量を確認します。

- 「通話料金上限」が設定されている場合のみ操作できます。

1 ●▶ (設定)▶「情報表示」▶「利用可能残量」

通貨設定

通話料金上限の単位を設定する

お買い上げ時	通貨単位：YEN 単位毎料金：1.000

「通話料金上限」で入力した数値の単位と、単位ごとの料金を設定できます。

1 ●▶ (設定)▶「通話設定」▶「通話料金設定」▶「通貨設定」▶PIN2コードを入力

通貨設定画面

2 「通貨単位」▶「YEN」

通貨の種類画面が表示されます。

- 「OFF」を選択した場合は、単位が表示されません。操作6へ進みます。

3 単位を入力

- 半角（英数字・記号）で3文字まで入力できます。

4 「単位毎料金」

単位毎料金画面が表示されます。

5 変更した単位の数値を入力

- 0.001～9990000000.000で設定します。例えば、USドル（1ドル=100円）の場合は、0.01を入力します。

6 [完了]

お知らせ

- 単位毎料金画面で[機能]を押して次の操作ができます。
  - 「編集機能」▶「クリア」の順に選択すると、入力した数値を1桁削除します。
  - 「登録中止」を選択すると、登録を中止します。

通貨単位

- 「OFF」に設定すると、単位は「ユニット」と表示されます。

電卓

電卓として使う

電卓機能を利用して、四則演算やメモリ計算、%を使って百分率計算などができます。

1 ●▶(アクセサリ)▶「電卓」

電卓画面

2 計算する

- 8桁まで入力できます。小数点以下は7桁まで入力できます。
- CLR：入力中の数字を削除します。

■「100×1.05」を計算する場合

お知らせ

- 計算結果が「123456780000000」のように8桁を超える場合は、「1.2345678e+14」と指数表示されます。

電卓画面の機能メニュー

1 電卓画面(P269)▶[機能]▶次の操作を行う

+/−
入力した数字の+/−を切り替えます。

MS
入力した数字/計算結果をメモリに保存します。

MC
メモリに保存した数値を削除します。

MR
メモリに保存した数値を呼び出します。

%
入力した数字/計算結果を百分率計算します。

通貨の換算
「通貨設定」で設定した為替レートで入力した数字を換算します。

通貨設定
通貨換算を設定します。→P269

お知らせ

MS

- メモリに保存するとMが表示されます。
- メモリに保存した数値は、電源を切っても保持されます。

通貨換算を設定する

お買い上げ時	FROM：ドル＄　TO：円￥ 為替レート：110

換算する通貨の指定や、為替レートを設定できます。

1 電卓画面(P269)▶[機能]▶「通貨設定」▶次の操作を行う

FROM
入力した数字に適用する通貨の種類を選択します。
▶変換元の通貨の種類を選択▶[選択]

TO
変換後の数字に適用する通貨の種類を選択します。
▶変換先の通貨の種類を選択▶[選択]

為替レート
為替レート画面を表示して為替レートを設定します。
▶為替レートを入力

通貨の換算
数字を入力済みの場合に設定した為替レートで換算します。

お知らせ

- 為替レート画面で[機能]を押して次の操作ができます。
  - 「編集機能」▶「クリア」の順に選択すると、数値を1桁削除します。
  - 「登録中止」を選択すると、登録を中止できます。

ワールドクロック

ワールドクロックを使う

お買い上げ時	(上から)東京、ロンドン、ニューヨーク

ワールドクロックを利用して、3都市の現在の日付と時刻を同時に確認できます。海外の滞在先と次の目的地、日本の各都市を設定すると、時差の確認などに便利です。

次のページへ続く

1 ●▶（アクセサリ）▶「ワールドクロック」

- ✓:「時計設定」の「タイムゾーン」に設定されています。
- 表示中の都市が夜（17：30～5：29）の場合は、時計表示がグレーになります。

ワールドクロック画面

お知らせ

- 「時計設定」で「自動時刻補正」（P49）を「ON（時差補正あり）」に設定している場合は、海外でFOMA端末を利用すると、✓の付いた都市が自動的に滞在先の都市に表示されます。

ワールドクロック画面の機能メニュー

1 ワールドクロック画面（P270）▶ ch［機能］▶次の操作を行う

都市変更
選択中の都市を変更します。→P270

詳細表示
選択中の都市の都市＆タイムゾーン詳細画面を表示し、日付や時刻、タイムゾーンを確認します。

時計設定
✓の付いた都市の日付・時刻を設定します。「日付・時刻を合わせる」の操作2（P48）へ進みます。

デジタル時計・アナログ時計
ワールドクロック画面の時計をデジタル表示／アナログ表示に切り替えます。

地図表示・時計表示
ワールドクロック画面を時計表示／地図表示に切り替えます。

お知らせ

- 都市＆タイムゾーン詳細画面で ch［機能］を押しても、「都市変更」「時計設定」の操作ができます。

地図表示

- ◯を押して都市を選択すると、地図上のタイムゾーンを示すカーソルを移動できます。
- グレーのアミが表示されているエリアは夜を示します。

都市を変更する

1 ワールドクロック画面（P270）▶変更する都市を選択▶ ch［機能］▶「都市変更」

2 都市&タイムゾーンを選択▶ ch［選択］

お知らせ

- タイムゾーンとは、世界の地域別標準時間帯を使用している地域を指します。標準時間は、基準となるグリニッジ標準時（GMT）からの時差で表現されます。日本の場合は、日本標準時がGMTより9時間進んでいるため、「GMT+9：0」と表示されます。→P48
- ✓の付いている都市以外を選択して●を押し、ch［はい］を押すと、「時計設定」の「タイムゾーン」を選択中の都市&タイムゾーンに変更できます。ただし、「時計設定」の「自動時刻補正」が「ON（時差補正あり）」または「ON（時差補正なし）」のどちらかに設定されている場合は、●を押すと「自動時刻補正」を「OFF」に設定するかどうかの確認画面が表示されます。変更する場合は、ch［はい］を押して「OFF」を選択してから操作し直します。

電子辞書

電子辞書を使う

FOMA端末の英和辞典、和英辞典、国語辞典を利用できます。

1 ●▶（アクセサリ）▶「電子辞書」

電子辞書画面

2 「英和辞典」／「和英辞典」／「国語辞典」▶調べる単語などを入力

- 英和辞典の場合は全角／半角英字、和英辞典または国語辞典の場合は漢字・ひらがな、全角／半角カタカナで入力します。
- 全角／半角を問わず、50文字まで入力できます。
- 入力した文字を確定してから操作3へ進みます。確定しないで ch［機能］を押すと、文字入力画面の機能メニューが表示されます。

■ **確定した文字を修正する場合**
ch［機能］を押して「編集」を押し、文字を修正します。

3 ch［機能］▶「検索」

検索結果画面

4 目的の見出し語を選択➡[ch][選択]

和英辞典
つり【釣】
[魚釣]fishing
[釣銭]change

詳細画面

お知らせ

- 詳細画面で[ch]［機能］を押して次の操作ができます。
  - 「次項」を選択すると、詳細画面が複数ページある場合にページを切り替えられます。
  - 「メニューに戻る」を選択すると、電子辞書画面に戻ります。
  - 「全てコピー」を選択すると、詳細画面内のすべての文字情報をコピーできます。

検索履歴を利用する

電子辞書で調べた内容は8件まで履歴に記録され、履歴を利用して単語の意味などを再確認できます。

- 8件を超えた場合は、古い情報から順に削除されます。

1 電子辞書画面(P270)➡「検索履歴」

■ 検索履歴画面のアイコン

アイコン	説　明
E・J	英和辞典の検索履歴
J・E	和英辞典の検索履歴
JP	国語辞典の検索履歴

検索履歴画面

2 履歴を選択➡●➡見出し語を選択➡[ch][選択]

お知らせ

- 検索履歴画面で[ch]［機能］を押して次の操作ができます。
  - 「検索」を選択すると、履歴の単語などを再検索できます。
  - 「1件削除」を選択して[ch]［はい］を押すと、選択中の履歴を削除できます。
  - 「全件削除」を選択して[ch]［はい］を押すと、すべての履歴を削除できます。

ステレオヘッドセットで通話する

FOMA端末にminiUSBステレオヘッドセットM01（別売）を接続して、電話の発着信操作ができます。

スイッチを使って電話をかける

miniUSBステレオヘッドセットM01のスイッチを押して、最後に発信履歴に記録された電話番号に音声電話をかけられます。

1 miniUSBステレオヘッドセットのスイッチを3回押す

2 通話が終了したらminiUSBステレオヘッドセットのスイッチ(1秒以上)を押す

- [終話]／[•]（1秒以上）を押しても通話を終了できます。

スイッチを使って電話を受ける

1 電話がかかってくる➡miniUSBステレオヘッドセットのスイッチを押す

電話に出ます。

- テレビ電話がかかってきた場合は、相手にカメラ画像が送信されます。
- 音声電話の場合は[発信]／[iα]［応答］、テレビ電話の場合は[発信]／[映像]を押しても電話に出られます。

2 通話が終了したらminiUSBステレオヘッドセットのスイッチ(1秒以上)を押す

- [終話]を押しても通話を終了できます。
- 音声電話の場合は、[•]を1秒以上押しても通話を終了できます。

通話中にかかってきた別の電話を受ける

キャッチホンをご契約いただいて開始に設定している場合は、音声電話中に別の音声電話がかかってきたとき、miniUSBステレオヘッドセットM01のスイッチを押して電話に出られます。

1 電話がかかってくる➡miniUSBステレオヘッドセットのスイッチを押す

通話中の音声電話が保留され、かかってきた音声電話に出ます。

- 音声電話の場合は[発信]／[iα]［応答］、テレビ電話の場合は[発信]／[映像]を押しても電話に出られます。
- [iα]［通話切替］：通話の相手を切り替えます。

次のページへ続く

2 通話が終了したらminiUSBステレオヘッドセット(別売)のスイッチ(1秒以上)を押す

- [電源/終話キー]を押しても通話を終了できます。
- 音声電話の場合は、[•]を1秒以上押しても通話を終了できます。

お知らせ

- miniUSBステレオヘッドセット M01を接続して通話している場合は、通話中にFOMA端末を閉じても通話は終了しません。

オート着信

ステレオヘッドセットをつないで自動で電話を受ける

お買い上げ時	OFF

FOMA端末にminiUSBステレオヘッドセットM01を接続中に電話がかかってきたとき、設定した呼出時間が経過すると自動で電話を受けるように設定できます。

1 (●)▶ (設定)▶「イヤホン」▶「オート着信」▶呼出時間を選択▶[ch][選択]

- 「OFF」を選択した場合は、オート着信が解除されます。

お知らせ

- 留守番電話サービスや転送でんわサービス、伝言メモを設定しているときに、FOMA端末を閉じた状態でテレビ電話着信をした場合には、本機能は利用できません。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービス、伝言メモの呼出時間と同じ、または短く設定した場合は、本機能が優先して動作します。ただし、伝言メモの応答時間と同じに設定しているときに、設定されている着信音／バイブレータが応答時間より前に2回繰り返して鳴った場合は、本機能が動作します。

Bluetooth接続

Bluetoothを利用する

FOMA端末とBluetooth対応のパソコンやヘッドセット、ハンズフリー対応機器などをワイヤレスで接続して、データ通信やハンズフリー通話などができます。

- ご利用になるBluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

■ Bluetooth関連用語説明

パスキー
Bluetooth機器が他人から許可無く接続されないために、機器ごとに設定する英数字1～16桁のパスワードです。

機器登録(ペアリング)
機器どうしがBluetoothではじめて接続するときに行います。登録するには相手の機器が設定しているパスキーを入力する必要があります。

プロファイル
Bluetoothで接続する機器や送受信するデータの種類に応じて決められている通信規約です。

検索
通信可能な範囲にある他のBluetooth対応機器を探すことです。

Bluetoothでできること

■ **ハンズフリー通話**
Bluetooth対応のヘッドセットやハンズフリー対応機器と接続し、FOMA端末を手で持たずに通話できます。→P63

■ **オーディオ再生**
Bluetooth対応のステレオヘッドセットなどと接続し、高音質なステレオサウンドで再生できます。

■ **電話帳／スケジュール／ToDoの送受信**
電話帳やスケジュール／ToDoをBluetooth対応機器と交換できます。

■ **画像／動画／音楽ファイルの送受信**
FOMA端末に保存されているファイルを、Bluetooth対応機器と交換できます。

■ **受信／送信／未送信メールの送受信**
受信BOX、送信BOX、未送信BOXに保存されているメールをBluetooth対応機器と交換できます。

■ **ブックマークの送受信**
FOMA端末に登録したブックマークをBluetooth対応機器と交換できます。

■ **ダイヤルアップ接続**
Bluetooth対応のパソコンなどと接続し、インターネットなどにアクセスできます。→P290

■ **電話帳／スケジュール／ToDoの印刷**
Bluetooth対応のプリンタと接続し、電話帳やスケジュール／ToDoを印刷できます。

お知らせ

- 対応バージョンと対応プロファイル→P25

Bluetoothの設定をする

お買い上げ時	Bluetooth電源：OFF 名前：FOMA M702iG

Bluetooth機能を利用するときや利用が終了したとき、Bluetoothの電源をON／OFFにできます。また、相手の接続機器に表示されるFOMA端末の名前を登録できます。

1 ●▶ (接続設定)▶ (Bluetooth通信)

Bluetooth通信画面

2 「設定」▶次の操作を行う

Bluetooth電源
Bluetoothの電源をON／OFFにします。
▶「ON」／「OFF」

名前
全角／半角を問わず、40文字まで入力できます。
▶名前を入力

お知らせ

名前

- 相手のBluetooth対応機器が、接続機器の名前を表示できる場合のみ有効です。

■ Bluetooth の電源を OFF にして通信や検索などの操作を開始すると
Bluetoothの電源をONにするかどうかの確認画面が表示されます。電源をONにして操作を続ける場合は ［はい］ を押します。

Bluetooth機器を登録して接続する

はじめてBluetooth対応機器とデータの送受信などを行う場合は、最初に機器登録を行います。機器登録が終了してBluetooth対応機器と接続されると、送受信などの操作が開始されます。

<例：電話帳一覧画面から電話帳を送信するときに機器登録する場合>

1 電話帳一覧画面(P102)▶電話帳を選択▶ ［機能］▶「送信」▶「Bluetooth」

■ すべての電話帳を送信する場合
電話帳一覧画面で ［機能］を押して「全件送信」▶「Bluetooth」の順に選択し、端末暗証番号▶認証パスワード▶パスキーの順に入力します。

データ通信画面

2 「[機器検索]」
検索が開始され、検出された機器の名前が検索結果画面に表示されます。

■ 登録済みの機器と接続する場合
データ通信画面で接続する機器を選択して ［選択］を押すと、送信が開始されます。

3 機器を選択▶ ［選択］
相手機器に接続を要求し、相手機器がパスキーを入力すると機器登録の確認画面が表示されます。

4 ［はい］▶パスキーを入力
パスキーの照合が終了して機器登録が完了すると相手機器と接続され、送信が開始されます。

お知らせ

- FOMA端末で使用できないBluetooth機器は、検出された場合でも検索結果画面に表示されません。
- 登録された機器は「登録機器リスト」で確認できます。
- 操作3で相手の機器から接続の要求があってから約10秒間で操作4までを操作してください。約10秒を経過すると「接続不可」のメッセージが表示され、操作が中止される場合があります。
- 繰り返しが設定されているスケジュールを選択して操作1を行うと、送信方法の確認画面が表示されます。選択中のスケジュールのみ送信する場合は「1件のみ」、繰り返しのスケジュールをすべて送信する場合は「全件」を選択します。
- 送信 BOX または未送信 BOX に保存されているSMSを送信した場合、宛先情報は送信されません。
- 接続する機器によっては、パスキーの入力が必要ない場合があります。

オーディオ機器を登録して接続する

はじめてBluetooth対応のヘッドセットやハンズフリー対応機器と接続する場合は、最初に機器登録を行います。

- あらかじめ、接続する機器を接続待機状態にしてください。詳細については、各Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

1 Bluetooth通信画面(P273)▶「オーディオ機器」

オーディオ機器画面

2 「[機器検索]」
検索が開始され、検出された機器の名前が検索結果画面に表示されます。

次のページへ続く

■ 登録済みの機器と接続する場合
オーディオ機器画面で接続する機器を選択して［選択］を押すと、その機器に接続されます。パスキーが必要な場合は操作4へ進みます。

3 機器を選択▶［選択］

機器登録の確認画面が表示されます。

- パスキーが必要ない機器の場合は、機器が検出されると登録が完了します。

4 ［はい］▶パスキーを入力

パスキーの照合が終了して機器登録が完了すると相手機器と接続されます。

他の機器からデータを受信する

他のBluetooth機器からデータを受信するときは、最初にFOMA端末のBluetooth機能を待機状態にする必要があります。

- データの全件受信を行うと、受信したデータと同じ種類のFOMA端末に保存されているデータが上書きされます。

＜例：データを1件受信する場合＞

1 Bluetooth通信画面（P273）▶「Bluetooth接続待機」

待機時間が表示され、画面上部にが点滅します。

- 待機時間内にデータを受信してください。

2 相手の機器からデータが送信される

接続要求の受信をお知らせする画面が表示されます。

■ 機器登録していない機器から接続要求があった場合
相手の機器がパスキーを入力すると、FOMA端末に機器登録の確認画面が表示されます。［はい］を押し、パスキーを入力すると接続要求の受信をお知らせする画面が表示されます。

3 ［許可］▶［承認］

データを受信します。

- データの受信中はが点灯し、受信が終了すると点滅します。

■ 全件受信でデータを受信した場合
［許可］を押して端末暗証番号▶認証パスワード▶パスキーの順に入力し、［承認］▶［はい］の順に押します。

お知らせ

- 送信 BOX または未送信 BOX に保存されているSMSを送信した場合、宛先情報は送信されません。
- 接続する機器によっては、パスキーの入力が必要ない場合があります。また、受信時の操作が異なる場合があります。
- データの受信に失敗した場合は操作を終了し、待受画面から受信操作をやり直してください。

■ 1件のデータ受信が完了すると

電話帳
プレビュー画面が表示されます。
- ［登録］を押すと電話帳登録画面が表示され、［完了］を押すと電話帳に保存されます。

スケジュール／ToDo
スケジュール詳細画面／ToDoリスト詳細画面が表示されます。
- ［機能］を押して「登録」を選択すると、スケジュールに保存されます。
- ［機能］を押して「全てコピー」を選択すると、詳細画面内のすべての文字情報をコピーします。
- 次のようなToDoのデータを受信した場合、ToDoリスト詳細画面で［機能］を押して「登録」を選択すると日付が正しくない旨のメッセージが表示され、保存されずに破棄されます。
  - 状態が「完了」で、期日が過ぎている
  - 状態が「完了」で、完了日が入力されていない

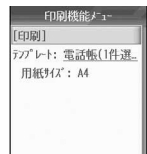
その他
表示／再生画面が表示されます。
- 画像を受信した場合は、表示画面で●を押すとデータBOXに保存されます。
- 動画／ｉモーションやメロディを受信した場合は、再生画面で［機能］を押して「保存」を選択すると「メロディプレーヤーを終了しますか？」とメッセージが表示され、［はい］を押すとデータBOXに保存されます。
- 接続する機器によっては表示／再生画面が表示されず、受信したデータに合わせて自動的に各機能に保存される場合があります。

Bluetooth対応プリンタで印刷する

Bluetooth対応のプリンタを利用して、電話帳やスケジュール／ToDoをワイヤレスで印刷できます。

＜例：電話帳一覧画面から１件の電話帳を印刷する場合＞

1 電話帳一覧画面（P102）▶電話帳を選択▶［機能］▶「印刷」

■ 複数の電話帳を印刷する場合
電話帳一覧画面で［機能］を押して「複数選択」▶「印刷」の順に選択し、印刷する電話帳にチェックを付けて［完了］を押します。

印刷機能メニュー画面

2 「テンプレート」▶スタイルを選択▶[ch]［表示］

選択したスタイルの印刷プレビューが表示されます。

- ◎：サイズと印刷プレビューを切り替えます。

3 [ch]［選択］

印刷機能メニュー画面に戻ります。

4 「［印刷］」

プリンタ画面が表示されます。

5 「［機器検索］」

検索が開始され、検出された機器の名前が検索結果画面に表示されます。

■ **登録済みの機器と接続する場合**
プリンタ画面で接続する機器を選択して[ch]［選択］を押すと、印刷が開始されます。

6 機器を選択▶[ch]［選択］

印刷が開始されます。

お知らせ

- 印刷機能メニュー画面の「用紙サイズ」には「テンプレート」で設定した用紙のサイズが表示され、変更などの操作はできません。

登録機器を管理する

登録した機器の確認や、機器名の変更、接続方法の変更、登録機器の削除ができます。

1 Bluetooth通信画面(P273)▶「登録機器リスト」

Bluetooth機器画面が表示され、登録機器が表示されます。

- [#]／[*]：機器の種別ごとの表示に切り替えます。押すごとに種別が切り替わります。

■ **登録機器を削除する場合**
登録機器を選択して[ch]［機能］を押し、「削除」を選択します。

2 登録機器を選択▶[ch]［機能］▶「編集」

機器詳細画面

3 次の操作を行う

名前

登録機器の名前を修正します。全角／半角を問わず、20文字まで入力できます。

▶名前を入力

接続設定

登録機器から接続要求があったときの対応方法を設定します。

常に確認：接続ごとにデータを受信するかどうかを確認します。

自動：常に接続を許可します。

拒否：接続を拒否します。

1回のみ許可：最初の接続のみデータを受信するかどうかを確認し、それ以降は利用したサービスを自動的に「拒否」に設定します。

カスタム：「個別接続設定」の操作をします。

個別接続設定

接続要求があったときのサービスごとの対応方法を「常に確認」「自動」「拒否」「1回のみ許可」から選択します。

ハンズフリー：ヘッドセット／ハンズフリーサービスの対応方法を設定します。
▶項目を選択▶[ch]［変更］▶対応方法を選択▶[ch]［選択］

データ交換：オブジェクトプッシュ／ベーシックイメージングサービスの対応法を設定します。操作方法は「ハンズフリー」を参照してください。

ファイル転送：ファイルトランスファーサービスの対応方法を設定します。操作方法は「ハンズフリー」を参照してください。

ダイヤルアップネットワーク
：ダイヤルアップネットワーキングサービスの対応方法を設定します。操作方法は「ハンズフリー」を参照してください。

オーディオ：オーディオサービスの対応方法を設定します。操作方法は「ハンズフリー」を参照してください。

オーディオリモートコントロール
：オーディオ／ビデオコントロールサービスの対応方法を設定します。操作方法は「ハンズフリー」を参照してください。

4 [i]［完了］

お知らせ

- 機器詳細画面の「種別」には機器の種別が表示され、修正などの操作はできません。

メモリ確認

メモリの使用状況を確認する

FOMA端末のメモリの使用容量と空き容量を確認できます。microSDメモリーカードを取り付けている場合は、microSDメモリーカードのメモリの使用状況も確認できます。

- FOMA 端末の使用容量には、次の機能のファイル／データがカウントされます。
  - メール　- メッセージR/F　- ｉアプリ
  - 電話帳※2　- アラーム※2
  - スケジュール／ToDo※2
  - 伝言メモ　- ダウンロード辞書
  - デコメールテンプレート
  - データBOXのデータ※1（画像、動画／ｉモーション、メロディ、キャラ電、アニメーション、音声メモ）

  ※1：お買い上げ時に登録されているファイル／データは除きます。

  ※2：専用のメモリが確保されているため、使用容量がフルの状態でも登録できる場合があります。

1 **●▶ (設定)▶「情報表示」▶「メモリ確認」**

メモリ確認画面

2 **「本体」／「microSD」**

詳細画面が表示されます。

お知らせ

- 詳細画面で［機能］を押して「全てコピー」を選択すると、詳細画面内のすべての文字情報をコピーできます。
- FOMA端末のメモリ残量がわずかになったり、最大保存件数まで保存されたりすると画面上部に（赤）が表示され、データやファイルを保存できません。その場合はmicroSDメモリーカードなどに保存するか、不要なデータやファイルを削除することをおすすめします。

メモリ確認画面の機能メニュー

- 「microSD」を選択中の場合のみ機能メニューを利用できます。

1 **メモリ確認画面(P276)▶［機能］▶次の操作を行う**

名称編集

microSD メモリーカードを取り付けている場合、「microSD」の後ろに表示する名前を登録します。半角の英字／数字／記号で11文字まで入力できます。

▶名前を入力

- 記号の一部（「/」「¥」「＊」「<」「>」「:」「”」「?」「|」）は入力できません。

フォーマット

microSDメモリーカードに保存されているデータをすべて削除し、「名称編集」で登録した名前を削除します。

▶［はい］▶［はい］／［いいえ］

- フォーマットの完了後に新しい名前を入力する場合は、［はい］を押して名前を入力します。

設定リセット

各種機能の設定を初期状態に戻す

各機能で変更した設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時の設定に戻る機能については、「メニュー一覧」（P318）を参照してください。

1 **●▶ (設定)▶「一般設定」▶「設定リセット」▶端末暗証番号を入力▶［はい］**

設定リセットが完了すると、FOMA端末が再起動します。

お知らせ

- セルフモードを「ON」に設定中は、本機能を実行できません。
- メニュー一覧に記載の機能以外に、次の機能の設定もお買い上げ時の状態に戻ります。
  - ｉチャネル　- テレビ電話　- 受話音量
  - オリジナルマナーモード詳細　- 文字入力
  - マナーモード　- 公共モード（ドライブモード）
- 本機能を実行すると、次の機能の登録内容／記録内容が削除されます。
  - 前回入力番号　- 通話時間（「積算通話」を除く）
  - 通話料金（「全通話」を除く）
  - ウェイクアップメッセージ
  - 国際電話設定
- 本機能を実行すると、スケジュールにあらかじめ登録されている一部の祝日（当日より前の登録内容）が削除される場合があります。

登録データを一括して削除する

各機能で変更した設定内容をお買い上げ時の状態に戻し、お客様が登録したデータを削除します。

1 **(●)▶ (設定)▶「一般設定」▶「端末初期化」▶端末暗証番号を入力▶ ch [はい]**

端末初期化が完了すると、FOMA端末が再起動します。

お知らせ

- セルフモードを「ON」に設定中は、本機能を実行できません。
- 本機能でデータや登録内容が削除される機能は次のとおりです。
  - Bookmark※1
  - Internet
  - 画面メモ
  - ラストURL
  - メッセージR
  - メッセージF
  - 接続先設定
  - 証明書センター接続先設定
  - ｉアプリ※1
  - 受信BOX
  - 送信BOX
  - 未送信BOX
  - チャットメールのメンバー設定
  - デコメールのテンプレート※1
  - 署名設定
  - 引用符編集
  - 送信グループ登録
  - SMSセンター設定
  - 電話帳
  - スピードダイヤル
  - FOMA端末（本体）電話帳のグループ
  - データBOX内のデータ※1
  - アラーム
  - スケジュール
  - 伝言メモ
  - 伝言メモ応答メッセージの録音データ
  - 電卓のメモリ
  - バーコードリーダー
  - 電子辞書の検索履歴
  - 発信履歴
  - 着信履歴
  - 前回入力番号
  - 通話時間※2
  - 通話料金※2
  - 応答メッセージ設定
  - 追加サービス
  - マルチナンバー
  - Bluetoothの名前
  - Bluetoothの登録機器リスト
  - ウェイクアップメッセージ
  - ユーザ辞書
  - ダウンロード辞書
  - 定型文編集※1
  - 学習データ
  - 音声応答保留音の録音データ
  - 国際電話設定※1
  - 国番号リスト※1
  - ｉアプリ設定の起動失敗履歴
  - ｉアプリ設定の異常終了履歴
  - ｉアプリ設定のセキュリティエラー履歴
  - ｉアプリ設定のトレース情報
  - 個人データ
  - 各機能のユーザ作成フォルダ

  ※1：お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。

  ※2：積算通話時間、積算通話料金は削除されません。
- 保護設定したデータも削除されます。
- FOMAカードやmicroSDメモリーカードに保存されている各種データは削除されません。
- 電池残量が十分な状態で端末初期化を実行してください。
- 端末初期化中は、各種機能／通信を利用できません。
- 本機能を実行した場合、テロップが表示されなくなります。 ch ［ｉチャネル］を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信してテロップが表示されるようになります。

ネットワークサービス

本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要や利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

サービス名	お申し込み	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	必要	有料	P280
キャッチホン	必要	有料	P281
転送でんわサービス	必要	無料	P282
迷惑電話ストップサービス	必要	無料	P283
発信者番号通知サービス	不要	無料	P49
番号通知お願いサービス	不要	無料	P283
デュアルネットワークサービス	必要	有料	P284
英語ガイダンス	不要	無料	P284
マルチナンバー	必要	有料	P285
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P70
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P71

お申し込みが必要なサービスについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

お知らせ

- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 海外でもネットワークサービスを利用できます。→P315
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供された場合は、新しいサービスをメニューに登録できます。→P286

留守番電話

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話／テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メッセージの録音は1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件で、最長72時間保存されます。
- 伝言メッセージが録音されると、画面上部に～を表示してお知らせします。ただし、テレビ電話で伝言メッセージが録音された場合は、画面上部に～は表示されず、着信通知（SMS）でお知らせします。
- 伝言メモ（P73）を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを開始にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、着信履歴には「不在着信」として記録され、不在着信通知画面が表示されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1 ：サービスを開始に設定する
ステップ2 ：電話がかかってくる※
ステップ3 ：電話をかけてきた相手が伝言メッセージを録音する
ステップ4 ：伝言メッセージを再生する

※：急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに#を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替わります。

お知らせ

- ステップ 2 でサービスエリア内にいるときや電源を入れているときは、設定した呼出時間が経過するまで着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に電話に出ないと、留守番電話サービスセンターに接続されます。呼出時間は変更できます。
- ステップ3で伝言メッセージが録音されると、画面上部に～が表示され、着信履歴には不在着信履歴が記録されます。
- 留守番電話サービスを停止に設定中でも、着信した音声電話を機能メニューから手動で留守番電話サービスセンターに接続できます。→P64
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。
- キャラ電で留守番電話に接続された場合、プッシュ信号（DTMF）を送信できません。送信する場合は、機能メニューの「DTMF ON」を選択してから操作してください。→P82

留守番電話サービスを利用する

1 ●▶ (ネットワークサービス)▶「留守番電話」▶次の操作を行う

留守番メッセージ再生
留守番電話サービスセンターに電話をかけ、伝言メッセージを再生します。
▶ [はい] ▶音声ガイダンスに従って操作する

留守番サービス開始
呼出時間は0～120秒で入力します。
▶ [はい] ▶ [はい] ／ [いいえ]
- 設定を変更しないで開始に設定する場合は [いいえ] を押します。

▶ ／ダイヤルキーで呼出時間を入力

留守番サービス停止
▶ [はい]

留守番呼出時間設定
電話を着信してから、留守番電話サービスセンターに接続するまでの時間を設定します。0～120秒で入力します。
▶ ／ダイヤルキーで呼出時間を入力

留守番設定確認
現在の設定状態を確認します。

留守番サービス設定
留守番電話サービスセンターに電話をかけ、音声ガイダンスに従って設定を変更します。
▶ [はい] ▶音声ガイダンスに従って操作する

メッセージ問合せ
新しい伝言メッセージが録音されているかを確認します。

留守番電話（海外）
海外から留守番電話サービスの操作をします。→P315

お知らせ

留守番呼出時間設定
- 0秒に設定した場合は、電話がかかってきても呼出動作を行わずに留守番電話サービスセンターに接続され、着信履歴に記録されません。
- 「呼出動作開始時間」で設定した時間より短い場合は、呼出動作を行わずに留守番電話サービスセンターに接続されます。
- 「伝言メモ」の応答時間よりも短く設定した場合は、本サービスが優先して動作します。

留守番設定確認
- 機能メニューから留守番サービス開始、留守番サービス停止、留守番呼出時間設定の操作ができます。

メッセージ問合せ
- サービスの問い合わせ後にお預かりした伝言メッセージは、再度サービスの問い合わせを行っても確認できない場合があります。

着信通知

着信通知とは、圏外が表示されているときや電源を切っているときに着信した電話の着信履歴を、お客様にSMSでお知らせするサービスです。着信設定を開始に設定すると、ネットワーク圏内になったときや、電源を入れたときにSMSが送信されるようになります。

- メニューからは操作できません。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 「*2001」を入力▶

以降は音声ガイダンスに従って操作してください。

お知らせ

- 1通の着信通知には、5件までの着信履歴が通知されます。
- 「SMS一括拒否」を設定している場合でも、着信通知は受信されます。
- 設定および着信通知（SMS の受信）にかかる料金は無料です。

キャッチホン

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「着信動作選択」（P285）を「通常着信」に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。
- 保留中は発信者に通話料金が加算され続けます。
- 次の場合キャッチホンは動作しません。
  - 発信中、相手を呼出中のとき
  - テレビ電話中に音声電話がかかってきたとき
  - 音声電話中にテレビ電話がかかってきたとき

キャッチホンを利用する

1 ●▶ (ネットワークサービス)▶「キャッチホン」▶次の操作を行う

キャッチホンサービス開始
▶ [はい]

キャッチホンサービス停止
▶ [はい]

次のページへ続く

キャッチホンサービス設定確認
現在の設定状態を確認します。

通話を保留してかかってきた電話に出る

音声電話中に別の音声電話がかかってくると、受話口から「ププ…ププ…」という通話中着信音が流れ、着信中画面が表示されます。

1 電話がかかってくる▶［応答］／

通話中の音声電話が保留され、かかってきた音声電話に出ます。

- 保留中の電話に切り替える場合は［通話切替］を押します。
- 保留中の電話を切る場合は、上記操作で保留中の電話に切り替え、／（1秒以上）を押します。

お知らせ

- 通話中に他の電話を着信した場合、を押すと着信中の電話を切断できます。

通話を保留して電話をかける

通話中の音声電話を保留して、新たに音声電話をかけます。

1 音声通話中画面（P52）▶［機能］▶「新規発信」▶電話番号を入力▶

通話中の音声電話が保留されます。

- 保留中の電話に切り替える場合は［通話切替］を押します。
- 保留中の電話を切る場合は、上記操作で保留中の電話に切り替え、／（1秒以上）を押します。

通話を終了してかかってきた電話に出る

通話中の音声電話を切り、かかってきた音声電話に出ます。キャッチホンを利用中の場合でも操作できます。

1 電話がかかってくる▶［機能］▶「現在通話終了&応答」

音声電話の終了画面が表示され、かかってきた電話の音声通話中画面が表示されます。

■ **キャッチホンを利用中に別の電話を着信したとき、保留中の電話を終了して電話に出る場合**
［機能］を押して「保留中通話終了＆応答」を選択します。

- 通話中の電話が保留され、かかってきた電話の相手と通話できます。

転送でんわ

転送でんわサービス

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- テレビ電話がかかってきたときは、転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応端末のみ転送します。
- 転送先へ転送したときの通話料金は、転送でんわサービスのご契約者にかかります。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。
- 伝言メモ（P73）を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを開始にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、着信履歴には「不在着信」として記録され、不在着信通知画面が表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1 ：転送先の電話番号を登録する
ステップ2 ：サービスを開始に設定する
ステップ3 ：電話がかかってくる
ステップ4 ：転送先へ電話を転送する

お知らせ

- ステップ３でサービスエリア内にいるときや電源を入れているときは、設定した呼出時間が経過するまで着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間に電話に出ないと、転送先に転送されます。呼出時間は変更できます。
- ステップ4で電話が転送されると、着信履歴には不在着信履歴が記録されます。
- 転送でんわサービスを停止に設定中でも、着信した電話を機能メニューから手動で転送先に転送できます。→P64、P84
- 音声電話の通話中に「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえても、キャッチホンを契約していない場合は電話に出られません。
- 転送された電話を着信すると、発信元の電話番号または名前のみ表示され、転送元の情報は表示されません。

転送でんわサービスを利用する

1 ▶（ネットワークサービス）▶「転送でんわ」▶次の操作を行う

転送サービス開始

呼出時間は0～120秒で入力します。

▶「電話番号」▶転送先の電話番号を入力

- 転送先の電話番号を登録済みで、設定を変更しないで開始に設定する場合は［開始］を押して［はい］を押します。

▶「呼出時間」▶／ダイヤルキーで呼出時間を入力▶［開始］▶［はい］

転送サービス停止

▶［はい］

転送先変更

▶転送先の電話番号を入力▶「転送先変更」／「転送先変更＆転送開始」

転送先通話中時設定

転送先が通話中の場合に留守番電話サービスセンターに接続するかどうかを設定します。

▶［はい］

転送サービス設定確認

現在の設定状態を確認します。

転送でんわ（海外）

海外から転送でんわサービスの操作をします。→P316

お知らせ

- 転送先の電話番号入力画面で［機能］を押して次の操作ができます。
  - 「参照」▶「電話帳」／「着信履歴」／「発信履歴」の順に選択すると、発着信履歴や電話帳から電話番号を選択して入力できます。
  - 「中止」を選択すると、登録を中止します。
  - 「挿入」▶「指定番号自動追加」／「指定番号手動追加」／「未定番号手動追加」の順に選択すると、入力した電話番号の後ろに「p」／「w」／「n」を入力できます。→P57
  - 「編集機能」を選択すると、文字編集の機能を利用できます。→P298
  - 「登録中止」を選択すると、登録を中止します。

呼出時間

- 0秒に設定した場合は、電話がかかってきても呼出動作を行わずに電話が転送され、着信履歴に記録されません。
- 「呼出動作開始時間」で設定した時間より短い場合は、呼出動作を行わずに電話が転送されます。
- 「伝言メモ」の応答時間よりも短く設定した場合は、本サービスが優先して動作します。

転送サービス設定確認

- 機能メニューから、転送サービス開始、転送サービス停止、転送先通話中時設定の操作ができます。

転送ガイダンスの有無を設定する

- メニューからは操作できません。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 「1429」を入力▶

以降は音声ガイダンスに従って操作してください。

迷惑電話ストップ

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 電話番号は30件まで登録できます。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。

1 ▶（ネットワークサービス）▶「迷惑電話ストップ」▶次の操作を行う

迷惑電話着信拒否登録

最後に着信して通話した電話の電話番号を拒否登録します。

▶［OK］

迷惑電話1登録削除

最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。

▶［はい］

迷惑電話全登録削除

登録したすべての電話番号を削除します。

▶［はい］

お知らせ

迷惑電話着信拒否登録

- 30件の電話番号を登録済みの場合は、最も古い電話番号を削除して登録するかどうかの確認画面が表示されます。［はい］を押すと登録されます。

電話番号を指定して拒否する

- メニューからは操作できません。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

1 「144」を入力▶

以降は音声ガイダンスに従って操作してください。

番号通知お願いサービス

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

次のページへ続く

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、不在着信通知画面も表示されません。

1 ●▶ (ネットワークサービス)▶「番号通知お願いサービス」▶次の操作を行う

番号通知お願い開始
▶ch［はい］

番号通知お願い停止
▶ch［はい］

番号通知お願い確認
現在の設定状態を確認します。

お知らせ

- 本サービスは、非通知理由が「非通知設定」の電話のみ対象になります。

デュアルネットワーク

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。

1 ●▶ (ネットワークサービス)▶「デュアルネットワーク」▶次の操作を行う

デュアルネットワーク切替
movaからFOMAに切り替えてFOMA端末を利用できるようにします。
▶ch［はい］▶ネットワーク暗証番号を入力

デュアルネットワーク状態確認
現在の設定状態を確認します。

お知らせ

- FOMAからmovaに切り替える場合は、mova端末から操作してください。

デュアルネットワーク切替

- 通信中に切り替えを行うと、強制的に通信が切断されます。

英語ガイダンス

英語ガイダンス

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

■着信時（お客様に電話をかけてきた相手へのガイダンス）

ガイダンス言語	説　明
日本語	日本語で音声ガイダンスが流れます。
日本語＋英語	日本語で音声ガイダンスが流れた後に英語で音声ガイダンスが流れます。
英語＋日本語	英語で音声ガイダンスが流れた後に日本語で音声ガイダンスが流れます。

■発信時（お客様ご自身へのガイダンス）

ガイダンス言語	説　明
日本語	日本語で音声ガイダンスが流れます。
英語	英語で音声ガイダンスが流れます。

- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

1 ●▶ (ネットワークサービス)▶「英語ガイダンス」▶次の操作を行う

着信時＋発信時
着信時と発信時の音声ガイダンスをまとめて設定します。
▶着信時の言語を選択▶ch［選択］▶発信時の言語を選択▶ch［選択］

着信時
▶着信時の言語を選択▶ch［選択］

発信時
▶発信時の言語を選択▶ch［選択］

ガイダンス設定確認
現在の設定状態を確認します。

サービスダイヤル

サービスダイヤル

ドコモの総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 ●▶ (ネットワークサービス)▶「サービスダイヤル」▶次の操作を行う

ドコモ故障問合せ
故障の問い合わせ先へ電話をかけます。
- 項目を選択してch［発信］または●を押すと電話がかかります。

ドコモ総合案内・受付

総合案内・受付へ電話をかけます。

- 項目を選択して[ch]［発信］または●を押すと電話がかかります。

着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選ぶ

お買い上げ時	通常着信

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話／テレビ電話、および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスが未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用するには、「通話中着信設定」を開始に設定してください。

1 **●▶(ネットワークサービス)▶「着信動作選択」▶次の操作を行う**

通常着信

着信動作します。留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスが開始に設定されている場合はその設定に従って動作します。

留守番電話

通話／通信中に着信した電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

転送でんわ

通話／通信中に着信した電話を転送先に転送します。

着信拒否

通話／通信中に着信した電話を拒否します。

通話中着信設定

「着信動作選択」で選択した動作の開始／停止を設定できます。

1 **●▶(ネットワークサービス)▶「通話中着信設定」▶次の操作を行う**

通話中着信設定開始

▶[ch]［はい］

通話中着信設定停止

▶[ch]［はい］

通話中着信設定確認

現在の設定状態を確認します。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を設定しておく必要があります。

1 **●▶(ネットワークサービス)▶「遠隔操作設定」▶次の操作を行う**

遠隔操作開始

▶[ch]［はい］

遠隔操作停止

▶[ch]［はい］

遠隔操作設定確認

現在の設定状態を確認します。

マルチナンバー

マルチナンバー

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

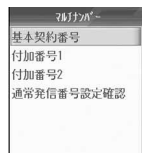
- 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号1／付加番号2）に対応したアイコンが表示されます。
- 発信履歴や着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信します。

付加番号を登録する

付加番号の名前や番号、着信音を登録／設定できます。

1 **●▶(ネットワークサービス)▶「マルチナンバー」**

マルチナンバー画面

次のページへ続く

2 登録する番号を選択▶ [機能]▶「編集」

編集画面
（例：付加番号1）

3 次の操作を行う

- 「基本契約番号」を選択した場合は、名前のみ登録できます。

名前
付加番号の名前を登録します。全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
▶名前を入力

電話番号
付加番号を登録します。26桁まで入力できます。
▶番号を入力

着信音
登録中の付加番号に電話がかかってきたときに鳴る着信音／振動するバイブレータパターンを設定します。

ｉモーション：「ｉモーション」フォルダに保存されている動画／ｉモーションから選択します。
▶フォルダを選択▶●▶動画／ｉモーションを選択▶●

メロディ：「メロディ」フォルダに保存されているメロディから選択します。
▶フォルダを選択▶●▶メロディを選択▶●

音声メモ：「音声メモ」フォルダに保存されている音声メモから選択します。
▶「音声メモ（全て）」／「マイデータ」▶音声メモを選択▶●

バイブレータパターン：バイブレータを5種類のバイブレータパターンから選択します。→P117
▶バイブレータパターンを選択▶ [選択]

サイレント：着信音を鳴らさない／振動させないようにします。

なし：「パターン選択」の設定に従います。

4 [保存]

お知らせ

- マルチナンバー画面で [機能]を押して次の操作ができます。
  - 「表示」を選択すると、選択中の番号の登録内容を確認できます。
  - 「編集」を選択すると、選択中の番号を修正できます。
  - 「通常発信番号設定」を選択すると、選択中の番号を通常発信として設定できます。

着信音

- 設定できるファイル形式は次のとおりです（設定が制限されているファイルや、映像または音声のみが含まれるファイルなど、ファイルによっては設定できない場合があります）。
SMF、MFi、MP4（Mobile MP4）、AMR

通常発信番号を設定する

登録した付加番号を、電話をかけるときに通常使用する電話番号として設定できます。

1 マルチナンバー画面（P285）▶番号を選択▶●▶ [はい]

通常発信番号の設定を確認する

1 マルチナンバー画面（P285）▶「通常発信番号設定確認」

1回の通話ごとに発信番号を設定する

1 電話番号を入力

2 [機能]▶「マルチナンバー」▶発信番号を選択▶ [選択]

3 ／●

■ **テレビ電話をかける場合**
を押します。

お知らせ

- 各発信番号を選択すると、電話番号の後ろに「*590#（基本契約番号）」／「*591#（付加番号1）」／「*592#（付加番号2）」が付加されます。

追加サービス（USSD登録）

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。新しいネットワークサービスは10件まで登録できます。

サービスを追加する

サービス名称と、ドコモから通知された「特番」／「サービスコード（USSD）」を登録します。

- 特番とは、サービスセンターに接続するための番号です。
- サービスコード（USSD）とは、サービスセンターに通知するためのコード番号です。

1 ●▶ （ネットワークサービス）▶「追加サービス」

追加サービス画面

2 「［新規サービス］」▶次の操作を行う

サービス名
サービス名を登録します。全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
▶サービス名を入力

USSDコード
特番／サービスコード（USSD）を登録します。20桁まで入力できます。
▶特番／サービスコード（USSD）を入力

3 ［完了］

お知らせ

USSDコード

- USSD コード入力画面で ［機能］を押して次の操作ができます。
  - 「参照」▶「電話帳」／「着信履歴」／「発信履歴」の順に選択すると、発着信履歴や電話帳から電話番号を選択して入力できます。
  - 「中止」を選択すると、登録を中止します。
  - 「挿入」▶「指定番号自動追加」／「指定番号手動追加」／「未定番号手動追加」の順に選択すると、入力した番号の後ろに「p」／「w」／「n」を入力できます。→P57
  - 「編集機能」を選択すると、文字編集の機能を利用できます。→P298

追加サービス画面の機能メニュー

- 追加したサービスを選択中の場合のみ機能メニューを利用できます。

1 追加サービス画面（P287）▶ ［機能］▶次の操作を行う

新規
「サービスを追加する」の操作2（P287）へ進みます。

編集
選択中のサービスを修正します。「サービスを追加する」の操作2（P287）へ進みます。

1件削除
選択中のサービスを削除します。
▶ ［はい］

全件削除
追加したすべてのサービスを削除します。
▶ ［はい］

追加したサービスを実行する

1 追加サービス画面（P287）▶サービスを選択▶●▶ ［はい］

サービスセンターに接続します。

応答メッセージを登録する

追加したサービスがサービスコード（USSD）でサービスセンターに接続したとき、センターから返ってくるコード（USSD）に対応した応答メッセージを10件まで登録できます。

1 ●▶ （ネットワークサービス）▶「応答メッセージ設定」

■ **登録した応答メッセージを確認する場合**
応答メッセージを選択して●を押します。詳細画面が表示され、メッセージとサービスコード（USSD）を確認できます。

応答メッセージ設定画面

2 「［新規メッセージ］」▶次の操作を行う

メッセージ
全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
▶応答メッセージを入力

USSD
サービスコード（USSD）を登録します。20桁まで入力できます。
▶サービスコード（USSD）を入力

3 ［完了］

お知らせ

USSD

- USSD 入力画面で ［機能］を押して次の操作ができます。
  - 「参照」▶「電話帳」／「着信履歴」／「発信履歴」の順に選択すると、発着信履歴や電話帳から電話番号を選択して入力できます。
  - 「中止」を選択すると、登録を中止します。
  - 「挿入」▶「指定番号自動追加」／「指定番号手動追加」／「未定番号手動追加」の順に選択すると、入力した番号の後ろに「p」／「w」／「n」を入力できます。→P57

次のページへ続く

- 「編集機能」を選択すると、文字編集の機能を利用できます。→P298

応答メッセージ設定画面／詳細画面の機能メニュー

- 追加した応答メッセージを選択中の場合のみ機能メニューを利用できます。

1 応答メッセージ設定画面(P287)／詳細画面▶[ch][機能]▶次の操作を行う

新規
「応答メッセージを登録する」の操作2（P287）へ進みます。

編集
選択中／表示中の応答メッセージを修正します。「応答メッセージを登録する」の操作2（P287）へ進みます。

1件削除
選択中／表示中の応答メッセージを削除します。
▶[ch][はい]

全件削除
すべての応答メッセージを削除します。
▶[ch][はい]

データ通信

データ通信の詳細は、付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」(PDF版)をご覧ください。
「データ通信マニュアル」(PDF版)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます(別途通信料がかかります)。
詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

データ通信について

FOMA端末とパソコンを接続することで、3つの通信形態（パケット通信、64Kデータ通信、データ転送（OBEX））のデータ通信を利用できます。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

■ パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金される通信形態で、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの通信速度でデータ通信ができます。
パケット通信を行うには、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）やBluetoothで接続し、ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」などのFOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用します。

- パケット通信を利用して多量のデータの送受信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

■ 64Kデータ通信

ネットワークへの接続時間に応じて通信料金がかかる通信形態で、64kbpsの通信速度でデータ通信ができます。
64Kデータ通信を行うには、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルやBluetoothで接続し、ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信対応のアクセスポイント、またはISDN同期64K対応のアクセスポイントを利用します。

- 64Kデータ通信を利用して長時間のネットワーク接続を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

■ データ転送（OBEX）

FOMA USB接続ケーブルや赤外線、Bluetoothを利用して、データを送受信する通信形態です。
FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続してデータ転送を行うには、データリンクソフト（P342）をパソコンにインストールする必要があります。赤外線やBluetoothによるデータ転送を行うには、通信を行うパソコンなどの機器に赤外線やBluetoothの機能が搭載されている必要があります。

FOMA端末とパソコンなどの機器との接続方法

FOMA端末とパソコンなどの機器を接続してデータ通信を行うには、次の接続方法があります。

■ FOMA USB接続ケーブルを利用する（USB接続）

FOMA端末とパソコンなどの機器をFOMA USB接続ケーブルで接続することで、すべての通信形態（パケット通信、64Kデータ通信、データ転送（OBEX））を利用できます。

- FOMA USB接続ケーブルで接続する際は、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要になります。接続方法や各種操作の詳細については、「データ通信マニュアル」（PDF版）をご覧ください。
- ご利用の際は、「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。

■ Bluetoothを利用する（Bluetooth接続）

Bluetoothを利用することで、すべての通信形態（パケット通信、64Kデータ通信、データ転送（OBEX））を利用できます。

- Bluetoothで接続する際は、Bluetooth接続経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムを使用してください。インストールおよび設定については、お使いのパソコンやBluetooth機器メーカにお問い合わせください。

■ 赤外線を利用する

赤外線機能を利用することで、データ転送（OBEX）の通信形態を利用できます。
赤外線機能を搭載したパソコンなどの機器との間でデータの送受信ができます。

- 通信方法→P252

ご利用にあたっての留意点

■ インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

■ 接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。

- PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

■ **ネットワークアクセス時のユーザ認証について**

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細については、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ **ブラウザ利用時のアクセス認証について**

パソコンのブラウザでFirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証で、FirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、パソコンから次のURLに接続してFirstPass PCソフトをダウンロードし、インストールおよび設定を行ってください。

http://www.nttdocomo.co.jp/support/download/index.html

■ **パケット通信および64Kデータ通信の条件**

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要になります（条件が整っていても基地局の混雑状況や電波状態によって通信できないことがあります）。

- FOMA USB接続ケーブル（別売）が利用できるパソコンであること
- Bluetoothで接続する場合、パソコンなどの機器がBluetooth標準規格Ver.1.2のDial-Up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）に対応していること
- FOMA サービスエリア、または提携する海外通信事業者のサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントが FOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、アクセスポイントがFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

■ **データ通信の用語について**

APN （Access Point Name）

パケット通信の接続先（プロバイダやLANなど）を識別します。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」は、APNでは「mopera.net」で表現されます。

cid（Context Identifier）

パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録するときの登録番号です。FOMA端末では1～10までのcidを使って10件のAPNを登録できます。

DNS（Domain Name System）

「nttdocomo.co.jp」のような人が理解しやすいドメイン名をコンピュータが管理するための数字によるアドレスに変換するシステムです。

OBEX（Object Exchange）

IrDA（Infrared Data Association）で規定されたファイル転送用の通信規約（プロトコル）です。OBEXプロトコルを利用できる機器との間で、電話帳やスケジュールの登録内容、画像などのデータを送受信できます。

QoS（Quality of Service）

ネットワークのサービス品質を示します。FOMA端末ではデータの通信速度の条件を指定できます（接続時の速度は通信状況などによって可変します）。

W-TCP

FOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP／IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、TCPパラメータの最適化が必要となります。

パソコンの管理者権限

Windows XP、Windows 2000のシステムすべてにアクセスできる権限のことです。管理者権限を持たないユーザは、通信設定ファイル（ドライバ）やFOMA PC設定ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

お使いになる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠） • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨 • Bluetooth接続で通信する場合 -Bluetooth標準規格Ver. 1.2に準拠し、Dial-up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）対応の機器
OS※1	• Windows XP、Windows 2000（各日本語版）
必要メモリ	• Windows XP：128Mバイト以上※2 • Windows 2000：64Mバイト以上※2
ハードディスク容量	• 5Mバイト以上の空き容量※2

※1：OSをアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。

※2：必要メモリ／ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

データ通信

お使いになる前に

次のページへ続く

お知らせ

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、「動作環境について」で説明している動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- 通信設定ファイル（ドライバ）は「Designed for Windows」のロゴマークを取得していないため、パソコンにインストールする際にWindowsロゴテストに合格していない旨のメッセージが表示される場合があります。その場合は「続行」をクリックし、インストールを続けてください。

必要な機器について

データ通信を利用するためには、FOMA端末とパソコン以外に次の機器、およびソフトウェアが必要です。

- FOMA USB接続ケーブル（別売）※
- FOMA M702iG用CD-ROM（付属品）
- FOMA miniUSB変換アダプタ M01（付属品）※

※：Bluetooth接続の場合は、FOMA USB接続ケーブル、FOMA miniUSB変換アダプタ M01は不要です。

お知らせ

- USB接続の場合は、専用のFOMA USB接続ケーブルをお買い求めください。市販のUSBケーブルは、コネクタの形状が異なるため、使用できません。

データ通信の準備の流れ

パケット通信や64Kデータ通信を利用する場合の準備の流れは次のとおりです。詳細については「データ通信マニュアル」（PDF版）をご覧ください。

USB接続で通信する場合

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末の「USBモード設定」が「通信モード」に設定されていることを確認する

FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続する

インストール後の確認をする

Bluetooth接続で通信する場合

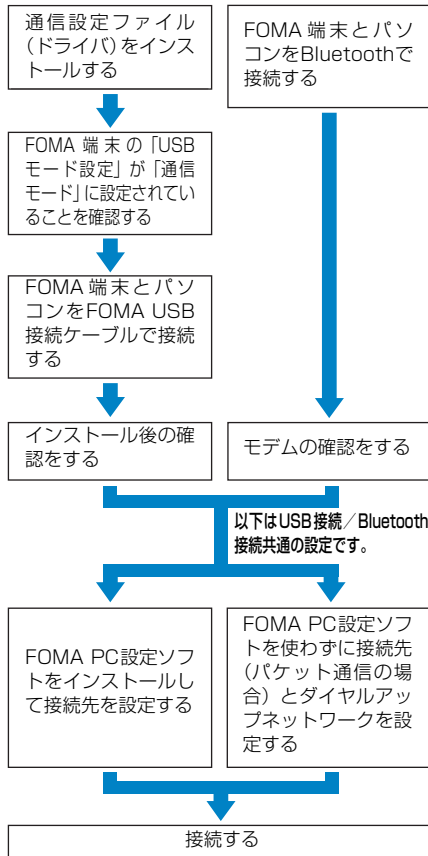
FOMA端末とパソコンをBluetoothで接続する

モデムの確認をする

以下はUSB接続／Bluetooth接続共通の設定です。

FOMA PC設定ソフトをインストールして接続先を設定する

FOMA PC設定ソフトを使わずに接続先（パケット通信の場合）とダイヤルアップネットワークを設定する

接続する

お知らせ

- 「FOMA M702iG用CD-ROM」に収録されているデータ通信用ソフトの「M702iG通信設定ファイル（ドライバ）」や「FOMA PC設定ソフト」は、ドコモのホームページからもダウンロードできます。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/download/

■「FOMA M702iG用CD-ROM」に収録されているデータ通信用ソフト

M702iG通信設定ファイル（ドライバ）

FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続して、通信やファイル転送をするためにパソコンにインストールするファイルです。

FOMA PC設定ソフト

データ通信に必要なダイヤルアップなどの設定を簡単に行うために、パソコンにインストールするソフトウェアです。

ATコマンドについて

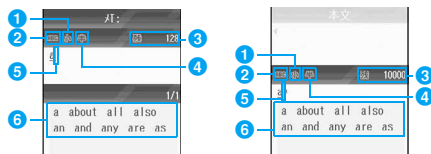
ATコマンドとは、パソコンからFOMA端末の機能設定や状態確認などを行うためのコマンド（命令）です。詳細については、付属のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」（PDF版）をご覧ください。

文字入力

文字入力について

電話帳の登録やメールの作成など、さまざまな状況で文字の入力が必要になりますので、あらかじめ文字の入力方法を覚えてFOMA端末をご活用ください。

文字入力画面

文字入力画面には次の情報が表示されます。

文字入力画面
（例：電話帳登録画面の「メモ」から表示）

文字入力画面
（例：メール本文入力画面から表示）

❶ **大文字／小文字設定**
大：大文字
小：小文字
- 「自動大文字変換」を「OFF」に設定し、入力モードを英字にしている場合のみ表示されます。

❷ **入力モード→P296**
漢：ひらがな入力モード
ア：カタカナ入力モード
ABC：英字入力モード
123：数字入力モード
区：区点コード入力モード

❸ **入力可能文字数／入力可能バイト数**
文字を入力して確定するごとに数字が減っていきます。

❹ **全角／半角設定**
全：全角
半：半角

❺ **カーソル**
文字を入力する位置を示します。入力待ちの状態では点滅表示します。

❻ **変換候補**
入力中の文字から予測される単語などや、入力が確定した文字に続くと予測される単語などが変換候補として表示されます。
- ひらがな入力モードで入力中は「日本語予測」（P299）の「ワード予測」や「つながり予測」を「ON」に、英字入力モードで入力中は「英語入力設定」（P299）の「英語ワード予測」や「英語つながり予測」を「ON」に設定している場合に表示されます。

お知らせ

- 本FOMA端末では、かな入力方式（1つのダイヤルキーに複数の文字が割り当てられ、ダイヤルキーを押すごとに文字が切り替わる方式）のみ利用できます。

入力可能文字数／入力可能バイト数

- 全角／半角に関係なく文字数が決められている文字入力画面の場合は、1文字入力して確定するごとに入力可能文字数が1つ減っていきます。バイト数が決められている文字入力画面の場合は、全角で入力するごとに入力可能バイト数が2つ減り、半角で入力するごとに入力可能バイト数が1つ減ります。

入力モードを切り替える

入力モードを切り替えるには［機能］を押して「入力モード選択」を選択し、利用する入力モードを選択します。
入力モードの種類と入力できる文字の種類は次のとおりです。

入力モード	入力できる文字
ひらがな	ひらがな（変換して漢字、絵文字、顔文字、数字、全角カタカナ、記号の入力が可能）
絵文字	絵文字
顔文字	顔文字
数字	全角／半角数字（一部記号の入力が可能）
英字	全角／半角英字（一部記号の入力が可能）
カタカナ	全角／半角カタカナ（一部記号の入力が可能）
記号	全角／半角記号
区点コード	ひらがな、漢字、全角カタカナ、全角数字、全角英字、記号など

■ 全角／半角設定の切り替え

（1秒以上）押します。
- 入力モードがカタカナ／英字／数字のときに利用できます。
- 文字が確定待ちの場合は操作できません。

■ 大文字／小文字設定の切り替え

アルファベットや「つ」のように大文字／小文字が存在する文字を入力してを押すごとに、大文字と小文字を切り替えます。
- 文字を確定した場合は操作できません。

■ ダイヤルキー以外での主な操作について

：押すごとに入力モードを「ひらがな→カタカナ→英字→数字」の順に切り替えます。文字が確定待ちの場合は、カナ英数変換できます。
：押すごとに絵文字→顔文字→記号の順に一覧画面を表示します。
：改行します。文字が確定待ちの場合は、押すごとに入力した文字を逆順に切り替えます。

文字入力
文字入力について

（1秒以上）
：全角／半角スペースを入力します（入力中の全角／半角設定に従います）。
：入力モードがひらがな／カタカナで文字が確定待ちの場合は、押すごとに「濁点→半濁点」を付加／入力します。確定待ちの文字がひらがなで濁点のみ付加できる場合は、濁点が付加されます。
（1秒以上）：文字をコピーします。→P301
（1秒以上）：文字を貼り付けます。

文字を入力する

予測機能を利用して、入力したい文字の一部を入力して変換候補から目的の単語などを選択する操作を繰り返すことで、すばやく文字入力ができます。

- 各ダイヤルキーで入力できる文字については、「ダイヤルキーの文字割当て一覧」（P330）を参照してください。

漢字／ひらがな／カタカナ（全角）を入力する

<例：スケジュールの件名に「定例会議」を入力する場合>

1 新規スケジュール画面（P261）▶「件名」

文字入力画面が表示されます。

2 「ていれいかいぎ」を入力

「て」：4を4回
「い」：1を2回
「れ」：9を4回
「い」：1を2回
「か」：2を1回
「い」：1を2回
「ぎ」：2を2回▶＊を1回

- 入力した文字から予測される単語などが変換候補に表示されます。
- 一度に変換できる文字数は20文字までです。
- 同じボタンで入力する場合はを押してカーソルを進めてから次の文字を入力します。
- ●を押すと、変換せずにそのまま確定します。
- 入力途中で変換候補に目的の文字が表示された場合は、その時点で操作3へ進んでください。

3 で変換候補にカーソルを移動▶で「定例会議」を選択▶［確定］／●

選択した文字が確定します。

■ 変換候補から続けて文字を入力する場合
を押して文字を選択し、［確定］／●を押します。

■ 変換候補からの選択をキャンセルして文字を入力する場合
そのままダイヤルキーを押して文字を入力するか、［中止］／CLRを押します。

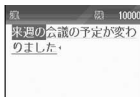
4 変換が終了したら［中止］

変換候補の表示が消えます。

5 入力が終了したら●

お知らせ

- 「ワード予測」や「つながり予測」を「ON」に設定しても、予測候補がない場合は変換候補が表示されないことがあります。
- 学習データ（P302）や使用する辞書により、変換候補に表示される内容は異なります。
- 複雑な漢字は一部を変形もしくは省略しています。

■ 変換の範囲を変更するときは
長い文字列などを入力して変換候補に目的の文字が表示されない場合は、［変換］を押して変換する範囲を指定します。を押して範囲を指定▶を押して変換する文字を選択▶［確定］を押します。さらに変換したい文字がある場合は、この操作を繰り返します。

■「ワード予測」が「OFF」のときに変換するには
文字を入力して［変換］／を押す▶を押して変換リスト画面を表示▶を押して変換する文字を選択▶［確定］を押します。

■ 入力中の文字をカタカナ／英字／数字に変換するには
文字を入力して［カナ英数］を押す▶を押して変換する文字を選択▶［確定］を押します。

文字を修正する

間違えて文字を入力した場合などは、CLRで文字を削除できます。

1 で削除する文字の左側にカーソルを移動▶CLR

カーソルの右側に表示されている文字が削除されます。

- CLR（1秒以上）：カーソルの右側に表示されている文字をすべて削除します。

■ 入力した文字をすべて削除する場合
カーソルを最後の文字の右側に移動してCLR（1秒以上）を押します。

お知らせ

- 直前の操作で削除した文字を元に戻す場合は、［機能］を押して「元に戻す」を選択します。

文字入力画面の機能メニュー

- 文字入力画面を表示したときの機能や、文字の入力状態などにより、表示される項目が異なります。

1 文字入力画面(P296)▶[機能]▶次の操作を行う

コピー
文字をコピーします。→P301

切り取り
文字を切り取ります。→P301

全てコピー
入力したすべての文字をコピーします。→P301

全て切り取り
入力したすべての文字を切り取ります。→P301

貼り付け
コピーした／切り取った文字を貼り付けます。→P301

元に戻す
切り取ったり、貼り付けたりした文字や、CLRを押して削除した文字を元に戻します。

引用

電話帳：電話帳に登録されている電話番号を引用して入力します。
▶電話帳を選択▶●
- 複数の電話番号が登録されている場合は、◀▶を押して引用する電話番号を表示してから●を押します。

個人データ：個人データを引用して自局番号を入力します。
▶［挿入］

定型文
定型文を入力します。→P298

入力モード選択
入力モードを切り替えます。→P296

入力設定
文字入力に関する各種設定を行います。→P299

英語入力機能
「入力設定」の「英語入力設定」の設定を、一括してON／OFFに設定します。
▶「ON」／「OFF」

バーコードリーダー
バーコードリーダーを起動してコードを読み取り、コードの情報を文字入力画面に貼り付けます。
▶画面にコードを表示▶●
- バーコードリーダーを起動中に［点灯］／［消灯］を押すと、フォトライトを点灯／消灯できます。

お知らせ

- メール本文入力画面の機能メニュー→P183
- 数字の入力画面では［機能］を押して「編集機能」を選択すると、文字入力画面の機能メニュー項目を利用できる場合があります。また、機能メニュー項目に「クリア」が表示された場合は、選択すると数字を1桁削除できます。

バーコードリーダー

- 接写切替スイッチを🌷に合わせ、コードからカメラを約10cm離して読み取ってください。

定型文を入力する

FOMA端末に保存されている定型文を利用して入力できます。定型文は8つのフォルダに分かれ、それぞれのフォルダに8件登録されています。

- お買い上げ時は、「ユーザフォルダ1」「ユーザフォルダ2」に定型文は登録されていません。

1 文字入力画面(P296)▶[機能]▶「定型文」
定型文フォルダ一覧画面が表示されます。

2 フォルダを選択▶[選択]▶定型文を選択▶[選択]
入力の確認画面が表示されます。

3 [選択]
定型文が入力されます。

お知らせ

- 定型文は修正／登録できます。→P300
- 定型文一覧→P334

記号を入力する

一覧から記号を選択して入力できます。全角記号の一覧画面は7ページ、半角記号の一覧画面は1ページあります。

1 文字入力画面(P296)▶[機能]▶「入力モード選択」▶「記号」
記号一覧画面が表示されます。
- 全角文字を入力する状態の場合は全角記号の一覧画面、半角文字を入力する状態の場合は半角記号の一覧画面が表示されます。

2 記号を選択▶[確定]
記号が入力されます。

お知らせ

- 文字入力画面で✉を3回押しても、記号一覧画面を表示できます。

- 記号・特殊文字一覧→P331

絵文字／顔文字を入力する

一覧から絵文字／顔文字を選択して入力できます。絵文字一覧画面は、絵文字1が3ページ、絵文字2が2ページあります。

1 **文字入力画面(P296)▶ch[機能]▶「入力モード選択」▶「絵文字」／「顔文字」**
絵文字一覧画面／顔文字一覧画面が表示されます。

2 **絵文字／顔文字を選択▶ch[確定]**
絵文字／顔文字が入力されます。

お知らせ

- 文字入力画面で✉を1回または2回押しても、絵文字一覧画面／顔文字一覧画面を表示できます。
- 絵文字一覧／顔文字一覧→P333

入力設定

文字の入力設定をする

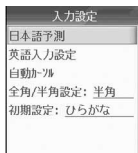
文字入力に関する各種設定を行います。

日本語の予測機能を設定する

お買い上げ時	ワード予測：ON　つながり予測：ON

日本語の入力時にワード予測機能やつながり予測機能を利用するかどうかを設定できます。

1 **文字入力画面(P296)▶ch[機能]▶「入力設定」**

入力設定
日本語予測
英語入力設定
自動カーソル
全角/半角設定：半角
初期設定：ひらがな

入力設定画面

2 **「日本語予測」▶次の操作を行う**

ワード予測
入力中の文字から予測される単語などを変換候補に表示するかどうかを設定します。
▶「ON」／「OFF」

つながり予測
「ワード予測」を「ON」に設定している場合に、確定した文字に続くと予測される単語などを変換候補に表示するかどうかを設定します。
▶「ON」／「OFF」

英語の入力方法と予測機能を設定する

お買い上げ時	自動スペース挿入：ON 自動大文字変換：ON 英語ワード予測：ON 英語つながり予測：ON

英字の確定後にスペースを挿入させたり、先頭のアルファベットを大文字に変換させたりするように設定できます。また、英字の入力時にワード予測機能やつながり予測機能を利用するかどうかを設定できます。

1 **入力設定画面(P299)▶「英語入力設定」▶次の操作を行う**

自動スペース挿入
「英語ワード予測」を「ON」に設定している場合に、入力した英字を確定したときに自動的にスペースを挿入するかどうかを設定します。
▶「ON」／「OFF」

自動大文字変換
最初に入力したアルファベットや、ピリオドを入力した後に入力したアルファベットを、自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。
▶「ON」／「OFF」

英語ワード予測
入力中のアルファベットから予測される単語などを変換候補に表示するかどうかを設定します。
▶「ON」／「OFF」

英語つながり予測
「英語ワード予測」を「ON」に設定している場合に、確定した英字に続くと予測される単語などを変換候補に表示するかどうかを設定します。
▶「ON」／「OFF」

文字を自動で確定するように設定する

お買い上げ時	かな／カナ：OFF　英字：普通

ひらがな入力モードやカタカナ入力モード、英字入力モードで文字を入力したとき、自動で文字を確定させるように設定できます。

1 **入力設定画面(P299)▶「自動カーソル」▶「かな／カナ」／「英字」▶次の操作を行う**

OFF
自動で文字を確定しません。

速い
入力して約1秒後に文字が確定します。

次のページへ続く

普通
入力して約1.5秒後に文字が確定します。

遅い
入力して約2秒後に文字が確定します。

全角／半角を設定する

お買い上げ時	半角

入力モードがカタカナ、英字、または数字のとき、文字の全角／半角を切り替えます。

1 入力設定画面(P299)▶「全角／半角設定」▶「半角」／「全角」

お知らせ

- 文字入力画面で[A/a]（1秒以上）を押しても、全角／半角を切り替えられます。

文字の入力モードを設定する

お買い上げ時	ひらがな

文字入力画面を表示したときの入力モードを、ひらがな、英字、カタカナから選択して設定できます。

1 入力設定画面(P299)▶「初期設定」▶「ひらがな」／「英字」／「カタカナ」

お知らせ

- ひらがな入力モードを利用できる文字入力画面を表示したときのみ有効です。
- 本設定は、文字入力画面を表示した機能ごとに設定されます。例えば、メール本文入力画面で本設定を変更した場合は、メール機能から表示した文字入力画面に反映されます。

定型文編集

定型文を修正／登録する

頻繁に使用するあいさつやフレーズなどを定型文に登録すると、文字の入力時に呼び出してすばやく入力できます。

定型文を登録する

新しく登録する定型文は、「ユーザフォルダ1」／「ユーザフォルダ2」に保存できます。それぞれのフォルダには、定型文を8件まで登録できます。

1 ●▶ (設定)▶「一般設定」▶「文字入力」▶「定型文編集」

定型文フォルダ一覧画面

2 「ユーザフォルダ1」／「ユーザフォルダ2」▶「[新規登録]」

定型文編集画面

3 定型文を入力

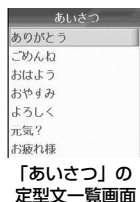
定型文が登録されます。

- 全角／半角を問わず、64文字まで入力できます。

お買い上げ時の定型文を修正する

ユーザフォルダに自作の定型文を登録した場合は、自作の定型文も修正できます。

1 ●▶ (設定)▶「一般設定」▶「文字入力」▶「定型文編集」▶フォルダを選択▶[ch][選択]

「あいさつ」の定型文一覧画面

2 定型文を選択▶●

選択した定型文が入力された定型文編集画面が表示されます。

3 定型文を修正

定型文が登録されます。

- 全角／半角を問わず、64文字まで入力できます。

定型文一覧画面の機能メニュー

1 定型文一覧画面(P300)▶[ch][機能]▶次の操作を行う

編集
選択中の定型文を修正します。「お買い上げ時の定型文を修正する」の操作3（P300）へ進みます。

1件削除
登録した定型文を削除します。
▶ch［はい］

初期設定にリセット
定型文をお買い上げ時の状態に戻します。
▶ch［はい］

新規
「定型文を登録する」の操作3（P300）へ進みます。

文字のコピー／切り取りと貼り付け

文字をコピー／切り取りして、他の位置や画面に貼り付けられます。コピー／切り取りした文字は、電源を切るか新たに文字をコピー／切り取りするまで何度でも貼り付けができます。

文字をコピーする／切り取る

入力されている文字の範囲を指定してコピー／切り取りができます。また、入力されているすべての文字のコピー／切り取りもできます。

- コピー／切り取りできる文字数は、全角／半角を問わず、10000文字までです。

1 文字入力画面（P296）▶ch［機能］▶「コピー」／「切り取り」

■ **入力されているすべての文字をコピー／切り取りをする場合**
「全てコピー」／「全て切り取り」を選択します。画面内の入力したすべての文字がコピー／切り取りされ、操作が終了します。

2 ◎でコピー／切り取りをする文字の先頭にカーソルを移動▶ch［始点］

3 ◎でコピー／切り取りをする文字の最後にカーソルを移動▶ch［終点］

選択した範囲の文字が保存されます。
- 切り取りを行った場合は、選択した範囲の文字が消えます。

お知らせ

- 文字入力画面で＊（1 秒以上）を押しても、コピーの操作ができます。操作2、3と同様に、文字の始点と終点を選択してコピーします。
- 切り取った文字を元に戻す場合は、ch［機能］を押して「元に戻す」を選択します。

文字を貼り付ける

コピー／切り取りで保存した文字を貼り付けます。

1 文字入力画面（P296）▶◎で貼り付ける位置にカーソルを移動

2 ch［機能］▶「貼り付け」

お知らせ

- 文字入力画面で#（1秒以上）を押しても、貼り付けの操作ができます。
- 貼り付けた文字を元に戻す場合は、ch［機能］を押して「元に戻す」を選択します。
- コピー／切り取りした文字列に入力できない文字が含まれている場合は、貼り付けできません。
- 入力可能文字数を超える場合は、入力できる分だけ貼り付けられます。

区点コード入力

区点コードで入力する

4桁の区点コードを入力してひらがなや漢字、全角カタカナ、全角数字、全角英字、記号などを入力できます。

- 4桁の区点コードについては、「区点コード一覧」（P336）を参照してください。

1 文字入力画面（P296）▶ch［機能］▶「入力モード選択」▶「区点コード」

区点コード入力画面

2 区点コードを入力

対応する文字が入力されます。
- 続けて区点コードを入力する場合は、操作1～2を繰り返します。

ユーザ辞書

よく使う単語を登録する

頻繁に使用する単語などをユーザ辞書に登録すると、文字の変換時に変換候補として表示され、すばやく入力できます。ユーザ辞書には、単語を200件まで登録できます。

1 ●▶ (設定)▶「一般設定」▶「文字入力」▶「ユーザ辞書」

■登録した単語を確認する場合
単語を選択して●を押します。ユーザ辞書詳細画面が表示され、単語と読みを確認できます。

ユーザ辞書画面

2 「[新規登録]」

3 単語を入力

- 全角/半角を問わず、16文字まで入力できます。

4 読み(ひらがな)を入力

単語が登録されます。

- 全角で16文字まで入力できます。

お知らせ

- 単語や読みにスペースを入力して登録すると、スペースは自動的に削除されます。

ユーザ辞書画面/ユーザ辞書詳細画面の機能メニュー

1 ユーザ辞書画面(P302)/ユーザ辞書詳細画面▶ [機能]▶次の操作を行う

新規登録
「よく使う単語を登録する」の操作3(P302)へ進みます。

編集
登録済みの単語を修正します。「よく使う単語を登録する」の操作3(P302)へ進みます。

1件削除
▶ [はい]

全件削除
▶ [はい]

学習データリセット

学習データを初期状態に戻す

FOMA端末に記録されている学習データをリセットして、お買い上げ時の状態に戻します。

1 ●▶ (設定)▶「一般設定」▶「文字入力」▶「学習データリセット」▶ [はい]/ [いいえ]

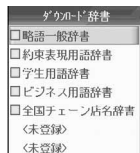
■学習データとは
変換候補から選択して入力した内容や、入力した文字を変換せずに●を押して確定した内容などの履歴を記録したデータです。次回に同じ内容の先頭文字を入力すると、変換候補の最初に表示されるようになります。

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

iモードのサイトなどからダウンロードした辞書を有効にして、文字の変換時に使用するように設定できます。有効に設定できる辞書は5件までです。

- FOMA端末に保存できる辞書は最大10件です。
- 複数の辞書を有効に設定している場合は、変換時に使用する辞書の優先順位を設定できます。→P303

1 ●▶ (設定)▶「一般設定」▶「文字入力」▶「ダウンロード辞書」

ダウンロード辞書画面

2 有効にする辞書にチェックを付ける

辞書が有効になります。

■辞書を無効にする場合
有効な辞書を選択して●を押します。

■辞書のダウンロードについて
下記メーカーサイトからダウンロードして利用できます。
http://motomobile.jp/

ダウンロード辞書画面の機能メニュー

1 **ダウンロード辞書画面(P302)▶ [機能]▶次の操作を行う**

タイトル編集
辞書のタイトルを修正します。全角／半角を問わず、10文字まで入力できます。
▶タイトルを修正▶●

辞書情報
辞書の詳細情報を確認します。

優先順位変更
有効に設定した辞書が2件以上ある場合に、辞書の優先順位を設定します。
▶辞書を選択▶ [移動]▶で辞書を移動▶ [挿入]▶ [完了]

1件削除
選択中の辞書を削除します。
▶ [はい]

全件削除
すべての辞書を削除します。
▶ [はい]

文字入力
ダウンロード辞書

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、提携する海外の通信事業者のネットワークを利用して、国内で使用している電話番号のまま海外でも通話や通信ができるサービスです。
国際ローミング中に利用できるサービスについて詳しくは『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。また、ドコモの『国際サービスホームページ』では、国際サービスに関する最新の情報が見られるほか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』の最新版をダウンロードできます。

ドコモの『国際サービスホームページ』URL
http://www.nttdocomo.co.jp/service/world/

WORLD WINGのお申し込み

2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約の方は、お申し込み手続きなしでご利用いただけます。

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。

海外で利用できるサービスについて

接続している海外の通信事業者やネットワークによって、利用できる通信サービスが異なります。国際ローミング中に利用できる通信サービスについて詳しくは『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』または、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。→P306

利用できる通信サービス

サービス	説　明
音声電話	日本国内で利用している電話番号のまま、滞在国内での発着信や、滞在国以外への国際電話の発着信ができます。
テレビ電話	海外の特定3G携帯通信事業者ユーザや、日本国内のFOMAユーザとテレビ電話ができます。
iモード	iモードを利用して、日本や滞在国の情報などを入手できます。
iモードメール	日本国内で利用しているメールアドレスのまま、iモードメールの送受信ができます。
iチャネル※1	日本国内と同様に定期的に情報が受信できます。※2 iチャネル対応キーを押してチャネル一覧を表示し、詳細情報の取得もできます。※3
SMS	日本国内のFOMAユーザや、ドコモ以外の海外通信事業者ユーザとSMSの送受信ができます。
データ通信	パソコンなどと接続して、海外でもデータ通信（パケット／64Kデータ通信）が利用できます。

※1：通信事業者や地域によっては利用できない場合があります。
※2：自動更新は海外の通信事業者に接続されたとき、自動的に一時停止されます。海外でiチャネルの自動更新を再開するには、再度iチャネル設定を行う必要があります。ただし、月額料金のほかにパケット通信料が課金されます。
※3：「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新についてもパケット通信料が課金されます。

ネットワークによる通信サービスの違いについて

海外でご利用になるには、ネットワーク設定と通信事業者の設定が必要です。→P313、P314

サービス	3G	GSM	GPRS
	3G	2G	2.5
音声電話	○	○	○
テレビ電話	○	×※	×※
iモード	○	×	○
iモードメール	○	×	○
SMS	○	○	○
iチャネル	○	×	○
データ通信	○	×	○

○：利用できます。
×：利用できません。
※：発信した場合は再発信の確認画面が表示され、「音声で再発信」を選択すると音声電話でかけ直します。

■ 海外のネットワークについて

ネットワーク	説　明
W-CDMA（3G）	世界標準規格である3GPP※1に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。
GSM※2	世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動通信ネットワークです。

ネットワーク	説　明
GPRS※3	GSM通信方式を利用して高速パケット通信が可能な第2.5世代移動通信ネットワークです。

※1：3rd Generation Partnership Projectの略です。第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
※2：Global System for Mobile Communicationsの略です。ヨーロッパで統一された携帯電話機の標準規格の1つです。
※3：General Packet Radio Serviceの略です。ヨーロッパなどを中心に普及しているパケット通信サービスです。

海外でご利用になる前の確認

STEP1：出発前の準備について
STEP2：滞在先での利用について
STEP3：帰国後の設定について

出発前の準備について

■ ご契約について

WORLD WING（P306）をお申し込みいただいていない場合は、お申し込みが必要です。

- WORLD WINGを契約したFOMAカードをFOMA端末に取り付けてください。

■ 滞在先の国・地域の通信サービスなどについて

利用が可能な国・地域および通信事業者などの情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。→P306

■ 充電について

海外で充電する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）をご利用ください。また、滞在先の国・地域でコンセントの形状が異なる場合は、家電量販店や海外旅行用品取扱店などで適合した変換プラグアダプタをご用意ください。

- 海外旅行用の変圧器を使用して充電しないでください。
- ACアダプタの取り扱いについてのご注意→P44
- 充電のしかた→P45

■ ｉモードの利用について

あらかじめ「海外利用設定」を設定する必要があります。海外利用設定は、「i Menu」から「料金＆お申込・設定」→「オプション設定」→「海外利用設定」の順で選択すると設定画面を表示できます。

■ ネットワークサービスの設定について

ご契約いただいているネットワークサービスの設定／解除などの操作を海外から行うことができます。次のネットワークサービスの操作が可能です。

- 発信者番号通知サービス※1※2
- 留守番電話サービス※1 ※3
- 転送でんわサービス※1 ※3
- 番号通知お願いサービス※1
- キャッチホン※1
- 英語ガイダンスサービス※1
- 迷惑電話ストップサービス※1
- ローミングガイダンス設定※1
- ローミング時着信規制

※1：一部のサービスエリアでは設定できない場合があります。
※2：発信者番号が正しく通知できなかったり、されない場合があります。
※3：海外から操作を行う場合は、あらかじめ日本国内で遠隔操作（P285）を設定してください。

■ 海外で便利な機能やサービスについて

機能／サービス	説　明
ローミングガイダンス（海外）	国際ローミング中であることを相手に音声ガイダンスでお知らせします。
ローミング時着信規制	国際ローミング中の着信を拒否します。
電卓	為替レートを設定して通貨換算ができます。
ワールドクロック	3つの国・地域の日付と時刻を同時に確認できます。
電子辞書	英和辞典、和英辞典を利用して単語などを確認できます。

■ 本書と合わせて読んでいただきたい冊子について

冊子名	説　明
ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）	ｉモードやｉモードメールの海外での操作方法、利用料金などを説明しています。
ご利用ガイドブック（国際サービス編）	サービス内容や利用料金、注意事項など、国際ローミングサービスの詳細を説明しています。
ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）	各ネットワークサービスのサービス内容や設定方法、注意事項などを説明しています。

■ ご利用料金の請求について

海外でのご利用料金は毎月の利用料金と合わせて請求させていただきます。ただし、渡航先通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象の期間の利用であっても、同一月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

- 本書には、操作の参照に便利なクイックマニュアル「海外利用」を記載しています。海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。

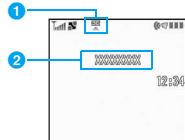
滞在先での利用について

■ ネットワークの切り替えについて

お買い上げ時の設定では、「ネットワーク接続モード」が「オート」に設定されております。日本国内、または3Gエリアネットワーク利用可能エリア内においては、電池消費を減らすために、「ネットワーク切替」を「3G」に設定することを推奨します。→P313

- ネットワークを手動で切り替えるには→P313

■ ディスプレイの表示について

接続中のネットワークを示すアイコンが表示され、利用できる通信サービス（P306）を確認できます。また、ディスプレイには接続中の事業者名も表示されます。

❶ **接続中のネットワークを示すアイコン**

3G：国内のFOMAネットワークに接続中

3G：海外の3Gネットワークに接続中

2G：海外のGSMネットワークに接続中

2.5：海外のGPRSネットワークに接続中

❷ **接続中の事業者名**

■ スケジュール／ToDoの登録内容について

「時計設定」の「自動時刻補正」を「ON（時差補正あり）」に設定している場合、海外で時刻が補正されると、登録済みのスケジュール／ToDoの時刻が自動的に補正されます。海外で利用するスケジュール／ToDoを日本国内で登録した場合は、滞在先の時刻に補正された後、滞在先の時間に合わせて登録済みのスケジュール／ToDoを修正してください。

海外での紛失や盗難などについて

〈DoCoMo インフォメーションセンター〉（24時間受付）

■ **ユニバーサルナンバー**

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1）
−800−0120−0151

※ 携帯電話でかけた場合は、滞在国内通話料がかかります。

※ 携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

■ **上記ユニバーサルナンバーが利用できない場合**

滞在国の国際電話アクセス番号（表2）
−81−3−5366−3114

※ 日本向け通話料がかかります。

海外での紛失や盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

故障について

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

■ **ユニバーサルナンバー**

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1）
−800−5931−8600

※ 携帯電話でかけた場合は、滞在国内通話料がかかります。

※ 携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

■ **上記ユニバーサルナンバーが利用できない場合**

滞在国の国際電話アクセス番号（表2）
−81−3−6718−1414

※ 日本向け通話料がかかります。

■ **ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表1）**

ご利用地域	番号
アイルランド	00
アメリカ合衆国	011
アルゼンチン	00
イギリス	00
イスラエル	014
イタリア	00
オーストラリア	0011
オーストリア	00
オランダ	00
カナダ	011
韓国	001
コロンビア	009
シンガポール	001
スイス	00
スウェーデン	00
スペイン	00

ご利用地域	番号
タイ	001
台湾	00
中国	00
デンマーク	00
ドイツ	00
ニュージーランド	00
ノルウェー	00
フィリピン	00
フィンランド	990
フランス	00
ブラジル	0021
ベルギー	00
香港	001
マレーシア	00
ルクセンブルク	00

※ 番号は変更になる場合があります。

※ この他の国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
→P306

■ 主要国の国際電話アクセス番号（表2）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	トルコ	00
アメリカ合衆国	011	ニュージーランド	00
アラブ首長国連邦	00	ノルウェー	00
イギリス	00	ハンガリー	00
イタリア	00	フィリピン	00
インド	00	フィンランド	00
インドネシア	001		990
オーストラリア	0011	フランス	00
オランダ	00	ブラジル	0041
カナダ	011		0021
韓国	001		0023
ギリシャ	00	ベトナム	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポーランド	00
スウェーデン	00	ポルトガル	00
スペイン	00	香港	001
タイ	001	マカオ	00
台湾	002	マレーシア	00
チェコ	00	モナコ	00
中国	00	ルクセンブルク	00
デンマーク	00	ロシア	810
ドイツ	00		

※ 番号は変更になる場合があります。
※ この他の国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。→P306

帰国後の設定について

お買い上げ時の設定では、帰国後に自動的にFOMAネットワークに接続され、画面上部に が表示されます。

- FOMAネットワークに切り替わらない場合は、「ネットワーク設定」の「ネットワーク切替」が「自動」、「ネットワーク接続モード」が「オート」に設定されているか確認してください。

滞在先で電話をかける

テレビ電話をかける相手とお客様が、FOMAのテレビ電話に対応した通信事業者を利用している場合は国際テレビ電話も利用できます。

- 接続可能な国·地域および通信事業者などの詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。→P306
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA 端末に表示される相手側の画像が乱れる場合や、接続できない場合がございます。

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

相手の電話番号の先頭に「+」と国番号を入力して電話をかけます。

- 「+」は を1秒以上押して入力できます。
- 日本の国番号は「81」です

1 （1秒以上）▶「国番号－地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力

- 地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部の国・地域は「0」が必要な場合があります）。
- 日本の携帯電話・PHSにかける場合も、同様に先頭の「0」を除いて入力してください。
- 国番号→P310

2 ／

■ **テレビ電話をかける場合**
を押します。

滞在国から日本へ簡単に電話をかける

「0」から始まる電話番号が記録／登録された発着信履歴や電話帳を利用して電話をかけると「0」の代わりに「+国番号（+81）」が自動的に付加されて簡単に日本へ電話をかけられます。

- お買い上げ時は、「+81」（日本の国番号）が自動的に付加されるように設定されています。→P311

1 利用する履歴／電話帳を表示

■ **発信履歴を利用する場合**
発信履歴一覧画面（P54）／発信履歴詳細画面（P55）を表示します。

■ **着信履歴を利用する場合**
着信履歴一覧画面（P65）／着信履歴詳細画面（P66）を表示します。

■ **電話帳を利用する場合**
電話帳一覧画面（P102）／電話帳詳細画面（P102）を表示します。

2 履歴／電話帳を選択▶ ／

■ **電話帳一覧画面の電話帳に複数の電話番号が登録されている場合**
を押して電話をかける電話番号を表示し、／を押します。

■ **電話帳詳細画面の電話帳に複数の電話番号が登録されている場合**
を押して電話をかける電話番号を表示し、／を押します。

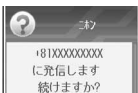
次のページへ続く

3 [key]／●

- 発信確認画面には、「＋国番号」の付加された電話番号が表示されます。

発信確認画面

■ テレビ電話をかける場合
[key]を押します。

4 [key][発信]

- [key]［元番号発信］:「0」を「＋国番号」に変換しないで電話をかけます。

お知らせ

- FOMAネットワークのサービスエリア外（国際ローミング中）でのみ利用できます。
- 次の場合、「0」は「＋国番号」に変換されません。
  - ダイヤルキーで「0」から始まる電話番号を直接入力する
  - 電話番号の先頭に「＋」が入力されている

登録されている国番号を選択して滞在国外（日本を含む）に電話をかける

機能メニューから、国番号を選択して入力した電話番号に付加できます。

1 **「地域番号（市外局番）－相手の電話番号」を入力**

2 [key][機能]▶「国番号追加」

国番号画面が表示されます。

3 **国番号を選択▶**[key][選択]

入力した電話番号の先頭に「＋国番号」が追加されます。

- 入力した電話番号の先頭が「0」の場合は、「0」を除いて「＋国番号」が追加されます。

4 [key]／●

■ テレビ電話をかける場合
[key]を押します。

お知らせ

- お買い上げ時の国番号には、55カ国の国番号が登録されています。国番号は追加できます。→P311
- 国番号画面で[0]～[9]を押すごとに、ダイヤルキーの割り当て文字から始まる名前（先頭の文字が半角カタカナ、半角数字のみ）の国番号を検索できます。例えば、「ス」から始まる名前の国番号は、[3]を3回押します。また、「バイリンガル」を「English」に設定している場合は、[1]～[9]を押すごとに、ダイヤルキーの割り当て文字から始まる名前（先頭の文字が半角英字、半角数字、半角記号のみ）の国番号を検索できます。例えば、「J」から始まる名前の国番号は、[5]を1回押します。

■ 主要国の国番号

ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1
イギリス	44
イタリア	39
インド	91
インドネシア	62
エジプト	20
オーストラリア	61
オーストリア	43
オランダ	31
カナダ	1
韓国	82
ギリシャ	30
シンガポール	65
スイス	41
スウェーデン	46
スペイン	34
タイ	66
台湾	886
タヒチ	689
チェコ	420

ご利用地域	番号
中国	86
ドイツ	49
トルコ	90
日本	81
ニューカレドニア	687
ニュージーランド	64
ノルウェー	47
ハンガリー	36
フィジー	679
フィリピン	63
フィンランド	358
フランス	33
ブラジル	55
ベトナム	84
ペルー	51
ベルギー	32
香港	852
マカオ	853
マレーシア	60
モルディブ	960
ロシア	7

※ 番号は変更になる場合があります。
※ この他の国番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。→P306

滞在国内に電話をかける

相手の電話番号を地域番号（市外局番）から入力して電話をかけます。

- 電話をかける相手も国際ローミング中の場合は、同じ国・地域でも「滞在国外（日本を含む）に電話をかける」と同じ方法で電話をかけてください。
- 「国番号」の「自動付加設定」で「自動付加」を「ON」に設定している場合、地域番号（市外局番）の先頭が「0」から始まる電話番号に電話帳または発着信履歴から電話をかけると発信確認画面（P310）が表示されます。その場合は[key]［元番号発信］を押して電話をかけてください。

テレビ電話をかける相手とお客様が、FOMAのテレビ電話に対応した通信事業者を利用している場合は、国際電話のダイヤル方法の後に[テレビ電話]を押して発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

簡単な操作で電話をかけられるようにする

国番号の自動付加を設定する

お買い上げ時	自動付加：ON　国番号：ニホン（81）

国際ローミング中に「0」から始まる電話番号を入力して電話をかけたとき、「0」の代わりに「+国番号」を自動的に付加するかどうかを設定します。また、自動で付加する国番号を指定できます。

1 ●▶(設定)▶「通話設定」▶「国際ダイヤル設定」▶「国番号」▶「自動付加設定」▶次の操作を行う

自動付加
▶「ON」／「OFF」

国番号
▶国番号を選択▶[ch][選択]

国番号を登録する

お買い上げ時	55ヶ国の国番号が登録済み

国番号は60件まで登録できます。お買い上げ時に登録されている国番号を修正することもできます。

1 ●▶(設定)▶「通話設定」▶「国際ダイヤル設定」▶「国番号」▶「国番号リスト」

国番号リスト	
アイルランド	353
アメリカ	1
アラブ	971
アルゼンチン	54
イギリス	44
イスラエル	972
イタリア	39

国番号リスト画面

2 「[新規登録]」▶次の操作を行う

名前
国番号の名前を登録します。全角／半角を問わず、16文字まで入力できます。
▶名前を入力

国番号
4桁まで登録できます。
▶国番号を入力

3 [ch][完了]

お知らせ

国番号
- 国番号入力画面で[ch][機能]を押して次の操作ができます。
  - 「挿入」▶「指定番号自動追加」／「指定番号手動追加」／「未定番号手動追加」の順に選択すると、入力した国番号の後ろに「p」／「w」／「n」を入力できます。→P57
  - 「編集機能」を選択すると、文字編集の機能を利用できます。→P298
  - 「登録中止」を選択すると、登録を中止します。
- 国番号リスト画面で[0]～[9]を押すごとに、ダイヤルキーの割り当て文字から始まる名前（先頭の文字が半角カタカナ、半角数字のみ）の国番号を検索できます。例えば、「ス」から始まる名前の国番号は、[3]を3回押します。また、「バイリンガル」を「English」に設定している場合は、[1]～[9]を押すごとに、ダイヤルキーの割り当て文字から始まる名前（先頭の文字が半角英字、半角数字、半角記号のみ）の国番号を検索できます。例えば、「J」から始まる名前の国番号は、[5]を1回押します。

国番号リスト画面の機能メニュー

1 国番号リスト画面(P311)▶[ch][機能]▶次の操作を行う

編集
選択中の国番号を修正します。「国番号を登録する」の操作2（P311）へ進みます。

削除
選択中の国番号を削除します。

新規
「国番号を登録する」の操作2（P311）へ進みます。

お知らせ

編集
- お買い上げ時に登録されている国番号も修正できます。

削除
- 「自動付加設定」の「国番号」に設定されている国番号は削除できません。

滞在先で電話を受ける

1 **電話がかかってくる**

着信音が鳴ります。

着信中画面

- ▲／▼：着信音や振動を停止します。
- PWR/HLD：応答を保留します。
→P67

2 **[応答]**

電話に出ます。

■ **カメラ画像でテレビ電話を受ける場合**
／を押します。

■ **代替画像でテレビ電話を受ける場合**
［代替画像］を押します。

3 **通話が終了したら**

- 音声電話の場合は、・を1秒以上押しても通話を終了できます。

お知らせ

- 国・地域により、着信でも通話料がかかる場合があります。その場合の着信料は、国際転送料と着信料の合算になります。
- 利用する通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合や、異なる発信者番号が通知される場合があります。
- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、日本から国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には国際転送料がかかります。
- 公共モード（ドライブモード）が設定されている場合は、着信音の鳴動やイルミネーションランプの点滅などの着信動作は行われません。また、ディスプレイの表示が消えているときに電話がかかってきても、ディスプレイのバックライトは点灯しません。

■ **日本からお客様のFOMA端末に電話をかけてもらうには**

日本国内と同様に、お客様の電話番号に電話をかけてもらいます。

■ **日本以外の国からお客様のFOMA端末に電話をかけてもらうには**

お客様の滞在先に関わらず、日本経由で電話がかかってきます。海外から日本に国際電話をかけるのと同様で、次のように番号を入力してかけてもらいます。

「発信国の国際アクセス番号※1 - 81※2 - 先頭の「0」を除いたお客様の電話番号※3」を入力して電話をかける

※1：発信相手が携帯電話のときは、国際アクセス番号の代わりに「+」を入力して発信できる場合もあります。

※2：日本の国番号を入力します。

※3：「090」で始まる場合は「90-XXXX-XXXX」、「080」で始まる場合は「80-XXXX-XXXX」を入力します。

不通の際の対処とご注意

発着信できない／圏外のまま／電源が入らない

発着信ができない、電波の受信レベルが圏外のままになる、電源が入らないなどの場合、次の事態が想定されます。

- 電波の弱い場合または利用エリア外
- 現地交換機または基地局の故障、または一時的な回線の混雑
- FOMA端末の操作ミス
- その他

最新のエリアや不通情報などについては、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
→P306

また、操作方法をご確認の上、次のことをお試しください。

- 屋内の場合、屋外に出ても同じかご確認ください。
- お客様の月間利用額がご利用限度額を超えていないかご確認ください。
- 電源を入れ直してください。
- 接続する通信事業者を手動で選択してください。
→P313

上記をご確認いただいても症状が回復しない場合は、取扱説明書裏面のネットワークテクニカルオペレーションセンターへご連絡ください。

利用限度額（利用停止目安）について

- WORLD WINGは利用限度額が設定されています。お客様の月間利用額が利用限度額を超えたことを当社が確認したときは、当該月の末日まで本サービスのご利用を停止させていただきます。
- ご利用累積額は無料通信分適用前の金額となります。
- 利用限度額には、海外ローミング時に使用した通話・通信料および着信料、テレビ電話などのデジタル通信料および着信料、パケット通信料、SMS通信料が含まれます。ただし、国際転送料および渡航先事業者より料金データが当社に到着していないご利用料金は含まれていないため、ご請求額が利用限度額を上回ることがありますが、その場合でも、停止前までにご利用された本サービスの月間利用額をお支払いいただきます。
- 月間利用額のお支払いが確認できたときには、WORLD WINGの利用停止を解除します（お支払い後、利用停止の解除までお時間をいただく場合があります）。海外からは、クレジットカード決済（1回払いのみ）によりお支払いいただけます。
- 詳しくは、取扱説明書裏面のDoCoMoインフォメーションセンターにお問い合わせください。

ネットワーク設定

ネットワークの検索・設定方法を設定する

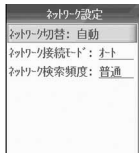
お買い上げ時	ネットワーク切替：自動 ネットワーク接続モード：オート ネットワーク検索頻度：普通

FOMA端末がネットワークを検索・設定するときの動作を設定できます。検索するネットワークの通信方式を指定したり、検出したネットワークの設定を自動／手動のどちらで行うかを設定したりできます。また、ネットワークの検索を行う頻度を設定できます。

- お買い上げ時の設定では、「ネットワーク接続モード」が「オート」に設定されております。日本国内、または3Gエリアネットワーク利用可能エリア内においては、電池消費を減らすために、「ネットワーク切替」を「3G」に設定することを推奨します。

1 ●▶(設定)▶「ネットワーク」

ネットワーク
ネットワーク検索
ネットワーク設定
利用可能ネットワーク
優先ネットワークリスト
圏内通知音：OFF

ネットワーク画面

2 「ネットワーク設定」

ネットワーク設定画面

3 次の操作を行う

ネットワーク切替

検索するネットワークを指定します。

- ご利用になる国の通信方式をご確認の上設定してください。→P306

自動	：通信方式に関係なく、利用できるすべてのネットワークを検出します。
GSM 1900	：周波数帯域が1900MHzのGSMネットワークのみ検索します。
GSM 900／1800	：周波数帯域が900／1800MHzのGSMネットワークのみ検索します。
3G	：3Gネットワークのみ検索します。

ネットワーク接続モード

「ネットワーク検索」を実行したとき、検出されたネットワークの設定方法を設定します。

オート　：検出したネットワークを自動で設定します。
マニュアル：検出したネットワークを手動で設定します。

ネットワーク検索頻度

▶検索頻度を選択▶ch［選択］

4 ch［完了］

ネットワークの検索が開始され、検出されたネットワークが設定されます。

■「ネットワーク接続モード」を「マニュアル」に設定した場合

マニュアルリスト画面でネットワークを選択してch［登録］を押します。

お知らせ

- 帰国後にネットワークの状態を示すアイコンが圏外のままの場合は、「ネットワーク切替」を「自動」または「3G」、「ネットワーク接続モード」を「オート」に設定してください。
- 「ネットワーク接続モード」が「マニュアル」に設定されている場合でも、電波の状態やネットワークの検出状態によっては、マニュアルリスト画面が表示されない場合があります。

接続先のネットワークを再検索する

ネットワークの自動検索・設定が適切に行われない場合や、他の通信事業者のネットワークを利用したい場合などに、ネットワークを再検索して切り替えられます。

1 ネットワーク画面(P313)▶「ネットワーク検索」

ネットワークの検索が開始されます。

- 「ネットワーク設定」の「ネットワーク接続モード」を「オート」に設定している場合は、ネットワークが検出されると自動的に設定されます。
- 「ネットワーク設定」の「ネットワーク接続モード」を「マニュアル」に設定している場合は、ネットワークが検出されるとマニュアルリスト画面が表示されます。操作2へ進みます。

2 ネットワークを選択▶ch［登録］

選択したネットワークが設定されます。

■ネットワークコードを確認する場合

ネットワークを選択して●を押します。ネットワークコード表示画面で●を押すと、そのネットワークが設定されます。

お知らせ

- 利用したいネットワークに切り替わらない場合は、「ネットワーク設定」の「ネットワーク接続モード」を「マニュアル」に設定し直してから再度ネットワークを検索し、手動で目的のネットワークを選択してください。
- ネットワークコード表示画面でch［機能］を押して「全てコピー」を選択すると、ネットワークコード表示画面のすべての文字情報をコピーできます。

優先ネットワークリスト

優先的に接続する通信事業者を設定する

FOMA端末がネットワークを検索するとき、優先して検索・設定するネットワークを20件まで登録できます。

1 ●▶ (設定)▶「ネットワーク」▶「優先ネットワークリスト」

優先ネットワークリスト画面が表示されます。

- 優先度の高いネットワークがリストの上部に表示されます。

■ **ネットワークの詳細を確認する場合**
ネットワークを選択して●を押します。ネットワーク詳細画面が表示され、ネットワークコードと優先度を確認できます。

2 「[優先ネットワーク登録]」

ネットワークID画面が表示されます。

■ **優先度を指定してネットワークを登録する場合**
追加する位置のネットワークを選択し、[機能]を押して「挿入」を選択します。

3 ネットワークコードを入力

登録したネットワークがリストの一番下に追加されます。

- 優先度を指定してネットワークを登録した場合は、選択したネットワークの上に登録したネットワークが追加されます。

お知らせ

- 電波状況によっては、登録したネットワーク以外に接続される場合があります。
- ネットワークID画面で[機能]を押して次の操作ができます。
  - 「編集機能」を選択すると、文字編集の機能を利用できます。→P298
  - 「登録中止」を選択すると、登録を中止します。

優先ネットワークリスト画面／ネットワーク詳細画面の機能メニュー

1 優先ネットワークリスト画面／ネットワーク詳細画面▶[機能]▶次の操作を行う

挿入
選択中のネットワークの上に、ネットワークを登録して挿入します。「優先的に接続する通信事業者を設定する」の操作3（P314）へ進みます。

編集
選択中のネットワークを修正します。「優先的に接続する通信事業者を設定する」の操作3（P314）へ進みます。

1件削除
選択中のネットワークを削除します。
▶ [はい]

全てコピー
ネットワーク詳細画面内のすべての文字情報をコピーします。

利用できる通信事業者を検索して登録する

FOMA端末を利用中の国・地域で利用できるネットワークを検索し、検出したネットワークに切り替えたり、優先ネットワークリストに追加したりできます。

1 ●▶ (設定)▶「ネットワーク」▶「利用可能ネットワーク」

ネットワークの検索が開始され、検出されたネットワークの一覧が表示されます。

■ **ネットワークコードを確認する場合**
ネットワークを選択して●を押します。ネットワークコード表示画面で●を押すと、そのネットワークに切り替わります。

2 [機能]▶「登録」／「優先ネットワークに追加」

- 「登録」を選択した場合は選択中のネットワークに切り替えます。
- 「優先ネットワークに追加」を選択した場合は、優先ネットワークリストに登録します。

お知らせ

- ネットワークコード表示画面で[機能]を押して次の操作ができます。
  - 「優先ネットワークに追加」を選択すると、優先ネットワークリストに登録できます。
  - 「全てコピー」を選択すると、ネットワークコード表示画面内のすべての文字情報をコピーできます。

圏内通知音

ネットワーク圏内になったときに通知音を鳴らす

お買い上げ時	OFF

ネットワーク圏外から圏内になったとき、通知音を鳴らして知らせるように設定できます。

1 ●▶ (設定)▶「ネットワーク」▶「圏内通知音」▶「ON」／「OFF」

ローミングガイダンス設定

ローミングガイダンスを開始する

海外へ出発する前に、国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせする音声ガイダンスを流すように設定できます。

- 圏外が表示されている場合、ローミングガイダンス設定の操作はできません。
- 海外からもローミングガイダンス設定を操作できます。→P316

1 ●▶ (ネットワークサービス)▶「ローミングガイダンス設定」▶次の操作を行う

ローミングガイダンス開始
▶ch［はい］

ローミングガイダンス停止
▶ch［はい］

ローミングガイダンス設定確認
現在の設定状態を確認します。

ローミングガイダンス（海外）
海外からローミングガイダンスの操作をします。→P316

お知らせ

- 停止に設定中の場合は、海外事業者で設定している呼び出し音が流れます。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。
- 開始に設定した場合でも、海外通信事業者の事情により、外国語の音声ガイダンスが流れる場合があります。

ローミング時着信規制

ローミング中は着信を受け付けないように設定する

ローミング中に電話の着信やメールの受信など、すべての着信を規制するように設定できます。テレビ電話の着信のみ規制するように設定することもできます。

1 ●▶ (ネットワークサービス)▶「ローミング時着信規制」▶次の操作を行う

全着信規制開始
すべての着信を規制します。
▶ch［はい］▶ネットワーク暗証番号を入力

データ呼着信規制開始
テレビ電話の着信のみを規制します（3Gネットワーク圏内のみ）。
▶ch［はい］▶ネットワーク暗証番号を入力

着信規制停止
▶ch［はい］▶ネットワーク暗証番号を入力

着信規制確認
現在の設定状態を確認します。

お知らせ

- 一部の海外通信事業者では、ご利用いただけません。

ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から留守番電話サービス、転送でんわサービス、ローミングガイダンス設定のネットワークサービスを利用できます。

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスをご利用になるには、各ネットワークサービスをご契約いただき、あらかじめ日本で「遠隔操作設定」を開始に設定する必要があります。→P285
- 海外からの操作には、ご利用いただいた国から日本への国際通話料がかかります。
- ご利用いただく国によっては、操作できない場合があります。

留守番電話（海外）

滞在先で留守番電話サービスの操作をする

海外から留守番電話サービスの開始／停止を設定できます。録音された伝言メッセージを再生したり、音声ガイダンスで設定を変更したりもできます。

- 圏外が表示されている場合、留守番電話（海外）の操作はできません。

1 ●▶ (ネットワークサービス)▶「留守番電話」▶「留守番電話(海外)」

2 次の操作を行う

留守番メッセージ再生
伝言メッセージを再生します。

留守番サービス開始
留守番電話サービスを開始に設定します。

留守番サービス停止
留守番電話サービスを停止に設定します。

留守番サービス設定
音声ガイダンスに従って設定を変更します。

次のページへ続く●●●

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

お知らせ

- 渡航先のサービスエリア外で本サービスをご利用になるには、電波の届くところで事前に電源を切っていただく必要があります。

転送でんわ（海外）

滞在先で転送でんわサービスの操作をする

海外から転送でんわサービスの開始／停止を設定できます。

- 圏外 が表示されている場合、転送でんわ（海外）の操作はできません。

1 ●▶ (ネットワークサービス)▶「転送でんわ」▶「転送でんわ(海外)」

2 次の操作を行う

転送サービス開始
転送でんわサービスを開始に設定します。

転送サービス停止
転送でんわを停止に設定します。

3 音声ガイダンスの指示に従って操作する

お知らせ

- 渡航先のサービスエリア外で本サービスをご利用になるには、電波の届くところで事前に電源を切っていただく必要があります。

ローミングガイダンス（海外）

滞在先でローミングガイダンスの操作をする

海外からローミングガイダンスの開始／停止を設定できます。

- 圏外 が表示されている場合、ローミングガイダンス（海外）の操作はできません。

1 ●▶ (ネットワークサービス)▶「ローミングガイダンス設定」▶「ローミングガイダンス(海外)」

2 音声ガイダンスの指示に従って操作する

付録／外部機器連携／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

「お買い上げ時」欄が の設定は、「設定リセット」でお買い上げ時の状態に戻る機能です。
→P276

	機能名		お買い上げ時	参照先
iモード	i Menu		－	P160
	Bookmark			P164
		メインフォルダ	未登録	
		ユーザ作成フォルダ	なし	
	Internet	URL入力履歴	履歴なし	P163
	画面メモ			P166
		メインフォルダ	未登録	
		ユーザ作成フォルダ	なし	
	ラストURL			P163
	メッセージR		メッセージなし	P172
	メッセージF		メッセージなし	
	iモード問合せ		－	P172
	iモード設定			
		文字サイズ設定	iモード：標準 メッセージ：標準	P170
		スクロール設定	1行	P170
		画像表示設定	表示する	P170
		メッセージ自動表示設定	メッセージR優先	P172
		メッセージ添付メロディ設定	自動再生する	P172
		iモーション自動再生設定	自動再生する	P176
		登録データ利用設定	利用する	P170
		効果音設定	再生する	P170
		iモード問合せ設定	すべてチェックあり	P199
		接続待ち時間設定	60秒間	P171
		接続先設定	iモード（FOMAカード）	P171
		証明書センター接続先設定	ドコモ	P175
		証明書設定	すべて有効	P174
		ユーザ証明書操作	－	P174
		iモード設定確認	－	P171
		iモード設定リセット	－	P171
	タスクメニュー		－	P160
iアプリ			プリインストールiアプリのみ	P210

	機能名		お買い上げ時	参照先
メール	受信BOX			P191
		メインフォルダ	メールなし	
		ユーザ作成フォルダ	なし	
		ｉアプリメール用フォルダ	なし	
	送信BOX			P192
		メインフォルダ	メールなし	
		ユーザ作成フォルダ	なし	
		ｉアプリメール用フォルダ	なし	
	未送信BOX	メインフォルダ	メールなし	P192
	メール新規作成		－	P182
	SMS新規作成		－	P203
	チャットメール		自分	P201
	デコメールテンプレート		プリインストールデータのみ	P186
	タスクメニュー		－	P182
	ｉモード問合せ		－	P189
	SMS問合せ		－	P204
	メール選択受信		－	P188
	メール設定			
		ｉモード問合せ設定	すべてチェックあり	P199
		添付ファイル受信設定	画像とメロディ	P199
		メール選択受信設定	OFF	P199
		メロディ自動再生設定	自動再生する	P199
		受信優先設定	受信通知優先	P199
		署名設定	OFF	P200
		引用符編集	＞（引用符）	P199
		文字サイズ設定	標準	P199
		スクロール設定	1行	P199
		送信グループ登録	未登録	P200
		SMS送達通知設定	OFF	P205
		SMSメッセージ有効期限	3日	P205
		SMSセンター設定	ドコモ	P205
		メール設定確認		P199
		メール設定リセット		P199
電話帳			－	P92

次のページへ続く

	機能名		お買い上げ時	参照先
データBOX	マイピクチャ			
		ピクチャ（全て）	プリインストールファイルのみ	P225
		カメラ	なし	
		ｉモード／その他	なし	
		プリインストール	プリインストールファイルのみ	
		ピクチャアルバム	表示回数ランキングフォルダ ユーザ作成アルバム：なし	P236
	ｉモーション			
		ｉモーション（全て）	プリインストールファイルのみ	P231
		カメラ	なし	
		ｉモード／その他	なし	
		プリインストール	プリインストールファイルのみ	
		ｉモーションアルバム	表示回数ランキングフォルダ ユーザ作成アルバム：なし	P236
	メロディ			
		メロディ（全て）	プリインストールファイルのみ	P239
		ｉモード／その他	なし	
		プリインストール	プリインストールファイルのみ	
		プレイリスト	再生回数ランキングリスト ユーザ作成リスト：なし	P242
	キャラ電			
		キャラ電（全て）	プリインストールファイルのみ	P237
		ｉモード／その他	なし	
		プリインストール	プリインストールファイルのみ	
	アニメーション			
		アニメーション（全て）	なし	P230
		ｉモード／その他	なし	
		プリインストール	なし	
	音声メモ			
		音声メモ（全て）	なし	P244
		マイデータ	未登録	
アクセサリ	アラーム		未登録	P259
	スケジュール		未登録※	P261
	伝言メモ		－	P73
	電卓		－	P269
	ワールドクロック		（上から）東京、ロンドン、ニューヨーク	P269
	バーコードリーダー		－	P153

※：設定リセットにより、あらかじめ登録されている一部の祝日（当日より前の登録内容）が削除される場合があります。

	機能名		お買い上げ時	参照先
アクセサリ	電子辞書		−	P270
	通話履歴			
		着信履歴	なし	P65
		発信履歴	なし	P54
		前回入力番号	なし	P56
		通話時間	すべて00:00:00※1	P267
		通話料金	0.00※2	P267
	カメラ		−	P147
接続設定	(赤外線受信)		−	P252
	(Bluetooth通信)	オーディオ機器	未登録	P273
		登録機器リスト	未登録	P275
		設定	Bluetooth電源：OFF 名前：FOMA M702iG	P272
	(USBモード設定)	接続モード	通信モード	P251
ネットワークサービス	留守番電話		−	P281
	キャッチホン		−	P281
	転送でんわ		−	P282
	迷惑電話ストップ		−	P283
	発信者番号通知		−	P49
	番号通知お願いサービス		−	P283
	通話中着信設定		−	P285
	着信動作選択		通常着信	P285
	応答メッセージ設定		−	P287
	追加サービス		−	P286
	遠隔操作設定		−	P285
	英語ガイダンス		−	P284
	デュアルネットワーク		−	P284
	マルチナンバー		−	P285
	ローミング時着信規制		−	P315
	ローミングガイダンス設定		−	P315
	サービスダイヤル		−	P284
設定	音／バイブ設定			
		パターン選択	音パターン1	P112

※1： ご利用のFOMAカードを他のFOMA端末で使用していた場合、「積算通話」にはお買い上げ時から現在までの時間が表示されます。
※2： ご利用のFOMAカードを他のFOMA端末で使用していた場合、「積算通話」には積算通話料金リセットを実行してから現在までの料金が表示されます。

次のページへ続く

	機能名		お買い上げ時	参照先
設定	音／バイブ設定	「音パターン1」詳細設定	着信音量：5 電話着信：05.Solar テレビ電話：19.Bells メール着信：21.Triads 留守番電話着信：08.Fusion メッセージR：20.Standard メッセージF：20.Standard スケジュールアラーム：19.Bells データ着信：20.Standard ファイル転送：サイレント チャットメール：20.Standard 指定着信音設定：ON ボタン確認音量：2 リマインダ：OFF	P113
		着信イルミネーション	ノクターン	P124
		イベントイルミネーション	OFF	P124
	個人設定			
		画面表示設定	時計：デジタル 日付：ON レイアウト：中央	P125
		メインメニュー	表示：アイコン 並べ替え：(リスト表示の上から) ｉモード、ｉアプリ、メール、電話帳、データBOX、アクセサリ、接続設定、ネットワークサービス、設定	P122
		ビジュアルテーマ設定	Scorpio	P122
		ウェイクアップメッセージ	登録なし	P123
		待受画面	ピクチャ：66.Liquid レイアウト：画面全体に表示 スケジュール：OFF	P121
		スクリーンセーバー	ピクチャ：なし 待ち時間設定：1分	P123
		マナーモード	モード：マナーモード	P118
	一般設定			
		時計設定	タイムゾーン：東京(GMT+9:0) 表示形式：1999年12月31日 自動時刻補正：ON（時差補正なし）	P48
		スピードダイヤル	本体メモリ	P110
		ディスプレイ節電設定	2分	P125
		バックライト点灯設定	10秒	P126
		充電ランプ	ON	P127

	機能名		お買い上げ時	参照先
設定	一般設定	スクロール	ループ	P126
		文字スクロール	低速	P126
		バイリンガル	日本語	P127
		文字入力	ユーザ辞書：未登録 ダウンロード辞書：なし 定型文編集：お買い上げ時の登録内容のみ	P300、P302
		明るさ	3	P127
		DTMF	ロング	P117
		設定リセット	－	P276
		端末初期化	－	P277
	通話設定			
		時計設定	日付表示：ON 時刻表示：ON	P124
		通話タイマー設定	表示：時間 通知アラーム：OFF	P61
		通話料金設定	通話料金上限：OFF 通貨設定 通貨単位：YEN 単位毎料金：1.000	P268
		テレビ電話設定	代替画像：bunbun (Dimo) スピーカーホン：ON	P86、P90
		着信アンサー設定	エニーキーアンサー：OFF オープン応答：OFF	P65
		保留設定	音声応答保留音：日本語 テレビ電話応答保留 テレビ電話応答保留音：日本語 テレビ電話応答保留画像：ah_img テレビ電話中保留 テレビ電話中保留音：メロディ 1 テレビ電話中保留画像：ch_img	P68、P89
		着信拒否	公衆電話：許可 非通知設定：許可 通知不可能：許可 電話帳登録外：許可	P138
		国際ダイヤル設定	国際アクセス番号 自動付加設定（自動付加：ON、国際アクセス番号：WORLD CALL） 国際電話設定：WORLD CALL 国番号 自動付加設定（自動付加：ON、国番号：ニホン） 国番号リスト：55カ国の国番号が登録済み	P60、P311

次のページへ続く

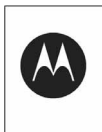
	機能名		お買い上げ時	参照先
設定	通話設定	サブアドレス設定	ON	P61
		呼出動作開始時間	呼出動作開始時間：0秒	P139
	ネットワーク			
		ネットワーク検索	－	P313
		ネットワーク設定	ネットワーク切替：自動 ネットワーク接続モード：オート ネットワーク検索頻度：普通	P313
		利用可能ネットワーク	－	P314
		優先ネットワークリスト	未登録	P314
		圏内通知音	OFF	P314
	ｉアプリ設定			
		ソート	名前	P215
		自動起動	ON	P214
		ソフト情報表示	OFF	P215
		照明	端末設定に従う	P215
		バイブレータ	ソフト設定に従う	P215
		起動失敗履歴	未登録	P216
		異常終了履歴	未登録	P216
		セキュリティーエラー履歴	未登録	P216
		トレース情報	未登録	P216
	セキュリティ			
		オールロック	電源ONロック：OFF	P133
		サイドキーロック	OFF	P137
		サイドキーロックヘルプ	－	P137
		機能ロック	OFF	P135
		機能ロック設定	すべてチェックなし	P135
		シークレットデータ	非表示	P138
		ダイヤル発信制限	OFF	P137
		PIN1コード	－※	P132
		PIN2コード	ON	P132
		暗証番号変更	設定解除コード（4桁）：0000 端末暗証番号（6桁）：000000 PIN1コード：0000 PIN2コード：0000	P131、P132
	イヤホン			
		オート着信	OFF	P272
		イヤホン切替	イヤホン＋スピーカー	P117

※：お買い上げ時の設定は、FOMAカードに保存された情報により異なります。

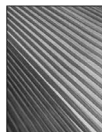
	機能名		お買い上げ時	参照先
設定	セルフモード			
		セルフモード設定	OFF	P134
		起動時確認	OFF	P134
	情報表示			
		個人データ	未登録	P265
		利用可能残量	−	P268
		電池残量	−	P47
		メモリ確認	−	P276
	スキャン機能	スキャン機能設定	スキャン：有効	P364
	ソフトウェア更新		−	P360

お買い上げ時に登録されているデータ

- デコメールテンプレート以外のデータは削除できません。

待受画面

51.Batwing

52.Hellomoto

53.Abstract

54.Bamboo

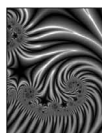
55.Beats

56.Blue

57.Blue Tile

58.Catching Air

59.Desert

60.Fightnight

61.Flare

62.Flowers

63.Grooving

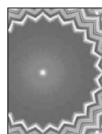
64.Higherplane

65.Landmark

66.Liquid

67.Spiral

スクリーンセーバー

68.Moto

69.Blue Bliss

70.Essence

71.Grooving

72.Hip Hop

73.Metal

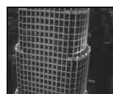
74.Rose

75.Velvet

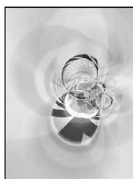
76.Wild

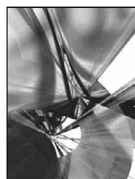
ｉモーション

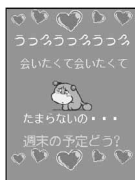
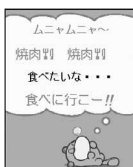
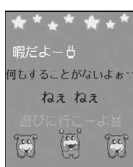
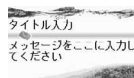
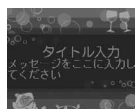
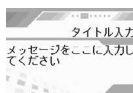
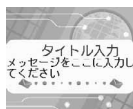
HELLOMOTO

Media Street Scene

Tech Move On Up

ビジュアルテーマ

- ビジュアルテーマを変更したとき、自動的に待受画面の画像に設定されます。データBOXからは確認できません。

Scorpio

Alkali

Techno

デコメールテンプレート

Dimo1
©BVIG

Dimo2
©BVIG

Dimo3
©BVIG

Nature

Chic

Future

Global

Cyber

デコメールピクチャ

01.Sorry

02.Thanks

03.プンプン

04.シクシク

05.モヤモヤ

06.メラメラ

07.ウキウキ

08.スキ

09.キライ

10.ハロー

11.バイバイ

12.がんばれ

13.Good night

14.Congratulations

15.勉強

16.お食事

17.お風呂

18.おやすみ

19.ディナー

20.パーティー

次のページへ続く

21.ドライブ
22.びっくり
23.がっかり
24.さみしい
25.あつーい
26.さむーい
27.SORRY・・・（青）
28.THANK YOU !!（オレンジ）
29.きらーい
30.えっ !!
31.フゥ〜. .
32.HELLO
33.BYE
34.Happy
35.ファイト
36.Happy Birthday
37.Line 1
38.Line 2
39.Line 3
40.Line 4
41.おどろき ©BVIG
42.ラブラブ ©BVIG
43.ごめんなさい ©BVIG
44.ねむる ©BVIG
45.悲しい ©BVIG
46.あっかんべー ©BVIG
47.YO! ©BVIG
48.ムンクの叫び ©BVIG
49.いただきます！ ©BVIG
50.にっこり ©BVIG

フレーム

Aurora

Beach

Calypso

Clover

Elite

Equinox

Flash

Gizmo

Glow

Mood Lighting

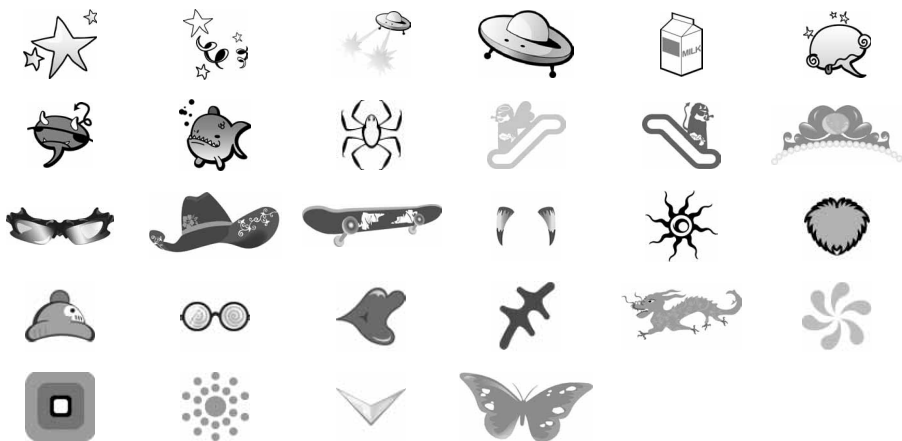
Pumped

Rave

Release

Swoosh

Virtual

スタンプ

ダイヤルキーの文字割当て一覧

入力モード ＼ キー	ひらがな	カタカナ	英　字	数　字
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ 1	アイウエオ ァィゥェォ 1	. @ - _ / ～※1 : 1	1
2	かきくけこ 2	カキクケコ 2	ABC2 ※2 abc2 ※3	2
3	さしすせそ 3	サシスセソ 3	DEF3 ※2 def3 ※3	3
4	たちつてと っ 4	タチツテト ッ 4	GHI4 ※2 ghi4 ※3	4
5	なにぬねの 5	ナニヌネノ 5	JKL5 ※2 jkl5 ※3	5
6	はひふへほ 6	ハヒフヘホ 6	MNO6 ※2 mno6 ※3	6
7	まみむめも 7	マミムメモ 7	PQRS7 ※2 pqrs7 ※3	7
8	やゆよ ゃゅょ 8	ヤユヨ ャュョ 8	TUV8 ※2 tuv8 ※3	8
9	らりるれろ 9	ラリルレロ 9	WXYZ9 ※2 wxyz9 ※3	9
0	わをん 0	ワヲン 0	0	0
*	゛ ゜※5	゛ ゜	.ne.jp .co.jp .com .ac.jp @docomo.ne.jp WWW. http:// https:// ※4	*
#	ー、。！？（）＆	-、。!?()&	! ? ( ) & , ; : " '	#

※1：全角／半角設定が半角のときは「˜」が入力されます。
※2：　の付いた文字は、大文字／小文字設定が大文字のときに入力できます。
※3：　の付いた文字は、大文字／小文字設定が小文字のときに入力できます。
※4：　の付いた文字は、全角／半角設定が半角のときに入力できます。
※5：　の付いた文字は、文字が確定待ちの状態で付加／入力できます。濁点のみ付加できる文字の場合は「゛」が付加され、濁点／半濁点が付加できない文字の場合は「゛」「゜」が入力されます。

記号・特殊文字一覧

記号一覧

■全角記号

、	。	，	．	・	：	；
？	！	゛	゜	´	｀	¨
＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ
〃	仝	々	〆	〇	ー	―
‐	／	＼	‖	｜	…	‥
‘	’	“	”	（	）	〔
〕	［	］	｛	｝	〈	〉
《	》	「	」	『	』	【
】	＋	－	±	×	÷	＝
≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴
♂	♀	°	′	″	℃	￥
＄	¢	£	％	＃	＆	＊
＠	§	☆	★	○	●	◎
◇	◆	□	■	△	▲	▽
▼	※	〒	→	←	↑	↓
〓	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
∪	∩	∧	∨	￢	⇒	⇔
∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇
≡	≒	≪	≫	√	∽	∝

∵	∫	∬	Å	‰	♯	♭
♪	†	‡	¶	◯	ゎ	ゐ
ゑ	ヮ	ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ
Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η
Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ
Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ
Χ	Ψ	Ω	α	β	γ	δ
ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ
μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ
τ	υ	φ	χ	ψ	ω	А
Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж
З	И	Й	К	Л	М	Н
О	П	Р	С	Т	У	Ф
Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
Ь	Э	Ю	Я	а	б	в
г	д	е	ё	ж	з	и
й	к	л	м	н	о	п
р	с	т	у	ф	х	ц
ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э

ю	я	─	│	┌	┐	┘
└	├	┬	┤	┴	┼	━
┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷
┿	┝	┰	┥	┸	╂	①
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ
Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧
㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣
㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎
㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№
㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨
㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒
≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠
∟	⊿	∵	∩	∪		

■半角記号

!	"	#	$	%	&	'
(	)	*	+	,	-	.
/	0	1	2	3	4	5
6	7	8	9	:	;	<
=	>	?	@	[	¥	]
^	_	`	{	|	}	~
｡	｢	｣	､	･	ﾞ	ﾟ

変換記号

文字入力画面で「きごう」と入力すると変換候補に記号が表示され、目的の記号を選択して入力できます。「きごう」以外にも次のような文字を入力すると、変換候補に記号が表示されます。

入力文字	記　号
あっと、あっとまーく	@ ＠
あるふぁ	Α α
あんだーばー	_ ＿
あんど	& ＆
いげた	# ＃
いこーる	= ＝
いち	① Ⅰ
うえ	↑
えん	¥ ￥
おす	♂
おんぷ	♪ ♭
かける、ばつ	×
かぶ、かぶしきがいしゃ	㈱
がんま	Γ γ
きゅー、く、きゅう	⑨ Ⅸ
きろ	㌔
きろぐらむ	㎏
きろめーとる	㎞
ぐらむ	㌘
ご	⑤ Ⅴ
こめ、こめじるし	※
さん	③ Ⅲ
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
しーしー	㏄
しかく	□ ■ ◇ ◆
しぐま	Σ σ
した	↓
しめ	〆
しゃーぷ	♯
じゅう	⑩ Ⅹ
すらっしゅ	/ ／ ＼
せんち、せんちめーとる	㌢ ㎝
せんと	¢ ㌣
だい、だいひょう	㈹
たす、ぷらす	+ ＋

入力文字	記　号
でるた	Δ δ
てん	･ ・ , ， … ‥ ’ ″ ゛ ゜ ´ ､ . ．
でんわ、てる	℡
どしー、ど	℃
どる	$ ㌦
とん	㌧
なな、しち	⑦ Ⅶ
なんばー	# ＃ №
に	② Ⅱ
ぱーせんと	% ％ ㌫
ぱい	Π π
はいふん	- ‐
はち	⑧ Ⅷ
ひく、まいなす	- −
ひしがた	◇ ◆
ひだり	←
ふらっと	♭
へいほうめーとる	㎡
べーた	Β β
ほし	☆ ★
まる	◎ ○ ● ｡ 。
みぎ	→
みり、みりめーとる	㍉ ㎜
めーとる	㍍
めす	♀
やじるし	→ ← ↑ ↓ ⇒ ⇔
ゆう、ゆうげんがいしゃ	㈲
ゆうびん、ゆうびんばんごう	〒
よん、し	④ Ⅳ
りっとる	㍑
ろく	⑥ Ⅵ
わる	÷

絵文字一覧

■ 絵文字1

■ 絵文字2

お知らせ

- 絵文字を入力したメールをｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。また、ｉモード端末に送信した場合でも、相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。
- 絵文字2に対応していないｉモード端末に絵文字2を入力したメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。

顔文字一覧

顔文字	読　み
(;°0°)＼	あ
(^0^)	あーん、かお
(>_<)	あいた
(;^_^A	あせ
(^_^;)	あせ
('-'*)	あら
m(_ _)m	ー※
(~_~;)	あれー、かお
(^-^)v	いえーい
(-_-#)	いらいら
(+_+)	うーん
＼(^0^)／	わーい
(*´-`)	うっとり
(T_T)	なく

顔文字	読　み
(^-^)	えがお
(^.^)	えがお
f(^_^)	えがお
w(^o^)w	おー
(*_*)	おどろき
(°_°;)	おどろき
(>o<")	かお
(@_@)	かお
(` ´)	かお
＼(^-^)／	かお
p(^^)q	がんば
b(^-^)	ぐー
((^^))	かお
(((((^_^;)	かお

顔文字	読　み
(=_=)	てつやあけ
(-_-)zzz	ねる
(^-^)/	はい
!(^^)!	ぴんぽーん
w(°o°)w	わおー
(?_?)	かお
(-.-)	かお
(-_-)	かお
(-_-;)	かお
(..)	かお
(._.)	かお
(._.)_	かお
(;_;)	かお
(^0_0^)	かお

次のページへ続く

顔文字	読　み
(^^)	かお
(~~ゞ	かお
(^_-)	かお
(^_^)	かお
(^O^)	かお
(__)	かお

顔文字	読　み
(~_~)	かお
(~0~)	かお
)^0^(	かお
>^_^<	かお
^/^	かお
^^;	かお

顔文字	読　み
^_^;	かお
_(._.)_	かお

※： 顔文字一覧画面から選択して入力できます。→P299

お知らせ

- 文字入力画面で「読み」の欄に掲載の文字を入力すると、変換候補から顔文字を選択して入力できます。

定型文一覧

フォルダ	定型文
あいさつ	ありがとう
	ごめんね
	おはよう
	おやすみ
	よろしく
	元気？
	お疲れ様
	おめでとう！
返答	今電車の中
	すぐ行きます
	もう少し待って
	了解
	OK
	ダメ
	おまかせします
	楽しみにしています
待ち合わせ	少し遅れます
	もうすぐ着く
	今移動中
	先に行ってて
	もう着いたよ
	今どこにいる？
	いつもの所
	今日行けなくなりました

フォルダ	定型文
お誘い	TELして
	今日、ヒマ？
	飲みに行かない？
	遊びに行こうよ
	週末空いてる？
	今何してるの？
	都合の良い日は？
	今日はダメです
ビジネス	遅れます。
	会議中です。
	連絡下さい。
	電話下さい。
	後程ご連絡いたします。
	お世話になっております。
	ご連絡ありがとうございました。
	よろしくお願いします。
English	Thank you.
	I am not available right now.
	I'm late.
	Call me back!
	Where are you now?
	How are you?
	See you soon.
	Congratulations!
ユーザフォルダ1	（8件の定型文を登録可能）
ユーザフォルダ2	（8件の定型文を登録可能）

区点コード一覧

区点コードを入力するには、最初に「区点1～3桁」に記載されている3桁の数字を入力し、続けて「区点4桁目」の数字を入力します。

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		ミリ	キロ	センチ	メートル	グラム	トン	アール	ヘクタール
134	リットル	ワット	カロリー	ドル	セント	パーセント	ミリバール	ページ	mm	cm
135	km	mg	kg	cc	m²					
136				平成	〝	〟	No.	K.K.	TEL	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	明治	大正	昭和
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ										
390									濡	
ね										
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
の										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

次のページへ続く ●●●

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る									
466	瑠	塁	涙	累	類					
	れ									
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

次のページへ続く ●••

お知らせ

- 区点コード一覧に掲載されている文字は、FOMA端末に表示される文字と見えかたが異なる場合があります。

マルチアクセスの組み合わせについて

発生した通信 ＼ 現在の状態	音声電話		テレビ電話		iモード	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信
音声電話	△※1※2	△※1※2	×	×※2※5	○	○	○
テレビ電話	×	×※2※5	×	×※2※5	×	×	×
iモード	○	○	×	×※4※5	×	○	○
パケット通信（データ通信）	○	○	×	×※4※5	×	×	×
64Kデータ通信	×	×※5	×	×※5	×	×	×

発生した通信 ＼ 現在の状態	SMS		iアプリ	パケット通信（データ通信）		64Kデータ通信	
	送信	受信	発信	送信	受信	送信	受信
音声電話	○	○	×	○	×	×	×※5
テレビ電話	○	○	×	×	×	×	×※5
iモード	○	○	×	×	×	×	×※5
パケット通信（データ通信）	○	○	×	×	×	×	×※5
64Kデータ通信	×	○※3	×	×	×	×	×※5

○：利用できます。　×：利用できません。　△：条件により利用できます。

※1：キャッチホンをご契約の場合、通話中の電話を保留して発信／応答できます。

※2：留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は、着信した電話に各ネットワークサービスで対応できます。

※3：受信すると画面上部に（黄色）が表示されますが、受信結果画面は表示されず、確認もできません。

※4：海外の一部の地域ではご利用いただける場合があります。

※5：着信履歴には残りません。

マルチタスクの組み合わせについて

マルチタスク機能は、特定の画面から機能メニューやソフトキーの「タスクメニュー」を選択して／押して利用できます。→P258

使用中の機能＼新たに使用する機能	音声電話	テレビ電話	電話帳	メール	iチャネル	iモード	スケジュール
音声電話	○※1	×※2	○	○	○	○	○
テレビ電話	×※2	×※2	○	○※3	×※4	×※5	○
メール	○	○※3	○	−	×	×	○
iチャネル	○	×※6	○	×	−	×	○
iモード	○	×※7	○	×	×	−	○

○：同時に利用できます。　×：同時に利用できません。
−：機能の表示に戻る項目が表示されます。
※1：キャッチホンをご契約いただいている場合に利用できます。
※2：通話中の電話を終了して発信するかどうかの確認画面が表示され、［はい］を押すと音声電話／テレビ電話をかけられます。［いいえ］を押すと電話の発信が中止され、発信履歴が記録されます。
※3：SMSのみ送信できます。それ以外のメールの場合、送信できません。
※4：以前にチャネル情報を取得している場合はチャネル一覧画面を表示できますが、チャネル項目を選択してサイトに接続することはできません。
※5：iモードメニュー画面は表示できますが、接続はできません。
※6：テレビ電話の発信はできますが、iチャネルに切り替えても通信はできません。
※7：テレビ電話の発信はできますが、iモード中の画面に切り替えても通信はできません。

FOMA端末から利用できるサービス

サービス		電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）		（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）（電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません）		（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	午前8時〜午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）		（局番なし）117
天気予報（有料）		知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急連絡通報		（局番なし）110
消防・救急への緊急通報		（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報		（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）		（局番なし）171

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2006年12月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2006年12月現在）。

次のページへ続く

- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）。
- FOMA カードを取り付けていない場合でも、海外で緊急番号（911、999、112、000、08）をダイヤルして緊急通報ができます。ただし、セルフモードを「ON」に設定中の場合は緊急通報ができません。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック M02
- リアカバー M02
- FOMA ACアダプタ 01
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01
- FOMA DCアダプタ 01
- 車載ハンズフリーキット 01※1
- FOMA乾電池アダプタ 01
- FOMA USB接続ケーブル
- FOMA miniUSB変換アダプタ M01
- miniUSBステレオヘッドセット M01
- Bluetoothヘッドセット F01※2
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- キャリングケース S 01

※1：Bluetooth機能を利用して接続してください。USB接続で充電するには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※2：Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01が必要です。

データリンクソフトのご紹介

「FOMA Mシリーズ データリンクソフト」を利用して、FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続したパソコンとの間で、電話帳やメール、画像やｉモーションなどのデータを転送できます。
「FOMA Mシリーズ データリンクソフト」は、モトローラのホームページからダウンロードできます。

■ダウンロードURL

http://motorola.jp/hellomoto/M702iG/default.htm

ダウンロード方法、転送可能データ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。

■対応OS

Windows XP、Windows 2000の各日本語版に対応

■免責事項

- モトローラ株式会社（以降「弊社」と記載）は、本ソフトウェアの不稼動、稼動不良を含む法律上の瑕疵担保責任、およびその他の保証責任を負わないものとします。また、弊社は本ソフトウェアの商品性、お客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。
- 本ソフトウェアおよび関連資料に関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担により解決されるものとし、弊社は一切責任を負いません。

「FOMA Mシリーズ データリンクソフト」に関するお問い合わせ
モトローラ株式会社カスタマーホットライン 0120-227-217
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。
受付時間：平日9：00～18：00（土日祝日除く）

お知らせ

- ダウンロードするには、インターネットに接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロード時には別途通信料がかかります。

動画再生ソフトのご紹介

FOMA端末で撮影した動画（MP4形式のファイル）をパソコンで再生するには、アップルコンピュータ(株)のQuickTime Player(無料)Ver.6.4以上(またはver.6.3+3GPP)が必要です。QuickTime Playerは次のホームページよりダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

お知らせ

- ダウンロードするには、インターネットに接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロード時には別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

症　状	チェック
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P42 • 電池切れになっていませんか。→P45 • デュアルネットワークサービスでmovaが有効になっている場合、FOMAのサービスで利用できないものがあります。FOMAが有効になっているかご確認ください。詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。→P284
ダイヤルキーを押しても発信できない	• ダイヤル発信制限を設定していませんか。→P137 • オールロックを設定していませんか。→P133 • セルフモードを設定していませんか。→P134
電話をかけたら話中音（プー…）が出てつながらない	• 市外局番を忘れていませんか。→P52 • 圏外になっていませんか。→P48
ネットワークの状態を示すアイコンが圏外のままで「発信できません」と表示されている	• サービスエリア外か、電波の弱い／届かない場所にいませんか。→P48
待受画面に設定解除コードの入力画面が表示されている	• オールロックを設定していませんか。→P133
FOMA端末を閉じているときに、サイドキーを押しても動作しない	• サイドキーロックを設定していませんか。→P137
「ピコ」という低電圧アラームが鳴る	• 電池残量が少なくなっています。充電してください。→P45

次のページへ続く

症　状	チェック
充電ができない（FOMA端末の充電ランプが点灯しない、「充電できません」または「指定以外の電池です」と表示される）	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P42 • アダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 • FOMA端末にFOMA miniUSB変換アダプタ M01（付属品）が正しく取り付けられていますか。 • FOMA miniUSB変換アダプタ M01にアダプタが正しく接続されていますか。→P45 •「充電ランプ」が「OFF」になっていませんか。→P127
ディスプレイが暗くなり、何も表示されない	• ディスプレイ節電設定を設定していませんか。→P125
メールを受信したときに、異なる着信音が鳴る	• メールの送信者を電話帳に登録し、着信音を登録していませんか。→P94 • メールの送信者を電話帳に登録し、登録したグループに着信音を設定していませんか。→P99 •「パターン選択」を変更していませんか。→P112
着信またはメールを受信したときに、異なるイルミネーションランプが点滅する	• 電話の発信者またはメールの送信者を電話帳に登録し、登録したグループにイルミネーションを設定していませんか。→P99
各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する	• 画像やメロディなどの取得時に取り付けていたFOMAカードが取り付けられていますか。→P40
積算通話料金がカウントされない	• 上限（約1677万円）を超えていませんか。積算通話料金をリセットするとカウントされます。→P267
待受画面に「FOMAカード認識不可」と表示され消えない	• FOMAカードが正しく取り付けられていますか。→P39
「接続できませんでした　お待ち下さい」と表示される	• 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから操作し直してください。
「接続できません」と表示され、ｉモードメールやSMSを送信できない	

■ 海外利用時の場合

症　状	チェック
ネットワークの状態を示すアイコンが圏外のままで国際ローミングサービスを利用できない	• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。 • 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』やドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。 • 対応しているネットワークに切り替えてください。→P313
テレビ電話やｉモードメール、SMS、パケット通信が利用できない	• 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』やドコモの『国際サービスホームページ』で確認してください。 • 対応しているネットワークに切り替えてください。→P313
電話の着信やメールの受信ができない	• ローミング時着信規制を開始に設定していませんか。→P315
海外から帰国後、ネットワークの状態を示すアイコンが圏外のままである	•「ネットワーク切替」を「GSM 900／1800」または「GSM1900」に設定していませんか。→P313

こんな表示が出たら

空き容量が足りません
ソフトの保存容量が不足しているため、これ以上保存できません。不要なソフトを削除してください。
→P216

空き容量が不足しています
- メモリ不足などによりiモーションを保存できません。不要なソフトを削除してください。
→P232、P233
- メモリ不足などによりカメラ／ビデオカメラを撮影できません。不要なソフトを削除してください。

空き容量が不足しています　他のファイルを削除してください
FOMA端末のメモリが一杯のため、データをダウンロードできません。メッセージ表示後、必要な空き容量が表示されたら、削除するファイルを選択してください。

アクションなし
利用できないアクションモードに切り替えているため、アクション一覧を表示できません。利用できるアクションモードに切り替えてから操作し直してください。
→P82

アクセス番号を入力してください
国際アクセス番号を入力していないため、国際電話詳細設定を登録できません。国際アクセス番号を入力してください。

宛先を入力してください
メール、SMSの宛先（To）が入力されていません。入力してから送信してください。→P182、P203

アプリケーション終了 セルフモード開始前にアプリケーションを全て閉じてください
通信中のためセルフモードを「ON」に設定できません。通信を終了してから操作をやり直してください。

アラーム設定がいっぱいです
5件のアラームが登録されているため、新規で設定できません。不要なアラームを削除してから登録してください。→P260

以下の宛先にはメール送信できませんでした（561）
表示された宛先にはメールを送信できませんでした。

一致する単語がありません
入力した単語に一致する見出し語が電子辞書にありません。

いっぱいです
最大件数のスケジュール／ToDoが保存されています。不要なスケジュール／ToDoを削除してください。→P264

エラー
デュアルネットワークサービスの操作中にエラーが発生したため、操作できません。操作し直してください。

エラー　接続が中断されました
接続中のBluetooth機器により通信が中止された、またはデータの受信を拒否されました。

エラー シークレットコードは 0001-9999のうちの4桁で設定してください
シークレットコードが正しく入力されていません。0001～9999の4桁で入力し直してください。

エラー：保護された伝言メモは削除できません
選択した伝言メモは保護されているため削除できません。保護を解除してから操作し直してください。

エラー PINロック解除コード（PUK）入力　残存入力回数：X※ ※：入力できる回数が表示されます。
入力したPINロック解除コードが間違っています。正しいPINロック解除コードを入力してください。

エラー PIN1コード入力　残存入力回数：X※ ※：入力できる回数が表示されます。
入力したPIN1コードが間違っています。正しいPIN1コードを入力してください。

エラー PIN2コード入力　残存入力回数：X※ ※：入力できる回数が表示されます。
入力したPIN2コードが間違っています。正しいPIN2コードを入力してください。

エラー 1つ以上のフィールドに無効か文字数制限を超えているデータが含まれています
受信した電話帳やスケジュール／ToDoのデータに無効な情報が含まれている、または登録可能数を超える文字情報が含まれているため、一部の情報が削除されます。

遠隔操作可能なサービスは未契約です
遠隔操作設定をご契約いただいていない状態で留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの遠隔操作をしました。

遠隔操作は開始されています
遠隔操作設定を開始に設定しているときに開始の操作をしました。

遠隔操作は停止されています
遠隔操作設定を停止に設定しているときに停止の操作をしました。

次のページへ続く

応答がありませんでした（408）
サイトから応答がないため接続できませんでした。再度接続してください。

海外ではメッセージフリーを受信できません。電話機のセンター問い合わせ設定よりメッセージフリーの設定を解除してください（566）
海外ではメッセージFを問い合わせできません。「ｉモード問合せ設定」で問い合わせる項目から「メッセージF」を外してください。
→P199

該当するメールはありません
選択した検索条件に該当するメールは1件もありません。

書換え完了しました　しばらくたってからソフトウェア更新を再度実行してください
ソフトウェア更新の書換え完了後、サーバへの完了通知に失敗しました。しばらくしてから操作し直してください。

書換え失敗しました
ソフトウェアの更新に失敗しました。またはソフトウェア更新中に電池残量がなくなりました。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。

学習履歴リセット失敗
学習データのリセットに失敗しました。しばらくしてから操作し直してください。

確認失敗
ダウンロードしたファイルの確認に失敗したため、ソフトウェア更新ができません。しばらくしてから操作し直してください。

画像に誤りがあり正しく動作しません
Flash再生中にエラーが発生したため、正しく動作しません。

画面メモ30件保存済みです　上書きしますか？
画面メモが最大保存可能件数まで保存されています。上書きする場合は ［はい］を、保存しない場合は ［いいえ］を押します。

機器未検出
再度行って下さい
Bluetooth機器の検出に失敗しました。操作し直してください。

期日設定エラー
ToDoリストの期日を開始日の前に設定することはできません
期日または終了日が開始日より前に設定されているためToDoリストに登録できません。期日または開始日を変更してください。

規定のアクセス回数を超えたため参照できません（491）
アクセス可能な回数を超えたため、表示できません。

希望日時の予約がいっぱいです
再度選んでください
予約が一杯のためソフトウェア更新の予約ができません。予約を別の日時に変更してください。

キャッチホン未契約です
キャッチホンをご契約いただいていない状態でキャッチホンの操作をしました。

国番号を入力してください
国番号を入力していないため、国番号を登録できません。国番号を入力してください。→P311

グループ数超過
最大グループ数：10
グループが既に10件登録されているため新規登録できません。不要なグループを削除してから操作し直してください。→P98

携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信しますか？
IP（情報サービス提供者）が「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」によるお客様の識別が必要な場合に表示されます。「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」はインターネットを経由して送信されるため、第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。接続する場合は ［はい］を押します。

圏外です
圏外のため、ｉモードなどの操作ができません。電波の強い場所で再操作してください。

現在ご利用いただけません
- ネットワークの検索中にエラーが発生しました。操作し直してください。
- 検出したネットワークを手動で設定しようとしたときにエラーが発生しました。操作し直してください。

現在サービスは停止されています
留守番電話サービス／転送でんわサービスを停止に設定しているときに停止の操作をしました。

現在転送サービス中です
転送でんわサービスを開始に設定しているときに開始の操作をしました。

現在入力中の本文は破棄されます
テンプレートから作成しますか
入力されているメール本文を破棄して、テンプレートを挿入します。テンプレートを挿入する場合は ［はい］を、挿入しない場合は ［いいえ］を押します。

現在番号通知お願いサービス中です
番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに開始の操作をしました。

現在利用可能となっております
デュアルネットワークサービスをFOMAに切り替えているときに切り替えの操作をしました。

現在留守番サービス中です
留守番電話サービスを開始に設定しているときに開始の操作をしました。

検索履歴はありません
電子辞書の検索履歴がありません。

限度数を超えました　最も古い登録を削除し迷惑電話を登録しますがよろしいですか？
電話番号が既に30件登録されています。 ［はい］を押すと、最も古い登録を削除して最新の着信番号を拒否登録します。

件名なし
このスケジュールを保存するには件名が必要です

件名が入力されていないためスケジュールを登録できません。件名を入力してください。

更新エラー／警告
本体／microSDのファイル数が制限を超えました
いくつかのファイルは表示や保存ができない場合があります

データBOXのファイル数が990件を超えた場合に表示されます。ダウンロードデータのみで既に1000件保存している場合は、ダウンロードはできますが、保存ができませんので、あらかじめ不要なファイルを削除してください。

更新期間は終了しました

ソフトウェアの更新期間が終了したため、ソフトウェア更新ができません。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。

更新できませんでした

パターンデータが更新できません。しばらくしてから操作し直してください。

更新できませんでした 故障取扱窓口へご来店ください

ファイルが壊れているため、ソフトウェア更新を中断しました。しばらくしてから操作し直してください。

個人データ未登録

不正なFOMAカードが取り付けられているため、個人データを表示できません。正しいFOMAカードを取り付けてください。→P39

異なるFOMAカード
指定されたファイルは再生できません

ファイルを取得したときと異なるFOMAカードを取り付けているため、FOMAカード動作制限機能が設定されたファイルを起動できません。取得時のFOMAカードを取り付けてから操作し直してください。

異なるFOMAカードが挿入されています　ご利用になれません

FOMAカード動作制限機能により操作できません。ファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。

異なるFOMAカード（UIM）でダウンロード済みです　ソフトを上書きしますか

既に異なるFOMAカードを挿入してダウンロードした同じｉアプリが保存されています。上書きするときは ［はい］を押します。

このカードは認識できません

- FOMAカード動作制限機能によりサイトに接続（通信）できません。
- 正しいFOMAカードが挿入されているか確認してください。→P39
- FOMAカードにエラーがあります。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。

この機能は現在設定できません

通信中のため設定を変更できません。通信が終了してから再度設定してください。

このサイトとのSSL通信は無効です

書き換えられたSSL証明書を受信したため接続できませんでした。

このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？

SSL証明書の有効期限より前か、期限が過ぎています。接続するときは ［はい］を、接続を中止するときは ［いいえ］を押します。

この操作はできません
この動作を実行するには正しいFOMAカード（UIM）が必要です

FOMAカードが取り付けられていない、または不正なFOMAカードが取り付けられているため、操作できません。FOMAカードを取り付けてから操作し直してください。

このソフトのメールフォルダが既にあります　利用しますか

ダウンロードしようとしているメール連動型ｉアプリは、既に受信BOXに保存されています。上書き保存したい場合は ［はい］を押します。保存されているフォルダを削除して新規に保存したい場合は ［いいえ］を押します。

このソフトは携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用します　ダウンロードしますか？

IP（情報サービス提供者）が「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」によるお客様の識別が必要な場合に表示されます。「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」はインターネットを経由して送信されるため、第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。接続する場合は ［ダウンロード］を選択します。

このソフトは登録データと携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用します　ダウンロードしますか？

IP（情報サービス提供者）が「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」によるお客様の識別が必要な場合に表示されます。「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」はインターネットを経由して送信されるため、第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。接続する場合は ［ダウンロード］を選択します。

このソフトは登録データを利用します　ダウンロードしますか？

ダウンロード時にお客様の携帯電話に保存されている登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュールなど）を利用します。ダウンロードする場合は ［ダウンロード］を選択します。

このタイプのｉモーションは再生できません

本FOMA端末では対応していないｉモーションのため、再生できません。→P231

このデータは最後まで取得できていないため保存できません

ｉモーションデータが最後まで取得できていないため、保存できません。

このデータは保存できません

本FOMA端末では保存できないｉモーションです。

このデータを取得するためには時刻設定をしてください

時計設定が設定されていないため取得できません。時計設定をしてから取得してください。→P48

この履歴には電話番号がありません

電話番号が記録されていない発着信履歴を選択している、または発着信履歴が記録されていない状態で発信操作をしました。

ご利用できません

- 電源を入れた直後でFOMA端末がデータ処理中のため、スケジュールを起動できません。しばらくしてから操作し直してください。
- 通話中に利用できない機能を起動しようとしました。

これ以上保護できません

既に最大保護可能件数まで保護されているため、これ以上保護できません。保護を解除してから再度操作してください。→P167、P173、P195、P196、P197、P198

サーバーが混みあっています

- サーバが混みあっているためソフトウェア更新ができません。しばらくしてから操作し直してください。
- サーバが混みあっているためソフトウェア更新の「今すぐ更新」を実行できません。[iα]［予約］を押すと、更新の予約操作ができます。

サービス未契約です

ｉモードをご契約していただいていないため、ｉモードのサービスはご利用できません。ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

再生制限データに誤りがあるため取得できません

ｉモーションの再生制限データが不正なため、取得できません。

最大サイズを超えています。受信できません

- 受信するデータが最大サイズを超えているため、受信できません。
- ダウンロード辞書のデータが20Kバイトを超えているため、ダウンロードできません。

最大数登録済み

単語などが既に200件登録されているため新規登録できません。不要な単語などを削除してから操作し直してください。→P302

サイトが移動しました（301）

サイトが移動したため、URLが変更されています。ブックマークに登録している場合は、登録し直してください。→P164

サイトに接続できませんでした（403）

サイトに接続できませんでした。再度接続してください。

再入力してください

入力した設定解除コードが間違っています。正しい設定解除コードを入力してください。

削除不可
自動付加のアクセス番号として設定されています

自動的に付加するように設定している国際アクセス番号のため削除できません。

削除不可
自動付加の国番号として設定されています

自動的に付加するように設定している国番号のため削除できません。

削除不可
登録項目をすべて削除することはできません

電話帳には電話番号、メールアドレス、URL、住所のいずれかの項目が少なくとも1つ登録されている必要があるため、選択した項目を削除できません。

作成不可
本体メモリおよびFOMAカード（UIM）がいっぱいです

FOMA端末とFOMAカードのメモリが一杯のため、電話帳を保存できません。不要な電話帳を削除してから操作し直してください。→P107

辞書設定
すでに5件設定されています

有効に設定されているダウンロード辞書が既に5件あるため、選択したダウンロード辞書を有効に設定できません。利用しないダウンロード辞書を無効にしてから操作し直してください。→P302

辞書設定
ファイルが壊れています

ダウンロード辞書のデータが無効または壊れているため、有効に設定できません。ダウンロード辞書を削除してください。→P303

辞書データがいっぱいのためダウンロードできません

ダウンロード辞書が既に10件保存されているため、ダウンロードできません。不用なデータを削除してから操作し直してください。→P303

辞書を起動できません

エラーが発生したため電子辞書が起動できません。操作し直してください。

指定サイトが見つかりません（404）

サイトが存在しないか、URLが間違っている可能性があります。URLを確認してから再度接続してください。

指定サイトに表示データがありません（204）

接続したサイトなどに表示するデータがありません。

指定されたソフトがありません
FOMA端末では対応していないｉアプリのため、起動できません。

指定されたソフトが起動できませんでした
ｉアプリにエラーが発生したため、起動できません。

指定されたファイルは再生できません
本FOMA端末では再生できないｉモーションです。

指定したサイトへは接続できませんでした（504）
サーバから応答がないため接続できませんでした。再度接続してください。

指定したファイルが見つかりません（492）
選択したファイルがFOMA端末内にありません。

自動時刻補正をOFFにしますか？ 自動時刻補正がON（時差補正あり）※に設定されているため都市およびタイムゾーンを変更できません
※：「時計設定」の「自動時刻補正」を「ON（時差補正なし）」に設定している場合は「ON（時差補正なし）」と表示されます。

「時計設定」の「自動時刻補正」を「ON（時差補正あり）」または「ON（時差補正なし）」に設定しているため、ワールドクロックの都市を変更できません。［ch］［はい］を押し、「自動時刻補正」を「OFF」に設定してから操作し直してください。

自動時刻補正をOFFにしますか？ 自動時刻補正がON（時差補正あり）※のときは設定できません　設定を変更しますか？
※：「時計設定」の「自動時刻補正」を「ON（時差補正なし）」に設定している場合は「ON（時差補正なし）」と表示されます。

「自動時刻補正」を「ON（時差補正あり）」または「ON（時差補正なし）」に設定しているため、「時刻」「タイムゾーン」「日付」を変更できません。［ch］［はい］を押し、「自動時刻補正」を「OFF」に設定してから操作し直してください。

充電できません
FOMA端末に電池パックを取り付けずに充電をしようとしました。電池パックを取り付けてから充電してください。→P42

終了時刻が開始時刻より前です スケジュールの終了時刻を開始時刻より前に設定することはできません
終了時刻が開始時刻より前に設定されているためスケジュールを登録できません。開始時刻または終了時刻を変更してください。

終了日が開始日より前の日付になっています
終了日が開始日より前に設定されているためToDoを登録できません。開始日または終了日を変更してください。

受信メールがいっぱいです
- 受信BOXが一杯、またはメモリ不足のため、メール／SMSを受信できません。不要なデータを削除するか、メール／SMSの保護を解除してください。
- 受信BOXが一杯、またはメモリ不足のため、FOMAカードに保存されているSMSをFOMA端末本体に移動／コピーできません。不要なデータを削除するか、メール／SMSの保護を解除してください。

使用不可 緊急呼のみ発信可能　お問合せ先に連絡してください
PINロック解除コードの入力を10回連続で間違ったため、完全にロックされました。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

署名をつけることができません
署名を貼り付けると、本文の最大入力文字数を超えるため署名を設定できません。本文を削除してください。

処理に失敗しました
- キャッチホンをご契約いただいていない状態で、通話中に別の相手に電話をかけようとしました。
- ダウンロードファイルが1001件目になったため、ダウンロードの保存処理に失敗しました。ダウンロードは続けますが、保存はできませんので、不要なファイルの削除を行ってください。

新規録音を行うとｉモーションの既存オーディオは削除されます 新規録音しますか？
「新規録音」を行うと、編集中のｉモーションに録音されている音声は削除されます。「新規録音」する場合は［ch］［はい］を押します。

スキャン機能使用不可
スキャン機能の起動に失敗しました。操作し直してください。

スケジュール登録済み XXXXX※
※：重複するスケジュールの件名と開始日時が表示されます。

［ch］［編集］を押してスケジュールを修正するか、［ch］［はい］を押して保存してください。

すでに同時刻に設定されています
同時刻のアラームが既に設定されています。時刻を変更してください。

全てのデータを入力できませんでした
本文、添付ファイルなどにエラーがあったため、入力できない情報があります。

全ての電話帳を消去して上書きします 継続しますか？
赤外線全件受信を行うと、FOMA端末に登録されている電話帳が削除されます。赤外線全件受信を続ける場合は［ch］［はい］を押します。

全て保護のため削除できません
すべて保護されているため削除できません。保護を解除してから削除してください。→P167、P173、P195、P196、P197、P198

正常に接続できませんでした
接続先にエラーがあるため正常に接続できませんでした。

赤外線通信を中断しました
FOMA端末の電池残量が不足しているため、赤外線通信を中断しました。FOMA端末を充電してください。→P45

次のページへ続く

セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました

ソフトが許可されていない動作をしようとしたため、ｉアプリ待受画面を解除しました。セキュリティエラー履歴を確認してください。→P216

セキュリティ設定されているフォルダがあります　メール一括削除の対象としますか

セキュリティが設定されているフォルダがあります。削除する場合は［はい］を、削除しない場合は［いいえ］を押します。

セキュリティ設定中です

ダウンロードしようとしているメール連動型ｉアプリは、既に受信BOXに保存され、フォルダにセキュリティが設定されています。上書き保存したい場合は、［OK］▶端末暗証番号を入力します。

接続が中断されました

回線が混雑しているか、通信エラーが発生したため、接続が中断されました。しばらくしてから再度接続してください。

接続できません

- 「接続先設定」で設定した接続先アドレスが間違っているため接続できません。設定を確認してから再度接続してください。→P171
- 電波が弱いため接続できません。電波の強い場所で再度操作してください。
- 圏外のためスキャン機能やソフトウェア更新が利用できません。電波の強い位置まで移動してから操作し直してください。

接続できませんでした（562）

ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態の良い場所に移動して操作してください。

接続できませんでした
利用限度超過

通話料金の上限を超えたため、電話をかけられません。「通話料金上限」の設定を変更するか、「積算通話料金リセット」を実行してください。→P267、P268

接続できませんでした
利用できません※
※：状況により「アクセスできません」と表示される場合があります。

- 電波の状況などにより電話をかけられませんでした。リダイヤルする場合は［再発信］を押します。
- 発信規制中のため、しばらくしてから接続してください。

接続不可
XXXXX※
※：Bluetooth機器名が表示されます。

検出したBluetooth機器と接続できない、または接続要求を受けたときに［拒否］を押しました。

切断されました。利用できません。

接続先から切断されました。

設定解除コード（4桁）が違います　再入力してください

入力した設定解除コードが間違っています。正しい設定解除コードを入力してください。

設定時間内に接続できませんでした

「接続待ち時間設定」で設定した時間内に接続できませんでした。設定を変更するか、再度接続してください。→P171

設定時刻エラー
このデータは再生できません

ネットワークが時間に対応していない、または時間情報を有効にできないため、有効期限が設定されている著作権保護ファイルを再生できません。

設定済みの自動起動時刻に近接しています

設定済みの自動起動時刻に近接しています。それぞれのｉアプリに設定した自動起動時刻を確認して、時刻が近接しないように設定してください。

設定できませんでした

- ローミングガイダンスの操作中にエラーが発生したため、設定できませんでした。操作し直してください。
- スキャン機能の設定に失敗したため有効にできませんでした。操作し直してください。

設定不可
XXXXX※とXXXXX※の間の日付を入力してください
※：年月日が表示されます。

スケジュールまたはToDoの登録時／コピー時に無効な日付を入力しました。日付を入力し直してください。

セルフモード設定中です

セルフモード設定中のため、電話やメール、ｉモードなどすべての通信機能を利用できません。セルフモードを解除してから再度操作してください。→P134

セルフモードON
この操作はできません

セルフモードを「ON」に設定中のため、操作ができません。セルフモードを「OFF」に設定してから操作し直してください。→P134

全再生制限回数：XX

ダウンロードしたｉモーションには再生制限が設定されています。画面に表示される回数のみ再生が可能です。
（XX）には全再生制限回数が表示されます。

操作できませんでした

エラーが発生したため、ネットワークサービスの操作ができません。操作し直してください。

操作内容をご確認ください

サービスコードまたは電話番号が異なるため、ネットワークサービスの操作ができません。

送信できません　宛先を確認してください（451）

メールが正しく送信できませんでした。宛先を確認してから再度送信してください。→P182

送信できませんでした　送信先のメールがいっぱいです（551）
送信相手のメールが一杯のため、送信できません。

送信できませんでした（552）
メールが正しく送信できませんでした。

送信メールがいっぱいです
- 未送信BOXが一杯、またはメモリ不足のため、メール／SMSを新規作成できません。不要なメール／SMSを削除してください。→ P196、P197、P198
- 未送信BOXが一杯、またはメモリ不足のため、メール／SMSを返信、転送できません。不要なメール／SMSを削除してください。→P196、P197、P198

そのソフトは最新です
目的のソフトが更新されていないため、実行できません。

ソフトサイズ（<X>K）は使用可能なメモリ容量を超えています いくつかのソフトを削除しますか？
容量が不足しています。いくつかのソフトを削除してください。削除する場合は［はい］を押します。

対応機種ではありません
- ソフトのデータに誤りがあるため、ダウンロードできません。
- ダウンロードやバージョンアップしようとしているソフトはFOMA 端末に対応していません。

タイトルが無効です
入力したダウンロード辞書のタイトルが無効です。

ダイヤル発信制限 電話帳からのみ発信できます
「ダイヤル発信制限」を「ON」に設定しているときに、電話帳以外の機能を利用して電話の発信をしようとしました。「ダイヤル発信制限」を「OFF」に設定してから操作し直してください。→P137

ダウンロードできませんでした
- ソフトウェア更新でソフトウェアのダウンロード中にエラーが発生しました。しばらくしてから操作し直してください。
- 他の機能が動作中、またはエラーが発生したためダウンロードできませんでした。

ダウンロード不可 このデータを取得するためには時刻設定をしてください
日付時刻が正しく設定されていないため有効期限があるファイルをダウンロードできません。日付時刻を設定してからダウンロードしてください。→P48

ダウンロードを中止しました。
- 電波が弱いため、ｉモードが中断されました。電波の強い場所に移動してから操作し直してください。
- 電波が強い（ ）状態で表示された場合は、接続したサイトが非常に込み合っています。しばらくたってから接続してください。

他機能実行中
他の機能が起動中のためソフトウェア更新ができません。起動中の機能を終了してから操作し直してください。

ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい
- FOMA 端末の利用が制限されているため、ｉモードメールの送受信やｉモード接続などのパケット通信ができません。しばらくしてから操作し直してください。
- パケ・ホーダイをご利用の場合、一定時間内に大量の通信を行うと、一定時間接続できなくなることがあります。しばらくしてから再度接続してください。

ただいまｉモードメールが混みあっています　しばらくお待ち下さい
回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

単語は無効です
単語入力画面で何も入力していないで●を押したため、ユーザ辞書を登録できません。単語を入力してください。

端末暗証番号（6桁）が違います
入力した端末暗証番号が間違っています。正しい端末暗証番号を入力してください。

端末暗証番号（6桁）が違います 再入力してください
入力した端末暗証番号が間違っています。正しい端末暗証番号を入力してください。

チャネル情報取得失敗
ｉチャネルの情報を取得できませんでした。電波の強い場所で再度操作してください。

通信中です　受信できません
通信中のためｉモードサービスは利用できません。通信を終了してから再度操作してください。

通信中です　送信できません
通信中のため送信できません。通信を終了してから再度送信してください。

通信に失敗しました
サーバへの接続に失敗したためソフトウェア更新ができません。しばらくしてから操作し直してください。

データがいっぱいのためダウンロードできません
FOMA端末のメモリが不足しているため、ダウンロード辞書を保存できません。不要なデータを削除してから操作し直してください。→P303

データが保護されているため削除できません
検知した警告レベル3またはレベル4のデータを削除できません。

デュアルネットワークサービス未契約です
デュアルネットワークサービスをご契約いただいていない状態でデュアルネットワークサービスの操作をしました。

次のページへ続く

テレビ電話
開始エラー

エラーが発生したためテレビ電話を発信できません。操作し直してください。

電源が入っていなかったため予約起動時刻に更新できませんでした

予約した日時にFOMA端末の電源が入っていなかったため、ソフトウェア更新ができませんでした。[更新]を押して端末暗証番号を入力し、ソフトウェア更新を操作し直してください。

転送サービス未契約です

転送でんわサービスをご契約いただいていない状態で転送でんわサービスの操作をしました。

転送先番号を設定してください

サービスコードまたは電話番号が異なるため、転送先の電話番号を変更できません。

電池不足です　フル充電してください

電池残量が少ないためソフトウェア更新ができません。フル充電してから操作し直してください。

電池不足のため起動できません

電池残量が少ないためスキャン機能を起動できません。フル充電してから操作し直してください。

テンプレートとして保存できません

デコレーションが設定されていないため、テンプレートとして保存できません。

登録機器なし
Bluetooth登録機器はありません

登録機器リストに登録したBluetooth機器がありません。

登録中です　しばらくしてからご利用ください（554）

ユーザ登録中のため操作できません。しばらくしてから再度操作してください。

登録できませんでした

登録に失敗したため、着信番号を拒否登録できませんでした。操作し直してください。

登録不可
Bluetooth登録機器リストがいっぱいです

登録済みの機器が一杯のため機器登録できません。不要な登録を削除してから操作し直してください。→P275

時計
カレンダー表示中は時計をアナログに変更できません

「待受画面」の「スケジュール」が「ON」に設定されているため、「画面表示設定」の「時計」の設定を変更できません。

名前登録済み
グループ名が重複しています　別の名称を付けてください

入力したグループ名は既に登録されています。別の名前を入力してください。

名前を入力して下さい

- 名前を入力していないため、国際アクセス番号を登録できません。名前を入力してください。
- 名前を入力していないため、国番号を登録できません。名前を入力してください。

入力データ又はURLが長すぎます

URLの文字数が多すぎるため、接続できません。URLの文字数は半角で最大256文字です。

入力データをご確認ください（205）

入力内容が間違っています。入力内容を確認してから再度操作してください。

認識できないデータ
認識できないデータについては表示されません

受信した電話帳やスケジュール／ToDo のデータに認識できないデータが含まれています。

認証タイプに未対応です（401）

対応していない認証タイプのため接続できません。

認証に失敗しました

- 入力した認証パスワードが間違っています。正しい認証パスワードを入力してください。
- 電話帳などの全件送信時に入力した端末暗証番号が間違っている、または端末暗証番号／認証パスワードの入力時に[中止]を押しました。正しい端末暗証番号を入力するか、操作し直してください。

ネットワーク暗証番号が誤っています

入力したネットワーク暗証番号が間違っています。正しいネットワーク暗証番号を入力してください。

ネットワーク時刻が不明なため利用できません

ネットワークの時刻情報が利用できないため、「自動時刻補正」の設定を変更できません。

ネットワーク時刻未設定
再生制限付きコンテンツはネットワーク時刻が設定されるまで使用できません

ネットワークの時間情報が無効なため、有効期限が設定されている著作権保護ファイルを再生できません。

ネットワークはご利用できません

ネットワークの検索に失敗しました。操作し直してください。

ネットワークリストがいっぱいです

優先ネットワークリストが一杯のためネットワークを追加／登録／挿入できません。優先ネットワークリストの不要なネットワークを削除してから操作し直してください。→P314

バーコードリーダーを起動できませんでした

エラーが発生したためバーコードリーダーを起動できませんでした。

バージョン表示できませんでした

パターンデータのバージョン表示に失敗しました。操作し直してください。

パスキーが違います
再度行って下さい

入力したパスキーが間違っている、またはパスキーの認証中に［中止］を押しました。正しいパスキーを入力するか、操作し直してください。

パスキーが違います
パスキーは1桁以上で入力してください

入力したパスキーが照合できません。正しいパスキーを入力してください。

パターンデータは最新です

パターンデータは最新のため、更新は必要ありません。

ピクチャーを転送できません
XXXXX※
このファイルは転送できません
※ファイル名が表示されます。

送信できないファイルが含まれているため、ファイルを削除してから電話帳がBluetooth／赤外線経由で送信されます。

ピクチャーを添付できません
XXXX※
このピクチャー形式はサポートされていません
※：ファイル名が表示されます。

送信できない形式のファイルが含まれているため、ファイルを削除してから電話帳がBluetooth／赤外線経由で送信されます。

日付が未設定のため更新できません

日付時刻が正しく設定されていないためスキャン機能を起動できません。日付時刻を設定してから操作し直してください。→P48

ファイルが大きすぎるためメールに添付できません　保存しますか？

編集したｉモーションは、メールに添付できないファイルサイズで保存されます。保存する場合は［はい］を押します。

ファイルが壊れていました(493)

取得したファイルが壊れているため、操作できません。

ファイル形式が認識できません

本FOMA端末では認識できないファイル形式のため受信できません。

ファイルサイズが小さいため利用できない編集項目があります

ファイルサイズが60×60ドット以下のため、編集できない項目があります。

ファイルサイズが不正です　ダウンロードできません

ダウンロード辞書のデータサイズが不正なため、ダウンロードできません。

ファイル制限ありの画像を削除しました

制限が設定されている画像を削除しました。テンプレートに画像は引用されません。

<ファイル名>がすでに存在しています　上書きしますか？

既に存在するファイル名で保存しようとしています。上書き保存する場合は［はい］を、他のファイル名で保存する場合は［いいえ］を押します。

ファイルを添付することができません

添付ファイルが制限数を超えているのでこれ以上添付できません。→P187

付加番号X※は未契約です
※：操作した付加番号の数字（1または2）が表示されます。

付加番号1または2をご契約いただいていない状態で付加番号1または2の登録操作をしました。

不正なファイルです

ダウンロード辞書が不正なため、ダウンロードできません。

フレーム画像は対応していません

フレーム画像には対応していないため保存できません。

変更完了　サマータイムを設定しました

時計設定とスケジュール／ToDoの時刻がサマータイムに補正されました。

他の機能が起動中のため起動できません

他の機能が起動中のためスキャン機能を起動できません。起動中の機能を終了してから操作し直してください。

保護された画面メモが含まれているためフォルダ削除できません

選択したフォルダ内に保護された画面メモが含まれているため、フォルダを削除できません。保護を解除してから削除してください。→P167

保護のため削除できません

保護されているため削除できません。保護を解除してから削除してください。→P167、P173、P195、P196、P197、P198

保護メールが含まれているためフォルダ削除できません

保護されているメールが含まれているため、フォルダを削除できません。保護を解除してからフォルダを削除してください。→P195、P196、P197、P198

保存不可
最低1つの電話番号か宛先情報の入力が必要です

必要な情報が入力されていないため、電話帳を登録できません。電話番号、メールアドレス、URL、住所のいずれかの項目を入力してください。

保存不可
電話番号またはメールアドレスを入力してください

必要な情報が入力されていないため、電話帳を登録できません。電話番号、メールアドレスのいずれかの項目を入力してください。

保存不可
名前を入力してください

名前を入力していないため、電話帳／グループを登録できません。名前を入力してください。

次のページへ続く

**本体に作成しますか？
FOMAカード（UIM）がいっぱいです**

FOMAカードのメモリが一杯のため、電話帳を保存できません。[はい]を押してFOMA端末（本体）電話帳に登録するか、不要な電話帳を削除してから操作し直してください。→P107

**本体又はFOMAカード（UIM）のメモリに空きがありません
SMSを受信するには不要なメールを削除してください**

受信BOXが一杯、メモリ不足、またはFOMAカードの保存容量が不足しているため、SMSを受信できません。不要なデータを削除するか、メール／SMSの保護を解除してください。

本文入力サイズオーバーです　本文を削除してください

本文に入力できる最大文字数を超えています。本文を削除してください。

待受エラーです　待受から解除しますか？

ｉアプリ待受画面にエラーが発生しました。待受画面から解除する場合は［はい］を、解除しない場合は［いいえ］を押します。

マナーモードに設定されています。音声を再生しますか？

FOMA端末がマナーモードに設定されています。音声付で動画やメロディを再生する場合は、[はい］を押します。

マルチナンバー未契約です

マルチナンバーをご契約いただいていない状態でマルチナンバーの操作をしました。

見つかりません

入力した数字に対応する番号にサービスダイヤルがありません。

**未登録番号
クイックアクセス番号X※
クイックアクセス番号が無効です
※：入力した番号が表示されます。**

入力したクイックアクセス番号（P101）が無効です。

**未登録番号
クイックアクセス番号X※
未登録
※：入力した番号が表示されます。**

入力したクイックアクセス番号（P101）が設定されているFOMAカード電話帳がありません。

**未登録番号
スピードダイヤル番号X※
スピードダイヤルが設定されていません
※：入力した番号が表示されます。**

入力した番号にスピードダイヤルが登録されていません。スピードダイヤルを登録してください。
→P109

未入力のため保存できません

To(宛先)、Sub(件名)、本文(本文）に何も入力されていない場合、ファイルも添付されていない場合は保存できません。

**無効
正しいメールアドレスを入れて下さい**

メールアドレスが正しく入力されていません。ドメインなどの入力内容を確認してください。

無効なデータが含まれています

読み取った情報にFOMA端末では対応していないデータが含まれているため、認識できません。

無効なデータを受信しました（XXX）

受信したデータにエラーがあるためサイトを表示できません。
（XXX）には3桁の数字が表示されます。

無効な文字は貼り付けされません

コピー／切り取りした文字に貼り付けできない文字が含まれているため、貼り付けできません。

**無効
@を入力してください**

メールアドレスに「@」が入力されていません。「@」を入力してください。

名称が不正です

使用できない文字を入力したため、「メモリ確認」の名称変更ができません。アルファベット、数字、または記号（／ ￥ ＊ < > : " ? | ）を使用してください。

迷惑電話ストップサービス未契約です

迷惑電話ストップサービスをご契約いただいていない状態で迷惑電話ストップサービスの操作をしました。

メール選択受信がONのため起動できません

「メール選択受信設定」を「ON」に設定している場合は、チャットメールを利用できません。「メール選択受信設定」を「OFF」に設定してください。→P199

メールフォルダ数がいっぱいのためダウンロードできません

受信BOXのフォルダ数が一杯のため、メッセージｉアプリをダウンロードできません。不要なフォルダを削除してからダウンロードしてください。→P195

メール・メッセージがいっぱいです

受信BOXが一杯、メモリ不足、またはメッセージR/Fが最大保存件数まで保存されているため、メール／SMS、メッセージR/Fを受信できません。不要なデータを削除するか、メール／SMS、メッセージR/Fの保護を解除してください。

**メッセージ
オーバーした文字を削除しました**

入力可能桁数（20桁）を超える電話番号をSMSの宛先に入力しようとしたため、超えた分が削除されました。

メッセージがいっぱいです

メッセージR/Fが最大保存件数まで保存されている、またはメモリ不足のため、メッセージR/Fを受信できません。不要なデータを削除するか、メッセージR/Fの保護を解除してください。

メッセージ
セルフモード設定中です

セルフモードを「ON」に設定中のため、iモードやiチャネルの通信、メールの送信ができません。セルフモードを「OFF」に設定してから、操作し直してください。
→P134

メッセージ
ダイヤル発信制限設定中です

「ダイヤル発信制限」を「ON」に設定しているときに、電話帳以外の機能を利用してメールの作成・送信をしようとしました。「ダイヤル発信制限」を「OFF」に設定してから操作し直してください。
→P137

メッセージ
メモリが足りません

FOMA端末のメモリが不足したため、iモード機能を利用できません。利用中の機能を終了してから操作し直してください。

メモリがいっぱいです
データBOXを更新するには空き容量が必要です　ファイルを削除しますか？

- FOMA端末のメモリが一杯のため、データをダウンロードできません。[ch]［はい］を選択して削除するファイルを選択してください。
- FOMA端末のメモリが一杯のため、データBOXを開けません。[ch]［はい］を選択して削除するファイルを選択してください。

メモリがいっぱいです
電話帳を本体にコピーできません

FOMA端末のメモリが一杯のため、電話帳をコピーできません。不要な電話帳を削除してから操作し直してください。→P107

メモリがいっぱいです
電話帳をFOMAカード（UIM）にコピーできません

FOMAカードのメモリが一杯のため、電話帳をコピーできません。不要な電話帳を削除してから操作し直してください。→P107

メモリが一杯です。古いメールを削除して下さい

受信メール、メッセージが最大保存件数まで保存されているため、これ以上受信できません。不要な受信メール、メッセージを削除してください。→P173、P174、P196、P197、P198

メモリがいっぱいです：本体からFOMAカード（UIM）へコピー：X／X※
※：「コピー済みの件数／全コピー件数」が表示されます。

FOMAカードのメモリが一杯のため、電話帳をコピーできません。不要な電話帳を削除してから操作し直してください。→P107

メモリがいっぱいです：FOMAカード（UIM）から本体へコピー：X／X※
※：「コピー済みの件数／全コピー件数」が表示されます。

FOMA端末のメモリが一杯のため、電話帳をコピーできません。不要な電話帳を削除してから操作し直してください。→P107

メンバーがいっぱいで登録できません

チャットメンバーに既に5件登録されているため、これ以上登録できません。チャットメンバーを削除して登録してください。
→P202

メンバー設定を行ってください

チャットメンバーに登録していない相手にはチャットメールは送信できません。チャットメンバーに登録してください。→P201

文字数制限を超えているため貼り付けできません

入力できる文字数を超えるため、すべての文字を貼り付けできません。

文字入力サイズオーバーです　本文を削除してください

メール本文に入力できる最大文字数を超えるため、本文を入力できません。本文を削除してください。

ユーザ証明書がありません　継続しますか？

ユーザ証明書がダウンロードされていません。接続するときは[ch]［はい］を、接続を中止するときは[i]［いいえ］を押します。
ただし、[ch]［はい］を押してもサイトによっては接続できない場合があります。

ユーザ証明書の有効期限が切れています。　継続しますか？

ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続するときは[ch]［はい］を、接続を中止するときは[i]［いいえ］を押します。

読み取りできませんでした　もう一度読み取ってください

30秒経過したため、読み取りできませんでした。もう一度読み取りを行ってください。

読みは無効です

読み入力画面で何も入力していないで●を押したため、ユーザ辞書を登録できません。読みを入力してください。

予約がいっぱいです

予約が一杯のためソフトウェア更新の予約ができません。予約を別の日時に変更してください。

リマインダは日付／時刻より後に設定してください

リマインダの設定が無効です。スケジュール／ToDoの開始日時／期日を確認してください。

利用不可
このカードは認識できません

FOMAカードにアクセスできない、または不正なFOMAカードが取り付けられています。FOMAカードを取り付け直すか、正しいFOMAカードを取り付けてください。→P39

利用不可
再生可能回数が終了しました　削除しますか？

再生可能回数が残っていないため、ファイルを表示／再生できません。[ch]［はい］を押すとファイルを削除します。

次のページへ続く

利用不可
再生可能期限が切れました　削除しますか？

再生可能期限が切れたため、ファイルを表示／再生できません。 [はい]を押すとファイルを削除します。

利用不可
再生可能日前です　再生できません

再生開始日が設定されているファイルを再生開始日前に再生しようとしました。再生開始日になってから操作してください。

利用不可
指定されたファイルは再生できません

有効期限が切れている、再生可能回数が終了している、または再生エラーが発生したため、ファイルを再生できません。

利用不可
日付時刻を再度設定してください

ネットワークの時刻情報にアクセスできないため、有効期限が設定されている著作権保護ファイルを再生できません。

留守番および転送サービス未契約です

留守番電話サービスおよび転送でんわサービスをご契約いただいていない状態で通話中着信設定の操作をしました。

留守番サービス未契約です

- 留守番電話サービスをご契約いただいていない状態で留守番電話サービスの操作をしました。
- 留守番電話サービスをご契約いただいていない状態で転送先通話中時設定の操作をしました。

ローミングガイダンスを有に設定中です

ローミングガイダンスを開始に設定しているときに開始の操作をしました。

ローミングガイダンスを無に設定中です

ローミングガイダンスを停止に設定しているときに停止の操作をしました。

ローミングサービス未契約のため操作できません

- ローミングガイダンスをご契約いただいていない状態でローミングガイダンスの操作をしました。
- WORLD WINGをご契約いただいていない状態でローミング時着信規制の操作をしました。

ローミング中のため起動できません

- ローミング中のため、パターンデータを更新できません。FOMAネットワーク内で操作し直してください。
- ローミング中のためソフトウェア更新の操作ができません。FOMAネットワーク内で操作し直してください。

Bluetooth通信中
他のBluetooth機器に接続されています

Bluetooth機器に接続中のため、機器検索ができません。接続を切断してから操作し直してください。

Bookmarkが登録済みです　上書きしますか？

既に同じURLのブックマークが登録されています。上書きする場合は [はい]を、登録しない場合は [いいえ]を押します。

Bookmark200件登録済みです　上書きしますか？

ブックマークが最大保存可能件数まで保存されています。上書きする場合は [はい]を、登録しない場合は [いいえ]を押します。

Error

ネットワークサービスの設定確認に失敗しました。操作し直してください。

FOMAカード認識不可
カードが認識できませんでした

- FOMAカードが取り付けられていません。FOMAカードを取り付けてください。→P39
- 不正なカードが取り付けられています。正しいFOMAカードを取り付けてください。→P39
- PIN1コードがロックされているFOMAカードが取り付けられています。PINロック解除コードを入力してロックを解除してください。→P132
- PIN1コードのロック中にPINロック解除コードの入力を10回連続で間違ったため、PINロック解除コードがロックされました。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。→取扱説明書裏面
- FOMAカードが故障しています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。→取扱説明書裏面

FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした

FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。ファイル取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから操作してください。

FOMAカード（UIM）が未挿入です　ご利用になれません

FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入してから再度操作してください。

FOMAカード（UIM）内のSMSがいっぱいです

FOMAカード内のSMSが最大保存可能件数まで保存されています。不要なSMSを削除してから移動、コピーしてください。
→P196、P197、P198

FOMAカード（UIM）に作成しますか？
本体メモリがいっぱいです

FOMA端末のメモリが一杯のため、電話帳を保存できません。 [はい]を押してFOMAカード電話帳に登録するか、不要な電話帳を削除してから操作し直してください。→P107

FOMAカード（UIM）を挿入してください

- FOMAカードが挿入されていません。FOMAカードを挿入してから再度操作してください。
- FOMAカードが取り付けられていない、または正しいFOMAカードが取り付けられていないため、パターンデータを更新できません。FOMAカードを取り付けてから操作し直してください。→P39

ｉアプリの通信回数が多くなっています。　通信を継続しますか？

ｉアプリご利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。継続してｉアプリの通信を行う場合は［続行］を、終了する場合は［終了］を押します。

ｉアプリDXは登録データと携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用することがあります　ダウンロードしますか？

IP（情報サービス提供者）が「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」によるお客様の識別が必要な場合に表示されます。「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」はインターネットを経由して送信されるため、第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。接続する場合は［ダウンロード］を選択します。

ｉアプリDXは登録データを利用することがあります　ダウンロードしますか？

ダウンロード時にお客様の携帯電話に保存されている登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュールなど）を利用します。ダウンロードする場合は［ダウンロード］を選択します。

ｉモーション再生サイズを超えています

データ量が最大サイズを超えているので取得できません。

ｉモーション再生サイズを超えました

データ量が最大サイズを超えているので取得できませんでした。

ｉモードセンターが混みあっています　しばらくお待ち下さい

回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

ｉモード問合せ設定が全て無効です

「ｉモード問合せ設定」の項目すべてにチェックが付いていません。問い合わせる項目にチェックを付けてから再度操作してください。→P199

microSDにアクセスできません

microSDメモリーカードを利用する画面を表示中に、FOMA USB接続ケーブル（別売）を接続したため、microSDメモリーカードにアクセスできません。microSDモードを利用する場合は、待受画面またはmicroSDメモリーカードを利用しない画面でFOMA USB接続ケーブルを接続してください。

PINロック　PINロック中はいくつかの機能が使用できない可能性があります

PIN2コードのロック中にPINロック解除コードの入力を10回連続で間違ったため、PINロック解除コードがロックされました。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。→取扱説明書裏面

SSL通信が切断されました

- 書き換えられたSSL証明書を受信したか、SSLエラーが発生したため接続できませんでした。
- SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。再度接続し直してください。

SSL通信が無効です

サーバの認証エラーのため接続できませんでした。

SSL通信が無効に設定されています

SSL証明書が無効に設定されています。SSL証明書を有効に設定してください。→P174

ToDoリスト名なし　このToDoリストを保存するにはToDoリスト名が必要です

ToDoの名前が入力されていないため ToDo を登録できません。「ToDoリスト」を入力してください。

URLが長すぎて登録できません

URLの文字数が多すぎるため、ブックマークや画面メモに登録できません。登録できるURLの文字数は、半角で最大256文字です。

URLが長すぎるためコピーできませんでした

URLの文字数が多すぎるため、コピーできません。コピーできる文字数は、半角で最大256文字です。

URLが長すぎるため保存できませんでした

URLの文字数が多すぎるため、保存できません。保存できる文字数は、半角で最大256文字です。

XXXXX※：見つかりません　※：押したダイヤルボタンの数字が表示されます。

入力した数字に対応する番号にネットワークが登録されていない、または発着信履歴が記録されていません。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA 端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末の故障・修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※ 本FOMA端末は、静止画などデータBOX内のデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
  ※ パソコン（Windows 2000、Windows XP）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」を参照してお調べください。それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受け付けとなります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有償修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有償修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA 端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - FOMA端末・FOMA カードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。
  - 改造（部品の交換・改造・塗装など）が施されたFOMA端末の故障修理は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

  使用箇所：スピーカー、受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に限り移し替えます（一部移し替えできないコンテンツもあります。また故障の程度によっては移し替えができない場合があります）。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。

ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ」でご案内させていただきます。

ソフトウェア更新には、次の2種類の方法があります。

即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。

予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

次のページへ続く

- ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合も、ソフトウェア更新を行えます。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池パックをフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 電源が入っていない
  - 電池残量が少ない
  - 時計を設定していない
  - 通話中
  - オールロック中
  - PIN1コードを入力中
  - 国際ローミング中
  - FOMAカードが未挿入
  - 圏外にいる
  - 他の機能が動作中
  - セルフモード中
  - パソコンなどの外部機器と接続中
  - PIN1コードロック中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中に音声電話を受けることはできます。
- ソフトウェア更新の際にはサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）へSSL通信を行います。SSL証明書を有効にしておいてください。（お買い上げ時：すべて有効、設定方法→P174）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが５本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- 既にソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、「メール選択受信」を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。→P188
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

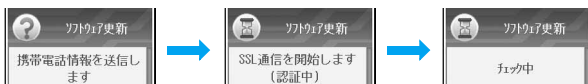
お知らせ

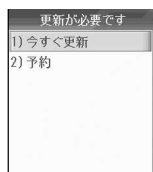
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、FOMA 端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います）。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

ソフトウェア更新を起動する

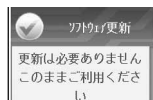
1 (●)▶(設定)▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力

2 注意事項を確認▶(ch)［OK］

3 [OK]▶[OK]

4 **チェック結果が表示される**

更新を行うには、すぐに更新する方法（P361）と、更新する日時を予約して更新する方法（P362）があります。

確認結果画面

■ **更新の必要がない場合**

右の画面が表示されます。

今すぐ更新

すぐにソフトウェアを更新する

1 **確認結果画面（P361）▶「今すぐ更新」▶「ダウンロードします」と表示されたら [OK]**

ダウンロードが開始され、ダウンロードが完了するとソフトウェア書き換えの確認画面が表示されます。

2 [OK]

書き換えの進行状況が「%」で表示され、書き換えが完了するとFOMA端末が自動的に再起動し、サーバーに接続して更新完了チェックが行われます。正常に更新が完了すると更新完了通知画面が表示されます。

- 書き換えが開始されるまでしばらく時間がかかる場合があります。
- 書き換え中はすべての操作が無効になります。

3 [OK]

予約

日時を予約してソフトウェアを更新する

ダウンロードに時間がかかる場合や、サーバーが込み合っている場合には、ソフトウェア更新を行う日時を予約して、自動的にソフトウェア更新するように設定できます。

1 確認結果画面(P361)▶「予約」

サーバーと通信を行い、予約可能な日時が表示されます。

■ **希望する日時が表示されない場合**
希望日などを指定してサーバーに予約できる日時を再表示します。→P362

希望日時選択画面

2 日時を選択▶●▶ch[はい]

お知らせ

- スケジュールアラームなどの起動中や、メールやメッセージの受信中、他の機能を利用中にソフトウェア更新の予約日時になった場合は、ソフトウェア更新が起動しない場合があります。
- 「端末初期化」を行った場合は予約がキャンセルされるため、再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。
- 希望日時選択画面に表示される時刻は、サーバーの時刻が表示されます。

日時を指定して予約ができるか確認する

予約したい日付と時間帯を指定して、サーバーに予約できる日時を再表示できます。

1 希望日時選択画面(P362)▶ch[その他]

希望日画面が表示されます。

2 ✥で希望日を選択▶ch[選択]

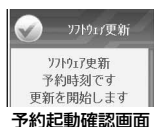
時間帯画面が表示されます。

- ch［詳細］：マークの意味を確認します。マークの意味は次のとおりです。
  ○：空きあり
  △：空きわずか
  ×：空きなし

3 時間帯を選択▶●

希望日時選択画面に戻ります。

- 以降は「日時を予約してソフトウェアを更新する」の操作2（P362）へ進みます。

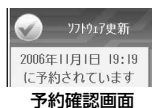
■ **予約日時になると**
右の画面が表示され、自動的にソフトウェア更新が開始されます。
- 予約日時の前は、電池パックをフル充電し、電波が強くアンテナマークが5本表示される場所に移動し、待受画面を表示した状態にしてください。

予約起動確認画面

予約の確認をする

予約を設定してから再度ソフトウェア更新を起動すると、予約の確認ができます。また、取り消しの操作もできます。

1 **●▶ (設定)▶「ソフトウェア更新」▶端末暗証番号を入力**

予約の日時が表示されます。

■ **予約を中止する場合**
機能メニューから「取消」を選択します。→P363

予約確認画面

予約確認画面の機能メニュー

1 **予約確認画面(P363)▶ [機能]▶次の操作を行う**

変更
予約の日時を変更します。
▶ [OK]
• 以降は「日時を指定して予約ができるか確認する」の操作2（P362）へ進みます。

取消
予約を取り消します。
▶ [はい] ▶ [OK]

お知らせ

• 予約確認画面に「機能」が表示されない場合は、 [OK] を押して予約確認画面を閉じ、再度予約の確認操作を行って予約確認画面を表示してください。

スキャン機能

障害を引き起こすデータから携帯電話を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

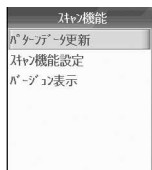
サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

• チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。→P364
• スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
• パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する

お買い上げ時 | 有効

「有効」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。障害を引き起こすデータを検出した場合は、5段階の警告レベルで表示されます。→P365

1 ●▶ (設定)▶「スキャン機能」

スキャン機能画面

2 「スキャン機能設定」▶「スキャン」▶「有効」／「無効」

パターンデータを更新する

1 スキャン機能画面(P364)▶「パターンデータ更新」▶ [はい]
▶ [はい]

更新が開始されます。更新が終了すると完了をお知らせする画面が表示されます。

- パターンデータが最新の場合は、最新をお知らせする画面が表示されます。

2 [OK]

お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号）が、自動的にサーバー（当社が管理するスキャン機能用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の時計を正しく設定しておいてください。
- 次の場合はパターンデータを更新できません。
  - 時計を設定していない
  - FOMAカードが未挿入
  - 通話中
  - セルフモード中
  - 機能ロック中
  - 電池残量が少ない
  - 圏外にいる
  - 他の機能が動作中
  - オールロック中
  - パソコンなどの外部機器と接続中

スキャン結果の表示について

■ **スキャンされた問題要素の表示について**

問題要素を検出すると、問題要素が一覧で5件まで表示されます。6件以上検出された場合は、表示が省略されます。

- 情報が画面に表示しきれない場合は、左ソフトキーに「次項」が表示されます。 [次項] を押すと画面が切り替えられ、左ソフトキーに「OK」または「はい」が表示されます。

■ スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2	警告レベル3	
			■ 削除可能なデータの検出時	■ 削除不可能なデータの検出時
ch［OK］：動作を継続します。	ch［はい］：動作を中止して待受画面または1つ前の画面に戻ります。 ch［いいえ］：動作を継続します。	ch［OK］：動作を中止して待受画面に戻ります。	ch［はい］：データを削除して待受画面または1つ前の画面に戻ります。 ch［いいえ］：動作を中止して待受画面または1つ前の画面に戻ります。	ch［OK］：動作を中止します。再度ch［OK］を押すと、待受画面または1つ前の画面に戻ります。

警告レベル4	
■ 削除可能なデータの検出時	■ 削除不可能なデータの検出時
ch［OK］：データを削除して待受画面または1つ前の画面に戻ります。	ch［OK］：動作を中止します。再度ch［OK］を押すと、待受画面または1つ前の画面に戻ります。

パターンデータのバージョンを確認する

1 スキャン機能画面(P364)▶「バージョン表示」

主な仕様

項目		仕様
品　名		FOMA M702iG
サイズ（H×W×D）		101×53×19.8 mm
質　量		約128g　（電池パック装着時）
メモリ		ROM 64MB（NAND Flashメモリ）＋ROM 64MB（NOR Flashメモリ） RAM 32MB（SDRAM）
連続待受時間	FOMA／3G	静止時：約340時間 移動時：約170時間
	GSM	約270時間
連続通話時間	FOMA／3G	音声電話時：約120分 テレビ電話時：約90分
	GSM	900MHz：約200分 1800／1900MHz：約200分
電池パック種別		リチウムイオン電池
電池容量		900mAh
FOMA ACアダプタ 01（別売）での充電時間		約140分
FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）での充電時間		約140分
FOMA DCアダプタ 01（別売）での充電時間		約140分
カメラ画素数		インカメラ：有効画素数約10万画素（記録画素数約10万画素） アウトカメラ：有効画素数約200万画素（記録画素数約190万画素）
デジタルズーム		インカメラ：最大2倍 アウトカメラ：最大8倍※1
Bluetooth	対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格Ver.1.2に準拠※2
	出　力	Bluetooth標準規格Power Class2
	見通し通信距離※3	約10m以内
	対応Bluetoothプロファイル※4	Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル） Dial-Up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） Headset Profile（ヘッドセットプロファイル） Hands-free Profile（ハンズフリープロファイル） Basic Printing Profile（ベーシックプリンティングプロファイル） Basic Imaging Profile（ベーシックイメージングプロファイル） File Transfer Profile（ファイルトランスファープロファイル） Advanced Audio Distribution Profile（オーディオプロファイル） Audio/Video Remote Control Profile（オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル）
	使用周波数帯	2400MHz帯（2400MHz～2483.5MHz）

※1：静止画撮影時の解像度を保持した状態での最大倍率は4倍、動画撮影時の最大倍率は2倍です。

※2：FOMA端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※3：通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※4：Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールを作成、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面を起動、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画やメロディの再生などを行うと、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA 端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA 端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

FOMA端末に保存／保護できる件数

各データの最大保存件数／最大保護件数は、FOMA端末に保存されているデータ量や、メモリ使用量により異なります。

種　別		最大保存件数	最大保護件数
メール	受信BOX	500件	250件
	送信BOX	300件	150件
	未送信BOX		－
FOMAカードのSMS		20件※1	－
メッセージ	メッセージR	20件	20件
	メッセージF	15件	15件
ブックマーク		200件	－
画面メモ		30件	15件
ｉアプリ	ダウンロードｉアプリ※2	500件※4	－
	メール連動型ｉアプリ※3		－
データBOX	画像		－
	動画／ｉモーション		－
	メロディ		－
	キャラ電		－
	アニメーション		－
	音声メモ		－

※1：受信BOXのSMSのみ保存できます。

※2：ｉアプリのみでは最大60件保存できます（お買い上げ時のｉアプリを含む）。

※3：最大23件保存できます（上記の60件に含まれます）。

※4：1件が 100Kバイトのファイルを保存した場合の目安です。

認証などについて

携帯電話の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA M702iGの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA M702iGのSARの値は0.215W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。なお、本機のSARの値は、ご利用いただけます各国の許容値も満足しております。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ	：http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ	：http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ	：http://www.nttdocomo.co.jp/product/
モトローラ株式会社のホームページ	：http://www.motorola.com/rfhealth

※：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.30W/kg, and when worn on the body, is 0.37W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/

oet/fccid after search on FCC ID IHDT6FM1.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 2.5 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Specific Absorption Rate Data

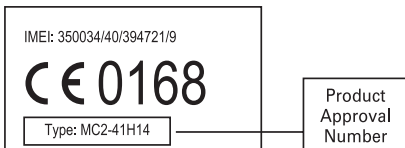
This model meets international guidelines for exposure to radio waves.
Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The ICNIRP SAR limit for mobiles devices used by the general public is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.65W/kg.1 As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide.[2] In this case, the highest tested SAR value is 0.77W/kg.[1]
As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power, the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the governmental requirements for safe exposure. Please note that improvements to this product model could cause differences in the SAR value for later products; in all cases, products are designed to be within the guidelines.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a "hands-free" device to keep the mobile phone away from the head and body.
Additional Information can be found on the websites of the World Health Organization (http://www.who.int/emf) or Motorola, Inc.
(http://www.motorola.com/rfhealth).

1. The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing. The limit incorporates a substantial margin for safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements. Additional related information includes the Motorola testing protocol, assessment procedure, and measurement uncertainty range for this product.
2. Please see the Safety and General Information section about body worn operation.

European Union Directives Conformance Statement

Hereby, Motorola declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

You can view your product's Declaration of Conformity (DoC) to Directive 1999/5/EC (to R&TTE Directive) at www.motorola.com/rtte. To find your DoC, enter the product Approval Number from your product's label in the "Search" bar on the Web site.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 22cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

本製品および付属品の輸出管理について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）並びに米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

索引／クイックマニュアル

索引

た

索引／クイックマニュアル

索引

や

ら

わ

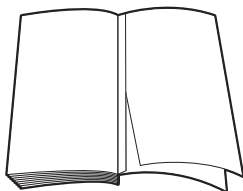
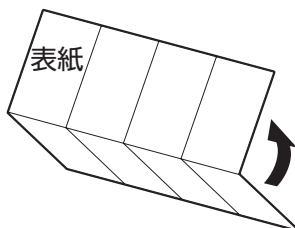
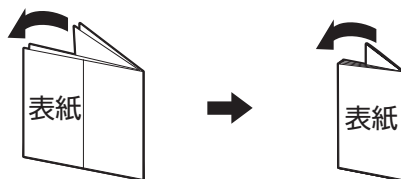
英数字・記号

6809509A04

クイックマニュアルの使いかた

本書から切り離して使用してください。

- 海外でご利用の際に使用していただくと便利なクイックマニュアル「海外利用」は、通常のクイックマニュアルの後ろに掲載しています。
- はさみなどを使用して切り離す場合は、けがなどに気を付けてください。

1 切り取り線に沿ってクイックマニュアルを切り離す

2 縦半分に折り畳む

3 横半分に2回折り畳む

FOMA® M702iG クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHS からの場合
（局番なしの） 151 （無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

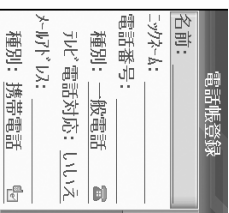
ドコモの携帯電話、PHS からの場合
（局番なしの） 113 （無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話帳の登録

FOMA 端末（本体）電話帳の登録

1 ▶「[新規登録]」

2 「名前」▶名前を入力

3 「フリガナ」▶フリガナを入力

4 「ニックネーム」▶ニックネームを入力

5 「電話番号」▶電話番号を入力▶「種別」▶種別を選択▶ [選択] ▶「テレビ電話対応」▶「はい」／「いいえ」

6 「メールアドレス」▶メールアドレスを入力▶「種別」▶種別を選択▶ [選択]

7 「保存先」▶「本体」

8 「URL」▶URL を入力

9 「住所」▶登録する項目を選択▶●▶住所などを入力▶ [完了] ▶「種別」▶種別を選択▶ [選択]

10「グループ」▶グループを選択▶ [選択]

11「ピクチャー ID」▶画像または動画／i モーションを選択

12「着信音」▶着信音またはメロディを選択

13「キャラ電」▶キャラ電を選択

14「誕生日」▶ で「年」「月」「日」欄を選択▶ ／ダイヤルキーで誕生日を入力

15「シークレット」▶「はい」／「いいえ」

16「着信拒否」▶「はい」／「いいえ」

17「メモ」▶メモを入力

18 [完了]

FOMA カード電話帳の登録

1 ▶「[新規登録]」▶「保存先」▶「FOMA カード（UIM）」

2 「名前」▶名前を入力

3 「フリガナ」▶フリガナを入力

4 「電話番号」▶電話番号を入力

5 「メールアドレス」▶メールアドレスを入力

6 「グループ」▶グループを選択▶ [選択]

7 [完了]

発信履歴／着信履歴から登録

1 ／ で着信履歴／発信履歴を表示▶着信履歴／発信履歴を選択▶ [機能] ▶「登録」

2 登録方法を選択

・「電話帳新規登録」：操作５へ進む
・「通常保存先」に設定している電話帳に１件も登録がない場合は、電話帳登録画面が表示されます。操作５へ進みます。

3 登録する電話帳を選択▶●

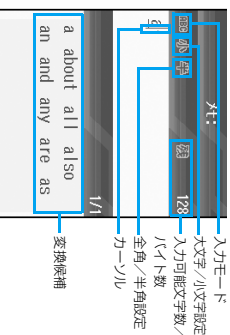
・「電話帳追加登録」の場合は操作５へ進む

4 上書きする電話番号を選択▶ [選択]

5 電話帳を登録／修正▶ [完了]

電話帳の修正

▶電話帳を選択▶ [機能] ▶「編集」▶電話帳を登録／修正▶ [完了]

文字の入力

文字入力画面での主な操作

■入力モードの切り替え
[機能] ▶「入力モード選択」▶入力モードを選択▶ [選択]

■全角／半角の切り替え
（1 秒以上）

■大文字／小文字の切り替え
文字を入力▶

キリトリ線

■濁点／半濁点の付加／入力
ひらがな／カタカナ入力モードで文字を入力 ▶ （複数回）

■句読点の入力
ひらがな／カタカナ入力モードで （複数回）

■改行の入力

■全角／半角スペースの入力
（1 秒以上）

■絵文字／顔文字／記号の入力
（複数回） ▶ 絵文字／顔文字／記号を選択 ▶ ［確定］

文字入力の例

■「ドコモ」を入力する

1 「どこも」を入力

「ど」： を 5 回 ▶ を 1 回
「こ」： を 5 回
「も」： を 5 回

2 で変換候補にカーソルを移動 ▶ で「ドコモ」を選択 ▶ ［確定］

カメラ機能

静止画撮影

1

2 被写体を確認し、 ／

3 ／

動画撮影

1

2 被写体を確認し、 ／

3 ／

4 ／

画像／動画／メロディの再生

画像を表示

1 ▶ （データ BOX） ▶ 「マイピクチャ」

2 フォルダを選択 ▶ ▶ ファイルを選択 ▶

■静止画表示画面の操作
・ ：前のファイル／次のファイルを表示
・ ：全画面表示
・ ：フォルダ内のファイルをスライドショー表示

動画を再生

1 ▶ （データ BOX） ▶ 「ｉ モーション」

2 フォルダを選択 ▶ ▶ ファイルを選択 ▶

■ｉ モーション再生画面の操作
・ ：一時停止／再生
・ ：再生を停止
・ ：前のファイルを再生
・ ：次のファイルを再生
・ （押し続ける）：押している間映像／音声を巻戻し
・ （押し続ける）：押している間映像／音声を早送り
・ ／ ：音量調節

メロディを再生

1 ▶ （データ BOX） ▶ 「メロディ」

2 フォルダを選択 ▶ ▶ ファイルを選択 ▶

■メロディ再生画面の操作
・ ：一時停止／再生
・ ：メロディ再生を停止
・ ：前のファイルを再生
・ ：次のファイルを再生

・ （押し続ける）：押している間メロディを巻戻し
・ （押し続ける）：押している間メロディを早送り
・ ／ ：音量調節

テレビ電話をかける／受ける

テレビ電話をかける

1 相手の電話番号を入力 ▶ ▶ 相手が応答したら通話

2 通話が終了したら

テレビ電話を受ける

1 テレビ電話を着信

・ ／ ：着信音や振動を停止する
・ ：応答を保留する

2 テレビ電話を受ける

・ ／ ：カメラ画像を送信する

・ ［代替画像］：画像／キャラ電を送信する

3 通話が終了したら

テレビ電話中の主な操作

■通話の保留／保留解除
で を選択 ▶
・ ／ ：保留を解除する

■ハンズフリー通話の設定／解除
で を選択 ▶
・もう一度 を押すと解除します。

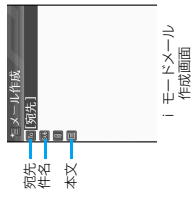
■カメラ画像／代替画像の切り替え
で を選択 ▶
・もう一度 を押すとカメラ画像に戻ります。

■インカメラ／アウトカメラの切り替え
で を選択 ▶
・もう一度 を押すとインカメラに戻ります。

ｉ モードメール

ｉ モードメールの作成／送信

■ｉ モードメール作成画面を表示
▶ 「メール新規作成」

ｉ モードメール作成画面

■宛先を入力
[宛先] 欄を選択 ▶ ▶ 宛先を入力

■件名を入力
[件名] 欄を選択 ▶ ▶ 件名を入力

■本文を入力
[本文] 欄を選択 ▶ ▶ 本文を入力

■ｉ モードメールを送信
［送信］

ファイルの添付

■画像添付
ｉ モードメール作成画面（P14）で [添付] 欄を選択 ▶ ▶ 「イメージ添付」 ▶ フォルダを選択 ▶ ▶ 画像を選択 ▶

■ｉ モーション添付
ｉ モードメール作成画面（P14）で [添付] 欄を選択 ▶ ▶ 「ｉ モーション添付」 ▶ フォルダを選択 ▶ ▶ 動画を選択 ▶

■メロディ添付
ｉ モードメール作成画面（P14）で [添付] 欄を選択 ▶ ▶ 「メロディ添付」 ▶ フォルダを選択 ▶ ▶ メロディを選択 ▶

■静止画／動画を撮影して添付

キリトリ線

iモードメール作成画面(P14)で[添付]欄を選択➧●➧「フォト撮影」／「ムービー撮影」➧静止画／動画を撮影➧ ［挿入］

iモードメールの受信

1 iモードメールを受信➧「メール」➧フォルダを選択➧●➧表示したいiモードメールを選択➧●

iモード問合せ

1 ✉を2回連続で押す

その他のメール機能

■メールの返信

返信したいメールを選択または表示➧ ［機能］➧「返信」／「引用返信」➧本文を入力➧●➧ ［送信］

■メールの転送

転送したいメールを選択または表示➧ ［機能］➧「転送」➧宛先を入力➧●➧ ［送信］

メニュー一覧

アイコン	機能名
iモード	iMenu
	Bookmark
	Internet
	画面メモ
	ラストURL
	メッセージR
	メッセージF
	iモード問合せ
	iモード設定
	タスクメニュー
iアプリ	
メール	受信BOX
	送信BOX
	未送信BOX
	メール新規作成
	SMS新規作成
	チャットメール
	デコメールテンプレート
	タスクメニュー
	iモード問合せ
	SMS問合せ
	メール選択受信

アイコン	機能名	
メール	メール設定	
電話帳		
データBOX	マイピクチャ	
	iモーション	
	メロディ	
	キャラ電	
	アニメーション	
	音声メモ	
アクセサリ	アラーム	
	スケジュール	
	伝言メモ	
	電卓	
	ワールドクロック	
	バーコードリーダー	
	電子辞書	
	通話履歴	
		着信履歴
		発信履歴
		前回入力番号
		通話時間
		通話料金
	カメラ	

アイコン	機能名	
接続設定	(赤外線受信)	
	(Bluetooth通信)	
	(USBモード設定)	
ネットワークサービス	留守番電話	
	キャッチホン	
	転送でんわ	
	迷惑電話ストップ	
	発信者番号通知	
	番号通知お願いサービス	
	通話中着信設定	
	着信動作選択	
	応答メッセージ設定	
	追加サービス	
	遠隔操作設定	
	英語ガイダンス	
	デュアルネットワーク	
	マルチナンバー	
	ローミング時着信規制	
	ローミングガイダンス設定	
	サービスダイヤル	
設定	音／バイブ設定	
		パターン選択
		「音パターン1」詳細設定
		着信イルミネーション
		イベントイルミネーション

アイコン	機能名	
設定	個人設定	
		画面表示設定
		メインメニュー
		ビジュアルテーマ設定
		ウェイクアップメッセージ
		待受画面
		スクリーンセーバー
		マナーモード
	一般設定	
		時計設定
		スピードダイヤル
		ディスプレイ節電設定
		バックライト点灯設定
		充電ランプ
		スクロール
		文字スクロール
		バイリンガル
		文字入力
		明るさ
		DTMF
		設定リセット
		端末初期化
	通話設定	
		時計設定
		通話タイマー設定

アイコン	機能名	
設定	通話設定	
		通話料金設定
		テレビ電話設定
		着信アンサー設定
		保留設定
		着信拒否
		国際ダイヤル設定
		サブアドレス設定
		呼出動作開始時間
	ネットワーク	
		ネットワーク検索
		ネットワーク設定
		利用可能ネットワーク
		優先ネットワークリスト
		圏内通知音
	iアプリ設定	
		ソート
		自動起動
		ソフト情報表示
		照明
		バイブレータ
		起動失敗履歴
		異常終了履歴
		セキュリティーエラー履歴
		トレース情報

アイコン	機能名	
設定	セキュリティ	
		オールロック
		サイドキーロック
		サイドキーロックヘルプ
		機能ロック
		機能ロック設定
		シークレットデータ
		ダイヤル発信制限
		PIN1コード
		PIN2コード
		暗証番号変更
	イヤホン	
		オート着信
		イヤホン切替
	セルフモード	
	情報表示	
		個人データ
		利用可能残量
		電池残量
		メモリ確認
	スキャン機能	
	ソフトウェア更新	

マナーモード

待受画面で #（1秒以上）

公共モード（ドライブモード）

待受画面で *（1秒以上）

ネットワークサービス

留守番電話サービス

留守番メッセージ再生

●➧(ネットワークサービス)➧「留守番電話」➧「留守番メッセージ再生」➧ ［はい］➧音声ガイダンスに従って操作する

留守番サービス開始

●➧(ネットワークサービス)➧「留守番電話」➧「留守番サービス開始」➧ ［はい］➧ ［はい］➧ ／ダイヤルキーで呼出時間を入力

留守番サービス停止

●➧(ネットワークサービス)➧「留守番電話」➧「留守番サービス停止」➧ ［はい］

キリトリ線

キャッチホン

キャッチホンサービス開始

◉▶(ネットワークサービス)▶「キャッチホン」▶「キャッチホンサービス開始」▶[はい]

キャッチホンサービス停止

◉▶(ネットワークサービス)▶「キャッチホン」▶「キャッチホンサービス停止」▶[はい]

通話を保留してかかってきた電話に出る

電話がかかってくる▶[応答]/

■通話の切り替え

[通話切替]

■通話中の電話を切る

/(1 秒以上)

■保留中の電話を切る

[通話切替]▶/(1 秒以上)

通話を終了してかかってきた電話に出る

電話がかかってくる▶[機能]▶「現在通話終了&応答」

転送でんわサービス

転送サービス開始

◉▶(ネットワークサービス)▶「転送でんわ」▶「転送サービス開始」▶「電話番号」▶転送先の電話番号を入力▶「呼出時間」▶/ダイヤルキーで呼出時間を入力▶[開始]▶[はい]

転送サービス停止

◉▶(ネットワークサービス)▶「転送でんわ」▶「転送サービス停止」▶[はい]

FOMA 端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス	電話番号
コレクトコール(料金着信払通話)	(局番なし)106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内(有料)(電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません)	(局番なし)104
電報の発信(有料) 午前 8 時〜午後 10 時	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番+ 177
警察への緊急通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171

主なアイコン

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩

① セルフモードを「ON」に設定中
FOMAカード未挿入
圏外 サービスエリア外/電波が届かない
電波の受信レベル

② iモード通信中
iモード中
公共モード(ドライブモード)を設定中
パケット通信の利用可能エリア内(位置登録されている)

パケット通信の利用可能エリア外(位置登録されていない)

③ 赤外線通信でデータの送受信中
赤外線通信の接続中/待機中/赤外線リモコンの利用中
Bluetooth通信の接続中/待機中

④ SSL対応ページの表示中
FOMAネットワーク接続中

⑤ 音声電話中
テレビ電話中
リマインダを設定したスケジュール/ToDoあり
設定中のアラームあり
「ダイヤル発信制限」を「ON」に設定中
「機能ロック」を「ON」に設定中で、ロックしている機能あり

⑥ 「シークレットデータ」を「表示」に設定中

留守番電話サービスの伝言メッセージあり
(青) 新しい伝言メモあり
(青) 伝言メモを「ON」に設定中

⑦ (赤) FOMA端末内のiモードメールが一杯
(赤) iモードセンターのiモードメールが一杯
(黄) iモードセンターにiモードメールあり
(黄) 未読のiモードメールあり
(赤) FOMAカード内のSMSが一杯
(黄) 未読のSMSあり
(赤) FOMA端末内のメッセージRが一杯
(黄) 未読のメッセージRあり
(赤) iモードセンターのメッセージRが一杯
(黄) iモードセンターにメッセージRあり

(赤) FOMA端末内のメッセージFが一杯
(黄) 未読のメッセージFあり
(赤) iモードセンターのメッセージFが一杯
(黄) iモードセンターにメッセージFあり

⑧ iアプリを起動中/待受画面に設定したiアプリを起動中
iアプリ待受画面を表示中

⑨ マナーモードを設定中
「パターン選択」を「音パターン1」に設定中
「パターン選択」を「音パターン2」に設定中
「パターン選択」を「サイレント」に設定中
「パターン選択」を「バイブ&音」に設定中
「パターン選択」を「バイブレータ」に設定中

⑩ 電池残量表示

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

総合お問い合わせ先〈DoCoMoインフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHS からの場合
(局番なしの) 151 (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話、PHS からの場合
(局番なしの) 113 (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

NTT DoCoMo FOMA® M702iG

クイックマニュアル「海外利用」

海外での紛失、盗難、精算などについて〈DoCoMo インフォメーションセンター〉（24 時間受付）

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 1）
-800-0120-0151

※携帯電話でかけた場合は、滞在国内通話料がかかります。
※携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

●左記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

主要国の国際電話アクセス番号（表 2）
-81-3-5366-3114 ※

※日本向け通話料がかかります。

※M702iG からご利用の場合は＋ 81-3-5366-3114 でつながります（「＋」は [0] （1 秒以上）を押して入力します）。
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 1）／主要国の国際電話アクセス番号（表 2）は、クイックマニュアル「海外利用」の P13、P14 を参照してください。

海外での故障に関して〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24 時間受付）

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 1）
-800-5931-8600

※携帯電話でかけた場合は、滞在国内通話料がかかります。
※携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

●左記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

主要国の国際電話アクセス番号（表 2）
-81-3-6718-1414 ※

※日本向け通話料がかかります。
※表 1、表 2 の番号形態は変更になる場合があります。

※M702iG からご利用の場合は＋ 81-3-6718-1414 でつながります（「＋」は [0] （1 秒以上）を押して入力します）。
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 1）／主要国の国際電話アクセス番号（表 2）は、クイックマニュアル「海外利用」の P13、P14 を参照してください。

ディスプレイの表示

ディスプレイやサブディスプレイに接続中のネットワークを示すアイコンが表示されます。また、ディスプレイには接続中の事業者名も表示されます。

❶ 接続中のネットワークを示すアイコン
- 3G ：国内のFOMAネットワークに接続中
- 3G ：海外の3Gネットワークに接続中
- 2G ：海外のGSMネットワークに接続中
- 2.5 ：海外のGPRSネットワークに接続中

❷ 接続中の事業者名

ネットワークの切り替え

お買い上げ時の設定では、「ネットワーク接続モード」が「オート」に設定されております。日本国内、または 3G エリアネットワーク利用可能エリア内においては、電池消費を減らすために、「ネットワーク切替」を「3G」に設定することを推奨します。

手動でのネットワーク設定

1. ● ▶ (設定) ▶「ネットワーク」▶「ネットワーク設定」
2. 「ネットワーク切替」▶「GSM 1900」／「GSM 900 ／ 1800」／「3G」
3. 「ネットワーク接続モード」▶「マニュアル」
4. [完了]
   - ・マニュアルリスト画面が表示された場合はネットワークを選択して [登録] を押します。

各通信方式と利用できる通信サービス

サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話	○	○	○
テレビ電話	○	×※	×※
i モード	○	×	○
i モードメール	○	×	○
SMS	○	○	○
i チャネル	○	×	○
データ通信	○	×	○

○ ：利用できます。
× ：利用できません。
※ ：発信時は再発信の確認画面が表示され、「音声で再発信」を選択すると音声電話でかけ直します。

電話をかける

日本や滞在国以外に電話をかける

1. [0] （1 秒以上）▶「国番号 - 地域番号（市外局番） - 相手の電話番号」を入力
   - ・地域番号（市外局番）の先頭が「0」の場合や日本の携帯電話・PHS の場合は、「0」を除いて入力します（相手がイタリアなど一部の国・地域の場合は「0」が必要な場合があります）。
   - ・国番号→ P12
2. 発信する
   - ・ ／ ● ：音声電話を発信する
   - ・ ：テレビ電話を発信する
3. 通話が終了したら
   - ・音声電話の場合は、 を 1 秒以上押しても通話を終了できます。

滞在国内に電話をかける

1. 日本国内と同様に相手の電話番号を地域番号（市外局番）から入力
2. 発信する
   - ・ ／ ● ：音声電話を発信する
   - ・ ：テレビ電話を発信する
3. 通話が終了したら
   - ・音声電話の場合は、 を 1 秒以上押しても通話を終了できます。

電話を受ける

1. 電話を着信
   - ・ ／ ：着信音や振動を停止する
   - ・ ：応答を保留する
2. 電話を受ける
   - ・ ／ [応答]：音声電話を受ける
   - ・ ／ ：テレビ電話を受ける（カメラ画像）
   - ・ [代替画像]：テレビ電話を受ける（画像／キャラ電）
3. 通話が終了したら
   - ・音声電話の場合は、 を 1 秒以上押しても通話を終了できます。

キリトリ線

優先的に利用する通信事業者の設定

1 ◉➡(設定)➡「ネットワーク」➡「優先ネットワークリスト」

優先度の高いネットワークがリストの上部に表示されます。

2 「[優先ネットワーク登録]」➡ネットワークコードを入力

ネットワークサービス

遠隔操作設定

・日本国内で設定してください。

◉➡(ネットワークサービス)➡「遠隔操作設定」➡「遠隔操作開始」／「遠隔操作停止」

ローミングガイダンス設定

・日本国内で設定してください。

◉➡(ネットワークサービス)➡「ローミングガイダンス設定」➡「ローミングガイダンス開始」／「ローミングガイダンス停止」

ローミング時着信規制

・日本国内で設定してください。

◉➡(ネットワークサービス)➡「ローミング時着信規制」➡「全着信規制開始」／「データ呼着信規制開始」／「着信規制停止」➡[はい]➡ネットワーク暗証番号を入力

留守番電話（海外）

◉➡(ネットワークサービス)➡「留守番電話」➡「留守番電話（海外）」➡「留守番メッセージ再生」／「留守番サービス開始」／「留守番サービス停止」➡音声ガイダンスに従って操作する

転送でんわ（海外）

◉➡(ネットワークサービス)➡「転送でんわ」➡「転送でんわ（海外）」➡「転送サービス開始」／「転送サービス停止」➡音声ガイダンスに従って操作する

ローミングガイダンス（海外）

◉➡(ネットワークサービス)➡「ローミングガイダンス設定」➡「ローミングガイダンス（海外）」➡音声ガイダンスに従って操作する

帰国後の設定

お買い上げ時の設定では、帰国後に自動的にFOMAネットワークに接続され、が表示されます。

・FOMAネットワークに切り替わらない場合は、「ネットワーク設定」の「通信方式」が「自動」、「タイプ」が「オート」に設定されているか確認してください。

主要国の国番号

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	ドイツ	49
イギリス	44	トルコ	90
イタリア	39	日本	81
インド	91	ニューカレドニア	687
インドネシア	62	ニュージーランド	64
エジプト	20	ノルウェー	47
オーストラリア	61	ハンガリー	36
オーストリア	43	フィジー	679
オランダ	31	フィリピン	63
カナダ	1	フィンランド	358
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
タヒチ	689	モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7
中国	86		

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	タイ	001
アメリカ合衆国	011	台湾	00
アルゼンチン	00	中国	00
イギリス	00	デンマーク	00
イスラエル	014	ドイツ	00
イタリア	00	ニュージーランド	00
オーストラリア	0011	ノルウェー	00
オーストリア	00	フィリピン	00
オランダ	00	フィンランド	990
カナダ	011	フランス	00
韓国	001	ブラジル	0021
コロンビア	009	ベルギー	00
シンガポール	001	香港	001
スイス	00	マレーシア	00
スウェーデン	00	ルクセンブルグ	00
スペイン	00		

主要国の国際電話アクセス番号（表2）

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	トルコ	00
アメリカ合衆国	011	ニュージーランド	00
アラブ首長国連邦	00	ノルウェー	00
イギリス	00	ハンガリー	00
イタリア	00	フィリピン	00
インド	00	フィンランド	00
インドネシア	001		990
オーストラリア	0011	フランス	00
オランダ	00	ブラジル	0041
カナダ	011		0021
韓国	001		0023
ギリシャ	00	ベトナム	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポーランド	00
スウェーデン	00	ポルトガル	00
スペイン	00	香港	001
タイ	001	マカオ	00
台湾	002	マレーシア	00
チェコ	00	モナコ	00
中国	00	ルクセンブルグ	00
デンマーク	00	ロシア	810
ドイツ	00		

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル「海外利用」表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP1の「海外での故障に関して」までお問い合わせください。

・各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表1）」または「主要国の国際電話アクセス番号（表2）」が必要になります。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。
ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

FOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※ 車を安全なところに停車させてからご使用になるか、公共モードをご利用ください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA 端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA 端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）

電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスを流し、通話を切ります。
→P70、P71

●伝言メモ

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。→P73

●着信バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→P115

●マナーモード／オリジナルマナーモード

キー確認音や着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（マナーモード）。
→P117
マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。→P119

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収、リサイクルに出しましょう。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから i Menu ⇒ 料金＆お申込・設定 ⇒ ドコモeサイト　パケット通信料無料

パソコンから My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※ パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方･お忘れの方は、下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて

〈DoCoMo インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1） **-800-0120-0151**

※携帯電話でかけた場合は、滞在国内通話料がかかります。
※携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

●上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表2） **-81-3-5366-3114***

※日本向け通話料がかかります。
※表1、表2の番号形態は変更になる場合があります。

＊M702iGからご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります（「+」は［+0］（1秒以上）を押して入力します）。

・ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1）／主要国の国際電話アクセス番号（表2）は、取扱説明書P308、P309をご覧ください。

海外での故障に関して

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1） **-800-5931-8600**

※携帯電話でかけた場合は、滞在国内通話料がかかります。
※携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

●上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表2） **-81-3-6718-1414***

※日本向け通話料がかかります。
※表1、表2の番号形態は変更になる場合があります。

＊M702iGからご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は［+0］（1秒以上）を押して入力します）。

・ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1）／主要国の国際電話アクセス番号（表2）は、取扱説明書P308、P309をご覧ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元　モトローラ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

大豆油インキを使用しています。

'07.1（2.1版）

FOMA® M702iGデータ通信マニュアル

データ通信マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA M702iGでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「M702iG通信設定ファイル（ドライバ）」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。

Windows XPの操作について

本マニュアルでは、Windows XP Service Pack 2に対応した内容となっております。お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

データ通信について

FOMA端末とパソコンを接続することで、3つの通信形態（パケット通信、64Kデータ通信、データ転送（OBEX））のデータ通信を利用できます。

FOMA端末から利用できるデータ通信について

■ パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金される通信形態で、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの通信速度でデータ通信ができます。
パケット通信を行うには、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）やBluetoothで接続し、ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」などのFOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用します。

- パケット通信を利用して多量のデータの送受信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

■ 64Kデータ通信

ネットワークへの接続時間に応じて通信料金がかかる通信形態で、64kbpsの通信速度でデータ通信ができます。
64Kデータ通信を行うには、FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルやBluetoothで接続し、ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」や「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信対応のアクセスポイント、またはISDN同期64K対応のアクセスポイントを利用します。

- 64Kデータ通信を利用して長時間のネットワーク接続を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

■ データ転送（OBEX）

FOMA USB接続ケーブルや赤外線、Bluetoothを利用して、データを送受信する通信形態です。
FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続してデータ転送を行うには、データリンクソフトをパソコンにインストールする必要があります。赤外線やBluetoothによるデータ転送を行うには、通信を行うパソコンなどの機器に赤外線やBluetoothの機能が搭載されている必要があります。

FOMA端末とパソコンなどの機器との接続方法

FOMA端末とパソコンなどの機器を接続してデータ通信を行うには、次の接続方法があります。

■ FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用する（USB接続）

FOMA端末とパソコンなどの機器をFOMA USB接続ケーブルで接続することで、すべての通信形態（パケット通信、64Kデータ通信、データ転送（OBEX））を利用できます。

- FOMA USB接続ケーブルで接続する際は、通信設定ファイル（ドライバ）のインストールが必要になります。→P3
- ご利用の際は、USBモード設定を「通信モード」に設定してください。→P5

■ Bluetoothを利用する（Bluetooth接続）

Bluetoothを利用することで、すべての通信形態（パケット通信、64Kデータ通信、データ転送（OBEX））を利用できます。

- Bluetoothで接続する際は、Bluetooth接続経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムを使用してください。インストールおよび設定については、お使いのパソコンやBluetooth機器メーカにお問い合わせください。

■ 赤外線を利用する

赤外線機能を利用することで、データ転送（OBEX）の通信形態を利用できます。
赤外線機能を搭載したパソコンなどの機器との間でデータの送受信ができます。

ご利用にあたっての留意点

■ インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

■ 接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

次のページへ続く

■ ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細については、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要になります（条件が整っていても基地局の混雑状況や電波状態によって通信できないことがあります）。

- FOMA USB接続ケーブルが利用できるパソコンであること
- Bluetoothで接続する場合、パソコンなどの機器がBluetooth標準規格Ver.1.2のDial-Up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）に対応していること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントが FOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、アクセスポイントがFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

■ データ通信の用語について

APN （Access Point Name）

パケット通信の接続先（プロバイダやLANなど）を識別します。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」は、APNでは「mopera.net」で表現されます。

cid（Context Identifier）

パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末に登録するときの登録番号です。FOMA端末では1～10までのcidを使って10件のAPNを登録できます。

DNS（Domain Name System）

「nttdocomo.co.jp」のような人が理解しやすいドメイン名をコンピュータが管理するための数字によるアドレスに変換するシステムです。

OBEX（Object Exchange）

IrDA（Infrared Data Association）で規定されたファイル転送用の通信規約（プロトコル）です。OBEXプロトコルを利用できる機器との間で、電話帳やスケジュールの登録内容、画像などのデータを送受信できます。

QoS（Quality of Service）

ネットワークのサービス品質を示します。FOMA端末ではデータの通信速度の条件を指定できます（接続時の速度は通信状況などによって可変します）。

W-TCP

FOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP／IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、TCPパラメータの最適化が必要となります。

パソコンの管理者権限

Windows XP、Windows 2000のシステムすべてにアクセスできる権限のことです。管理者権限を持たないユーザは、通信設定ファイル（ドライバ）やFOMA PC設定ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

お使いになる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠） • ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color（65,536色）以上を推奨 • Bluetooth接続で通信する場合 -Bluetooth標準規格Ver. 1.2に準拠し、Dial-up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）対応の機器
OS※1	• Windows XP、Windows 2000（各日本語版）
必要メモリ	• Windows XP：128Mバイト以上※2 • Windows 2000：64Mバイト以上※2
ハードディスク容量	• 5Mバイト以上の空き容量※2

※1：OSをアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。

※2：必要メモリ／ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

お知らせ

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、「動作環境について」で説明している動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。

必要な機器について

データ通信を利用するためには、FOMA端末とパソコン以外に次の機器、およびソフトウェアが必要です。

- FOMA USB接続ケーブル（別売）※
- FOMA miniUSB変換アダプタ M01（付属品）※
- FOMA M702iG用CD-ROM（付属品）
  ※：Bluetooth接続の場合は、FOMA USB接続ケーブル、FOMA miniUSB変換アダプタ M01は不要です。

お知らせ

- USB接続の場合は、専用のFOMA USB接続ケーブルをお買い求めください。市販のUSBケーブルは、コネクタの形状が異なるため、使用できません。

データ通信の準備の流れ

パケット通信や64Kデータ通信を利用する場合の準備の流れは次のとおりです。

USB接続で通信する場合

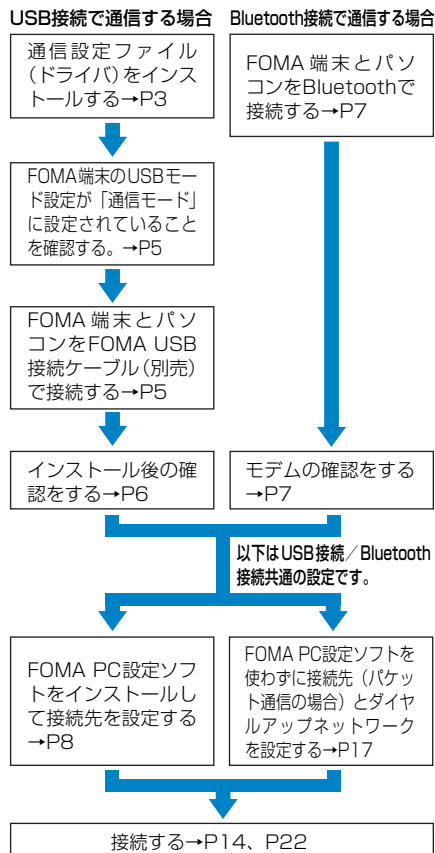
1. 通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする→P3
2. FOMA端末のUSBモード設定が「通信モード」に設定されていることを確認する。→P5
3. FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続する→P5
4. インストール後の確認をする→P6

Bluetooth接続で通信する場合

1. FOMA端末とパソコンをBluetoothで接続する→P7
2. モデムの確認をする→P7

以下はUSB接続／Bluetooth接続共通の設定です。

- FOMA PC設定ソフトをインストールして接続先を設定する→P8
- FOMA PC設定ソフトを使わずに接続先（パケット通信の場合）とダイヤルアップネットワークを設定する→P17

接続する→P14、P22

■「FOMA M702iG用CD-ROM」に収録されているデータ通信用ソフト

M702iG通信設定ファイル（ドライバ）
FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続して、通信やファイル転送をするためにパソコンにインストールするファイルです。

FOMA PC設定ソフト
データ通信に必要なダイヤルアップなどの設定を簡単に行うために、パソコンにインストールするソフトウェアです。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末とパソコンをはじめてUSB接続する場合は、通信設定ファイルをインストールしてFOMA端末をパソコンから利用できるようにしておく必要があります。

- Bluetooth接続の場合は、通信設定ファイルのインストールは不要です。
- 通信設定ファイルのインストールは、FOMA端末とパソコンが接続されていない状態で開始してください。
- 通信設定ファイルをインストールする場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。パソコンの管理者権限に関する設定や操作については、各パソコンメーカーまたはマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 通信設定ファイルのインストールをはじめる前に、他のソフトウェアが稼動していないことを確認してください。稼動している場合は、ソフトウェアを終了させた後にインストールをはじめてください。

Windows XPにインストールする

1 **FOMA M702iG用CD-ROMをパソコンにセットする**

2 **「スタート」▶「ファイル名を指定して実行」を順にクリックし、「名前」欄に「〈CD-ROMドライブ名〉:¥Drivers¥Setup.exe」と入力▶［OK］をクリックする**

3 **［インストール］をクリックする**
ドライバのインストールが開始されます。

次のページへ続く

■インストールの中断を推奨する画面が表示された場合

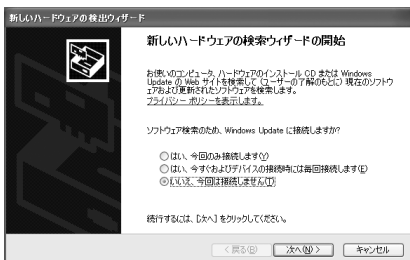
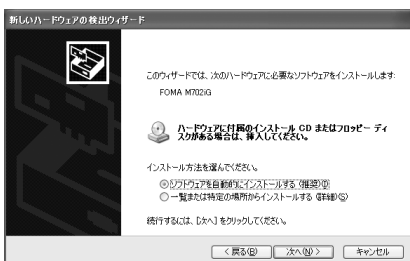
［続行］をクリックして、インストールを続けてください。M702iG通信設定ファイルは、Windowsロゴの認証テストに合格したソフトウェアと変わりなく動作します。

4 確認画面で[OK]をクリックする

5 FOMA端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P5
- 正しく接続されると、パソコンのタスクバーから「新しいハードウェアが見つかりました」と数秒間、ポップアップ表示されます。

6 「いいえ､今回は接続しません」を選択▶[次へ]をクリックする

- パソコンの状態や設定によっては、この画面が表示されない場合があります。その場合は、操作7に進んでください。

7 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択▶[次へ]をクリックする

■インストールの中断を推奨する画面が表示された場合

［続行］をクリックして、インストールを続けてください。M702iG通信設定ファイルは、Windowsロゴの認証テストに合格したソフトウェアと変わりなく動作します。

8 [完了]をクリックする

9 他の3種類のドライバをすべてインストールする

操作6～9を参考に他の3種類のドライバをすべてインストールします。
インストールが完了すると、パソコンのタスクバーから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」と数秒間、ポップアップ表示されます。

- 続いて、「通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」に進みます。→P6

Windows 2000にインストールする

1 FOMA M702iG用CD-ROMをパソコンにセットする

2 「スタート」▶「ファイル名を指定して実行」を順にクリックし､「名前」欄に「〈CD-ROMドライブ名〉:¥Drivers¥Setup.exe」と入力▶[OK]をクリックする

3 [インストール]をクリックする

ドライバのインストールが開始されます。

■インストールの続行を確認する画面が表示された場合

［はい］をクリックして、インストールを続けてください。M702iG通信設定ファイルは、Microsoftデジタル署名されたソフトウェアと変わりなく動作します。

4 確認画面で[OK]をクリックする

次のページへ続く●●•

5 FOMA端末とパソコンを接続する

自動的に4種類のドライバが続けてインストールされます。

- 接続方法→P5

■ **インストールの続行を確認する画面が表示された場合**

［はい］をクリックして、インストールを続けてください。M702iG通信設定ファイルは、Microsoftデジタル署名されたソフトウェアと変わりなく動作します。

- 続いて、「通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」に進みます。→P6

FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル(別売)で接続する

FOMA端末とパソコンをUSB接続する方法について説明します。

USBモード設定

USBモードを設定する

FOMA端末のUSBモード設定を「通信モード」にします。

1 (●)▶ (接続設定)▶ (USBモード設定)

2 [変更]▶「通信モード」▶ [選択]

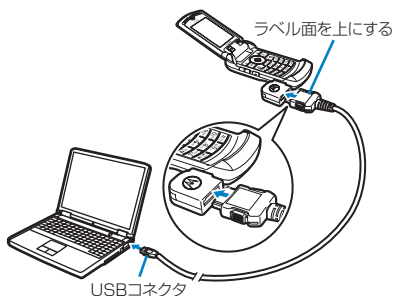
FOMA端末とパソコンをFOMA USBケーブル（別売）で接続する

1 外部接続端子の端子キャップを開き、FOMA miniUSB変換アダプタ M01(付属品)を接続する

- FOMA端末とFOMA miniUSB変換アダプタ M01の間に2mm程度の隙間が空きますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

2 FOMA USB接続ケーブルのラベル面を上にしてFOMA miniUSB変換アダプタ M01に水平に差し込む

- 「カチッ」と音がするまでコネクタをしっかりと差し込んでください。

3 FOMA USB接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する

お知らせ

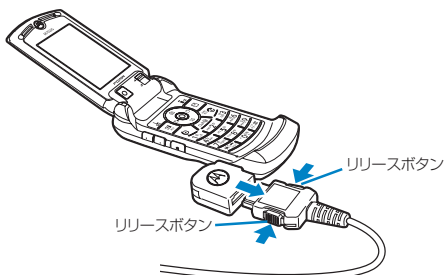
- FOMA端末とパソコンの接続には、専用のFOMA USB接続ケーブルを使用してください。市販のUSBケーブルは、コネクタの形状が異なるため、FOMA miniUSB変換アダプタ M01に接続できません。
- FOMA USB接続ケーブルやFOMA miniUSB変換アダプタ M01のコネクタは無理に差し込まないでください。各コネクタは、正しい向きや角度で差し込まないと接続できません。差し込む向きや角度が正しければ、強い力をかけずにスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まずに、コネクタの形や向きを確認してください。

■ **取り外しかた**

① FOMA USB接続ケーブルの外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、FOMA miniUSB変換アダプタ M01から水平に引き抜く

- 無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

② FOMA端末からFOMA miniUSB変換アダプタ M01を水平に引き抜く

- 無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

③ パソコンからFOMA USB接続ケーブルを引き抜く

通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

M702iG通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。

<例：Windows XPの場合>

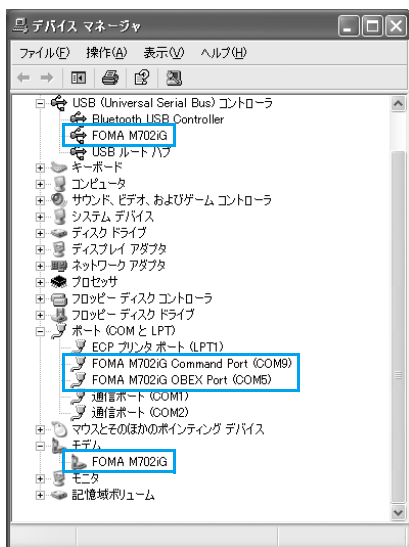
1 「スタート」➧「コントロールパネル」をクリックし､「パフォーマンスとメンテナンス」➧「システム」をクリックする

■ Windows 2000の場合
「スタート」➧「設定」➧「コントロールパネル」を順にクリックし、「システム」をクリックする

2 「ハードウェア」タブをクリック➧[デバイスマネージャ]をクリックする

■ Windows 2000の場合
「デバイスマネージャ」タブをクリックする

3 各デバイス表示をクリックして､インストールされたドライバ名を確認する

「ポート（COMとLPT）」｢モデム｣｢USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の各デバイスにすべてのドライバが表示されていることを確認します。

Windows XPの場合

デバイス表示	ドライバ名
ポート（COMとLPT）	• FOMA M702iG Command Port • FOMA M702iG OBEX Port
モデム	• FOMA M702iG
USB（Universal Serial Bus）コントローラ	• FOMA M702iG

お知らせ

- M702iG通信設定ファイルのインストール時に、FOMA PC接続ケーブル（別売）が外れたり、パソコンの画面で［キャンセル］を押してインストールを中止したりすると、正常にインストールされないため、「デバイスマネージャ」画面でドライバ名が確認できない場合があります。このような場合は、アンインストールの操作を行ってM702iG通信設定ファイルを削除してから、再度インストールしてください。

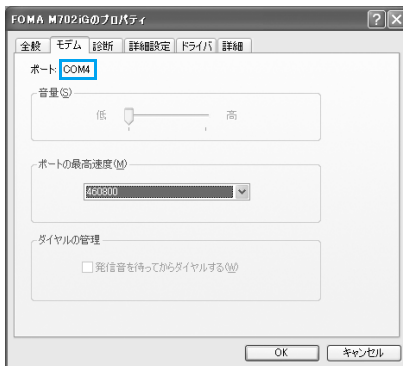
■ FOMA端末のCOMポート番号を確認するには

FOMA PC設定ソフトを使わずに通信の設定を行うときなどに、FOMA端末のモデム名やモデムのCOMポート番号が必要になる場合があります。COMポート番号をデバイスマネージャ画面で確認する方法を説明します。

① FOMA端末とパソコンを接続する
- 接続方法→P5

② 「通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」の操作1～2を行う

③ 「モデム」をクリック➧「FOMA M702iG」を選択➧メニューバーから［操作］➧［プロパティ］の順にクリック➧「モデム」タブをクリックする

「ポート:」の右側にFOMA端末のCOMポート番号が表示されます。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

通信設定ファイルのアンインストールが必要な場合は、次の手順で行います。

- FOMA 端末をパソコンから取り外した状態でアンインストールを行ってください。

次のページへ続く

- 通信設定ファイルをアンインストールする場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。パソコンの管理者権限に関する設定や操作については、各パソコンメーカーまたはマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 通信設定ファイルのアンインストールをはじめる前に、他のソフトウェアが稼動していないことを確認してください。稼動している場合は、ソフトウェアを終了させた後にアンインストールをはじめてください。

<例：Windows XPの場合>

1 FOMA M702iG用CD-ROMをパソコンにセットする

2 「スタート」▶「ファイル名を指定して実行」を順にクリックし、「名前」欄に「〈CD-ROMドライブ名〉:¥Drivers¥M702iGUn.exe」と入力▶[OK]をクリックする

3 [アンインストール]をクリックする

ドライバのアンインストールが開始されます。

4 確認画面で[OK]をクリックする

5 [はい]をクリックしてパソコンを再起動する

パソコンが再起動され、アンインストールが終了します。

ダイヤルアップネットワークゲートウェイ

Bluetooth接続による通信を準備する

FOMA端末とパソコンをBluetooth接続して、データ通信するための準備について説明します。

FOMA端末とパソコンを機器登録して接続する

FOMA端末を検索待機の状態にして、パソコンからFOMA端末の検索、機器登録を行い、FOMA端末とパソコンをBluetooth接続します。

- 機器登録の完了後、パソコンとFOMA端末をBluetooth接続する場合は、機器登録（操作1～4）は不要です。機器登録後の接続方法については、パソコンまたはパソコンに接続されているBluetoothアダプタなどの機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ●▶ (接続設定)▶ (Bluetooth通信)▶「Bluetooth接続待機」

- 既に FOMA 端末の Bluetooth の電源がONになっている場合には、この画面は表示されません。その場合は操作3に進みます。

2 [はい]

FOMA端末のBluetoothの電源がONになり、検索待機の状態になります。画面上部には が点滅します。

- 検索待機の状態のまま、約3分間パソコンから検索の操作が行われなかった場合は、自動的に検索待機の状態が解除されます。

3 パソコンでBluetooth機器の検索と登録の操作を行う

検索された機器から「FOMA M702iG」を選択して、登録の操作を行います。登録の操作を行うと、FOMA端末には機器登録画面が表示されます。
検索や登録の方法については、パソコンまたはパソコンに接続されているBluetoothアダプタなどの機器の取扱説明書をご覧ください。

- 検索や登録の操作を行う前に、パソコンの周囲にあるFOMA端末以外のBluetooth機器の電源をOFFにしておくことをおすすめします。
- 取扱説明書によっては、「検索」が「探索」または「サーチ」、「登録」が「ペアリング」など、別の用語で表記されていることがあります。

4 [はい]▶パスキーを入力

FOMA端末にパスキー認証の完了画面が表示され、FOMA端末とパソコンの機器登録とBluetooth接続が完了します。

- 続いて、「登録機器を確認する」に進みます。→P7

登録機器を確認する

Bluetooth接続によるデータ通信の準備のため、FOMA端末とパソコンにそれぞれ登録されたBluetooth機器の設定を確認します。

- FOMA 端末に表示される機器名、およびパソコンに表示されるモデム名については、ご利用になるパソコンまたはパソコンに接続されているBluetoothアダプタなどの機器の取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末に登録された機器の設定を確認する

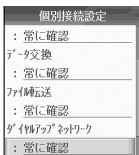
FOMA端末と機器の接続方法を確認し、必要に応じて変更します。

1 ●▶ (接続設定)▶ (Bluetooth通信)▶「登録機器リスト」

次のページへ続く

FOMA端末に登録されているBluetooth機器が表示されます。

2 登録機器を選択▶●▶「個別接続設定」を選択▶●▶「ダイヤルアップネットワーク」の設定を確認

必要に応じて、次の中から設定を選択します。

常に確認
接続ごとに確認画面が表示されます。

自動
常に接続を許可します。

拒否
接続が拒否され、通信を行うことができません。

1回のみ許可
最初の接続のみ確認画面を表示し、その後は「拒否」に設定します。

モデムを確認する

データ通信の設定のために、モデムに割り当てられたCOMポートの番号を確認します。

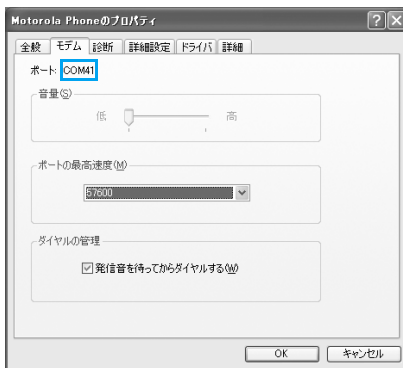
<例：Windows XPの場合>

1 「スタート」▶「コントロールパネル」の順にクリックし、「パフォーマンスとメンテナンス」▶「システム」の順にクリックする

■ Windows 2000の場合
「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」の順にクリックし、「システム」をクリックする

2 「ハードウェア」タブをクリック▶[デバイスマネージャ]をクリックする

3 「モデム」をクリック▶モデム名を選択▶メニューバーから[操作]▶[プロパティ]の順にクリック▶「モデム」タブをクリックする

「ポート:」の右側にFOMA端末のCOMポート番号が表示されます。

Bluetooth接続を終了する

データ通信の終了後、パソコンとFOMA端末のBluetooth接続を切断します。

1 パソコンからFOMA端末との切断操作を行う

切断の操作方法については、パソコンまたはパソコンのBluetooth機能追加機器の取扱説明書をご覧ください。

FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信／64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、次の設定を簡単に行えます。

■ かんたん設定
ガイドに従い操作することで「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などを自動で行います。

■ W-TCPの設定
「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、W-TCP設定による通信設定の最適化が必要になります。

■ 接続先（APN）の設定
パケット通信に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先番号欄に指定して接続します。
お買い上げ時、cid1には「mopera」の接続先（APN）「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera U」の接続先（APN）「mopera.net」が登録されています。

次のページへ続く

お知らせ

- FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信の設定を行う方法もあります。→P17、P23
- FOMA PC設定ソフトVer3.0.1以前の古いバージョン（以後旧FOMA PC設定ソフトと呼びます）がインストールされている場合は、あらかじめ旧FOMA PC設定ソフトをアンインストールしてください。バージョンの確認方法→P10

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- FOMA PC設定ソフトをインストールする場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。パソコンの管理者権限に関する設定や操作については、各パソコンメーカーまたはマイクロソフト社にお問い合わせください。
- FOMA PC設定ソフトのインストールを開始する前に、他のソフトウェアが稼動していないことを確認してください。稼動している場合は、ソフトウェアを終了させた後にインストールしてください。

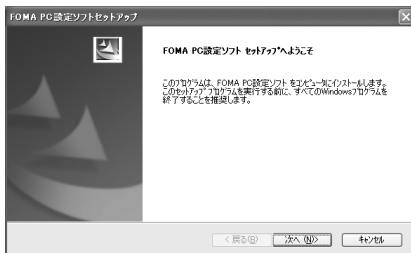
<例：Windows XPの場合>

1 付属のFOMA M702iG用CD-ROMをパソコンにセットする

2 「スタート」▶「ファイル名を指定して実行」を順にクリックし、「名前」欄に「〈CD-ROMドライブ名〉:￥FOMA_PCSET￥Setup.exe」と入力▶［OK］をクリックする

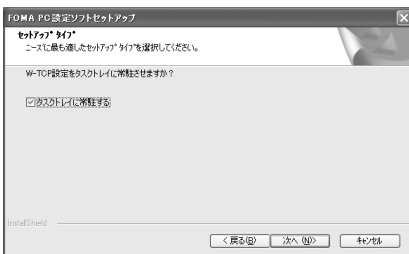
3 ［次へ］をクリックする

- 「旧W-TCP設定ソフト」「旧APN設定ソフト」「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされているという警告画面が表示された場合は、P9を参照してそれぞれのソフトをアンインストールしてください。

4 使用許諾契約書の内容に同意する場合は［はい］をクリックする

［いいえ］をクリックするとインストールが中止され、FOMA PC設定ソフトを使用することはできません。

5 「タスクトレイに常駐する」を☑に設定▶［次へ］をクリックする

インストール後、(W-TCP設定）がパソコンのタスクトレイに常駐します。W-TCP設定の変更や確認を簡単な操作で行えるため、常駐させることをおすすめします。

- 「タスクトレイに常駐する」を□に設定した場合もFOMA PC設定ソフトをインストールできます。インストール後に常駐させる場合は、FOMA PC設定ソフトの操作画面（P10）で「メニュー」▶「W-TCP設定をタスクトレイに常駐させる」の順にクリックします。

6 インストール先を確認▶［次へ］をクリックする

■ **インストール先を変更する場合**
［参照］をクリックして任意のインストール先を指定した後、［次へ］をクリックします。

7 「プログラムフォルダ」欄のフォルダ名を確認▶［次へ］をクリックする

8 ［完了］をクリックする

インストールが完了すると、FOMA PC設定ソフトが起動し、操作画面が表示されます。

■ **FOMA PC設定ソフトのインストール時の警告画面や確認画面について**
インストール時に警告画面や確認画面が表示された場合の操作について説明します。

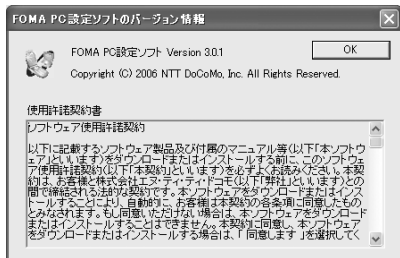
次のページへ続く

既にFOMA PC設定ソフトがインストールされていることを警告する画面が表示された場合
旧バージョンのFOMA PC設定ソフトがインストールされています。
「プログラムの追加と削除」(Windows 2000の場合は「アプリケーションの追加と削除」)の画面から旧バージョンのFOMA PC設定ソフトをアンインストールした後、FOMA PC設定ソフトをインストールしてください。

旧バージョンのW-TCP環境設定ソフトがインストールされていることを警告する画面が表示された場合
「プログラムの追加と削除」(Windows 2000の場合は「アプリケーションの追加と削除」)の画面から旧バージョンのW-TCP環境設定ソフトをアンインストールした後、FOMA PC設定ソフトをインストールしてください。

旧バージョンのFOMAデータ通信設定ソフトがインストールされていることを警告する画面が表示された場合
[OK]をクリックするとFOMAデータ通信設定ソフトが自動的にアンインストールされ、アンインストール後、FOMA PC設定ソフトのインストールが再開されます。

インストールの途中で[キャンセル]や[いいえ]をクリックして、ウィザードの中止の確認画面が表示された場合
[完了]をクリックしてインストールを終了します。再度インストールする場合は、最初から操作をやり直してください。

■ FOMA PC設定ソフトのバージョン情報の確認方法
FOMA PC設定ソフトの操作画面で「メニュー」▶「バージョン情報」を順にクリックすると、バージョン情報の画面が表示されます。

通信の設定を行う

FOMA PC設定ソフトを使用したパケット通信／64Kデータ通信に関する設定について説明します。

- 設定をはじめる前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P5

FOMA PC設定ソフトを起動する

パソコンにインストールされたFOMA PC設定ソフトを起動します。FOMA PC設定ソフトを起動したときの操作画面から、次の項目が設定できます。

■「かんたん設定」によるパケット通信の設定→P11

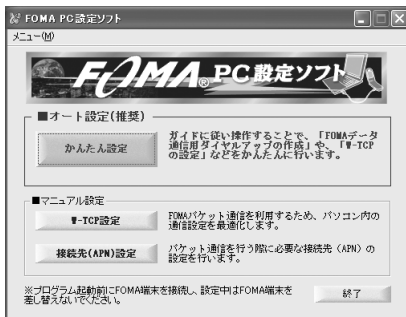
■「かんたん設定」による64Kデータ通信の設定→P13

■「W-TCP設定」によるデータ通信の伝送能力の最適化、変更→P15

■「APN設定」によるパケット通信の接続先(APN)の設定→P15

<例：Windows XPの場合>

1 **「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「FOMA PC設定ソフト」▶「FOMA PC設定ソフト」の順にクリックする**

FOMA PC設定ソフトが起動し、操作画面が表示されます。

■ Windows 2000の場合
「スタート」▶「プログラム」▶「FOMA PC設定ソフト」▶「FOMA PC設定ソフト」の順にクリックする

通信ポートを指定する

Bluetooth接続でデータ通信を行う場合は、FOMA PC設定ソフトの「通信設定」でパソコンのCOMポートの番号を指定します。

- USB接続の場合は、通常、この設定を行う必要はありません。COMポートを任意に設定する場合に行ってください。

1 **FOMA端末に割り当てられているCOMポートの番号を確認する**

確認方法→P6、P7

2 **FOMA PC設定ソフトの操作画面から「メニュー」▶「通信設定」の順にクリックする**

次のページへ続く

3 「COMポート指定」を選択▶「COM:」欄をクリックしてFOMA端末に割り当てられているCOMポートの番号を設定する

- COMポートの番号は1～99の範囲で指定できます。

4 [OK]をクリックする

設定が完了します。

かんたん設定を使ってパケット通信の設定をする

パケット通信は、送受信したデータ量に応じて料金が計算される通信方式です。受信最大384kbps、送信最大64kbpsの速度でデータ通信ができます。FOMA端末を使用してインターネットに接続するには、ブロードバンド接続オプションや国際ローミングなどに対応した「mopera U」のご利用をおすすめします（別途お申し込みが必要です）。なお、国際ローミングではパケット通信のみご利用いただけます。ご利用の際のパケット通信料も国内でのパケット通信料とは異なりますので、ご注意ください。また、今すぐ簡単にインターネットに接続するには、「mopera」が便利です。
ここでは例として、USB接続の場合の設定について説明します。

「mopera U」または「mopera」を利用する場合

1 FOMA PC設定ソフトの操作画面で[かんたん設定]をクリックする

2 「パケット通信」を選択▶[次へ]をクリックする

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択▶[次へ]をクリックする

■「『mopera U』への接続」を選択した場合
「mopera U」をご契約済みであることを確認する画面が表示されます。ご契約済みの場合は、[はい]をクリックして、設定を続けます。

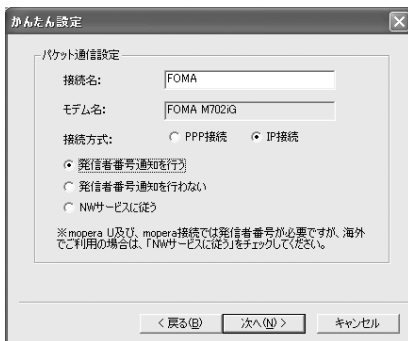
4 [OK]をクリックする

FOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

■Bluetooth接続の場合
FOMA端末の接続設定によっては、確認画面が表示されます。接続する場合は、（許可）を押します。

5 「接続名」欄に任意の接続名を入力▶[接続方式]（「PPP接続」/「IP接続」）を選択▶「発信者番号通知を行う」を選択▶[次へ]をクリックする

- 「接続名」欄に次の半角文字は入力できません。
¥/:＊?!<>｜"
- 「mopera U」に接続する場合は、「接続方式」は「IP接続」を選択してください。国内でご利用になる場合は、「接続方式」を任意で選択してもご利用いただけます。
「mopera」に接続する場合は、「PPP接続」を選択してください。
- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、発信者番号の通知が必要です。「発信者番号通知を行わない」は選択しないでください。
- **海外でご利用になる場合には、「NW サービスに従う」を選択し、FOMA端末で◉▶（ネットワークサービス）▶「発信者番号通知」▶「発信者番号通知設定」の順に操作して発信者番号を通知するかどうかを設定してください。**

■Bluetooth接続の場合
ご使用のパソコンまたはパソコンに接続されているBluetoothアダプタなどの取扱説明書を参照して、「モデム名」に表示される名前が正しいことを確認してください。

6 「使用可能ユーザーの選択」を任意に選択し、[次へ]をクリックする

「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄が空欄でも接続できます。

7 「最適化を行う」を☑に設定▶[次へ]をクリックする

次のページへ続く●●•

■ すでに最適化されている場合
最適化の確認画面は表示されません。操作8へ進みます。

8 設定情報の内容を確認▶[完了]をクリックする

- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」を☑に設定すると、デスクトップにダイヤルアップ接続のショートカットが作成されます。

■ 設定を変更する場合
［戻る］をクリックします。

9 [OK]をクリックする

設定が完了します。

■ 最適化の設定を変更した場合
パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面で「はい」をクリックしてください。

その他のプロバイダを利用する場合

1 FOMA PC設定ソフトの操作画面で[かんたん設定]をクリックする

2 「パケット通信」を選択▶[次へ]をクリックする

3 「その他」を選択▶[次へ]をクリックする

4 [OK]をクリックする

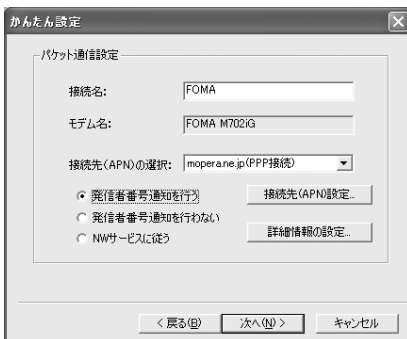
FOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

■ Bluetooth接続の場合
FOMA端末の接続設定によっては、確認画面が表示されます。接続する場合は、［♪］（許可）を押します。

5 「接続名」欄に任意の接続名を入力する

- 「接続名」欄に次の半角文字は入力できません。
 ￥/:＊?!<>｜"
- 「接続方式」と発信者番号通知の設定は、ご利用のプロバイダの指定に従ってください。
- **海外でご利用になる場合には、「NW サービスに従う」を選択し、FOMA端末で◉▶(ネットワークサービス)▶「発信者番号通知」▶「発信者番号通知設定」の順に操作して発信者番号を通知するかどうかを設定してください。**

■ Bluetooth接続の場合
ご使用のパソコンまたはパソコンに接続されているBluetoothアダプタなどの取扱説明書を参照して、「モデム名」に表示される名前が正しいことを確認してください。

■ IPアドレスとDNSを設定する場合
ご利用のプロバイダより、接続するためのIPアドレスとDNSの設定が指定されている場合は、［詳細情報の設定］をクリックして設定してください。

6 [接続先(APN)設定]をクリックする

7 [追加]をクリック▶接続先(APN)を設定▶[OK]をクリックする

「番号(cid)」は2または4～10に設定します。

8 [OK]をクリックする

「接続先（APN）設定」画面が終了します。

9 [次へ]をクリックする

10 「ユーザー名」「パスワード」を設定▶「使用可能ユーザーの選択」を任意に選択▶[次へ]をクリックする

ご利用のプロバイダから提供されたユーザー名、パスワードの各情報を、大文字／小文字などに注意して正確に入力してください。

11 「最適化を行う」を☑に設定▶[次へ]をクリックする

■ すでに最適化されている場合
最適化の確認画面は表示されません。操作12へ進みます。

12 設定情報の内容を確認▶[完了]をクリックする

- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」を☑に設定すると、デスクトップにダイヤルアップ接続のショートカットが作成されます。

■ 設定を変更する場合
［戻る］をクリックします。

次のページへ続く ●●•

13 [OK]をクリックする

設定が完了します。

■ 最適化の設定を変更した場合

パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面で[はい]をクリックしてください。

かんたん設定を使って64Kデータ通信の設定をする

64Kデータ通信は、接続した時間に応じて料金が計算される通信方式です。最大64kbpsの速度でデータ通信ができます。
FOMA端末を使用してインターネットに接続するには、ブロードバンド接続オプションや国際ローミングなどに対応した「mopera U」のご利用をおすすめします（別途お申し込みが必要です）。なお、国際ローミングではパケット通信のみご利用いただけます。ご利用の際のパケット通信料も国内でのパケット通信料とは異なりますので、ご注意ください。
また、今すぐ簡単にインターネットに接続するには、「mopera」が便利です。
ここでは例として、USB接続の場合の設定について説明します。

「mopera U」または「mopera」を利用する場合

1 FOMA PC設定ソフトの操作画面で[かんたん設定]をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択▶[次へ]をクリックする

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択▶[次へ]をクリックする

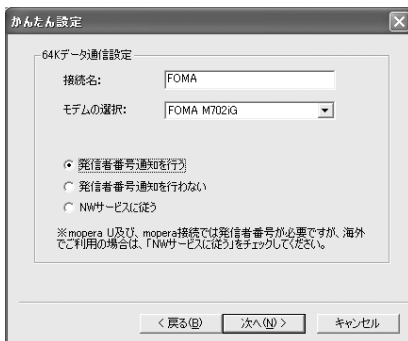
■「『mopera U』への接続」を選択した場合

「mopera U」をご契約済みであることを確認する画面が表示されます。ご契約済みの場合は、[はい]をクリックして、設定を続けます。

4 「接続名」欄に任意の接続名を入力▶「発信者番号通知を行う」を選択▶[次へ]をクリックする

- 「接続名」欄に次の半角文字は入力できません。
  ¥/:＊?!<>｜"
- 「モデムの選択」欄は、「FOMA M702iG」を選択します。
- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、発信者番号の通知が必要です。「発信者番号通知を行わない」は選択しないでください。

■ Bluetooth接続の場合

ご使用のパソコンまたはパソコンに接続されているBluetoothアダプタなどの取扱説明書を参照して、「モデム名」に表示される名前が正しいことを確認してください。

5 「使用可能ユーザーの選択」を任意に選択▶[次へ]をクリックする

「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄が空欄でも接続できます。

6 設定情報の内容を確認▶[完了]をクリックする

- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」を☑に設定すると、デスクトップにダイヤルアップ接続のショートカットが作成されます。

■ 設定を変更する場合

［戻る］をクリックします。

7 [OK]をクリックする

設定が完了します。

その他のプロバイダを利用する場合

1 FOMA PC設定ソフトの操作画面で[かんたん設定]をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択▶[次へ]をクリックする

3 「その他」を選択▶[次へ]をクリックする

■「『mopera U』への接続」を選択した場合

「mopera U」をご契約済みであることを確認する画面が表示されます。ご契約済みの場合は、[はい]をクリックして、設定を続けます。

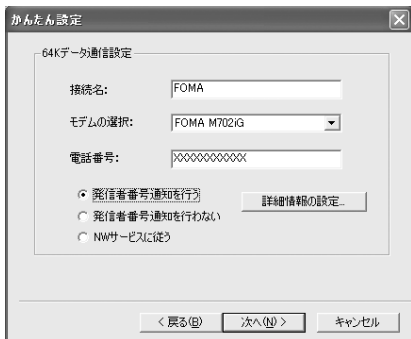
4 通信設定を行う▶[次へ]をクリックする

- 次のように通信設定を行います。
- 「接続名」欄に任意の接続名を入力します。なお、「接続名」欄に次の半角文字は入力できません。
  ¥/:＊?!<>｜"
  - 「モデムの選択」欄は、「FOMA M702iG」を選択します。
  - 「電話番号」欄にご利用のプロバイダに接続する電話番号を入力します。

次のページへ続く

- 「接続方式」と発信者番号通知の設定は、ご利用のプロバイダの指定に従ってください。
- **海外でご利用になる場合には、「NW サービスに従う」を選択し、FOMA端末で◉▶(ネットワークサービス)▶「発信者番号通知」▶「発信者番号通知設定」の順に操作して発信者番号を通知するかどうかを設定してください。**

■ Bluetooth接続の場合
ご使用のパソコンまたはパソコンに接続されているBluetoothアダプタなどの取扱説明書を参照して、「モデム名」に表示される名前が正しいことを確認してください。

■ IPアドレスとDNSを設定する場合
ご利用のプロバイダより、接続するためのIPアドレスとDNSの設定が指定されている場合は、[詳細情報の設定] をクリックして設定してください。

5 「ユーザー名」「パスワード」を設定▶「使用可能ユーザーの選択」を任意に選択▶[次へ]をクリックする

ご利用のプロバイダから提供されたユーザー名、パスワードの各情報を、大文字／小文字などに注意して正確に入力してください。

6 設定情報の内容を確認▶[完了]をクリックする

- 「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」を☑に設定すると、デスクトップにダイヤルアップ接続のショートカットが作成されます。

■ 設定を変更する場合
[戻る] をクリックします。

7 [OK]をクリックする

設定が完了します。

設定した通信を実行する

FOMA PC設定ソフトを使って設定した通信および切断の操作について説明します。

- 設定時に接続していたFOMA端末で通信を行ってください。ほかのFOMA端末を接続すると、通信設定ファイルのインストールが必要になります。

1 パソコンのデスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

デスクトップに接続アイコンが表示されていない場合は、次の操作を行います。

■ Windows XPの場合
「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリック▶設定した接続先のアイコンをダブルクリックする

■ Windows 2000の場合
「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリック▶設定した接続先のアイコンをダブルクリックする

2 「ユーザー名」「パスワード」を入力▶[ダイヤル]をクリックする

接続先に接続されます。

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄が空欄でも接続できます。

お知らせ
- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

通信を切断する

インターネットブラウザを終了しても通信が切断されない場合があります。次の操作を行い、確実に切断してください。

1 パソコンのタスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

次のページへ続く ●••

2 [切断]をクリックする

通信が切断されます。

W-TCP設定

「W-TCP設定ソフト」はFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定」ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用する前に、このソフトウェアによる通信設定の最適化が必要です。

- 「かんたん設定」で通信の設定を行ったときに「最適化を行う」を選択した場合は、最適化を行う必要はありません。

Windows XPの場合

通信の設定（ダイヤルアップ）ごとに最適化を設定／解除できます。

<例：最適化する場合>

1 FOMA PC設定ソフトを起動▶[W-TCP設定]をクリックする

■ パソコンのタスクトレイから操作する場合

をクリックします。

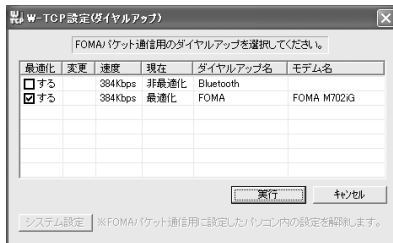
2 W-TCP設定画面で[最適化を行う]をクリックする

■ 最適化を解除する場合

W-TCP設定（ダイヤルアップ）画面で［システム設定］をクリック▶［最適化を解除する］の順にクリックします。

- 既に最適化されている場合は、W-TCP設定画面が表示されません。その場合は、操作3に進んでください。

3 最適化するダイヤルアップを☑に設定▶[実行]をクリックする

- 最適化を解除するダイヤルアップは☐に設定します。

4 再起動の確認画面に従い、最適化の設定変更を有効にする

システム設定の最適化は、パソコンを再起動した後に有効になります。

Windows 2000の場合

<例：最適化する場合>

1 FOMA PC設定ソフトを起動▶[W-TCP設定]をクリックする

■ パソコンのタスクトレイから操作する場合

をクリックします。

2 W-TCP設定画面で[最適化を行う]をクリックする

■ 最適化を解除する場合

W-TCP設定画面で［最適化を解除する］をクリックします。

3 再起動の確認画面に従い、最適化の設定変更を有効にする

システム設定の最適化は、パソコンを再起動した後に有効になります。

接続先（APN）の設定

パケット通信で使う接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は10件まで設定でき、1～10までの登録番号（cid）が付けられます。
cid はパケット通信の接続先を指定するときに使います。お買い上げ時、cid1には「mopera」の接続先（APN）「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera U」の接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cidを設定するときは、2または4～10に設定します。

- 設定前にFOMA 端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P5、P7

1 FOMA PC 設定ソフトを起動▶[接続先(APN)設定]をクリックする

次のページへ続く

2 FOMA端末設定取得画面で[OK]をクリックする

接続されたFOMA 端末に自動的にアクセスして登録されている接続先（APN）情報を読み込みます。

3 接続先(APN)の設定をする

- 接続方式を設定する場合は、[編集] ▶ [詳細設定]を順にクリックして接続方式を選択してください。

接続先（APN）の編集・削除・追加

■ 登録済みの接続先（APN）を編集する場合

編集する接続先（APN）を一覧から選択▶［編集］をクリックする

■ 登録済みの接続先（APN）を削除する場合

削除する接続先（APN）を一覧から選択▶［削除］をクリックする

- 番号（cid）1と3に登録されている接続先（APN）は削除できません（番号（cid）1または3を選択して［削除］をクリックしても、実際には削除されず、番号（cid）の1は「mopera.ne.jp」に戻り、3は「mopera.net」に戻ります）。

■ 接続先（APN）を追加する場合

［追加］をクリックする

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップや編集中の接続先（APN）設定の保存ができます。

1 「ファイル」▶「名前を付けて保存」または「上書き保存」を順にクリックする

ファイルからの読み込み

パソコンに保存されている接続先（APN）設定を再編集やFOMA端末への書き込みができます。

1 「ファイル」▶「開く」を順にクリックする

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込むことができます。

1 [FOMA端末へ設定を書き込む]をクリックする

上書きの確認画面が表示されます。

2 [はい]をクリックする

FOMA端末からの接続先（APN）情報の読み込み

FOMA端末に手動でアクセスして登録されている接続先（APN）を読み込むことができます。

1 「ファイル」▶「FOMA端末から設定を取得」を順にクリックする

FOMA端末設定取得画面が表示されます。

2 [OK]をクリックする

ダイヤルアップ作成機能

追加または編集された接続先（APN）をFOMA端末へ書き込み、ダイヤルアップを設定します。

1 追加または編集された接続先(APN)を選択▶[ダイヤルアップ作成]をクリックする

FOMA 端末書き込み確認画面が表示されます。

2 [はい]をクリックする

FOMA端末へ接続先（APN）情報が書き込まれた後、[OK] をクリックすると「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

3 任意の接続名を入力▶[アカウント・パスワードの設定]をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」の場合は空欄でも設定できます。

4 「ユーザー」「パスワード」を設定▶「使用可能ユーザーの選択」を任意で選択▶[OK]をクリックする

ダイヤルアップが作成されます。

- ご利用のプロバイダよりIP およびDNS情報が指示されている場合は、パケット通信用ダイヤルアップの作成画面で［詳細情報の設定］をクリックして、必要な情報を登録後、［OK］をクリックします。

次のページへ続く

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末を接続する場合は接続先（APN）を登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、FOMA端末の同じ登録番号（cid）に同じ接続先（APN）を登録してください。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

- FOMA PC設定ソフトをアンインストールする場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。パソコンの管理者権限に関する設定や操作については、各パソコンメーカーまたはマイクロソフト社にお問い合わせください。

＜例：Windows XPの場合＞

1 稼動中のソフトウェアを終了させる

①「W-TCP設定ソフト」を終了させる
パソコンのタスクトレイのアイコンを右クリックして「終了」をクリックします。
② FOMA PC設定ソフトを終了させる
操作画面右下の［終了］をクリックします。
③ その他の稼動中のソフトウェアを終了させる

2 「スタート」▶「コントロールパネル」の順にクリック▶「プログラムの追加と削除」をクリックする

■ Windows 2000の場合
「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」の順にクリック▶「アプリケーションの追加と削除」をクリックする

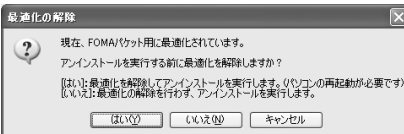
3 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択▶［削除］をクリックする

■ Windows 2000の場合
「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択▶「変更／削除」をクリックする

4 削除するプログラム名を確認▶［はい］をクリックする

5 ［完了］をクリックする

FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。

■ W-TCP設定が最適化されている場合
次の画面が表示されます。FOMA端末を接続してデータ通信を行わない場合は、［はい］をクリックして最適化を解除してください。

ダイヤルアップネットワークの設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信の接続を設定する方法について説明します。パケット通信と64Kデータ通信の接続の設定方法は共通な操作が多いため、ここではパケット通信の接続について説明し、64Kデータ通信の接続の設定と異なる操作や注意点については、P23で説明します。

接続先（APN）を設定する

パケット通信で使う接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号（cid）で管理します。
設定には、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindowsに標準で添付されている「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- 64Kデータ通信の接続を設定する場合、または「mopera U」「mopera」をパケット通信の接続先として使う場合は、この設定は不要です。
- 「mopera U」または「mopera」以外の接続先（APN）については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

＜例：Windows XPでUSB接続する場合＞

1 FOMA端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P5

■ Bluetooth接続の場合
- 接続方法→P7

2 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックする

ハイパーターミナルが起動します。

■ Windows 2000の場合
「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックする

次のページへ続く

3 「名前」欄に任意の接続先名を入力➡[OK]をクリックする

4 「電話番号」欄に実在しない電話番号(「0」など)を入力➡「接続方法」に「FOMA M702iG」と表示されていることを確認➡[OK]をクリックする

- 複数の類似したモデム名が「接続方法」欄に表示されるときは、FOMA端末のモデム名を確認してください。→P6

■ Bluetooth接続の場合

「接続方法」を「モデムの確認をする」(P7)で確認したモデム名に設定します。

5 接続画面で[キャンセル]をクリックする

ハイパーターミナルの入力画面が表示されます。

6 次の入力形式で接続先(APN)を入力➡⏎を押す

[入力形式]

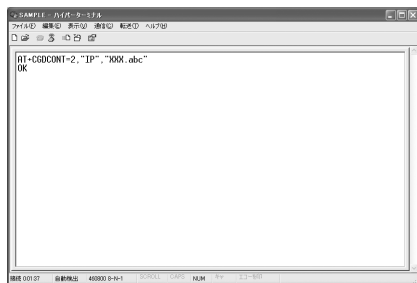
AT+CGDCONT=<cid>,"<PDP type>","<APN>"⏎

<cid>:接続先(APN)の登録番号(cid)を入力します。既にcid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が設定されていますので、cidは2または4～10に設定します。

<PDP type>:接続先(APN)のPDP typeをPPPまたはIPのどちらかで入力します。

<APN>:接続先(APN)を入力します。

接続先が設定されると「OK」と表示されます。

- 入力した文字が表示されない場合は、ATE1⏎を入力してください。

■ 指定したcidの接続先(APN)の設定をリセットする場合

AT+CGDCONT=<cid>を入力します。

■ 設定されている接続先(APN)を確認する場合

AT+CGDCONT?を入力します。

7 「ファイル」➡「ハイパーターミナルの終了」を順にクリックする

8 切断の確認画面で[はい]をクリック➡保存の確認画面で[いいえ]をクリックする

ハイパーターミナルが終了し、接続先(APN)の設定が完了します。

お知らせ

- 接続先(APN)は、FOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末を接続する場合は接続先(APN)を登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先(APN)を継続利用する場合は、FOMA端末の同じ登録番号(cid)に同じ接続先(APN)を登録してください。

発信者番号の通知/非通知を設定する

パケット通信をするときの発信者番号の通知/非通知をATコマンドの*DGPIRコマンドで設定できます。

- 64Kデータ通信の接続を設定する場合は、この設定は不要です。

1 「接続先(APN)を設定する」の操作1～5を行う

ハイパーターミナルが起動し、入力画面が表示されます。

2 次の入力形式で発信者番号の通知/非通知を設定➡⏎を押す

[入力形式]

AT*DGPIR=<n>

<n>:1に設定すると非通知となります(発信時に「184」が付きます)。
2に設定すると通知になります(発信時に「186」が付きます)。

発信者番号の通知/非通知が設定されると「OK」と表示されます。

次のページへ続く●●•

- 「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、2（発信者番号を通知）に設定してください。
- 入力した文字が表示されない場合は、ATE1 ⏎を入力してください。

お知らせ

- ダイヤルアップネットワークの接続先の番号の先頭に「184」「186」を付けて入力することでも発信者番号の通知／非通知を設定できます。→P19、P21
  通知／非通知の設定を*DGPIRコマンドとダイヤルアップネットワークの設定の両方で行った場合は、ダイヤルアップネットワークの設定が優先されますのでご注意ください。
  例えば、*DGPIRコマンドの<n>を2に設定しても、ダイヤルアップネットワークで接続先の番号の先頭に「184」（非通知）を入力すると、発信者番号は非通知になります。
- 海外でご利用になる場合には、AT*DGPIR=0に設定してください（初期値）。登録されているAPNのとおりに発信します。

ダイヤルアップネットワークの設定を行う

パソコンで通信（ダイヤルアップネットワーク）の設定を行います。ここでは例として、USB接続で<cid>=3に設定された「mopera U」へ接続する場合を説明します。

- 「mopera U」または「mopera」以外に接続する場合の設定内容については、ご利用のプロバイダへお問い合わせください。

Windows XPの場合

1 **「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を順にクリックする**

2 **新しい接続ウィザード画面で[次へ]をクリックする**

3 **「インターネットに接続する」を選択▶[次へ]をクリックする**

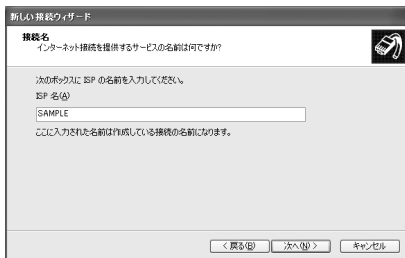
4 **「接続を手動でセットアップする」を選択▶[次へ]をクリックする**

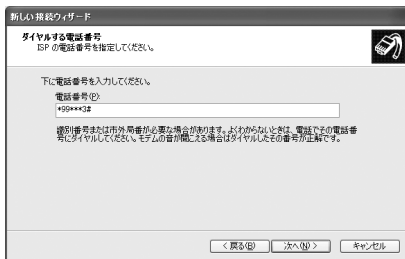
5 **「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択▶[次へ]をクリックする**

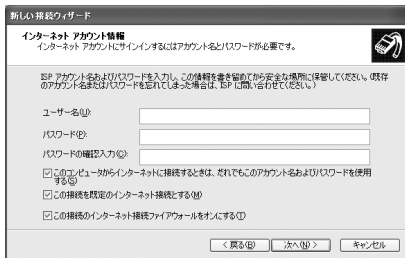
6 **「デバイスの選択」画面が表示された場合は「モデムーFOMA M702iG」を選択▶[次へ]をクリックする**

「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

■ Bluetooth接続の場合
「モデムの確認をする」（P7）で確認したモデムを選択します。

7 **「ISP名」欄に任意の名前を入力▶[次へ]をクリックする**

8 **「電話番号」欄に接続先の番号を入力▶[次へ]をクリックする**

- 「mopera U」に接続する場合、接続先番号には「*99***3#」を入力します。

9 **「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」を設定▶[次へ]をクリックする**

ご利用のプロバイダから指定された設定を入力します。
「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、空欄でも接続できます。

10 **[完了]をクリックする**

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

次のページへ続く

11 「スタート」➧「すべてのプログラム」➧「アクセサリ」➧「通信」➧「ネットワーク接続」を順にクリックする

12 作成したダイヤルアップのアイコンを選択➧「この接続の設定を変更する」をクリックする

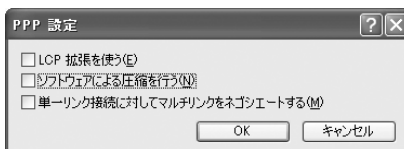
13 「全般」タブの画面で設定を確認する

- パソコンに 2 台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」欄で「モデム－FOMA M702iG」のみを☑に設定します。
- 「ダイヤル情報を使う」を□に設定します。

14 「ネットワーク」タブをクリック➧画面例のように設定する

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択します。
- 「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を☑に設定します。「QoSパケットスケジューラ」の設定は変更できません。

15 [設定]をクリックする

16 すべての項目を□に設定➧[OK]をクリックする

17 「ネットワーク」タブの画面で[OK]をクリックする

Windows 2000の場合

1 「スタート」➧「プログラム」➧「アクセサリ」➧「通信」➧「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリックする

2 ネットワークとダイヤルアップ接続画面で「新しい接続の作成」アイコンをダブルクリックする

3 所在地情報画面が表示された場合は「市外局番」を入力➧[OK]をクリックする

「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。2回目以降は操作5に進んでください。

4 電話とモデムのオプション画面で[OK]をクリックする

5 ネットワークの接続ウィザード画面で[次へ]をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択➧[次へ]をクリックする

次のページへ続く

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択➧[次へ]をクリックする

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択➧[次へ]をクリックする

9 モデムの選択画面が表示された場合は「FOMA M702iG」を選択➧[次へ]をクリックする

- ご使用のパソコンの動作環境によっては、この画面は表示されません。表示されない場合は、操作10に進んでください。

■ Bluetooth接続の場合
「モデムの確認をする」(P7)で確認したモデムを選択します。

10 「電話番号」欄に接続先の番号を入力➧[詳細設定]をクリックする

- 「mopera U」に接続する場合、接続先番号には「*99***3#」を入力します。
- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を☐に設定します。

11 「接続」タブの画面を画面例のように設定する

- 「mopera U」または「mopera」以外に接続する場合、「接続の種類」「ログオンの手続き」をプロバイダから指定された設定にします。

12 「アドレス」タブをクリック➧画面例のように設定➧[OK]をクリックする

- 「mopera U」または「mopera」以外に接続する場合は、「IPアドレス」「ISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当て」をプロバイダから指定された設定にします。

13 「インターネットアカウントの接続情報」画面で[次へ]をクリックする

14 「ユーザー名」「パスワード」を入力➧[次へ] をクリックする

ご利用のプロバイダから指定された設定を入力します。
「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、空欄でも接続できます。
空欄の場合、ユーザー名とパスワードの空白を確認する画面が続けて表示されます。各画面で[はい]をクリックしてください。

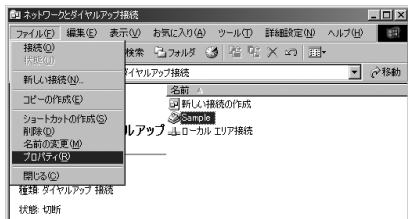
15 「接続名」欄に任意の接続名を入力➧[次へ]をクリックする

16 「いいえ」を選択➧[次へ]をクリックする

17 [完了]をクリックする

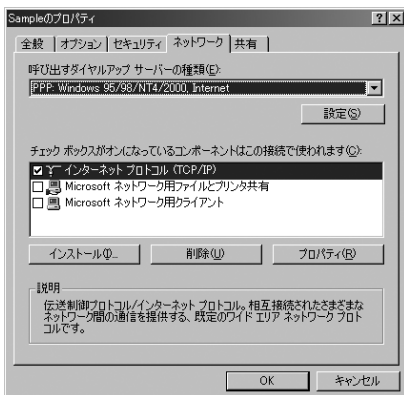
- 「今すぐインターネットに接続するにはここを選び完了をクリックしてください」が表示される場合は☐に設定します。

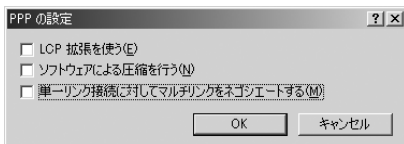
次のページへ続く●●•

18 作成したダイヤルアップのアイコンを選択➧「ファイル」➧「プロパティ」を順にクリックする

19 「全般」タブの画面で設定を確認する

- パソコンに 2 台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA M702iG」のみを☑に設定します。
- 「ダイヤル情報を使う」を☐に設定します。

20 「ネットワーク」タブをクリック➧画面例のように設定する

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
- 「チェックボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使われます」欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP)」のみを☑に設定します。

21 [設定]をクリックする

22 すべての項目を☐に設定➧[OK]をクリックする

23 「ネットワーク」タブの画面で[OK]をクリックする

通信を行う

FOMA PC設定ソフトを使わずに設定した通信および切断の操作について説明します。

- 設定時に接続していたFOMA端末で通信を行ってください。ほかのFOMA端末を接続すると、通信設定ファイルのインストールが必要になります。

<例：Windows XPの場合>

1 「スタート」➧「すべてのプログラム」➧「アクセサリ」➧「通信」➧「ネットワーク接続」を順にクリック➧設定した接続先のアイコンをダブルクリックする

■ Windows 2000の場合
「スタート」➧「プログラム」➧「アクセサリ」➧「通信」➧「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリック➧設定した接続先のアイコンをダブルクリックする

次のページへ続く ●●•

2 「ユーザー名」「パスワード」を入力◆［ダイヤル］をクリックする

接続先に接続されます。

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、「ユーザー名」「パスワード」の各欄が空欄でも接続できます。

お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

通信を切断する

インターネットブラウザを終了しても通信が切断されない場合があります。次の操作を行い、確実に切断してください。

1 パソコンのタスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

2 ［切断］をクリックする

通信が切断されます。

■ **64Kデータ通信の設定について**

FOMA PC設定ソフトを使わずに64Kデータ通信の接続を設定する場合のパケット通信の設定と異なる操作や注意点について説明します。

64Kデータ通信のダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定について

パケット通信の設定（P17）と同じですが、操作の際に次の点に注意してください。

- 64Kデータ通信では、接続先（APN）の設定は不要です。ダイヤルアップ接続の接続先には、ご利用のプロバイダから指定された接続先の電話番号を入力してください（「mopera U」に接続する場合は「＊8701」、「mopera」に接続する場合は「＊9601」を入力してください）。
- 「発信者番号通知／非通知の設定」やATコマンドによる設定は、任意で行ってください（「mopera U」「mopera」に接続する場合は、発信者番号の通知が必要です）。
- 設定内容の詳細については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

接続／切断の方法

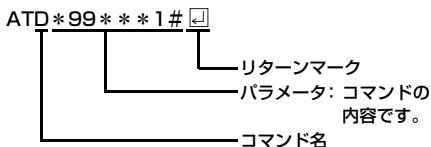
パケット通信の場合の操作と同じです。P22の操作を行います。

ATコマンドについて

パソコンでFOMA端末の機能の設定や状態の確認を行うためのコマンド（命令）です。通常は通信ソフトがATコマンドを発行するので、ATコマンドを意識する必要はありません。独自にATコマンドを入力してFOMA端末を制御したい場合に利用します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力は通信ソフトのターミナルモード画面で行います。必ず半角英数字で入力してください。

<入力例>

- ATコマンドは、コマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず1行で入力します。通信ソフトのターミナルモード画面では、最初の文字から⏎の直前の文字までが「1行」になります。

お知らせ

- ターミナルモードとは、パソコンなどを1台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードのことです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードとオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の2つの方法があります。

- 「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、シリアル（COM）ポートのER信号をOFFにします。
- オンラインコマンドモードへの切り替えは、パケット通信は非対応です。

オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替える場合は、「ATO⏎」と入力します。

■ 設定の保存について

AT+CGDCONTコマンドによる接続先（APN）設定、AT+CGEQMIN／AT+CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知･非通知の設定、およびAT+CLIRコマンドによる発信者番号通知制限の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF･ON時に初期化されてしまいますのでご注意ください。

ATコマンド一覧

「FOMA M702iG」モデムポートで使用できるATコマンドです。

- [&F]　　：AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。
- [?] [=?]：コマンドの後に「?」を付けると現在の設定を表示し、「=?」を付けると有効範囲を表示します。

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT¥S	設定されているコマンドとSレジスタの設定内容を表示します。	－	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 OK
AT¥V<n> [&F]	接続時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを選択します。	n=0（初期値） ：拡張リザルトコードを使用しません。 n=1：拡張リザルトコードを使用します。	AT¥V0 OK
AT%V	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT%V XXXX OK
AT&C<n> [&F]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0：CDは常にONにします。 n=1（初期値） ：CDは相手モデムの状態に応じて変化します。	AT&C1 OK
AT&D<n> [&F]	DTEから受け取る回路ER信号がON／OFFに遷移したときの動作を選択します。	n=0：ER信号の状態を無視します（常にONとみなします）。 n=1：ER信号がONからOFFに変化すると、オンラインコマンドモードになります。 n=2（初期値） ：ER信号がONからOFFに変化すると、オフライン状態になります。	AT&D1 OK
AT&E<n> [&F]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	n=0：無線区間通信速度を表示します。 n=1（初期値） ：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示します。	AT&E0 OK
AT&F<n>	FOMA端末のATコマンド設定値を工場出荷時の設定値に戻します。通信中に実行した場合は、回線切断処理を行います。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	AT&F OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT&S<n> [&F]	FOMA端末が出力するDR（データセットレディ）信号の制御を設定します。	n=0（初期値） ：DR信号は常にONにします。 n=1：回線接続時にDR信号をONにします。	AT&S0 OK
AT＊DANTE [=?]	アンテナの本数を表示します。（0～5）	「AT＊DANTE」を実行すると「＊DANTE：<ｎ>」の形式で表示されます。 n=0：FOMA端末のアンテナが圏外 n=1：FOMA端末のアンテナが1本 n=2：FOMA端末のアンテナが2本 n=3：FOMA端末のアンテナが3本 n=4：FOMA端末のアンテナが4本 n=5：FOMA端末のアンテナが5本	AT＊DANTE ＊DANTE：5 OK
AT＊DGPIR=<n> [?] [=?]	本コマンドの設定は、パケット通信の発信時に有効となります。ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先（APN）の番号に184／186を付けることができます。	n=0（初期値） ：APNをそのまま使用します。 n=1：APNに「184」を付けます（常に非通知）。 n=2：APNに「186」を付けます（常に通知）。	AT＊DGPIR=0 OK
AT＊DRPW [=?]	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。（0：最小値～75：最大値）	－	AT＊DRPW ＊DRPW：0 OK
+++	FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。	本コマンドはパケット通信による接続には未対応です。	（オンラインデータモード） +++ （表示は見えません） OK
AT+CACM=<passwd> [?]	UIMに記録される累積課金値をリセットします。	本コマンドで、パスワードが一致した場合は、UIMに記録される累積課金値をリセットします。 passwd=PIN2コード ※ 文字列のパラメータのため、入力時は""で囲みます。	AT+CACM="0123" OK
AT+CAOC=<mode> [?] [=?]	現在の課金値の問い合わせを行います。	mode=0：現在の呼の課金を問い合わせます。 「AT+CAOC」または「AT+CAOC=0」を実行すると「+CAOC:"<ccm>"」の形式で表示されます。 ccm：課金情報	AT+CAOC +CAOC:"00001E" OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CBC [=?]	電池パックの充電率を表示します。	「AT+CBC」を実行すると「+CBC：<m>,<n>」の形式で表示されます。 m=0：FOMA端末が電池パックから電源を供給されていることを示します。 n=0～100 ：充電率をパーセント表示します。	AT+CBC +CBC：0,60 OK
AT+CBST [&F] [?]［=?]	ベアラ（通信種別）サービスを設定します。	AT+CBST=<speed>,<name>,<ce> speed=116：64Kデータ通信 name=1：64Kデータ通信（同期）の初期値 ce=0：64Kデータ通信（透過）の初期値	AT+CBST=116,1,0 OK
AT+CEER	直前の通信の切断理由を表示します。	「切断理由一覧」→P35	AT+CEER +CEER：36 OK
AT+CGDCONT [?]［=?]	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P34を参照	P34を参照
AT+CGEQMIN [?]［=?]	PPP接続によるパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。	AT+CGEQMIN=［パラメータ］→P34	P34を参照
AT+CGEQREQ [?]［=?]	PPP接続によるパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ=［パラメータ］→P34	P35を参照
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR 1234512345123456 OK
AT+CGREG=<n> [&F] [?]［=?]	ネットワーク登録状況を通知するかどうかを設定します。	n=0（初期値） ：通知しません。 n=1：圏内／圏外が切り替わったときに通知します。 「AT+CGREG?」を実行すると「+CGREG：<n>,<start>」の形式で表示されます。 n：設定値 start=0：パケット圏外 start=1：パケット圏内 start=4：不明 start=5：パケット圏内（ローミング中）	AT+CGREG=1 OK
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 123456789012345 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CLIP=<n> [&F] [?]［=?]	着信した相手が電話番号を通知してきた場合に電話番号を表示するかどうかを設定します。	n=0（初期値） ：リザルトを出しません。 n=1：リザルトを出します。 「AT+CLIP?」を実行すると「+CLIP：<n>,<m>」の形式で表示されます。 m=0：発信時に相手に番号を通知しないネットワーク設定 m=1：発信時に相手に番号を通知するネットワーク設定 m=2：不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP? CLIP=0,1 OK
AT+CLIR=<n> [?]［=?]	64Kデータ通信／テレビ電話発信時に相手に発信者番号を通知するかどうかを設定します。	n=0：CLIRサービスの契約に従います。 n=1：通知しません。（初期値） n=2：通知します。 「AT+CLIR?」を実行すると「+CLIR：<n>,<m>」の形式で表示されます。 n：設定値 m=0：CLIRは起動していません。（常時通知） m=1：CLIRは起動しています。（常時非通知） m=2：不明 m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0 OK
AT+CMEE=<n> [&F] [?]［=?]	FOMA端末のエラーレポートの形式を設定します。	n=0（初期値） ：「ERROR」を表示します。 n=1：「+CMEE ERROR：xxxx」の形式（xxxxは数字）で表示します。 n=2：「+CMEE ERROR：xxxx」の形式（xxxxは文字）で表示します。	AT+CMEE=0 OK
AT+CNUM	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	「AT+CNUM」を実行すると「+CNUM：,<number>,<type>,,<service>」の形式で表示されます。 number：電話番号 type=129：国際アクセスコード+を含まない type=145：国際アクセスコード+を含む service=4：音声 service=5：FAX	AT+CNUM +CNUM：,"+8190XXXXXXXX",145,,4 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+COPS=[<mode>[,<format>[,<oper>]]] [?] [=?]	通信事業者名／Plmn Numberを選択設定します。本コマンドは禁止状態になっているUIMを解除するために用います。	mode=0：Plmn Number要素が自動選択されます。 mode=1：Plmn Number要素を<oper>に指定された値にします。 mode=3：<format>のみを設定します。 mode=4：Plmn Number要素を<oper>に指定された値にします。<oper>に指定されたが無効の場合は自動選択になります。 format=0：<oper>に半角16文字で通信事業者名を表示します。 format=2：<oper>に数字でPlmn Numberを表示します。 oper：通信事業者名／Plmn Numberを表示します。	AT+COPS=0 OK AT+COPS? +COPS:0,0,"NTT DoCoMo" OK AT+COPS=? +COPS:(2,"NTT DoCoMo",,"44F001"),,(0,1,3,4),(0,2) OK
AT+CPAS [=?]	FOMA端末の状態を表示します。	「AT+CPAS」を実行すると「+CPAS：<n>」の形式で表示されます。 n=0：ATコマンドの設定が可能 n=1：ATコマンドの設定が不可能 n=2：不明(ATコマンドの設定に対する応答は保証されない) n=3：着信中だが、ATコマンドの設定が可能 n=4：通話中だが、ATコマンドの設定が可能	AT+CPAS +CPAS：0 OK AT+CPAS=? +CPAS：(0-4) OK
AT+CPIN="pin"／AT+CPIN="puk","pin" [?]	FOMAカードのPIN1コードまたはPINロック解除コードを入力するためのコマンドです。	"pin"にはPIN1コード、"puk"にはPINロック解除コードを入力します。 「AT+CPIN?」を実行すると「+CPIN：<n>」が表示されます。 n=READY　：認証済み n=SIM PIN　：入力待ち n=SIM PUK：PINロック解除コード入力待ち	(+CPIN:SIM PIN状態) AT+CPIN="1234" OK (+CPIN:SIM PUK状態) AT+CPIN="12345678","1234" OK
AT+CPUC [？]	UIMに登録されている通貨テーブルを書き替えます。	AT+CPUC=<Currency>,<ppu> [,<passwd>] Currency：通貨 ppu：パケット単価 Passwd：PIN2コード ※文字列のパラメータのため、入力時は""で囲みます。	AT+CPUC="YEN","0.2","0000" OK AT+CPUC? +CPUC:"YEN","0.2" OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CR=<n> [&F] [?]［=?]	64Kデータ通信によるデータ通信の接続時に「CONNECT」を表示する前に、ベアラ（通信種別）を表示するかどうかを設定します。	n=0（初期値） ：表示しません。 n=1：「+CR：<serv>」の形式で表示します。 serv=GPRS　：パケット通信 serv=SYNC　：64Kデータ通信	AT+CR=1 OK ATD＊99＊＊＊1# +CR：GPRS CONNECT
AT+CRC=<n> [&F] [?]［=?]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	n=0（初期値） ：+CRINGを使用しません。 n=1：+CRING：<type>を使用します。	AT+CRC=0 OK
AT+CREG=<n> [&F] [?]［=?]	圏外／圏内情報を表示するかどうかを設定します。	n=0（初期値） ：表示しません。 n=1：表示します。 「AT+CREG?」を入力すると「+CERG：<n>,<stat>」の形式で表示されます。 n：設定値 stat=0　：64Kデータ通信／テレビ電話通信圏外 stat=1　：64Kデータ通信／テレビ電話通信圏内 stat=4　：不明 stat=5　：64Kデータ通信／テレビ電話通信圏内（ローミング中）	AT+CREG=1 OK
AT+CUSD=[<n>[,<str>[,<dcs>]]] [&F] [?]［=?]	付加サービスなどに関して、ネットワーク側の設定を変更します。	n=0（初期値） ：中間リザルトを応答せずにOKを応答します。 n=1：中間リザルトを応答します。 str：サービスコード 詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。 dcs=0：固定値	AT+CUSD=0,"xxxxxx" OK
AT+FCLASS=<n> [&F] [?]［=?]	モード設定を行います。	n=0（初期値）：データ	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP	FOMA端末の能力リストを表示します。	－	AT+GCAP +GCAP: +CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI	FOMA端末の製造会社名を表示します。	－	AT+GMI Motorola CE,Copyright 2006 OK
AT+GMM	FOMA端末名を表示します。	－	AT+GMM FOMA M702iG OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR XXXX OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+IFC=<n>, <m> [&F] [?]［=?］	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。	n：DCE by DTEの制御 n=0：フロー制御を行いません。 n=1：XON／XOFF制御を行います。 n=2（初期値） ：RS／CS（RTS／CTS）フロー制御を行います。 m：DTE by DCEの制御 m=0：フロー制御を行いません。 m=1：XON／XOFF制御を行います。 m=2（初期値） ：RS／CS（RTS／CTS）フロー制御を行います。	AT+IFC=2,2 OK
AT+WS46 [&F] [?]	FOMA端末のネットワークの設定を表示します。	12：GSM 22：3G（WCDMA） 25：自動切り替え（初期値）	AT+WS46? 25 OK
ATA	FOMA端末が着信したモードに従って着信を処理します。	−	RING ATA CONNECT
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。	入力時に⏎の入力は不要です。	A/ OK
ATD	パケット通信または64Kデータ通信の発信をします。	パケット通信：ATD＊99＊＊＊<cid># <cid>1〜10 ：+CGDCONTで設定したAPNを表します。 64Kデータ通信 ：ATD＜電話番号＞	(パケット通信時) ATD＊99＊＊＊1# CONNECT (64Kデータ通信時) ATDXXXXXXXXXX CONNECT
ATE<n> [&F]	パソコンから送信された文字をエコーバックするかどうかを設定します。	n=0：エコーバックしません。 n=1（初期値） ：エコーバックします。	ATE1 OK
ATH<n>	64Kデータ通信を切断します。	n=0：切断します。（省略可）	（通信中）+++ ATH OK
ATI<n>	認識コードを表示します。	n=0：「NTT DoCoMo」と表示します。 n=1：FOMA端末名を表示します（+GMMと同じ）。 n=2：FOMA端末のバージョンを表示します（+GMRと同じ）。 n=3：OKを表示します。 n=4：FOMA端末の有する通信機能の詳細を表示します。	ATI0 NTT DoCoMo OK
ATO	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに移行します。	−	ATO CONNECT
ATQ<n> [&F]	パソコンにリザルトコードを表示するかどうかを設定します。	n=0（初期値） ：リザルトコードを表示します。 n=1：リザルトコードを表示しません。	ATQ0 OK ATQ1 (OKは表示されません)

次のページへ続く ●●•

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATS0=<n> [&F] [?]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	n=0（初期値） ：自動着信しません。 n=1～255 ：呼び出し回数です。	ATS0=0 OK
ATS2=<n> [&F] [?]	エスケープキャラクタを設定します。	n=43（初期値）のみ指定できます。	ATS2=43 OK ATS2=043 OK ATS2? 043 OK
ATS3=<n> [&F] [?]	ATコマンドの文字列の最後を認識する復帰（CR）キャラクタを設定します。	n=13（初期値）のみ指定できます。	ATS3=13 OK
ATS4=<n> [&F] [?]	改行（LF）キャラクタを設定します。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰（CR）キャラクタの次に付けられます。	n=10（初期値）のみ指定できます。	ATS4=10 OK
ATS5=<n> [&F] [?]	ATコマンド入力中に入力バッファの最後のキャラクタを削除するバックスペース（BS）キャラクタを設定します。	n=8（初期値）のみ指定できます。	ATS5=8 OK
ATS6=<n> [&F] [?]	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。	n=2～10（初期値n=5）	ATS6=5 OK
ATS7=<n> [&F] [?]	発信時、設定時間（秒）以内に接続できなければ、回線を切断します。	n=1～120（初期値n=60） ：121～255の指定は120と見なします。	ATS7=60 OK ATS7? 060 OK
ATS8=<n> [&F] [?]	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、ポーズ時間は3秒固定です。	n=0：ポーズしません。 n=1～255（初期値n=3） ：カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）です。	ATS8=3 OK
ATS10=<n> [&F] [?]	自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。	n=1～255（初期値n=1）	ATS10=1 OK
ATV<n> [&F]	リザルトコードの表示方法を設定します。	n=0：数字で表示します。 n=1（初期値） ：文字で表示します。	ATV1 OK

次のページへ続く

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATX<n> [&F]	ビジートーン検出、ダイヤルトーン検出、通信速度表示を設定します。	n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4（初期値） ：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり	ATX1 OK
ATZ	FOMA端末のATコマンド設定値を工場出荷時の設定値に戻します。通信中に実行した場合は、回線切断処理を行います。	−	（オンラインコマンドモード時） ATZ NO CARRIER （オフライン時） ATZ OK

ATコマンドの補足説明

■ コマンド名：+CGDCONT

- 概要
  パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
- 書式
  +CGDCONT=［<cid>［,"<PDPtype>"［,"<APN>"］］］
- パラメータ説明
  パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は次のコマンド実行例を参照してください。
  <cid>※　：1～10
  <PDP type>※：PPPまたはIP
  <APN>※　：任意
  ※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、cid1には「mopera」の接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3には「mopera U」の接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cidを設定するときは、2または4～10に設定します。
  <PDP type>は、パケット通信のプロトコル方式です。
  <APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。
- パラメータを省略した場合の動作
  AT+CGDCONT=：
  すべてのcidの設定を削除します。ただし、cid1およびcid3の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。
  AT+CGDCONT=?：
  設定可能な値のリスト値を表示します。
  AT+CGDCONT?：
  現在の設定を表示します。
- コマンド実行例
  abcというAPN名を登録する場合のコマンド（PDP typeはPPP、cidは3の場合）
  AT+CGDCONT=3,"PPP","abc"
  OK

※ &F、Zによるリセットは行われません。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- 概要
  PPP接続によるパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
- 書式
  +CGEQMIN=［<cid>［,,<Maximum bitrate UL>［,<Maximum bitrate DL>］］］
- パラメータ説明
  <cid>※：1～10
  <Maximum bitrate UL>※：
  なし（初期値）または64
  <Maximum bitrate DL>※：
  なし（初期値）または384
  ※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、cid1には「mopera」の接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3には「mopera U」の接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cidを設定するときは、2または4～10に設定します。
  <Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度［kbps］の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、値を設定した場合は設定値未満の速度での接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。
- パラメータを省略した場合の動作
  AT+CGEQMIN=：
  すべての<cid>に対し初期値を設定します。
  AT+CGEQMIN=<cid>：
  指定された<cid>を初期値に設定します。
- コマンド実行例
  (1) 上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQMIN=2
  OK
  (2) 上り64kbps／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが2の場合）
  AT+CGEQMIN=2,,64,384
  OK
  (3) 上り64kbps／下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが3の場合）
  AT+CGEQMIN=3,,64
  OK
  (4) 上りすべての速度／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが3の場合）
  AT+CGEQMIN=3,,,384
  OK

※ &F、Zによるリセットは行われません。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- 概要
  PPP接続によるパケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- 書式
  +CGEQREQ=［<cid>［,<traffic class>,<Maximum bitrate UL>［,<Maximum bitrate DL>］］］
- パラメータ説明
  <cid>※：1～10　<traffic class>：2
  <Maximum bitrate UL>※：64
  <Maximum bitrate DL>※：384
  ※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、cid1には「mopera」の接続先（APN）「mopera.ne.jp」が、cid3には「mopera U」の接続先（APN）「mopera.net」が登録されていますので、cidを設定するときは、2または4～10に設定します。

次のページへ続く

＜Maximum bitrate UL＞および＜Maximum bitrate DL＞は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度［kbps］の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、値を設定した場合は設定値を超える速度での接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

- パラメータを省略した場合の動作
  AT+CGEQREQ=：
  すべての＜cid＞を初期値に設定します。
  AT+CGEQREQ=＜cid＞：
  指定された＜cid＞を初期値に設定します。
- コマンド実行例
  上り64kbps／下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが3の場合）
  AT+CGEQREQ=3,2,64,384
  OK

※ &F、Zによるリセットは行われません。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しない、または正しくありません。
30	ネットワークにより切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため通信できません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手が呼び出し中のため通信できません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信しました、または着信を受けました。

リザルトコード

■ リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンを検出できません。
7	BUSY	話中音の検出中です（64Kデータ通信発信時のみ適用）。
8	NO ANSWER	接続完了 タイムアウト
101	DELAYED	リダイヤル規制時間内

■ 拡張リザルトコード

&E0のとき
FOMA端末⇔基地局間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps

&E1のとき

数字表示	文字表示	接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
3	AV64K	テレビ電話（64K）通信で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX0が設定されている場合
AT¥Vコマンド（P25）の設定にかかわらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。
文字表示例 ：ATD∗99∗∗∗1#
　　　　　　CONNECT
数字表示例 ：ATD∗99∗∗∗1#
　　　　　　1
ATX1が設定されている場合

- ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
  接続完了のときに、CONNECT＜FOMA－PC間の速度＞の書式で表示します。
  文字表示例：ATD∗99∗∗∗1#
  　　　　　　CONNECT 460800
  数字表示例：ATD∗99∗∗∗1#
  　　　　　　1 21

- ATX1、AT￥V1が設定されている場合
  接続完了のときに、次の書式で表示します。
  CONNECT＜FOMA－PC間の速度＞PACKET＜接続先APN＞／＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞／＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞
  文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
  CONNECT 460800
  PACKET
  mopera.ne.jp/64/384
  （mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）
  数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
  1 21 5

※ ATX1、AT￥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT￥V0だけでのご利用をおすすめします。